

令和元年度 事務報告書

松本市の公民館

令和2年6月

松本市教育委員会

松本市の概要

1 市の沿革

松本市は、長野県のほぼ中央部西側に位置し、西は中部山岳国立公園に包含される日本アルプスの連峰を望み、東は国定公園美ヶ原高原につづく地域で、多くの河川による扇状地などから形成されています。

平安時代中期に編まれた「和名類聚抄（わみょうるいじょうしょう）」には、信濃の国府の所在地が筑摩郡と記され、この頃にはすでに政治文化の中心地であったことが分かります。江戸時代には、松本城を中心とした6万石の城下町として発展し、産業の町としても繁栄しました。

明治4年、廃藩置県により筑摩県となり、明治9年長野県と合併するまで県庁が置かれました。明治40年には市制を施行し、その後隣村との合併等を経て、長野県の産業・文化の中心地として大きく飛躍してきました。

平成12年11月1日には特例市の指定を受け、地方分権の推進と個性豊かなまちづくりを進めてきましたが、平成17年4月の四賀村、安曇村、奈川村及び梓川村との合併、また、平成22年3月の波田町との合併により、新たな松本市として歩み始めています。

2 市の位置・面積

位 置	東経 137° 58' 19"	北緯 36° 14' 17"
面 積	978.47 km ²	
広 さ	東西 52.2 km	南北 41.3 km
標 高	592.21m	

3 面積と人口の推移（各年5月1日現在）

年	面積 (km ²)	世帯数 (世帯)	人口(人)			人口密度 (人口/km ²)	備 考
			総数	男	女		
明治40年	12.17	6,641	31,866	15,667	16,199	2,618	市制施行
大正5年	12.17	8,374	42,737	21,031	21,706	3,512	
大正9年	12.17	9,541	49,607	23,271	26,336	4,076	第1回国勢調査
昭和5年	18.80	14,648	72,165	35,797	36,368	3,839	大正14年1村合併による
昭和20年	19.87	16,753	76,532	35,080	41,452	3,852	昭和18年1部合併による
昭和30年	214.85	30,925	145,228	71,047	74,181	676	昭和29年13カ村合併による
昭和35年	226.14	34,800	148,710	71,626	77,084	658	
昭和40年	226.20	39,789	154,131	73,840	80,291	681	
昭和45年	226.20	45,421	162,931	78,733	84,198	720	
昭和50年	264.30	55,007	185,595	89,886	95,709	702	昭和49年本郷村との合併による
昭和55年	264.30	60,594	192,085	93,731	98,354	727	
昭和60年	264.60	64,192	197,340	96,803	100,537	746	
平成12年	265.87	80,367	208,056	102,430	105,626	782	特例市の指定を受ける
平成15年	265.87	82,596	209,018	102,823	106,195	788	
平成16年	265.87	83,154	208,520	102,525	105,995	784	
平成17年	919.35	90,308	228,376	112,211	116,165	248	平成17年4月四賀村・安曇村・奈川村・梓川村との合併による
平成18年	919.35	91,041	228,422	112,112	116,310	248	
平成19年	919.35	91,574	228,322	112,118	116,204	248	
平成20年	919.35	92,319	228,220	112,015	116,205	248	
平成21年	919.35	92,715	227,615	111,679	115,936	247	
平成22年	978.77	98,597	243,055	119,182	123,873	248	平成22年3月波田町との合併による
平成23年	978.77	99,443	243,075	119,132	123,943	248	
平成24年	978.77	100,418	243,753	119,484	124,269	249	
平成25年	978.77	101,604	243,064	119,131	123,933	248	
平成26年	978.77	102,275	242,458	118,684	123,774	247	
平成27年	978.47	102,834	241,846	118,375	123,471	247	
平成28年	978.47	103,350	241,279	118,161	123,118	247	
平成29年	978.47	104,070	240,470	117,740	122,730	246	
平成30年	978.47	104,971	239,757	117,427	122,330	245	
令和元年	978.47	105,681	238,990	116,974	122,016	244	

資料：情報政策課

教育の基本計画

1 「学都松本」をめざして

(1) 第2次松本市教育振興基本計画「学都松本をめざして」の推進

ア 計画策定の趣旨

平成23年度に、教育委員会としてのめざすべき方向性及び目標を明らかにし、その目標ごとの具体的な事業などを定めた松本市教育振興基本計画「学都松本をめざして」を策定しました。

この中では、「学都松本」としてめざすまちの姿を、学び続けるまち、共に学ぶまち、次代に引き継ぐまちとし、学都松本推進事業を始め、子どもの教育、生涯学習、スポーツ、芸術、歴史・文化資産に関わる取組みを進めてきました。

平成28年度には、変化する社会情勢や教育を取巻く状況に対応するため、基本的な考え方と方向性について定める「基本構想」はそのままに、施策の具体的な方策を定める「基本計画」の見直しを行い、平成29年度にこれまでの5年間の取組みを踏まえた、これからの5年間の教育施策の展開を示す第2次松本市教育振興基本計画を策定しました。

イ 計画の位置づけ

この計画を、教育基本法第17条第2項に基づく地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画とするとともに、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3に基づき、市長が定める「松本市教育大綱」に位置付けました。

また、市政運営の長期的かつ総合的な基本計画である「松本市総合計画（基本構想2020・第10次基本計画）」における教育・文化に関する個別計画としての性格を有します。

(2) 「学都松本」としてめざすまちの姿

松本市は、将来の都市像に「美しく生きる～健康寿命延伸都市・松本」を掲げ、いのちの質や人生の質の向上をめざして市政運営を進めています。第10次基本計画では「健康寿命延伸都市・松本」を更に前進させる「生きがいの仕組みづくり」に取り組んでいます。

この理念を根底で支えるのが、次の3つのまちの姿の実現です。

- 学び続けるまち
市民一人ひとりが自らの意思で何を学ぶかを決め、学び続けるまち
- 共に学ぶまち
市民の学びを地域や行政が協働してサポートし、「共に学ぶまちづくり」を推進するまち
- 次代に引き継ぐまち
市民一人ひとりが学んだ知識・技術を社会に生かして、次代に引き継ぐまち

(3) 「学都松本」への取組みの指針

「学都松本」をめざすため、次に掲げる5つの指針に基づき各種事業に取り組みます。

- ① 一人ひとりが生涯にわたって人間性を培う教育をめざします。
- ② 子どもの感性を磨く様々な取組みを進めます。
- ③ 不易を貫き、変わらない大切なことを継続します。
- ④ 地域とともに歩みます。
- ⑤ 「ある」から「する」へ転換し、「点」から「線」・「面」へ活動を広げます。

(4) 「学都松本」に向け育てたい力

「学都松本」への取組みの指針に沿って事業を進めていくためには、市民一人ひとりの活動が大きな原動力になります。様々な学びを通して次に掲げる7つの力を育み続けることが「学都松本」につながるものと考えます。

- ① 自ら学び、考え、創造する力
- ② 主体的に行動し、挑戦する力
- ③ 我慢する力、やり遂げる粘り強さ
- ④ 人間関係を築くコミュニケーション力
- ⑤ 命の大切さ、思いやりの心
- ⑥ 情感豊かな心、人間性
- ⑦ 確かな学力、健康・体力

(5) まつもと市民生きいき活動

「学都松本」に向けた5つの取組み指針のうち、「不易を貫き、変わらない大切なことを継続します。」を実践する活動として、「まつもと市民生きいき活動」を展開しています。豊かな人間性、公正さを重んじる心、思いやりなど、社会や時代が変わっても、人として大切にしたいことを、市民一人ひとりが地道に実践し、次代に引き継いでいくことをめざしています。

まつもと市民生きいき活動

わたしは ころろをみがき、からだを使おう

あなたに あいさつをしよう

このまちを きれいにしよう



まつもと市民
生きいき活動

2 松本市総合計画との関係

松本市の教育施策は、総合計画において定める6つのまちづくりの基本目標のうちの一つ、「ともに学びあい人と文化を育むまち」を基本に、教育振興基本計画～学都松本をめざして～を次のとおり体系的に位置付け、その実現に向けて個々の事業に取り組んでいます。

松本市総合計画（松本市基本構想2020・松本市第10次基本計画）

まちづくりの基本目標	
1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち 〈「人」の健康〉
2	一人ひとりが輝き大切にされるまち 〈「生活」の健康〉
3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち 〈「地域」の健康〉
4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち 〈「環境」の健康〉
5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち 〈「経済」の健康〉
6	ともに学びあい人と文化を育むまち 〈「教育・文化」の健康〉

まちづくりの基本目標

- 6 ともに学びあい人と文化を育むまち 〈「教育・文化」の健康〉

教育分野の
個別計画

<基本構想> 「学都松本」をめざして

「学都松本」としてめざすまちの姿

(1) <<学び続けるまち>>

市民一人ひとりが自らの意思で何を学ぶかを決め、学び続けるまち

(2) <<共に学ぶまち>>

市民の学びを地域や行政が協働してサポートし、「共に学ぶまちづくり」を推進するまち

(3) <<次代に引き継ぐまち>>

市民一人ひとりが学んだ知識・技術を社会に生かして、次代に引き継ぐまち

「学都松本」への取組みの指針

- (1) 一人ひとりが生涯にわたって人間性を培う教育をめざします。
- (2) 子どもの感性を磨く様々な取組みを進めます。
- (3) 不易を貫き、変わらない大切なことを継続します。
- (4) 地域とともに歩みます。
- (5) 「ある」から「する」へ転換し、「点」から「線」・「面」へ活動を広げます。

「学都松本」に向け育てたい力

- (1) 自ら学び、考え、創造する力
- (2) 主体的に行動し、挑戦する力
- (3) 我慢する力、やり遂げる粘り強さ
- (4) 人間関係を築くコミュニケーション力
- (5) 命の大切さ、思いやりの心
- (6) 情感豊かな心、人間性
- (7) 確かな学力、健康・体力

具体化

松本市総合計画
健康寿命延伸都市・松本

松本市子どもの権利に関する条例

3 教育振興基本計画における個別計画

施策	施策の方針	主な内容
1 子どもの教育の充実	(1) 子どもの権利の推進	●子どもの権利学習会等により子どもの権利条例の普及 ●子どもの権利侵害に対する取組み ●子どもの貧困対策 ●子どもの自主性を育む取組み
	(2) 子育て・幼児教育の充実	●あるぷキッズ支援事業等による幼保小中連携 ●ブックスタート事業等による子育て支援の推進
	(3) 学校教育の充実	●確かな学力の向上や豊かな心等の育成など、生きる力の育成 ●いじめ防止等のための基本的な方針に基づく総合的な取組み ●不登校対策のための支援員の充実、関係団体等との連携 ●教育文化センターの再整備による科学などの充実 ●学校の適正規模化等のための検討に着手
	(4) 学校と家庭と地域の連携	●松本版コミュニティスクールの推進 ●子ども未来応援事業(子どもの居場所の拡大:食事提供や学習支援) ●青少年の居場所や学び直しができる環境づくり
	(5) 学校給食と食育の推進	●学校給食センターのあり方検討 ●地産地消、食育の推進 ●アレルギー対応食提供事業(アレルギー解除に向けた取組みなど)
	(6) 環境教育の推進	●環境教育や体験学習 ●トライやるエコスクール事業による環境教育の推進
	(7) 子ども関係施設の整備・充実	●ユニバーサル化等に配慮した学校施設の大規模改造事業の実施 ●学校施設の長寿命化のための改良事業 ●松本市学校教育情報化推進計画の策定でICT教育の環境整備
2 生涯学習の推進	(1) 生涯学習の推進	●学都松本推進事業 ●生涯学習支援事業 ●人権啓発推進講座 ●まつもと市民生きいき活動とスマイル運動との連携
	(2) 公民館の学びを通じた地域づくり	●学びの地域創生事業による活躍の場と担い手の創出 ●退職男性を対象にした生きがいくくり ●福祉ひろば世代間交流事業で地域のつながり等の推進
	(3) 図書館運営の充実	●子ども読書活動推進計画の推進 ●図書館ネットワークの拡充 ●図書館資料、情報の提供 ●障害者サービスの充実
	(4) 社会教育施設等の整備・充実	●公民館大規模改修 ●ユニバーサルデザイン化の推進 ●旧松本高等学校校舎の耐震化事業 ●町内公民館整備補助金
3 スポーツを通じた健康づくり	(1) 市民皆スポーツの推進	●各種健康スポーツ教室・大会の開催 ●熟年者スポーツ振興事業 ●松本マラソン等で「みるスポーツ」「支えるスポーツ」の機会創出
	(2) スポーツ団体・リーダーの育成	●スポーツクラブやリーダーの育成 ●各種スポーツ大会支援
	(3) 社会体育施設の整備・充実	●社会体育施設の計画的な改修や機能の充実
4 文化芸術を通じた教育の推進	(1) 鑑賞の場の充実	●展覧会の充実 ●美術資料の収集・保存管理事業 ●開館20周年に向けた企画展等の開催
	(2) 表現・学習・交流の場の充実	●教育普及事業 ●交流事業 ●地域文化事業の振興 ●文化芸術の総合的なポータルサイトの開設による情報発信の充実
5 歴史・文化資産の保護と活用	(1) 松本まるごと博物館構想の推進	●まるごと博物館推進事業 ●歴史文化基本構想推進事業 ●埋蔵文化財保護事業 ●文化財保存管理事業
	(2) 博物館事業の推進	●基幹博物館整備事業 ●特別展の開催
	(3) 松本城の保存・整備と活用	●松本城のホスピタリティの向上と安全確保による城下町のまちづくりの推進 ●世界文化遺産の登録に向けた取組みの推進
6 教育委員会の機能の充実	(1) 開かれた会議運営と市民意見の反映	●地区の皆さんと語る会 ●移動教育委員会

4 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（開始年度 平成21年度）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、毎年教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価をしています。

点検及び評価に当たっては、教育部各課で年度末に事務事業の総括と自己評価を行い、外部意見として社会教育委員の意見を聴取したうえで、教育委員会の改善方針をまとめ、市議会への報告と市公式ホームページへの公開をしています。

5 学都松本推進事業

(1) 趣旨

教育振興基本計画に基づく「学都松本」を実現するため、学都松本推進協議会等との協議を通じて、市民協働で学都松本推進事業に取り組んでいます。

学都松本フォーラムの開催や「学びの9月」事業の充実など、あらゆる機会を捉えての「学都松本」の市民周知を通して、生涯にわたっての市民の学びの機会を広めるとともに、学びの環境づくりを進めています。

(2) 実施経過

ア 学都松本フォーラム

学都松本推進事業のメイン事業として実施

第1回学都松本フォーラム (平成24年度)	平成24年9月2日(日) あがたの森文化会館など
(1) テーマ 学都松本をめざして (2) 実施形態 学都松本フォーラム実行委員会、予算：350千円 (3) 内容 基調講演・パネルディスカッション、展示(13)、催事(9)など (4) 参加者 1,730人	
第2回学都松本フォーラム (平成25年度)	平成25年9月7日(土)8日(日) あがたの森文化会館など
(1) テーマ 学びでつながる わたしたち～共に学び、次代に引き継ぐために～ (2) 実施形態 学都松本フォーラム実行委員会→学都松本推進協議会(6月から) 予算：780千円 (3) 内容 基調講演・パネルディスカッション、展示(12)、催事(18)、同時開催 イベント(子どもプレイパーク、サタデーコンサートなど) (4) 参加者 1,180人	
第3回学都松本フォーラム (平成26年度)	平成26年9月6日(土)7日(日) あがたの森文化会館など
(1) テーマ 日々の学びへの気づき (2) 実施形態及び予算 学都松本推進協議会(主管)、予算：1,020千円 (3) 内容 全体会(委員長講話、松商放送部発表、トークセッション)、食育講演会、 スポーツシンポジウム、展示・催事(19)、同時開催イベント(子どもプレイパーク、 サタデーコンサート、サロンあがたの森など) (4) 参加者 1,943人	

第4回学都松本フォーラム (平成27年度)	平成27年9月5日(土)・6日(日) あがたの森文化会館、音楽文化ホール
(1) テーマ “ひとり” から “みんな” の学びへ (2) 実施形態及び予算 学都松本推進協議会(主管)、予算:1,450千円 (3) 内容 基調講演会:池上彰氏「学び続ける力、伝える力」、食育講演会、語り場、催事展示(22)、食と学びのブース(7)、同時開催イベント(子どもプレイパーク、サタデーコンサート、秋の気分爽快ウォーク) (4) 参加者 2,703人	
第5回学都松本フォーラム (平成28年度)	平成28年9月3日(土)・4日(日) あがたの森文化会館など
(1) テーマ 「学ぶ」って おもしろい!～ふくらむ つながる ひろがる～ (2) 実施形態及び予算 学都松本推進協議会(主管)、予算:1,320千円 (3) 内容 基調講演会:高橋源一郎氏(100年後の14歳へ贈る「ことば」)、食育講演会、分科会(7)、催事展示、食と学び含む(37)、同時開催イベント(子どもプレイパーク、サタデーコンサート、秋の気分爽快ウォーク) (4) 参加者 2,577人	
第6回学都松本フォーラム (平成29年度)	平成29年9月2日(土)・3日(日) あがたの森文化会館など
(1) 年間活動テーマ 「学ぶ」って おもしろい! (2) 実施形態及び予算 学都松本推進協議会(主管)、予算:1,270千円 (3) 内容 基調講演会:天達 武史氏(天気の人達が語る学び 私が気象予報士をあきらめなかった理由)、分科会(4)、催事展示(21)、同時開催イベント(子どもプレイパーク、サタデーコンサート) (4) 参加者 2,041人	
第7回学都松本フォーラム (平成30年度)	平成30年9月22日(土)・23日(日) Mウイング・中央体育館
(1) 年間活動テーマ 「学ぶ」って おもしろい! (2) 実施形態及び予算 学都松本推進協議会(主管)、予算:1,320千円 (3) 内容 基調講演会:柳田 理科雄氏(考えることは楽しい、だから科学はおもしろい)、催事展示(22)、同時開催イベント(子どもプレイパーク、松本ノーマイカーデー) (4) 参加者 1,036人	
第8回学都松本フォーラム (令和元年度)	令和元年9月21日(土)・22日(日) Mウイング・中央体育館
(1) 年間活動テーマ どこにでも学びはある。 (2) 実施形態及び予算 学都松本推進協議会(主管)、予算:1,230千円 (3) 内容 基調講演会:今泉 忠明氏(愛すべき“ざんねんないきもの”と進化)、催事展示(18)、同時開催イベント(子どもプレイパーク、第1回博物館まつり、第1回具だくさんみそ汁コンテスト) (4) 参加者 1,042人	

イ 学びの9月事業

学都松本フォーラムが行われる9月を学都松本推進月間として市内各種事業をまとめたリーフレットを作成し、総合的に学びの9月を周知

ウ 学都松本・教育100年を語る会

年間を通じ、考える楽しさを提供する機会として、年6回開催

開催日	会場	講座内容
第1回 5月27日	あがたの森文化会館	①「100年前の子どものクラフト」 ②100年前の先生の言葉「最近の若者は元気がない」
第2回 7月28日	松本市立博物館	小学校はなにを学ぶところ？～旧開智学校校舎の資料から～
第3回 9月23日	Mウイング	「楽しい学校ってどんなところ？」～みなさんの思い出と体験から～
第4回 11月24日	あがたの森文化会館	「ぼくらは開智国民学校一年生」～戦時下の奉安殿と教育勅語～
第5回 1月26日	第三地区公民館	「教科書で語る戦後」私論～「教科書」はいつから「希望」を謳わなくなったのか～
第6回 3月23日	勤労者福祉センター	「歴史認識と外交」～歴史教科書の変遷を手掛かりに今日の外交を考える～

エ その他

「学都松本」を周知するため、学都松本推進ポスターや学都松本グッズなどを作成

6 令和元年度 生涯学習課・中央公民館概要及び重点目標の内容

(1) 事務事業の概要

ア 松本市生涯学習基本構想の精神「学びの森づくり」を踏まえ、生涯学習の施設整備や地域住民の主体的な学習活動の支援を行い、自治能力を高める学習活動の推進及び生涯学習による地域づくりを目指します。

イ 地区公民館を総合的な地域づくりの拠点と位置づけ、地域の課題と向き合い、地域住民が主体的に解決のための学習機会を実践し充実させていく、松本らしい地域づくりを目指した公民館活動を展開します。

(2) 重点目標の内容、具体的な進め方、自己評価等

ア 多世代参画型地域共生コミュニティづくりモデル事業

(ア) 内容

地域共生社会の実現に向け、35地区の地域づくりの基盤である住民自治をより強固なものにするため、全国の社会教育を生かした地域づくりや地域おこしに精通している東京大学の牧野教授の研究室との共同事業として、町会単位で円滑な人間関係を構築してきた町内公民館を活用して、子どもから高齢者まで様々な人々が集い、気軽に、共に楽しく学び、生きていく場として、「多世代参画型地域共生コミュニティ」の構築を目指し、今後2年にわたり以下の取組みを推進します。

(イ) 具体的な進め方等

- a 住民が身近な地域でつながり、子どもや若者、高齢者等が地域で役割を持つことで楽しみや生きがいを感じると共に、地域参画と人材育成（担い手づくり）を促進します。
 - b 中央地区鷹匠町町会・里山辺地区新井町会・安曇地区橋場町会の3町会をモデル町会として、町内公民館をベースとした自治の仕組みや蓄積のある松本市をフィールドに、東京大学の牧野教授の研究室による実態調査や課題解決に向けた町内公民館を拠点とするプログラムの実践と検証を行います。
 - c 地区公民館を含む公民館職員が一体となって本事業に取り組み、モデル町会の実践の内容を全35地区で共有し、各地区の実践に生かし、松本モデルとして発信していきます。
 - d 地域コミュニティ（地区・町会）と関わりの深い施策を推進する関係部署からなる地域づくり関係課調整会議において、事業の内容を共有・研究し、地域づくりの実践に生かします。
- (ウ) 自己評価（成果・課題）
- a 中央地区鷹匠町町会（旧市部）、里山辺地区新井町会（新市部）、安曇地区橋場町会（安曇地区他町会への広がりも模索：中山間地）をモデル3町会として、ワークショップを通じて、町会の現状や課題を認識、共有しました。
 - b ワークショップ等の話し合いの中から、子どもたちの夏合宿の実施を機に子どもと親世代が町会運営に参加する動き、公民館寺子屋を計画する等、子どもを中心にした新旧住民の交流の動き、町会の枠を越えて有志団体とともに地域を活性化しようとする動き等、住民主体の活動が見られました。
 - c 2月16日に開催された「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第35回公民館研究集会 令和元年度地域づくり市民活動研究集会～」で牧野教授による基調講演と牧野研究室の大学院生によるモデル3町会の研究発表を行いました。
 - d 地域づくり関係課職員連絡会で随時進捗状況を報告するとともに、健康福祉部、地域づくり部が進める地域包括ケアシステムの推進研修会で、「地域包括ケアシステム松本モデルを更に進めるために」と題し、地域共生社会に向けた牧野教授による講演会を行いました。
 - e 地域住民が「当事者意識」を持つための働きかけを継続し、行政依存でなく住民主体の地域参画や担い手づくりにつなげていくことが課題です。
 - f 地域共生社会に向けて、地域づくりセンター長や生活支援コーディネーター等の職員の参加と、地域づくり部、健康福祉部など庁内横断の取組みが課題です。

イ 松本版コミュニティスクール事業

(ア) 内容

学校と地域と家庭が連携・協働しながら、子どもたちが地域の中でしか体験できないことを学ぶ貴重な機会をつくり、地域全体で子どもたちを見守り育てる意識を高めていくように本事業を進めます。

身近な地域で大人に見守られて安心して豊かな感性や感受性を育み、地域の特性を生かした様々な体験を積み重ねることで、変化の激しい予測しにくいこれからの時代をたくましく生き抜いていく子どもたちを育成し、将来の担い手育成に繋がります。

(イ) 具体的な進め方等

- a 地区公民館が学校と地域を結ぶコーディネーター役となり、地域全体で子どもを育てる意識向上を図ります。

- b 子どもたちが、地域の行事や活動に参加し、地域の中でしか体験できないことを学ぶ貴重な機会として、地域参加や職業体験ができる仕組みや地域でボランティア活動のマッチングが出来る仕組みづくりを通して、次世代の担い手となるべく地域への帰属意識を醸成する事業を展開します。
 - c 一部ボランティアの参加に留まらず、地域住民が楽しみや生きがいを感じながら、主体的に参加する交流機会を作ります。
 - d 学校と地域と家庭が、どんな子どもに育てたいか、どんな地域にしたいか、という目標やビジョンを共有しながら連携・協働して進めます。
- (ウ) 自己評価 (成果・課題)
- a 地区公民館が学校と地域を結ぶコーディネーターとなり、コミュニティスクール運営委員会の熟議等を大切に、地域全体で子どもを育てる意識向上とともに、地域の人材の紹介や学習の場の提供を図りました。
 - b 公民館での防災合宿、里山保全活動や一人暮らし世帯の高齢者宅のゴミ出し等は、地域の中でしか体験できないことを学ぶ貴重な機会として、地域への帰属意識を醸成しています。
 - c 明善中学校区では総合的な学習の時間として、関係する4地区(松原・寿台・内田・中山)の運動会や夏祭り等に中学生が主体的に参画していくことがコミュニティスクール運営委員会で話し合われています。
 - d 7月4日の松本版コミュニティスクール研修会には多くの関係者(学校職員・公民館職員・地区住民)が参加しました。また、公民館の研修会では事例発表や情報交換を行い、情報共有を図っていますが、地域による取組みの差があり「松本版の認知度が低い」との指摘もありました。
 - e 職員の人事異動や役員交代など、事業の継続や繋がりが懸念されており、事業全体を把握し、相談に応じることのできる「統括コーディネーター」の配置を研究していきます。

ウ 若者の居場所づくりと社会参画事業

(ア) 内容

a 青少年ホーム事業

若者が気軽に集まることができる魅力ある居場所づくりを通じ、ひきこもりの若者を含め、交流を通じて他者との関係性の構築や多様なニーズに対応できる学び直し支援を進め、社会で生きていく力を培うことを支援します。また、若者が成長し社会で活躍できるように、積極的にまちづくりに取り組んでいくきっかけづくりを進めます。

b 中央公民館事業

若者が気軽に集い、自分で考え主体的に行動する活動を応援する場として事業を展開します。

(イ) 具体的な進め方等

a 青少年ホーム事業

- (a) 青少年の将来の選択肢を広げる「職人から学ぶ講座」を企画、実施します。
- (b) 若者がまちづくりを考える「松本若者会議」を企画し、信州大学と連携しながら、若者が松本の魅力について意見交換する場を設けます。
- (c) コーディネーターと連携し、ひきこもりの若者も参加しやすい講座を企画、実施します。

b 中央公民館事業

高校生や大学生等若者の手まり時計まつりへの参加や若者講座の開催等、若者が主体的に活動する場づくりを進めます。

(ウ) 自己評価（成果・課題）

a 青少年ホーム事業

- (a) 「職人から学ぶ講座」として、スイーツづくり、おいしいコーヒー・ハーブティーの入れ方、竹細工体験等を実施し、併せて、希望があれば職人の仕事場の見学、体験ができる体制づくりを進めました。
- (b) 大学生、社会人の若者が主体となって「松本若者会議」を3回実施し、松本を若者が住みたいまちにするために取り組みたいテーマをワークショップでまとめ、市民の方と意見交換を実施しました。また、新成人が主体となって「新成人松本若者会議」を実施し、松本市を若者にとって魅力的なまちにするために大切なことをワークショップでまとめて、青少年ホームのロビーに掲示しました。
- (c) コーディネーターと連携し、ボードゲームカフェ、ウォーキングサッカー及びバスケットボール交流会等を実施しました。発達障害のある若者の参加もありました。
- (d) 若者が気軽に利用できるフリースペースとして、若者カフェを毎週日曜日になんなんひろば喫茶談話室に設置し、講座も実施しました。今後、若者カフェを活用しながら、ひきこもりの若者も気軽に集まることができる環境づくりを進めます。
- (e) 困難を抱える若者等の専用スペースがありません。ひきこもり等の困難を抱える若者の参加を得ること、実態を把握することが困難です。

b 中央公民館事業

手まり時計まつりで学生がポスターのデザインを担当、屋外ステージでは演奏を行うなど若者が主体的に行動し、賑わいを創出しました。

松本市公民館研究集会で松本大学の学生がチラシのデザインを担当、分科会運営委員に「若者コミュニティBRIDGE」、「信州大学地域参画プロジェクトCHANGE」、「松本ユース平和ネットワーク」が参画し、分科会運営等を担い、若者が主体的に活動する場となりました。

エ 町内公民館活動の支援

(7) 内容

- a 最も身近なコミュニティ活動を支えるため、ソフト・ハード面からの支援をします。
- b 昨年度に発刊された「町内公民館活動の手引き」改訂版（前回改定：平成17年度）を各種研修等で活用します。
- c 町内公民館整備補助事業
地域住民が利用する集会施設（町内公民館等）の整備に対し補助金を交付します。

(イ) 具体的な進め方等

- a 「町内公民館活動の手引き」改訂版の作成
町内公民館長会総会に合わせて改訂版を発刊し、活用します。
- b 町内公民館整備補助事業
(a) 町会等の申請を受領後、速やかに事務手続きを進め、補助金を交付します。

(b) 主な補助事業内容

区 分		補 助 率	限 度 額
新 築	未設置	2 / 3	1, 0 0 0 万円
	既設置	1 / 2	1, 0 0 0 万円
改 築		1 / 2	1, 0 0 0 万円
増 築		1 / 2	6 0 0 万円
改 修		1 / 2	5 0 0 万円
福 祉 ・ 耐 震		2 / 3	5 0 0 万円
公民館敷地取得		2 / 3	1, 0 0 0 万円

(ウ) 自己評価 (成果・課題)

a 「町内公民館活動の手引き」改訂版の作成

地域づくりセンターや地域包括ケアシステムなど、地域社会の変化を反映させ、14年ぶりに第6次改訂版として、1,500部発行しました。市内487町内公民館へ2部ずつ配付するとともに、関係課・関係機関に配置しました。町内公民館長会の研修や地域づくり施策の検討における活用を促し、松本市独自の町内公民館の機能や取組みに関する理解を広めました。町内公民館の機能に対する理解を図り、町内公民館を核とした町会単位の地域づくりの推進につなげています。

b 町内公民館整備補助事業

(a) 町会等の申請を受けて、152件、109,351千円(見込み)の補助金を交付しました。トイレ洋式化・手すり設置に伴う福祉改修及びエアコン設置等の一般改修が増え、前年度に比べ49件、19,355千円増加しました。

町会からは、「公民館が使いやすく、便利になった。」等のご意見をいただいています。

○町内公民館整備補助金 実績(見込み)

(単位:件)

年度	新築	改築	増築	改修	建物取得	用地取得	福祉耐震	借地	借家	合計	金額(千円)
H30(a)	0	4	1	47	0	0	10	38	3	103	89,996
R元(b)	1	2	0	84	0	3	24	35	3	152	109,351
増減(b)-(a)	1	▲2	▲1	37	0	3	14	▲3	0	49	19,355

R2.3.2 現在

(b) 全町会を対象としたアンケート調査では、今後5年以内に改修を計画している町会が全体の8割程度あります。福祉関連整備補助の充実とあわせて、今後は老朽化に伴う大規模工事等への支援も課題であり、必要な検討を進めます。

オ 社会教育施設整備事業

(ア) 内容

学習の場であり、地域づくりの拠点である市有施設の整備を進めます。

a 地区公民館整備事業

令和4年度の開館を目指して、里山辺公民館を移転・整備します。

b 重要文化財旧松本高等学校校舎耐震化事業

(a) 平成26年度から平成28年度に実施した耐震基礎診断結果では、大規模地震発

生時に倒壊の危険性が高いと指摘されています。

- (b) 平成28年度、建物の保存・活用・防災方針等をまとめた保存活用計画を策定
平成29年度、文化庁指導のもと追加耐震診断を実施。より大規模な地震を想定した設計を行い、平成30年度から6年間の予定で耐震補強工事を実施しています。

(イ) 具体的な進め方等

a 地区公民館整備事業（里山辺公民館）

整備事業計画に基づき、次のとおり事業を実施します。

令和元年度 … 用地取得、地質調査、実施設計等

令和2年度 … 用地取得、実施設計、造成工事、新築工事

令和3年度 … 新築工事、外構工事

令和4年度 … 開館（予定）

b 重要文化財旧松本高等学校校舎耐震化事業

国庫補助事業計画に基づき、次のとおり段階的に耐震補強工事を実施します。

平成30年度 … 耐震補強工事（講堂Ⅰ期）

令和元年度 … 耐震補強工事（講堂Ⅱ期）

令和2年度 … 耐震補強工事（本館Ⅰ期）（講堂Ⅲ期）

令和3年度 … 耐震補強工事（本館Ⅱ期）

令和4年度 … 耐震補強工事（本館Ⅲ期）

令和5年度 … 耐震補強工事（本館Ⅳ期）

(ウ) 自己評価（成果・課題）

a 地区公民館整備事業（里山辺公民館）

(a) 事業計画に基づき、用地（面積489.49㎡）を取得しました。

(b) 現在、地質調査結果を基に実施設計を進めており、令和2年10月までに業務を完了します。

b 重要文化財旧松本高等学校校舎耐震化事業

(a) 講堂外壁等の腐朽が著しく、講堂Ⅲ期工事（西玄関部分）として1年延長になりました。

(b) 令和2年度からの講堂の一般利用に支障のないよう工事を進めます。

(c) 国庫補助を取り込みながら計画的に進めます。

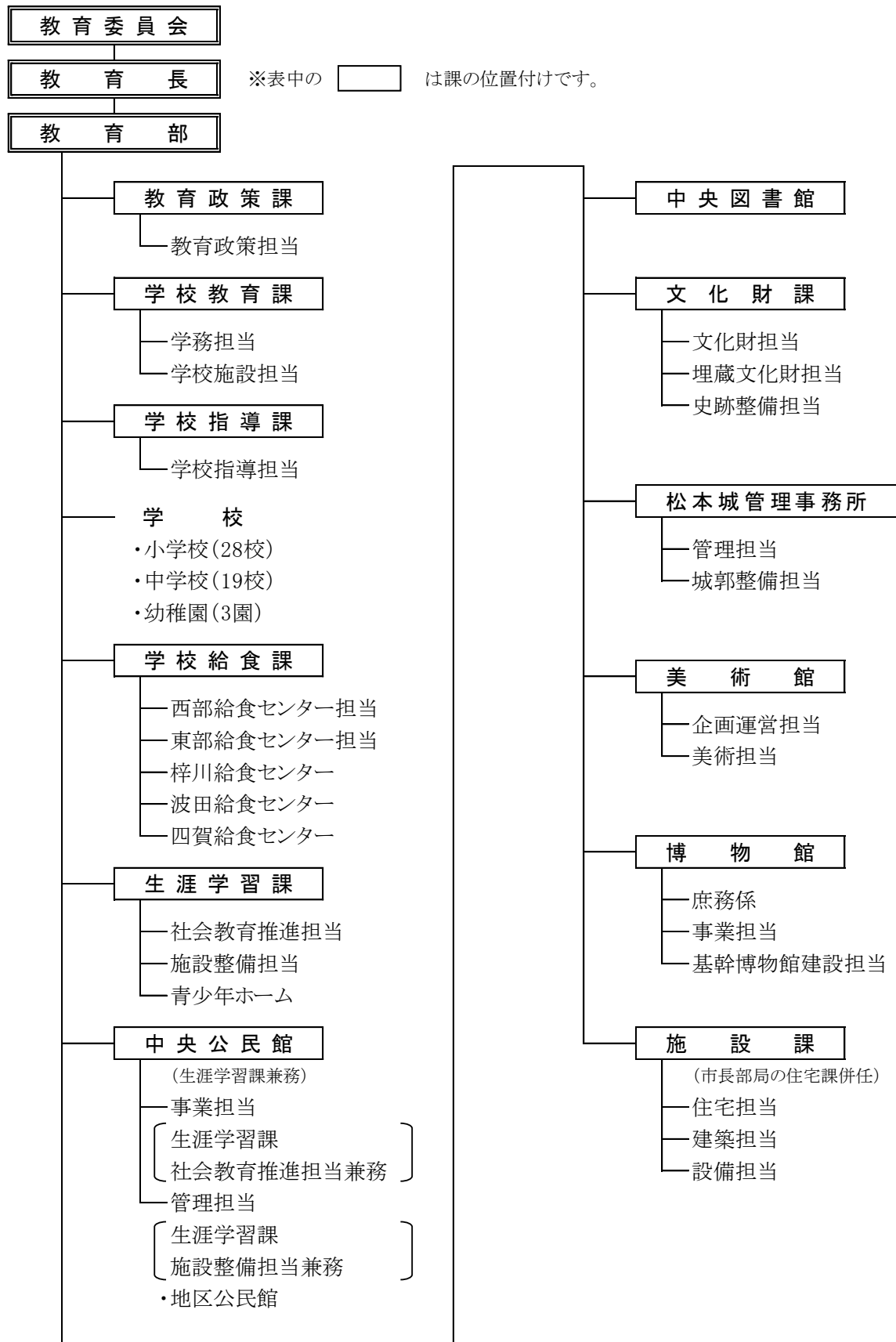
(3) 特筆すべき事項

ア 松本市芸術文化祭実行委員会60周年記念事業として、9月29日に市民による総合舞台劇「音にいのちあり～鈴木鎮一・愛と教育の生涯～」をまつもと市民芸術館で上演、昼夜で計1,653人が鑑賞するなど、市民による芸術文化活動の裾野を広げています。

イ 第35回公民館研究集会は、地域づくり市民活動研究集会とともに「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い」として開催し、市民提案による11の分科会が運営され、413人が参加。住民自治を育み、学びを基盤とする松本らしい地域づくりにつなげています。

ウ 社会教育施設の老朽化に伴う改修及び大規模改修に対応するため、本年度から施設整備担当を新設して、ハード事業を推進しています。生涯学習課の所管施設全40館のうち、27館が建設から20年以上が経過しており、補修・改修が急務となっているため、公共施設再配置計画に基づく個別施設計画を令和2年度中に策定し、計画的に対応します。

4 教育委員会組織図 (H31.4.1)



（附属施設等一覧）

教育政策課	
教育文化センター	視聴覚センター 科学博物館
学校教育課	
美ヶ原少年自然の家 教員住宅	
学校給食課	
西部学校給食センター 東部学校給食センター 梓川学校給食センター 波田学校給食センター 四賀学校給食センター	
生涯学習課	
あがたの森文化会館 同和教育集会所 池上百竹亭 ふれあいパーク乗鞍 奈川文化センター夢の森 青少年ホーム	
中央公民館	
地区公民館	
第一地区公民館	神林公民館
第二地区公民館	笹賀公民館
第三地区公民館	芳川公民館
東部公民館	寿公民館
城北公民館	寿台公民館
大手公民館	岡田公民館
安原地区公民館	入山辺公民館
城東公民館	里山辺公民館
白板地区公民館	今井公民館
田川公民館	内田公民館
庄内地区公民館	本郷公民館
鎌田地区公民館	松原地区公民館
松南地区公民館	四賀公民館
中山公民館	安曇公民館
島内公民館	奈川公民館
島立公民館	梓川公民館
新村公民館	波田公民館
和田公民館	
Mウイング文化センター	

中央図書館
図書館分館
南部図書館
あがたの森図書館
鎌田図書館
寿台図書館
本郷図書館
中山文庫
島内図書館
空港図書館
梓川図書館
波田図書館
松本城管理事務所
市営開智駐車場
美術館
梓川アカデミア館
博物館
博物館分館
重要文化財旧開智学校校舎
松本民芸館
旧山辺学校校舎
考古博物館
はかり資料館
旧司祭館
旧制高等学校記念館
窪田空穂記念館
重要文化財馬場家住宅
歴史の里
時計博物館
山と自然博物館
高橋家住宅
四賀化石館
安曇資料館

5 教育委員会職員数(R2. 5. 1現在)

()内は市長部局との併任

区 分	教育長 部 長	課 長	課 長 補 佐	係 長	主 査	主査補	事務系	技術系	会計年度 任用職員	合 計	備 考	
教 育 長	1									1		
教 育 部 長	1 (1)									1 (1)	()内 建設部長	
事 務 局	教育政策課		2	3		5		1		6	17	
	学校教育課		1	2	1		1	10		3	18	
	学校指導課		1	2		3		1		50	課長補佐1名は主任指導主事、主査は指導主事	
	学校給食課		1	3	4		1	1	56	88	154	職名栄養士、調理員、栄養教諭は技術系
	生涯学習課		2	4	1			9		11	27	課長1名は中央公民館長兼務
	文化財課		2	3		2		11		12	30	会任1名は研究専門員
	施設課		(1)	(4)	(1)	(3)			(16)	(1)	(26)	()内 住宅課
	小 計	2 (1)	9 (1)	17 (4)	6 (1)	10 (3)	2 0	33 0	56 (16)	170 (1)	305 (27)	
教 育 機 関	小 学 校							12	65	77	職名栄養士、調理員は技術系	
	中 学 校							6	33	39	小中統合校は全て小学校に含む	
	幼 稚 園				1	4	1	3	2	13	24	幼稚園教諭は事務系に含む
	中央公民館		(25)	(5)	(5)	7		28	35 (15)	70 (50)	会任35名は地区公民館長	
	中央図書館		1	2	3	4		7	40	57	会任5名は分館長	
	松本城 管理事務所		1	4		2		3	1	10	21	会任研究専門員4名は除く
	美術館		1	2	2	3		1	2	11	会任1名は館長(非常勤特別職)	
	博物館		2	3	2	2		14	21	44	会任中8名は分館長 課長補佐1名は生涯学習課課長補佐兼務	
小 計		5 (25)	11 (5)	8 (5)	22	1	56	21	219 (15)	343 (50)		
合 計	2 (1)	14 (26)	28 (9)	14 (6)	32 (3)	3 0	89 0	77 (16)	389 (16)	648 (77)		

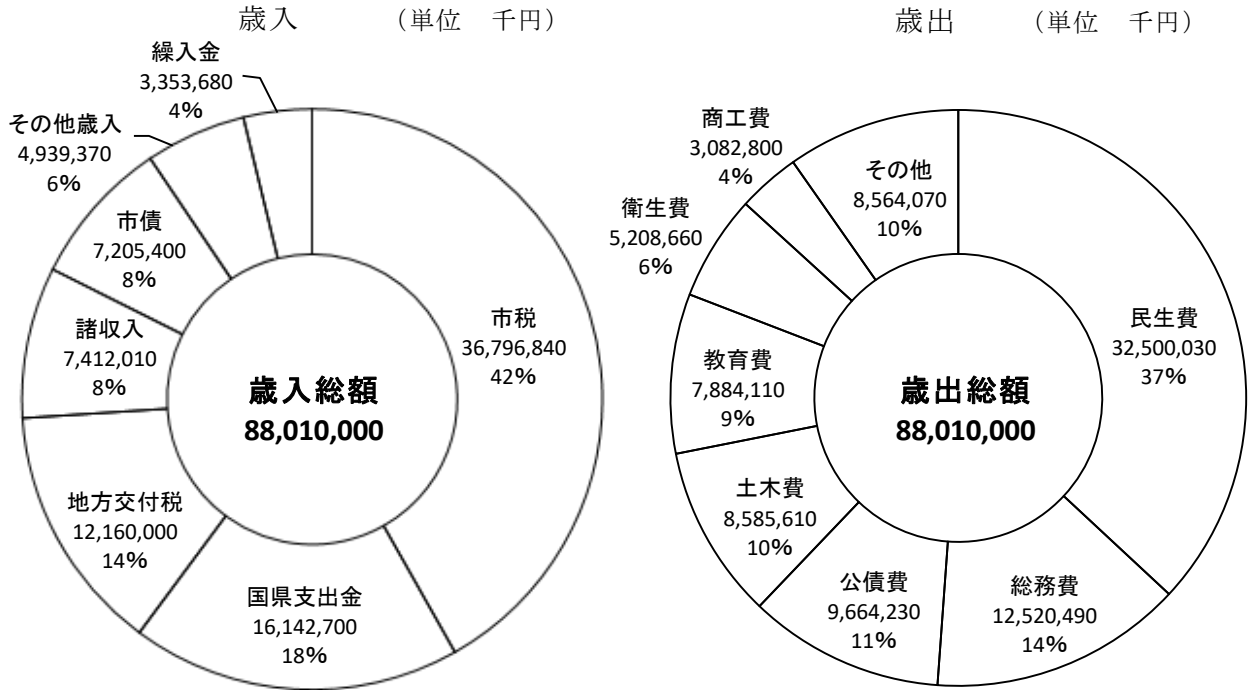
派遣等職員数

派 遣 先	課 長	課 長 補 佐	係 長	主 査	主査補	事務系	技術系	合 計	備 考
松本市・山形村・朝日村中学校組合						1	1	2	栄養士は技術系
合 計						1	1	2	

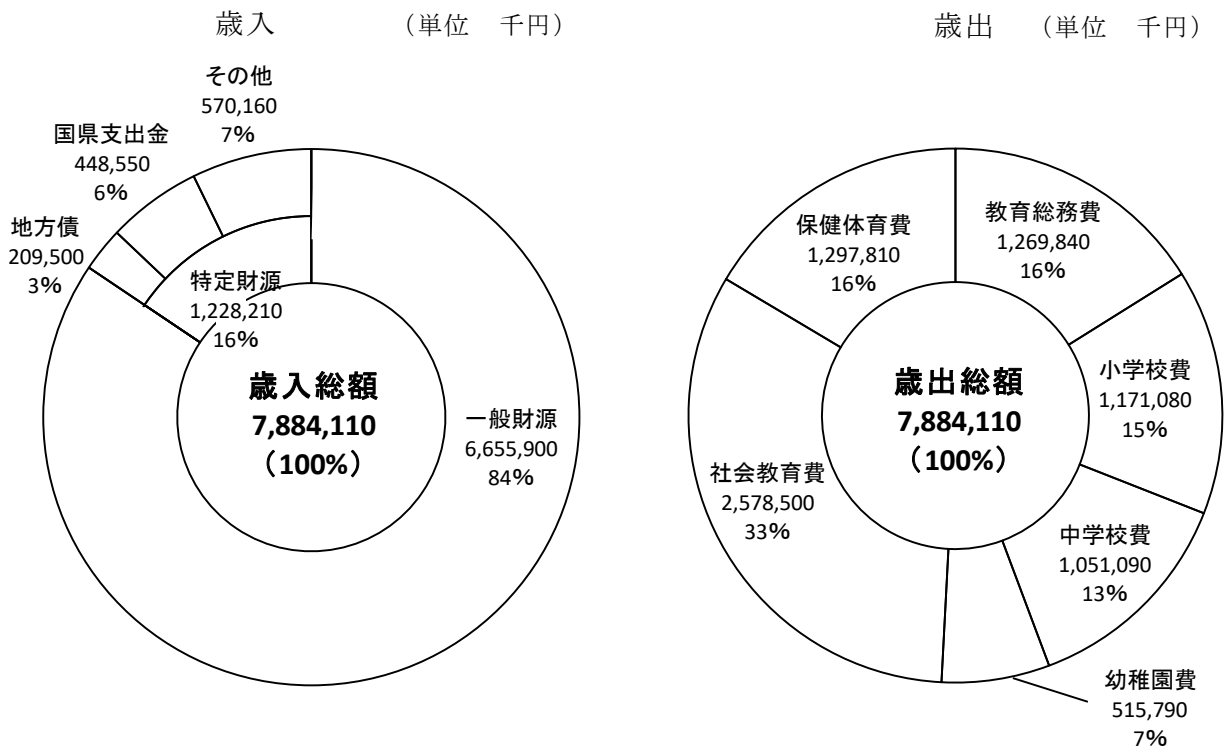
教育財政

1 教育関係予算の概要（令和元年度 当初予算）

(1) 一般会計予算



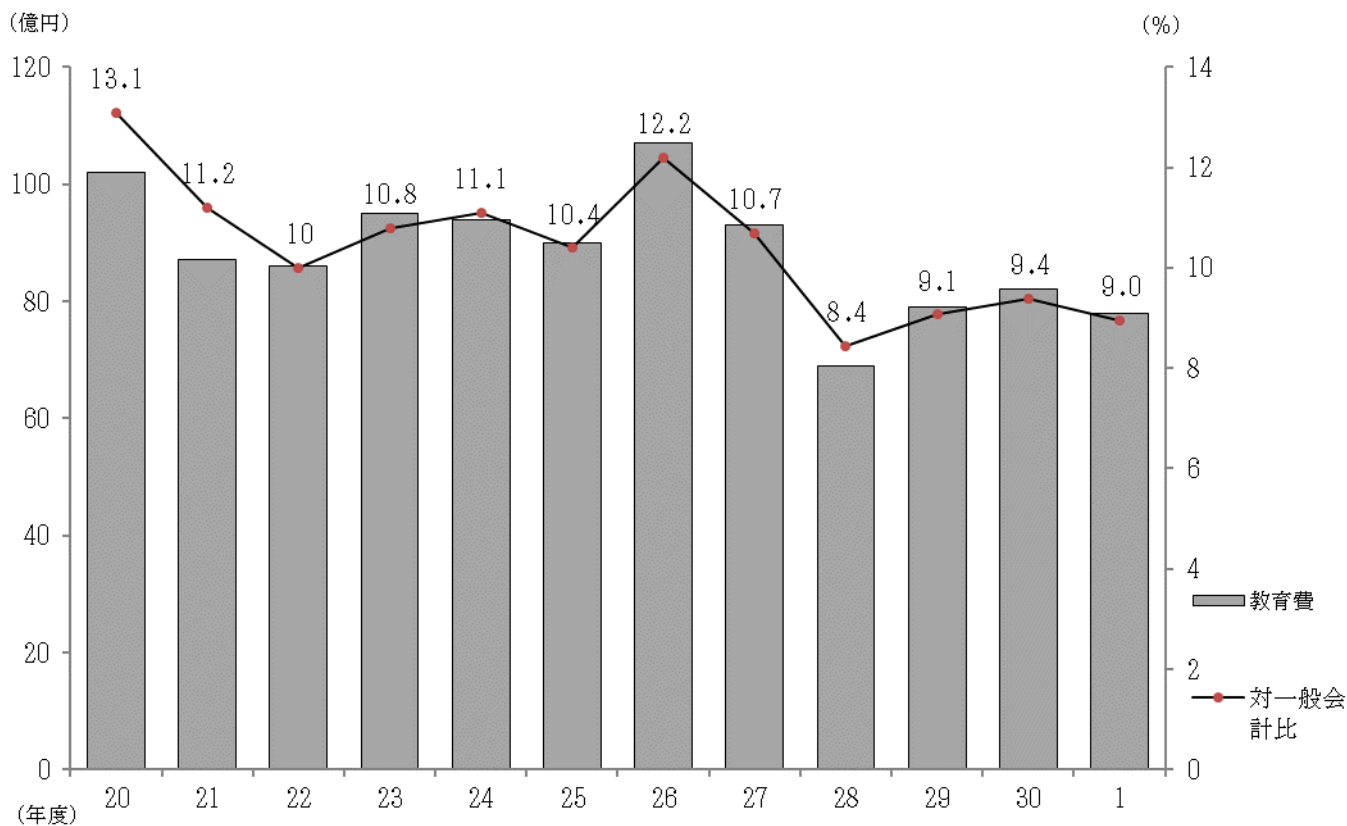
(2) 教育費関係予算



(3) 予算と決算の推移 一歳 出一

年度	当初予算額			最終予算額			決算額		
	一般会計	教育費	対一般会計比	一般会計	教育費	対一般会計比	一般会計	教育費	対一般会計比
	千円	千円	%	千円	千円	%	千円	千円	%
H20	77,750,000	10,219,720	13.1	88,656,565	11,873,511	13.3	79,634,752	9,895,072	12.4
H21	78,160,000	8,719,910	11.2	93,442,191	11,421,857	12.2	89,320,944	10,735,100	12.0
H22	86,340,000	8,667,280	10.0	95,769,086	10,420,022	10.9	91,644,870	9,328,253	10.2
H23	88,540,000	9,562,940	10.8	97,123,322	12,156,467	12.5	94,004,163	11,085,885	11.8
H24	84,930,000	9,468,780	11.1	92,697,320	13,156,280	14.2	89,839,673	11,783,020	13.1
H25	86,450,000	9,020,740	10.4	95,215,660	14,228,414	14.9	90,047,663	11,819,846	13.1
H26	87,780,000	10,727,910	12.2	94,942,519	14,058,155	14.8	91,524,927	12,985,022	14.2
H27	87,960,000	9,398,530	10.7	93,518,798	9,682,558	10.4	88,622,111	7,851,332	8.9
H28	82,290,000	6,947,440	8.4	93,964,202	11,203,038	11.9	90,490,021	9,858,114	10.9
H29	87,270,000	7,910,390	9.1	92,736,444	9,617,426	10.4	89,611,460	9,262,262	10.3
H30	87,780,000	8,239,180	9.4	90,428,310	9,994,670	11.1	87,443,590	8,342,842	9.5
R1	88,010,000	7,884,110	9.0						

教育費及び対一般会計比の推移（当初予算）



(4) 令和元年度教育費項目別の予算額（令和元年5月1日）

区分	予算額	構成比	児童生徒 一人当たり	備考
	千円	%	円	
総 額	7,884,110	100		市民一人当たり32,989円
教育総務	1,269,840	16.1		教育委員会費、事務局費、私立学校振興費 (報酬、事務局職員給与を含む)
小 学 校	1,171,080	14.9	94,786	学校管理費、教育振興費、学校施設費関係 (市費学校職員 給与を含む)
中 学 校	1,051,090	13.3	180,259	学校管理費、教育振興費、学校施設費関係 (市費学校職員 給与を含む)
幼 稚 園	515,790	6.5		幼稚園費 (職員給与を含む)
社会教育	2,578,500	32.7		社会教育総務費、公民館費、図書館費、博物館費、文化 費、美術館費、教育文化センター費 (教育機関職員給与を 含む)
保健体育	1,297,810	16.5		保健体育総務費、学校給食センター費 (給食センター職員 給与を含む)

(注) 1 市人口は令和元年5月1日現在の数による。(238,990人)

2 児童生徒数は令和元年5月1日現在の数による。

小学生 12,355 人

中学生 5,831 人

計 18,186 人

生涯学習の推進（社会教育）

1 概 要

近年の急激な社会構造の変化（少子高齢社会・情報化社会等）を背景とした学習需要の多様化に伴い、社会教育行政においては、身近な生活の場所で誰もが、いつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができるよう、ハード、ソフト両面の条件整備が求められています。

そこで、松本市生涯学習基本構想の精神（「学びの森づくり」）を踏まえ、松本市教育振興基本計画に掲げる、「学都松本」としてめざすまちの姿の実現に向け、学習の場である施設の整備を進めるとともに、コミュニティ活動施設と関係機関の連携による地域ごとの学習システムの確立や、住民の豊かな個性を伸ばす自発的な学習活動等への支援を通じて、地域住民が主体となって自治能力を高める学習活動の推進と生涯学習による地域づくりをめざします。

2 重点施策

(1) 生涯学習の推進

- ア 学習情報の収集と提供
- イ 地域の人的・物的資源の発掘と連携による特色ある地域づくりの促進
- ウ 自発的活動の支援
- エ 生涯学習の啓発
- オ 市民活動などのコーディネート

(2) 社会教育施設の整備等

- ア 地区公民館の整備・改修
- イ 町内公民館の整備推進

3 事業の内容

(1) 公民館活動の推進

市民一人ひとりの幅広い学習や活動を支援し、総合的な地域づくりの拠点としての役割を担うことができる体制づくりを進めるとともに、学習活動などを通じて地域課題と向き合い、市民自らが地域課題の解決に向けた学習機会を充実させ、実践していく、松本らしい地域づくりをめざした公民館活動を展開しています。

(2) 生涯学習の推進

- ア 生涯学習基本構想
 - 平成 6年3月 松本市生涯学習基本構想「学びの森づくりをめざして」策定
 - 平成 17年3月 第2次松本市生涯学習基本構想「学びの森づくりをめざして」策定
 - 平成 24年3月 松本市教育振興基本計画「学都松本をめざして」へ継承
- イ 松本市出前講座「いい街つくろう！パートナーシップまつもと」の実施

(ア) 経過

市民と職員とがパートナーとなり、協働して街づくりを進めるため、出前講座を開講しています。

現在市が行っている業務や政策の中から、市民の生活に密着したものなど164講座をメニュー化し、要望に応じて担当職員等が地域に出向き講座を実施しています。

(イ) 現状

市関係課等の協力を得て、講座の新設や見直し等を行っています。

令和元年度実績 479回 29,147人参加

実施した主な講座は、交通安全、防災、子育て、健康等

ウ 生涯学習情報誌「学びの森いんふおめーしょん」の発行

市民の生涯学習活動を支援するため、生涯学習支援登録団体及び関係機関の情報を収集して、町内回覧、公共施設での配布及び市公式ホームページにより情報提供を行っています。

(ア) 発行回数

年4回（5月、8月、11月、2月）

(イ) 主な掲載内容

a 生涯学習情報 …… 市民が参加できるイベントに関する情報

b 生涯学習ファイル …… 市内近郊で活動している団体の会員募集情報

エ 生涯学習支援登録制度による情報提供

市民の多様な生涯学習を支援するため、地域に在住する専門的な知識、経験を有する指導者や自発的活動を行っているグループ等の情報を登録し、市公式ホームページ等を利用した情報提供を行っています。

〔登録数〕（令和元年度末現在）

指導者 149名、グループ 444団体

(3) 社会教育施設の整備等

中央公民館ほか35地区の地区公民館を整備し、特色ある地域づくりに取り組んでいます。また、住民活動が将来にわたって継続されるよう、施設の機能維持、ユニバーサルデザインの導入、エコ改修という3つの目標を定めて大規模改修を実施するなど、生涯学習活動の場の提供及び地域コミュニティの拠点となる施設の充実を図っています。

ア 社会教育施設等の整備状況（令和元年度実施）

区分	事業名	事業内容	事業費 (千円)
社会	里山辺公民館整備事業	新科学館整備事業に伴い、里山辺公民館を移転新築するための用地取得、地質調査、実施設計を実施しました。	37,490
教育	Mウイング整備事業	経年劣化の著しい、中央公民館並びに中央保健センター空調設備を改修するための実施設計を行いました。	4,510
施設	寿公民館トイレ改修工事	設置後31年が経過し、老朽化したトイレの洋式化・段差解消・手摺設置等の改修を実施しました。	14,670

イ 町内公民館整備補助金

町内公民館は、地域住民にとって身近な生涯学習の場、寄り合いの場であるとともに、共に支えあう地域づくりを進める拠点であり、地域住民の自治活動の促進、学習・文化・スポーツ等の事業による住民交流の場として広く活用されています。

引き続き、「松本市町内公民館整備補助金交付要綱」（昭和39年制定）に基づき、町内公民館整備を支援します。

(7) 町内公民館整備補助金交付制度概要（令和元年度）

区 分		補 助 率	限 度 額	
建 物	新 築	未設置町会等	2/3	1,000万円（福祉関連含む）
		既設置町会等	1/2	1,000万円（福祉関連含む）
	改 築	1/2	1,000万円（福祉関連含む）	
	増 築	1/2	600万円 ただし、新改築時補助を受けている場合は、400万円	
	改 修	1/2	一般改修（500万円）	
		2/3	福祉関連・耐震補強（500万円）	
	既設置建物取得	1/2	800万円	
	未設置建物取得	2/3	1,000万円	
土 地	敷 地 取 得	2/3	1,000万円 （建築基準法に基づき適正面積で計算）1回のみ	
借 地 ・ 借 家		1/2	5万円	

※ ただし、2館目以降の限度額は、上記の金額の8割とする

(イ) 補助金交付件数

年 度	新築	改築	増築	改修	取 得		福祉	耐震	借地	借家	合 計 件 数	金 額
					建 物	敷 地						
	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	千円
29	0	0	0	62	0	1	13	1	39	3	119	29,385
30	0	4	1	47	0	0	9	1	38	3	103	89,996
元	1	2	0	86	0	3	21	1	36	3	153	109,308

ウ 重要文化財旧松本高等学校校舎耐震化事業

(7) 事業概要

平成22年度に実施した耐震予備診断の結果において、基準値を満たさない項目があったため、文化庁が定めた「重要文化財（建造物）耐震診断指針」に沿い、耐震化事業を進めています。

平成26年度～平成27年度に耐震基礎診断を実施。平成28年度は壁の耐久力実験を行い、データに基づいた補強案を作成しました。また、重要文化財旧松本高等学校保存活用計画策定委員会を設置し、建物の保護と活用の方針を検討し、防災計画を含めた保存活用計画の策定をしました。

平成29年度は文化庁指導の基、「糸魚川-静岡構造線断層帯」を起因とする地震動を考慮した追加の耐震基礎診断を実施し、その結果を踏まえた耐震補強工事の実施設計を行い

ました。平成30年度に耐震補強工事に着手、講堂Ⅰ期工事を実施しました。

(イ) 今後の取組み

令和元年度に講堂Ⅱ期工事、令和2年度～令和5年度に本館の耐震補強工事を行います。

(4) 青少年ホームの活動

平成27年に勤労青少年福祉法が改正され、勤労青少年ホームの設置根拠が削除されたことに伴い、条例を改正し、平成29年4月から名称を松本市勤労青少年ホームから松本市青少年ホームと改称し、対象者を35歳未満の勤労青少年から15歳以上35歳未満の青少年一般としました。

若者が気軽に集まれる魅力ある居場所づくりを通じ、自分づくり、仲間づくりを進めるとともに、ひきこもりの若者を含め、社会で生きていく力を培うことを支援しています。

また、若者が成長し、社会で活躍できるように、若者の多様な社会参画を進めています。

- ア コーディネーターと連携し、ひきこもりの若者も参加しやすい講座、イベントの実施
- イ 青少年の将来の選択肢を広げる「職人から学ぶ講座」の実施
- ウ 若者が自由に過ごし、交流できるゆるやかな居場所として「若者カフェ」の実施
- エ 若者が主体となり、若者が住んでみたいまちの魅力をつくりだす「松本若者会議」の実施
- オ ヤングスクール、キャリアアップセミナーの実施
- カ 青少年ホーム利用者の会の自主活動、所属クラブの育成・支援
- キ ヤングキャリアメンターによる、若者の職業問題やキャリア形成等に関する相談事業
- ク 新成人で構成する実行委員会で成人式の企画、運営の実施
- ケ 成人式実行委員会が主体となり、新成人を対象に「新成人松本若者会議」の実施
- コ 高校生・大学生が主体となり、子どもが楽しく遊べる「子どもプレイパーク」の実施

年度	登録者数(人)			平均年齢 (歳)	開館日数 (日)	利用状況(人)		
	計	男	女			計	ホーム	体育館
29	323	130	193	27.8	293	5,916	2,156	3,760
30	338	154	184	28.3	293	6,113	2,716	3,397
元	342	158	184	27.3	294	5,895	2,740	3,155

4 社会教育施設（生涯学習課・中央公民館の附属施設のみ）

(1) 松本市あがたの森文化会館

学都松本へ 第一期地名校の誇り、大正ロマンあふれる木造校舎。 市民や同窓生の熱意によって保存された建物は、今も多くの市民の学びの場として愛されています。			
位 置	松本市県3丁目1番1号	電 話	32-1812
概 要	<p>あがたの森文化会館は、大正8年に開校した旧制松本高等学校校舎の保存と活用のため、昭和54年に開館しました。大正9年から11年にかけて建築された旧松本高等学校校舎は、昭和25年から信州大学の文理学部・人文学部校舎として使用されたことにより、全国的に旧制高等学校の遺構が少なくなっている中で、大正時代の木造洋風建築がもっとも良好に保存されているものといわれており、学校建築史上貴重な建造物として重要文化財の指定を受けています。</p> <p>現在は、校舎を文化財として保存するとともに、市民の教育文化活動施設として活用しています。（図書館併設）</p>		
沿 革	<p>大正7年 松本市に高等学校設置決定 大正8年4月 松本高等学校設立、同年9月に松本中学校校舎を仮校舎として開校 大正9年8月 県町（現在地）に校舎（本館）が落成、2年後に講堂が建てられ全校舎落成 昭和24年 松高校舎を信州大学文理学部校舎として使用。後に、学部再編後は人文学部校舎となる 昭和48年4月 人文学部が旭町キャンパスに移り、校舎は閉鎖される 昭和52年3月 松本市は建物及び敷地の一部を約7億円で国から買い取り、文化財として保存と活用を決め、以後施設の補修等実施 昭和54年10月 『あがたの森文化会館』として開館。公民館、図書館を併設 昭和56年2月 本館、講堂とも長野県宝に指定される 平成19年6月 本館及び講堂は重要文化財に指定される</p>		
文化財の種別	重要文化財	重要文化財指定日	平成19年6月18日
名 称	旧松本高等学校本館・講堂	構 造	木造2階建て
建物延面積	3,611.11 m ²	開 館	昭和54年10月1日
休 館 日	毎週月曜日、12月29日～翌1月3日、日曜日以外の祝日（月曜日が祝日及び振替休日の場合は月・火曜休館）		

ア 施設内容

区 分	部 屋 数	収容人員(人)	面 積 (m ²)	備 考
ホ ー ル	1	350	353	
大会議室	4	80～100	460	
中会議室	10	30～50	691	
小会議室	5	25	188	

あがたの森図書館については別頁掲載

イ 使用料及び冷暖房料

(単位：円)

区 分	午 前	午 後	夜 間	午前～午後	午後～夜間	全 日	上段：冷房料 下段：暖房料 (1 回)
	9:00～12:30	13:00～17:00	17:30～22:00	9:00～17:00	13:00～22:00	9:00～22:00	
ホール	1,780	3,140	4,400	4,670	7,160	8,380	3,240 1,780
大会議室	830	1,040	1,250	1,770	2,170	2,800	1,460 830
中会議室	730	940	1,150	1,580	1,980	2,530	1,460 830
小会議室	520	620	730	1,080	1,280	1,680	— 410

※ 冷暖房の1回とは午前、午後、夜間をそれぞれ単位とする

※ 企業等が入場料等を徴収しないで使用する場合は200/100に相当する額、入場料等を徴収して使用する場合は250/100に相当する額とする

ウ 利用実績

年 度	利用者総数 人	利用総件数 件	減免団体利用件数 (減免団体数) 件	使 用 料 円
29	103,937	4,650	3,732 (405)	5,938,500
30	68,094	3,477	2,893 (399)	2,765,960
元	64,520	3,105	2,600 (266)	2,860,270

※ 元年度は耐震補強工事のため講堂は全室休館。また3月4日からコロナウイルス感染症拡大防止対策による貸館利用自粛期間

(2) 池上百竹亭

学都松本へ 呉服商・池上喜作が多く文化人と交流を深めたゆかりの旧邸。茶道、華道等の学習活動にご活用いただけます。			
位 置	松本市丸の内10番31号	電 話	32-0141
概 要	故池上喜作氏の遺族から建物の寄贈を受けて、住居、茶室、庭園等を整備し、市民に広く施設の提供を行うことにより、教育文化活動の振興を図っています。		
開館時間	午前9時～午後9時	敷地面積	1,038.74 m ²
施設面積 (建物)	居 宅 122.60 m ² 茶 室 16.52 m ²	施設面積 (庭園)	茶 庭 約95.75 m ² 日本庭園 約216.00 m ²
休 館 日	月曜日（国民の祝日に関する法律に規定する休日にあたる場合は、当該日以外の休日に当たらない最初の日）、12月29日～翌1月3日		
管理運営	指定管理者制度を導入 平成19年 （社）松本地域シルバー人材センターを指定管理者として管理委託 平成23～28年（一社）梓川ふるさと振興公社を指定管理者として管理委託 平成29年～ （公社）松本地域シルバー人材センターを指定管理者として管理委託		

ア 使用料及び器具使用料

使用区分	午前	午後	夜間	午前～午後	午後～夜間	全日
	円	円	円	円	円	円
上座敷	310	410	520	620	830	1,040
下座敷	310	410	520	620	830	1,040
中の間	310	410	520	620	830	1,040
茶室	3,240	3,240	3,240	6,180	6,180	8,900
ストーブ	1台1回410円					

イ 利用実績

年度	開館 日数	利用 日数	利 用 内 訳				使用料 円
			公的団体等 件	文化団体 件	そ の 他 件	総 数 件	
29	309	215	24	146	63	233	200,720
30	309	198	18	131	60	209	199,580
元	309	170	22	113	50	185	173,100

(3) ふれあいパーク乗鞍

学都松本へ 様々な学習活動に対応した施設となっている「ふれあいパーク乗鞍」は、周辺の豊かな自然を活用した幅広い学習にご利用いただけます。			
位 置	松本市安曇 4 8 5 5 番地 1 0 0	電 話	9 3 - 1 1 2 2
概 要	旧安曇村時代に一般廃棄物最終処分場を当地に建設するにあたり、その影響を少しでも緩和し、地域のコミュニティ形成の一助とする目的で建設されました。		
構 造	鉄骨造平屋建	敷地面積	11,997 m ²
施設面積	979.15 m ²	建設費	318,627 千円
施設内容	多目的ホール、カルチャー教室、調理室、和室、事務室、団らんホール、屋根付広場、自転車置場、駐車場		
竣 工	平成 15 年 3 月 31 日	開 館	平成 15 年 4 月 1 日
開館時間	午前 9 時～午後 9 時	休 館 日	12 月 29 日～翌 1 月 3 日
管理運営	<ul style="list-style-type: none"> 平成 20 年度から指定管理者制度を導入 指定管理者 ふれあいパーク乗鞍管理委員会 		

ア 使用料及び器具使用料

区分		単位	金額
施設	多目的ホール	1 日 1 回	円 1,020
	カルチャー教室		1,020
	畳室		1,020
	調理室		1,020
	全館		5,140
器具	陶芸窯	1 回	3,080
	土練機		1,020
	プロジェクター		1,020
	音響機器 (一式)		1,020
	そば打ち道具 (一式)		1,020

イ 利用実績

年度	利用件数			利用者数			使用料 円
	有料 件	無料 件	総数 件	有料 人	無料 人	総数 人	
29	93	166	259	874	2,723	3,597	122,520
30	39	155	194	639	2,135	2,774	67,440
元	23	184	207	533	3,456	3,989	46,200

(4) 奈川文化センター夢の森

学都松本へ 奈川地区の拠点として、また都市農村交流による活性化促進施設として設置された本施設は、コンベンションホールを活用した芸術・文化活動をはじめ、様々な学習活動にご利用いただけます。			
位 置	松本市奈川3301番地	電 話	79-2304
概 要	旧奈川村時代に村の活力低下、山村の課題解決のため、村の風土、文化にふさわしい価値観や自然を最大限に活かした、都会にはないゆとりとふれあいの里を創造していく目的で建設されました。		
構 造	鉄筋コンクリート造3階建	敷地面積	17,456㎡
施設面積	2,448.61㎡	建設費	1,199,300千円
施設内容	コンベンションホール、会議室、調理室・図書室、和室、事務室、視聴覚室、茶室、駐車場		
竣 工	平成6年6月	開 館	平成6年7月14日
開館時間	午前9時～午後9時	休 館 日	12月29日～翌1月3日、祝日

ア 使用料

区分	9:00～17:00 (1時間につき)	17:00～21:00 (1時間につき)	全日
コンベンションホール	円 3,240	円 3,770	円 32,400
1階ホール	210	310	2,160
2階ホール	210	310	2,160
更衣室	310	430	3,240
会議室	210	310	3,240
視聴覚室	530	750	7,560
実習室	430	640	5,400
研修室	430	640	5,400
和室	430	640	5,400
全館	5,400	7,560	54,000

※ 冷房又は暖房を使用するときは、当該区分の定める額の100分の130に相当する額

イ 利用実績

年度	利用件数			利用者数			使用料 円
	有料	無料	総数	有料	無料	総数	
	件	件	件	人	人	人	
29	3	145	148	37	5,037	5,074	3,510
30	3	152	155	74	5,621	5,695	6,060
元	8	172	180	36	5,185	5,221	5,400

公民館の学びを通じた地域づくり

1 概 要

超少子高齢型人口減少社会に対応したまちづくりに向け、主役である市民が身近な地域で学び、考え、具体的に実践する機会が必要となっています。

また、地域では、地域連帯意識の希薄化や家庭機能の低下など、課題の増大や複雑化に伴い行政だけの解決、また地域だけでの解決は困難な状況となっています。

このような現状の中で、本市の公民館は、松本市教育振興基本計画のもと、市民一人ひとりの幅広い学習や活動を支援し、総合的な地域づくりの拠点としての役割を担うことができる体制づくりを進めるとともに、学習活動などを通じて地域課題と向き合い、市民自らが地域課題の解決に向けた学習機会を充実させ、実践していく、松本らしい地域づくりをめざした公民館活動を展開しています。

2 重点施策

- (1) 松本らしい地域づくりの創造に向け、住民自治と地域連帯を育む学習機能の充実を図ります。
- (2) 人権尊重のための学習活動を進めます。
- (3) 男女共同参画社会をめざして、女性問題等解決のための啓発学習を進めます。
- (4) 少子高齢・国際・情報化社会に対応する学習活動の推進を図ります。
- (5) 町内公民館の振興と活動支援を図ります。
- (6) 住民主体の公民館活動推進のリーダーとなる公民館委員の組織強化を図ります。
- (7) ふるさとづくり、まちづくりのため、地域の歴史の掘り起こしと伝承文化の振興を図ります。
- (8) 住民の自治能力を高めるための学習活動を進めます。
- (9) 市民のニーズに合わせた生涯学習活動の推進のための支援体制の整備を行います。
- (10) 次代を担う青年の学習・相談、クラブ活動等の場の提供と講座・行事を開催します。

3 公民館事業の概要

(1) 令和元年度中央公民館主要事業計画

	項 目	主な事業名	実施時期	事 業 内 容	
全 市 対 象 事 業		第35回公民館研究集会	2月	住民・大学・NPO等や市関係部局の幅広い参画により、自治を基盤とした協働の実践事例を題材に、自治力の必要性や高め方、協働のあり方等について考える集会を開催	
		町内公民館館長研修会	通年	町内公民館長の資質向上のための研修 ・新任町内公民館長研修会(6/16) ・ブロック別研修会(7月～8月) ・ほか女性館長研修、理事研修など(随時)	
		公民館報編集委員研修会	6月	公民館報編集委員の役割と意義について研修	
	地 域 交 流 ・ ま ち づ くり 事 業		戦後を問う会・まつもと	通年	「人権・平和」を身近な視点でとらえなおし実践につなげる学びの場として開催
			聴覚障害者と学ぶ成人学校	9月～3月	障害者とともに暮らす地域づくり事業
			手話教室	6月～3月	初心者を対象にした、やさしい日常会話からの手話教室と、通訳者レベルを見越した中級者教室を開催
			市民教育講座	4月～12月	パラスポーツを通じた人権学習・交流(ボッチャ体験会・サポーター養成講座)

	項目	主な事業名	実施時期	事業内容		
全市対象事業	地域交流・まちづくり事業	第10回こいこい松本 松本国際ふるさと祭り	6月	多文化共生社会の実現をめざしたふれあい交流会		
		工芸の五月ワークショップ	5月	身近な生活道具の製作を通じて、「工芸」に親しむワークショップ		
		日本老民考学習会	通年	地域福祉、時事ネタ（原発・憲法）等について学ぶ事業		
		日本語講座		通年	日常生活に必要な日本語の習得及び学習を通じて相互理解を深める	
		木曜午前ボランティア日本語教室		通年	日常生活に必要な日本語の習得及び学習を通じて相互理解を深める	
		松本市ヤングにほんご教室		通年	学齢期を過ぎた外国由来の青少年への学習支援	
		松本みんなのにほんご教室		4月～2月	学齢期を過ぎた外国由来の青少年への学習支援、就学・就労希望の外国籍住民への日本語支援	
		松本版コミュニティースクール事業		通年	子どもたちを地域全体で見守り育てる「地域に開かれた学校」をつくることを目指す（市内全地区／35地区で実施）	
		市民教育講座		3月	地域活動実施団体（若者団体）等の活動事例の発表の場・学習会	
		松本市出前講座		通年	より開かれた市政と、市民と協働のまちづくりを推進	
		第20回松本手まり時計まつり		5月	Mウイング公益施設及び利用団体と伊勢町商店街がタイアップして実施、こどもひろば、屋外ステージ、福祉ひろばふれあいコーナー、女性センターまつりなど	
	文化活動		芸術文化祭		4月～1月	第60回松本市芸術文化祭
			公民館活動発表会		5月	第42回公民館活動グループ発表会（ステージ部門・展示部門）
			お城盆踊り		8月	第72回お城盆踊り
	広報活動		公民館報の発行		年6回	全市版、地域課題や学習資料の提供
			資料集等の作成		通年	公民館活動資料
			人権教育		通年	学級講座、各地区懇談会等
	町内公民館活動	町内公民館長会		通年	住民の自主的な社会教育活動推進への援助	

(2) 令和元年度各公民館共通事業

項目	実施時期	実施内容	主な事業内容
人権教育	4～3月	人権教育をあらゆる事業の中に入れ、差別を許さない、差別をしない明るい社会づくりを進めます。	学級講座、各地区懇談会、町内懇談会、隣組単位集会、各種指導者研修会、各種啓発事業
町内公民館活動の推進	4～3月	町内公民館の自主的な活動の推進を図るため各町会へ委託料を交付するとともに、館長研修会、町内公民館との共催講座等を実施します。	町内公民館振興業務委託 町内公民館長研修会 町内公民館学級講座
芸術文化活動	4～3月	市民の自主的な芸術文化活動の助長を図り、更に芸術文化の香り高い市民性の涵養と親睦を深めます。	地区文化祭、史跡の愛護保護、盆おどり、伝承文化の継承
体育活動	4～3月	体育活動を通し、健康の保持、体育の向上を図るとともに地域社会づくりの協調性を養い、親睦を深めます。	市民体育大会参加、地区運動会、各種スポーツ大会の開催、スポーツ教室の実施
視聴覚教育	4～3月	各種講座及び町内公民館活動等の中に視聴覚機材の活用を積極的に図ります。	VTR・OHP・パソコン等の活用、映画会等の開催
広報活動	4～3月	学習課題や地域住民のための身近な資料の提供や、住民の意向を反映させる館報等の発行	各地区版公民館報隔月年6回発行 各種お知らせ（公民館ニュース他）
地域づくり	4～3月	地域の課題を共有し、課題解決へ向けた学習と実践を展開しながら、地域連帯を育みます。	地域交流ネットワーク事業として、地域資源や機能を活用した総合的な地域づくりを展開 地区担当職員による学習会の実施
青少年教育	4～3月	各地区子ども会育成会などと連携を密にし、地域ぐるみで次代を背負う青少年の健全な育成活動を推進します。	松本子どもまつり参加、講演会、各種スポーツ大会、映画会、遊びと伝統行事の伝承等事業
図書活動	4～3月	図書館の配布所として各公民館に300～800冊の本を配布し巡回方式により、住民に提供します。図書館との連携を図りながら町会を単位とする身近な文庫活動を支援します。	地区公民館配本、町会文庫配本 こども文庫活動促進 読み聞かせ、創作絵本活動 パネルシアターの実施
食育事業	4～3月	食生活の改善など自ら「食」の在り方を学ぶことにより生涯にわたって生きいきと暮らすことを目指します。	料理教室、食に関する講演会、地域食生活改善協議会・健康づくり推進員等との連携による事業の展開

4 公民館施設一覧

名 称	位 置	沿 革	公民館 床面積 (㎡)
中 央 公 民 館	中央1丁目18番1号 (0263-32-1132)	大正6年10月 松本市公会堂として建築 昭和22年4月 松本市公民館として発足 昭和23年10月 松本市第1公民館と呼称 昭和27年6月 松本市公民館と呼称 昭和34年4月 松本市中央公民館と呼称 昭和40年5月 解体のため仮事務所へ移転 昭和41年7月 厚生文化会館へ移転 昭和60年4月 厚生文化会館の廃止に伴い 独立館として発足 平成11年4月 中央西開発ビル公益施設内 へ移転新たに女性センター を設置、働く婦人の家を付属 施設とし、勤労青少年ホーム 業務を労政課から移管 ※勤労青少年ホーム 松本市芳野4-1 ※働く婦人の家 松本市中央4-7-28 平成12年4月 女性センター、働く婦人の家 を男女共生課へ移管	5,381.55
第一地区公民館	中央1丁目18番1号 (0263-32-1550)	平成22年4月 Mウイング内に地区公民館 (事務室のみ)として発足	104.39
第二地区公民館	本庄2丁目3番23号 (0263-39-3601)	平成10年4月 地区公民館として発足	706.86
第三地区公民館	中央4丁目7番28号 (0263-36-7040)	昭和54年10月 中央公民館分館(あがたの森 公民館)として発足 平成20年4月 地区公民館として発足	445.97
東 部 公 民 館	女鳥羽2丁目1番25号 (0263-36-8565)	平成9年4月 地区公民館として発足	632.72
城 北 公 民 館	開智2丁目3番39号 (0263-38-0120)	平成12年4月 同上	700.04
大 手 公 民 館	大手3丁目8番1号 (0263-39-5711)	平成14年7月 同上	603.27
安原地区公民館	旭2丁目11番13号 (0263-39-0701)	平成13年1月 同上	660.58
城 東 公 民 館	元町3丁目7番1号 (0263-34-0191)	平成11年4月 同上	725.13
白板地区公民館	城西1丁目6番17-3号 (0263-35-7740)	昭和57年6月 同上 平成27年4月 移転、北部から白板地区へ名 称変更	696.73
田 川 公 民 館	渚3丁目2番7号 (0263-27-3840)	平成13年4月 地区公民館として発足	670.45
庄内地区公民館	出川1丁目5番9号 (0263-24-1811)	平成18年4月 同上	1,003.64
鎌田地区公民館	両島5番50号 (0263-26-0206)	昭和59年6月 同上 平成27年4月 西部から鎌田地区へ名称変	797.31
松南地区公民館	芳野4番1号 (0263-26-1083)	昭和62年4月 地区公民館として発足 平成26年4月 南部から松南地区へ名称変 更	2,060.24

併設施設	改修状況等			エレベーター 設置状況	備 考
	構造	竣工年度	改修年度		
女性センター 中央保健センター 体育館 第一地区福祉ひろば 第一地区公民館	S 地上7F地下1F	平成 10年度		平成 10年度	Mウイング(官 民共有施設)内 に設置
					Mウイング内
福祉ひろば	RC 2F	平成 9年度		平成 9年度	
トライ・あい松本 福祉ひろば	S 2F	平成 19年度		平成 19年度	トライ・あい松 本に増築
デイサービスセンター 福祉ひろば	S 2F	平成 8年度		平成 8年度	
福祉ひろば	RC 2F	平成 11年度		平成 23年度	
同上	RC 2F	平成 14年度		平成 14年度	
同上	RC 2F	平成 12年度		平成 12年度	
北部地域包括支援センター 北部ヘルパーステーション 北部保健センター	RC 3F	平成 10年度		平成 10年度	ふくふくらい ず内に設置
	RC 2F	昭和 56年度	平成 26年度	平成 26年度	
	RC 2F	平成 12年度		平成 12年度	
体育館 屋内プール トレーニングルーム	RC 地上4F地下2F	平成 17年度		平成 17年度	ゆめひろば庄 内内に設置
図書館 体育館 福祉ひろば 児童センター	RC 2F	昭和 59年度	平成 26年度	平成 26年度	
青少年ホーム 図書館 体育館	RC 3F	平成 元年度		平成 元年度	なんなんひろ ば内に設置

名 称	位 置	沿 革		公民館 床面積 (㎡)
島内公民館	大字島内 4970 番地 1 (0263-47-0264)	昭和 29 年 4 月 昭和 34 年 4 月	合併によって分館として発足 地区公民館として発足	1,115.22
中山公民館	大字中山 3746 番地 1 (0263-58-5822)		同上	742.67
島立公民館	大字島立 3298 番地 2 (0263-47-2049)		同上	714.62
新村公民館	大字新村 2179 番地 7 (0263-48-0375)		同上	523.42
和田公民館	大字和田 2240 番地 31 (0263-48-5445)		同上	590.13
神林公民館	大字神林 1557 番地 1 (0263-58-2039)		同上	662.00
笹賀公民館	大字笹賀 2929 番地 (0263-58-2046)		同上	1,321.97
芳川公民館	野溝東 2 丁目 10 番 1 号 (0263-58-2034)		同上	960.06
寿公民館	大字寿豊丘 424 番地 (0263-58-2038)		同上	709.81
寿台公民館	大字寿豊丘 649 番地 1 (0263-58-6561)	昭和 51 年 9 月	地区公民館として発足	702.82
松原地区公民館	松原 39 番地 1 (0263-57-2322)	平成 22 年 4 月	同上	481.05
岡田公民館	大字岡田町 517 番地 1 (0263-46-2313)	昭和 29 年 8 月 昭和 34 年 4 月	合併によって分館として発足 地区公民館として発足	717.10
入山辺公民館	大字入山辺 1509 番地 1 (0263-32-1389)		同上	912.90
里山辺公民館	大字里山辺 2930 番地 1 (0263-32-1077)		同上	543.25
今井公民館	大字今井 2231 番地 1 (0263-59-2001)		同上	1,121.72
内田公民館	大字内田 2203 番地 1 (0263-58-2494)	昭和 35 年 4 月	合併によって地区公民館として発足	504.98
本郷公民館	浅間温泉 2 丁目 9 番 1 号 (0263-46-1500)	昭和 49 年 5 月	同上	1,083.73
四賀公民館	会田 1001 番地 1 (0263-64-3112)	平成 17 年 4 月	同上	
安曇公民館	安曇 2741 番地の 1 (0263-94-2304)		同上	774.86
奈川公民館	奈川 2546 番地 (0263-79-2121)		同上	906.68
梓川公民館	梓川梓 2285 番地 1 (0263-78-3001)		同上	1,432.00
波田公民館	波田 4417 番地 1 (0263-92-2268)	平成 22 年 3 月 平成 29 年 7 月	同上 波田支所内に移転	1,413.54

併設施設は敷地内の施設を掲載 参考 一公民館設置基準面積一
1,200 世帯まで 450 ㎡ (床面積) 1,200~5,000 世帯まで 660 ㎡ (床面積)

併設施設	改修状況等			エレベーター 設置状況	備 考
	構造	竣工年度	改修年度		
出張所 図書館 福祉ひろば 河西部地域包括支援センター デイサービスセンター	RC一部S 1F	平成 9年度			
出張所 福祉ひろば	RC 2F	平成 13年度		平成 13年度	
出張所 体育館	RC 2F	昭和 63年度		平成 21年度	
出張所 福祉ひろば	RC 2F	平成 8年度		平成 25年度	
出張所 福祉ひろば	RC 2F	昭和 62年度	平成 30年度	平成 30年度	
出張所 福祉ひろば 体育館 農村広場	RC 2F	昭和 57年度	平成 24年度	平成 24年度	
出張所 福祉ひろば	RC 2F	昭和 61年度	平成 29年度	平成 20年度	農村環境改善 センター
出張所 福祉ひろば デイサー ビスセンター 体育館 南部屋 内庭球場	RC 2F	平成 4年度		平成 18年度	
出張所 福祉ひろば 体育館	RC 2F	昭和 62年度		平成 22年度	
図書館	RC 2F	平成 2年度		平成 24年度	
福祉ひろば	S 1F	平成 21年度			
出張所 福祉ひろば 体育館	RC 2F	平成 元年度		平成 17年度	
出張所	RC 2F	昭和 54年度	平成 16年度	平成 16年度	
出張所 体育館 福祉ひろば	RC 2F	昭和 58年度		昭和 58年度	教育文化セン ター
出張所 福祉ひろば 体育館	RC 2F	昭和 59年度	平成 27年度	平成 19年度	農村環境改善 センター
出張所 福祉ひろば	RC 2F	昭和 61年度	平成 28年度	平成 28年度	
支所 図書館	RC 2F	平成 5年度		平成 16年度	
保健福祉センター	RC 3F	平成 14年度		平成 14年度	支所内に事務 室のみ設置
	RC 2F	昭和 53年度	平成 20年度	平成 20年度	基幹集落セン ター
	RC 2F	昭和 52年度			
	RC 2F	昭和 50年度	平成 22年度	平成 22年度	
	SRC 2F	昭和 50年度		平成 9年度	

5 利用状況並びに活動状況

(1) 中央公民館の利用状況

年 度	総 数		公 民 館		Mウイング文化センター	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
29	件 7,244	人 96,723	件 6,334	人 85,353	件 910	人 11,370
30	6,310	95,922	5,594	87,865	716	8,057
元	5,795	84,980	5,190	77,183	605	7,797

(2) 中央公民館の活動状況

年 度	学級・講座・講演会・展示会等							芸術文化
	健康福祉 スポーツ	環境問題	子ども・青少年 教 育	人権平和 男女共同参画	地域づくり まちづくり	趣味・教養	地域文化	芸術文化祭
29	事業 3 人 243	0 0	2 536	12 5,671	2 217	0 0	2 172	27,314
30	事業 4 人 288	0 0	2 519	10 5,936	4 346	0 0	2 142	23,504
元	事業 3 人 240	0 0	1 220	9 4,882	4 526	0 0	2 160	28,119

(3) 地区公民館活動状況の変移

年 度	利用件数				利用人数			
	利用総件数	公民館活動以外の利用			公民館活動 の利用件数	公民館活動利用人数		
		件数（貸館分）				学級・講座		
		総数	有料	無料		成人	女性	高齢者
	①+②件	①=A+B	A	B	②件	C	D	E
29	55,843	49,146	617	48,529	6,697	15,451	4,304	4,136
30	56,420	49,952	669	49,283	6,468	19,344	3,259	3,125
元	52,368	45,768	704	45,064	6,600	15,655	2,862	3,362

芸術文化活動		各種集会・研修会等				参加合計
お城盆踊り	公民館活動発表	課題別集会 まちづくり集会	公民館 研究集会	町内公民館 関係	団体育成 関係	
640	2,879	18 7,956	1 467	41 884	0 0	46,979
520	1,545	27 7,107	1 378	51 931	0 0	41,216
820	1,502	97 9,384	1 413	44 748	0 0	47,014

利用人数								
公民館活動利用人数							公民館 活動以外 の利用人数 (貸館分)	利用 総数
学級・講座			諸集会・会議等			公民館活 動の利用 人数		
家庭教育	青少年	その他	体育	文化	その他			
F	G	H	I	J	K	③C~K人	④	③+④
4,189	7,276	5,814	21,142	38,190	40,837	141,339	516,821	658,160
4,111	6,595	5,157	22,074	30,590	35,802	130,057	509,483	639,540
3,598	11,495	5,274	17,795	34,963	38,107	133,111	452,073	585,184

(4) 令和元年度 地区公民館活動状況

公民館名	利 用 件 数					利用人数		
	利 用 総 件 数	公民館活動以外の利用件数 (貸館分)			公民館活 動の利用 件数	公民館活動利用人数		
		総 数	有 料	無 料		学 級 ・ 講 座		
	①+②件	①=A+B 件	A 件	B 件	② 件	成 人	女 性	高 齢 者
					C 人	D 人	E 人	
第一地区公民館	178	0	0	0	178	1,436	0	0
第二地区公民館	1,469	1,331	64	1,267	138	1,234	65	424
第三地区公民館	1,609	1,523	37	1,486	86	27	26	348
東 部 公 民 館	1,245	1,212	7	1,205	33	618	0	0
城 北 公 民 館	1,739	1,551	0	1,551	188	0	0	0
大 手 公 民 館	1,492	1,395	7	1,388	97	727	0	0
安原地区公民館	1,827	1,619	33	1,586	208	1,620	117	0
城 東 公 民 館	2,849	2,795	4	2,791	54	375	0	0
白板地区公民館	1,465	1,429	5	1,424	36	150	260	0
田 川 公 民 館	1,498	1,335	32	1,303	163	919	0	0
庄内地区公民館	3,325	3,081	13	3,068	244	78	0	0
鎌田地区公民館	1,934	1,795	97	1,698	139	761	0	0
松南地区公民館	4,676	4,464	104	4,360	212	0	0	0
島 内 公 民 館	1,853	1,717	0	1,717	136	507	200	116
中 山 公 民 館	547	487	5	482	60	29	68	296
島 立 公 民 館	1,251	1,157	5	1,152	94	66	0	0
新 村 公 民 館	478	232	0	232	246	133	1,508	6
和 田 公 民 館	555	476	3	473	79	285	209	0
神 林 公 民 館	860	771	19	752	89	457	0	0
笹 賀 公 民 館	1,225	1,129	1	1,128	96	273	0	230
芳 川 公 民 館	2,194	1,879	53	1,826	315	0	0	1,068
寿 公 民 館	424	374	0	374	50	240	0	0
寿 台 公 民 館	1,627	1,542	16	1,526	85	270	193	0
松原地区公民館	1,590	1,483	3	1,480	107	460	0	0
岡 田 公 民 館	987	924	5	919	63	636	111	36
入山辺公民館	811	757	0	757	54	249	0	0
里山辺公民館	1,158	859	6	853	299	747	0	0
今 井 公 民 館	758	683	9	674	75	105	105	30
内 田 公 民 館	404	352	2	350	52	52	0	0
本 郷 公 民 館	4,243	4,189	16	4,173	54	216	0	0
四 賀 公 民 館	32	0	0	0	32	383	0	0
安 曇 公 民 館	114	46	0	46	68	803	0	0
奈 川 公 民 館	337	104	1	103	233	0	0	0
梓 川 公 民 館	1,722	1,660	35	1,625	62	94	0	443
波 田 公 民 館	3,892	1,417	122	1,295	2,475	1,705	0	365
合 計	52,368	45,768	704	45,064	6,600	15,655	2,862	3,362

利 用 人 数								
公民館活動利用人数							公民館活 動以外の 利用人数 (貸館分)	利用 総数
学 級 ・ 講 座			諸集会・会議等			公民館活 動の利用 人数		
家庭教育	青少年	その他	体 育	文 化	その他	③C~K人	④ 人	③+④人
F 人	G 人	H 人	I 人	J 人	K 人			
292	109	50	129	326	351	2,693	0	2,693
0	0	0	62	1,181	398	3,364	11,223	14,587
0	2	0	48	101	666	1,218	16,884	18,102
212	111	0	0	150	0	1,091	8,968	10,059
0	0	1,038	37	0	2,704	3,779	15,321	19,100
21	76	127	0	90	1,167	2,208	13,884	16,092
0	223	0	0	583	425	2,968	15,469	18,437
0	0	0	4	398	179	956	18,113	19,069
0	72	314	337	53	27	1,213	11,618	12,831
0	200	0	0	403	1,429	2,951	12,296	15,247
616	511	0	0	2,071	869	4,145	32,380	36,525
0	576	700	318	42	453	2,850	18,096	20,946
130	1,183	618	146	0	1,794	3,871	49,402	53,273
651	1,724	89	1,122	5,500	922	10,831	19,096	29,927
	494	10	419	1,065	691	3,072	4,110	7,182
0	105	96	1,064	509	352	2,192	12,645	14,837
66	115	87	585	1,060	463	4,023	3,490	7,513
0	258	0	313	954	12	2,031	6,583	8,614
0	0	0	750	900	341	2,448	10,515	12,963
0	137	0	404	1,219	335	2,598	12,745	15,343
669	0	0	543	282	3,610	6,172	19,397	25,569
11	0	0	36	204	1,005	1,496	3,235	4,731
0	144	0	203	115	106	1,031	13,240	14,271
0	345	46	408	143	89	1,491	13,527	15,018
50	398	350	295	187	674	2,737	9,971	12,708
0	0	0	470	927	839	2,485	11,133	13,618
415	120	240	1,072	1,050	596	4,240	11,930	16,170
15	0	35	373	220	521	1,404	7,537	8,941
0	132	203	229	130	352	1,098	3,450	4,548
51	259	198	112	1,800	546	3,182	16,156	19,338
120	35	95	1,180	1,280	12,500	15,593	0	15,593
0	100	0	8	26	74	1,011	341	1,352
65	2,503	46	16	14	32	2,676	2,517	5,193
22	0	108	134	690	364	1,855	20,502	22,357
192	1,563	824	6,978	11,290	3,221	26,138	26,299	52,437
3,598	11,495	5,274	17,795	34,963	38,107	133,111	452,073	585,184

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
S 21		1 社会教育課新設 1 寺中作雄「公民教育の振興と公民館の発想」☆ 7 文部次官通牒「公民館の設置・運営について」（寺中構想）☆ 9 県依命通牒「町村公民館の設置並びに運営について」* 11 「日本国憲法」公布☆ 11 松筑公民館設置促進協議会*
22	4 松本市公会堂を松本市公民館と改称 8 第1回お城盆踊り開催	3 教育基本法公布☆ 9 市立図書館にアメリカ民間読書室（CIE）設置
23	2 CIE読書室が図書館から松本市公民館へ移る 10 松本市公民館を第1公民館と呼称、第2公民館を大名町に開館（30年12月焼失）	6 社会教育法制定☆ 11 社会教育課を廃止し文教課を設置
24	1 松本市ナトコ運営協議会設置 11 松本市公民館使用条例を廃止し松本市公民館条例制定 12 松本市公民館運営審議会発足	
25	7 第1回成人学校を開設（この地方では初めて、全国では川崎市に次いで2番目）	3 長野県公民館運営協議会結成*
26		6 再び社会教育課設置
27	5 松本市視聴覚教育協議会発足 6 松本市第1公民館を松本市公民館と改称 11 芳川村公民館で第1回婦人学級開催 11 松本市において第1回長野県公民館大会開催	6 中央教育審議会設置☆ 7 社会教育主事講習職員1名派遣 11 教育委員会発足 11 社会教育課に公民館係設置
28		8 青年学級振興法制定☆
29	4～8 合併により旧村役場は出張所に、役場内に併設の公民館は分館として位置付けられる	4 島内・中山・島立が松本市と合併 8 新村・和田・神林・笹賀・芳川・寿・岡田・入山辺・里山辺・今井が松本市と合併
30	6 神林地区青年、演劇サークル「あざみ会」結成 8 中央公民館に専任の館長おかれる	
32	4 入山辺図書館の分室16か所に設置される — 町内公民館の建設費助成を開始	
34	3 松本市公民館報創刊 4 松本市公民館を松本市中央公民館と改称、各分館は地区公民館として位置づけられ再発足 4 松本市公民館条例施行規則制定	4 社会教育法一部改正☆ 5 松本市役所庁舎完成 12 文部省「公民館の設置及び運営に関する基準」☆
35	3 公民館報（全市版）発刊 4 松本市公民館関係者研修会開催（町内公民館活動について話し合われる） 4 各町内公民館に平均5,000円を配布 4 内田公民館発足 11 市民芸術祭として第1回芸術文化祭開催 — 第1回松本市公民館大会開催（38年まで） — 神林地区が県の同和教育モデル地区に指定	4 内田が松本市と合併 — 教育委員会で『松本市における市街地の現況～社会教育調査資料』を発刊
36	3 神林公民館報「かんばやし」で同和教育特集号掲載 4 中央公民館（事業機関）、社会教育課（条件整備）の範囲明確化	9 長野県公民館研究集会開催*
37	9 第1回「松本市婦人のつどい」開催	
38	4 松本市公民館長会規約を定める	

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
39	4 松本市公民館使用条例、松本市公民館条例、同施行規則を廃止、新たに松本市公民館条例・同施行規則制定 4 公民館委員が制度化される（任意設置） 9 社会教育課で第1回地区公民館巡回懇談会開催、『地区公民館の現状報告』をまとめる － 松本市町内公民館建設補助金交付要綱が制定 － 家庭教育学級が各公民館ではじまる	3 新産業都市構想 4 出張所縮小と職員の引き上げ － 文部省の家庭教育学級補助制度はじまる☆
40		4 松本市で社会教育委員制度発足 － ユネスコで学習宣言、ポールラングランが「生涯教育」を提唱★
41	7 厚生文化会館落成、中央公民館は厚生文化会館に移転	－ 市青連芸術文化祭はじまる
42	5 松本市婦人会「21世紀松本諏訪地方未来像シンポジウム」を開催	9 全国公民館連合会「公民館のあるべき姿と今日の指標」☆
43	4 町内公民館学級振興業務委託内規制定（2000円・58館） 11 寿地区一周駅伝大会はじまる	
44	3 中央公民館で『成人学校のあゆみ』発刊	7 同和対策事業特別措置法公布☆
45	3 公運審「松本市公民館運営に関する諮問」 6 公運審「松本市公民館運営に関する諮問」の答申	4 社教審答申「急激な社会構造の変化に対処する社会教育のあり方について」☆ 12 同和対策審議会答申「松本市における同和対策はいかにあるべきか」
46	4 主事研修会が月2回の定例化 5 全市事業の情報紙「公民館ニュース」創刊 公運審へ「都市化に対応する公民館のあり」諮問 8 地区公民館主事連名で主事の専任化について陳情	4 松本市第一次基本計画策定（市内を8つの行政ブロックに分け各1館のコミュニティセンターを設置する構想）
47	1 同和教育市民テキスト第1集刊行 4 公民館主事が専任化される 4 同和教育学級講座（県費補助）始まる 8 公運審答申「都市化に対応する公民館のあり方」 11 中央公民館「ろうあ者成人学校」はじまる － 今井公民館報で地域課題特集はじまる	7 ユネスコ第3回世界成人教育会議が東京で開催☆
48	4 新任主事研修会はじまる 12 公民館主事会で「松本市公民館実態白書」刊行 － 芳川公民館で保育付母親学級がはじまる	5 松本市勤労青少年ホームオープン 12 松本市生活簡素化実行委員会結成
49	6 松本市公民館制度研究委員会発足（館長会・補佐会各3名、主事会4名、社会教育課5名） 8 主事会新聞発刊 12 制度研究委員会第1年次報告「公民館充実をめざして」（配置・器具器材・職員態勢主事）	4 社教審建議「在学青少年に対する社会教育のあり方」☆ 4 社会教育課に同和教育係設置 5 本郷村が松本市と合併
50	2 主事会で教育長に勤務体制・専門職制の確立を要求 7 社会教育主事講習受講機会拡大（2名） 8 『松本の住民運動と住民の学習』発刊 11 公民館主事をつくった学習資料「市民のくらしーその実態」発刊	1 社会教育委員会答申「公民館の条件整備のすすめ方について」 － 国連婦人10年（～60年）☆
51	3 制度研究委員会第2年次報告「公民館充実をめざして」（職員態勢館長・制度改善・町内公民館活動） 3 「町内公民館活動のびき」発刊 5 教育委員会組織規則改正、公民館主事（社会教育主事有資格者）が専門職として位置づけ	3 第二次基本計画（コミュニティセンター構想を再検討） 4 内田地区の「ささら踊り」を松本市の重要無形文化財第1号に指定 9 部落解放都市宣言

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
51	9 寿台公民館開館、芳川公民館・出張所移転	
52	3 制度研究委員会第3年次報告「公民館充実をめざして」 (施設、町内公民館)	
	3 松本市婦人国内研修はじまる	
	10 公運審諮問「公民館事業実施にかかる経費等について」	
	11 公運審答申「公民館事業実施にかかる経費等について」	
53	4 町内公民館振興業務委託料、1町会10,000円となる	5 文部省「生涯教育の実施状況等に関する実態調査」 を公表☆
	4 公民館主事に調整給支給される	
	12 主事宿泊研修が県外研修となる	
54	2 公民館報全市版100号記念(この号のみ8ページ)	6 中教審答申「地域社会と文化について」☆
	3 第1回公民館学級終了生作品展開催	
	4 町内公民館振興業務委託料傾斜配分(平均15,000円、 最高30,000円)	
	7 松本市町内公民館館長会発足(9 第1回研修会)	
	10 あがたの森文化会館内にあがたの森公民館開館	
55	3 「松本市芸術文化祭20年の歩み」刊行	4 神奈川県茅ヶ崎市で市民の手でつくったはじめての 公民館が開館☆
	4 館報ことぶき縮刷版刊行	
	5 入山辺公民館改築(社会教育課による地区公民館の整 備事業開始)	
	7 和田出張所内に公民館図書室開設	
56	2 あがたの森(旧制高等学校校舎)が県宝に指定	3 第三次基本計画(コミュニティセンター構想を廃止、 現施設の拡充と市街地東西北に公民館設置となる =22館構想)
	5 芝沢公民館開館(新村・和田の両公民館が分館となる)	
	11 松本市公民館大会が開催直前で中止	
	11 山辺歴史研究会『山辺の民話』発刊	6 中教審答申「生涯教育について」☆
57	3 島内公民館改築	5 県、生涯教育の推進構想*
	4 公民館条例施行規則公民館委員に文化委員が新設	ー 松本にカルチャーセンター(松本中日文化センター) オープン
	4 町内公民館振興業務委託料、1町会あたり30,000円の 一律配分	
	6 北部公民館開館	
58	2 公民館委員が条例施行規則上必置となる	1 本郷村誌刊行
	4 町内公民館振興業務委託料、1町会あたり27,000円	11 教育文化センター開館
	5 神林公民館改築	
	11 里山辺公民館が教育文化センター内に併設される	
59	3 館報よしかわ縮刷版刊行	5 松本女性史の会『 ^{ほんま} 買春許すまじ』発刊
	4 町内公民館振興業務委託料、1町会あたり26,000円	8 臨時教育審議会設置☆
	6 西部公民館開館、旧市唯一の陶芸窯設置	11 今井農村改善センター開館
	ー 新村公民館高齢者学級記録「新村のくらし(前編・続 編)が完成	
60	1 公民館制度見直し委員会発足	3 ユネスコ「学習権宣言」☆
	3 館報しまだち縮刷版刊行	4 新村多目的研修センター開館
	3 『松本市の公民館制度充実をめざして』(制度研究委 員会報告)発刊	6 臨教審「教育改革に関する第1次答申」☆
	4 厚生文化会館を廃止し、中央公民館に一元化	10 「松本市青年団運動史」発刊
	4 今井公民館・出張所移転	10 音楽文化ホール開館
	6 町内公民館振興業務委託料、1町会あたり25,000円	
61	3 第1回松本市公民館研究集会開催	3 松本市婦人国内計画策定
	4 笹賀公民館新設開館	
	4 中山公民館改築	

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
61	4 モデル町内公民館指定事業始まる 4 松本市公民館条例の一部改正「公民館使用料の改定及び運用の全館統一」 4 松本市教育委員会組織規則の一部改正「中央公民館連絡調整機能の明確化」 7 中央公民館図書室兼保育室新設、事務室が2階へ移転 8 岡田公民館「おかだ夏まつり」はじまる	4 松本市第四次基本計画策定（市民生涯学習の推進・男女平等教育の推進、婦人の生涯学習の充実） 4 臨教審答申「教育改革に関する第2次答申」提出、生涯学習体系化を強調☆
62	4 内田公民館改築 4 南部公民館開館（勤労青少年ホーム内に設置） 10 松本市公民館及びあがたの森文化会館利用に関する内規、松本市公民館使用料の還付に関する内規制定	3 「長野県公民館活動史」発刊* 3 「地域改善対策特別措置法（地対法）」が「地対財特法」へ移行☆ 8 臨教審「教育改革に関する最終答申」☆
63	1 笹賀公民館戦時中生活体験記録集『平和の祈り』発刊 1 公民館運営審議会諮問「①中央公民館の施設整備について、②公民館休館日の設定について」 4 寿公民館改築 4 里山辺および入山辺公民館で「信濃の明日香松本山辺の里お花見歩け歩け大会」はじまる 5 公運審答申「中央公民館の施設整備について」 5 北部公民館利用者団体連絡協議会「北友会」発足 5 和田公民館改築 10 主事会有志で生涯学習について自主研修をはじめる 12 公民館活動推進功労者感謝状贈呈（同内規制定）	4 文部省「生涯学習モデル市町村事業」開始 7 文部省に生涯学習局新設☆ 一 県「生涯学習のまちづくり推進事業」はじまる*
H 1	4 島立公民館改築 4 ふるさとづくりモデル事業始まる 9 公民館主事会で「生涯学習研究小委員会」発足 11 松本市芸術文化祭30周年特別企画展開催	8 教育委員会総務課に生涯学習担当配置 11 「子どもの権利条約」国連で採択☆ 12 厚生省で「高齢者保健福祉推進10か年戦略」（ゴールドプラン）策定☆
2	3 中山公民館『ふるさと中山縄文のむかしから』第1集発刊（第2集…4年、第3集…8年） 4 岡田公民館移転改築 4 中央公民館夜間等警備委託化 4 南部公民館移転改築（愛称：なんなんひろば） 8 なんなんひろばカリヨン「平和の鐘」設置 10 松本市芸術文化祭特別展「小中図工美術秀作展」開催 10 新村公民館図書室が多目的研修センターに開設 10 公運審諮問「生涯学習時代における松本市公民館のあり方」について	1 中教審答申「生涯学習の基盤整備について」☆ 4 教育委員会総務課を中心に「生涯学習プロジェクトチーム」を組織 6 「生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律」制定☆
3	3 中央公民館にエレベーター及び身障者用リフト設置 3 寿台公民館移転改築 4 公民館運営審議会中間答申「生涯学習時代における松本市公民館のあり方」について 5 公民館報紙面拡大（B4版からA4版へ） 6 なんなんひろば利用者の会発足 8 松本で第31回社会教育研究全国集会松本集会開催、市民の実践を掘り起こした「松本の学び根っこワーキング」を刊行 11 婦人のつどい30周年記念事業開催、記念誌『松本市婦人のつどい30年のあゆみ』刊行	6 生涯学習審議会中間発表「公民館の整備・運営の在り方について」☆ 7 松本市第五次基本計画「市民生涯学習の推進」 8 松本市総合体育館完成（体育課移転） 9 市立松本図書館が中央図書館に新築開館、分館を結ぶコンピューターネットワーク 10 松本市生涯学習推進本部設置（本部長：教育長） 10 県生涯学習基本構想策定*

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす	
		取り巻く状況	*県 ☆国ほか 無印は松本市
4	4 神林公民館で「すこやか健康教室」始まる	1	松本市生涯学習推進懇話会発足
	5 公民館報がページ増(全市版4p、地区版2p)	4	教育委員会総務課に生涯学習係設置
5	— 南部公民館(なんなんひろば)で「信州年寄り通信」 発刊、以後定期的に発刊	9	学校第2土曜日が休日となる☆
	1 公民館研究集会分科会の運営に市民が参画	3	松本市老人保健福祉計画策定
	3 芳川公民館移転改築	3	提言書「松本市生涯学習推進計画づくりにむけて」 (松本市生涯学習懇話会)発刊
	3 中山公民館国庫補助事業「中山10の宝」発刊	5	西部公民館内に設置されていた西部図書館が別棟移 転となる
	3 「町内公民館活動リーダー必携」発刊		
6	4 公民館主事手当が条例化		
	7 松本城400年まつりにより、お城盆踊りが休止		
	1 公民館報が「声の館報」としてテープ化	3	松本市生涯学習基本計画「ずくだせZUKUDAS U学びの森づくり」策定
	3 本郷公民館移転改築	4	「子どもの権利条約」批准☆
	3 新村公民館で「新村的暮らし—改訂版」発刊	4	教育委員会の組織改正により社会教育課内に生涯学 習係及び青少年係が設置、文化課が新設
	3 岡田公民館文化委員で「岡田の里、地名のおこりとそ の移り変わり」発刊	5	生涯学習情報紙「学びの森いんふおめーしょん」発 刊
	3 神林公民館で館報200号合冊版「かんばやし」発刊	6	福祉計画課が中心となり「29地区福祉拠点事業推進 研究会」発足
	5 松本市成人学校が第100回記念講座開催		
	6 「29地区福祉拠点事業推進研究会」に主事3名参加		
	6 中央公民館と中央図書館の共催で「第1回公民館図書 委員のつどい」開催		
	7 社会教育主事講習受講枠(新潟大学)が2名が1名へ		
11 市民公開講座「地域福祉のまちづくり」はじまる(信 大、市、市教委、市社協合同主催)			
7	4 町内公民館振興業務委託料が世帯割で傾斜配分され増 額(29,500円・30,500円・31,500円)	3	生涯学習記録「学びの森を生きる」発刊
	6 本郷公民館「公民館を語る会」発足	4	「地区福祉ひろば」の設置はじまる
	7 なんなんひろば「石のモニュメント」完成	4	町内公民館へ「福祉関連整備費補助制度」
	12 女性の実践活動記録「学びと歩みのハーモニー」が婦 人のつどい実行委員会により発刊される	9	文部省通知「社会教育法における民間営利社会教育 事業者に関する解釈について」☆
8	1 公民館研究集会幹事に分科会市民運営委員参画	12	第六次基本計画(公民館29地区29館構想)
	3 今井公民館『上條蝋司伝』発刊	4	生涯学習審議会答申「地域における生涯学習機会の 充実方策」☆
	3 入山辺公民館『入山辺の民俗』発刊	4	塩尻市に長野県生涯学習センター開館*
	3 寿公民館館報合冊版『館報ことぶき』発刊	4	県社会教育課が生涯学習課へ*
	3 中山公民館『館報200号合冊版』発刊	10	市民と職員による「福祉ビジョン懇話会」設置(公 民館職2名参加)
	3 里山辺公民館館報合冊版「館報さとやまべ」発刊	11	社会教育課主催「学びの森市民フォーラム」はじま る
	4 公民館に公共利用予約案内システムが導入される	12	「男女共同参画2000年プラン」策定☆
	4 中央公民館管理業務1名シルバー人材センターへ委託		
	5 笹賀公民館利用グループの会発足		
	8 新村公民館が移転新築開館(公民館と福祉ひろば併設 の第1号)		
9	10 公民館で日本語講座はじまる		
	11 松本市芸術文化祭ハイライトが県松本文化会館で開催		
	11 神林公民館で地域を考える「井戸端会議」はじまる	3	女性室「男女共生地域フォーラム」はじまる(実行 委員として公民館職員参加)
	2 内田公民館報縮刷版『はちぶせ』発刊	3	松本市障害者福祉長期行動計画
	3 本郷公民館・福祉ひろばで『遠い太鼓』発刊	4	公立社会教育施設建設補助金廃止☆
	4 東部公民館開館		
	4 コミュニティ構想の名残りである芝沢公民館が廃止		
	4 和田公民館が増築開館		

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
9	4 公民館運営審議会が『公民館政策への提言』を提出 5 日本社会教育学会「長野県公民館調査」の一環で松本市公民館の調査が行われる（3月まで） 5 公民館ニュースが学びの森いんふおめーしょんへ統合 7 島内公民館が移転新築開館	7 地方分権推進委員会第二次勧告（公運審必置制や館長・主事の専任規定の廃止が打ち出される）☆ 10 県公民館運営協議会「重点事業調査」「分館実態調査」が行われる
10	1 中山公民館館報号外（地区産廃処理施設問題） 2 今井公民館『館報200号合冊版』発刊 4 第二地区公民館開館 5 公運審諮問「21世紀に向けての松本市公民館のあり方」 8 国の生涯学習審議会中間まとめをうけ、公民館・社会教育関係者合同研修会を開催 9 第1回公民館委員のつどいが開催 10 今井公民館ひだまりコンサート実行委員会でCD『今井のとうちゃん』制作 11 和光大学移動大学が本郷公民館を会場に開催される 11 公運審提言「公民館長の任命手続きについて」 12 教育委員会内規「松本市地区公民館長の任命方針」制定 一 北部公民館の地域づくり講座はじまる	3 「福祉ビジョン懇話会」最終報告 3 生涯学習審議会「社会変化に対応した今後社会教育行政の在り方について（中間まとめ）」☆ 3 地区福祉ひろば実践報告集『福祉ひろば・ふれあいレポート』発刊 3 「男女共生プランまつもと」策定 3 特定非営利活動促進法（NPO法）成立☆ 4 県費補助事業が指導者養成講座を残し廃止、人権教育推進市町村事業に移行☆* 5 県公運協専門委員会「公民館あり方研究会」設置* 9 生涯学習審議会「社会変化に対応した今後の社会教育行政の在り方について」答申☆ 12 「公民館の設置及び運営に関する基準」の公民館長・主事の専任」項目が廃止☆
11	1 全国公民館連合会専門委員会による松本市公民館運営審議会の取組み調査 4 城東公民館開館 4 中央公民館が中央西再開発ビル公益施設内へ移転。新たに女性センター設置、働く婦人の家を附属施設とし、勤労青少年ホームを労政課から移管 5 公民館運営審議会「21世紀に向けての松本市公民館のあり方」答申 10 中央公民館ふれあいロビーに文部省教育情報衛星通信ネットワーク（エル・ネット）受信機が設置 11 松本市芸術文化祭『40年のあゆみ』発刊	1 県公運協専門委員会「公民館のあり方研究会」が「これからの長野県公民館及び県公運協のあり方」を提言* 3 福祉ビジョン懇話会提言書を踏まえた『福祉の青い鳥を求めて』発行 4 同和教育関係の県費補助事業が廃止* 5 国宝松本城太鼓門復元記念まつり開催 7 社会教育法改定、青年学級振興法廃止などを含めた地方分権一括法が成立☆
12	1 『松本市公民館活動史』『学習活動実践事例集～学びを創り未来をひらく』発刊 3 笹賀公民館「ふるさとマップ」作成 4 城北公民館開館 4 女性センター、働く婦人の家を男女共生課へ移管 9～文部省委嘱事業「エルネットモデル事業」を中央公民館で実施	3 県公運協あり方研究会「県下公民館実態調査に基づく考察と提言」 4 改正された社会教育法が施行 12 教育改革国民会議報告「教育を変える17の提案」☆
13	1 安原地区公民館開館 1 市内の公民館でIT講習はじまる 3 中山公民館「中山の歳時記」発刊 3 神林公民館「ふるさとマップ」作成 3 中央公民館「まちなか再発見！」事業記録発刊 4 田川公民館開館 4 Mウイング文化センター設置（同条例施行） 4 中央公民館長と男女共生課長が兼務となる 6 公民館運営審議会「調査研究報告書」提出 6 第1回女性センターまつり開催 7 芸術文化祭「市民会館さよならコンサート」開催 9 公民館委員（体育・図書視聴覚委員）研修開催	1 文部科学省「21世紀教育新生プラン」発表☆ 4 中山文庫開館 4 島根県出雲市で社会教育部門が首長部局へ移管☆ 4 県公運協「公民館の基礎知識（13年度版）」発刊* 6 社会教育法一部改正（社会奉仕体験・自然体験活動の促進、家庭教育の体制整備）☆ 9 松本市男女共同参画推進委員会条例制定 10 全国公民館研究会長野大会が長野市で開催☆ 11 文部科学大臣が中教審に対し「教育振興計画の策定と教育基本法の在り方について」諮問☆

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
14	<ul style="list-style-type: none"> 3 Mウイング・女性センターにキッズコーナー開設 3 第二地区公民館「歴史マップ」作成 4 Mウイングにふれあい国際・情報センター開設 6 島内公民館で四賀村と交流会を開催 6 町内公民館長会に女性部が発足 7 大手公民館開館 10 第50回記念長野県公民館大会が松本市で開催 10 中央公民館・南部公民館・松本大学エクステンションセンター共同企画「市町村合併から考える住民自治講座」開催 	<ul style="list-style-type: none"> 4 学校週5日制が完全実施される☆ 5 松本市・四賀村「任意合併協議会」設置 11 中教審中間答申 11 文部科学省内に「『公民館の設置及び運営に関する基準』見直し検討委員会」発足 11 松本市コミュニティ懇話会が設置、地区・町会・自治組織について検討が行われる 12 平成7年度より東京大学佐藤ゼミ・日本社会教育学会が中心となり行ってきた長野県公民館の調査研究を踏まえた「長野県公民館学習会」が開催*
15	<ul style="list-style-type: none"> 2 中央公民館・南部公民館共催「公民館入門講座」開催 4 「公民館の設置及び運営に関する基準」に対し、公民館長会・公民館主事会・公民館運営審議会・社会教育委員会・町内公民館長会連名で、文部科学省に意見書を提出 4 町内公民館振興業務委託料が増額（30,000円・31,000円・32,000円） 9 北部公民館「地域交流～こんな町つくろう」で中学生の発案による「街角コンサート」が実施される 10 公民館運営審議会報告書「公民館運営と公民館運営審議会のあり方について」 11 四賀村公民館大会で松本市公民館の概要報告と交流 	<ul style="list-style-type: none"> 1 松本市が松本市西部広域施設組合構成町村に合併の申し入れ 3 中教審答申「新しい時代にふさわしい教育基本法と教育振興基本計画の在り方について」☆ 3 松本市男女共同参画計画策定 4 松原町会が自治組織としての地区として独立 4 日本公民館学会が設立される☆ 4 社会教育課で「生涯学習基本構想」見直し作業が開始される 5 長野県公民館運営協議会で「公民館の設置及び運営に関する基準」に対し意見書を提出* 6 松本市男女共同参画推進条例施行 6 「公民館の設置及び運営に関する基準」改正☆ 6 地方自治法改正、公の施設を民間会社等に委託できる指定管理者制度の導入☆ 7 新市民会館にかかる住民投票条例案を市議会で否決 7 松本市・四賀村法定合併協議会設立 8 関東甲信越静公民館研究大会で「市町村合併と公民館についての緊急アピール」が採択☆ 10 「松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例」施行 12 地域・家庭教育活性化推進補助金（人権促進事業費等）が廃止される☆
16	<ul style="list-style-type: none"> 1 中央公民館・南部公民館・松本大学エクステンションセンター共同企画「合併したらどうなる？ 地域自治と公民館のあり方を考える講座」開催 3 公民館委員研修「文化委員研修会」開催 4 公共施設予約案内システムが新システムへ移行 4 松本市公民館条例施行規則改正、趣味・サークル活動に対し冷暖房料徴収の項目が追加 5 新村公民館・福祉ひろば・松本大学による「ものぐさ大学」発足 5 『松本市生涯学習基本構想』見直しプロジェクト発足、公民館主事2名参加 6 中央公民館・南部公民館・松本大学エクステンションセンター共同企画「合併最前線を学ぶ講座」開催 7 松本市福祉ひろば庁内研究会発足、主事6名参加 	<ul style="list-style-type: none"> 1 文部科学省に「地域づくり支援室」設置☆ 3 中央教育審議会生涯学習分科会「今後の生涯学習振興方策について（審議経過の報告）」☆ 3 第二次「全国公民館連合会 基本構想」☆ 4 松本市の公の施設のうち84施設に指定管理者制度を導入 5 指定管理者制度導入状況のなかで、長野県公民館運営協議会が「公民館の支援について」を各郡市公民館運営協議会に依頼* 7 松本市に文化振興課が市長部局に新設、文化財関係を除く文化振興部門が教育委員会から移管される 7 菅谷市長と語る会が30地区で開催 8 松原地区に福祉ひろばコーディネーターを配置し地区福祉ひろば事業をスタート

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 * 県 ☆ 国ほか 無印は松本市
17	<p>9 市民公益活動との協働事業推進庁内ワーキンググループ発足、公民館主事3名参加</p> <p>11 中央公民館長が専任に戻る</p> <p>11 入山辺公民館、大規模改修工事</p> <p>1 公民館主事会で「スーパー公民館構想」を職員提案</p> <p>1 公運審諮問「総合的な地域づくりの拠点としての公民館のあり方について」</p> <p>2 島内公民館「館報縮刷版」発刊</p> <p>2 『町内公民館活動のてびき』第5次改訂版、『松本市町内公民館活動実践集』発刊</p> <p>3 芳川公民館保育ボランティア「ゆりかご会」で10年のあゆみを発刊</p> <p>4 寿台公民館に松原地区担当の公民館主事を配置、公民館事業先行実施として3月から公民館報松原地区版が発刊開始</p> <p>4 公民館委員手当てが報酬から報償費へ費目変更</p> <p>4 合併により、四賀公民館、梓川公民館、安曇公民館、奈川公民館が地区公民館として発足</p> <p>9 教育委員会組織改正にかかり主事研修会で論議</p> <p>9 公運審答申作業にかかり、公運審委員・館長・主事のワーキンググループ設置</p> <p>10 中央公民館・南部公民館共催で「公共施設の民営化に反対ですか」講座が始まる</p> <p>11 中央公民館と社会教育課が統合して生涯学習課とし、中央公民館は貸館機能を残し、地区公民館は生涯学習課の一部門となる組織改正が提案される</p>	<p>11 社会教育課による「いい街つくろう、パートナーシップまつもと」出前講座がスタート</p> <p>1 地区福祉ひろば庁内研究会職員提案</p> <p>3 「松本市生涯学習基本構想」見直し改訂</p> <p>3 「松本市次世代育成支援行動計画」策定</p> <p>4 四賀村、梓川村、安曇村、奈川村が松本市と合併</p> <p>4 松本市役所大手事務所開設、教育委員会が入所</p> <p>4 長野県公民館運営協議会規約改正、長野市及び松本市から毎年役員選出となる*</p> <p>4 熟年体育大学が元となった「いきいき健康ひろば」事業をNPO法人に委託</p> <p>6 中央教育審議会諮問「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について」「青少年の意欲を高め、心と体の相伴った成長を促す方策について」☆</p> <p>6 全国公民館連合会で14年ぶりに『全国公民館名鑑』を発刊☆</p> <p>7 「食育基本法」施行☆</p> <p>7 菅谷市長との市政まちかどトーク、ティータイムトークが始まる</p> <p>9 大手事務所に「市民活動サポートセンター」開設</p> <p>9 文部科学省生涯学習局長通知「地域における防犯教育・防犯活動及び防犯ボランティア活動の推進について」（警察と連携して実施）☆</p> <p>10 内閣府、文科省、国土交通省連携による「地域における防災に係る教育・啓発活動の推進について」☆</p> <p>11 長野県公民館運営協議会で主催研修会のあり方について検討開始*</p> <p>11 文部科学省、経済産業省通知「地域におけるエネルギー教育・啓発活動の推進について」☆</p> <p>12 日本公民館学会第4回研究大会が松本大学を会場に開催☆</p> <p>12 第28次地方制度調査会「地方の自主性・自律性の拡大及び地方議会のあり方に関する答申」（教育委員会設置を自治体判断に、社会教育分野を首長部局に置く選択措置の提案）☆</p>
18	<p>3 市長公約の3Kプラン推進に向け、地域づくりシステム検討会議発足、中央公民館が参画</p> <p>4 社会教育課が中央公民館と統合し生涯学習課・中央公民館へ組織改正（中央公民館機能は残し地区公民館の位置づけは変更なし、中央公民館職員は兼務）</p> <p>4 庄内地区公民館開館（29地区29館構想の最後）</p> <p>4 「松本市第8次基本計画」（34地区34公民館構想）、地区公民館と地区福祉ひろばはコミュニティ活動施設として位置づけられる</p> <p>5 公民館運営審議会「総合的な地域づくりの拠点としての公民館のあり方について」答申</p>	<p>4 教育委員会組織改正、教育総務課が教育政策を担う教育政策課へ改変、青少年課が新設（勤労青少年ホームの所管が中央公民館より移管）</p> <p>4 四賀・梓川・奈川・安曇地区で福祉ひろば事業スタート</p> <p>4 教育基本法改正案が閣議決定、文部科学省内に教育基本法改正推進本部設置☆</p> <p>4 長野市で都市内分権がスタート*</p> <p>5 「長野県公民館主事研修会並びに総会」が松本市で開催*</p>

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
	<p>6 都市内分権に向けた地域づくり支援モデル事業が安原地区・本郷地区・芳川地区でスタート（公民館も関わる）</p> <p>8 ユネスコアジア文化センターで松本市の公民館活動について視察（北部・新村ほか）</p> <p>10 惣社公民館館報合冊版『館報けやき』発刊</p> <p>12 主事会の県外研修に公運審委員4名が参加しての、合同研修を実施（大阪府枚方市へ）</p>	<p>10 長野県公民館運営協議会「長野県公民館活動史Ⅱ」編さんにかかる県内公民館実態調査の実施*</p> <p>10 松本市図書館でサポーター制度を導入</p> <p>11 松本市「市民協働提案制度」がはじまる</p> <p>11 松本市「市民活動推進委員会」が発足</p> <p>11 「松本市地域づくり推進懇談会」発足</p> <p>12 教育基本法改正法が成立・公布・施行☆</p> <p>12 「道州制特別区域における広域行政の推進に関する法律」施行☆</p>
19	<p>3 中央公民館を見つめ直す座談会が開催。公民館発足60周年を前に、中央公民館が四柱神社隣にあった時代に関わった市民・職員などを交え、中央公民館のあり方などを話し合う</p> <p>3 戦争体験の聞き取り事業が開始（松本大学生とのコラボ企画）</p> <p>4 公民館発足60周年記念事業（地区特別講座）が開催・・通年</p> <p>4 市制施行100周年地区イベントが各地区で実施される（多くの公民館で事務局等の役割を担う）</p> <p>5 主事会にて公民館委員会プロジェクトチームと生涯学習課・中央公民館一本化プロジェクトチームが設置され検討が行われる</p> <p>5 学びの森インフォメーションに統合した「公民館ニュース」が他の学習情報に統合される</p> <p>7 第1回公民館報編集委員交流会が開催され、全市版と地区版が一同に会し、研修会・情報交換会が行われる</p> <p>9 松本市公民館発足60周年記念事業『地域交流と活動のつどい』があがたの森文化会館にて開催。34地区からステージや展示による発表、市民団体による激アツコミュニケーションC a f eなどが行われる</p> <p>11 館長会にて教育実践活動策定について説明</p> <p>11 医務課が各地区で実施する災害時医療救護活動講座に地区公民館が協力（年次計画により34地区で実施）</p> <p>12 中央公民館にて、“しゃべりばinちゅーこー”や“クリスマスコンサート”などが開催され、若者を交えた事業がなされる</p>	<p>2 松本市教育委員会および木曾町教育委員会で「平和のための信州戦争展」の後援を辞退</p> <p>3 全国公民館連合会「第1回全国公民館報コンクール」を実施（以後、ホームページコンクールと合わせ、隔年で実施）☆</p> <p>3 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」改正（文化財を除く文化・スポーツの事務を首長が担当できるようになる）☆</p> <p>4 飯田市で地域自治組織導入（公民館は先5年間を教育委員会に残し、その後所管を検討）*</p> <p>5 松本市制施行100年を迎える</p> <p>5 松本市食育推進計画庁内調整会議が開催</p> <p>6 社会教育法等改正法（学校施設利用等）☆</p> <p>6 「旧松本高等学校本館・講堂」が国の重要文化財となる</p> <p>9 医療制度改革施行☆</p> <p>9 長野県公民館大会（小諸大会）で「公民館の充実を求める緊急アピール」が採択*</p> <p>11 教育政策課による教育実践活動策定に向け教育部職員を対象にワーキンググループが始動</p> <p>12 教育実践活動についての地域懇談会が始まる</p> <p>12 松本市地域づくり推進市民会議が、地域づくり推進のための指針を市長に提出</p>
20	<p>2 松本市公民館発足60周年記念の一環として第23回松本市公民館研究集会（地域活動市民のつどい）が2日間にわたり開催</p> <p>3 市民団体「中信多文化共生ネットワーク」設立</p> <p>3 地域防災計画改正で26地区の公民館が新たに指定避難所となる（要援護者優先）</p> <p>4 第三地区公民館 閉館。（あがたの森公民館が閉館）</p> <p>4 公民館委員報償費が年額単価から回数単価に変更</p> <p>4 四賀、安曇、梓川、奈川公民館業務が支所へ移管（教委の補助執行）</p>	<p>2 教育基本法改正を受けた社会教育法改正案が閣議決定☆</p> <p>3 長野県公民館運営協議会で地域課題に関する調査*</p> <p>3 松本市放課後子どもプランが策定</p> <p>4 和田地区に西原町会誕生。里山辺地区の林町会と大嵩崎町会が合併し、林町会となる</p> <p>4 安曇野市にて公募の地区公民館長が任命される</p> <p>4 松本市第2次男女共生参画計画 策定</p> <p>5 松本市地域づくり推進基本方針 策定</p>

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
	5 公民館が学校と地域のコーディネートを行う学校サポート（学校応援団）事業がスタート 6 ユネスコ「世界寺子屋運動」関係者国内研修（庄内地区公民館、神田・井川城下・上土町の町内公民館） 6 地域づくり推進事業のモデル地区事業がスタート（城北・松原・安原）し、公民館が中心的に関わる 6 公民館運営審議会「総合的な地域づくりの拠点としての公民館のあり方について」答申に続き「意見書」を提出 8 第2回公民館報編集委員交流会 開催 9 町内公民館館長会30周年記念の集い 開催 9 町内公民館パンフレット 製作 9 耐震診断費用補助対象が拡大され、昭和56年以前に建設された町内公民館も対象となる	5 『長野県公民館活動史Ⅱ』発刊* 5 地方分権推進委員会第一次勧告で「教育委員会設置の選択制、首長部局との連携による教育行政の充実と総合行政の推進」が提案☆ 6 社会教育法改正（衆参両院で附帯決議付）☆ 7 全国公民館連合会による全国公民館実態調査が行われる☆ 7 教育振興基本計画が閣議決定☆ 9 松本市ユニバーサルデザイン基本方針が策定 11 長野県「つながる つらなる 信州 人づくりビジョン」（長野県教育振興基本計画）策定* 12 地方分権推進委員会第二次勧告における「義務付け・梓づけの見直し」の中で、社会教育法第12条、第15条2項、第23条1項、第30条を、存置を許容するメルクマールに該当しないと提言☆
21	1 文部科学省の公民館の海外発信事業としてユネスコ・アジア文化センターによる「公民館の国際発信に関する調査研究」でユネスコ調査団が新村公民館と二美町2丁目町内公民館を視察 3 主事会「生涯学習課と中央公民館のあり方」プロジェクトで検討結果報告 3 全国公民館報コンクールで梓川地区公民館報が優良賞を受賞 9 「松本市公民館あり方検討委員会」発足（館長・主事・公運審）12 松本市芸術文化祭50周年記念式典開催	3 全国公民館報コンクールで飯綱町公民館報が最優秀賞、富士見町公民館報が優秀賞を受賞* 4 「学びの森インフォメーション」が全戸配布から各戸配布となる 4 須坂市公民館職員が首長部局市民共創部所属となり、公民館業務は補助執行となる* 4 佐久市生涯学習センター（野沢地区館併設）が指定管理者導入* 9 「多文化共生プラン（仮称）」策定に向けた「多文化共生庁内ワーキング会議」発足 10 県生涯学習審議会答申「新しい時代にふさわしい長野県の生涯学習振興のあり方について」※
22	3 「松本市公民館あり方検討委員会」中間報告を中央公民館館長へ提出 波田町合併に伴い、波田公民館が地区公民館として発足 4 松原地区公民館が新築開館。第一地区公民館が、中央公民館（Mウイング）内に開館。（35地区すべてに公民館が設置完了） 4 地区再発見情報発信事業始まる（初年度6地区～25年度に全地区終了） 5 ベトナム学習振興会が蟻ヶ崎西町内公民館を視察 6 韓国・公州大学校教授および大学院生が、城北公民館、城北地区福祉ひろば、大手公民館、徒士町「おちまち市場」、巾上西「いばらん亭」を視察（名古屋大学社会教育調査実習と合同） 11 梓川公民館大規模改修事業 竣工	3 県公民館運営協議会「公民館の基礎知識（H22）」発刊 6 「松本市地域づくり推進行動計画」策定 地域づくり推進に向けた庁内組織の検討はじまる 7 学都松本に向けた取組みを定める
23	5 市公民館運営審議会提言書「もう一度公民館の意義、役割を考えよう」	11 松本市の教育に関するアンケート調査報告 12 地域主権改革第2次一括法により社会教育法改正（公運審委員委嘱は文科省令基準を参酌）
24	9 「第53回関東甲信越静公民館研究大会（長野県松本大会）」を開催	3 県公民館運営協議会「長野県らしい公民館に磨きをかけよう」（提言）

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
25	<p>9 松本市公民館活動実践事例集(地域・くらしと学びをつなぐ)を発刊</p> <p>3 神林公民館大規模改修事業竣工</p> <p>6 松本市公民館運営審議会より「松本らしい地域づくりに向けた公民館の役割について」答申が示される</p> <p>10 文部科学省委託事業(公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム)「公民館の学びがつなぐ松本らしい地域づくり・人づくり」事業が採択され、全7講座が取り組まれる(記録集3月発行)</p>	<p>3 松本市教育振興基本計画「学都松本をめざして」を策定</p> <p>3 松本市地域づくり実行計画策定</p> <p>9 第1回学都松本フォーラム(学都松本を目指して)を開催</p> <p>2 松本市第3次男女共同参画計画 策定</p> <p>3 健康寿命延伸都市宣言</p> <p>4 市内15地区公民館(出張所機能を持たない館)に、地域づくりセンター準備職員を配置</p> <p>4 松本市子どもの権利に関する条例を制定</p> <p>6 学都松本のイメージカラーを薄緑色、9月を「学びの9月」と定める</p> <p>6 社会教育法一部改正☆</p> <p>6 第二期教育振興基本計画閣議決定☆</p> <p>10 文部科学省委託事業(公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム)「若者が創る信濃の国再発見物語」を6市町村(上田市、飯田市、松川町、麻績村、山形村、朝日村)へ再委託*</p>
26	<p>2 第29回松本市公民館研究集会在歴史的大雪により初めて中止となる</p> <p>4 南部公民館が、松南地区公民館に名称変更する</p> <p>6 文部科学省委託事業「公民館の学びがつなぐ松本らしい地域づくり・人づくり」事業が2年目の採択をされ、全7講座が取り組まれる(記録集3月発行)</p> <p>9 松本市芸術文化祭55周年記念特別公演「わが想いとどけよ彼方の空に」がまつもと市民芸術館で開催される</p> <p>12 入山辺公民館「入山辺文化誌(館報400号合冊版)」発刊</p>	<p>4 長野市立長沼公民館が指定管理者導入*</p> <p>4 地域づくりセンターが各地区に設置される</p> <p>6 改正地方教育行政法が可決、成立☆</p> <p>6 国民投票法、学校教育法、国立大学法人法改正案が可決、成立☆</p> <p>6 「健康寿命延伸都市・松本」に「美しく生きる。」のキャッチコピーを追加する</p> <p>10 「ESD推進のための公民館-CLC国際会議」開催(岡山市)☆</p> <p>12 「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」閣議決定☆</p> <p>12 特定秘密保護法施行☆</p>
27	<p>2 第30回松本市公民館研究集会在基調講演、過去最大数の11分科会により開催される</p> <p>3 全国公民館報コンクールで、第一地区公民館・中央公民館が奨励賞を受賞</p> <p>3 西部公民館、北部公民館大規模改修事業竣工</p> <p>4 西部公民館が鎌田地区公民館へ、北部公民館が白板地区公民館に名称変更する</p> <p>6 「全国身体障害者補助犬サミットin松本」が、中央公民館共催により開催される</p> <p>8 文部科学省委託事業(公民館の学びがつなぐ、松本らしい地域づくり・人づくり事業)の委託期間終了後、市単独事業としてプロジェクトチームによる取組みへ発展</p> <p>9 地域学習テキストをモデル3地区(白板、本郷、波田)で発刊</p>	<p>3 松本市スポーツ推進計画策定</p> <p>3 松本市子どもにやさしいまちづくり推進計画策定</p> <p>4 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律施行☆</p> <p>4 諮問「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方について」☆</p> <p>4 施行に伴い、本市でも市長が主宰する総合教育会議の設置、松本市教育大綱の策定、教育委員長と教育長を一本化して「新教育長」の配置</p> <p>4 地域づくり部(地域づくり課、地域づくりセンター)及び文化スポーツ部(スポーツ推進課を含める・旧体育課)の新設</p> <p>4 「サイトウ・キネン・フェスティバル松本」が、「セイジ・オザワ松本フェスティバル」に名称変更</p> <p>7 「学習の自由と公民館」に関する教育研究団体連絡会議発足☆</p> <p>8 「第20回松本市平和記念式典、松本市平和の集い」開催</p>

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
28	<p>2 公民館発足70周年記念事業「未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す研究集会 松本大会」の準備会が立ち上がる</p> <p>3 今井公民館大規模改修事業竣工</p> <p>3 歴史文化基本構想策定に関する各公民館を中心とした調査終了</p> <p>4 スウェーデン「ソッレンテューナ市」の社会教育学研究者等の視察受入</p> <p>5 韓国「烏山市」の市長や生涯学習関係職員等の視察受入</p> <p>6 「未来を拓く松本大会」関係者学習会を実施</p> <p>7 学びの森生涯学習ファイル更新（2年に1回）</p>	<p>10 勤労青少年福祉法大幅改正（勤労青少年ホームの法的設置根拠がなくなる）☆</p> <p>10 「健康寿命延伸都市・松本」地方創生総合戦略策定</p> <p>12 中央教育審議会から、地方創生を踏まえた今後の学校教育と社会教育のあり方に関する3本の答申☆</p> <p>184号「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～」</p> <p>185号「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」</p> <p>186号「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方針について」</p> <p>1 南部福祉総合施設「なんぶくプラザ」供用開始</p> <p>2 第1回地方創生全国コンファレンス「学びで地域を元気に」が国立オリンピックセンターで開催される☆</p> <p>4 県生涯学習推進センターに、公民館支援専門アドバイザーを配置*</p> <p>4 小中学校9年間を、共通の教育課程で学習する「義務教育学校」を全国22校開校☆</p> <p>5 県政タウンミーティングを阿智村で開催*</p> <p>5 県公運協主事会の幹事に、飯田市を固定枠化*</p> <p>8 松本市第10次基本計画策定</p> <p>9 地域包括ケアシステム推進事業が、3地区でモデルにスタート（第二地区、岡田地区、四賀地区）</p> <p>9 「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議まとめ」を中教審初等中等教育分科会教育課程部会提出☆</p> <p>12 「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会確保等に関する法律」（教育機会確保法）成立☆</p>
29	<p>1 「未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す研究集会 松本大会」が、まつもと市民芸術館、中央公民館で開催され、延1,115人が参加（1/28.29）</p> <p>3 内田公民館大規模改修事業竣工</p> <p>7 町内公民館の手引き改訂版編集委員会発足</p>	<p>3 あがたの森文化会館として活用されている「重要文化財旧松本高等学校校舎及び講堂保存計画」策定</p> <p>3 中高、飯水の郡市公運協を統合し「中飯」へ*</p> <p>8 文部科学省次年度概算要求において、文部科学省の組織改編が示される☆</p> <p>9 文科省の組織改編に対し松本市から要望書を提出</p>
30	<p>2 「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第33回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会～」が中央公民館で開催され、467人が参加した（2/18）</p> <p>3 笹賀公民館大規模改修事業竣工</p>	<p>3 県総合5か年計画策定（自治と学びが柱に据わる）*</p>

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
	4 学校サポート事業を統合した松本版コミュニティスクール事業開始 8 多世代参画型地域共生コミュニティづくりモデル事業開始(東京大学牧野研究室との共同事業)	12 中央教育審議会で「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について(答申)」を取りまとめ☆
31	2 「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第34回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会～」が中央公民館で開催され、378人が参加した(2/17) 3 和田公民館大規模改修事業竣工 3 波田公民館移転改修事業竣工	1 松本大学・松本大学松商短期大学部と包括的連携協定を締結
R 1	6 町内公民館活動の手引き改訂版発刊	4 第2層生活支援コーディネーターが7地区(第二、中央、里山辺、寿台、四賀、梓川、波田)に配置 6 「第9次地方分権一括法(地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律)」公布(6/7)☆ 9 旧開智学校校舎国宝指定
R 2	2 第三地区公民館が、文部科学省の第72回優良公民館表彰を受賞(2/14) 2 「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第35回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会～」が中央公民館で開催され、412人が参加した(2/17) 3 第三地区公民館が、長野県教育委員会の令和元年度公民館活動アワードを受賞(3/12)	3 菅谷昭市長退任 臥雲義尚市長就任

方針概要

「公民館の学びを通じた地域づくり」

超少子高齢型人口減少社会に対応したまちづくりに向け、主役である市民が身近な地域で学び、考え、具体的に実践する機会が必要となっています。
 また、地域では、地域連帯意識の希薄化や家庭機能の低下など、課題の増大や複雑化に伴い行政だけの解決、また地域だけの解決は困難な状況となっています。
 このような現状の中で、本市の公民館は、松本市生涯学習基本構想のもと、市民一人ひとりの幅広い学習や活動を支援し、総合的な地域づくりの拠点としての役割を担うことができる体制づくりを進めるとともに、学習活動などを通じて地域課題と向き合い、市民自らが地域課題の解決に向けた学習機会を充実させ、実践していく、松本らしい地域づくりをめざした公民館活動を展開しています。

重点施策

- 1 松本らしい地域づくりの創造に向け、住民自治と地域連帯を育む学習機能の充実を図ります。
- 2 人権尊重のための学習活動を進めます。
- 3 男女共同参画社会をめざして、女性問題等解決のための啓発学習を進めます。
- 4 少子高齢・国際・情報化社会に対応する学習活動の推進を図ります。
- 5 町内公民館の振興を図ります。
- 6 住民主体の公民館活動推進のリーダーとなる公民館委員の組織強化を図ります。
- 7 ふるさとづくり、まちづくりのため、地域の歴史の掘り起こしと伝承文化の振興を図ります。
- 8 住民の自治能力を高めるための学習活動を進めます。
- 9 市民のニーズに合わせた生涯学習活動の推進のための支援体制の整備を行います。
- 10 次代を担う青年の学習・相談、クラブ活動等の場の提供と講座・行事を開催します。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	
	平人和権	福祉健康	子育て	環境	文地化域	教趣養味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	7	3	1		3					6		5	5	6
延べ参加人数	4009	240	220		28316					29235		8300	117	2547

	CS	食育
事業数		1
延べ参加人数		77

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
新任公民館職員研修 ①全体研修 ②ファシリテーション研修	①4月22日 ②5月21日 6月3日	3回	その他	その他	39人	平成31年度から配属された新任職員を対象に、公民館（活動）の基礎学習及び、近年の動向について研修する。今年度は、松本大学向井健氏を講師に研修を行う。 また、館長も含めた公民館職員に必要なスキルアップ研修として、ファシリテーションを行う。 （内容） ①公民館基礎学習、関係法令と運用、松本市公民館の概要と近年の動向 ②事務研修等（主事のみ） ③ファシリテーション基礎学習	①公民館基礎学習について、ポイントを捉えやすくするため、内容等を松本の向井氏と調整する。 一講師へ ②主事として必要な事務研修を取り入れるにあたり、中公庶務担当と調整する。 ③ファシリテーション研修では、職員が現場で活かせるような研修内容にするため、講師のあがたの森館長の遠藤氏と調整する。	①昨年度の反省を活かし、内容をシンプルにしつつもポイントを押さえるなかで、「公民館や社会教育」をイメージしやすくするために、松本の向井氏と調整した結果、参加した職員からも概ね好評であった。 ②主事に必要な事務研修を取り入れたことで、一定の効果は見られたものの、充分であったとはいえないため、再度中公庶務担当と調整する中で、次年度以降実施していく必要がある。 ③ファシリテーション研修は、地域づくりの最前線に立つ職員として必要なスキルを身に付けるために取り入れているが、有効であったという意見が概ねであったため、次年度以降も継続して取り入れていく方針。		
第60回松本市芸術文化祭	5月～1月		地域文化	成人	28,119人	多くの市民が気軽に楽しく文化芸術に触れあう機会を創出し、市民による主体的、継続的な文化芸術活動の推進を図るもの。 和・洋・玄人・素人を問わず、市民が参画して、展示会・上演会等を通して、芸術文化の振興を図る。 展示部門各種展示会（15部門）参加者13,200人 上演部門各種発表会・演奏会（22部門）参加者13,266人 また、今年度は60周年記念事業として「音にいのちあり～鈴木鎮一愛と教育の生涯～」を開催した。参加者1,653人	松本市芸術文化祭実行委員会により運営	団体構成員の高齢化により、後継者の育成に努める必要がある。		
松本みんなのほんご教室 （共催事業）	4月～2月	67回	人権平和	その他	1,058人	学齢期を過ぎた外国由来の青少年や就学および就労希望でありながらも日本語が不十分という理由で希望がかなわない外国籍住民を対象に、日本語習得の場として開催 ●毎週月・木 午前9:30～12:30	NPO法人中情多文化共生ネットワークが運営	4つの日本語教室の中で唯一教室形式での日本語支援につとめており、週1回スタッフの勉強会やミーティングを行っている。受講者のニーズが多様化している中、対応できる支援員不足が課題である。		
学びの森いんふおめーしょん	5月1日 8月1日 11月1日 2月1日	4回	その他	成人		市民に生涯学習関連情報（生涯学習支援登録制度登録団体等の活動情報など）を提供するもの。 市民の多様化した生涯学習活動を補助・促進するもの。 発行部数は、1回につき14,500部。	生涯学習支援登録制度に登録している団体の情報を中心に掲載している。	配布方法が町内回覧であるため、必要な時に情報が得られないという問題がある。地縁の薄い市民への対応といった点からも、配布方法については検討が必要。		
工芸の五月ワークショップ	5月11日～12日	2回	地域文化	成人	37人	「工芸の五月」の一環として、日々の暮らしのなかで使う身近な道具を自らの手で作ることで、ものづくりの楽しさを知るとともに、自然・環境・暮らしを見つめなおす機会とする。 ・5/12「三代澤本寿の紙を使った美しいはがき箱作り」 ・5/13「ペルーの打楽器！カホンを作って叩こう」	共催：工芸の五月企画室	参加者は、工芸に対する知識や経験が豊富な方が比較的多かったが、中には公民館の事業であるから参加してみたという方もいらっしゃった。逆に工芸の五月は知っていたが中央公民館には初めて来たという方もいらっしゃり、工芸の五月実行委員会との共催事業を行うことによる事業の広がりを感じた。今後は、ただワークショップを開催するだけでなく、公民館の手法を取り入れながら、松本のことを好きになってもらえるような仕掛けを行っていききたい。		
第20回松本手まり時計まつり	5月25日～26日	1回	地域事業（文化）	成人	7,500人	【ねらい】 中心市街地の活性化を図るとともに、Mウイングに集う人たちの新たな出会い・交流を促進する。 【事業内容】 公民館利用団体の展示部門発表、ステージ部門発表、体験コーナー、女性センター利用団体の展示・即売等 福祉ひろばのふれあい交流コーナー等 中央保健センターおよび松本ヘルス・ラボのまちかど健康相談 伊勢町商店街の唐津物産展 野外ステージコンサート 夕涼み会 ＜20周年記念企画＞ スタンプラリー及び記念品配布 ポッチャ体験 松本手まり作りワークショップ	Mウイング公益施設関係（生涯学習課・中央公民館、人権・男女共生課、多文化共生プラザ、福祉ひろば、中央保健センター）、伊勢町商店街振興組合、利用団体、市民から構成された実行委員会及び運営委員により運営。	Mウイング内の公益機関等や地域団体、市民各団体と共同で開催された。クラフトフェアと同日開催にしたため、大勢の来場者があった。中心市街地の活性化にも寄与することができた。 大学生にデザイナーをしてもらったポスターを作成し、より多くの方に知ってもらう機会となった。 また、開館20周年企画として、クラフトフェアに合わせた松本手まり作りや、パラリンピックに向けたポッチャ体験を行った。		
公民館活動発表会 展示部門	5月25日 5月26日	1回	地域事業（文化）	成人	200人	市内公民館で活動するサークル、団体等の活動発表および交流の場とする。 「手まり時計まつり」にあわせて開催している。	参加12団体による実行委員会を組織。実行委員長を置く。「手まり時計まつり実行委員」に参画。	高齢化が進み、参加団体数は減少しており、作業にあたっては困難も多い。参加団体同士の交流や来場者にサークル活動に興味を持ってもらう工夫が必要。		
公民館活動発表会 ステージ部門	5月26日（日）	1回	地域事業（文化）	成人	1,302人	市内公民館とあがたの森文化会館で活動する団体等の活動発表および交流の場とする。今年で42回目となる。	発表団体で、公民館活動発表会実行委員会を組織。実行委員会3回。当日の運営も当番役回りでやっている。	17団体が競演した。民謡や剣舞のような古典から、キッズダンス、吹奏楽まで幅広いジャンルからの参加があった。 舞台発表は設備も整っていて良い発表の場なので、皆に知ってもらおうべく手段を考えて、発信していくと良い。熱心に日々行ってきた成果が伝わり、熱意が感じられた。子ども達が出る舞台が更に明るく感じられる。若い世代の発表が増えると良いと思う。 各公民館へのポスターがなく、周知するためプログラムも置いたほうが良かった。		
松本市の公民館（事務報告書）冊子作成・発行	6月上旬		その他	成人		令和元年度の松本市公民館等に関する情報を、1冊にまとめ発行する。	各館より事務報告書の提出。公民館の基礎データ、年表、教育要覧掲載情報等を集約し、冊子へまとめる。	掲載内容については常に、精査するなかで、次年度以降も継続して発行する。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
ステップアップ手話教室「手話で学ぶ手話」	5月29日～10月30日	10回	人権平和	成人	132人	ろう者と聴者の橋渡しとなる通訳者の育成を視野に、手話奉仕員養成講座と県の通訳者養成講座の中間的な位置づけで開催。手話奉仕員養成講座修了程度を対象に、手話通訳を配置せずろう者2名の講師体制で、手話表現及び読み取りの技術向上を目指した。昼・夜の2部制。【健康福祉】	松本市聴覚障害者協会、市障害福祉課の手話通訳コーディネーターと話し合いを行った。	受講者と講師（ろう者）が通訳者を介さずに講義をする形式となっているため、受講者には比較的高レベルの手話技術が必要となつてくるため、途中で離脱する受講者もいたが、全体的には出席率も高く、おおむね満足をした。今後は、松本市聴覚障害者協会と内容の検討をしながら次年度も引き続き開催することとした。		
入門手話教室「手話はじめの一歩」	11月6日～3月18日	10回	人権平和	成人	162人	ろう者の生活文化に理解を深めること、手話を学び続けたいという意欲を高めて手話奉仕員養成講座等の次の学習ステップにつなげることを目的に開催。初心者を対象に日常生活に関する基礎的な手話の習得を目指す。昼・夜の2部制。【健康福祉】	松本市聴覚障害者協会、市障害福祉課の手話通訳コーディネーターと話し合いを重ねた。	手話奉仕員養成講座、手話サークルや手話カフェなど他の手話学習環境との差別化及び接続を考慮して実施内容や時期を設定できた。今年度は未成年者の参加が多くあり、学校で手話に興味を持ち、公民館で実践を交えながら学ぶことができたとの声もあった。また今後手話を生かして仕事に臨むことやろう者との交流に積極的に携わるようにしていきたいという前向きな声も多かったため、今後も継続をしていきたい。なお、3月4日、3月18日の講座については新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から松本市聴覚障害者協会と協議をしたうえで中止とした。		
聴覚障害者と学ぶ成人学校	10月17日～2月20日	5回	健康福祉	成人	77人	昭和47年の開講当初に掲げた聴覚障害者の学習権の保障に加え、ろう者と聴者の相互理解を深める場、地域社会の一員として尊重し合える関係づくりに寄与する場として開講。今年度は「生活に役立つ知識」をテーマに開催した。 第1回 自転車の交通ルール 第2回 成年後見支援制度と権利擁護 第3回 疲労を予防するストレッチやマッサージ 第4回 健康に役立つ調理実習 第5回 今日から始めよう！健康な血管を保つ運動	松本市聴覚障害者協会と打合せを行いプログラムを編成。講師は中央公民館から、通訳者は障害福祉課を通して依頼。	障害の有無に関わらない誰にも共通するテーマを扱いながらも、聞こえないことに留意した講座の構成や進行を講師等と調整しながら取り組めた。今年度は、松本市聴覚障害者協会との話し合いの中で、健康や生活に対しての悩み事をテーマとして取り扱ってほしいとの要望があったため、松本市出前講座の活用や相澤病院、松本医療福祉専門学校などにもご協力をいただき実施をした。しかし昨年度に比べ、延べ人数で30人近く減ってしまっているため、内容についてより念入りな打ち合わせとニーズの把握をするようにしたい。		○
松本国際ふるさとまつり第10回こいこい松本	6月23日(日)	1回	地域事業(文化)	成人	800人	【ねらい】 松本市及びその周辺に住む外国人・外国由来の人たちを中心とした交流、ネットワークづくりの場として、お互いの文化に触れ、理解を深め、親睦を図るきっかけづくりとして開催 【実施内容】 様々な国や地域の文化体験、民族衣装装着体験 カントリーミュージックのコンサート オープニングパレード 他	【主催】 第10回こいこい松本実行委員会（在住の外国由来の人たち、NPO法人中信多文化共生ネットワーク、信大生、松大生、高校生） 【共催】 中央公民館、長野県 実行委員会を組織し企画運営。公民館は実行委員会のサポート役として参加。	国・地域別に運営スタッフ（日本人・外国由来の住民・留学生）を配置し、協力し合いながら当日まで作業を進めることができた。昨年度から会場を6階ホールのみにしたが、今年度は来場者数も多く、多くの交流が生まれた一方で、ホール内で移動が難しいほどの密集が出来てしまった時間帯もあったため、会場についても再度検討をすることとした。 また、今回は長野県との共催事業として、3階会議室3-2において、NPO法人中信多文化共生ネットワークの佐藤佳子氏と行政書士の井上治夫氏の対談形式によるシンポジウムも行われ、こちらも60人以上の来場者があった。多国籍の方々との交流の機会として定着しており、今後も共催として携わっていくことを考えていきたい。		
松本市公民館運営審議会	8月22日(木) 10月28日(火) 3月24日(火)	3回	公民館委員会・各種会議等	その他	46人	公民館事業の企画実施について調査審議する。 主として全市対象事業について、審議。 ・多世代参画型社会システム構築事業について ・中央公民館（Mウイング）1階会議室の活用について ・第34回公民館研究会の開催について 他	2年任期の2年目となり、調査・審議が図られた。	・公民館研究会への関わりや、文部科学省の組織改編、多世代参画型社会システム構築事業等について取り扱う中で、国の動き等、公民館が置かれる現状や、必要性、あり方等について委員間の共有が図られた。		
多世代参画型地域共生コミュニティづくりモデル事業	4月～3月		地域事業(その他)	成人	約360人	松本市と東京大学大学院の牧野篤教授の研究室との共同事業として、町会単位で円滑な人間関係を構築し、町内公民館を活用して、子どもから高齢者まで様々な人々が集い、気軽に、共に楽しく学び、生きていく場として、「多世代参画型地域共生コミュニティ」の構築を目指す。町内公民館の可能性を探りながら、新しい地域社会のあり方を住民の一番身近な町会単位から考え、実践し、「松本モデル」として発信する。	東京大学大学院の牧野篤教授の研究室との共同事業として開催	①中央地区鷹匠町町会（旧市部）、里山辺地区新井町会（新市部）、安曇地区橋場町会（安曇地区他町会）への広がりも模索：中山間地をモデル3町会として、ワークショップを通じて、町会の現状や課題を認識、共有した。子どもたちの夏合宿の実施を機に子どもと親世代が町会運営に参加する動き、公民館寺子屋を計画する等、子どもを中心とした新旧住民の交流の動き、町会の枠を超えて有志団体とともに地域を活性化しようとする動き等、住民主体の活動が見られた。 ②令和元年2月16日に開催された「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第35回公民館研究会 令和元年度地域づくり市民活動研究会～」で牧野教授による基調講演と牧野研究室の大学院生によるモデル3町会の研究発表を行った。 ③地域づくり関係課職員連絡会で随時進捗状況を報告するとともに、健康福祉部、地域づくり部が進める地域包括ケアシステムの推進研修会で、「地域包括ケアシステム松本モデルを更に進めるために」と題し、地域共生社会に向けた牧野教授による講演会を行った。		
第72回「お城盆踊り」	8月14日～16日	3回	地域事業(文化)	成人	820人	国宝松本城での盆踊りを通じて、市民と観光客がひと夏の思い出をつくることにも、郷土に伝わる民謡を市民が知って郷土に愛着と誇りをもってもらえるよう開催したい。また、踊り手の高齢化もあり、地域に伝わる民謡の保全を図る一助となりたい。踊りをおとして心身ともにリフレッシュを図り、健康寿命の延伸に繋げたい。 15日は雨天（台風）のため開催中止となったが、16日は大勢の人が集まった。	当日の実演担当の松本レクリエーション協会と、年間をおとして踊りの講習を行うとともに、当日のようであれば参加した方たちに踊りを伝える事ができるか等を検討した。	雨天（台風）のため二日目が中止となったが、多くの市民や観光客が参加した。外国の人が多かったため英語のアナウンスがであると良いと思う。通訳者に依頼しても良いのではないかと。近隣の住民、盆踊り愛好家、観光客も一緒に楽しく踊ってもらいたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
地域に伝わる民謡講習会	4月7日～12月22日	14回	地域文化	成人	160人	「お城盆踊り」の踊りの実演者の育成と、地域に伝わる民謡の周知と保存のために開催。中央公民館と城東公民館の両館で開催している。地区に地元の民謡が広がるようにしたい。	講師は、松本レクリエーション協会民謡部の会員による。	新規で受講する市民は少ないながらも関心を持って参加している。より多くの市民に受講してもらえよう、周知方法なども工夫したい。「お城盆踊り」での踊りの実演者の育成という観点では踊りの継承につながる講習会になっている。		
景観から地域づくりを考えるプロジェクト「看板学講座」	11月5日 11月12日 11月26日 12月3日	4回	その他	成人	49人	平成25年から2年間、文部科学省委託事業「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」の一環として開催されたものから始まり、「松本看板学」として組織したプロジェクトチームにより、看板を切り口にまちの景観を考える講座を展開している。今年度は、「看板」が集まるエリアの特徴「看板界限」に目を向け、まち歩き、講座、ワークショップを通して具体的な事例を地理学的に考察した。	コーディネーターに倉澤聡氏（都市計画家）、コメンテーターに長谷川繁幸氏（建築士）・高田美果氏（イラストレーター）を迎え、都市政策課と連携するなかで、複数回講座の内容等について検討する。講座開催期間中も、参加者の様子や講座状況なども踏まえ、方向性等について検討しながら、全4回の講座を実施した。	毎回参加している常連の参加者や、初めての参加の方、看板作成の仕事をしている方など、様々な立場の参加者が集まったが、「楽しむ」という気持ちを大切に講座を進めた結果、参加者やプロジェクトメンバー皆が打ち解け、看板や松本のまちへの思いを各々が自由に考え、発言できる場となった。コーディネーターの場づくりや、身近な「看板」を切り口にしているという点から、参加者全員が主体的に参加することができたと考える。今後は、講座の学習成果のアウトプット方法について工夫することが課題である。		
未来へつなぐ 私たちのまちづくりの集い～第35回公民館研究集会 令和元年度地域づくり市民活動研究集会～	2月16日 5月～2月に市民・職員で企画準備	1回	地域事業（その他）	成人	413人	「学び」を大切に松本市の公民館の理念を柱に、住民、市民活動団体、行政職員等の様々な主体が一堂に会し、身近な課題への理解を深め、幅広い議論を通して、気づき、学び合いながら、自分にできることを発見し、実践することを生み出す場として、開催した。 基調講演／牧野篤（東京大学教授） 「町内公民館からはじめるコミュニティづくり」 ＜市民活動商店街＞ ＜分科会＞ 11の分科会を設定 ①松本の歴史・文化を次世代に伝えていくために②住民で考える！元気な田舎のつくりかた③ボランティアの本質を深めよう～自分のため？人のため？このもやもや感は何一体ひだ！？～④SDGsって何？～身近でひとりひとりにできるSDGsを考えよう～⑤ 誰もが共に学びあう地域～障がいを知り、地域で学び合う場づくりを考えよう～⑥もっといい話し合いしてみませんか？⑦理想の交通って…？in松本⑧町内公民館の可能性を考えよう！～お互いに支え合う身近なコミュニティを目指して～⑨観光を活かしたまちづくりって？⑩平和な社会って何だろう 平和な社会を創るためにできる事は？ ⑪公民館が、住民の自由な学習や活動の拠り所となるために ＜まとめの会＞ 各分科会の報告と牧野教授による総括	市民実行委員及び公民館・関係職員による実行委員会を組織 ・実行委員会 2回 ・幹事会 2回 ・その他、各分科会運営委員会、準備会、世話人会などを順次開催。延べ700人以上が企画準備参加	昨年度と同様に、より広い範囲の地域の問題を捉えようとにも、より多くの主体（大学・NPO法人・団体等）と共に幅広い議論をするため、地域づくり部で所管していた「地域づくり市民活動研究集会」と一緒に開催した。 様々な立場の市民が、身近な問題について、幅広い議論を行うと共に、それぞれの立場で自分たちに何が出来るのか考え、実践に繋げることができた。		
日本語講座	4月～2月	34回	人権平和	その他	680人	外国籍住民を対象に日本語習得の機会を提供することで、受講者とボランティアスタッフが学習を通じて相互理解を深めることを目的に開催。多文化共生社会の実現を目指す。受講者のニーズや日本語能力にあわせたクラス設定を行い、きめ細かい学習を行っている。スタッフ会議等を開催し、スタッフ間の意思疎通を図っている。 ●毎週火曜日 19:00～20:30	ボランティアスタッフによる運営。	夜間の講座であるため、十分なミーティングの時間が取れないことや教室運営の体制に苦慮している。ボランティアスタッフと密に関わり、主体的で継続的な運営体制を目指したい。コロナウイルス感染拡大防止のため、3月は休講とした。		
木曜午前ボランティア日本語教室	4月～2月	37回	人権平和	成人	927人	外国籍住民を対象に日本語習得の機会を提供することで、受講者とボランティアスタッフが学習を通じて相互理解を深めることを目的に開催。多文化共生社会の実現を目指す。受講者のニーズや日本語能力にあわせたクラス設定を行い、きめ細かい学習を行っている。スタッフ会議等を開催し、スタッフ間の意思疎通を図っている。 ●毎週木曜日 10:00～11:30	ボランティアスタッフによる運営。 共催：多文化共生プラザ	スタッフ会議、グループミーティングを行い、受講者およびスタッフの交流・連携を図っている。忘年会も工夫して行い、楽しく学べる教室運営を行っている。コロナウイルス感染拡大防止のため、3月は休室とした。		
松本市ヤングにほんご教室（共催事業）	4月～2月	71回	人権平和	青少年	1,050人	日本語を母語としない外国由来の子どもたちを対象に、日本語指導及び教科指導、居場所づくりを行う。 ●毎週月・木 午後6:00～8:00	NPO法人中信多文化共生ネットワークが運営	学習時間の間に休憩時間を設け、生徒間のコミュニケーションを図っている。ボランティアの大半が大学生のため、授業やアルバイトとのスケジュール調整が難しく、また進級に伴い他地域への移転により安定的なスタッフの確保が難しい状況である。コロナウイルス感染拡大防止のため、3月は休室とした。		
高齢者支援プロジェクト	1月25日	3回	健康福祉	成人	42人	地域の中で高齢者を支えるために、すでに地域で展開されている具体的な活動事例を学び、町内公民館等の地域の福祉拠点で、どのような活動ができるか、高齢者支援を切り口とした総合的な地域づくりを考える。	プロジェクトメンバーで企画会議を重ね、学習会を開催。	学習講座を開催し、地域包括ケアシステム第2層コーディネーターの配置や介護保険を超えた地域共生社会構築のための、私的・公的セクターが協力し合う支え合いのあり方を話し合った。 テーマ：高齢者支援から生活支援へ コーディネーター：松本大学尻無濱博幸教授 話題提供者4名：①有償ボランティアの店「もずみ商店」一茂光延②民生児童委員OBOG会「こだまの会」一土崎紘子③JA夢あわせの会一百瀬康子④下諏訪町社会福祉協議会一中村裕二 ハナテ：松本市社会福祉協議会一色美月		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
戦後を問う会・まつもと	通年	12回	人権平和	成人	36人	「人権・平和」といった課題について学び合い、参加者が互いの考えを尊重し、自由に意見交換するなかから、それぞれが新たな生き方や活動を発見し、実践につなげていくための「苗床」として、毎月1回第3木曜日に開催する。	毎月の例会後に次回話し合うテーマを決め、チラシ等により周知する。	参加者がそれぞれに設定したテーマをもとに意見を交換し合い、課題を共有しているが、参加者が固定化していることから、令和2年4月からサークルとして自主的な学習を行っている。		
日本老民考	通年	11回	健康福祉	高齢者	121人	世界情勢から日本の政治、戦中・戦後の日本社会、福祉などを切り口に日本の歩みを検証し、老後の生活（生き方）について意見交換するなかで、それぞれの生き方を考える。毎月1回第4金曜日に開催する。	手塚英男氏（社会教育実践者／『日本老民考-さまざまな老い-それぞれの終い』著者）が設定したテーマ、参加者から提供される話題を切り口に、議論を展開。	今年度は、手塚氏が発行する「東々萬だより（とんとんぐう）」の総決算である「奉安殿という呪縛」を読み合わせたり、新聞の社説欄等から現代の社会情勢について話し合い、意見を交わした。また、参加者が各々取り組んでいる活動を話題として取り上げ、情報交換を行った。会には参加者同士が自由に意見を交換できる空気であり、参加者の生きがいの場にもなっている。		
3歳児健診時の絵本読み聞かせ	4月～2月	11回	子育て	その他	220人	中央保健センター3歳児健診に訪れた親子を対象に、読み聞かせを月1回実施。健診時の読み聞かせを通し、図書委員会の活動を周知、図書室の利用促進につなげる。	図書委員会	読み聞かせを分担し、図書委員全員で本事業に取り組むことができた。		
松本市出前講座「いい街つくるう！パートナーシップまつもと」	通年	479回	その他	その他	29,147人	市役所やその他の公共機関などが行っている施策について市民から要望のあった講座を開講し、市民と職員がパートナーとなり、学びを通して顔の見える関係をつくりながら、共にいい街をつくっていく学びの講座。	各課および関係機関に講座の継続開講や新規開講等の調査を行い、毎年出前講座メニューを更新している。市民や地域団体からの問い合わせに対し、要望を聞き取り、希望に添えるような講座を紹介している。	実施回数、参加者数ともに過去最多となった。また、受講報告書には「またお願いしたい」等の感想が多く見受けられ、受講者の皆さまはおおむね満足していることが分かる。市民から、おすすめの講座などの問い合わせも多くいただくため、より丁寧な案内をするためにも、仲介役を担うだけでなく、関係課との情報共有や連携の強化が課題である。		
生涯学習支援登録制度 ※3月31日現在	通年		その他	成人		多様化する市民の生涯学習に関するニーズに対応するため、地域で活動するグループや指導者を登録、情報提供をすることにより、市民の生涯学習活動を補助・促進するもの。 ○3月末現在 登録数 指導者 149名 グループ 444団体		グループ登録の場合、『学びの森いんふおめーしょん』に記事を掲載するための条件であることから、登録が活発である。指導者登録の場合は、新規登録者のみが『学びの森いんふおめーしょん』に掲載される。そのため、指導者の活用を地区公民館等に仲介する仕組みづくりが望まれる。		
公民館館長会 ・定例会 ・理事会	通年 各月1回	25回	公民館委員会・各種会議等	その他	550人	館長相互の研修を図り、公民館活動の促進に寄与する。	・定例公民館館長会（毎月第3水曜日、午後1時30分から開催、研修内容は理事会で検討し、定例会議で正式に決定） ・理事会は、必要に応じて開催（原則として第2火曜日、午後1時30分～）	令和2年度から会計年度任用職員制度の導入にあたり、公民館長の働き方等を職員課を交えて検討を行った。また、教頭会との合同研修（ネットが子供へ及ぼす影響）、主事会との合同研修（HUG）を実施したりして公民館に関する学習を深めた。来年度は、主事会と合同でコミュニティスクール事業研修会を実施する。		
公民館主事会	通年 月2回	21回	公民館委員会・各種会議等	その他	589人	・公民館主事の資質向上を図り、公民館活動の推進に寄与する。	・公民館主事研修会（毎月第2木曜日） ・幹事会（毎月第1木曜日）	公民館主事としての知識・理解を深めるため、公民館の理念や実務的な内容を研修テーマに設定した。また、地域の実践者等、住民との研修を行うことで、常に住民の声に寄り添う態度を養うことに努めた。本市の公民館活動や地域づくりの動向を相対的に捉えなおす機会となった。		
松本市町内公民館館長会	通年	—	公民館委員会・各種会議等	その他	748人	【ねらい】 各町内公民館の振興及び町内公民館相互の連絡を図るために必要な研修等を行う。 【事業内容】 ★各種会議 ・総会（6/1（土））：総会議事ほか記念講演（「誰にでもできるこどもの居場所って何？」伊藤由紀子氏） ・理事会7回、三役・部長会7回、広報部9回、企画部1回、研修部1回、他新年会など ★研修及び学習会 （三役） ・島内地区懇談会（企画部） ・理事研修会（飯田市）（研修部） ・新任町内公民館館長研修会（6/16（日））、ブロック別研修会4回（女性部） ・視察研修会（小布施町）、意見交換会、学習会、クラフト講座 ★広報 「町内公民館長会だより」70号～72号の発行 ★町内公民館活動のてびき発行	各地区町内公民館館長会からの代表者を理事として1名選出し、特任理事5名を加えて計40名で理事会を運営。会長1名、副会長3名、会計1名、事務局長1名、4つの専門部（企画・広報・研修・女性）を必要に応じて開催。	ブロック研修など各種研修会の実施などを通じて地区や町会の垣根を越えた情報交換ができたことは成果であった。一方で、理事会の場が自身の地域の町内公民館長に伝達をしていく内容を取り扱えなかったことが、理事会のあり方についての議論にも通じてしまったため、来年度は三役との協議を重ね、理事会の場についてより良いものとなるようにしていきたい。また、理事以外の町内公民館長が公民館活動を学べる場であったり悩みを相談できたりする場をより多く設定できるよう提案していきたい。		
公民館報全市版編集委員会	通年	24回	公民館委員会・各種会議等	成人	510人	住民自らが編集する公民館の機関誌として、地域住民と公民館を結びつけ、地域課題・生活課題の学習素材を提供するとともに、将来への足跡として公民館活動を記録するもの。	各地区から1名ずつ編集委員を選出。委員長1名、副委員長3名を置く。	紙面構成の見直し等により、地域や生活・暮らしについて幅広く話し合うことができた。また、市内編集委員を対象に8年ぶりに松本市館報研修会を開催し、全市版編集委員で企画運営した。委員同士の雑談的な語り合いから生まれる「気づき」を大切に、より住民目線に立った共感できる紙面づくりを進めたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
中央公民館図書委員会	通年	20回	公民館委員会・各種会議等	その他	150人	中央公民館図書室を主な活動拠点として子どもから高齢者までを対象に、地域の特性を生かしながら、イベントや選書を行い、図書の普及を図る。 今年度は選書、第20回手まり時計まつりへの参加、イベントを実施。	委員6名。委員長を置く。	より使いやすい図書室にするよう検討したり、子ども向けのイベント等に力を入れて活動することができた。今年度は絵本の選び方や読み方を学ぶ講座を行い、市内で読み聞かせをしている方との交流の機会及び学習の機会となった。		
共生社会創造事業 ①ポッチャ体験会 ②ポッチャサポーター養成講習会 ③ポッチャ審判体験会 ④ポッチャ審判員養成講習会	①4月21日(2回)・3月19日・3月20日 ②8月31日・9月7日・10月13日・10月14日 ③3月19日④10月22日・3月20日	6回	地域事業(その他)	その他	113人	共生社会構築のツールともなるプラスポーツ(ポッチャ)を知る体験会から、サポーター養成や審判員養成講座を開催し、人材育成・人材活用へつなげるように実施した。	サンスポーツまつもと、長野県ポッチャ協会、ポッチャサポーター	参加者アンケートでは、初めてでも楽しめて仲間づくりが出来るツールとなることが分かった。 また、メディアの注目度も高く、全ての回で取材が入った。参加者の一部が地域で体験会を実施するに至り、その際、サポーター同士で協力し合って開催した地区もあった。 次年度も継続実施する。 台風被害により②10月14日規模縮小で実施。新型コロナウイルス感染症拡大予防のため①3月19日・3月20日③④3月20日は中止。		
若者活動発表 「未来を託す彼らの地域活動」	3月26日	1回	地域事業(その他)	その他	4人	前年度実施の18歳の選挙権の調査を行っている荒井准教授の調査報告や若者の地域活動団体の実践発表が好評であり、今年度も若者の活動発表を知る機会を設けた。	信州大学荒井准教授 VOTERS CHENGE ボヘミアン珈琲 打ち合わせは全てメールで実施。(4名参加としてカウントした)	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止。		
中央公民館ネットワーク事業	通年		地域事業(その他)	その他		現在、各地区がどのような課題を抱え、何を重点に活動を展開しているのか等の地区情報を中央公民館が集約し、情報提供などを通じて地域と地域をつなげることで、各地区の活動へ活かす。 各地区の事業や会議へ参加したり、地域職員連絡会などに参加したりすることで、地域の情報を把握し他の地区へ発信する。	中央1.2.3、河西部、西南部、東南部、東山部の計全7ブロックに、中央公民館から担当職員を配置する。	地区企画支援担当者会議への出席、情報集約と発信の方法を要検討。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

- ・地区内に小中学校が無く、通学区が小学校4校、中学校3校に分かれてしまいコミュニティスクール事業の展開が難しい状況である。学校への直接的な支援等ではなく、地区として学区が違う子どもや親が地域とつながりを深める事業を推進する。
- ・単独で町内公民館の建物を持っている町会が少なく、住民が気軽に集まる場所や機会が少ない。地区公民館や福祉ひろばが居場所となり、地域住民相互の絆を深め、生きがいがづくりの場となる事業を推進する。
- ・職員間及び地区関係団体と連携して、公民館活動の充実を図る。

評価・反省等

- ・子ども達に地域を知り愛着を持ってもらえるよう、昨年度に引き続き地区の歴史や文化を学ぶ事業を実施した。今年度も地区関係団体と連携して地区住民が関わりながら事業を実施したが、次年度は、高齢者から地区の昔話を聴く機会などを設け、多世代の交流が深まるよう事業を展開していきたい。
- ・いきいき百歳体操や居酒屋ひろばの開催により、住民が楽しみながら気軽に集える機会を設けることができた。新たな参加者を増やしなが、地域のつながりを深める事業として継続していきたい。
- ・職員間や地区関係団体と連携して公民館事業を実施することができた。次年度も連携しながら安心して暮らし続けることができる地域をめざし、生活に根ざした事業を実施していきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等
	平人 和権	福健 祉康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	ス ポ ー ツ	防 災	そ の 他	体 育	文 化	そ の 他	
事業数	2	7	1	1	6	5	1		1	5	4		3
延べ参加人数		986	292	18	183	220			188	129	326		351

	CS	食育
事業数	1	5
延べ参加人数	35	120

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
春のウォーキング大会	4月24日	1回	福祉健康	成人	25人	【内容】 ・諏訪、茅野地域の尖石考古館等を訪れ、周辺をウォーキングしながら巡った。 【ねらい】 ・諏訪、茅野地域の歴史文化を学びながらウォーキングを行い、地区住民の健康増進と親睦を深める。 【スポーツ】	【準備過程】 ・体育事業実行委員会での企画を検討。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・体育協会、福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 ・春の景色を眺めて楽しみながら、それぞれの体力に合わせてウォーキングを行うことができた。 ・体育協会役員が事前に見学を行うなど、地区関係団体と協力して、事業の運営を行うことができた。 【今後の方針】 ・地区体育事業をどのように推進するのかが関係団体と協議しながら、事業の実施を検討していきたい。		
春のマレットゴルフ大会	5月18日	1回	地域事業(体育)	成人	21人	【内容】 ・アルプス公園マレットゴルフ場で大会を開催した。 【ねらい】 ・マレットゴルフを通じて地区住民の健康増進と親睦を図る。また競い合うことで技術の向上を図る。 【スポーツ】 【福祉健康】	【準備過程】 ・体育事業実行委員会での企画検討。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・体育協会	【評価と反省】 ・春の陽気を感じながら緑に囲まれたコースを回り、マレットゴルフを通じて参加者の健康づくりと交流を深めることができた。 ・毎年20名程の参加があるが、固定化している。 【今後の方針】 ・地区体育事業の推進のため継続して実施したい。 ・福祉ひろば事業の「初心者マレットゴルフ講座」と連携するなど、新規参加者が増えるよう実施にあたり検討をしていきたい。		
松本手まり時計まつり緑の講座「お花の寄せ植え」	5月25日	1回	環境	成人	18人	【内容】 ・専門家から花苗の寄せ植え方法を学んだ。 ・講師 桑田雅代氏 【ねらい】 ・松本手まり時計まつりのイベントとして実施し、地区内の緑化推進を図る。【趣味教養】	【準備過程】 ・講師と内容を検討。地区内広報で周知した。当日の運営は緑化推進協議会の協力のもと実施。 【共催団体等】 ・緑化推進協議会、松本手まり時計まつり実行委員会	【評価と反省】 ・今年度は、数種類の花苗を取り揃えて寄せ植えを行った。色とりどりの花苗を用意し華やかな寄せ植えが出来上がり、参加者に好評であった。 ・松本手まり時計まつりの催しの一つとして実施しているため、屋外テントの使用時間に制限があり、講座の進め方に工夫が必要である。 【今後の方針】 ・手まり時計まつりの催しの一つとして開催しているため、多くの人に参加してもらえよう周知方法を検討し、講座を開催したい。		
松本手まり時計まつりカエルストラップ作り	5月25日 5月26日	2回	趣味教養	その他	50人	【内容】 ・地区住民を講師に令和元年の干支であるネズミを形どったストラップや置物作りの体験を実施した。 ・講師 伊東祐次郎氏(地区住民) 【ねらい】 ・地区住民を講師として、地域の人材活用を推進する。第20回となる松本手まり時計まつりの記念イベントとして実施。	【準備過程】 ・講師と内容を検討。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・松本手まり時計まつり実行委員会	【評価と反省】 ・地区として第20回記念イベントの位置付けで今回特別に実施した。工作体験を通じて、参加した家族の楽し気な様子も見られ、またスタッフや講師と参加者との良い交流の場もなった。 【今後の方針】 ・体験を通じて交流や学ぶことも多く、今後の事業にも取り入れていきたい。		
松本手まり時計まつり昔のまちなみ写真展	5月25日 5月26日	2回	地域文化	その他	-	【内容】 ・地区内の昔のまちなみを写した写真を展示した。 【ねらい】 ・写真を通して地区の歴史を振り返り、地区を懐古するとともにPRの機会とする。第20回となる松本手まり時計まつりの記念イベントとして実施。	【準備過程】 ・地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・松本手まり時計まつり実行委員会	【評価と反省】 ・地区として第20回記念イベントの位置付けで今回特別に実施した。展示されている写真を懐かしみ、写真を見た人たちから思い出話を聞くことができ、昔話を聞きながら地区の歴史を振り返る機会とすることができた。 【今後の方針】 ・別の機会でも昔の写真を見ながら、昔話を聞き、地区の歴史を振り返る機会を設けていきたい。		
春の視察研修「歴史探訪 井伊家を訪ねて」	5月30日	1回	趣味教養	成人	20人	【内容】 ・高森町の松源寺や歴史民俗資料館を訪ね、現地ガイド等の説明を受けながら、地域の歴史文化を学んだ。 【ねらい】 ・地市町村の歴史文化等について知識や教養を深めるとともに、文化財等の保存・活用についても学び、町内公民館活動に活かすもの。 【地域文化】	【準備過程】 ・町内公民館長会と企画を検討。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・町内公民館長会	【評価と反省】 ・現地での説明を受けながらの見学により高森町と井伊家とのつながりや歴史を詳しく知ることができた。 【今後の方針】 ・市外の文化や歴史を学ぶ機会とし、高齢者も参加しやすい企画を検討、継続して実施していきたい。		
料理講座「郷土料理をつくろう」	6月29日	1回	福祉健康	成人	15人	【内容】 ・地元産のそば粉を使い、信州の郷土食である「おやき」の作り方を学んだ。 ・講師 池上栄子氏(栄養士) 【ねらい】 ・料理実習を通じて、豊かな食生活と郷土食の伝承を図る。 【趣味教養】	【準備過程】 ・食生活改善推進協議会と企画を検討。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・食生活改善推進協議会	【評価と反省】 ・そば粉を使いおやきと団子を調理し、そば打ち以外の郷土の食材であるそば粉の活用方法を学ぶことができた。 ・企画や講座当日の運営に食生活改善推進員も加わり、地区住民と一緒に事業を進めることができた。 【今後の方針】 ・食生活改善推進協議会と連携し、今後も食育事業の充実を図りたい。		○
夏のポウリング大会	7月20日	1回	地域事業(体育)	その他	47人	【内容】 ・一般の部と親子の部に分かれて、多世代が参加し、ポウリング大会とミニ講座を併せて実施した。 ・講師 藤澤淳次氏(地区住民) 【ねらい】 ・屋内スポーツの実施が難しい夏の時期に屋内スポーツのポウリングを通じて、地区住民の健康増進と親睦を図る。 【スポーツ】 【福祉健康】	【準備過程】 ・体育事業実行委員会での企画検討。地区内広報で周知した。 ・「親子の部」の参加者の取りまとめは、子ども会育成会に依頼。 【共催団体等】 ・体育協会、子ども会育成会	【評価と反省】 ・一般と親子とをレーン分けてゲームを行ったが、多世代が一堂に会してスポーツを楽しむ良い機会となった。 【今後の方針】 ・夏の暑さで屋外スポーツの実施が難しい時期に、地区住民の健康増進のため、室内で出来るスポーツを企画していきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
夏休み自由研究応援講座「第一地区の歴史を学ぶ」	7月31日	1回	地域文化	青少年	35人	【内容】 ・夏休み自由研究のテーマとして地区内の歴史を学ぶ講座を開催した。講師の案内、解説によりを本町、博労町の史跡等を回った。 ・講師 青木教司氏 【ねらい】 ・夏休みの学習支援、地区内の歴史文化を伝承する。	【準備過程】 ・実行委員会を組織し、企画運営を行った。 ・周知、参加者の取りまとめは子ども会育成会に依頼。 【共催団体等】 ・公民館文化委員会、子ども会育成会、食生活改善推進協議会、民生主任児童委員	【評価と反省】 ・講師の説明を聞きながら、地区の史跡等を回り、参加した子ども達が地区の歴史を学ぶ良い機会となった。 ・真夏の暑い時期であったため、徒歩きでは、子ども会育成会役員と公民館文化委員が回り、子ども達の体調管理や交通安全に気を配りながら講座を実施することができた。 【今後の方針】 ・子ども達の学習支援として、ニーズを捉えながら企画を検討したい。	○	
青山様・ぼんぼん練り歩き	8月8日	1回	地域文化	青少年	74人	【内容】 ・地区の小学生が中心となって、ぼんぼんと青山様の練り歩きを実施した。 【ねらい】 ・古くから地域に伝わる伝統行事「青山様」「ぼんぼん」を子ども達へ伝承し、郷土の歴史・文化を学ぶ。	【準備過程】 ・実行委員会を組織し、企画運営を行った。 ・周知、参加者の取りまとめは子ども会育成会に依頼。 【共催団体等】 ・公民館文化委員会、子ども会育成会、民生主任児童委員	【評価と反省】 ・地区内の子どもが減少し町会単での開催が難しいため、地区事業として実施し、今回も多くの親子に参加してもらったことができた。 ・伝統行事を伝承していくために地区内をただ練り歩くだけでなく、行事の歴史や由来等を学ぶ機会も必要である。 【今後の方針】 ・少子化により町会単での実施が困難なため、今後も伝統行事の継承のため、関係団体と連携を取りながら実施していきたい。		
納涼祭	8月8日	1回	地域事業(文化)	その他	130人	【内容】 ・夏の行事として、地区住民が盆踊りや抽選会を行い、子ども達は青山様とぼんぼんの練り歩きを披露した。 【ねらい】 ・納涼祭を通じて、地区内の親睦と融和を図る。子ども達が「青山様・ぼんぼんの練り歩き」を披露し、世代間交流の推進を図る。	【準備過程】 ・町会連合会が中心となって運営委員会を組織し、企画運営を行った。 【共催団体】 ・町会連合会	【評価と反省】 ・青山様ぼんぼん練り歩きに引き続き、多くの親子が納涼祭へ参加した。多世代が交流できる催しとなり、祭りが活気ついた。地区行事への子どもの参加は重要である。 【今後の方針】 ・子どもの参加が納涼祭を盛り上げる一つの要因となっているため、今後も子ども達が参加しやすい内容の検討が必要である。		
歴史文化学習講座「開智学校の成立と一市一校制の継続」	8月30日	1回	地域文化	成人	24人	【内容】 ・洋風校舎が国宝に指定された旧開智学校について、学校開設や昭和11年まで一市一校制を継続した経緯等を学んだ。 ・講師 青木教司氏 【ねらい】 ・地区の歴史や文化を後世へと語り継ぐため、現存する様々な資料をもとに、地区内で起こった出来事等を学ぶ講座を開催するもの。 【趣味教養】	【準備過程】 ・講師と企画を検討し、地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・歴史文化調査実行委員会	【評価と反省】 ・開智学校はかつて地区内にあり、国宝に指定された洋風校舎で学んだという地区住民が多い。国宝指定の記念として講座を開催したが、地区外からも参加があり、講座終了後には参加者がそれぞれの思い出を語り、地区の身近な歴史を知る良い機会となった。 【今後の方針】 ・身近な地域の歴史を後世へ伝えるため、内容を検討し、今後も実施していきたい。		
料理講座「食生活改善栄養指導教室」	9月4日	1回	福祉健康	成人	21人	【内容】 ・脂質異常症防止のための講義と栄養バランスの整ったメニューの料理実習を行った。 ・講師 市栄養士、食生活改善推進員 【ねらい】 ・栄養に関する講義や実習を通じて、健康的な食生活の推進を図る。 【趣味教養】	【準備過程】 ・食生活改善推進協議会と企画を検討。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・食生活改善推進協議会、健康づくり推進員会、健康づくり課	【評価と反省】 ・脂質の摂り過ぎが体にどう影響するのか講義を受け、脂質を抑えたメニューの実習を行ったため、日常の調理で注意すべき点について具体的に知ることができた。 ・料理実習では食生活改善推進協議会で講師を務め、地区団体の活動をPRすることができた。 【今後の方針】 ・食生活改善推進協議会と連携し、今後も食育事業の充実を図りたい。	○	
食文化視察研修「東御市の歴史・食文化を学ぶ」	9月13日	1回	福祉健康	成人	25人	【内容】 ・東御市のワイナリーや海野宿を訪ね、他地域の食文化や歴史を学んだ。 【ねらい】 ・食に関する体験や交流を通じて、地区住民の豊かな食習慣を育み、他市町村の風土を活かした食文化を学ぶため、視察研修を開催する。 【趣味教養】	【準備過程】 ・食生活改善推進協議会と企画を検討。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・食生活改善推進協議会	【評価と反省】 ・ブドウ栽培に適した風土を生かし、ワインの生産で地域おこしをしている東御市の食文化や歴史を学ぶことができた。 ・食生活改善推進協議会と視察研修の企画を検討し、地区団体と連携して取り組むことができた。 【今後の方針】 ・食生活改善推進協議会と連携し、視察研修を通じて、今後も食育事業の充実を図りたい。	○	
初心者マレットゴルフ講座	9月23日	1回	スポーツ	成人	中止	【内容】 ・上田市塩田の郷マレットゴルフ場で初心者を対象とした講座を開催する。 ・令和元年東日本台風により上田地域の被害を考慮し中止した。 【ねらい】 ・マレットゴルフの技術向上と地区住民の健康増進と親睦を図る。【福祉健康】	【準備過程】 ・体育事業実行委員会での企画検討。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・体育協会、福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 ・マレットゴルフの技術向上と、年2回開催しているマレットゴルフ大会への新たな参加者を増やすため企画したが、令和元年東日本台風の影響により予定していたマレットゴルフ場への道路が被害を受けたため、中止することになった。 【今後の方針】 ・関係団体と実施については検討したい。		
敬老祝賀会	9月26日	1回	地域事業(文化)	高齢者	125人	【内容】 ・地区内の高齢者を対象に、会食や園児のステージ発表の鑑賞等を行い、祝賀会を開催した。 【ねらい】 ・高齢者を敬い長寿を祝い、祝賀会を通じて住民相互の親睦を図る。 【健康福祉】	【準備過程】 ・町会連合会が中心となって、運営委員会を組織し、企画運営を行った。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・町会連合会	【評価と反省】 ・時間の短縮、会話のしやすさやステージの見やすさを考慮して机の配列を工夫する等、昨年度の反省を踏まえて、内容を検討し実施した。 【今後の方針】 ・人口減少、高齢化により単独での開催が難しい町会もあるため、関係団体と協力して実施していきたい。		
秋のマレットゴルフ大会	9月28日	1回	地域事業(体育)	成人	20人	【内容】 ・アルプス公園マレットゴルフ場で大会を開催した。 【ねらい】 ・マレットゴルフを通じて地区住民の健康増進と親睦を図る。また競い合うことで技術の向上を図る。【スポーツ】【福祉健康】	【準備過程】 ・体育事業実行委員会での企画検討。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・体育協会	【評価と反省】 ・上位入賞連者のハンディキャップを見直したことにより、誰もが入賞できる可能性が広がり、参加者のモチベーションを上げることができた。実際に今大会では、今まで入賞したことがない参加者が1位となった。 【今後の方針】 ・地区体育事業の推進のため継続して実施したい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
秋の視察研修 「小林一茶のふるさと 信濃町、蔵のまち須坂 市を訪ねて」	10月9日	1回	地域文化	成人	27人	【内容】 ・小林一茶のふるさとである信濃町で小林一茶記念館を見学した。また蔵のまちとして有名な須坂市では、田中本家博物館や旧小田切家住宅を見学した。 【ねらい】 ・各市町村の歴史文化等について知識や教養を深めるとともに、町内公民館活動に活かすもの。 【趣味教養】	【準備過程】 ・町内公民館長会と企画を検討。地区内広報で周知。 【共催団体等】 ・町内公民館長会、人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・小林一茶記念館や旧宅を視察し、一茶が生きた時代の差別の現状等を知ることができた。歴史や文化について知識を深めるだけでなく、人権問題に関しても学ぶ機会となった。 【今後の方針】 ・各市町村の歴史文化及び諸活動を学び、町内公民館活動へ生かすため、継続して実施していきたい。		
餅つき大会	12月7日	1回	地域事業 (文化)	その他	71人	【内容】 ・餅つきの体験と試食、多文化ワークショップを実施した。 【ねらい】 ・昔ながらの臼と杵を用いた餅つきの体験を通して、食文化の伝承を図り、子どもから高齢者まで地域住民の交流を深めるもの。 【人権平和】	【準備過程】 ・実行委員会を組織し、企画運営を行った。 ・周知、参加者の取りまとめは子ども会育成会に依頼。 【共催団体等】 ・公民館文化委員会、子ども会育成会、食生活改善推進協議会、民生主任児童委員	【評価と反省】 ・子どもから高齢者まで多くの人が参加し、餅つきを通じて多世代が交流するイベントとして実施することができた。 ・餅つき体験前に多文化ワークショップを開催したが、早い時間からの開催は人が集まりにくい。次回は開催時間の見直しが必要である。 【今後の方針】 ・世帯間交流の場となるよう、今度も継続して実施したい。		
冬のポウリング大会	1月25日	1回	地域事業 (体育)	その他	41人	【内容】 ・一般の部と親子の部に分かれて、多世代が参加し、ポウリング大会とミニ講座を併せて実施した。 ・講師 藤澤淳次氏（地区住民） 【ねらい】 ・屋外スポーツの実施が難しい冬の時期に、屋内スポーツのポウリングを通じて、地区住民の健康増進と親睦を図る。【スポーツ】【福祉健康】	【準備過程】 ・体育事業実行委員会での企画検討。地区内広報で周知した。 ・「親子の部」の参加者の取りまとめは、子ども会育成会に依頼。 【共催団体等】 ・体育協会、子ども会育成会	【評価と反省】 ・特に冬場は家に閉じこもりがちになるため、ポウリングを通じて、運動不足を解消する良い機会となった。 【今後の方針】 ・屋外スポーツの実施が難しい時期に、地区住民の健康増進のため、暖かい室内で出来るスポーツを企画していきたい。		
歴史文化学習講座 「元禄期松本城下絵図 に見る本町とその後の 変遷」	2月7日	1回	地域文化	成人	23人	【内容】 ・商人や職人等が居住していた町人地が記されている元禄期の絵図を見ながら松本城下町の変遷を学んだ。 ・講師 青木教司氏 【ねらい】 ・地区の歴史や文化等を伝承するため、歴史文化を学ぶ講座を開催するもの。 【趣味教養】	【準備過程】 ・講師と企画を検討し、地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・歴史文化調査実行委員会	【評価と反省】 ・絵図を見ながら、城下町の商人や職人等の暮らし、出来事を知ることができた。 ・地区外からも参加があり、城下町の歴史は関心が高く、参加者から講座の継続を希望する意見をいただいた。 【今後の方針】 ・身近な地域の歴史を後世へ伝えるため、内容を検討し、今後も実施していきたい。		
安心安全なキャッシュ レス生活のススメ	2月25日	1回	人権平和	成人	中止	【内容】 ・急速に進むキャッシュレス社会に対応するため新たな詐欺被害に遭わないように多様化するキャッシュレス決済等について学ぶ。 ・新型コロナウイルス感染予防のため中止した。 【ねらい】 ・安全で安心な暮らしをめざして、あらゆる人々の人権が尊重されるよう学習講座を開催するもの。	【準備過程】 ・町内公民館長会と内容を検討し、地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・町内公民館長会、人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・キャッシュレス決済が急速に国内で進み中、制度等を理解し安心して利用できるよう講座を企画したが、講座当日に県内で新型コロナウイルス感染者が発生したため、急遽中止した。 【今後の方針】 ・関係団体と今後の企画を検討し、実生活に根ざした講座を検討して実施していきたい。		
ふれあいまつり	3月7日	1回	地域事業 (文化)	その他	中止	【内容】 ・地区の総合文化祭としてステージ発表、作品展示、会食会を行う。 ・新型コロナウイルス感染予防のため中止した。 【ねらい】 ・地区内団体等の活動発表の場として開催し、地区住民相互の親睦を図る。【趣味教養】【福祉健康】	【準備過程】 ・町会連合会が中心となって、運営委員会を組織し、企画運営を行った。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・町会連合会	【評価と反省】 ・地区公民館開館10周年、福祉ひろば開館20周年を記念した周年事業も行う予定であったが、中止となった。 【今後の方針】 ・関係団体と連携を取りながら、協力し実施していきたい。		
ふれあいスポーツ交流 会	3月7日	1回	地域事業 (体育)	青少年	中止	【内容】 ・ニュースポーツの体験とドッジボールを行う。 ・新型コロナウイルス感染予防のため中止した。 【ねらい】 ・地区住民の運動不足解消と地区内親子の親睦を深める。【福祉健康】	【準備過程】 ・体育協会と子ども会育成会役員で企画を検討。 ・地区内広報で周知、参加者の取りまとめは、子ども会育成会へ依頼した。 【共催団体等】 ・体育協会、子ども会育成会	【評価と反省】 ・ふれあいまつりへ子どもの参加をつなげるため、同日の開催としたが、中止となった。 【今後の方針】 ・関係団体と協議して検討したい。		
多文化料理教室 「家庭で簡単に作れる 韓国料理」	3月16日	1回	人権平和	成人	中止	【内容】 ・家庭でも簡単に調理できるように身近な食材を使い、韓国料理のビビンバとチゲ鍋を実習する。 ・新型コロナウイルス感染予防のため中止した。 ・講師 尹也子氏 【ねらい】 ・食文化を通じて他国への理解を深めるため、外国の料理を実習する。 【人権平和】【趣味教養】	【準備過程】 ・食生活改善推進協議会と企画を検討。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・食生活改善推進協議会	【評価と反省】 ・地区内にある飲食店の方に講師を依頼して、家庭でも簡単にできるようメニューを検討してもらったが、中止となった。 【今後の方針】 ・食生活改善推進協議会と連携し、今後も食育事業の充実を図りたい。		
いきいき百歳体操 講習会	5月14日 5月21日 5月28日 6月4日	4回	福祉健康	成人	86人	【内容】 ・いきいき百歳体操の効果等の説明と実際に体操の講習を行った。 【ねらい】 ・地区住民の健康増進といきいき百歳体操の普及を図る。	【準備過程】 ・健康づくり課と福祉ひろばと打合せを行い、地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・福祉ひろば事業推進協議会、健康づくり課	【評価と反省】 ・体操の継続実施を目標に、導入として講習会を開催した。正しい動きや効果を学ぶことにより、参加者の継続への意識が高まった。 【今後の方針】 ・職員が支援しながら、住民主体の活動へつなげていきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
いきいき百歳体操	6月11日～ 2月25日	31回	福祉健康	成人	509人	【内容】 ・おもりを使った筋力運動「いきいき百歳体操」を週1回開催した。 ・6月から9月までは職員主導で行い、10月以降は体力づくりサポーターが中心となって住民主体の活動へ移行した。 ・新型コロナウイルス感染予防のため3月5回中止した。 【ねらい】 ・地区住民の介護予防と健康増進を図る。また、定期的に開催することで、参加者相互の仲間づくり・生きがいづくりの場とするもの。	【準備過程】 ・住民の主体的な活動へつなげていくため、地区担当職員等で企画・運営方法を検討。 ・体力づくりサポーターの協力を得て運営。 ・地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・福祉ひろば事業推進協議会、体力づくりサポーター、地区担当職員	【評価と反省】 ・9月までは地区担当職員が交代で参加し、体操後に毎回茶話会を実施。健康等に関するミニ講座等を行い参加者との交流を深めることができた。 ・会場準備など段階的に参加者に関わってもらいながら実施し、10月以降は体力づくりサポーターを中心に住民主体の活動へと移行することができた。 【今後の方針】 ・住民主体の活動として継続できるよう支援を行っていきたい。		
初めてのデジカメ講座	5月20日～ 2月17日	8回	趣味教養	成人	91人	【内容】 ・デジタルカメラでの撮影方法を学ぶ講座を開催。学習会4回、撮影会3回、特別講座1回実施した。 ・新型コロナウイルス感染防止のため3月開催の撮影会を中止した。 ・講師 宮島幹治氏 【ねらい】 ・デジタルカメラでの撮影技術の向上及び視聴覚委員の人材発掘と育成を図る。	【準備過程】 ・公民館視聴覚委員会で企画運営を行った。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・公民館視聴覚委員会	【評価と反省】 ・継続して実施することにより、参加者の撮影技術が向上した。 ・参加者が固定化しているため、新規参加者の募集について検討が必要である。 【今後の方針】 ・視聴覚委員会で主体的に企画運営ができるよう、今後も支援をしていきたい。		
男の料理教室	7月16日 10月7日 11月18日 1月15日	4回	趣味教養	成人	59人	【内容】 ・男性を対象に簡単に調理でき、おつまみにもできるメニューの料理実習を行った。 【ねらい】 ・男性が食生活について積極的に関心を持ち、実習を通じて料理をすることの喜びや楽しさを体験する教室を開催するもの。また、男性参加者の交流と生きがいづくりの推進を図る。	【準備過程】 ・福祉ひろば事業推進協議会と企画を検討。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・福祉ひろば事業推進協議会、食生活改善推進協議会、健康づくり課	【評価と反省】 ・料理をする機会が少ない男性でも簡単に調理ができるよう講師とメニューを検討して実施した。徐々に参加者の手際も良くなり、片付けも時間内に終わるようになった。 ・10月には食生活改善推進協議会で講師を務め、実習だけでなく、栄養に関する話もあり、男性へ食の大切さを伝える良い機会となった。 【今後の方針】 ・関係団体と企画を検討し、今後も食育事業の充実を図りたい。		○
居酒屋ひろば	4月15日～ 2月17日	9回	その他	成人	188人	【内容】 ・参加者が持ち寄りのお酒やつまみを囲み、地区住民の語り合い場として居酒屋を開催した。 【ねらい】 ・男性参加者を増やすため、福祉ひろばや公民館へ来館するきっかけづくりとして居酒屋を開催。	【準備過程】 ・福祉ひろば事業推進協議会と企画を検討、地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 ・男の料理教室と併せて開催することにより、男性参加者は定着しつつあるが、女性の参加者が少ない。 【今後の方針】 ・男女問わず参加しやすい雰囲気づくりを心掛け、工夫を凝らしながら実施していきたい。		
初めてのデジカメ講座 写真展	12月11日 ～ 1月18日	1回	趣味教養	その他	—	【内容】 ・初めてのデジカメ講座参加者による写真展をMウイングふれあいロビーで開催した。 【ねらい】 ・参加者の活動成果を発表する場として開催するもの。	【準備過程】 ・視聴覚委員と企画を検討。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・公民館視聴覚委員会	【評価と反省】 ・展示した作品が昨年度よりいい作品となっているとの講師から評価をもらい、写真展の開催が撮影技術向上につながっている。 【今後の方針】 ・講座で学ぶだけでなく活動発表の場は必要であるため、視聴覚委員会で実施に向けて検討したい。		
健康講座 「かんたんストレッチ」	通年	20回	福祉健康	成人	305人	【内容】 ・健康運動指導士から転倒予防や筋力維持のためのストレッチ方法を学んだ。 ・新型コロナウイルス感染予防のため3月（1回）は中止した。 ・講師 荒井真理氏 【ねらい】 ・運動初心者向けの講座として開催し、定期的に実施することで運動習慣を身に付け、健康への意識向上を図る。	【準備過程】 ・講師と職員で企画を検討、地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 ・参加者の様子を見ながら、講師が運動の内容を工夫してくれているため、体操の効果を実感でき、参加者の満足度は高い。毎月開催していることにより、参加者同士の交流も深まっている。 【今後の方針】 ・自宅でも運動が継続できるよう、講師と内容を相談しながら、実施していきたい。		
子育て応援講座 「すくすくひろば」	通年	11回	子育て	家庭教育	292人	【内容】 ・未就学児と保護者を対象に、英語やリトミック、季節の行事など毎月異なるテーマの学びや遊びを実施した。 ・4回（6月、8月、12月、2月）は食生活改善推進協議会が手作りおやつを提供した。 ・新型コロナウイルス感染予防のため3月（1回）は中止した。 【ねらい】 ・就学前の子どもと保護者が気軽に交流できる場を設け、子育ての不安や悩みを相談できる場として、子育て支援の推進を図る。【福祉健康】	【準備過程】 ・職員で企画を検討。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・民生児童推進協議会、食生活改善推進協議会、福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 ・子どもをきっかけに母親同士の交流の場としても開催することができた。 ・今年度から4回、食生活改善推進協議会で手作りおやつを提供し、食の大切さを伝え、地区団体の活動を紹介する良い機会となった。 【今後の方針】 ・子育て世代への支援は必要とされる事業であり、内容を検討して今後も実施していきたい。		
地域だよりの発行	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	その他	—	【内容】 ・地区内の情報や公民館と福祉ひろばの講座案内等を掲載した「地域だよりの」を毎月広報まつもとの配布に合せ発行した。 【ねらい】 ・町会連合会、地区団体、公民館、福祉ひろば等の諸活動について周知を図る。	【準備過程】 ・町会連合会広報委員会で紙面の編集と発行を行った。 【共催団体等】 ・町会連合会	【評価と反省】 ・地区内の情報や行事・講座の案内など掲載し、全戸配布しているが、多くの住民に見てもらおう工夫が必要である。 【今後の方針】 ・広報委員会でより多くの住民に見てもらえるよう検討をしていきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
公民館報の発行	5月～3月	6回	公民館委員会・各種会議等	その他	—	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2カ月毎に発行している公民館報「第一地区版」を編集発行した。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の諸活動を記録、周知するため、地区住民から選出された委員によって編集を行う。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行月毎に館報委員会を開催し、内容等を検討。 ・視聴覚委員会は、地区の「今」を写真として記録するため、季節の写真や行事等の写真を撮影し掲載。 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館報委員会、視聴覚委員会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内での出来事をできるだけ情報収集し、町会独自の活動等の記事も掲載するように工夫をした。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の諸活動を幅広く掲載できるよう、紙面の充実を図りたい。 		
五部門委員会	通年	63回	公民館委員会・各種会議等	成人	351人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営、館報、文化、視聴覚、事業内容に応じた委員会を組織し、公民館事業を企画、運営、評価等を行った。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の公民館活動を推進する 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会ごとに随時開催。 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各委員会で開催事業等の企画運営をし、住民と協働で公民館事業を行うことができた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も住民との協働で事業が実施できるよう委員会活動の充実を図りたい。 		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針・地域課題】
 各種公民館事業の実施に際し、前年度事業をベースにして、それぞれの講座及び事業を継続実施した。前年度の反省を踏まえて各種事業のより一層の充実と、新規講座等開設を重点目標として取り組んだ。

地域づくりセンターが令和元年度に完成させる「地区診断書」、「地域福祉計画」を作成するため、月1回の地区担当職員連絡会議に参加し、地域の課題を議論しながら、地域づくりの一端を担っていく。

評価・反省等

第二地区の2大行事「盆踊り大会」「文化祭」について、それぞれ地域住民の実行委員が主体となり、盛大に開催できたことがよかった。また、前回開催の後にされた反省点を、実行委員会の時に議論し、改善できるものは改善できたことがよかった。

文化祭においては、ここ数年、同じ団体によるステージ発表が続いていたが、令和元年度に、第二地区公民館利用サークルに声を掛けたところ、2つのサークルが新規参加していただいた。特殊な道具を使った体操クラブと、小学生を含む三味線サークルがステージに立ち、大変盛り上がった。観覧者からも、大変良かったとの言葉がいただけた。

通年実施している講座については、参加者と講師の関係も良く、講座内容についても、それぞれが意見を言い、尊重し合いながら楽しい内容にしていく努力が見られた。講座参加者からはとても楽しい講座だから継続実施して欲しいとの声が多く聞かれています。また、令和元年度から、第二地区健康づくり推進員会と公民館による初めてのコラボ講習会を3回開催することができました。それぞれ、内容の違う講習会でしたが、多くの地域住民の参加をいただいた。また開催してほしいなどの参加者からの声も聞かれ、大成功に終えることができた。次年度以降の協力体制も確認できていることから、内容を検討しながら継続実施していきたい。

地区担当職員連絡会議に参加し、関係職員と地域の課題を議論し、地区診断書と地域福祉計画の完成に協力できた。地域の課題が見えた中で、今後、公民館として何ができるのか、何をすればよいか等、公民館5部門委員会の委員と一緒に考えていきたい。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2月下旬から公民館の事業や講座を全て中止せざる終えなかった。講座受講者からは、早い再開を希望する声が多く聞かれたが、再開できなかったことが辛かった。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員等・各種会議等
	平和権	福祉健康	子育て	環境	文化地域	教養趣味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数	1	2				6	4		1	3	2	3	4
延べ参加人数		1085				512	90		20	78	855	699	430

	CS	食育
事業数		
延べ参加人数		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食育
わらび狩り&ウォーキング大会	5月28日	1回	スポーツ	成人	17人	【内容】 わらび狩りをしながら、楽しく山間部の勾配のある道路を歩く。 【ねらい】 地区住民の親睦を深めながら、健康増進を図る。	【準備過程】 チラシを作成し、地域住民へ周知。 公用バス確保。 【共催団体】 第二地区福祉ひろば	【評価と反省】 参加者から、非常に高い評価をいただいた事業であった。 参加者の体力に開きがあったため、全員で歩くと差がついてしまい、前の人たちは待ってもらったことがあった。体力等を考慮し、グループ分けするなど対策が必要であった。 【今後の方針】 継続実施していきたい。		
松本押し絵籠講習会	6月20日～8月1日	7回	趣味教養	成人	60人	【内容】 地区内在住の三村隆彦氏（ペラミ人形店）を講師として招き、本格的な松本押し絵籠を作製する。 【ねらい】 松本に伝わる伝統工芸「松本押し絵籠」を学び、その文化と技術を伝承することを図る。	【準備過程】 公民館だよりで地域住民へ周知。前年参加者へ声掛け。	【評価と反省】 2年かけて2体（2体で1作品、鶴抱き大黒、亀負い恵比寿）を作製し、作品が完成した。参加者皆が、2体揃った作品に満足していた。 参加者の技術に差があるため、全員が同じ作業工程を進むことはできなかったものの、参加者同士が助け合うなどして、一つの作品を全員が完成できたことが有意義であった。 【今後の方針】 伝統文化伝承という意義を考慮し、今後も継続実施していきたい。		
マレットゴルフ&ウォーキング大会	6月24日	1回	スポーツ	成人	18人	【内容】 マレットゴルフウォーキング 【ねらい】 地区住民の親睦を深め、健康増進を図る。	【準備過程】 チラシを作成し、地域住民へ周知。 公用バス確保。 賞品準備。 【共催団体】 第二地区福祉ひろば	【評価と反省】 天気が心配されたが、スタートする頃には小雨になり、間もなく雨が上がった。参加者からは、マレットゴルフを楽しみ、心と身体がリフレッシュできたことと喜びの声が聞けた。 【今後の方針】 健康増進には、楽しむことが大事であることから、参加者の声を大事にし、今後も継続実施していきたい。		
子ども会☆夏フェス	8月10日	1回	その他	青少年	20人	【内容】 第二地区内にある企業（相澤病院）の職場見学をする。 お母さんたちの手料理を、公民館で食べる。 【ねらい】 子供たちが社会の現場を見て、それぞれが感じたことを今後の人生に生かしていってもらう。 お母さんたちが作ってくれた手料理を食べながら、親睦を深めることを図る。	【準備過程】 見学企業と日程や内容の調整。 チラシを作成し、地域住民へ周知。 【共催団体】 第二地区子ども会育成会	【評価と反省】 普段見ることができない病院内を見ることができ、子供たちは大喜びだった。特に、普段は絶対に見れない病院内のヘリポートには、感動していた。 見学後は第二地区公民館へ移動し、お母さんたちが作ってくれた手料理をみんなで食べながら、見学してきた場所のこと等を話しながら、楽しいひと時を過ごせた。 【今後の方針】 子ども会育成会と協議し、実施内容を検討しながら、継続実施へ向け調整していく。		
第二地区盆踊り大会実行委員会	7月4日 8月30日	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	104人	【内容】 8月12日開催、盆踊り大会の企画会議及び、開催後の反省会。 【ねらい】 大会の成功を目指し、各自の役割を確認する。 終了後は、反省点をまとめ、次回開催に向けて実行委員で共有する。		【評価と反省】 大会成功に向け、全員で意思統一ができた。また、次回開催に向け、改善点等も積極的に出され、実行委員の盆踊りに対する意志の強さを感じられた。 【今後の方針】 継続実施していきたい。		
第二地区盆踊り大会	8月12日	1回	地域事業（その他）	成人	450人	【内容】 地区内にある深志神社を境内を借用しての盆踊り大会。 ・綿あめ、かき氷無料 ・大抽選会 ・子どもスイカ割り大会 【ねらい】 唯一の地区全体のお祭り行事として実施。子どもからお年寄りまで幅広い世代が集まり、交流を深めることを図る。	【準備過程】 実行委員会設置。 町会長が中心となり、地域内企業等から協賛金を集める。 チラシを作成し、地域住民へ周知。 深志神社境内の借用依頼及び借上料の準備。 福祉ひろば利用サークル団体（さくらの会）に、踊りの指導を依頼。参加希望者を募り、練習会を開催。 【共催団体】 ・第二地区町会連合会 ・社教第二地区支会 ・第二地区町内公民館長会 ・第二地区地域づくりセンター ・第二地区福祉ひろば他	【評価と反省】 第18回目となった大会で、毎年、大盛況の事業である。里帰りしている方々も含め、子どもと一緒に参加する親と、その親（おじいちゃん、おばあちゃん）も一緒にになり、大変楽しく、地域の参加者たちの交流ができた。 けが人もなく、大成功であった。 【今後の方針】 第20回のお祭り（記念大会）を目指し、継続実施していきたい。		
ポッチャ講習会	9月5日	1回	地域事業（体育）	成人	27人	【内容】 健康づくり推進員と初めてのコロナ企画。ポッチャ指導員を招き、ポッチャを体験してみる。 【ねらい】 パラリンピックの正式種目でもあるポッチャを体験し、ポッチャの楽しさを知り、参加者同士の親睦を深める。	【準備過程】 健康づくり推進員と日程調整。 講師（指導員）の手配。 チラシを作成し、地域住民へ周知。 ポッチャの道具手配。 【共催団体】 第二地区健康づくり推進員会	【評価と反省】 初めてポッチャに触れた参加者がほとんどであった。参加者からは、思ったより難しかった、とても楽しかった等、第2回目の講習会を開催してほしいと言われるくらい評価の高かった事業だった。また、健康づくり推進員と初めての共催事業だったが、連絡を密に取り合い、大成功であったと感じている。 【今後の方針】 健康づくり推進員と共催して事業を継続していく。講座内容については、今後検討していく。		
第二地区防災訓練	9月29日	1回	地域事業（その他）	成人	198人	【内容】 消防署、消防団を招き、地区全体での防災訓練（炊き出し・消火訓練・救護訓練等）を実施。 【ねらい】 災害時等において、情報伝達、避難経路、安否確認、応急処置等の確認をするとともに、防災意識の向上を高めることを図る。	【準備過程】 開催に向け、役員で事前会議を開催。 地域づくりセンターだより等で地域住民に周知。 消防署と日程調整等。 【共催団体】 第二地区町会連合会 第二地区地域づくり協議会 第二地区防災部 他	【評価と反省】 それぞれ役員の役割が、実際にやってみたことにより、しっかりと確認ができた。また、救助訓練等では、一人では何もできないが、みんなで協力し合ったことで出来たことにより、地域の絆の大切さを確認でき、防災意識の向上が図られた。 【今後の方針】 毎年、継続実施していきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
白樺湖ウォーキング大会	10月10日	1回	スポーツ	成人	20人	【内容】 白樺湖湖畔のウォーキングコース約4kmを歩く。 【ねらい】 地区住民の親睦を深めながら、健康増進を図る。	【準備過程】 ウォーキング会場の選定。 チラシを作成し、地域住民へ周知。 公用バス確保。 【共催団体】 第二地区福祉ひろば	【評価と反省】 紅葉シーズンに実施したことで、大変綺麗な紅葉を満喫しながらウォーキングが実施でき、参加者からは大好評であった。楽しく、清々しく歩けたことにより、心と身体のリフレッシュが図れた。 【今後の方針】 継続実施していきたい。		
消費生活啓発落語会	10月20日	1回	地域事業(その他)	成人	51人	【内容】 立川平林師匠(消費生活センターが対応)を招き、特殊詐欺を題材にした落語会を開催。 【ねらい】 特殊詐欺の被害にあわないことを目指し、落語を通じて面白おかしく披露してもらう。特殊詐欺を知り、絶対に被害にあわないよう、自己意識を高めてもらう。	【準備過程】 消費生活センター担当と、日程等の調整。 チラシを作成し、地域住民へ周知。 落語仕様の会場設置。 【共催団体】 第二地区福祉ひろば	【評価と反省】 初めての開催だった。参加者からは、非常に勉強になった、教えてもらったことを、すぐに実践していく等、参加者各自が、特殊詐欺は自らが注意していくことを感じていただけた事業であった。ただ、参加者が想定人数より少なかったため、今後のイベント周知の方法等を検討していくことが必要だと感じた。 【今後の方針】 消費生活センターとの協議によるが、特殊詐欺を題材としたイベント等は継続実施していきたい。		
第二地区文化祭実行委員会	9月30日 11月29日	2回	公民館委員会、各種会議等	成人	111人	【内容】 11月9日、10日開催、文化祭の企画会議及び、開催後の反省会。 【ねらい】 文化祭の成功を目指し、各自の役割を確認する。 終了後は、反省点をまとめ、次回開催に向けて実行委員で共有する。		【評価と反省】 文化祭成功に向け、全員で意思統一ができた。また、次回開催に向け、改善点等も積極的に出され、実行委員の文化祭に対する意志の強さが感じられた。 【今後の方針】 継続実施していきたい。		
第二地区文化祭	11月9日 11月10日	1回	地域事業(文化)	成人	830人	【内容】 地域で文化創作活動を続けている住民に発表の場を提供する。 公民館や福祉ひろばで活動しているサークル等の活動発表を行う。 【ねらい】 地区住民相互の親睦を深めながら、地域文化の向上を図る。	【準備過程】 実行委員会設置。 チラシを作成し、地域住民へ周知。 バザー用品の提供を、住民を始め関係者へ依頼。 町内公民館長が、町会内住民の作品取りまとめ、及び搬入搬出。 ステージ発表希望者の取りまとめ、及びプログラム。 【共催団体】 ・第二地区地域づくりセンター ・第二地区福祉ひろば他	【評価と反省】 公民館やひろばのサークルが、作品の展示をしたり、ステージでダンスや音楽の発表ができたことに、メンバーが満足していた。今回から、新しい2グループが発表してもらえたことが良かった。 地域住民からの作品展示物に関しては、減少傾向にあることから、今後の課題である。 実行委員の方々のご苦勞によって、盛大に開催することができた。 【今後の方針】 継続実施していく。		
男の料理教室	11月15日	1回	趣味教養	成人	11人	【内容】 農村生活マイスター松本から、2名の講師を招き、魚料理や肉料理を調理。調理後は、自分たちで作った料理を食べながら、親睦を深める。 【ねらい】 普段調理をしない男性が、家庭で家族等のために料理が提供できるように、調理の技術を高める。	【準備過程】 講師と調理メニュー等調整。 チラシを作成し、地域住民へ周知。 レシポの作成。 安全衛生管理の徹底。 【共催団体】 第二地区福祉ひろば	【評価と反省】 講師の親切な説明により、レシポを見ながら調理の過程を全員が成し遂げることができた。参加者は、大変満足していた。 参加人数が募集定員より少なかったことが残念だった。周知の方法や、調理メニューの検討など、次回開催に検討していきたい。 【今後の方針】 継続実施していきたい。		
地域の宝を歩いて探してみよう	11月17日	1回	地域事業(文化)	成人	25人	【内容】 馬場家住宅の窪田館長を講師として招き、地域の歴史建造物や文化施設を歩いて巡り、地域の宝を探すイベント。 【ねらい】 第二地区の歴史を学ぶ。	【準備過程】 講師と、コースの調整。 チラシを作成し、地域住民へ周知。 【共催団体】 ・第二地区子ども育成会 ・第二地区地域づくり協議会	【評価と反省】 それぞれの文化財について、講師から歴史や由来の説明などを聞き、当時の時代背景を感じながら文化財巡りができ、大変好評であった。 【今後の方針】 継続実施を考えているが、文化財にも限りがあるので、内容を検討するなどしながら継続していきたい。		
ポウリング&ウォーキング大会	12月1日	1回	地域事業(体育)	成人	31人	【内容】 準備運動を兼ねて、ポウリング会場周辺道路をウォーキング。 一人2ゲーム行い、女性にはハンデを付けて、合計スコアで順位を競う。 【ねらい】 地区住民の親睦を深めながら、健康増進を図る。	【準備過程】 ポウリング会場確保。 チラシを作成し、地域住民へ周知。 賞品準備。 【共催団体】 第二地区福祉ひろば	【評価と反省】 寒い一日でしたが、ウォーキングで体を温めることができ、その後、ポウリングを楽しんだ。心も体もリフレッシュでき、親睦が深まり、健康的にも良かった。 【今後の方針】 継続実施していきたい。		
そば打ち講習会	12月3日～ 12月12日	3回	趣味教養	成人	17人	【内容】 牧田先生を講師に招き、本格的な手打ちそばを打つ。 【ねらい】 そばを打つ技術を習得するとともに、地域住民との親睦を深めることを図る。	【準備過程】 講師の確保。 そば打ち道具の確保。 チラシを作成し、地域住民へ周知。 【共催団体】 第二地区福祉ひろば	【評価と反省】 講師から丁寧な説明をいただいたことにより、参加者全員が、作業工程を進められ、自作のそばを打つことができた。全員、大変満足していた。また、参加者同士で、和気あいあいと実施でき親睦も深まった。 【今後の方針】 今回参加した参加者の更なる技術の向上、及び新規参加者を見込み、今後も継続実施していきたい。		
スポーツ吹矢講習会	12月5日	1回	地域事業(体育)	成人	20人	【内容】 健康づくり推進委員会とのコラボ企画第2弾。スポーツウエルネス吹矢協会から講師を招き、スポーツ吹矢を体験する。 【ねらい】 スポーツ吹矢の呼吸法を学び、健康増進と参加者の親睦を図る。	【準備過程】 健康づくり推進委員会と日程調整。 講師確保。 道具確保、準備。 チラシを作成し、地域住民へ周知。 【共催団体】 第二地区健康づくり推進委員会	【評価と反省】 第二地区で初開催であった。ほとんどの参加者が初めて体験した。呼吸法を学び、参加者全員がスポーツ吹矢を楽しみ親睦を深められた。参加人数が予定より多かったため、一人が吹ける矢の数が少なくなってしまったため、参加者から、もう少し矢を吹きかかった、と声があった。次回開催の時は、多くの人が満足できるように、参加人数、開催時間等検討していきたい。 【今後の方針】 健康づくり推進委員会と共催して事業を継続していく。講座内容については、今後検討していく。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
干支押し絵籠講習会	12月9日	1回	趣味教養	成人	5人	【内容】 地区内在住の三村隆彦氏（ペラミ人形店）を講師として招き、来年の干支を押し絵籠で複製する。 【ねらい】 松本に伝わる伝統工芸「松本押し絵籠」を学び、その文化と技術を伝承することを図る。	【準備過程】 公民館により地域住民へ周知。前年参加者へ声掛け。	【評価と反省】 【長年続いている講習会で、参加者からは大変好評をいただいている。しかし、参加者が固定化してきている。さらに、12年以上続いているため、12支が揃った方は、参加を辞めていく傾向にある。新規参加者の確保に向け、周知方法等を検討していく必要がある。 【今後の方針】 大事な伝統文化伝承という意義を考慮し、今後も継続実施していきたい。		
スポーツボイス講習会	2月20日	1回	スポーツ	成人	35人	【内容】 健康づくり推進委員会とのコラボ企画第3弾。音楽健康指導士を講師に招き、スポーツボイスを体験する。 【ねらい】 筋力トレーニングとボイストレーニングを組み合わせ、音楽に合わせて楽しく体を動かすことを目的とする。	【準備過程】 健康づくり推進委員会と日程調整。 講師確保。 機材確保。 チラシを作成し、地域住民へ周知。 【共催団体】 第二地区健康づくり推進委員会	【評価と反省】 第二地区で初開催。腹式呼吸をしながら体を動かすことで、参加者全員が心地よい汗をかくことができた。一部の参加者は、体力不足により音楽についていけなかったが、「もっと体力をつけなきゃ」と、辛かったという言葉より、前向きな言葉が返るなど、楽しい講習会となった。 【今後の方針】 健康づくり推進委員会と共催して事業を継続していく。講座内容については、今後検討していく。		
人権啓発推進事業講演会 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	3月7日 開催予定でした。	1回	人権平和	成人	中止	【内容】 長野県内を中心に、歌と語りの人権教育を積極的に行っている、伊藤ひよりさん（シンガーソングライター）を講師として招き、第二地区の人権啓発事業として開催。 【ねらい】 地区内住民への人権啓発を図る。	【準備過程】 講師の選定。 講師と日程調整。 必要物品の準備。 チラシを作成し、地域住民へ周知。 【共催団体】 第二地区人権啓発推進協議会 第二地区福祉ひろば	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大変残念でありましたが中止を決定しました。講師の伊藤ひよりさんからは、とても楽しみにしていたので、ぜひ再度呼んでほしいと依頼されている。 【今後の方針】 継続実施していく。内容については検討する。		
歌で健康力アップ講座	通年	20回	福祉健康	成人	661人	【内容】 木次由美子先生を招いて、懐かしい曲を中心にオリジナル曲「第二地区讃歌」も歌いながら、発声により健康促進を図る。 【ねらい】 発声による健康促進と、住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 公民館により、地域住民へ周知。 講師謝礼準備。	【評価と反省】 大人気講座。第二地区オリジナル曲「第二地区讃歌（せせらぎに寄せて・・・）」は、当講座から生まれた曲である。今では、第二地区の各種行事で地域住民が歌い、地域に定着している定番の地区オリジナル曲となっている。3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止を余儀なくされた。大変残念だった。 【今後の方針】 継続実施していく。長年続いている講座であることから、リーダーを養成し、独立サークルとして行くことも視野に入れていきたい。		
パソコン教室	通年	21回	趣味教養	成人	201人	【内容】 高齢者を中心に、ゆっくりとしたペースで繰り返し教えるパソコン講座。 【ねらい】 高齢者の生きがいづくりや認知症予防、住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 公民館により地域住民へ周知。 講師謝礼準備。	【評価と反省】 講師の、ゆっくり丁寧な指導により、参加者から大変好評をもらっている教室。指先を動かしたり、考えたりしながら、楽しく、親睦を深めながら実施できている。3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止を余儀なくされた。大変残念だった。 【今後の方針】 継続実施していく。		
にこにこ体操講座	通年	21回	福祉健康	成人	424人	【内容】 ゆっくりとしたストレッチを中心に、健康増進を目的とした体操教室。 【ねらい】 高齢者の健康促進、住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 公民館により地域住民へ周知。 講師謝礼準備。	【評価と反省】 参加者は高齢者が多く、日常生活の中で無理なく健康管理ができると好評。 高齢者の転倒防止や膝・腰痛予防にもなり、人気の講座として定着している。3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止を余儀なくされた。大変残念だった。 【今後の方針】 継続実施していく。		
やさしい手話講座	通年	20回	趣味教養	成人	218人	【内容】 講師を招き、テキストを中心に手話を学ぶ。 【ねらい】 日常会話ができるようになることはもちろん、災害時等、有事の際にも役立つよう手話を習得することを図る。	【準備過程】 公民館により地域住民へ周知。 講師謝礼準備。	【評価と反省】 手話を通して聴覚障害者の方々とコミュニケーションが深められている。また、継続実施してきていることにより、受講者の手話能力レベルが上がってきており、日常会話等ができるようになってきている。 受講者の固定化が見られるため、今後は、新しい受講者の確保に努めていきたい。3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止を余儀なくされた。大変残念だった。 【今後の方針】 継続実施していきたい。		
公民館五部門委員会	通年	17回	公民館委員会・各種会議等	成人	115人	【内容】 「公民館運営委員会」「館報編集委員会」「体育委員会」「図書・視聴覚委員会」「文化委員会」の各種会議。		【評価と反省】 定期的に開催できた。公民館の運営や事業等に関する意見交換ができた。		
地区担当職員連絡会議	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	成人	100人	【内容】 各種職種の担当者（市役所関係部署、地域づくりセンター、中央包括支援センター等）が月1回集まり、地域福祉の課題解決に向けた会議。 【ねらい】 地域福祉の課題を共有しながら解決策を議論し、より住みやすい第二地区を目指していく。		【評価と反省】 地域の課題を共有することにより、どうしていけば住みやすい第二地区になっていくかを議論することができた。このことにより、第二地区の地区診断書、地域福祉計画が完成し、さらに今後の議論につなげることが出来るようになった。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

- ・第三地区内で広まっている「いきいき100歳体操」を地区内住民に推進していく。また、昨年度結成された自主的にいきいき100歳体操を行う3つの団体に対してはきめ細やかな支援を行い、団体が継続していけるよう図る。
- ・地区公民館と町内公民館の繋がりを構築していくための手段として、公民館講座を町内公民館に出張して開催し、住民同士の交流や繋がりの創出に結び付くような効果を生み出す。
- ・昨年度に第三地区まちづくり協議会が作成した、地区の歴史をわかりやすく伝える冊子とマップを子どもたちの学習に活用し、地域について学ぶ機会の創出や支援に力を入れる。

評価・反省等

- ・いきいき100歳体操については、昨年度から今年度にかけて自主的に行う団体が4つ立ち上がり、いずれもだいたい週1回のペースで継続して活動できているため、現状では上手くいっていると言える。ただ、運動の専門家（理学療法士や健康運動指導士）等の、公民館だけではカバーできない分野のサポートがやや不足しているため、その部分も含めた支援体制の再構築が必要である。公民館としては、団体ごとに特徴も違うため、今後も画一的ではなくそれぞれの団体の個性を尊重しながら、支援に回りたい。
- ・生活・文化委員会の企画講座（防犯講座）において、第三地区公民館が遠い住民のために2つの町内公民館に出向き、講座を実施した。公民館としては生活・文化委員の音頭で担当町会の町会長、町内公民館長をはじめとした住民と一緒に準備や参加者募集の周知等を行い、そこに公民館が事務局として入っていく形を意図していたが、対象となる町会の町会長が主導で準備等に動くような事態が発生してしまい、生活・文化委員主催講座の意義が若干薄れてしまった点は課題として残る。取り組みの意図自体は良いと思うので、下準備をしっかりと行い、役割を明確にした上で、来年度も町内公民館を会場にした出張公民館講座を実施したい。
- ・清水中学校の1年生を対象にしたまち歩きにおいて、地区の歴史の冊子とマップを活用することができた。また、あがた児童センターからも冊子とマップを使ったまち歩きを、児童センターの子どもを対象にやって欲しいとの依頼が公民館にあり、実施した。課題としては、高校生を対象にしたものができなかったため、来年度以降はこちらから高等学校に提案するなどして、冊子とマップを最大限活用していきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館各種委員会等
	平人和権	福健康	子育て	環境	文化地域	教養趣味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数	2	1			1	9			3	4	2	4	1
延べ参加人数	8	50			150	131			480	95	480	980	162

	CS	食育
事業数	2	
延べ参加人数	400	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C	S	食育
小谷村ウォーキング講座	4月21日	1回	地域事業(体育)	成人	38人	【事業内容】 小谷村内でウォーキング【ねらい】 ・住民の健康意識の向上 ・参加住民同士の交流	【準備過程】 体育委員会を中心に企画、実施	【評価と反省】 山道をウォーキングする内容で、やや急斜面の所が多かったが、参加者全員完歩できた。毎年この時期のウォーキング事業を楽しみにしている住民が多いため、今後工夫を凝らした講座にしていきたい。			
世代間交流スポーツ講座	6月1日	1回	地域事業(体育)	成人	30人	【事業内容】 あがた運動公園多目的広場にて、スポーツを通じて世代を超えた交流を図る【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流	【準備過程】 公民館体育委員会を中心に企画、実施 【共催団体等】 ・あがた児童センター ・第三地区福祉ひろば	【評価と反省】 毎年恒例の講座で、ポッチャとグラウンドゴルフを参加者全員で楽しんだ。 10月19日(土)に第2回をあがたの森未来サミットとの共催で開催予定だったが、天候とグラウンドコンディションの不良により中止となってしまった。来年度以降はこのような事態に備えて近隣学校の体育館を借りておく等の対策を考えたい。			
第16回あがたの森水無月コンサート	6月16日	1回	地域事業(文化)	成人	180人	【事業内容】 あがたの森文化会館講堂でコンサートを開催 ・出演団体 初谷 澄夫氏 吉江 洋志氏 プラチナサポーターズ松本プラチナコーラス隊 清水小学校合唱部【ねらい】 ・参加住民同士の交流 ・周辺学校の児童、生徒に出演いただき親睦を図る	【準備過程】 町内公民館長会を中心に企画、実施 【共催団体等】 第三地区公民館	【評価と反省】 例年、たくさんの観客で会場が満員になるイベントである。今年度は会場が勤労者福祉センターとなり、管楽器による合奏ができなかったため草笛や尺八等、近年に例のないジャンルの内容のコンサートとなった。参加者にはおおむね好評だった。			
身近で間違いやすい食草の見分け方講座	6月27日	1回	趣味教養	成人	17人	【事業内容】 身近で間違いやすい食草の見分け方を学ぶ【ねらい】 ・参加住民同士の交流 ・文化、教養の向上	【準備過程】 生活・文化委員会を中心に企画、運営	【評価と反省】 生活・文化委員からの提案で実行に至った講座である。参加者からは非常に面白かったという感想が多く、同じ講師にまた講座を実施して欲しいという注文もあった。			
竹細工講座	7月30日	1回	趣味教養	青少年	18人	【事業内容】 竹細工の作り方を学ぶ【ねらい】 ・子ども同士の交流 ・刃物を使う作業を行い、「手作り」の難しさを体験してもらう	【準備過程】 公民館を中心に企画、運営	【評価と反省】 夏休みの子どものために企画したものであるが、会場をあがた児童センターにしたことも功を奏し、当初の定員を超える参加があった。子どもたちはナイフで竹を削るという作業に悪戦苦闘であり、学校教育で教えるには難しくなっているような内容をこのような場で教えることに大きな意義がある。今後このような企画は必要と感じる。			
第19回あがたの森夏まつり	8月4日	1回	地域事業(その他)	成人	300人	【事業内容】 ・あがたの森公園で夏まつりを開催 ・各町会の出店、青山様・ぼんぼんなど【ねらい】 ・参加住民同士の交流	【準備過程】 夏まつり実行委員会を中心に企画、運営 【共催団体等】 第三地区公民館 子ども会育成会「わかばの会」	【評価と反省】 会場のあがたの森文化会館が工事中であり、やや手狭な中で実施となった。特に大きなトラブル等は発生せず、盛況のうちに幕を閉じた。			
市議会傍聴講座	9月11日	1回	趣味教養	成人	9人	【事業内容】 市議会を傍聴し、議会の仕組みを学ぶ【ねらい】 ・文化、教養の向上 ・参加住民同士の交流	【準備過程】 生活・文化委員会を中心に企画、運営	【評価と反省】 住民の要望により実現した講座である。地区在住の市のOBが案内人となり、議会について詳しく説明をいただいた。終了後は参加者内でお茶飲み会が開催され、こちらも大変意義深い時間となった。			
第三地区マレットゴルフ大会	9月29日	1回	地域事業(体育)	成人	9人	【事業内容】 マレットゴルフを行う【ねらい】 ・住民の健康意識の向上 ・参加住民同士の交流	【準備過程】 体育委員会を中心に企画、運営	【評価と反省】 前回の開催が好評だったため再度企画したものであるが、他の地区事業等と日程が重なってしまい、参加人数が大変少なくなってしまった。不可抗力であるため仕方がないこととして、来年度に再度開催したい。			
きのこの見分け方講座	10月2日	1回	趣味教養	成人	9人	【事業内容】 食用のきのこのこと、そうではないもの見分け方を学ぶ【ねらい】 ・文化、教養の向上	【準備過程】 生活・文化委員会を中心に企画、運営	【評価と反省】 6月に開催した食草の講座が好評であったため、同じ講師に依頼をして開催したもの。実際にきのこを採って来て講座で使用したため、分かりやすい講座となり好評であった。内容にもよるが、より良い講座を開催するためには手間を惜しんではいけないということが分かった講座だった。来年度以降も時期に合わせてこのような講座を開催し、参加者同士でキノコ採り等してもらえようになればなお良い。			
清水中学校まちなあるき	10月31日	1回	地域文化	青少年	150人	【事業内容】 清水中学校からの依頼で、1年生の子どもたちを対象にした地区周辺のフィールドワークを実施【ねらい】 ・第三地区の歴史について子どもたちに学んでもらう	【準備過程】 第三地区まちづくり協議会を中心に企画、実施	【評価と反省】 建築家や都市計画家を講師に招き、クラス毎にコースを巡った。学校側では事前学習の機会も設けていただいた。この事業により、子どもたちの地区についての理解がより深まってもらえれば幸いである。			
第20回第三地区作品展	11月3日 11月4日	1回	地域事業(文化)	成人	300人	【事業内容】 地区住民の作製した多種の作品や周辺小中学校、保育園、幼稚園の作品を勤労者福祉センター大会議室に展示する【ねらい】 ・地区内住民同士の交流 ・地区周辺の子どもの作品を住民に知ってもらう	【準備過程】 作品展実行委員会を中心に企画、実施 【共催団体等】 第三地区公民館	【評価と反省】 第20回の節目を迎えるにあたり、町会内の子ども神輿を会場内に飾るなど、例年以上に盛大な内容となった。準備や片付けも含めて、地区住民同士のコミュニケーションがしっかり取れて親睦も深まったと思われる。ただ、作品集めに苦慮する町会が年々増えてきているので、その点は今後大きな課題になっていくと思われる。			

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
第三地区福祉ひろば20周年・地区公民館開設10周年記念式典	11月16日	1回	地域事業(その他)	成人	100人	【事業内容】 第三地区福祉ひろば開設20周年と地区公民館開設10周年を地区住民と一緒に祝う事業。第三地区福祉ひろば及び地区公民館の運営にご尽力いただいた方への感謝状の贈呈や、松本市文書館の小松芳郎先生による記念講演等が行われた。 【ねらい】 ・参加住民同士の交流	【準備過程】 第三地区福祉ひろば事業推進協議会、第三地区公民館運営委員会を中心に企画、実施	【評価と反省】 たくさんの出席者により、盛大な祝賀会となった。また、第三地区の足跡を改めて参加者全員で振り返る機会になり、意義のある式典となった。		
しめ縄・お飾りづくり講座	12月21日	1回	趣味教養	成人	8人	【事業内容】 しめ縄やお飾りのつくり方を学ぶ 【ねらい】 ・文化、教養の向上 ・参加住民同士の交流	【準備過程】 公民館を中心に企画、実施	【評価と反省】 好評のため毎年開催しており、リピーターも多い。作り方を後世に伝えていくために、今後は子どもにもたくさん参加してもらえるよう工夫する必要がある。		
お正月用フラワーアレンジメント講座	12月26日	1回	趣味教養	成人	9人	【事業内容】 お正月用のフラワーアレンジメントをやり方を学ぶ 【ねらい】 ・文化、教養の向上 ・参加住民同士の交流	【準備過程】 生活・文化委員会を中心に企画、実施	【評価と反省】 毎年恒例の講座になっている。今年度もそれぞれ個性のある作品が出来上がっていた。		
健康講座	1月30日	1回	地域事業(体育)	成人	18人	【事業内容】 健康運動指導士を講師に招き、元気な身体を保つための健康管理について学ぶ 【ねらい】 ・住民の健康意識の向上 ・文化、教養の向上	【準備過程】 体育委員会を中心に企画、実施	【評価と反省】 昨年度は参加者の少なかった講座であったため、福祉ひろばと共催にして幅広い住民を募った。結果としてたくさんの住民に参加してもらえたため成功だったと言える。講師が大変好評であり、来年度も同じ先生で開催してもらいたいという声が多く聞かれた。		
人権講話「古文書に学ぶ松本領内の被差別部落の歴史」	2月26日	1回	人権平和	成人	8人	【事業内容】 部落の差別をテーマにした講話 【ねらい】 ・人権問題への意識の向上	【準備過程】 公民館、第三地区人権啓発推進協議会を中心に企画、実施	【評価と反省】 内容はとてもわかりやすく良かったものの、新型コロナウイルスの影響により見込んでいた参加者から大幅減となった。		
人権啓発推進協議会視察研修(中止)	3月3日	1回	人権平和	成人	中止	【事業内容】 佐久市の五郎兵衛記念館と小諸市の小諸懐古園(藤村記念館)を訪問し、人権について学ぶ 【ねらい】 ・人権問題への意識の向上	【準備過程】 公民館、第三地区人権啓発推進協議会を中心に企画	【評価と反省】 新型コロナウイルスの影響を考慮し中止となった。		
親子おやきづくり講座(中止)	3月20日	1回	趣味教養	成人	中止	【事業内容】 郷土食であるおやきづくりを、その由来と共に親子で学ぶ 【ねらい】 ・普段公民館に来る機会のない子どもと親を公民館に呼び込む。 ・食の大切さを学ぶ。	【準備過程】 公民館を中心に企画	【評価と反省】 新型コロナウイルスの影響を考慮し中止となった。		○
いきいき100歳体操(出前講座)	4月9日 4月16日 4月23日 5月8日	4回	福祉健康	高齢者	50人	【事業内容】 いきいき100歳体操講座を自主的に行う団体について、初回～4回まで体操方法等の指導や団体運営の支援等を行うもの 【ねらい】 ・地区内の高齢者の健康促進 ・参加者住民同士の交流。 ・地域包括ケアシステムの構築	【準備過程】 公民館、東部地域包括支援センター、福祉計画課、健康づくり課、地域づくり課、社会福祉協議会、実施団体の代表者で連携を取りながら準備と実施した	【評価と反省】 公民館としては昨年度最も力を入れた活動である。今年度も1つの団体に、支援と指導を行った。昨年度支援を続けた3つの団体を継続できている。1つも解散することなく活動を継続できている。今後も定期的に各団体の様子を見て、必要な支援や団体運営の相談に乗るなどし、何年も続いていくようなものになっていけばと感じている。		
あがたの森未来サミット	6月20日 10月13日	2回	地域事業(その他)	青少年	80人	【事業内容】 第三地区周辺の8小中高등학교による、地区をより安全で過ごしやすい地域にするための活動 【ねらい】 ・周辺学校同士の繋がりを強化する ・子どもと地域住民の交流	【準備過程】 平成24年度より継続で実施。	【評価と反省】 目玉事業の世代間交流スポーツ講座が天候不良で中止となったことに加え、3月に予定していた会議は新型コロナウイルスの影響を考慮し中止となり、今年度は全般的に、やや残念な活動となった。来年度は第三地区まちづくり協議会の地区住民にも参加してもらい、より良い活動を目指したい。		
源池小学校4年2組との交流会	7月16日 10月17日	2回	その他	成人	80人	【事業内容】 子どもの学校における学習の一環として、地域住民と交流をして子どもに社会性を身に付けてもらうための事業。公民館を会場にして、1回目は地域住民側がお手玉等の昔の遊びを子どもたちに教え、2回目は子どもたちの発表で伝言ゲームやフルーツバスケット等を地域住民と一緒にやった。 【ねらい】 ・子どもと地域住民の交流	【準備過程】 公民館、源池小学校4年2組、福祉ひろばが企画、運営	【評価と反省】 源池小学校4年2組の担任の先生から「子どもたちを地域に出したい」という相談を公民館主事が受けて実現したものになる。福祉ひろばとも相談し、地域住民側の出席者は民生・児童委員や地区ボランティア部会から募った。子どもと地域住民どちらにとっても大変意義のある事業となった。来年度以降も継続できたらと考えている。		
あなたの知らない松本城と世界遺産講座	11月22日 11月27日	2回	趣味教養	成人	17人	【事業内容】 松本城と世界遺産をテーマにした講座。1回目は講話を行い、2回目は実際に松本城に入って見学をした 【ねらい】 ・文化、教養の向上	【準備過程】 公民館、「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会、文化振興課を中心に企画、実施	【評価と反省】 誰もが知っている松本城について改めて、学ぶことにより新たな発見がある講座として参加者には好評であった。講座の2回目終了後に、参加者の住民同士でプチ親睦会を開催しており、非常に価値のある事業になった。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
防犯講座 「詐欺被害を防ぐために」	7月31日 8月20日 8月22日	3回	趣味教養	高齢者	44人	【事業内容】 特殊詐欺を防止するために心がけるべき事等を松本警察署東部交番所員による講話で学ぶもの。1、2回目は地区内の町内公民館で実施し、3回目は第三地区公民館で行った。 【ねらい】 ・文化、教養の向上	【準備過程】 生活・文化委員会を中心に企画、実施	【評価と反省】 講座の内容が高齢者向けのものであったこともあり、講座を町内公民館で実施するという、第三地区においては今まであまり取り入れていなかった手法で実施した。参加者を募集する方法や、当日の準備を誰がやるのか等、色々課題が見つかったが、講座の企画～終了までのプロセスにおいて、地区住民同士の役職を超えた繋がりを生む場面が多々あったかと思う。来年度以降もこの形式の講座の実施を試みていきたい。今回のこの講座は今後の地区公民館の活動において、大きなヒントを得るものとなった。		
朝のあいさつ運動	毎週金曜	40回	地域事業 (その他)	青少年	500人	【事業内容】 毎週金曜日の朝にあがたの森周辺の8小中高校と地域住民が朝のあいさつ運動を実施中 【ねらい】 ・子どもたちの学校や年齢の垣根を超えた交流	【準備過程】 平成25年度より継続で実施	【今後の方針等】 子ども達が「やらされている」という気持ちでなく、自主的に活動するよう工夫していきたい。毎月第2金曜日はあがたの森前に集まって活動しており、学校間の交流にも繋がっている。		
公民館五部門委員会	4月～	21回	公民館委員会・各種会議等	成人	162人	【事業内容】 公民館事業の企画、評価	【準備過程】 各委員会ごとに実施	【今後の方針等】 委員の自主性を尊重した活動を続けていきたい。		
源池小学校放課後クラブ支援ボランティア	4月～	4回	その他	成人	100人	【事業内容】 源池小学校の放課後クラブに地域住民が講師として参加する 【ねらい】 ・児童と地域住民の交流	【準備過程】 学校側から講師派遣の依頼を受け、人材を探した	【評価と反省】 地域住民の得意分野を生かして、様々なクラブ活動に入ってもらっている。学校側も人材が確保でき大変助かるようである。	○	
清水中学校清流コミュニティスクール支援	4月～	6回	その他	成人	300人	【事業内容】 清水中学校の地域学習事業「清流の時間」に地域住民が講師として参加する。七夕人形づくり、おやきづくり、手まりづくり、家庭科授業支援を実施。 【ねらい】 ・生徒に伝統文化を知ってもらい ・生徒と地域住民の交流	【準備過程】 学校側から講師派遣の依頼を受け、人材を探した	【評価と反省】 毎年やっている地域住民の方々が高齢化してきており、目が見えにくくなったりする方も出てきている。今後も継続して若い人材を探していく必要がある。		○

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針】
・住民や地域に関わる方々に、東部公民館を知ってもらい、また携わってもらえるよう意識しながら事業を企画した。

【重点的に取り組んだ事項】

- 1 住民同士の交流を促す事業
ブロック別のバス講座、男の料理教室、やしょうま作りと餅つき大会等
- 2 住民の防災意識向上を促す事業
防災講座、地区別マップ点検等
- 3 学校と連携した事業
CSでの書道補助等
- 4 伝統文化の継承
しめ縄作り講習会、三九郎マップ作成等

評価・反省等

・町会ブロック別のバス講座など、より多くの方々に公民館を知ってもらうための講座を開催した。貸館も含め、公民館へ足を運ぶ住民の絶対数を増やすための事業も引き続き実施していきたい。

・レベルアップ講座等の地区団体との共催講座など、企画運営に住民が関わる講座も開催出来た。今後は自発的・主体的な講座も増やしていければ。

・地区別防災マップの点検事業や防災講座により、地区住民が防災の重要性を再認識できるような事業ができた。マップ点検は毎年実施するものとし、その都度全戸配布していきたい。

・三九郎マップの作製・配布や、青山様・ほんほんの周知など、公民館へ来ない方や知らない方でも地域に目を向けるきっかけとなるような事業が出来た。今後も公民館の建物や講座と言う方法にとらわれず、地域で暮らす住民が地域に目を向けるきっかけとなったり、より深く知る事が出来るような事業を実施していきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館各種委員会等
	平人和権	福健祉康	子育て	環境	文化地域	教養趣味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数	1	4	2		5	5		4	7	3	1	3	1
延べ参加人数	20	110	40		77	165		195	225	106	185	454	307

	CS	食育
事業数	2	7
延べ参加人数	140	175

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
食育講座「本格インドカレーを作ろう」	4月14日	1回	趣味教養	成人	24人	地区内のインド料理店主を講師に招き、インドカレー作りを通してインドの文化を学ぶ講座 講師 シルブカー アシシュ 氏		昨年度好評だったため、今年度も開催した。普段公民館を利用しない方々の参加も多く、これをきっかけに公民館を知った方もいたようである。		○
ブロック別バス講座「飛騨高山の文化遺産にふれよう」	5月23日 6月19日 7月22日	3回	趣味教養	成人	92人	地区をブロック別に分けてバス見学会を行う事により、普段公民館を利用しない方々にも公民館を利用してもらうきっかけとなるのと同時に住民同士の交流を図るもの。	地区内各町会	昨年に引き続き2回目の開催。バスを用いた講座はいつも同じようなメンバーになりがちだったが、今回の講座は町会長からの声掛け等もあり新たな参加者開拓にも繋がった。運営にも関わっていたことができた。		
小学校書道事業における講師補助	7月4日 7月5日 7月8日	6回	その他	青少年	70人	清水小学校からの要望を受け、公民館サークルに依頼し書道授業で補助を行った。地域住民が地域の子供たちと触れ合う機会となった。	楽しい書道教室	昨年に引き続き2回の実施。サークルも教えることを通じて自分たちの学習を深めており、双方にとって良い機会となっている。今後も継続していきたい。	○	
食育講座「高原でわらび収穫体験」	5月31日	1回	地域文化	その他	23人	信州の食文化である山菜の一種わらびの収穫体験を通して、食文化を学ぶと共に住民同士の交流を深める。		3度目の開催。年々参加者が増えており、今回も沢山の方にご参加いただけた。普段顔を合わせない住民同士の交流の機会にもなっている。		○
食育講座「男の料理教室」	6月10日 7月19日	2回	その他	その他	19人	地区内の男性が集まって、みんなで食事をつくって食べる事を通して、食の楽しさや住民同士の交流を深めるもの。 講師 柳澤 千里 氏		4年目となる講座で、今年は2回開催した。参加者が固定化してきている状況ではあるが、毎回楽しくおしゃべりしながら料理を作って食べており、食の楽しさや住民同士の交流を深めることができていた。		○
東部地区民生児童委員協議会視察研修	6月17日	1回	福祉健康	その他	13人	下諏訪町にある長野県花田養護学校の視察研修	東部地区民生児童委員協議会			
レベルアップ講座①「高齢者のための福祉サービスとは」	6月20日	1回	福祉健康	その他	40人	高齢福祉課職員を講師に招き、福祉サービスに係る出前講座を実施した。	東部地区ボランティア部	高齢社会といわれるなかで、高齢者が対象になる福祉サービスも様々ではあるが、それを改めて学ぶ良い機会となった。		
東部地区日赤奉仕団主催「高めよ防災力～その時に備えて」	7月16日	1回	防災	成人	32人	危機管理課職員を講師に招き、防災に係る出前講座を実施した。	東部地区日赤奉仕団	近年防災の重要性が取り上げられていることもあり、沢山の方に参加いただいた。参加者の防災意識の向上に繋がった。		
ボウリング大会	8月4日	1回	地域事業(体育)	成人	60人	スポーツを通して、健康増進と地域住民の交流を図った。	東部地区体育協会主催	スポーツを通して、健康増進と地域住民が親睦を深める良い機会となった。今後も継続して開催したい。		
懐かしのチンチン電車の映像を見てみよう	8月27日	1回	地域文化	成人	17人	地区内をチンチン電車が走っていた当時の映像を鑑賞するもの。		地域住民からのリクエストをいただき開催した。参加者からは子供時代を懐かしむ声も聞こえ、会話が弾んでいた。地域住民の親睦を深める良い機会になった。		
マレットゴルフ大会	9月1日	1回	地域事業(体育)	成人	26人	スポーツを通して、健康増進と地域住民の交流を図った。	東部地区体育協会主催	スポーツを通して、健康増進と地域住民が親睦を深める良い機会となった。今後も継続して開催したい。		
東部地区防災祭	9月8日	1回	地域事業(その他)	その他	242人	防災緑地にて防災に関する催し等を行う事を通して、防災意識の向上と防災緑地の知名度の向上を図るもの。	東部地区町会連合会 東部地区代表者会議 地区内諸団体	昨年に引き続き2回目の事業。準備段階より地区役員による草刈り等が行われ、当日は多くの来場者があった。防災意識の向上はもちろんのこと、公共スペースの活用による地区の魅力向上と言う観点からも重要な催しとなった。		
東部地区人権啓発推進協議会視察研修	9月20日	1回	人権平和	その他	20人	丸子解放センター・長福寺へ赴き、部落差別問題に触れることと通じて、人権について学ぶもの。	東部地区人権啓発推進協議会			
日赤奉仕団、防災部、環境衛生協議会視察研修	9月27日	1回	防災	その他	15人	宮田村にある駒ヶ根高原砂防フィールドミュージアムの視察研修	東部地区日赤奉仕団 東部地区防災部 東部地区環境衛生協議会			
東部地区ボランティア部視察研修	10月20日	1回	福祉健康	その他	25人	経井沢町「サクラソウ会議」の取り組みを視察することにより、ボランティアについて理解を深めるもの。	東部地区ボランティア部			
食を楽しむ会	10月19日	1回	地域事業(その他)	その他	152人	食を通じて世代間の交流を図ると共に、開催場所である防災緑地の知名度の向上を図るもの。	東部地区町会連合会 東部地区代表者会議 地区内諸団体	今回初めての開催。子どもと大人と一緒にバウムクーヘンを作って食べることにより、世代間交流ができた。また、地区外からの参加もあり、住民同士の活発な交流も図られた。		
東部複合施設防災訓練	10月28日	1回	防災	成人	70人	公民館の訓練として非常通報や避難訓練を、地区の訓練として炊き出し訓練、初期消火訓練を行った。	丸の内消防署 東部地区町会連合会 日赤奉仕団 防災部	火災の際、各職員がどのように行動するかを確認する貴重な機会となっている。年に1度の訓練であるので、今後も引き続き実施していきたい。		
東部地区サークル発表会	11月10日	1回	地域事業(文化)	成人	185人	演芸系のサークルが日ごろの成果を発表するもの。	東部地区町会連合会 東部地区代表者会議 地区内諸団体	設備工事により公民館が使用できない期間があったため、練習不足で参加できないサークルもあったが、新しいサークルの参加もあり、発表会は大いに盛り上がった。うどんの振舞も大好評であった。		
防災講座とマップ点検	11月12日 12月23日	2回	防災	成人	78人	防災について学ぶと共に、以前作成した地区別防災マップの点検をした。点検後、最新の情報に修正し、全戸配布した。		マップ点検は、各町会で実際に町内を回ってもらい修正したため、自身の町会の危険箇所や避難場所などを再確認することができる良い機会となった。引き続き毎年実施し、全戸配布をしたい。		
松本押絵鑑講習会(干支作り)	11月20日	1回	地域文化	成人	13人	松本の歴史と文化を学ぶ。今年の干支「子」を作成した。 講師 三村 隆彦		毎年恒例の講座。地区外や市外からの参加者もあり、松本の伝統文化である押絵鑑への入り口として重要な講座である事を再認識した。		
東部防犯協会主催「防犯講座」	11月26日	1回	その他	成人	45人	地区の犯罪の発生状況や、家の防犯対策・特殊詐欺対策等を学び、地区内の防犯意識の向上を図るもの。	東部防犯協会	毎年1回開催している。自分の住んでいる地区の犯罪の発生状況等を詳しく知ることににより、住民の防犯意識の向上に繋がっている。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C	S	食育
やしよま作りともちつき大会	12月1日	1回	地域事業 (その他)	青少年	60人	伝統食「やしよま」作りと、餅つき体験を通して地域と日本の伝統文化を学ぶ。	東部地区子ども会育成つぼみの会 東部地区町会連合会 東部地区民生児童委員協議会	毎年開催しているが、例年多くの参加者がある。参加した子供たちやその親、地区役員等が交流する良い機会となっている。			○
食育講座 「シフォンケーキを作って食べよう」	12月15日	1回	子育て	その他	20人	親子でシフォンケーキを作る事を通して、食の楽しさを学ぶ。	東部地区子ども会育成つぼみの会 福祉ひろば	調理室の設備の関係もあり、参加できる人数に限られる点が残念であった。好評であったため、また別の食べ物での開催も検討したい。			○
中学校書道事業における講師補助	12月17日 12月18日 12月20日 12月23日	14回	その他	青少年	70人	清水中学校からの要望を受け、公民館サークルに依頼し書道授業で補助を行った。地域住民が地域の子供たちと触れ合う機会となった。	楽しい書道教室	毎年継続的に実施している。サークルも教えることを通して自分たちの学習を深めており、双方にとって良い機会となっている。今後も継続していきたい。		○	
しめ縄作り講習会	12月21日	1回	地域文化	成人	24人	しめ縄の作り方、飾り方などを学び、家族で新年を祝うもの。 講師 福澤 伸起		毎年実施しているが、多くの参加者がある。初めて参加する方や親子での参加もあり、日本の伝統文化を学ぶ良い機会となっている。			
新春 書初め大会	1月6日	1回	趣味教養	その他	20人	地域の人が学校に出された課題に取り組む子供達に書道の楽しさを教えることを目的に開催。 講師 楽しい書道教室の皆様	楽しい書道教室	毎年開催している。小・中学校の冬休みの課題である書き初めを地域の人達がサポートすると同時に、書道の楽しさを伝える良い機会となっている。			
三九郎マップ作製		1回	地域文化	その他		女鳥羽川の河川敷で行われる三九郎を紹介するマップの作製。27年度開催したまちづくり講座をきっかけとして作成が始まったもの。「マップを作成する事」ではなく「女鳥羽川の魅力を伝えること」を目的として発行。		小・中学校や大型ショッピングモール、近隣の店舗等へ配布している。地域の伝統文化を伝える良いツールとなっている。			
レベルアップ講座② 「町づくりと地域包括ケアシステム」	1月16日	1回	福祉健康	その他	32人	中央包括支援センターの職員を講師に招き、地域包括支援ケアシステムを学ぶ出前講座を実施した。	東部地区町会連合会	地域包括ケアシステムに関する基礎知識を学ぶ良い機会となった。			
食育講座 「冬の味覚 雪中キャベツ収穫体験」	1月25日	1回	趣味教養	成人	9人	雪中キャベツの収穫体験を通して、雪国の食文化を学ぶもの。		昨年に引き続き2回目の開催。参加者同士の会話も弾み、地区住民同士が親睦を深める良い機会となった。			○
信州きょうだいの会優 YOU・つなぐ会主催 「節分 豆まき大会」	2月1日	1回	子育て	青少年	20人	子育てに関する団体が主催の催し。地区内外の子供を対象として、豆まきその他、自閉症児によるダンスユニット「スーパーボーイズ」の発表や読み聞かせなどを行った。	信州きょうだいの会優 YOU・つなぐ会	昨年に引き続き2回目の開催。地区外からの参加者も多く、公民館を知ってもらうことができた。			
「ニュースポーツ講座」 スポーツ吹矢体験講座	2月13日	1回	地域事業 (体育)	成人	20人	スポーツ吹矢の体験を通して、健康増進と地域住民の交流を図った。	東部地区体育協会主催	スポーツ吹矢呼吸法を学び、楽しみながら健康増進を図る事ができた。			
レベルアップ講座③ 「投票率アップに向けた選挙ミニ情報」	2月20日	1回	その他	その他	21人	選挙管理委員会事務局職員を講師に招き、選挙制度に係る出前講座を実施した。	東部地区町会連合会	市長選挙の約一月前というタイミングで開催でき、選挙制度について、改めて学ぶ良い機会となった。			
食育講座 「コーヒーについて学ぼう」	2月28日	1回	趣味教養	その他	20人	淹れ方、産地の違いによる味の変化を体験し、身近な飲み物であるコーヒーについて詳しく学ぶ。		コーヒーが好きな方が多く、すぐに定員に達した。次回開催する場合は、定員を増やせるよう検討したい。また、地区外の参加者も数名おり、東部公民館を知ってもらう良い機会となった。			○
東部ひろばニュースの発行	通年	12回	その他	その他		東部地区福祉ひろばと共に発行					
松本市公民館報東部版の発行	通年	6回	その他	その他		隔月発行					
各種委員会	通年	29回	公民館委員会・各種会議等	その他	307人	五部門委員会の開催					

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等													
<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民の意向を聞き取りながら、公民館企画・運営委員会等と協議し講座・事業を企画実施した。 ・ 地区住民の健康増進を図るための事業を福祉ひろばや住みよいまちづくり協議会、地域づくりセンターと連携し推進した。 ・ 認知症サポーター養成講座とふれ愛を育てる集いを開催し地域課題について住民とともに取り組んだ。 ・ 児童を対象とした事業を、地区子ども会育成会や学校と連絡・協議し実施した。 ・ 地域住民が、地域や暮らしについて主体的に考え行動できるような事業を実施した。 ・ 地域づくり支援のため「城北地区ふれ愛まつり」を発展的に継続開催した。 ・ マンネリ化にならないように、常に新しい講座を取り入れていくように心がける。 													
評価・反省等													
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種の講座・事業について、開催目的等は十分に達成されたと思われる。今後、さらに充実させていきたい。 ・ 地域づくりの一体感の醸成に貢献したが、さらに地域課題や講座開催の意義を踏まえて事業を開催したい。 ・ 地区の方々がもっと積極的に講座開催に関われるような手段を考えたい。 ・ 「講座に参加する顔触れが変わらない」とか「マンネリ化している」という声がある。 ・ 城北公民館は公民館活動が活発であるという反面、硬直化している側面が現れつつある。 ・ 新規講座として「山雅関連講座」「珈琲焙煎講座」を開催した。特に珈琲焙煎講座は好評だったので、来年も開催したい。 													
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員 各種会議等
	平人 和権	福健 祉康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	ス ポ ー ツ	防 災	そ の 他	体 育	文 化	そ の 他	
事業数	2	5	3	3	2	17	3	2	5	2		4	6
延べ参加人数	51	193	52	41	19	382	128	86	188	125		474	384
	C S	食 育											
事業数	1	1											
延べ参加人数	338												

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
親子四賀化石発掘講座	5月18日	1回	趣味教養	青少年	9人	【事業内容】 小学生以上を対象とし、四賀化石館で化石の話 を聞き、実際に発掘を行う。 【ねらい】 子どもたちに化石について理解を深める。 また地区の子ども達の交流を深める。	主催：城北公民館	【評価と反省】 前日まで心配していた天気も回復し、化石発掘を行 うことが出来た。 去年と同じく断層見学、クジラの化石の見学など少 し歩いたが、今年は未就学児を連れてくる参加者はい なかったとの問題はなかった。 温度も程よく、来年度もこの辺近で行いたい。 【今後の方針等】 今回は天気に恵まれたが、来年からは雨天用の計画 をニュースに記載するようにしたい。		
ウォーキング講座	5月18日 10月19日	2回	地域事業 (体育)	成人	75人	【事業内容】 自分にあったコースを四つの中から選択しても らい、城北地区を歩く。 【ねらい】 参加住民の運動不足の解消をはかり、健康寿命 延伸に努める。 また、参加住民と交流を深める。	福祉ひろば・城北公民 館・城北公民館体育館 の共催	【評価と反省】 昨年度に引き続き、秋の講座で信大の講師に引き、 歩き方の姿勢やインターバル散歩などを学び、実践し た。 歩き方を学ぶことが出来てよかったという意見が参 加者からでた。 【今後の方針等】 来年度も継続予定		
料理教室	5月20日 7月22日 11月11日 2月17日	4回	趣味教養	成人	53人	【事業内容】 地区住民を対象とした料理教室 【ねらい】 地区住民の料理能力向上をはかり、参加住民同 士の交流を深める。	食改と城北公民館の共 催	【評価と反省】 【評価と反省】 人数の集まりが良くなかった。 最後の巻きずし作りの時は人数が多かった。 【今後の方針等】 PRの方法を考え地区住民に来てもらえるようにし ていきたい。		
探訪 八島湿原と 美ヶ原高原	5月21日	1回	環境	成人	12人	【事業内容】 八島湿原と美ヶ原高原を散策する。 【ねらい】 高地の在来種・外来種等に対する植生への影響 について、現地に赴き学習する。 また、参加住民の交流を深める。	主催：城北公民館	【評価と反省】 昨年度の反省も踏まえて、今回は申込み開始日時 の指定を行なった。 当日は、雨だったため美ヶ原高原をキャンセルし た。 八島湿原に着くころは晴れ富士山まで見えたので参 加者も喜んでた。 【今後の方針等】 緑が芽吹いておらず風景が寂しかったので、もう少 し時期をずらしたい。 また、今後は天候に左右されないとこも視野に入れ たい。		
歴史とロマン講座	5月28日 6月17日 7月30日	3回	趣味教養	成人	43人	【事業内容】 長野県に関係する歴史について、松本市文化財 審議委員の方を招いて、講義してもらおう。 【ねらい】 長野県の歴史について、学び参加住民の見識と 教養を深める。	主催：城北公民館	【評価と反省】 1回目は「松本平のお墓の歴史-人は死とどうやって 向き合っていたのか」 2回目は「食べる器と煮る器-食器の歴史」 3回目は「陸軍松本飛行場について-訓練飛行場から 重爆撃機の基地と特攻隊」の三つのテーマで講演して もらった。 参加人数は3回目のテーマが一番多かった。 恒例となっているので来年度も開催したい。 【今後の方針等】 人がなかなか集まらなかったため、来年度は、日程 を調整したい。		
マレットゴルフ大会	6月8日 (中止) 11月9日	1回	地域事業 (体育)	成人	50人	【事業内容】 アルプス公園で、マレットゴルフを行う。 【ねらい】 住民の運動不足解消に努め、健康寿命延伸都 市を目指す。 また、参加住民の交流を深める。	主催：城北公民館体育 部 共催：城北公民館	【評価と反省】 毎年2回やっていたが、今年度は雨のため一回目は 中止となった。 2回目は天気にも恵まれ、参加者も和気あいあいと プレイしていた。 【今後の方針等】 常連の参加者も多いが、新規の参加者も増えてきて いるので今後も継続していきたい。		
城北公民館写真展 「小さな仲間たち」	6月11日 ～ 6月27日 12月18日 ～ 1月16日	2回	趣味教養	その他		【事業内容】 地区住民の昆虫や鳥の写真展を公民館の部屋を 使い開催。 【ねらい】 写真を通して、自然の豊かさを感じてもらおう。	城北公民館	【評価と反省】 地区住民と話すなかで、今回の企画に至った。 参加人数は正確には把握できないが、多数の方に見て もらえた。 壁に展示する形をとったので、貸館業務に大きな支 障を与えることなくできた。 【今後の方針等】 来年度も開催予定。 また、来年は写真だけにとどまらず開催したい。		
新緑の上高地散策	6月12日	1回	趣味教養	成人	35人	【事業内容】 上高地を大正池コースと明神池コースに分かれ て散策する。 【ねらい】 松本市の観光資源の一つである上高地の魅力 を内外に発信できる人材を育成するとともに、自然 環境の保護・保全の必要性について学ぶ。 また、参加住民の交流を深める。	城北公民館	【評価と反省】 毎年大勢の応募のある講座。 当日は雨が降っていたが、怪我する参加者もなく、 無事に終わった。 【今後の方針等】 来年度は、別の場所も視野に検討		
生け花講座	6月18日 12月25日	2回	趣味教養	成人	32人	【事業内容】 地元の講師を招いて、生け花講座を年2回行 う。 【ねらい】 日本の伝統を学び、参加住民の交流を深める。	主催：城北公民館	【評価と反省】 昨年度の反省から、今年度は6月に第1回を行な った。 二回目に行なった12月の講座は、洋風花か和風花と 選べるようにした。 【今後の方針等】 来年度の継続は検討中。		
自然観察会	6月30日	1回	趣味教養	青少年	30人	【事業内容】 国営アルプスあづみの公園の自然の中で、学 び、制作体験をする。 【ねらい】 学校だけでは体験できないことを自然の中で経 験してもらおう。	主催：子ども会育成会 共催：城北公民館	【評価と反省】 例年恒例の行事となっており、参加者も多数いた。 子ども達も自然体験ができた。 【今後の方針等】 来年も開催予定。		
手づくりパン講座	7月1日 10月2日	2回	趣味教養	成人	29人	【事業内容】 今年度初講座。 手作りのパンを作り方を学ぶ。 【ねらい】 地区住民の交流を深めると共に趣味の幅を広げ る。	主催：城北公民館	【評価と反省】 毎年ケーキ作り講座をお願いしている講師の方が、 パンの作り方を教えられることが、雑談の中で分か ったので今回依頼した。 今回初めての試みとして、託児の条件を1歳以上定 員5名で受け付けた。 おかげで、新たな人呼び込むことが出来た。 【今後の方針等】 好評だったので来年度も継続予定。 定員になったので託児も継続したい。		
丸の内健康教室	7月22日 8月23日 11月29日	3回	福祉健康	高齢者	54人	【事業内容】 丸の内病院の出前講座。 熱中症、介護保険制度、ACPをテーマに全三回 行なった。 【ねらい】 地区住民に関心のあるテーマについて理解を深 めてもらう。	主催：城北公民館	【評価と反省】 毎年恒例の全三回講座で地区住民の参加も多か った。 特に3回目の終末医療などについての心づもりの仕 方や、書類作成の方法などは参加者は興味深そうに聞 いていた。 昨年度に引き続き、各講義の最後に簡単な運動の仕 方の実技講習もあり好評だった。 【今後の方針等】 病院側と調整しながら今後も継続していきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
白馬五竜高山植物園散策	7月24日	1回	趣味教養	成人	35人	【事業内容】 白馬五竜高山植物園に散策に行く。 【ねらい】 地区の交流を深めるとともに地域資源の活用方法とともに高山植物について学びに行く。	主催：城北公民館	【評価と反省】 今年度初の講座。 植物園の方で無料のバスを出してくれるということで今回お願いした。 想定以上に参加者がおり、天気にも恵まれてよかった。 【今後の方針等】 好評だったので来年度も開催したい。		
SPレコードを聴く会	7月25日	1回	趣味教養	高齢者	30人	【事業内容】 SPレコードを地区住民で聞く。 【ねらい】 SPレコードで昔懐かしい、曲を聴き、参加住民と交流を深める。	主催：よろず大学 共催：城北公民館	【評価と反省】 昔懐かしい曲を蓄音機で再生し、高齢の参加者も楽しそうに話をしながら聞いていたので地区住民同士の交流も深まったと思う。 【今後の方針等】 来年度も継続方向で調整していきたい。		
夏休み特別企画 親子で昆虫と日本刀を見よう！！	7月27日	1回	趣味教養	青少年	中止	【事業内容】 小学生以上を対象とし、四賀化石館で化石の話聞き、実際に発掘を行う。 【ねらい】 子どもたちに化石について理解を深める。 また地区の子ども達の交流を深める。	主催：城北公民館	【評価と反省】 参加者が集まらず中止となった。 【今後の方針等】 来年度は化石講座に絞る		
公民館に泊まって遊ぶ	8月2日 ～8月3日	1回	その他	青少年	25人	【事業内容】 城北地区の小学生が、城北公民館に泊まり、夕飯づくりやお化け屋敷など参加児童が企画して行う。 【ねらい】 城北地区の子ども達の交流を深めるとともに自ら企画し実行することを学ぶ。	主催：子ども会育成会 共催：城北公民館	【評価と反省】 毎年恒例行事でたくさんの子どもの参加申込みがあった。 昨年度と同様にバスに乗って松本駅前のショッピングセンターに買い出しに行った。 しかし、バスが遅れていたため、待ち時間が長くなってしまった。今後の課題とする。 【今後の方針等】 来年度も継続。 また、ラジオの取材も好評だったので来年度も入れる。		
平和を語る会 戦死者はどう祀られてきたか-陸軍墓地と忠魂碑、戦死者の墓-	8月9日	1回	人権平和	成人	26人	【事業内容】 忠魂碑や陸軍墓地などの説明と共に身近な戦争遺跡について講演していただいた。 【ねらい】 戦争について講演を聞き平和の大切さを学んだ。	主催：城北地区人権啓 発推進協議会 共催：城北公民館	【評価と反省】 昨年度は、「人権」の話だったが、今年は戦争遺跡の話だった。 戦争というものを遺跡を通して身近に感じたとの感想があった。 講演の後、すいとんを食べるのが恒例だったが、今年度まででこしようという話が持ち上がった。 【今後の方針等】 来年は戦争の話ではなく、人権の話をしようという意見が出た。 また、来年はすいとんをやめる方向で調整する。		
東美濃に大正文化と山城を訪ねる。	8月29日	1回	趣味教養	成人	26人	【事業内容】 公民館の文化部が主催で、今年は岐阜県恵那市の日本大正村や岩村城を見学に行った 【ねらい】 他県の歴史を学び教養と参加住民の交流を深める。	主催：城北公民館文化部 共催：城北公民館	【評価と反省】 来年の大河ドラマの舞台ということもあり例年以上に参加者が集まった。 このように世の中の流れを取り入れる事の大切さも改めて学んだ。 【今後の方針等】 来年も継続。 今まで行ったことのない場所を候補に検討中。		
祝国宝指定 旧開智学校の国宝への軌跡！	9月1日	1回	趣味教養	成人	27人	【事業内容】 国宝指定になった旧開智学校について、学芸員を講師に招いて講演を行なった。 講演後、実際にあるいて見学に行った。 【ねらい】 地区の宝である旧開智学校について理解を深める。	主催：城北公民館	【評価と反省】 事前の申し込みが少なく、不安だったが、当日は申し込みのない参加者が多数きて盛況になったのでよかった。 講演を聞いた後実際に、見学できたため参加者には好評だった。 【今後の方針等】 今後も形を変えて開催していきたい。		
4館合同上高地ウォーキング	9月7日	1回	福祉健康	成人	28人	【事業内容】 中央第2ブロック合同で、上高地を散策する。 【ねらい】 普段関わることの少ない、他ブロックとの交流を深める。 また、松本市の観光資源である上高地について理解を深める。	主催：中央第2ブロック	【評価と反省】 今年度は天気に恵まれ、晴天だったため参加者も満足していた。 しかし、地区ごとに歩く速さが違うため調整が、難しかった。 【今後の方針等】 来年は検討中。		
城北地区ふれあまつり	9月28日 ～9月29日	2回	文化	成人	915	地域づくりを目的とした地区文化祭で、今年度は第20回目。	ふれあまつり実行委員会	【評価と反省】 今年度は、サークル発表の数が多く、ステージが盛り上がった。 昨年度、使いやすかった防災テントを今年度も使用した。 今年度は天気に恵まれ参加者も昨年度を上回った。 【今後の方針】 来年度は開催日数について調整する。		
白樺峠でタカの渡りを見よう！	10月3日	1回	環境	成人	18人	【事業内容】 白樺峠でタカの渡りを観察する。 【ねらい】 秋に見られるタカの渡りを観察し、野鳥への興味を深める。 また、参加住民の交流を深める。	主催：城北公民館	【評価と反省】 前日に曇っていたが数羽タカの渡りを見ることが出来た。 タカは見えなかったが、講師がキノコを見分けられたのでキノコを探ることができた。 【今後の方針等】 来年も継続予定。		
市政懇談会	10月8日	1回	その他	成人	65人	【事業内容】 市政について地区と懇談をする。 【ねらい】 地区の要望を市に届けると共に、市政について理解を深める。	城北地区地域づくりセンターと城北公民館	【評価と反省】 城北地区にしては珍しく、夜に行なったが多数の参加があった。 菅谷市長最後の期の市政懇談会が当地区という事もあり、真摯な意見交換が行われた。 【今後の方針等】 現在のところ継続予定なし。		
信大劇団六連銭講演 《私じゃない誰かの笑顔のために》	10月20日	1回	地域事業 (その他)	成人	中止	【事業内容】 信州大学の演劇サークルが城北地区講演する。 【ねらい】 地域住民と信大生の交流。	主催：城北公民館	【評価と反省】 台風19号により中止 【今後の方針等】 来年度は未定。		
美術館出前講座 企画展「日本画の冒険者たち」をより楽しもう！	10月23日	1回	趣味教養	成人	18人	【事業内容】 企画展「日本画の冒険者たち」について美術館学芸員の解説を聞く。 また、美術館のアートカードゲームを参加者で行なった。 【ねらい】 日本画についての理解を深めるとともに地区住民の交流を図る。	主催：城北公民館	【評価と反省】 今回の講座は、講義だけでなく参加者が楽しめるように美術館にあるアートカードゲームを行なった。 参加者同士和気あいあいとなっていた。 しかし、講演が終わると同時に帰ってしまった参加者もいたので工夫をしなければならない。 【今後の方針等】 地区住民の興味のあるような企画展の際に講座を企画したい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
秋の森であそぼう&大地の恵み体験	10月27日	1回	環境	青少年	11人	【事業内容】小学生を対象に地区内の裏山で自然の遊びやアウトドアアクッキングなどを行う。 【ねらい】自然と触れ合う機会の少ない子どもたちに裏山での遊びを通じて、アウトドアについて学んでもらう。	主催：城北公民館・青年部 共催：城北公民館	【評価と反省】裏山で子ども達がアウトドアに触れ合うことが出来たので意義のあるものになった。 この事業は城北公民館青年部主催ということで珍しい講座を開催することが出来た。 【今後の方針等】来年度も青年部主催で事業を出来るよう調整していきたい。		
普通救命講習AED	10月28日	1回	防災	成人	31人	【事業内容】普通救命講習について、丸の内消防署の職員を招いて学習する。 【ねらい】いざという時に適切な対処ができる人材を育てる。	主催：城北地区日赤奉仕団 共催：城北公民館	【評価と反省】普通救命講習について深く学ぶことが出来て良かったと思う。 また、今年度はこの取り組みが表彰された。 丸の内消防署の職員の説明も分かりやすく良かった。 【今後の方針等】来年度は別のこともやりたいという声も上がっている。		
楽団ケ・セラのファミリーコンサート	11月2日	1回	子育て	青少年	30人	【事業内容】城北地区子ども会育成会主催で、楽団ケ・セラを招いてコンサートを行なった。 【ねらい】地域住民の交流を深める。	主催：城北子ども会育成会 共催：城北公民館	【評価と反省】申込みが少なく、様々な手段を行なった。 また、当日の呼びかけのかいあり、参加者も30人きた。 参加者も喜んでいてよかった。 【今後の方針等】育成会から、ファミリーコンサートなのに、子どもの参加者が少ない、との声が上がった。 来年度の検討事項とする。		
認知症を知るためのシリーズ講座	11月9日 11月23日	2回	福祉健康	高齢者	98人	【事業内容】城北地区住みよい町づくり協議会福祉の部会主催で、認知症について全二回の講座を行なった。 【ねらい】地域住民の認知症についての理解を深める。	主催：城北地区住みよい町づくり協議会福祉の部会 共催：城北公民館	【評価と反省】認知症への理解を深めてもらうために昨年度から行なっている取り組み。 今年度は全2回講座とし、施設長と専門医を講義を行なった。 分かりやすいと評判だった。 【今後の方針等】来年度どうするか検討中。		
10歳までの言葉かけで決まる子どもをせめないフィンランド式しつけ方	11月10日	1回	子育て	成人	22人	【事業内容】フィンランドに滞在経験のある講師の方を招いて、現地の教育や子どもとの接し方を学ぶ。 【ねらい】子育てについて、地区住民の理解を深める。	主催：城北公民館	【評価と反省】今年度初の講座。 申込みが少なく声掛けや近隣の小学校や保育園に公民館ニュースを持ち込みをした。 当日は、事前申し込みをしていない参加者が、多数来た。 今後、対象者が親や子どもにも及ぶものは上記の場所に宣伝する。 【今後の方針等】来年度は調整中。		
城北地区人権啓発推進協議会視察先：盲導犬の里富士ハーネス	11月11日	1回	人権平和	成人	25人	【事業内容】盲導犬の里富士ハーネスで盲導犬について学ぶ。 【ねらい】盲導犬について知識を深め、地区住民の人権意識を高める。	主催：城北地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】静岡県にある盲導犬の里富士ハーネスに人権啓発推進協議会が視察に行った。普段なかなか知る機会のない盲導犬について学ぶことができて参加者からも好評だった。 【今後の方針等】来年度は別の視察先を検討中。		
自宅で簡単・筋力トレーニングにトライ！！	11月18日	1回	福祉健康	高齢者	30人	【事業内容】自宅で簡単にできる筋力トレーニングについて、信大の講師を招いて学ぶ。 【ねらい】年齢とともに衰える筋力を維持できるようにする。	主催：城北地区住みよいまちづくり協議会健康の部会 共催：城北公民館・福祉ひろば	【評価と反省】住みよいまちづくり協議会健康の部会が主催ということで、多数の人が集まった。 参加者も楽しんで運動していた。 【今後の方針等】住みよいまちづくり協議会健康の部会と調整しながら来年度も開催予定。		
城北地区の皆さんと語る会	11月21日	1回	その他	成人	25人	【事業内容】松本市の教育を取り巻く環境について話し合う。 【ねらい】松本市の教育に対して地区の関心を深める。	主催：教育委員会 共催：城北公民館	【評価と反省】教育政策課が中心となって行われた。 地区の文化財である高橋家住宅について話し合いが行われた。 今後の展開がよりよく動けるように公民館として何が出来るか探していきたい。 【今後の方針等】現在のところ開催予定はなし。		
珈琲焙煎講座	11月30日	1回	趣味教養	成人	17人	【事業内容】珈琲焙煎の準備、方法について学ぶ。 【ねらい】新規講座で、普段公民館に來ない住民を呼び込む。 また、住民の生きがいづくりに貢献する。	主催：城北公民館	【評価と反省】昨年度に引き続きの人気講座で、今年もたくさんの申込みがあった。 休日の開催ということで、普段公民館にあまり來ない住民を呼び込むことが出来た。 【今後の方針等】生きがいづくり事業として継続していきたい。 来年度は2回講座にしたい。		
城北公民館年末大掃除	12月10日	1回	その他	成人	60人	年に一度であるが、利用団体が皆で手分けして公民館の大掃除	公民館利用者の52団体で組織する「城北友の会」が年一度の全館清掃をする	全団体より会員が出席し、半日をかけて、城北公民館の隅々まで掃除をすることが出来たのでよかった。		
正月のしめ縄作り	12月17日	1回	地域文化	成人	19人	【事業内容】地区の住民に講師を依頼し、正月のしめ縄作り方を学ぶ。 【ねらい】日本の伝統である、しめ縄づくりを学び、正月を彩るもの。	主催：城北公民館	【評価と反省】毎年恒例行事。 新規の参加者に講師の方や常連の参加者が教えながらやっていた。参加者同士の交流を深められた。 今年度は、糞を塩漬けにしたため柔らかく作りやすかったという意見がでたので来年度も行ないたい。 【今後の方針等】来年度も開催予定。		
城北地区防災講演会地震について学んでみませんか？	12月22日	1回	防災	成人	55人	【事業内容】地震について、信州大学の塚塚教授を招いて、講演してもらった。 【ねらい】地震について地区住民の意識を深めると共に困ることがないように備えることのできるようになってもらう。	主催：住みよいまちづくり協議会 安全の部会 共催：城北公民館	【評価と反省】地震について分かりやすい講演だった 主催である協議会が、カラーの資料を人数分用意してくれたので見やすかった。 【今後の方針等】来年度も開催するかは未定。		
こども書初め大会	1月4日	1回	その他	青少年	13人	【事業内容】城北地区の子ども達を対象に書初め大会を行う。 【ねらい】書道の講師の添削を受けながら技術の向上を目指す。	主催：子ども会育成会 共催：城北公民館	【評価と反省】始めのころとは見違えるほど成長した子どもが多数いた。 毎年恒例の行事だが、例年に比べ人が少なかった。 募集の仕方を工夫する必要がある。 また、今年度は、ホームページを見て新聞記者の方が来たので、ホームページの活用方法を工夫したい。 【今後の方針等】来年度はもう少し工夫して広報したい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
ケーキ教室	1月16日 1月23日 1月31日 2月4日	4回	趣味教養	成人	45人	【事業内容】 ケーキ作りを学ぶ。 【ねらい】 ケーキの作り方を学び、地区住民の生きがいづくりに貢献する。 また、参加住民の交流を深める。	主催：城北公民館	【評価と反省】 ケーキ含め一回の講座で二品作ったが、参加者全員、レベルの高いものを作った。 また、今年度は午前中に行なったため、若い方の参加者が増えた。 【今後の方針等】 来年も開催予定。		
スキーツアー	1月18日	1回	スポーツ	成人	40人	【事業内容】 城北地区の住民を対象とし、Mt乗鞍スキー場でスキーをする。 【ねらい】 冬場の運動不足の解消と、地区住民の交流を深める。	城北地区健康づくり推進員会・城北公民館・住みよいまちづくり協議会健康の部会の共催	【評価と反省】 昨年度を超える申し込みがあり、あっという間に定員越えとなり、補助席を使う方向で調整し、定員を増やして対応した。 地区に定着し始めているので来年度は予約開始日を指定する。 【今後の方針等】 来年度も開催予定。 また、予約開始日を指定する。		
男衆のキッチン	1月20日	1回	福祉健康	その他	11人	【事業内容】 普段料理をしない地区住民の男性を対象とした料理教室を行う。 【ねらい】 普段、料理をしない、台所に立たない男性にも簡単な料理ができるようになってもらう。	主催：城北地区社会福祉協議会 共催：健康づくり推進員会・城北公民館	【評価と反省】 普段台所に立たない男性用に調整したメニューになっており、参加者もなれないながら、料理を完成させた。 今後の生きがいづくり、また、生活を支える料理技術の習得に繋がっていくと考えられる。 【今後の方針等】 来年も開催予定。メニューも今回のような簡単なもので調整したい。		
噂の！雪中キャベツ収穫ツアーIN小谷	1月25日	1回	趣味教養	成人	17人	【事業内容】 小谷村で雪中キャベツの収穫体験を行うと共に雪に覆われた地域の資源を身をもって学ぶ。 【ねらい】 地区住民同士の交流を深めると共に小谷村について学ぶ	主催：城北公民館	【評価と反省】 今年度は雪不足のため、雪が一切なく、雪の中からキャベツを取り出すという体験ができなかった。 しかし、自分の好きなキャベツを選んで収穫することが出来たので、参加者からは好評だった。 【今後の方針等】 来年も継続予定。		
軽スポーツ交流会	2月2日	1回	スポーツ	成人	37人	【事業内容】 老若男女問わずできる軽スポーツを行う。 【ねらい】 冬場の運動不足の解消。 また老若男女問わずできる軽スポーツを通して地区住民の交流を深める。	城北公民館体育部・住みよいまちづくり協議会健康の部会・子ども会育成会・城北公民館の共催	【評価と反省】 誰でも出来る軽スポーツだったので、盛り上がった。 今年度は昨年度の反省を踏まえて、日曜日開催にした。昨年度よりも参加者が増えた 【今後の方針等】 来年度も継続。		
城北地区新春ボウリング大会	2月9日	1回	スポーツ	成人	51人	【事業内容】 町会対抗のボウリング大会を行う。 【ねらい】 冬場の運動不足解消及び参加住民の交流を深める。	主催：城北公民館体育部 共催：住みよいまちづくり協議会健康の部会・城北公民館	【評価と反省】 毎年恒例のボウリング大会。 昨年度並みではあったが、新規の参加者も多数いて盛り上がった。町会内はもちろん町会を越えて交流を深めることが出来た。 【今後の方針等】 来年度も開催予定だが、もう少し募集の仕方を工夫する。		
江戸時代の家	2月13日	1回	地域文化	成人	31人	【事業内容】 地区の方を講師に江戸時代の家について学ぶ。 【ねらい】 地区の歴史について学び、教養を深める。また、参加住民の交流も深める。	主催：城北公民館文化部 共催：城北公民館	【評価と反省】 文化部が主催で毎年行なっている講座。 講師の解説が大変分かりやすく参加者も多かった。 家という身近なテーマに参加者も興味深そうに聞いていた。 【今後の方針等】 来年も開催したい。		
城北公民館・城北地区福祉ひろば開館20周年記念事業	2月22日	1回	地域事業（その他）	成人	102人	【事業内容】 開館20周年記念事業として下記の事を行う。 ・記念誌の発行 ・記念式典 ・記念演奏会 ・祝賀会 【ねらい】 公民館とひろばの開館20周年を地区を挙げて祝う。	主催：開館20周年記念事業実行委員会	【評価と反省】 周年事業のため、昨年度から準備を始めた。 一年がかりで、地区に周知をし。当日の式典には100人を超える参加者が来た。 また、記念誌の発行は地区の方と協力し、何度も校正をした。 地区の協力のおかげで、予算内に収めることが出来た。 当日は大きなトラブルもなく盛況の中、無事終わることが出来た。 【今後の方針等】 5年周期にするか10年周期にするかは、検討中。		
ハワイアンキルト講座	3月12日 3月13日	2回	地域事業（その他）	成人	34人	【事業内容】 地区の方にハワイアンキルトの作り方を学ぶ 【ねらい】 地区住民の交流を深めると共に新たな生きがいづくりとする。	主催：城北公民館	【評価と反省】 今年度初講座。 参加者も多数いた。 講師の方と相談して、少し複雑なので、一日目で完成させられなかった人のためにと予備日を一日用意した。 結果、ほとんどの参加者が一日で完成できず、二日目も参加していた。 【今後の方針等】 来年度は、予備日ではなく、二日間の開催とする。		
親子料理教室	3月19日	1回	子育て	家庭教育	中止	【事業内容】 食育事業の一環として開催。 【ねらい】 親子で料理を学び子どもに料理について興味を持ってもらう。	主催：子ども会育成会 共催：城北公民館	【評価と反省】 コロナの影響で中止。 【今後の方針等】 来年も開催予定。来年度は密に連絡を取っていきたい。		○
コミュニティスクール	随時	14回	地域事業（その他）	青少年	338人	【事業内容】 茶道、華道クラブの支援。みそ作り指導及び馬頭琴講習会、メディアリテラシーの支援。 【ねらい】 開智小学校の生徒の健やかな学びを支援する。	開智小学校と城北公民館の共催	【評価と反省】 地域と学校の連携というものは、課題も多いが、大切な事なので調整していきたい。 【今後の方針等】 来年度も学校が必要としている事業について調整しつつ計画を進めていきたい。		○
企画運営委員会・視察研修	10月31日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	10	【事業内容】 古川町に視察研修に向かう。 【ねらい】 町会を越えた協力の重要性について学ぶ。	公民館企画運営委員	【評価と反省】 古川町で飛騨古川まつりを通した町会を越えて協力することの重要性を学べた。 【反省】 来年度も視察先を変え、継続予定。		
企画運営委員会（会議）	####		公民館委員会・各種会議等		70	公民館運営のための委員会	地区内各種団体より選出			
館報編集	####		公民館委員会・各種会議等		144	館報城北地区版編集のための会議	地区内各種団体より選出			
館報記録	3回		公民館委員会・各種会議等		62	地区内の活動の記録のため	地区内各種団体より選出			

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
文化部		2回	公民館委 員会・各 種会議等		42	ふれ愛まつり及び研修・講演会の打ち合わせ	地区内各種団体より選出			
体育部		1回	公民館委 員会・各 種会議等		56	軽スポーツ祭・ウォーキング大会・マレットゴルフ大会などの打ち合わせ	地区内各種団体より選出			

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等
<ul style="list-style-type: none"> ・「中央地区は家族だ」をスローガンに、地域住民がお互いに支え合っているよう住民の場づくり・関係づくりに取り組む。 ・前年に引き続き生きがいのある豊かな心の持てる地域を作るため、地域づくりセンターを中心に公民館や福祉ひろばが独自性を出しながら地区住民の多くの参加、参画を促し公民館事業のさらなる推進を目指す。 ・災害時「要援護者優先避難所」となるため避難所運営委員会を組織し、定期的に委員会を開催し、学びを取り入れながら課題の把握と改善策の話し合いを行う。 ・公民館がパイプ役となって地域の関係団体と連携し「中央っ子応援団」を復活させ、下校時の見守り活動や通学路の危険箇所確認、人材リスト作成等を行う。 ・「人材の宝」を多く活用した事業の展開や、「自分がいなければこの行事はできない」という主体的な意識を少しでも持たせることで、地域への愛着と生きがいづくりにつなげてもらえるような「人づくり」を実施する。 ・松本城南・西外掘復元事業や内環状北線整備事業など「将来世代のためのハード事業」が円滑に推進されるために、公民館として住民が地域にもっと関心をもってもらえるような学習と語らいの場を多く取り入れていく。

評価・反省等
<ul style="list-style-type: none"> ・「中央地区は家族だ」をスローガンに、地域づくりセンターにおいて設置されている福祉互助会での福祉活動、居酒屋公民館での語らいの場づくり、学びと交流を活かした公民館活動など、積極的に行うことができた。また、今年度から配置された生活支援員とも関係をさらに密にし、地区住民が集う「場」づくりを行いたい。 ・要援護者避難所運営委員会では、関係団体の役員（住民）を運営委員として巻き込み、手話講座や移動介助・車いす介助方法を学び、8月には町会連合会、防災部にも声をかけ避難所運営訓練を行った。訓練を行う中で見えてきた課題の共有や、運営にふさわしいマニュアルの作成に向けた話し合いを行うことができた。 ・中央っ子応援団では、「子どもたちのためなら」ということで、各団体の協力により下校時の見守り活動を定着させることが出来た。また、通学路危険箇所マップを完成させ、学校や保護者、関係団体へ配布した。休日の過ごし方が多様化するなかで、地域と子どもが関わる場面が減少傾向ではあるが、子どもが参加する地区行事を育成会とともに支援していきたい。また、学校教員の働き方改革や学校指導要領の改訂により、子どもが地域で学び・育つことがより重視されるため、地区住民を巻き込んで子どもを支援していきたい。中央地区の鷹匠町町会が「多世代参画型地域共生コミュニティづくりモデル事業」のモデル町会となり、町内公民館を拠点に、子どもを中心とした行事の企画に取り組んでいる。地区公民館としても町内公民館の活性化、集いの場づくりといった視点からモデル事業を支援したい。 ・地区の団体役員は地区行事に積極的に参加しており、公民館行事のお手伝いなど快く引き受けていただくこともあるが、参加メンバーは固定化しつつあり、新しい人材に乏しい現状がある。担い手不足の問題や少子高齢化といった課題も含め、持続可能な地域づくりの推進に努めたい。 ・公民館でも支援をしている中央地区町会連合会では、「松本市長選立候補予定者との講談会」を行い、地区内のハード事業が取り上げられ、約160名の住民が耳を傾けた。住民の知りたい、学びたい、やりたい思いを汲み取り、公民館事業をより充実させたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員等
	平人 和権	福健 祉康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	ス ポ ー ツ	防 災	そ 他	体 育	文 化	そ 他	
事業数	3	12	4	2	6	5	3	2	3		2	6	2
延べ参加人数	45	1522	190	140	270	145	50	150	246		190	510	360

	CS	食育
事業数	4	2
延べ参加人数	240	40

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C	S	食育
町会連合会支援	4月～3月	通年	その他	成人	16人	地域拠点施設として信頼される公民館を目指すことを目的に、地区関係団体の総会資料印刷や通知作成等に協力。定例町会長会議に出席することで、住民の生の声を聞き、課題や要望等を把握する。	【準備過程】 町会連合会がメインであるが、地域づくりセンター及び公民館で支援を行っている。	【評価と反省】 仕事を掛け持つ町会長や、ご高齢の町会長が多いが、地域行事等には積極的に参加、協力いただいている。2月には「松本市長選挙立候補予定者との懇談会」の開催を支援し、地区内のハード事業を取り上げ、地区住民に積極的にまちづくりや課題について考える機会を提供できた。 【今後の方針】 継続支援			
中央地区お花見会	4月6日	1回	地域事業(その他)	その他	100人	松本城の桜を楽しみながら、地区役員と住民の親睦、交流を図ることを目的に開催	【共催団体等】 中央地区町会連合会、福祉ひろば、社協、健康づくり推進員、民生・児童委員協議会	【評価と反省】 花見の宴は毎年好評で、地域住民の交流の場として定着した行事である。役員それぞれが率先して準備しており、参加される皆さんが気持ちよく過ごすことができています。今年度は公民館を利用する信州大学のアカペラサークルの発表もあり、普段なかなか聴けないアカペラを聴く機会となった。 【今後の方針】 継続開催			
早朝歩こう会	3月～11月	9回	福祉健康	成人	300人	3月～10月までの第2日曜日に開催。夏場朝6時から、それ以外は朝7時から実施。住民の健康増進と交流を図ることを目的に開催 11月は17日に福祉ひろばと共催で講師を招いてウォーキングやストレッチの講習会を実施	【共催団体等】 中央地区町内公民館長会主催	【評価と反省】 20年以上続く事業。年々参加者が減りつつあるが、常時20人ほど集まる人気事業である。 【今後の方針】 継続開催			
公民館五部門委員会	4月～3月	通年	公民館委員会・各種会議等	成人	300人	運営、館報、図書・視聴覚、文化、体育の五部門委員会により、公民館事業の企画・運営、評価等を行う。 運営委員会は、社協企画委員会を合同で開催し、地区内各種団体を横につなぐため、情報交換や課題の共有などを行った。	【準備過程】 各部門ごとに随時開催	【評価と反省】 各部門が意欲的に取り組み、円滑な事業運営を行うことができた。 【今後の方針】 地域課題の解決に向けて、より意欲的に取り組める体制づくりを構築 各団体から情報だけでなく取り組みの上での課題や悩みなども共有したうえで、連携して課題解決できるようにしていきたい。			
図書・視聴覚委員会	4月～3月	10回	公民館委員会・各種会議等	その他	60人	「平成のまちなみの記録を残す」ことを目的として活動を開始し、①現在のまちなみを撮影する②昔の写真を住民の中から掘り起こす③昔の写真を活用する④写真を昔と対比できる形で整理する、を4つの柱として活動を行った。ふれあい祭りにおいては、平成令和の写真展、今昔写真展、地区写真パネル展などを行った。	【準備過程】	【評価と反省】 活動を行う中で写真とメッセージ(思い出)などのヒモ付け、活用を前提とした整理、写真活用のネットワークづくりといった課題にたどりついた。 【今後の方針】 各町会単位で「思い出を語る」場を作り、写真とメッセージのヒモ付け作業を進める。			
居酒屋公民館	5月～3月	10回	その他	成人	200人	「みんなで気軽にワイワイ語り合いましょ！」をテーマに、参加者それぞれが食べたいものや飲みたいお酒を持ち寄り、おつまみ作りをしながら、毎週おつまみ作りを調理しふるまう参加者で会場設営・片付け	【準備過程】 食べたいものや飲みたいお酒などは各人で用意 有志でおつまみを調理しふるまう 参加者で会場設営・片付け	【評価と反省】 昔の写真を上映し思い出を語ってもらったり、おつまみ作りで協力いただいたり、毎回盛り上がりがある。参加者から生まれる住民同士の連携や交流に期待したい。 【今後の方針】 昔の写真や感染症についての勉強会などを一緒に開催することで、周知や記録作りが進むので活用の幅を広げたい。			
大手公民館要援護者優先避難所運営委員会	4月～3月	8回	防災	その他	150人	災害時、大手公民館は要援護者優先避難所となっている。そこで、運営委員会を定期的に開催し、防災知識や避難所での役割を学び、平時から災害に備えることを目的に開催 避難所開設・運営のDVD鑑賞、介助法の演習、運営訓練の実施、訓練の反省とマニュアル見直し、手話の講習などを行った。	【共催団体等】 大手公民館要援護者優先避難所運営委員会、中央地区自主防災会、町会連合会、中央地区地域づくりセンター	【評価と反省】 8月31日に避難所運営訓練を開催。訓練を行う中で見えてきた課題の共有や、運営にふさわしいマニュアルの改定に向けた話し合いを行うことができた。 また、各活動班の班長を集め、館長会を実施して、運営委員会に提案する内容を協議した。 【今後の方針】 4月からメンバーが入れ替わるので、定期的に開催し、班ごとの活動内容を確認していきたい。			
いきいき元氣大学(第7期)	5月～9月	9回	福祉健康	成人	230人	健康寿命延伸を目的に、毎回テーマを変えて開催。健康づくりと体力づくりに励む。脳トレやリズム運動、ストレッチ等を行う。 8月には屋外でのウォーキング研修を行った。 講師：百瀬みどり氏	【準備過程】 大手公民館主催、日程とテーマは講師に一任	【評価と反省】 平成16年度から続く人気の講座。健康づくりと体力づくりに楽しく励むことで、生きがいづくりにもつながっている。 【今後の方針】 参加者の反応や講師の分析等を踏まえ、より充実した内容で実施したい。 今後も主催事業として継続開催			
健康アップ歌唱講座(第19期)	5月～9月	11回	福祉健康	成人	270人	歌唱による健康増進のため、呼吸法、声帯の使い方など学び、心のケアも目指すことを目的に開催。地区ふれあい祭りやクリスマスコンサート等で成果を発表。 講師：木次由美子氏	【準備過程】 大手公民館主催、講座内容は講師一任	【評価と反省】 参加者から心の癒し、健康アップ、歌唱力アップにつながると好評。 【今後の方針】 参加者の反応や講師の分析等を踏まえ、より充実した内容で実施したい。 今後も主催事業として継続開催			
日赤奉仕団中央分団視察研修	5月18日	1回	防災	成人	25人	糸魚川市で発生した大火の現地視察を行い、復興のまちづくり状況を視察し、まちづくりセンターにおいて当時の状況や災害時の対応(炊出し等)について学ぶ機会とする。	【準備過程】 日赤奉仕団中央分団が行程を決定。大手公民館は共催としてパスの手配等を担当	【評価と反省】 大火が起きた当時の延焼状況や避難状況を学ぶことができた。火事の恐ろしさや日頃の避難行動、奉仕活動の重要性を改めて認識した。 【今後の方針】 防災意識を高める研修の機会として、継続開催			
飯田東中学校生徒受け入れ	5月14日	1回	地域文化	成人	10人	飯田東中学校の2学年が実施する学習旅行のうち、15名を上土町会及び中央地区で受け入れ、城下町の街歩きを実施したあと、現在それぞれが行っている活動の紹介を行った。	【準備過程】 地区住民と街歩きのルートや照会内容について検討 【共催団体等】 松本大学、上土町会、NPOまちづくり信州	【評価と反省】 中学生がどのように受け取ったかが分かりづらかった。中学生でも分かるシナリオ作りが課題。 【今後の方針】 学校の意図や目的を組んだシナリオを作成したい。			

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
飯田OIDE長姫高校生徒受け入れ	6/13	1回	地域文化	成人	10人	飯田OIDE長姫高校の生徒（商業科1年生）が、中央地区でフィールドワークを行い、地域の宝・課題を見つける力、解決策を考える力をつけることを目的に開催。中央地区の住民に地域の宝や課題などの紹介していただいた。（松本大学・飯田OIDE長姫高校・飯田市が提携する「地域人教育」事業の一環。）	【準備過程】 地区住民と紹介する地区内のおすすめの場所や課題について検討 【共催団体等】 松本大学、上土町会、NPOまちづくり信州	【評価と反省】 地区の歴史的背景やおすすめ場所、課題について住民で共有することができ、高校生に対して地図や写真など、発表に向けた準備も積極的に行なった。一方で、高校生のニーズを把握しきれない部分があった。 【今後の方針】 地域人教育事業の目的に合った受け入れを行い、その中で地区の紹介を行っていききたい。		
社協中央地区支会支援	5月～3月	通年	地域事業（その他）	その他		各団体からなる企画委員会では、①情報交換②課題共有③ふれあい会食会への協力④社協だよりの発行などについて協議を行った。	【準備過程】 公民館は地域づくりセンターとともに事務局の立場として、召集や事務作業を分担	【評価と反省】 各団体に積極的に参加いただき、情報交換を行っている。さらに連携や事業企画へつなげたい。 【今後の方針】 継続開催		
松本城の床磨き	5月～9月	6回	地域文化	その他	70人	松本城周辺に居住を構える地区として、子どもに限らず大人も市の宝である松本城に触れ関わり、後世に残していく責務があるとして全6回開催。床磨き終了後に研究専門員によるお話しにも参加	【共催団体等】 大手公民館主催、松本城管理事務所協力	【評価と反省】 松本城により愛着を持つ住民が増えている。またお話し会では地域と関わりのある南・西外堀復元事業や内環状北線に関する講話も聴くことで、地域の現状等をしっかりと熟知することができた。 【今後の方針】 継続開催		
コミュニティースクール事業 丸ノ内中学校花壇整備	6月12月	2回	環境	青少年	60人	丸ノ内中学校の来校者を明るく迎える目的で、緑化委員会の生徒と地域住民が交流しながら花植えを行う。	【準備過程】 公園緑地課と調整し花苗や肥料等を準備 【共催団体等】 中央地区ボランティア部会、中央地区健康づくり推進員	【評価と反省】 学校からもありがたいと評価をいただいている。地区住民の指導により、毎日勉強や部活に忙しい生徒も花植えを楽しく学ぶことで少しは気持ちも和むことができたのではないかと。 【今後の方針】 継続開催		○
中央地区町内公民館長会視察研修	7月1日	1回	地域事業（その他）	その他	30人	御嶽山ロープウェイを訪れ、噴火当時の状況学習し、火山災害について考えることを目的に開催 地区住民の親睦を深めるため、山麓周辺のウォーキングを実施	【準備過程】 中央地区町内公民館長会主催、大手公民館はバスの手配やチラシ作成などに協力	【評価と反省】 毎年恒例のバス視察研修であり、町内公民館長会の最大行事として役員も積極的に関わっている。大手公民館も行程の企画やバスの手配に協力。もっと多くの町内公民館長が参加するとよい。 【今後の方針】 次年度も継続開催。館長会で先行等についてしっかりと話し合いをしよう。		
中央地区育児の集い2019	6月～3月	通年	子育て	その他	30人	親子リトミック講座を中心に、年間を通して地区の親子が集えるイベントなどを開催。親子のふれあいや育児交流、地域住民との交流をとおして子どもの成長が実感できるような一年とする。	【準備過程】 大手公民館主催。リトミック講座は布野えいじ先生に講師依頼。イベント関係については、各種団体に協力依頼	【評価と反省】 今年度は開催曜日を工夫したが、市役所の駐車場の有料化に伴い、年々参加人数が減ってきている。冬の寒い時期に行う室内ミニ運動会は多くの親子から好評いただいている。 【今後の方針】 周知方法や日程を工夫し、福祉ひろばにも協力を得ながら継続したい		
七夕まつりコンサート	7月18日	1回	その他	その他	30人	七夕料理教室で郷土食の七夕ほうとう作りとコンサートの実施。七夕になぜほうとうを食べるのかその意味を知り、後世につなげていく事を目的とする。笹を準備して公民館ホールに飾り、地区住民に願い事を記入してもらう。 コンサート演者：男性合唱団「コーラヴォーチェ」	【共催団体等】 福祉ひろば、中央地区健康づくり推進員	【評価と反省】 参加者は少なかったが、地区健康づくり推進員指導のもと、伝統的な七夕ほうとう作りに取り組み、懐かしむ参加者もいた。男性合唱団「コーラヴォーチェ」を招き開催。童謡・唱歌を中心に子どもからお年寄りまで幅広く楽しめるものとしたが、子ども連れの参加が少なかった。 【今後の方針】 開催日及び周知方法の工夫を検討し、福祉ひろばの協力を得ながら継続開催		
中央地区マレットゴルフ交流会	6月9日	1回	スポーツ	成人	15人	誰もが楽しめるマレットゴルフをとおして、健康の増進と参加者同士の交流を図る。本年度第1弾として、南養輪村にある大芝高原マレットゴルフ場にて開催。	【共催団体等】 中央地区体育協会、中央地区マレットゴルフ同好会、大手公民館体育委員会	【評価と反省】 毎年恒例のマレットゴルフ交流会として、日頃の運動不足解消と交流が深まる良い機会である。交流会参加者の有志で、初めて市長杯争奪マレットゴルフ競技大会に参加した。中央地区は市民体育祭等になかなか参加できないため、マレットゴルフの参加は地区として大きな一歩である。 【今後の方針】 継続事業として春・秋に開催 市民体育祭等へも参加できるよう支援。		
夏休み子ども開放	7月29日～8月26日	20日間	子育て	青少年	60人	夏休み中の子ども達にエアコンの効いた涼しい部屋で勉強をしてもらい、さらに地域の大人と一緒に将棋体験をしながら交流を深めてもらう。8月5日には公民館で用意したスイカを使ってスイカ割り大会を実施。公民館は身近で楽しいところだと感じてもらうことを目的に実施	【準備過程】 大手公民館たよりで周知 開智児童育成クラブへも周知	【評価と反省】 少しずつではあるが、子ども達（保護者）に公民館の存在が浸透してきていると感じる。スイカ割などの催し物は、和気あいあとした楽しい時間となった。勉強+催し物があると、公民館に来やすくなると思われる。 【今後の方針】 継続開催 春休み期間中も実施予定 子どもと地区住民との交流も図りたい。		
すいか割交流会	8月5日	1回	地域事業（その他）	青少年	40人	子ども達にスイカ割を体験してもらい、夏を楽しんでもらう。地区住民とのマンカラ交流会も実施した。	【準備過程】 中央地区育成会 開智学童クラブ	【評価と反省】 学童クラブと共催することで、大勢の参加を得ることが出来たほか、交流促進のための場づくりも進んだ。松本地域の特産物であるすいかを子ども達が味わう場を作った。食べる前にスイカ割を行い、交流する場（マンカラ）も設け、子ども同士や子どもと大人の交流を促進した。 【今後の方針】 子ども達と地区住民が交流する貴重な場であり、今後も実施していきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
青山様・ぼんぼん	8月8日	1回	地域文化	青少年	130人	ぼんぼん・青山様の実施。博物館から四柱神社までの往復。伝統行事の体験と継承を目的に開催	【準備過程】 中央地区子ども会育成会主催、大手公民館は、子どもの安全確保、写真撮影に協力	【評価と反省】 マンション等の集合住宅においては子どもが増えているようだが、地域行事に参加しない児童もあり、伝統行事をどう継承・経験させていくかは課題。そこへ迎り着くためには、親がもっと地域行事に関心をもち、子どもを連れて参加してほしい。 【今後の方針】 次年度も継続開催		
4地区合同上高地ウォーキング	9月8日	1回	福祉健康	その他	20人	・中央、城北、安原、白板地区にお住まいの住民同士の交流と健康増進を目的に合同開催。 ・3kmコース、8kmコースに分かれ、交流を深めながら散策を行う。	【準備過程】 城北公民館、安原地区公民館、白板地区公民館、大手公民館主催。4館主事が企画会議で日程等を調整	【評価と反省】 4地区から総勢80名程の参加者が参加。当日は晴天に恵まれ、ウォーキングを楽しむことが出来た。 【今後の方針】 継続開催するか検討したい。		
いきいき元気大学(第8期)	10月～3月	11回	福祉健康	成人	270人	健康寿命延伸を目的に、脳トレ、リズム運動、ストレッチなど毎回テーマを変えて開催。 講師：百瀬みどり氏	【準備過程】 大手公民館主催、日程とテーマは講師に一任	【評価と反省】 第6期から継続しての開催となる。参加者は個人差はあるが成果ができてきたと感じる。ただ受講のみだけで終わみせず、次のステップにつながるような仕組みづくりが必要。 【今後の方針】 参加者の反応や講師の分析等を踏まえ、より充実した内容で実施したい。今後も主催事業として継続開催		
健康アップ歌唱講座(第20期)	10月～3月	12回	福祉健康	成人	300人	歌唱による健康増進のため、呼吸法、声帯の使い方など学び、心のケアも目指すことを目的に開催。文化祭で成果を発表。 講師：木次由美子氏	【準備過程】 大手公民館主催、講座内容は講師一任	【評価と反省】 第19期から継続しての開催となる。地区文化祭において、活き活きと発表する姿が成果として表れていた。3月の開催は新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、中止とした。 【今後の方針】 継続開催 受講者の追加募集を行う		
歴史探訪	8月8日	1回	趣味教養	成人	15人	公民館では、天守床磨きに参加するなど、中央地区内の松本城を始め、山城である里山辺の林城跡など、他の城についても学習を重ねてきた。今回は、全国でも珍しい自然の岩をそのまま活用している苗木城跡を訪ね、現地ガイドの案内により、松本城や林城跡と比較しながら、教養を深めることを目的に開催。	【準備過程】 募集チラシを全戸配布	【評価と課題】 松本城や市内の山城と絡めたことが、参加者の深い学びにつながった。 【今後の方針等】 継続開催		
健康づくり推進委員会視察研修	8月26日	1回	福祉健康	成人	25人	ウォーキングをしながら体力づくりを行うと共に自然を体感し、命の息吹に触れ、森林浴効果を得ることを目的に赤沢美林を訪問。また、歩数計を付けて歩数・消費カロリーを確認し、体力づくりの必要性を意識することを目的に開催。	【準備過程】 募集チラシを全戸配布 健康づくり課から歩数計を調達。保健師へ派遣依頼 【共催団体等】 中央地区健康づくり推進委員会	【評価と反省】 健康づくりを高めようという大勢の参加があった。行き先のバスの中で、ウォーキングにおける消費カロリーについて学習し、歩数計を配布した。 消費カロリーや歩数を意識しながらのウォーキングとなり、健康に対する意識付けが行えた。 健康づくり推進委員会が主体となってウォーキング前のストレッチなどを行い、無理なくウォーキングを実施した。 【今後の方針】 健康づくり推進委員のメンバーも積極的に活動していただける。継続して開催したい。		
中央地区マレットゴルフ交流会	9月15日	1回	スポーツ	その他	20人	第2弾として開催。誰もが楽しめるマレットゴルフをとおして、健康の増進と参加者同士の交流を図る。四賀地区のすげんたビュティフルパークにて開催	【共催団体等】 中央地区体育協会、中央地区マレットゴルフ同好会、大手公民館体育委員会	【評価と反省】 景品を用意したことで大いに盛り上がった。日頃の運動不足解消と交流が深まる良い機会である。 【今後の方針】 継続事業として翌年度も年2回開催予定 市民体育大会秋季大会への参加を促したい。		
拾ヶ堰ウォーク	9月29日	1回	福祉健康	成人	15人	拾ヶ堰の歴史、仕組みを学ぶとともに、健康増進を兼ねてウォーキング(全長16km中7.5km)を行い、地区住民の親睦を深めることを目的に開催。	【準備過程】 募集チラシを全戸配布	【評価と反省】 実際に歩いてみないと分からないこともあり、おおいに学びの場となった。 歩くペースに個々の差があり、全体に気を配りながら行いたい。 【今後の開催】 残りの区間のウォーキングを企画したい。		
第15回中央地区ふれあい祭り	10月19日	1回	地域事業(文化)	その他	120人	「つなげよう中央地区の絆」をテーマに、各利用団体の成果発表、作品の展示、ステージ発表会の開催。子どもコーナーの設置、うどん類や農産物の販売等を実施。地区住民が企画を自ら考え、住民主体の地区行事として開催	【準備過程】 中央地区関係団体で実行委員会を組織、部門別に責任者を決め、大手公民館が事務局を担当	【評価と反省】 当日は小雨となり、実行委員会で規模の縮小を決断して開催。 地区住民がスタッフとして奮闘する姿が印象的だった。 【今後の方針】 反省会が出た課題を整理し、よりよいお祭りとなるよう継続開催		
中央っ子応援団	5月～2月	17回	子育て	その他	100人	地域でも子供たちを支援しようと、地元団体からなる「中央っ子応援団」を結成。 下校時の見守り活動 通学路危険箇所マップの作成 人材の登録リストの作成 について協議を行った	【準備過程】 会議の招集や見守り当番の周知	【評価と反省】 開智学校側から大変ありがたいと感謝をされており、学校との連携や、コミュニティースクール事業の充実につなげたい。活動は月2回行うことができ、応援団の協力で感謝したい。 危険箇所マップを完成させることができ、関係者や各家庭へ配布した。 人材の掘り起こしが課題となっている。 【今後の方針】 地域でも子どもを育てていくことが重要視されるため、中央っ子応援団が子ども達との交流の場となるよう支援していきたい。		○
四賀一周駅伝競技大会参加	11/3	1回	スポーツ	成人	15人	60回目を迎える四賀一周駅伝大会に、中央地区からオープン参加	【共催団体等】 中央地区体育協会	【評価と反省】 地区住民や企業からランナーを募ることができ、交流の場となった。 四賀地区に中央地区をアピールする機会となった。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
開智学校周辺整備に関わる意見交換会	11月～2月	4回	地域文化	成人	40人	旧開智学校の国宝指定に伴い、市の丸の内緑地の抜本的な見直し方針を受け、開智学校周辺についての意見交換を有志で行った。	【共催団体等】 お城周辺まちづくり推進協議会第一ブロック	【評価と反省】 丸の内緑地に関しては、補修工事を実施することにまでは至った。 現在、まちづくり推進協議会として、市に要望・提案を行う前提で、もともとなる案のとりまとめを行っている。 【今後の方針】 丸の内緑地だけでなく、開智学校周辺の整備についても考えたい、という以降は参加者の中にある。		
中央地区人権啓発推進協議会視察研修	12月1日	1回	人権平和	成人	15人	貞享義民記念館を訪れ、江戸時代に重い税に苦しめられた農民の声を、命を懸けて幕府に訴えた多田加助について学ぶ。	【共催団体等】 中央地区人権啓発推進協議会主催、大手公民館共催	【評価と反省】 苦しめられた農民の想いと、自らの命を顧みず幕府に立ち向かう多田加助の想いを聞き、人が生きる権利について改めて学ぶ機会となった。 【今後の方針】 次年度も人権にまつわる場所を訪ね継続開催		
サザンガク見学会	12月17日	1回	趣味教養	成人	10人	11月にオープンした33GAKU（サザンガク）の仕組みや機能を知り、教養を深めるために開催。	【準備過程】 大手公民館よりで周知福祉ひろばと共催 ものづくり産業支援センターと打ち合わせ 募集チラシを全戸配布	【評価と反省】 見学会には参加者から積極的に質問があり、学ぶ意欲が見られた。 【今後の方針】 地域のITC拠点施設でもあり、今後関わる可能性もあるため、情報を得ていきたい。		
クリスマスコンサート	12月18日	1回	趣味教養	その他	20人	子育て親子の支援および生きがいをづくりに寄与することを目的に開催	【準備過程】 大手公民館よりで周知福祉ひろばと共催	【評価と反省】 リトミック講師の布野えいじ先生にクリスマスソングの発表をしてもらい、親子で楽しむことができた。 【今後の方針】 子どもが喜ぶ内容を検討し、福祉ひろばの協力を得て次年度も継続開催したい		
門松作り	12月20日	1回	地域文化	その他	10人	地区役員有志が集まり、大手公民館玄関前に高さ約2.5mの門松を設置	【準備過程】 公民館で材料調達や資材運搬の支援、当日の作業補助	【評価と反省】 役員高齢化により、材料調達も困難になりつつあるが、毎年立派な門松を頂いている。 【今後の方針】 継続開催 飾りの意味や作り方などをどう伝承していくかについても検討したい。		
中央地区餅つき大会	12月27日	1回	地域事業（文化）	その他	70人	住民寄贈の木製の杵と臼を使い、子ども達に本格的な餅つきを体験させ、世代間交流を図る。 講師：地区住民	【準備過程】 事前に臼に水を張り、公民館・福祉ひろばでもち米等を準備。町会役員が餅つきの補助、健康づくりや民生委員が餅を丸めて提供 材料費等は町会連合会で負担	【評価と反省】 アルプちゃんと松本山雅FCのガンズくん、長野県公安委員会からもし課長も参加した。今回新たに松高短期大学の学生が、子どもと高齢者の交流を進めようと参加した。餅つきだけでなく、昔の遊び（お手玉、花札、メンコ、ゲーム等）やレクリエーション等を実施。学生が入ったことで、子ども達と高齢者の交流が促進された。 【今後の方針】 子どもと高齢者が交流し、伝統的な餅つきを体験できる貴重な機会。次年度も継続開催。		
中央地区新年初顔合わせ会	1月7日	1回	地域事業（その他）	その他	90人	新年を祝いながら、地区役員と住民の親睦、交流を図ることを目的に開催	【準備過程】 年末に打ち合わせ会を実施 【共催団体等】 中央地区町会連合会、福祉ひろば、社協、健康づくり推進員、民生・児童委員協議会、ボランティア部会、町内公民館長会、日赤奉仕団	【評価と反省】 地域住民の交流の場として定着した行事となっている。役員それぞれが率先して準備しており、参加される皆さんが気持ち良く過ごすことができている。 【今後の方針】 交流する場として、継続開催		
中央地区新春落語会	1月16日	1回	趣味教養	その他	70人	新春の中央地区に笑いを届ける企画として毎年開催。演者：三笑亭夢太郎さん	【共催団体等】 社協、福祉ひろば、町内公民館長会からなる実行委員会を組織。松本落語会と日程等調整	【評価と反省】 落語ファンが増えるなど毎年好評いただいている。中央地区の新年にふさわしい賑やかな落語会となった。もっと落語を身近に感じてもらいたい。 会の前座に、ワンポイント体操やぞなぞを実施。認知症予防の機会としても有意義な時間となった。 【今後の方針】 次年度も継続開催		
食育講座	1月～2月	2回	趣味教養	その他	30人	食育の基礎知識に加え、健康料理特集やチーズ料理、味噌作りなどの実習を中心に、各回テーマを変えて開催。 ・フライパンプリン 講師：竹陽製菓 ・健康料理講座 講師：水野尚子氏	【準備過程】 各回の講師にレシピ作成を依頼。 【共催団体等】 健康づくり推進員会が材料費を一部負担。	【評価と反省】 毎年人気の食育講座で、各コース好評をいただいている。 講師が出来ることと公民館で依頼したいことの擦り合わせが出来ていなかった部分があり、今回は意思疎通を密にした。 3月には味噌仕込み体験を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、中止となった。 【今後の方針】 継続開催 幅広いテーマで食育を進めたい。		○
雪中ウォーク	1月15日	1回	福祉健康	成人	10人	雪上でのウォーキングを行いながら身体バランスを整え、下半身を中心に鍛えるとともに、地区住民の親睦を図る。 小谷村で行われている保存食「雪中キャベツ」を収穫し、伝統的な保存方法について学ぶ。	【準備過程】 公民館でチラシを作成し周知	【評価と反省】 暖冬の影響により積雪がなかったが、ウォーキング及び収穫を行った。暖冬による経済的な打撃についても現地ガイドから話を聞き、応援する気持ちになった。 収穫したキャベツは居酒屋公民館へ提供し、他事業と絡めることができた。 【今後の方針】 継続開催		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C	S	食育
企業訪問 東京電力柏崎刈羽原子力発電所見学	3月25日	1回	人権平和	成人	20人	原子力発電所の発電の仕組み、メリット・デメリットを学習し、参加者に節約・節電を意識した行動に移してもらいたい。2011年3月の福島原子力発電所の事故により、生活が奪われてしまった住民もいることから、原子力発電所と基本的人権擁護の両面について学び、参加者に将来の暮らしについて考えてもらいたい。	【準備過程】 公民館でバスの手配および周知のチラシ作成 【共催団体等】 人権啓発推進協議会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、延期とした。 【今後の方針】 次年度以降、開催を検討したい。			
フラダンス講座	3月23日	1回	福祉健康	成人	10人	いきいき元氣大学の代理講師を務めた講師が、講座の中でフラダンスの紹介をしたところ、受講者から「またやりたい」、「もし講座があるなら参加したい」などの声があり企画。フラダンスにはウエスト周りのシェイプアップ、体幹の強化、認知症予防などたくさんの効果があり、地区住民の健康及び社会福祉の増進、心身のリフレッシュを目的として開催。 講師：KIYOMIさん	【準備過程】 講師と調整 募集チラシを全戸配布	【評価と反省】 3月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。 【今後の方針】 4月・5月に各1回開催予定。参加者と講座名を考えたい。参加者の反応や講師の意見を聞き、よりよい講座となるよう継続していきたい。			
春休み子どもも開放	3月末	8日間	子育て	青少年	中止	春休み中の子ども達に快適な部屋で勉強をしてもらう。公民館は身近で楽しいところだと感じてもらうことを目的に実施	【準備過程】 大手公民館たよりで周知	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、中止となった。 【今後の方針】 継続開催 子ども会等への周知も行いたい。			○
中央地区福祉互助会 かかわり隊事業	通年	福祉健康	高齢者			困っている人と、何とかしてあげたいと思っている人を繋げる事務局（福祉推進員）を設置し、ボランティア（協力会員）が援助を必要とする高齢者（利用会員）の依頼により、日常生活の中で発生する困り事の中からできる事を支援する安価な有償サービスを提供するもの	【準備過程】 中央地区地域づくりセンターと町会連合会の協働により事務局となる福祉推進員を公民館内に設置。2月に1回の「かかわり隊員会議」を通して課題を議論し、情報を共有	【今後の方針】 立ち上げから4年が経過。新たに配置された生活支援員とともにちょっとした困り事の解消や困りごとを支援できる人を募集したい。			
ようこく朝市 城南あさ市	5月～11月	14回	地域事業 (その他)	高齢者	250人	どちらの朝市も、①日頃閉じこもりがちの人たちを対象に、買い物しながら外出する場を提供する②出かけてきた人たちが安心して交流できる「居場所」を設けることを目的に実施	【準備過程】 ようこく朝市は4回、城南あさ市は3回、関係団体からなる実行委員会を開催し、方向性を確認しながら実施	【評価と反省】 近所の高齢者に好評で、身近な買物の場となっている。また、お茶飲み場も設け、来場者の交流の場となっている。日頃閉じこもりがちの人たちに、声掛け・見守るためのツールとして朝市を活用しよう、という話になっている。なお、ようこく朝市は移動販売車との連携、城南あさ市は出張販売という話が出ている。 【今後の方針】 継続開催			
松本城 城西花壇整備支援	6月 10月	2回	環境	成人	80人	地元団体、近隣中学生のボランティアにより、松本城の西側にある花壇の植え替え作業を春に1回、秋に1回開催。松本城を訪れる観光客や、通行人に花いっぱい運動のPRを行う。	【共催団体】 中央ボランティア部 地元各団体	【評価と課題】 松本城を訪れる人たちへのおもてなしとなっている。丸の内中学生と地元住民の交流の場となっている。 【今後の方針等】 継続開催			○
異文化理解講座	5月	1回	人権平和	成人	10人	異文化を理解し、外国人とよりよく共生していくことについて考える。 ・中国ギョウザの料理講習	【準備過程】 人権男女共生課へ講師派遣依頼し、講師と調整	【評価と課題】 調理実習や伝統的な遊びを体験しながら異文化を学ぶことができた。調理実習で調理したものを居酒屋公民館でふるまうなど、他の事業と絡めることができた。 【今後の方針等】 継続開催			○
健康づくり ワークショップ	5月～3月	6回	福祉健康	成人	72人	地区の担い手である健康づくり推進員や体力づくりサポーター、音楽健康指導士などに参加してもらい、会議の前や町会での集まりで行える脳トレやワンポイント体操について検討した。地域包括ケアシステム構築のうえで必要となる場づくりのための人材づくりを目標とした。	【準備過程】 JAGESの把握 住民への周知・チラシ配布 【共催団体】 中央地区地域づくりセンター、福祉ひろば	【評価と反省】 各団体や、参加者の活動目標の設定を行い、取り組んだ。参加者で「おおて坂36」を立ち上げ、高齢者が集まる機会（ふれあい会食会、ふれあい健康教室など）にワンポイント体操や口腔体操、スポーツボイス体験を実践した。 【今後の方針】 各町会での集まり等で行うワンポイント体操の実践に向けて話し合いを行う。実践できる脳トレやワンポイント体操のレパートリーを増やす。			
各町会での 「場づくり」活動 (昭和の松本を語る会)	9月27日 10月25日	2回	地域文化	成人	50人	昔のまちの様子を撮った写真を活用して、昔の思い出を語る場を、町会などと創設するとともに、地区内にある介護施設との連携体制づくりを目標とした。地域包括ケアシステムの「場づくり」の一環。 西堀町、今町2丁目、松栄町合同でセントラルビオスにて開催。カフェあげつち（下町会館）にて、上土町会を対象に開催。	【共催団体】 松本大学、福祉ひろば、中央地区地域づくりセンター	町会の協力も得ながら「場づくり」を行うことが出来た。昔の思い出を語ることは、認知症予防にもつながり、施設との連携や、各町会での「場づくり」にも有効なため、今後も実施町会を増やしたい。また、図書・視聴覚委員会で、地区内の写真を整理しているため、連携して活用していきたい。			

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針・地域課題】

- ・地区関係団体と連携して、地区の文化・福祉の向上を図る。
- ・地区内の一体感を持たせるための事業を展開し、地域コミュニティの推進を図る。
- ・コミュニティースクール事業に関して、地区の学校（旭町小学校、旭町中学校）、またその他の教育機関（信州大学、美須ヶヶ丘高校、松本盲学校、松本養護学校分教室しなの木教室）と地域住民、学校同士のパイプ役として、相互をつなげられるような事業の展開、課題の共有、解決の模索を行う。
- ・男性の公民館参加率の向上を図るため、男性向け事業の展開を図る。

評価・反省等

- ・旭町小学校を中心にコミュニティースクール事業を積極的に展開することができた。松本盲学校とは今年度から図書委員と連携し、盲学校の図書整備事業を行うなど、新規事業の開拓もできた。また、旭町中学校、美須ヶヶ丘高校、信州大学とも連携を深め、さらなるコミュニティースクールの発展に努める。
- ・地区関係団体、福祉ひろばと連携し、各公民館講座、文化祭、夏祭りなど滞りなく行うことができた。イベント関係は雨天決行の事業が多かったため、参加者は例年より若干少なかったが、各講座は例年と同じか、例年より多い水準となった。男性限定講座を設けることで、男性の参加率も向上させることができた。限定講座を設けなくても地区住民が参加しやすいよう、参加者たちの定着を図りたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館各種委員会等
	平人和権	福祉健康	子育て	環境	文化地域	教養趣味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数	3	1	8	1	2	3			17		3		2
延べ参加人数	620		327	70	290	53			1468		300		148

	C S	食 育
事業数	14	6
延べ参加人数	1481	269

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
パソコン教室	通年	44回	その他	その他	164人	【内容】 ・パソコンの基礎学習をおこなう。 ・毎月1回専門家を招き、日頃の不明点について解決し探求心の増幅を図る。 【ねらい】 ・参加者同士が教え合いながら行うことで、技能向上及び参加者交流を図る。	【準備過程】 ・地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 ・参加者同士が得意分野を教え合うことで皆の知識向上につながった。 ・定期的な開催により参加者同士の交流促進につながった。 ・参加者が広報活動に力を入れたところ昨年よりさらに増えてきた。来年度も引き続き行いたい。 ・新型コロナウイルス対策のため3月に行う予定の講座は中止した。 【今後の方針】 ・新規参加者が増えるよう広報活動をしていきたい。		
スローストレッチ教室	通年	22回	その他	その他	206人	【内容】 ・ゆっくりとした動きの健康体操を行う。 【ねらい】 ・自分に合ったストレッチ体操を行い健康寿命延伸につなげるもの。	【準備過程】 ・地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 ・専任講師に依頼することで継続的に無理のない範囲でのストレッチ体操ができた。 ・定期的な開催により参加者同士の交流促進につながった。 ・講座の名称を変更するなどして講座の内容を分かりやすくしたところ、参加者の向上につながった。 ・新型コロナウイルス対策のため3月に行う予定の講座は中止した。 【今後の方針】 ・新規参加者が増えるよう広報活動をしていきたい。		
体幹トレーニング講座	通年	11回	その他	その他	165人	【内容】 ・体幹を鍛える健康体操を行う。 【ねらい】 ・自分に合った体幹トレーニングを行い健康寿命延伸につなげるもの。	【準備過程】 ・地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 ・専任講師に依頼することで継続的に無理のない範囲での体幹トレーニングができた。 ・定期的な開催により参加者同士の交流促進につながった。 【今後の方針】 ・新規参加者が増えるよう広報活動をしていきたい。		
館報編集委員会	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	その他	86人	【内容】 ・安原地区公民館報の作成 【ねらい】 ・安原地区公民館報を通して、地区住民に地域の情報を発信する。	【準備過程】 ・公民館委員への会議通知送付	【評価と反省】 ・月1で会議を行い、どれも内容のある話し合いが持てた。 ・安原地区に見やすい館報を作ることができ、住民からも読みやすいという話をいただいた。 【今後の方針】 ・来年度も今の方針のまま継続する。		
子どもの居場所づくり	通年	44回	その他	青少年	256人	【内容】 ・旭町小学生を対象とし、教員志望の信州大学生に宿題を見てもらったり、お話ししたりといった交流を行う。 【ねらい】 ・小学生が大学生に打ち解けて、学校では話せないような悩みなどを共有できるような場にしたい。	【準備過程】 ・信州大学生との打ち合わせ ・小学校への周知 【共催団体】 ・信州大学荒井ゼミ	【評価と反省】 ・最初は人がほとんど来なかったが、継続し続けた結果、小、中学生が何人か足を運んでくれるようになった。大学生と小学生が仲良くなったので、前進できたと思う。 ・新型コロナウイルス対策のため、3月予定していた講座は中止。 【今後の方針】 ・来年度も継続する。最終的に小学生が大学生に悩みなどを相談できるような雰囲気まで行ければと考える。 小・中学生の人数が今年度かなり増え軌道に乗っているため、広報に力を入れる。		○
旭町小学校パンとスイーツ教室参加者との交流会	6月28日	1回	その他	青少年	45人	【内容】 ・安原地区公民館講座「パンとスイーツづくり教室」参加者がパンを手作りし、旭町小2年生児童と食べながら交流する。 【ねらい】 ・地域の方と小学生が交流することでコミュニティスクール事業の概念である「地域で子どもを育てる」という意識を高められる場とする。	【準備過程】 ・小学校教諭との打ち合わせ ・地区住民への周知 【共催団体】 ・「パンとスイーツ教室」参加者 ・旭町小学校	【評価と反省】 ・地域の方に小学校の現在の状況を知っていたくきっかけになった。 ・小学生と地域の方が交流できる場を設けられた。 【今後の方針】 ・小学校から依頼があれば来年度も実施する。		○
安原地区歴史研究会	毎月第4金曜日	12回	地域文化	成人	90人	【内容】 ・長野県内の歴史を中心に歴史について幅広く学ぶ。 【ねらい】 ・各分野の歴史についての研鑽を摘むだけでなく、地区住民同士のつながりを深め、地域活性化を促す。	【準備過程】 ・各講座の内容検討、確認	【評価と反省】 ・歴史について幅広く詳しく学ぶことができた。旭町小学校の地区歴史学習でも講師を務めるなど、広い範囲で活躍していただいた。 ・新型コロナウイルス対策のため3月に予定していた活動は中止。 【今後の方針】 ・来年度も継続したい。		
旭町小学校2年「パズルづくり講座」	11月21日 11月22日	2回	その他	成人	85人	【内容】 ・新町公民館で旭町小2年生がパズルを作る。 【ねらい】 ・新町町会を始めとする、地域の方々、PTA、信州大学生など幅広い年代の方々ともどもたちが関われる場を作る。	【準備過程】 ・町会、信州大学、PTAとの打ち合わせ、確認 【共催団体等】 ・信州大学荒井ゼミ ・新町町会 ・新町公民館長 ・旭町小PTA	【評価と反省】 ・新町公民館長が中心となり動いてくださり、コミュニティスクール事業を始めて町内公民館活動と交えて行うことができた。地区公民館とは違う、地区住民と子どもたちがより密にふれあう様子が垣間見れた。 【今後の方針】 ・学校から要望があれば来年度も継続する。		○
男の料理教室	偶数月第1週金曜日	6回	その他	その他	90人	【内容】 ・男性を対象とした料理講座 【ねらい】 ・男性に料理を学んでもらうことで、食育事業につなげる。	【準備過程】 ・地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 ・幅広い分野の料理を何品も作るため、参加者からもいろいろな料理の勉強ができてよいと非常に好評であった。料理を作ることを通して食育の学び、地域住民の交流にもなっている。 【今後の方針】 来年度も継続する。		○
パンとスイーツ講座	8月～奇数月第4金曜日	4回	その他	その他	55人	【内容】 ・パンとスイーツを中心とした料理講座 【ねらい】 ・パンとスイーツづくりを通して食育、地区住民の交流、地域活性化につなげる。	【準備過程】 ・地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 ・講師が1回の講座で2品～3品作るので、様々なパン、おかしづくりを学べたと好評であった。食育、地域活性化につながっている。 【今後の方針】 来年度も継続する。		○

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
旭町小学校西門側花壇整備	6月29日 7月12日	1回	環境	青少年	70人	【内容】 ・旭町小学校西門側花壇を地域住民と旭町小4年生、PTAが共同で整備する。 【ねらい】 ・花壇整備を通じ、地区住民と小学生の交流を図る。 ・地域の環境整備につなげる。	【準備過程】 ・学校と安原地区町会連合会の窓口になり、日程調整した。 【共催団体】 ・安原地区町会連合会	【評価と反省】 ・地区住民と小学生が協力して花を植えることができた。昨年度より大勢の方に協力いただけた。 ・今年度は1日土曜日の開催だったため、PTAの方と一緒に作業ができたのがよかった。 【今後の方針】 旭町小学校と応相談だが、継続を検討したい。	○	
公民館運営委員会・文化委員会合同会議	6月5日 8月8日 11月12日 3月23日	4回	公民館委員会・各種会議等	その他	62人	【内容】 ・公民館の運営、各種イベントについての打ち合わせ、反省会 【ねらい】 ・安原地区公民館、地域の活性化につなげる。	【準備過程】 ・公民館幹事委員長、文化委員長との打ち合わせ ・公民館委員への会議開催通知送付	【評価と反省】 ・開催回数を最低限にしたが、その分密度の濃い会議を行うことができた。 【今後の方針】 ・来年度も今の方針のまま継続する。		
旭町小学校6年生を対象とした安原地区歴史まち歩き講座	6月5日 9月11日 12月21日	3回	地域文化	青少年	200人	【内容】 ・安原地区の歴史についてまち歩きをしながら説明を聞く。 【ねらい】 ・安原地区の歴史について勉強してもらい、研鑽を高める。	【準備過程】 ・旭町小学校と打ち合わせ ・安原地区歴史研究会と打ち合わせ 【共催団体】 ・安原地区歴史研究会	【評価と反省】 ・まち歩きしながらの説明のため、実物を見ながら学習でき、生徒たちにもわかりやすい学習とすることができた。松本城下町マップづくりなど、先生方がその後の学習にもつなげてくれたので、広がりを見せることができた。 【今後の方針】 ・来年度も継続する。	○	
旭町小学校・旭町中学校あいさつ運動	4月～3月	4回	子育て	青少年	60人	【内容】 ・旭町小西門、旭町中正門の前であいさつ運動をおこなう。 【ねらい】 ・地区住民が積極的にあいさつすることで小・中学生との交流、地域活性化を図る。	【準備過程】 ・旭町学校応援団と打ち合わせ ・全戸配布の公民館だよりで周知 【共催団体】 ・旭町学校応援団 ・安原地区町会連合会	【評価と反省】 ・事業が定着してきたためか、来てくださる地域の方々が年間を通して徐々に増えていった。あいさつを返してくれる子どももどんどん増えてきている状況であり、双方に良い活動となっている。 【今後の方針】 ・来年度も継続する。	○	
第19回安原地区文化祭・ひろば祭り	10月19日～10月20日	1回	地域事業(文化)	その他	450人	【内容】 ・2日間にわたり、展示、発表、露店販売、飲食販売を行う。子どもに向けたイベントも開催する。 【ねらい】 ・安原地区全体の交流、地域活性化を図る。	【準備過程】 ・全戸配布の公民館だより、チラシで周知した。 ・公民館運営委員会、文化委員会、まちづくり協議会で審議、文化祭実行委員会で審議、打ち合わせをした。 【共催団体】 ・安原地区文化祭実行委員会 ・安原地区公民館運営委員会 ・安原地区公民館文化委員会 ・安原地区まちづくり協議会	【評価と反省】 ・雨天ということもあり昨年より参加者が50人ほど減った。発表の観覧者は例年と同じであった。2日目が午前中ということイベントの集客がうまくいかなかったため、来年度検討課題とした。 【今後の方針】 ・実行委員の高齢化対策として部門別の責任体制を強化したい。		
男の体幹ストレッチ講座	4～3月毎月第2木曜日(新型コロナウイルス対策のため3月の事業中止)	11回	その他	成人	112人	【内容】 ・体幹を鍛える健康体操を行う。 【ねらい】 ・自分に合った体幹トレーニングを行い健康寿命延伸につなげるもの。 ・男性の参加率を増やすために男性限定講座を企画した。	【準備過程】 ・地区内全戸配布チラシにて周知 【共催団体】 ・安原地区まちづくり協議会	【評価と反省】 ・専任講師に依頼することで継続的に無理のない範囲での体幹トレーニングができた。 ・定期的な開催により参加者同士の交流促進につながった。 ・男性限定にしたため、男性が来やすくなり、参加率の向上につながった。 【今後の方針】 ・新規参加者が増えるよう広報活動をしていきたい。		
あなたの国はどんなところ?～信州大学留学生との交流会～	12/8	1回	人権平和	成人	40人	【内容】 ・信州大学留学生と地区住民との交流の場とし、留学生に自身の国のことについてお話していただく。 【ねらい】 ・外国人について地区住民に知ってもらう機会とした。	【準備過程】 ・留学生との打ち合わせ ・地区住民への周知 【共催団体】 ・安原地区町内公民館館長会 ・安原地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・留学生と地区住民の交流の場を持つことができた。質問の時間ではたくさん質問が出て、非常に濃い時間となった。参加者をもう少し増やせるよう、広報に努めたい。 【今後の方針】 ・来年度も実施する。		
男のコーヒー講座	2月19日	1回	その他	成人	18人	【内容】 男性限定でコーヒーを焙煎からドリップまで行う。 【ねらい】 ・男性の公民館参加率の向上。 ・地区の男性同士の交流。	【準備過程】 ・講師の方との日程調整、内容確認。 【共催団体等】 安原地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・男性からの反響が想像よりはるかに大きかった。 ・男性同士の仲間づくり、交流につながったため、別の公民館事業にもつなげていきたい。 【今後の方針】 ・来年度も継続したい。	○	
旭町小学校スケート教室補助	12月5日	1回	その他	青少年	120人	【内容】 ・旭町小学校1,2年生のスケート教室で地区住民に講師補助としてお手伝いいただく。 【ねらい】 ・子どもたちの安全確保、地区住民と子どもたちの交流を図りたい。	【準備過程】 ・小学校教諭との打ち合わせ ・地区住民との打ち合わせ	【評価と反省】 ・お手伝いに入っていたことでスムーズに進めることができた学校の先生からお話をいただいた。 【今後の方針】 ・来年度も実施する。	○	
安原地区防犯講座	7月12日	1回	その他	青少年	30人	【内容】 ・旭町小学生を対象に地域でどのような防犯、防災に関する取り組みが理解してもらおう。 【ねらい】 ・地域の防犯、防災について知ってもらうことで、子どもたちに安心感を与えるとともに自分たちも地区住民の一因だという気持ちを持ってもらう。	【準備過程】 ・小学校教諭との打ち合わせ ・防犯部長、学校応援団長と打ち合わせ	【評価と反省】 ・学校からの依頼があり実施。小学生に防犯、防災に関する地域の取り組みについて伝わったかと思う。公民館についての質問時間では小学生から活発的確な内容の質問が出された。 【今後の方針】 ・来年度も要望があれば実施したい。	○	
旭町小学校1年生遠足支援	9/20	1回	その他	青少年	75人	【内容】 ・地区住民が旭町小学校1年生の遠足の引率を行う。 【ねらい】 ・子どもたちの安全確保、地区住民と子どもたちの交流を図りたい。	【準備過程】 ・小学校教諭との打ち合わせ ・地区住民への周知 【共催団体】 ・安原地区健康づくり推進委員会	【評価と反省】 ・お手伝いに入っていたことでスムーズに進めることができた学校の先生からお話をいただいた。 【今後の方針】 ・来年度も実施する。	○	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
キッズ食育セミナー	6月23日 11月17日 3月25日 (新型コロナウイルス対策のため中止)	1回	子育て	青少年	27人	【内容】 ・小学生親子を対象とし、お出汁の取り方や簡単レシピについて学ぶ。 【ねらい】 ・料理を実際に作って食べることで食事の楽しさを学ぶ。顆粒だしや添加物を使わないレシピを教わることで職についての意識を高めてもらう。	【準備過程】 ・講師との打ち合わせ、確認	【評価と反省】 ・食べることの大切さ、酵素の力など知っているようで知らない知識をもう一度ふりかえった。参加された親御さんからの反響が非常に大きかった。食について改めて考えるきっかけを与える講座とすることができた。 【今後の方針】 ・来年度も継続する。来年度2回コースの講座とし、より深みのある講座としたい。		○
安原地区子どもバス企画	5月19日	1回	子育て	青少年	20人	【内容】 ・信州大学教育学部生と子ども会育成会が共同で企画。安原地区の小学生を対象に開催。英語を使ったアクティビティ、製本体験等を行う。 【ねらい】 ・英語アクティビティや製本体験をすることで楽しみながら学習する。 ・教員を目指す大学生にとっての経験としたい。	【準備過程】 ・信州大学有路ゼミの学生と安原地区子ども会育成会が打合せを行った。 ・安原地区子ども会育成会を通じて安原地区の小学生のいる家庭にチラシを回覧した。 【共催団体等】 ・信州大学有路ゼミ「tent」 ・安原地区子ども会育成会	【評価と反省】 ・英語アクティビティでは子どもたちが協力して英語を使った屋外ゲームを行った。学年を超えた縦のつながりをつくることができ、大学生にとっても今後の学習につながる研修だった。昨年度の反省を生かし、熱中症対策等、スムーズにできた。 【今後の方針】 ・研修場所を変えて、実施したい。		○
小谷村わらび狩りウォーキング	5月27日	1回	その他	成人	18人	【内容】 男の料理教室の方々を中心とし、自然散歩、ウォーキングをかねて小谷の山間のわらびを狩る。 【ねらい】 ・男の料理教室の方々の料理技術向上に加え、小谷村の山菜狩り体験や郷土料理についても学び、食について考える機会とする。	【準備過程】 ・小谷村観光連盟の方と打ち合わせ、日程調整。 ・全戸配布の公民館だよりにて広報 【共催団体等】 小谷村観光連盟	【評価と反省】 ・山菜を探るところから始めたため、食についてより考えるきっかけとなった。 ・山道を歩く部分があり、足腰の弱い方がいってしまったため、来年実施するときは参加者の健康状態を事前に把握しておく。 【今後の方針】 来年度も継続したい。		○
国営アルプスあづみの公園親子バス研修	12月21日	1回	子育て	青少年	17人	【内容】 ・地区の親子を対象に、国営アルプスあづみの公園に行き、ネイチャークラフトづくり、オリエンテーリング、ビザづくりを行う。 【ねらい】 ・ビザを手作りすることで食育につなげる。また、ネイチャークラフト、オリエンテーリングで植物や動物について勉強し、知識を深める。	【準備過程】 ・全戸配布の公民館だよりで周知した。 【共催団体等】 安原地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・子どもたちは親御さんに手伝ってもらいながら熱心にネイチャークラフトづくり、ビザづくりに励んだ。親子で協力する姿も見られた。オリエンテーリングでは、子どもたちからたくさん質問がでて、説明に聞き入っていた。植物、動物に対する知識を深めることができた。 【今後の方針】 ・来年度もアルプスあづみの公園での研修を予定している。時期があえば、スノーシューを行いたい。		○
4地区合同上高地ウォーキング	9月10日	1回	趣味教養	成人	22人	【内容】 ・中央第2ブロックの共催事業として上高地をウォーキングする。 【ねらい】 ・上高地をウォーキングし、健康増進につなげるとともに上高地の自然観察をし、教養を深める。	【準備過程】 ・地区内全戸配布チラシにて周知 【共催団体】 中央第2ブロック（白板、大手、城北、安原）	【評価と反省】 ・コースを3 ^部 コース、8 ^部 コースに分けたので、参加者が自分の体力に合ったウォーキングをすることができ、好評であった。 8 ^部 コースはガイドがいたため、上高地についての知識を深めることができた。 【今後の方針】 ・来年度も継続する。		
あさば野実りの音楽フェスタ	9月21日	1回	人権平和	青少年	580人	【内容】 ・安原地区の庄、中、高、大学が一堂に集まり、合同で音楽祭を行う。 【ねらい】 ・安原地区住民と地区の児童、生徒の音楽を通じての交流を図るだけでなく、子どもたち同士の縦のつながりを持つ場とした。	【準備過程】 ・全戸配布のチラシ、公民館だよりで広報した。 【共催団体等】 ・安原地区まちづくり協議会 ・安原地区人権啓発推進協議会 ・安原地区町内公民館館長会 ・信州大学吹奏楽団 ・松本美須ヶ丘高校 ・旭町小学校 ・旭町中学校 ・附属松本中学校	【評価と反省】 ・吹奏楽団を中心に依頼をしたが、楽器の調達や運搬などかなり調整が大変だった。実行委員会のみなさんのおかげでスムーズに進めることができた。 初めての試みだったが、音楽祭に来てくださった方からの反響がとても大きかった。 【今後の方針】 ・来年度も継続する。		○
旭町小学校1年生のやぎとのふれあい講座	6月14日	1回	子育て	青少年	65人	【内容】 ・旭町小学校1年生を対象に安原地区の住民が飼育しているやぎとふれあう。 【ねらい】 ・普段あまり接しない生き物とふれあうことで、動物への関心を高めるだけでなく、動物との接し方、知識を高めてもらう。	【準備過程】 ・公民館が窓口となり、旭町小学校の先生方と日程などの打ち合わせをした。	【評価と反省】 ・1年生はやぎに興味深々で、えさをあげたり、頭をなでたりした。出された質問にはやぎを飼育している住民の方が丁寧に答えてくださった。やぎの生態なども詳しい方なので、ただやぎとふれあうだけでなく、知識も深められるよい時間となった。 【今後の方針】 ・来年度も1年生を対象に計画する。		○
人権 浅川兄弟資料館研修	9月24日	1回	人権平和	成人	20人	【内容】 ・浅川兄弟資料館へ向向き、日韓をつないだ人物について知ることで、近年の日韓関係について考える。 【ねらい】 ・人権啓発推進を目的とし、日韓関係について考える場とする。	【準備過程】 ・地区内全戸配布チラシにて周知 【共催団体等】 ・安原地区人権啓発推進協議会 ・安原地区町内公民館館長会	【評価と反省】 ・館内見学の際ガイドの方が詳しく説明してくれたため、より知識が深まった。人権啓発推進という点から、参加者の研鑽を深めることができた。 【今後の方針】 ・来年度は人権を別の視点からも捉えられるような研修を行いたい。		
4地区合同上高地ウォーキング	9月7日	1回	趣味教養	成人	18人	【内容】 ・中央第2ブロックの共催事業として上高地をウォーキングする。 【ねらい】 ・上高地をウォーキングし、健康増進につなげるとともに上高地の自然観察をし、教養を深める。	【準備過程】 ・地区内全戸配布チラシにて周知 【共催団体】 中央第2ブロック（白板、大手、城北、安原）	【評価と反省】 ・天候が悪く土砂降りになってしまい、上高地へ向くことができなかった。しかし、4地区の参加者たちで臨機応変に対応できたのがよかった。 【今後の方針】 ・来年度も継続する。		
夏休み子どもバス企画	8月9日	1回	子育て	青少年	15人	【内容】 ・信州大学教育学部生と子ども会育成会が共同で企画。安原地区の小学生を対象に清水牧場で牛の観察、フォレストフィールドで信大生徒子どもたちの交流を図る。 【ねらい】 ・教員を目指す大学生にとっての経験としたい。 ・子どもたちに楽しみながら学ぶことを伝える。	【準備過程】 ・信州大学有路ゼミの学生と安原地区子ども会育成会が打合せを行った。 ・安原地区子ども会育成会を通じて安原地区の小学生のいる家庭にチラシを回覧した。 【共催団体等】 ・信州大学有路ゼミ「tent」 ・安原地区子ども会育成会	【評価と反省】 ・楽しみながら学ぶをコンセプトに活動を行った。フォレストフィールドが広い敷地のため、下車する場所まで迷ってしまった。入念な下調べが必要だった。 【今後の方針】 ・来年度は研修場所を変えて、実施したい。		○

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C	S	食育
2019サマーナイトフェスタIN安原	7月20日	1回	地域事業(文化)	その他	300人	【内容】 ・安原地区住民を対象とした夏祭り。子ども映画会、ビンゴゲーム、露店での飲食販売などを行う。 【ねらい】 ・安原地区全体の交流、地域活性化を図る。子どもからお年寄りまで幅広い世代が楽しめる企画としたい。	【準備過程】 ・公民館運営委員会・文化委員会合同会議を開催した。 ・全戸配布の公民館だより、チラシにて広報した。 【共催団体】 安原地区公民館運営委員会 安原地区公民館文化委員会 安原地区まちづくり協議会	【評価と反省】 ・雨天のため例年屋外での開催のところを室内で開催したが、あわてることなくスムーズに対応することができた。参加者も雨天としてはかなり多い人数が集まってくれた。 【今後の方針】 ・来年度も継続する。			
自然観察講座	7月24日	1回	趣味教養	成人	13人	【内容】 ・上高地でウォーキングも兼ねた植物、動物、鳥などの自然観察を行う。 【ねらい】 ・植物、動物などガイド付きで自然観察することで、参加者の研鑽を高める。 【環境】	【準備過程】 ・全戸配布の公民館だよりで周知した。 【共催団体等】 松本市役所労政課 牛丸 工さん(ガイド)	【評価と反省】 ・ガイドの牛丸さんが上高地クイズなども用意してくれたため、上高地についてより楽しく学ぶことができた。ウォーキングの速さについていけない方がいたため、来年度の募集の際の検討が必要。 【今後の方針】 ・来年度バスの予約が難しいため中止。			
甲州街道歴史巡り研修	6月21日	1回	その他	成人	21人	【内容】 ・安原地区歴史研究会の方々を中心に甲州街道の宿場を中心に金生遺跡、北杜市考古資料館を見学し現地学習する。 【ねらい】 ・安原地区歴史研究会の課外学習とし、毎月行われる学習会に生かしていただき、地域活性化につなげる。	【準備過程】 ・安原地区歴史研究会との打ち合わせ、調整。 ・各施設への予約。 【共催団体】 安原地区歴史研究会	【評価と反省】 ・様々な角度で見学できたため広い視点から考察することができた。 ・ガイドの方々の方が分かりやすい説明をしてくれ、事前学習やバスの中での勉強会等も行われたので、充実した課外学習となった。 【今後の方針】 来年度も場所を変えて継続する。			
安原地区合同視察研修会(中止)	3月19日	1回	地域事業(文化)	成人	中止	【内容】 ・安原地区公民館委員、安原地区町内公民館館長会を対象に善光寺街道の終着点、善光寺を見学する。 【ねらい】 ・実際に善光寺街道を見学しながらバスを走らせ、善光寺を見学することで歴史について考えてもらうとともに公民館委員、町内公民館長の交流を深める。	【準備過程】 ・公民館運営委員会にて日程調整 ・開催通知を各公民館委員、町内公民館長に送付 【共催団体】 ・安原地区公民館委員 ・安原地区町内公民館館長会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス対策のため中止。 【今後の方針】 ・来年度は行いたい。			
お味噌づくり講座	1月16日	1回	その他	その他	18人	【内容】 ・講師の指導のもとお味噌づくりをする。 【ねらい】 ・日本の伝統調味料であるお味噌を手作りすることで、食育につなげる。	【準備過程】 ・地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 ・講師がお味噌づくりの詳しい説明を図や絵を使って分かりやすく説明してくれたため、より理解が深まり、食育につながった。 【今後の方針】 ・来年度も継続する。			○
旭町小学校2年生「きな粉づくり講座」	1月19日	1回	子育て	青少年	70人	【内容】 ・旭町小学校2年生が畑で収穫した大豆を使い、JAの方の指導のもときな粉づくりをする。地区住民、信州大学生がサポートに入る。 【ねらい】 ・小学生が栽培から収穫、調理まですることで食育につなげる。	【準備過程】 ・旭町小学校と打ち合わせ ・安原地区住民、信州大学生に参加呼びかけ、周知 【共催団体】 ・安原地区住民 ・信州大学教育学部生	【評価と反省】 ・小学生が地区住民、信大生に手伝ってもらいながら一生懸命きな粉づくりをした。調理行程で失敗して青臭いきな粉になってしまった班もあったが、地区住民、信大生の手ほどきもあって、無事に作り終えることができた。食育はもちろんだが、地区住民、信大生との交流の場にもつながった。 【今後の方針】 ・来年度も継続する。			○ ○
介護講座	6月14日 7月12日 8月30日 9月13日 10月10日	5回	福祉健康	成人	295人	【内容】 介護についての制度、補助などについて学ぶ。 【ねらい】 ・なかなか自分では勉強できない介護施設の認定基準などについてわかりやすく説明してもらい、今後の生活に生かしたい。	【準備過程】 ・地区内全戸配布チラシにて周知 【共催団体】 社協安原地区支会 安原地区まちづくり協議会	【評価と反省】 ・参加者が予想よりはるかに多く、いかに心のある事柄が改めて認識した。各団体と連携がうまく図れ、スムーズに講座の運営することができた。 【今後の方針】 来年度も継続したい。			
旭町小学校1年生遠足支援	10/9	1回	その他	青少年	75人	【内容】 ・地区住民が旭町小学校1年生の遠足の引率を行う。 【ねらい】 ・子どもたちの安全確保、地区住民と子どもたちの交流を図りたい。	【準備過程】 ・小学校教諭との打ち合わせ ・地区住民への周知 【共催団体】 ・安原地区健康づくり推進員会	【評価と反省】 ・お手伝いに入っていたことでスムーズに進めることができた学校の先生からお話をいただいた。 【今後の方針】 ・来年度も実施する。			○
ママのためのパンづくり教室	6月25日 10月29日	2回	子育て	その他	53人	【内容】 ・地区在住の未満児を持つ母親を対象にパン作りを行う。 【ねらい】 ・母親がパン作りを学び家庭で子どものために作ってあげられるようにするだけでなく、母親同士が交流し、情報交換や息抜きできる場を設ける。	【準備過程】 ・地区住民へチラシで周知 【共催団体】 ・安原地区福祉ひろば ・安原地区民生児童委員会	【評価と反省】 ・民生児童委員の方々子どもたちを見てくれたことで母親たちがパン作りに集中して取り組めた。 【今後の方針】 ・来年度も実施する。			

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針・地域課題】

- ・地区の北端、福祉複合施設の3階にある公民館ということで、地域住民が気軽に立ち寄ることが難しい条件にある。このため大勢の住民に足を運んでもらえるような多種多様の講座・事業を実施するよう留意している。本年度も城東地区の住民に参加してもらえることを重視し、地区在住者から講師募集を行うことや、留学生と地区住民の交流会を企画するなどの取り組みを行った。
- ・「健康寿命延伸都市・松本」の理念を具現化するため、健康づくり推進員・北部保健センター、地区福祉ひろば等と連携して、健康を促進するための事業を実施した。
- ・平成24年度より開催している消費者の会城東との共催事業「暮らしを見つめるつどい」を本年度も開催した。身近な話題から地域の情報まで様々な話題を持ち寄り、自由に話し合いをした中から、活動を行った。
- ・コミュニティスクール（学校応援団）事業に力を入れ、小学校では収穫した農作物の調理や地域の歴史及び史跡を学ぶ。中学校では読み聞かせ、登校時の見守りなど、地域住民との交流を行っている。

評価・反省等

- ・講座開催を通して、公民館に立ち寄る人は徐々に増えてきている。また、「親子料理教室」や「ポッチャ体験会」等の新しい事業を展開し、新規の参加者が増加するように取り組んだ。しかし、まだまだ地区住民が気軽に足を運ぶような身近な存在とは言えないのも現実である。引き続き、様々な年代の方に公民館まで足を運んで頂けるよう、取り組みを進めていきたい。
- ・健康づくり推進員・北部保健センター、地区福祉ひろば等と今年度も連携し事業を実施することはできたが、連携の仕方が十分とは言えないため、今後も連携方法等の検討を続けていきたい。
- ・「暮らしを見つめるつどい」は昨年度よりも回数が増え、消費者の会城東の皆さんの主体的な活動により実施することができた。しかし、今年度をもって消費者の会自体が解散となってしまうため、来年度以降も継続できるよう協力を続けていきたい。
- ・小中学校との交流については、協力者が増える等、一定の成果があった。今後も拡充・継続を図っていきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員等
	平人 和権	福祉 健康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	ス ポ ー ツ	防 災	そ の 他	体 育	文 化	そ の 他	
事業数	2	7	9	1	3	8	3				1	2	5
延べ参加人数	22	144	283	35	135	204	65				300	74	204

	CS	食育
事業数		
延べ参加人数		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C	S	食育
桜につられて松本城まで	4月8日	1回	福祉健康	成人	13人	【内容】 ・松本城までウォーキング 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流	【共催団体】 ・城東地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・参加者同士の親睦、健康づくりに役立った。			
手打ち蕎麦と山菜天ぷらの試食会	5月9日	1回	趣味教養	成人	58人	【内容】 ・日頃の研修成果の披露と地域住民同士の語らいの場とする 【ねらい】 ・教養の向上 ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 ・男の料理研究会	【評価と反省】 ・地域住民の交流に役立った。 【今後の方針】 ・引き続き継続していきたい。			
小谷村で山菜採りとそば打ち体験	5月11日	1回	趣味教養	成人	10人	【内容】 ・小谷村で山菜採りとそば打ちを体験 【ねらい】 ・食育について学ぶ ・参加住民同士の交流		【評価と反省】 ・参加者同士の親睦、食育に役立った。			
いきいき百歳体操体験会	6月25日	1回	福祉健康	成人	20人	【内容】 ・いきいき百歳体操の体験会 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流 ・住民の主体的な活動への種まき	【共催団体等】 ・健康づくり課	【評価と反省】 ・健康づくりにつながった。 ・町会や自主的なサークル活動への種まきになり、地区内でのサークル立ち上げにつながった。			
第37回マレットゴルフ大会	7月20日	1回	スポーツ	成人	13人	【内容】 ・安曇野市権現宮マレットゴルフ場でマレットゴルフ大会 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流		【評価と反省】 ・参加者同士の親睦、健康づくりに役立った。			
女鳥羽川アレチウリ駆除	7月21日	1回	環境	成人	35人	【内容】 ・地区住民に呼びかけ、女鳥羽川のアレチウリを駆除する 【ねらい】 ・地域の河川の環境清美 ・地域のきずなを深める	【共催団体等】 ・城東地区環境衛生協議会	【評価と反省】 ・地域住民の助け合いの精神がいかに発揮された。 【今後の方針】 ・引き続き継続していきたい。			
松本盲学校 地域奉仕治療	7月24日	1回	福祉健康	成人	42人	【内容】 ・盲学校の生徒から施術を受ける 【ねらい】 ・盲学校生徒の知識、技術の向上 ・地域のきずなを深める		【評価と反省】 ・盲学校生徒の技術向上とともに、地域とのつながりを深める一助となった。 【今後の方針】 ・引き続き継続していきたい。			
子ども安全安心学校	7月31日	1回	子育て	青少年	107人	【内容】 ・防災・防犯について子どもと大人が一緒に学ぶ 【ねらい】 ・体験学習 ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 ・子ども会育成会、日赤奉仕団、福祉ひろば、児童館他	【評価と反省】 ・地区内の多くの団体の協力を得て実施できた。 【今後の方針】 ・他団体と実施内容を協議しながら継続したい。			○
どうもろこし収穫体験とバーベキュー	8月5日	1回	子育て	青少年	28人	【内容】 ・子どもを対象に、どうもろこし畑での収穫を行い、奈川地区のキャンプ場でバーベキューをする 【ねらい】 ・体験学習 ・参加住民同士の世代間交流		【評価と反省】 ・参加者同士の親睦・交流につながった。 【今後の方針】 ・次年度以降も継続していきたい。			
松本盲学校の草取り	9月7日	1回	地域事業(その他)	成人	13人	【内容】 ・松本盲学校の草抜き 【ねらい】 ・地域のきずなを深める		【評価と反省】 ・地域住民の助け合いの精神がいかに発揮された。 【今後の方針】 ・引き続き継続していきたい。			
上高地散策ウォーキング	9月9日	1回	福祉健康	成人	33人	【内容】 ・上高地自然散策 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流		【評価と反省】 ・参加者同士の親睦、健康づくりに役立った。			
城東公民館開館20周年を祝う会	9月27日	1回	地域事業(その他)	成人	61人	【内容】 ・地域住民・公民館利用者に参加を呼びかけ、20周年記念祝賀会を開催 【ねらい】 ・公民館開館20周年を祝う ・参加住民同士の交流		【評価と反省】 ・参加者同士の親睦、交流につながった。			
城東公民館文化祭	9月28日	1回	地域事業(文化)	成人	300人	【内容】 ・公民館利用団体・地域住民による芸術文化の祭典・前夜祭を開催 【ねらい】 ・文化、教養の向上 ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 ・実行委員会	【評価と反省】 ・公民館利用サークル発表の側面が強い。地区住民の参加に留意したい。 【今後の方針】 ・サークルと地域が一体となって運営していくような体制への移行を検討していきたい。			
マレットゴルフ大会	11月12日	1回	スポーツ	成人	34人	【内容】 ・アルプス公園等でマレットゴルフ大会 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流		【評価と反省】 ・参加者同士の親睦、健康づくりに役立った。 ・他行事と日が重なり、当初の予定を延期した。			
キム子漬け講座	12月4日 12月5日	1回	趣味教養	成人	17人	【内容】 ・簡単漬け物講座 【ねらい】 ・文化、教養の向上 ・参加住民同士の交流		【評価と反省】 ・潤いのある生活に役立てた。 【今後の方針】 ・地元在住講師による人気講座であり継続していきたい。			○
留学生との新年交流会	1月11日	1回	地域文化	成人	25人	【内容】 ・留学生と地域住民が新年の遊びなどを通じて交流する 【ねらい】 ・留学生と参加住民の交流		【評価と反省】 ・留学生と地域住民との交流を図ることができた。地域住民の参加が少ない。 【今後の方針】 ・実施方法を検討しながら継続実施を検討したい。			
リフレッシュボールで体ほぐし	1月28日	1回	福祉健康	成人	15人	【内容】 ・リフレッシュボールを使った体操で健康寿命をのばす 【ねらい】 ・健康づくり	【共催団体等】 ・北部保健センター ・健康づくり推進員	【評価と反省】 ・健康づくりに寄与できた。			

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C	S	食育
親子料理教室	2月8日	1回	子育て	青少年	22人	【内容】 ・子どもでもできる簡単バランスごはん 【ねらい】 ・親子で料理を作り、食事の大切さを学ぶ		【評価と反省】 ・親子での参加を想定して計画を立てたが、子どもだけの参加が多かった。 ・食事の大切さについて学び、その知識を家庭に持ち帰り、家族団らんにつながった。 【今後の方針】 ・継続し、年に複数回実施して食についての学習を深めたい。			○
ハンドマッサージ	2月17日	1回	福祉健康	成人	21人	【内容】 ・ハンドマッサージ体験を通じて健康寿命をのばす 【ねらい】 ・健康づくり		【評価と反省】 ・健康づくりに寄与できた。			
ポッチャ体験会	2月27日	1回	スポーツ	成人	18人	【内容】 ・バラスポーツ・ポッチャを体験する。 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流		【評価と反省】 ・参加者同士の親睦、健康づくりに役立った。 ・参加者が町会活動に取り入れたいという声がかかれた。 【今後の方針】 ・体験会から発展させ、町会対抗による大会を開催し、より多くの参加者の交流を深められるようにしていきたい。 ・多くの方に体験して頂き、町会活動等の活性化につなげていきたい。			
人権意識向上講座	4月20日	1回	人権平和	成人	22人	【内容】 ・満蒙開拓平和祈念館を訪れ、人権について学ぶ 【ねらい】 ・人権意識の向上	【共催団体等】 ・城東地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・人権意識向上に役立った。 【今後の方針】 ・協議会と実施内容を協議しながら継続実施したい。 ・講座については、次年度に再度計画したい。			
	2月28日【中止】	1回	人権平和	成人	中止	【内容】 乳幼児の人権についての講演会 【ねらい】 ・人権意識の向上 コロナウイルスの影響を考慮し中止					
歌謡コンサート	3月14日【中止】	1回	趣味教養	成人	中止	【内容】 ・本格的音響設備を使用したコンサート 【ねらい】 ・文化、教養の向上 ・参加住民同士の交流 コロナウイルスの影響を考慮し中止		【評価と反省】 ・今年度は中止となってしまったが、要望の多い事業であるため、継続実施していきたい。			
感染症予防講座	3月18日【中止】	1回	福祉健康	成人	中止	【内容】 ・専門家から正しい手洗い・うがい方法の指導を受け、感染症を予防する 【ねらい】 ・健康づくり、意識の向上 コロナウイルスの影響を考慮し中止		【評価と反省】 ・今年度は中止となってしまったが、市民の関心が高い内容だと考えられるので、次年度も計画したい。			
コミュニティスクール事業（小・中学校）	4月8月1月3月【中止】	6回	子育て	青少年	46人	【内容】 ・旭町小・中学校でのあいさつ運動 【ねらい】 ・児童生徒と地域住民の交流 ・地域で子どもを見守る、育む	【共催団体等】 ・城東地区子ども見守り隊	【評価と反省】 ・地区内でボランティアを募り、実施した。 【今後の方針】 ・学校と連携し、実施内容を検討、継続したい。			○
コミュニティスクール事業（小学校）	4月15日	1回	子育て	青少年	4人	【内容】 ・旭町小学生の交通安全教室時、通路の安全を見守り 【ねらい】 ・地域で子どもを見守る、育む		【評価と反省】 ・地域住民との交流の場となった。 【今後の方針】 ・学校と連携しながら、実施内容を検討し継続したい。			○
	6月13日 11月7日 12月19日	3回	子育て	青少年	9人	【内容】 ・旭町小学生と地域住民が農作物の植え付け～収穫、調理を通じて交流する 【ねらい】 ・児童と地域住民の交流 ・地域で子どもを見守る、育む					○
	11月22日 11月27日 12月9日	3回	子育て	青少年	39人	【内容】 ・旭町小学生の防災頭巾作成 【ねらい】 ・児童と地域住民の交流 ・地域で子どもを見守る、育む					○
	2月3日	1回	子育て	青少年	4人	【内容】 ・旭町小5年生を対象に地域の寺社を訪れ歴史文化財を勉強する 【ねらい】 ・児童に地域文化を知ってもらい ・地域で子どもを見守る、育む					○
コミュニティスクール事業（中学校）	7月11月2月	3回	子育て	青少年	24人	【内容】 ・旭町中学校の読書週間に併せ住民が学校を訪問し本の紹介を行う 【ねらい】 ・生徒が本にふれる機会を増やす ・地域で子どもを見守る、育む		【評価と反省】 ・地域住民との交流の場となった。 【今後の方針】 ・学校と連携しながら、実施内容を検討し継続したい。			○
切り絵講座	6～10月	5回	趣味教養	成人	51人	【内容】 ・切り絵の技法修得 講座室障子に切り絵を貼り、文化祭で披露する。最終回は切り絵に関する視察研修を行う。 【ねらい】 ・文化、教養の向上 ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 ・切り絵サークル	【評価と反省】 ・仲間作りに役立った他、文化祭に併せ和室障子に作品展示し、文化祭を盛り上げることもつながった。切り絵サークルは講座期間以外、自主活動。 【今後の反省】 ・継続実施していきたい。			

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C	S	食育
ふるさと料理教室	8月～11月	4回	地域文化	成人	66人	【内容】 ・県内のふるさと料理づくりと試食 最終回は、市バスで現地視察 【ねらい】 ・文化、教養の向上 ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 ・ほほえみの会	【評価と反省】 ・身近な食材を使った、地元の美味しい食べ物の良さを再確認することができた。 【今後の方針】 ・今後も継続していきたい。			○
暮らしを見つめるつどい	10月～12月	3回	地域文化	成人	44人	【内容】 ・身近な生活課題を話し合いの中から探り出し解決方法まで考える 【ねらい】 ・文化、教養の向上 ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 ・消費者の会城東地区	【評価と反省】 ・消費者の会メンバー以外の参加者が少ないが、住民発の課題解決型として学習を深めている。 【今後の方針】 ・継続実施したい。			
パソコンとスマートフォンの取り扱い講座	11月～12月	4回	趣味教養	成人	21人	【内容】 ・初心者向けのパソコン・スマートフォン教室 【ねらい】 ・教養、技術の向上 ・参加住民同士の交流		【評価と反省】 ・地域の方に講師をつとめて頂き、参加者は少人数ながらきめ細かい指導を受けられた。 ・パソコンよりもスマートフォンの方が人気が高かった。 【今後の方針】 ・内容を検討しながら継続していきたい。			
スクラップブッキング講座	11月～12月	2回	趣味教養	成人	15人	【内容】 ・スクラップブッキングを学ぶ 【ねらい】 ・趣味・教養の向上 ・子育てに役立てる		【評価と反省】 ・初めての試みだったが、参加者には好評いただいた。 ・子育て世代を対象に考えたが、周知が難しく、参加者が少なかった。 【今後の方針】 ・周知方法等、再検討しながら継続していきたい。			
男の料理教室	12月～2月	3回	趣味教養	成人	32人	【内容】 ・男性を対象とした料理教室 【ねらい】 ・文化、教養の向上 ・参加住民同士の交流		【評価と反省】 ・男性の自立に資することができた。 【今後の反省】 ・引き続き継続して実施したい。			○
公民館委員会会議	通年	5回	公民館委員会・各種会議等	成人	9人	【内容】 公民館の運営にそれぞれの部門から助言・支援をいただく。また、各部門の主管事業の実施 ・運営委員会		【評価と反省】 ・全体的に五部門委員会の活動の場が減っている。 【今後の方針】 ・今後もサポートしていきたい。			
			公民館委員会・各種会議等	成人	113人	・館報編集委員会					
			公民館委員会・各種会議等	成人	19人	・図書視聴覚委員会					
			公民館委員会・各種会議等	成人	34人	・文化委員会					
			公民館委員会・各種会議等	成人	29人	・体育委員会					

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等													
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティースクール事業を通じて対象校と地域の相互協力関係の構築 ・各種地区団体や住みよい町づくり協議会と連携し、防災・福祉・子育て事業の充実と住民の参画 ・市事業や施設などを講座を通じて紹介と利用促進 ・公民館委員活動を、従来の内容・事業を踏襲しつつも、新たな試み・企画の実施 ・自然観察・文化事業を通じて生きがい・学びの創出 													
評価・反省等													
<p>・中学校との関係構築を念頭に、学校・地域・公民館が相互の関わりを持った事業展開を図った。地域の方が授業の講師や学校行事のボランティアスタッフとして携わることができた。学校から講師選定依頼が多いため、次年度は学校側へ地域の人材や地域として学校に担ってもらいたい役割について発信・提案をしてゆきたい。</p> <p>・昨年度の文化祭にて課題に挙げられていた実行委員の負担については、会議の形態を変え回数を減らすことで一定の成果が挙げられたが、文化祭運営について熟議の場が少なかった点もあり、会議の形態・内容等精査が必要である。</p> <p>・公民館単独での防災講座が実施できなかった反面、東日本台風では、町内公民館・地区公民館が自主避難場所となった。町会連合会・住みよい町づくり協議会・防災担当課等連携を図ってゆきたい。</p> <p>・住みよい町づくり協議会で検討をした案件を実行に移すことができた。育成会と連携し、やきいも大会に向けてさつまいもの栽培から収穫まで地域の人材・資材をフル活用して事業が実施できた。 子どもの安心安全面では、4月に新1年生の下校時の付き添い・見守りを町会連合会と実施。12月からは、白板子ども見守り隊を試行し下校時の見守りを行った。活動を地区として広がりを持つよう、協力者を増やす働きかけを行いたい。 両事業とも1年目の取組であり、課題の検討と解決について、町づくり協議会と検討を重ねたい。</p>													
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員等・各種協議会等
	平人 和権	福健 祉康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	ス ポ ー ツ	防 災	そ の 他	体 育	文 化	そ の 他	
事業数	1	2	1	1	4	1	1		1	1	5	5	2
延べ参加人数	18	42	38	12	148	84	85		5	336	452	1056	64

	CS	食育
事業数	4	7
延べ参加人数	863	1049

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C	S	食育
こごもり講座	4月28日	1回	趣味教養	その他	16人	小谷村で山菜採り・そば打ちを経験し、信州の食文化に触れ、参加者同士の交流を深め、生きがいづくりに役立てる。	【準備過程】 地区だよりで募集	昨年度まで、6月にわらび狩りを実施したが、参加者の固定化もあり、実施を1カ月早く、別の山菜狩りを行った。体力的に厳しく、危険な箇所もあったので、次年度は参加者の体力や講座の年齢層を考慮し、講座を検討したい。			○
端午の節句講座	5月11日	1回	地域事業(文化)	その他	40人	端午の節句の謂われを知り、地域で昔から食べられている食事を学ぶ。 伝統舞踊として、琉球國祭り太鼓長野支部のメンバーが演奏を行う。	【準備過程】 地区だよりで募集 【共催団体】 白板地区公民館文化委員	未就園児は、公民館内で実施されている子育てサークルに周知を行ったため、家族での参加があったが、小学生参加が少なかった。 小学校にチラシを配布するなど募集方法を再検討したい。			○
白板地区大運動会	5月19日	1回	地域事業(体育)	その他	336人	スポーツを通じて、町会間の交流を促し地域づくりを推進する。	【準備過程】 地区体協が企画・周知を行った。 【主催】 白板地区体育協会 【共催】 白板地区町会連合会、日赤奉仕団白板分団、白板地区公民館、白板地区住みよい町づくり協議会	体育協会を中心に、参加者が増えるよう、種目の検討、ポスターの作成を行った。 今年度は例年並みに参加者が回復した。丸ノ内中学校生徒有志がに当日、アナウンスなど運営のお手伝いをしてもらった。 小中学生は大会シーズンで参加が難しい日程でもあるが、参加や運営の手伝いなどCSを通じて働きかけていきたい。			○
丸ノ内中学校総合的学習の時間授業支援	①5月22日 ②6月18日 ③8月30日 ④10月3日 ⑤12月3日	5回	地域事業(その他)	青少年	208人	丸ノ内中学校の総合的な学習の時間の授業支援。学校から依頼があった事項について、市役所・関係団体・地域から講師の選定し紹介し、地域と学校教育を結びつける	【準備過程】 中学校から授業の目的の聞き取り後、講師の選定・紹介。 講師と学校との調整 講師謝礼等の支払い	①②はエコたわしの作り方を指導できる地域の方を学校へ紹介。講師と生徒がエコたわしの作成し、地区文化祭に展示した。その後各町会へ寄贈した。 ③松本の湧水の成り立ちについて、地区内に講師が出来る方がいなかったため、市内の有識者に意見を求め、測量会社で講演活動をされている方を学校へ紹介した。 ④環境教育の講師を環境政策課と相談し学校へ紹介した。 ⑤松本一本ねぎの絵本作成の学習として調理実習を実施。 学校からの依頼事項が多いため、次年度は学校へ地域として取組んでいきたい内容・講座の投げかけを行う。			○
上高地自然観察会	6月22日	1回	環境	その他	12人	上高地で観察できる高山植物・固有種の観察を松本自然観察会の会員を講師に迎え、自然観察会を実施する。	【準備過程】 地区だよりで募集	7月8日の上高地ウォーキングとは別のコンセプトで実施したため、異なった参加者層であった。引き続き、来年も実施したい。			
上高地ウォーキング講座	7月8日	1回	福祉健康	その他	23人	ウォーキングを促進し、健康寿命延伸に努める。参加者同士の交流を促進する。参加者の体力に応じて、大正池～河童橋コース 大正池～明神池コースの2コースで実施する。	【準備過程】 地区だよりで募集	例年実施しており、参加者からは非常に好評であった。男性の閉じこもり・うつ傾向が本地区では高いため、本講座を通じて公民館・地域活動への参加のきっかけとしていきたい。			
丸ノ内中学校学校登山ボランティア事業	7月17日	1回	その他	成人	5人	丸ノ内中学校で実施されている乗鞍登山へ地域の方がボランティアで随行した。途中下山の生徒の付き添いや、担当教諭の補助を実施する。	【準備過程】 中学校との日程・役割調整 地区だよりにて周知・募集	学校行事に初めて、地域住民が参加した活動であった。公民館委員や町会長への職名での依頼ではなく、山が好き、子どもたちと関わりが持たたいという地域住民の自主的な参加であった。 学校主体のためスケジュールや会議日程等の連絡が参加者へギリギリになってしまった。次年度実施をするようなら、可能な限り職員会議等へ出席し調整連絡を密にしたい。			○
子ども会料理教室	①7月21日 ②1月26日	2回	地域事業(その他)	青少年	54人	子ども会育成会との共催事業。 白板地区は地区内に小学校区が2つあり、同じ地区住民であっても、学校が異なることでつながりが薄い。 育成会を中心に子どもたちの交流の促進を目的とする。	【準備過程】 H30年度に子どもたちへ要望調査を実施 地区だより 育成会回覧で周知 【主催】 白板地区子ども会育成会 【共催】 白板地区公民館 白板地区食生活改善推進協議会 白板地区日赤奉仕団 白板地区民生児童委員	①では、要望調査に基づきクレープを作成した。講師に依頼した団体の活動方針等もあり、純粋に子どもが作りたいメニューではなくなってしまう。 ②では、子どもだけで参加させたいという保護者の希望もあり、子どもでも作れるメニューを子ども会役員と検討を行った。結果、タピオカ風ドリンクと災害時に簡単にできる蒸しパンの調理実習となった。 講師を子ども会の保護者と児童自ら務めるなど学習と遊びを兼ねた内容が実施できた。 低学年児童のみでの参加は、保護者同伴でないと無理があり、次年度は子どもだけの参加可能は継続しつつも、極力保護者参加を呼びかけたい。			○
公民館に泊まろう	8月10日 8月11日	1回	地域事業(その他)	青少年	98人	小学生～中学生を主の対象に毎年実施。集団生活の中で規律を学び、自分で考え行動する力を身につけてもらい、地区に愛着を持ってもらう。	【準備過程】 地区だよりで告知し、小学校に募集チラシを配布 【主催】 丸ノ内スポーツクラブ 【共催】 白板地区町会連合会 白板地区子ども会育成会 白板地区体育協会 白板地区公民館 【協力】 白板地区食生活改善推進協議会 日赤奉仕団白板分団	毎年開催しており、非常に人気の事業である。参加者が低学年化しており、高学年の参加が少なくなっている。今年度に限っては中学生3名参加があり、運営にも携わってもらった。 レクリエーションなど内容を盛り込み過ぎてしまい、夕食作りなど子どもが主体的に取り組めない場面があった。次年度はスケジュールや内容を見直すとともに子どもが主体的に携われる運営を組み立てていきたい。			
トムソーヤクラブ	8月18日	1回	地域事業(その他)	青少年	16人	上松町赤沢美林で開催されるトムソーヤクラブに参加。 自然の中で親子での交流を図る。 また、子ども同士のコミュニケーション能力の発達を促す。	【準備過程】 子ども会育成会が募集 【主催】 白板地区子ども会育成会 【共催】 白板地区公民館	親子で自然体験のできる貴重な講座であるが数年同じ内容で実施しているため、マンネリ化し参加者数が減少している。 昨年度は、7月に実施したが、今年度は試験的に8月のお盆明けに実施した。夏休み最後の週ということもあり、参加者が少なかった。 次年度は、7月に日程を戻すとともに、別の内容(自然科学・文化財)等の学習・体験を実施したい。			
縄文講座	9月3日 10月28日 12月7日	3回	地域文化	成人	31人	秋季に実施している文化講座。今年度は「縄文」「土偶」をテーマに見学と学習を実施する。	【準備過程】 地区だよりで募集	春～秋にかけては、上高地等のウォーキングなど運動系の講座を実施してきたが、晩秋から冬期にかけて講座が少ない傾向があり、地域住民から文化系の講座を実施してほしいとの要望があった。昨年度は松本城について講座を実施し、今年度は、松本周辺の縄文遺跡の学習と長野県立歴史館で開催された「国宝土偶展」の見学を実施し学習を深めた。 第3回目は、公民館委員の視察研修も兼ねて実施し、講座の運営を含めて学習をした。 次年度以降も、市内の文化財を活用して講座を実施していきたい。			

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C	S	食育
4館合同上高地ウォーキング	9月7日	1回	福祉健康	その他	19人	城北公民館、大手公民館、安原地区公民館との共催事業。 参加者間の交流を促進し、地区を越えたつながりを作る機会としてもらう。	【準備過程】 主事会ブロックで内容検討 地区だよりで募集	参加者からは、他地区の人との交流ができて嬉しいとの評価をいただいている。 一方、4館合わせると100人規模の団体となってしまう、上高地の観光客との兼ね合いから実施が難しくなっている。実施については、次年度は検討の必要がある。			○
お月見会講座	9月14日	1回	地域事業(文化)	その他	48人	お月見の謂われを知り、地域で昔から食べられている食事を学ぶ。	【準備過程】 地区だよりで募集 【共催団体】 白板地区公民館文化委員	夕方からの講座のため、文化講座の参加率の高い世代(未就園児と家族)には参加が難しい。親子での参加を呼び掛けているが、子どもだけでの参加や多世代交流事業として、検討が必要。			○
第3回 白板地区公民館・ひろば文化祭	10月19日	1回	地域事業(文化)	その他	314人	日頃、公民館で活動されているサークルの活動発表の場であり、地域の方と学校との交流の場となるように実施した。 また、今年は福祉ひろばと合同での開催であり、利用者間の交流、施設間の人の交流を目指し実施する。	【準備過程】 地区だより、地区内にポスター掲示 【主催】 白板地区公民館・ひろば文化祭実行委員会 【共催】 白板地区町会連合会 白板地区公民館、 白板地区福祉ひろば 白板地区住みよい街づくり協議会 【協力】 民生児童委員 健康づくり推進委員	昨年度の反省に実行委員の負担が大きい(会議が多い)との指摘があり、全体会議を6回から2回に減らし、係会や書類の通知等にした。 事務局が、やり過ぎてしまうと、本来の住民の主体性が失われてしまうので、大変であっても、議論の場はしっかり設けないといけないと感じた。 展示発表も高齢化と運動系のサークルが多いため発表団体が減少している。ステージ発表も午前中に終わってしまうため、時間や内容の検討が必要 今年度は、昼食の無料提供実施しなかった。その代わりに障害者支援施設の物販を行い好評であった。次年度も続けていきたい。			○
焼きいも大会	5月12日 6月8日 9月21日 10月10日 11月16日	5回	地域事業(その他)	青少年	680人	さつまいも畑の畝たて、定植、草取り、収穫、焼きも大会を子どもたちの手で行い、食育と地域内の子どもたちの交流を図った。	【準備過程】 育成会にて協議 周知 【主催】 白板地区子ども育成会 【共催】 白板地区町会連合会 白板地区公民館 住みよい街づくり協議会 【協力】 白板地区体育協会 松本市消防団第二分団	昨年度までは、育成会で購入したさつまいもで焼きいも大会を実施していたが、住みよい街づくり協議会の部会内で1年間検討し、今年度から畝づくりから子どもたちの手で行うこととした。 手探り状態であり、夏場には草が繁茂し、収量も予定の量に達しすぎ、さつまいもを購入するなどの苦労があったが、子どもたちが楽しみながら土に触れていた。 運営面では、毎回50名以上の子どもの参加があり、統制がうまく取れない、大人が手を出し過ぎてしまうなど、課題があった。町づくり協議会、育成会役員会等で検証し次年度も実施したい。			○
人権講座	2月6日 2月22日	2回	人権平和	その他	18人	浅川伯教・巧兄弟の業績を通じて、人権学習を実施した。 「道 白磁の人」の鑑賞 山梨県北杜市「浅川伯教・巧兄弟資料館」の視察見学	【準備過程】 白板地区町会連合会で地区人権啓発推進協議会の規約策定 地区だよりで募集 レジュメ作成 【主催】 白板地区人権啓発推進協議会 【共催】 白板地区公民館 白板地区地域づくりセンター	毎年地区人権啓発推進協議会委員対象におこなっている研修であったが、規約を策定し人権講座として地区住民を対象とした。 視察研修の学習理解を深めるため、日本統治時代の朝鮮半島情勢・民衆運動の事前学習を実施した。 次年度もテーマを変えて地区住民対象に人権啓発講座を実施したい。			
クリスマス会	12月16日	1回	地域事業(文化)	青少年	50人	ニュースポーツや料理実習、演奏会を通じて、幼稚園～小学生の子どもたちの情操教育をおこない、団体行動を学び教養を高める。	【準備過程】 公民館たよりと、小学校に募集チラシを配布。 【主催】 丸ノ内スポーツクラブ 【共催】 白板地区公民館	例年、人気のある講座である。今後とも関係団体と協議のうえ実施していきたい。			
しめ縄づくり講座	12月19日	1回	地域文化	その他	12人	藁を一つ一つ編んでいき、飾りを作る。また、由来などの講演をしていただいた。	【準備過程】 公民館たよりで募集	講座の性質上、募集人数を少なく設定しなければならないが、文化伝承のため、今後も実施していきたい。			
ひな祭り事前学習会	3月5日	1回	地域文化	成人	中止	ひな祭り会に向けて、ひな人形で町おこしを行っている「信州須坂おひなめぐり」の視察見学	【準備過程】 地区だよりで募集 レジュメの作成	公民館文化委員の視察研修を兼ねており、学習の成果として3月7日のひな祭り講座で公民館に展示中の雛飾りを公民館委員が解説する予定であった。 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止			
ひな祭り講座	3月7日	1回	地域事業(文化)	その他	中止	地区内外から公民館に寄贈されたたくさん雛飾りを見て、由来や伝統的に食べられている料理を学ぶ。 CSの一環として丸ノ内中学校の吹奏楽部の演奏	【準備過程】 CSにて丸ノ内中学校と調整 地区だよりで募集 【共催団体】 白板地区公民館文化委員	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止			○
岳都講座	4月16日 5月19日 6月17日 8月19日 10月26日 12月9日 2月17日	7回	地域文化	成人	105人	主に上高地に関連する、山・人・峠・古道・植物等様々なテーマについて、2カ月に1回実施している。	【準備過程】 地区だよりで募集	今年度通算60回目を迎えた講座。 過去、他館で実施していたため、対象を白板地区住民のみならず、近隣地区の住民も受講している。 受講者が毎回のテーマを決め運営を実施しており、学びの場が出来ている。 次年度も継続していきたい。			
健康吹き矢講座	4月～3月	12回	スポーツ	その他	85人	参加者同士の交流を促進し、スポーツを通じて、仲間や生きがいづくりを図り、健康寿命延伸を目指す。	【準備過程】 地区だよりで募集	参加者からは非常に人気のある講座である。 3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 3年間をワンクールとして、2年目。年度途中からの受講者も可として募集を行った。次年度当初の追加募集を行い、3年目を実施したい。 講座修了後はサークル化し自主運営を促していきたい。			
いけばな講座	4月～3月	12回	趣味教養	その他	84人	参加者同士の交流を促進し、趣味を通じて仲間や生きがいづくりを図る。	【準備過程】 地区だよりで募集	参加者からは非常に人気のある講座である。 3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 3年間をワンクールとして、2年目、月1回の講座と文化祭へ展示を行った。 定員に若干の余裕があり、今年度末に追加募集を行い、3年目を実施したい。			
館報編集員	4月～3月	6回	公民館委員会・各種会議等	その他	26人	白板地区のできごとを住民が発信。「自治の鐘」と題して、丸ノ内中学校生徒会が寄稿、館報編集委員として参加。					○
公民館文化委員	4月～3月	6回	公民館委員会・各種会議等	その他	38人	節句講座の準備として、ひな人形・五月人形・七夕の飾りつけと片付け					

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
白板子ども見守り隊	12月～3月	4回	子育て	その他	38人	住みよい町づくり協議会と協働で、地域の子どもの下校時の見守りを実施。	【準備過程】 住みよい町づくり協議会で検討 学校側と協議 ピブスの制作 【主催】 白板地区住みよい町づくり協議会 白板地区公民館	本年度は、試験運用として12月から3月まで4回実施を予定していたが、3月は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、休校となり実施できなかった。 住みよい町づくり協議会のメンバーを中心に運営しているが、今後は町会や住民に呼びかけメンバーを増やしたい。 次年度以降も住みよい町づくり協議会で運営について協議していきたい。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【田川公民館 令和元年度事業方針】

- (1) 次世代育成、コミュニティスクール事業の推進
子どもたちの郷土に対する愛着・誇りを育むことを目的とした「楽育事業」や子ども会育成会、PTA活動への協力・支援、コミュニティスクール事業の推進等を通じて、地域の未来を担う子ども・若者の育成に取り組めます。
- (2) 地域の居場所づくりと福祉の充実
「田川地区いきいきサロン事業」や町内公民館活動等への支援を核として、住民が気軽に集うことができる居場所づくりを進め、地域福祉の充実に寄与します。
- (3) 「地域を知る」学習の充実
身近な地域の自然、歴史文化等に関する学習機会を拡充し、潜在的な地域の魅力の掘り起こしに努めるとともに、郷土への愛着や関心、地域に対する参画意識の醸成に役立てます。
- (4) 住民同士の顔の見える関係づくり
従来の文化・スポーツ事業を通じた交流に加え、新たな仲間づくりの活動を積極的に展開し、住民同士の顔の見える関係づくりを促進します。

評価・反省等

・主催事業については、五部門委員が中心となり円滑に実施することができた。長年継続している事業も多く、目的の形骸化、参加者の固定化など克服すべき課題もあるが、文化委員によるポスターコンクール等、委員の創意工夫による新たな企画も生まれ、収穫は多かった。

・新型コロナウイルス感染症の影響により、3月に予定していた事業の大半を中止せざるをえなかったが、その他はほぼ当初の予定どおり実施することができた。反面、新規の取り組みは例年よりも少なめで、もう少し積極的な仕掛けがあってもよかった。

・今年度も、まちづくり協議会をはじめ関係団体等と連携・協働し、多くの事業を実施することができた。特に以前から懸案となっていた地区事業（ぼんぼん・青山様）の見直しに取り組み、次年度以降の方向付けができたのは大きな前進であった。

・9月にはPTAの呼びかけで実現した「防災キャンプ」の実施を支援したほか、台風19号災害の折には避難所開設も経験し、防災分野でさまざまな課題が見えた一年であった。今後、これらの課題を整理するとともに、防災学習の充実が求められる。

・旧歴史文化委員会の休止以降、停滞気味だった学習資料の整備についても、新たに「たがわの教科書」発刊事業に着手し、これからの取り組みに一定の道筋をつけることができた。

	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等
	平人和権	福健康	子育て	環境	文化地域	教養趣味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数	2	6	1	3	9	3	5	1	6	1	2	5	3
延べ参加人数	73	903	10	139	464	145	125	117	1531	60	800	1147	244

	C S	食育
事業数	12	5
延べ参加人数	2832	270

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
春の健康ウォーキング～飯綱高原と小布施のまちあるき～	4月13日	1回	福祉健康	成人	37人	【事業内容】 ・霊仙寺湖（飯綱町）周辺を歩くほか、歴史的遺産を活かしたまちづくりで知られる小布施を散策する。 【ねらい】 ・共に歩くことを通じて、住民同士の親睦と健康増進を図る。	【準備過程】 ・気案に運動委員会（体育員会）で企画運営 【共催団体】 ・気案に運動委員会	【評価と反省】 ・例年よりもやや長めの距離設定としたが、しっかり歩くことができ、健康づくりのよい機会となった。 【今後の方針】 ・気案に運動委員会で検討。単なる行楽行事とならないよう、委員らと目的を共有しながら取り組みたい。		
授業参観日の地域交流	4月19日 6月14日 11月19日	3回	その他	青少年	180人	【事業内容】 ・クラス懇談会の時間帯に低学年の児童を預かり、地域の大人と遊びを通じて交流する。 ・今年度は紙飛行機、ドッチビー、ドミノ倒しを内容とした。 【ねらい】 ・子どもたちと地域の大人との交流の機会とし、「地域で子どもを育てる」気運を醸成する。	【準備過程】 ・クラス懇談会の出席率向上を図るため、学校側の要請を受け、28年度から実施 【共催団体等】 ・田川小学校	【評価と反省】 ・子どもたちと地域の大人が直接ふれあうことで、顔見知りになるだけでなく、「地域の学校」を意識する機会にもなっている。 【今後の方針】 ・より幅広い住民の参加を促し、さらに開かれたものにしていきたい。		○
健康マレットゴルフ大会	5月11日 9月9日	2回	スポーツ	成人	40人	【事業内容】 ・春、秋の年2回、マレットゴルフ大会を開催するもの。 ・今年度は下諏訪、駒ヶ根を会場とし、競技後は、周辺の史跡・文化財、社会教育施設等を見学 【ねらい】 ・誰もが気軽に楽しめるマレットゴルフを通じて、住民相互の親睦を深め、地域の健康づくりに役立てる。	【準備過程】 ・気案に運動委員会（体育員会）で企画・運営 【共催団体】 ・気案に運動委員会	【評価と反省】 ・運動委員が任務を分担し、円滑に実施することができた。 ・競技の勝敗よりも、参加者同士の親睦に主眼を置いたローカルルールを採用するなど、特色ある大会となっている。 【今後の方針】 ・運動委員会で検討する。参加者の減少、固定化が課題		
水辺の生き物観察会	5月19日	1回	環境	青少年	54人	【事業内容】 ・地区内を流れる両島川（浄化センター付近）で生き物観察を行う。 ・現地で採取した泥砂を調べ、生き物の種類、個体数を記録する。 ・講師／藤山 静雄 氏（信州大学理学部特任教授） 【ねらい】 ・田川地区の豊富な水辺の自然資源に目を向け、その保全を考えるきっかけとする。	【準備過程】 ・水辺を守る会事務局と打合せ、現地の下見など ・田川小にチラシ配布を依頼 【共催団体等】 ・たがわ水辺を守る会 ・松本ホテル学会	【評価と反省】 ・今年度もドジョウやカエル、水生昆虫など、多様な生き物を観察することができ、子どもたちのいきいきとした姿を見ることができた。 ・普段ほとんど意識することのない、身近な自然を再認識する機会となった。 【今後の方針】 ・今後も継続。水辺を守る会と相談したい。		
田川地区いきいきサロン事業 ※全11回。第4、7、11回については別掲	5月22日 6月25日 7月23日 9月24日 10月29日 12月24日 1月22日 2月25日	8回	福祉健康	高齢者	324人	【事業内容】 ・地区内の健康・福祉分野の関係団体・機関等が連携し、月1回の茶話会（サロン）を通年開催する。 ※第4、7、11回は別掲 ○第1回（5/22）特殊詐欺のおはなし ○第2回（6/25）認知症の寸劇 ○第3回（7/23）松本のセター～カーター人形づくり ○第5回（9/24）たがわばんどAUBEミニコンサート ○第6回（10/29）おぼっこぼっこ人形劇公演 ○第8回（12/24）食事と健康のおはなし（講師／松本大学 水野尚子氏） ○第9回（1/22）こころにホッとコンサート ○第10回（2/25）渚保育園との交流 【ねらい】 ・高齢者の孤立防止や居場所づくり、介護予防等に役立てるとともに、生活を取り巻く諸課題について地域で学ぶ機会とする。	【準備過程】 ・住民有志の提案により28年度から実施 ・地区内の関係団体・機関等で構成するサロン部会で内容等を検討 【共催団体等】 ・主催／田川地区まちづくり協議会 ・主管／サロン事業推進部会（町会長会、民生児童委員協議会、健康づくり推進委員会、日赤奉仕団、丸の内病院地域連携室、中央西地域包括支援センター、社協、健康づくり課、福祉計画課、中央公民館、田川地区地域づくりセンター、福祉ひろば、公民館） ・協力／松本協立病院、防犯連絡協議会、子ども会育成会、渚保育園 他	【評価と反省】 ・今年度も関係役員・職員が協力し、滞りなく運営できた。サロンの共同運営を通じて、関係団体、医療・福祉機関等の関係強化につながっている。 ・事業開始から4年が経過し、高齢者の居場所として定着する一方で、参加者の固定化、企画のマンネリ化など課題も見えた。 【今後の方針】 ・サロン部会で検討する。 ・継続的に取り組んでいるが、やや前例踏襲に終始している感もある。参加者の声を聞きながら、實際生活に即した内容としていきたい。		
ニュースポーツで遊ぼう！	6月16日	1回	スポーツ	青少年	27人	【事業内容】 ・親子でニュースポーツ（ディスケット、ビーンボウリング等）を体験する。 【ねらい】 ・年齢や体力に関係なく共に楽しむことができるニュースポーツで子ども同士、親同士の交流を図る。 ・子どもたち自身が行事を運営することで、自主性や協調性を育む。	【準備過程】 ・子ども会リーダー会で競技ルール等を確認 【共催団体等】 ・主催／子ども会育成会	【評価と反省】 ・得点係やルール説明等を子ども会リーダーが分担するなど、積極的に取り組む子どもたちの姿が見られた。 【今後の方針】 ・育成会と協力し、子どもたちの主体性を引き出す取り組みとしていきたい。		
田川小クラブ活動支援	6月6日～ 10月3日	5回	その他	青少年	390人	【事業内容】 ・田川小クラブ活動（卓球・茶道・手芸・料理）の指導者として地域の人材を派遣するもの 【ねらい】 ・クラブ活動支援を通じて、児童と地域住民との交流を深める。	【準備過程】 ・学校からの要望を受け、公民館で講師依頼	【評価と反省】 ・児童や学校内の様子を垣間見ることで、地域住民と学校との距離を近づける重要な機会となっている。 【今後の方針】 ・学校側の要望により、柔軟に対応したい。		○
エコキューブ講習会・エコ体験教室（田川小4年生授業）	6月11日 6月28日	2回	環境	青少年	70人	【事業内容】 ・田川小4年生の授業として実施 ・地区住民考案のエコキューブ（平面キューブパスル）やゲームを通じて、松本市のごみの分別を学ぶ。 【ねらい】 ・エコに対する関心を高めるとともに、共同作業を通じて、子どもと大人が互いに学び合う場とする。	【準備過程】 ・ボランティアを対象とした事前講習会を実施 【共催団体等】 ・田川小学校	【評価と反省】 ・子どもたちと一緒に楽しく学び、グループでの作業を通じて、絆を深めることができた。 【今後の方針】 ・田川地区独自のユニークな取り組みであり、今後も継続していきたい。		○

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
ホテル観覧会	6月21日	1回	環境	青少年	15人	【事業内容】 ・松本駅付近の水路に棲息するゲンジボタルを観察する。 【ねらい】 ・都市開発等により目にする機会の減ったホテルの観察を通じて、身近な自然への興味・関心を育てる。	【準備過程】 ・水辺を守る会で企画、事前準備等 【共催団体等】 ・たがわ水辺を守る会 ・松本ホテル学会	【評価と反省】 ・数は少なかったものの実際にホテルが舞う姿を観ることができた。初めてホテルを見る子どもも多く、貴重な自然体験の機会となった。 ・水辺を守る会で事前に「ホテルクイズ」を用意するなど、組立ての面でも進歩があった。 【今後の方針】 ・次年度も継続。地域の自然に目を向けるきっかけとしていきたい。		
田川夏まつり（地域交流コーナー）	7月6日	1回	地域事業（その他）	青少年	270人	【事業内容】 ・田川小学校の夏まつりに、公民館から「地域交流コーナー」を出展 ・来場した親子とけん玉、じゃんけん、カルタ等で遊ぶ。 【ねらい】 ・児童、保護者、スタッフ（祖父母世代）の三世代による交流の場とする。	【準備過程】 ・地区役員や公民館利用者を中心に声かけ、当日のスタッフを募る。 【共催団体等】 ・主催：田川夏まつり実行委員会（田川小PTA他）	【評価と反省】 ・当日は多数の親子がコーナーを訪れ、世代を越えてふれあうことができた。 ・「夏まつり」はPTA主体の行事であり、準備過程も含め、保護者同士の横のつながりを作る重要な機会となっている。 【今後の方針】 ・引き続き協力していきたい。		○
ふれあいマレットゴルフ大会	7月21日	1回	スポーツ	成人	25人	【事業内容】 ・市民体育大会の選手選考を兼ねたマレットゴルフ大会を開催する。 【ねらい】 ・手軽に楽しめるマレットゴルフを通じて、住民同士の親睦を図る。	【準備過程】 ・地区体協、気楽に運動委員会の共催事業として、27年度より継続開催 【共催団体等】 ・体育協会 ・気楽に運動委員会	【評価と反省】 ・比較的若い世代の参加もあり、幅広い年代で交流を深めることができた。 【今後の方針】 ・地区体協、気楽に運動委員会で検討		
ほんぼん・青山様のつどいと夕涼み	7月28日	1回	地域事業（文化）	青少年	350人	【事業内容】 ・松本の夏の伝統行事「ほんぼん」「青山様」を地区行事として実施する。 ・第1部「つどい」（ほんぼん・青山様に関する学習、セレモニー）、第2部「夕涼み」（飲食・ゲームコーナー等）の2部構成で行う。 【ねらい】 ・少子化を背景に単位町会での実施が困難になった、ほんぼん、青山様を地区事業に位置づけ、伝統行事の継承を図るとともに、地域の絆づくりの機会とする。	【準備過程】 ・まちづくり協議会楽育事業推進部会で方向性を協議 ・地区関係団体にPTA地区代表を加えた実行委員会を組織 【共催団体等】 ・主催／田川地区まちづくり協議会 ・主管／ほんぼん・青山様実行委員会	【評価と反省】 ・実施方法等をめぐって否定的な意見も多かった旧事業を大幅に見直し、日程・内容等を一新したことで、例年以上に盛況であった。今後に向けて一定の方向付けができ、大きな前進があった。 ・反面、当初の目的である伝統文化の継承に役立てられたかはやや疑問。「つどい」の組立てにもうひと工夫必要だった。 【今後の方針】 ・今年度明らかになった課題を部会で整理し、事業のさらなる充実を図りたい。		
文化祭ポスターコンクール	8月15日～9月13日	1回	地域文化	成人	—	【事業内容】 ・10月の田川ふれあい文化祭に向けてポスターデザインを募集 ・実行委員長賞作品を公式ポスターとして採用するほか、入選作品を文化祭で展示する。 【ねらい】 ・文化祭に向けた地区内の気運を高め、芸術文化振興の一助とする。	【準備過程】 ・文化委員会で募集要項を作成 【共催団体等】 ・文化委員会	【評価と反省】 ・文化委員会による発案で今年初めて取り組んだ。応募数こそ少なかったが、コンクールとして形にできた点は収穫であった。 【今後の方針】 ・文化委員会で検討する。 ・子どもたちによる出品を増やしたい。		
平和祈念コンサート（第5回いきいきサロン）	8月6日	1回	人権平和	成人	48人	【事業内容】 ・安曇野のシンガーソングライター堀六平氏を招き、「平和祈念コンサート」を開催する。 【ねらい】 ・戦争の悲惨さ、平和の尊さを思い起こし、地域で平和を語り合う機会とする。	【準備過程】 ・サロン部会で企画 【共催団体等】 ・主催／田川地区まちづくり協議会、人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・講師の「みんなで元気に歌えることが平和の証」とのメッセージを受け、参加者全員で歌い、平和への思いを新たにすることができた。 【今後の方針】 ・サロン部会で検討する。 ・コンサート形式による実施が続いているが、学習要素も盛り込んでいきたい。		
上高地ウォーキング	8月25日	1回	スポーツ	成人	33人	【事業内容】 ・大正池から上高地BTまでを歩くほか、河童橋周辺を散策する。 ・講師／牛丸 工 氏 【ねらい】 ・岳部・松本の大自然に親しみ、共に歩くことを通じて、住民相互の親睦と健康増進を図る。	【準備過程】 ・気楽に運動委員会で企画運営 【共催団体】 ・気楽に運動委員会	【評価と反省】 ・ガイドの解説により、上高地の自然や歴史について学習を深めることができた。 ・人気の上高地とあって、毎年初めての参加者も多く、地域の仲間づくりに役立てられている。 【今後の方針】 ・気楽に運動委員会で検討する。		
家庭科支援（田川小5年生授業）	9月5日～12月20日	26回	その他	青少年	750人	【事業内容】 ・田川小5年生の2クラスで、家庭科（裁縫・ミシン）の授業を地域住民がサポートする。 【ねらい】 ・住民のサポートにより学習効果を高めるとともに、大人との交流を通じて子どもたちの社会性を育む。	【準備過程】 ・学校からの要請により、公民館でスタッフを募集 【共催団体等】 ・田川小学校	【評価と反省】 ・約3カ月間、継続的に支援に入ったことで、児童と住民ボランティアとが名前を互いに覚え合うなど、単なる顔見知り以上に絆を深めることができた。 【今後の方針】 ・学校側の要望を聞きながら対応する。サポーターの輪を広げることも視野に入れて取り組みたい。		○
松本市出前講座「多文化共生をすすめるために」	9月7日	1回	人権平和	成人	25人	【事業内容】 ・「多文化共生」をテーマに、外国人住民や担当課職員から話を聞く。 ・松本に暮らす外国人の現状、ブラジル・フィリピンの文化紹介、茶話会などを内容とする。 【ねらい】 ・外国人住民と実際に交流することで、異なる文化を持つ人々との「共生」を考えるきっかけとする。	【準備過程】 ・町内公民館長会でテーマ等を決定 ・講座の組立てを多文化共生プラザと相談 【共催団体等】 ・主催／町内公民館長会、人権啓発推進協議会 ・協力／人権男女共生課、多文化共生プラザ	【評価と反省】 ・堅苦しくならないよう、外国の文化紹介を中心に組み立てたが、参加者の関心とややズレがあったように見受けられた。「共生」についてもう少し踏み込んで考える内容でもよかった。 【今後の方針】 ・田川地区は、市内でも外国人が多い地域であるため、今後も学習機会を設けていきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食育
夏休みアウトドア体験教室	9月8日	1回	その他	青少年	35人	【事業内容】 ・奈良井川河川敷で行う小学生を対象としたアウトドア教室 ・火おこしや牛乳パックを燃やしてつくるホットドッグづくりなどを体験する。 【ねらい】 ・子どもたちの外遊び等を通じた直接体験の機会が少なくなるなか、野外活動を通して生きる力を養う。	【準備過程】 ・実施内容等は子ども会育成会で検討 ・地元有志により事前の草刈り、調理補助など 【共催団体等】 ・子ども会育成会	【評価と反省】 ・マッチでの火おこしなど、初めての経験に戸惑いながらも一生懸命取り組んでいた。貴重な体験の機会づくりができた。 【今後の方針】 ・育成会の方針による。 ・ややマンネリ気味のため、新しい企画も提案していきたい。		
田川小学校防災キャンプ	9月14日～15日	1回	防災	成人	117人	【事業内容】 ・田川小学校に親子で宿泊し、防災に関する体験学習を行う。 ・日中プログラムについては、地区の防災訓練を兼ねて行う。 【ねらい】 ・防災をテーマにした体験プログラムを通じて、正しい知識を身に付け、地域の防災意識向上を図る。	【準備過程】 ・田川小PTAからの協力要請を受けセンターで調整 ・PTA、防災部、日赤を中心に役割を分担 【共催団体等】 ・主催／田川小学校PTA ・共催／田川地区まちづくり協議会 ・協力／消防署、危機管理課 他	【評価と反省】 ・有事の際、実際に避難所となる体育館での宿泊を経験することで、さまざまな気づきを得ることができた。 ・プログラムの詰め込みすぎの感もあり、ねらいが見えにくかった。 ・初の試みということもあり、PTA、関係団体、センター・公民館の役割分担が明確でなく、団体間の連携に課題が残った。 【今後の方針】 ・今後については、PTA、関係団体の意向を確認する。		
松本城見学会（田川小6年生授業）	10月16日	1回	地域文化	青少年	67人	【内容】 ・田川小6年生の授業として松本城を見学。地区住民が案内役を務める。 【ねらい】 ・松本のシンボルである松本城を地域住民が案内し、子どもたちの郷土愛を育む機会とする。	【準備過程】 ・学校側の要望を受け26年度から継続実施 【共催団体等】 ・田川小学校	【評価と反省】 ・普段から観光ガイドとして活躍しているメンバーだけあって説明も分かり易く、子どもたちの学習を深めることができた。 【今後の方針】 ・学校側の要望を聞きながら対応したい。		○
第22回田川ふれあい文化祭	10月20日	1回	地域事業（文化）	成人	450人	【内容】 ・公民館利用サークル及び個人の作品展示、ステージ発表 ・各種団体による活動紹介（パネル展示） ・田川小金管バンド、丸ノ内中吹奏楽部によるオープニング演奏 ・喫茶、豚汁、綿菓子、ポップコーン等の飲食提供 ・野菜、果物、花の即売会 ・図書委員会による古本市 ・ランチタイムコンサート ・あそびの城（リーダー会企画のゲームコーナー） ・お楽しみ抽選会 ほか 【ねらい】 ・公民館を拠点に活動する団体・サークル等が、日頃の学習成果を発表し合い、地域の文化振興に役立てると同時に、住民相互のふれあいと交流の機会として開催する。	【準備過程】 ・まち協構成団体に五部門委員を加えた実行委員会を組織 【共催団体等】 ・田川地区町会連合会、民児協、町内公民館長会、育成会、健康づくり推進委員会、日赤、ボランティア部、体協、衛生協、防災部、防犯連絡協、五部門委員会、福祉ひろば、地域づくりセンター	【評価と反省】 ・前日の悪天候により、テント設置に右往左往する場面もあったが、実行委員が力を合わせ、臨機に対応することができた。 ・当日は、幅広い世代の住民が来場し、今年も地区文化祭にふさわしい盛り上がりがあった。 ・催事についてはほぼ例年並みだったが、文化委員会によるポスターコンクールのほか、館報編集委員会、歴史文化部によるパネル展示など初めての試みもあり充実していた。 【今後の方針】 ・その場限りの一過性のイベントに終わらせることなく、住民の一年間の活動成果を発信する場として、今後もしっかりと位置付けていきたい。 ・高齢化によるサークルの解散等もあり、出展・出演者が年々減りつつある。呼びかけ方法の工夫やサークル支援の充実など対策を相談していきたい。		
田川健康ウォーキング	10月26日	1回	地域事業（体育）	成人	60人	【内容】 ・地区内のウォーキングコースを歩く。ウォーキング後、公民館のそば打ち講習会（かるやか会）が提供する新そばを楽しむ。 【ねらい】 ・身近な地域を歩くことで、田川地区の自然、歴史文化等への理解を深めるとともに、住民相互の交流や健康増進に役立てる。	【準備過程】 ・福祉ひろばでコース等を設定、公民館で周知、そばの手配など 【共催団体等】 ・福祉ひろば ・子ども会育成会 ・かるやか会	【評価と反省】 ・「かるやか会」メンバーによる新そばのふるまいが毎年好評で、日頃の学習成果を披露する機会にもなっている。 【今後の方針】 ・次年度も実施したい。 ・年々子どもたちの参加が減っているため、周知方法を再考したい。		
男の料理教室	11月12日	1回	趣味教養	その他	14人	【内容】 ・男性を対象とした料理教室。缶詰などを利用し、手軽に作れる料理を実習・実食する。 【ねらい】 ・男性同士の交流を深めるとともに、食と健康を考えるきっかけとする。	【準備過程】 ・住民からの要望で29年度より継続実施 【共催団体等】 ・食生活改善推進協議会	【評価と反省】 ・普段料理をしない男性でも簡単に作ることができるとあって、好評であった。 ・健康面に配慮した低カロリーな献立で、日頃の食生活を見直す機会にもなった。 【今後の方針】 ・参加者の要望も聞きながら、食改と相談していきたい。		○
冬の健康ウォーキング～旧軽井沢散策～	11月23日	1回	福祉健康	成人	37人	【事業内容】 ・旧軽井沢の歴史をテーマに周辺を散策する。 【ねらい】 ・家に閉じこもりがちな冬場の運動機会としてウォーキングを実施。参加者間の仲間づくりと健康増進を図る。	【準備過程】 ・気楽に運動委員会で企画運営 【共催団体等】 ・気楽に運動委員会	【評価と反省】 ・霧雨が降るなかでの散策であったが、ガイド解説もあり、有意義な見学ができた。 ・ウォーキングとしては、もう少し距離を歩いてもよかった。 【今後の方針】 ・気楽に運動委員会で検討する。		
連続講座「明日の幸せくまち」（第7回いきいきサロン）	11月19日 11月26日 12月3日	3回	福祉健康	成人	124人	【内容】 ・地区健康福祉月間に、健康・福祉に関する連続講座を開催する。 ・内容は「生活習慣病とフレイル予防」「いきいき百歳体操体験」「自宅でできる肩こり・腰痛予防」「からだのなかも健康に！」ほか 【ねらい】 ・生活習慣病・介護予防等、健康維持への意識を高め、いつまでも元気に暮らせる地域づくりの一助とする。	【準備過程】 ・中央西地域包括支援センター、日赤、健康づくり推進委員会等で企画を分担 【共催団体等】 ・主催／田川地区まちづくり協議会（サロン部会）、中央西地域包括支援センター	【評価と反省】 ・昨年度から「健康を考える日」「介護予防講座」を統合。関係団体が協力し、一体的に取り組んでいる。 ・各回に連続性がなく、プログラムのばらつきを欠いた。共通テーマを設定しても良かった。 【今後の方針】 ・一方的な周知・啓発とならないよう、住民の意見を十分に取り入れていきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C	S	食育
やしょうまづくり講習会・交流会	12月10日 12月16日 12月17日	3回	地域文化	青少年	118人	【事業内容】 ・田川小1年生の授業支援として、信州の郷土食である「やしょうま」づくりをサポートする。 【ねらい】 ・地域の伝統的な食文化を学び、児童と地域の大人とのふれあいの機会とする。	【準備過程】 ・事前に指導にあたるボランティアを対象とした「やしょうま講習会」（全2回）を実施 【共催団体等】 ・田川小学校	【評価と反省】 ・事前講習会で試作を重ね、当日もスムーズに進行することができた。 ・スタッフの後継者育成が課題ではあるが、若い世代も少しずつ増えている。 【今後の方針】 ・地域の伝統を次世代に伝える機会として、引き続き取り組んでいきたい。	○	○	
町内公民館長・町会役員合同視察研修	12月12日	1回	地域文化	成人	15人	【内容】 ・町内公民館、町会役員等を対象とした視察研修。今年度は、長野県歴史館、森將軍塚古墳館他を見学した。 【ねらい】 ・単位町会を越えた役員間の交流・情報交換とともに、町会自治の充実に向けた学習の機会とする。	【準備過程】 ・町内公民館長会で企画 【共催団体等】 ・主催/町内公民館長会	【評価と反省】 ・準備開始が遅れたため、研修担当による打合せが十分に行えず、例年に比べ参加者の集まりもいま一つだった。 【今後の方針】 ・町内公民館長会の方針によるが、よりテーマ性のある研修を提案していきたい。			
田川もちつき大会	12月15日	1回	地域文化	青少年	110人	【内容】 ・臼、杵を用いた昔ながらのもちつきを体験、実食する。 ・待ち時間を利用して、正月遊び（コマ回し、羽根つきなど）で交流する。 【ねらい】 ・かつては各家庭で行われていた「もちつき」を体験し、日本の伝統文化にふれる機会とする。	【準備過程】 ・子ども会育成会で企画 【共催団体等】 ・主催/子ども会育成会	【評価と反省】 ・今年も100人を越える参加者があり盛況であった。 ・参加した子どもたち全員がもちつきを体験し、伝統文化にふれることができた。 【今後の方針】 ・育成会の方針による。 ・理事の大半にもちつきの経験がなく、行事の継承が課題			
まゆだまづくり講習会	1月6日	1回	地域文化	青少年	25人	【内容】 ・小正月の伝統行事「三九郎」で焼く団子（まゆだま）を作る。 【ねらい】 ・近年まゆだまをスーパー等で購入する家庭も増えるなか、本来の手作りを体験し、郷土の伝統文化を伝える機会とする。	【準備過程】 ・サロン運営委員に講師を依頼 ・田川小学校に周知依頼	【評価と反省】 ・地域の「おばあちゃん」たちから、まゆだまづくりを教わることで、世代間交流の場にもなっている。 【今後の方針】 ・まゆだまの作り方だけでなく、行事の意味やいわれを伝える機会としていきたい。			○
書き初め講習会	1月6日	1回	地域文化	青少年	18人	【内容】 ・冬休み中の小・中学生を対象とした書き初め講習。各々学校から宿題として出された課題字に取り組む。 【ねらい】 ・日本古来の年中行事である書き初めを通して、表現力や集中力、豊かな感性を養う。	【準備過程】 ・公民館で活動する書道師範に講師を依頼 ・田川小学校に周知依頼	【評価と反省】 ・講師の丁寧な指導もあり、皆真剣に取り組んでいた。初めて筆を持つ幼児や低学年の参加もあり、書道に親しむ機会づくりができた。 【今後の方針】 ・次年度も継続。正月の恒例行事として定着させたい。			
文化視察「旧開智学校見学会」	1月18日	1回	地域文化	成人	26人	【内容】 ・旧開智学校校舎が国宝指定されたことを記念し、見学会を行う。 ・ほかに、旧制高等学校記念館、旧山辺学校、教育文化センター（プラネタリウム）を視察 【ねらい】 ・「学都松本」の教育史、学校建築等について学び、郷土に対する理解を深める。	【準備過程】 ・文化委員会で先行等を検討 【共催団体等】 ・文化委員会	【評価と反省】 ・個人ではあまり訪れる機会のない市内の教育施設を見学し、「松本の魅力を再発見することができた」と好評であった。 【今後の方針】 ・文化委員会で検討する。			
田川地区立志式「たがわっこ宣言」	1月25日	1回	地域事業（その他）	青少年	57人	【内容】 ・卒業を控えた小学6年生、中学3年生の児童・生徒らが、「たがわっこ宣言」を読み上げ、将来の夢や抱負を発表する。 【ねらい】 ・人生の節目を迎える子どもたちの門出を地域で祝い、郷土に対する愛着・誇りを育む。	【準備過程】 ・各町会長を通じて対象世帯に呼びかけ 【共催団体等】 主催/町会連合会 共催/民生児童委員協議会、子ども会育成会、地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・今年も多く住民が見守るなか、子どもたち一人ひとりが将来の夢や抱負を発表し、心温まる式典となった。 ・今年は中学生（3年生）の参加がなく寂しかった。周知の徹底が必要だった。 【今後の方針】 ・次年度以降も継続したい。			○
来入学児のお祝い事業「さあ、僕らの仲間になろう！」	1月25日	1回	地域事業（その他）	青少年	90人	【内容】 ・次年度小学校に入学する児童（新1年生）とその家族を招待し、お祝い行事を行う。 ・式典後は、正月遊びやお茶会を通じて上級生や地域の大人と交流する。 【ねらい】 ・未来を担う子どもたちの成長を地域ぐるみで祝い、地域の連帯感を醸成する。また、父母世代の地域デビューの機会を兼ねる。	【準備過程】 ・各町会長を通じて対象世帯に呼びかけ 【共催団体等】 ・主催/田川地区まちづくり協議会 ・主管/楽育事業推進部会協力/丸ノ内中学校	【評価と反省】 ・関係役員のほか、子ども会リーダーや中学生もボランティアとして運営に参加し、地域の一体感が感じられる取り組みになった。 ・対象世帯の大半がマンション・分譲住宅等に住む新住民であるなか、地域とのつながりをつくる上で重要な接点となっている。 【今後の方針】 ・次年度以降も継続したい。			○
食育講座	1月27日 2月17日	2回	福祉健康	成人	28人	【内容】 ・講義及び調理実習を通じて「食と健康」について学ぶ。 ・講師/水野尚子氏（松本大学健康栄養学科・管理栄養士） 【ねらい】 ・「食」について正しい知識を身につけ、健康的な食生活を実践する。	【準備過程】 ・各回のテーマ・内容について講師と打合せ ・実習の準備等は学生アシスタントが担当 【共催団体等】 ・協力/松本大学	【評価と反省】 ※新型コロナウイルスの影響により、第3回、第4回を中止 ・「食」の重要性について理解を深めることができた。講座で学んだことを家庭で実践しているという声も聞かれ、学習効果が感じられた。 【今後の方針】 ・「ためになる」と毎年楽しみにしている受講者も多く、次年度も実施したい。			○

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C	S	食育
読み聞かせ講座	2月18日	1回	子育て	成人	10人	【内容】 ・読み聞かせのワークショップを通じて、発声法や語りのコツ、読み聞かせの際の心構えなどを学ぶ。 ・講師/美咲蘭さん(オフィス蘭主宰) 【ねらい】 ・田川小学校での読み聞かせや「おはなしの会」で活動するボランティアのスキルアップを図るとともに、新たな人材の発掘をねらう。	【準備過程】 ・公民館だよりに掲載のほか、小学校に周知依頼 【共催団体等】 ・協力/田川小学校	【評価と反省】 ※新型コロナウイルスの影響により、第2回、第3回を中止 ・講師の熱心な指導のもと、楽しく学ぶことができた。第2回以降が中止となり、中途半端に終わったのが残念だった。 【今後の方針】 ・ボランティアの輪を広げる重要な機会であり、次年度も企画していきたい。			
みんなで元気に歩こう！ウォーキングラリー	3月1日	中止	スポーツ	成人	中止	【内容】 ・田川公民館から松本城までを歩く。 ・ウォーキング後は、昼食(豚汁の提供)、お楽しみ抽選会で交流を深める。 【ねらい】 ・寒さに負けず元気に外を歩くことで、参加者の健康増進を図る。	【準備過程】 ・体育協会で企画、事前準備等を行う。 ・公民館で周知、横断幕の作成等を担当 【共催団体等】 ・主催/体育協会	【評価と反省】 ※新型コロナウイルスの影響により中止 ・急遽中止が決定し、混乱も心配されたが、体協役員で適切に対応できていた。 【今後の方針】 ・体協の方針による。今後も求めに応じて協力・支援していく。			
たがわっこのつどい(兼 第11回いきいきサロン)	3月24日	中止	地域事業(その他)	青少年	中止	【内容】 ・春休み中の子どもたちを対象としたお楽しみ会。射的、金魚すくいなどのゲームでスタンプを集め、お菓子チケットと交換する。 【ねらい】 ・異年齢交流や行事の運営を通じて、子どもたちの自主性や協調性を養う。	【準備過程】 ・子ども会育成会、サロン部会で企画 【共催団体等】 ・主催/子ども会育成会 ・共催/サロン部会 ・協力/田川児童センター	【評価と反省】 ※新型コロナウイルスの影響により中止 ・実施できなかったが、事前の企画、準備については例年どおり行うことができた。 【今後の方針】 ・育成会、サロン部会の方針による。			
飲んで学べるワイン講座	3月27日	中止	趣味教養	成人	中止	【内容】 ・ワインと料理を楽しみながら、ワインの歴史、ブドウの品種・産地による味の違いなどを学ぶ。 【ねらい】 ・信州の地場産品としても注目されるワインについて学ぶとともに、世代を越えた交流の機会とする。	【準備過程】 ・地区在住の調理師(ソムリエ有資格者)に講師を依頼、内容を相談	【評価と反省】 ※新型コロナウイルスの影響により中止 ・事前の申込状況も好調で、広がりが期待された。楽しみにしている声も聞いていただけに、中止は残念だった。 【今後の方針】 ・今回中止した分、次年度早い時期に企画したい。			
子ども見守り隊	通年	45回	地域事業(その他)	青少年	730人	【事業内容】 ・田川小学校の安心・安全支援の一環として、毎週水曜、揃いのベスト・帽子を着用して通学路を巡回、児童の下校を見守る。 【ねらい】 ・関係団体が協力し地区内を定期的に巡回することで、通学路の安心・安全を確保する。	【準備過程】 ・地区内で不審者情報が相次いだことなどを機に、平成22年度に結成 【共催団体等】 ・田川地区町会連合会、子ども会育成会、主任児童委員、田川小PTA	【評価と反省】 ・町会、育成会、PTA等、関係者らが継続的に取り組み、地域全体で子どもの安全を守る意識が醸成されている。 【今後の方針】 ・今後も継続。具体的な実施方法等については、子ども安全部会で協議			
読み聞かせボランティア	通年	20回	その他	青少年	100人	【内容】 ・田川小学校の朝読書の時間を利用して、地域ボランティアによる読み聞かせを行う。 【ねらい】 ・読み聞かせを通して、子どもたちの豊かな感性を育むとともに、ボランティアの仲間づくりや生きがいつくりを図る。	【準備過程】 ・年度当初に当番日の確認等打合せを行う。	【評価と反省】 ・ボランティア同士、選書や読み聞かせの工夫について情報交換を行いながら、意欲的に取り組んでいた。 【今後の方針】 ・学習資料の提供や講習会の実施等を通じて、活動をサポートしていきたい。			
気楽に運動しよう	通年	20回	福祉健康	成人	353人	【内容】 ・高齢者でも無理なく取り組めるストレッチ体操やニュースポーツ等で気楽に運動する。 【ねらい】 ・定期的に体を動かすことで、運動習慣の定着を図り、地域の健康づくりと仲間づくりを推進する。	【準備過程】 ・公民館だよりで周知 ・運営は気楽に運動委員会が担当 【共催団体等】 ・気楽に運動委員会 ・スポーツ推進課	【評価と反省】 ・毎回笑顔の絶えない講座であり、仲間と楽しみながら、継続的に体を動かす機会づくりができた。 【今後の方針】 ・今後も継続。男性の参加が課題			
パソコン講習会	通年	22回	趣味教養	成人	131人	【内容】 ・パソコンによる文書作成、画像編集、ホームページ制作等を学ぶ。 【ねらい】 ・パソコンの基礎を共に学び、生活・暮らしの向上に役立てる。	【準備過程】 ・地区在住の講師に依頼	【評価と反省】 ・各々がテーマを持って自主的、意欲的に取り組んでいた。 【今後の方針】 ・今年度は学習成果を発表する場がなかったため、次年度は何らかの機会を設けたい。			
かるやか会(そば打ち講習会)	通年	10回	地域文化	成人	85人	【内容】 ・地域の名人からそば打ちを教わり腕前を磨く。 【ねらい】 ・そば打ちを通じて住民同士の仲間づくりと交流を図る。特に団塊世代の男性の参加をねらうもの。	【準備過程】 ・地区在住の講師に依頼	【評価と反省】 ・年々技術も向上し、地区行事(ウォーキング)でそばをふるまうなど充実している。 ・新しいメンバーも定着し、仲間の輪が広がっている。 【今後の方針】 ・次年度も実施していきたい。			
おはなしの会	通年	22回	その他	青少年	76人	【事業内容】 ・地区内や近隣の保育園、児童センター等からの依頼を受けて、読み聞かせ、パネルシアター等の公演を行う。 【ねらい】 ・物語に親しむことで、子どもたちの豊かな情操を育むとともに、ボランティア活動を通じた仲間づくりの機会とする。	【準備過程】 ・毎週水曜、公民館で演目の打合せ・パネル製作・練習等を行う。 【共催団体等】 ・田川おはなしの会(図書委員ほか)	【評価と反省】 ・今年度も地区内外からの公演依頼に応え、活発に活動することができた。 【今後の方針】 ・メンバーのモチベーションも高く、自立的に運営されている。活動の周知等、側面的な支援を充実していきたい。			

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
「たがわの教科書」 発行事業	通年	3回	公民館委員会・各種会議等	青少年	12人	【事業内容】 ・地域学習の基礎資料として、田川地区の自然、歴史、生活文化等を網羅した「たがわの教科書」を編集・発行する。 【ねらい】 ・地区内の歴史資料を収集・整理するとともに、成果品を地域学習に活用し、子どもたちの郷土愛を育む。	【準備課程】 ・まち協理事会で部会員を選出。公民館で事務局を担当する。 【共催団体等】 ・田川地区まちづくり協議会 ・歴史文化部会	【評価と反省】 ・次年度の発行を目標に、編集方針・構成等について協議し、方向性を共有することができた。 ・10月の文化祭では、地域の昭和30年代の写真を展示し、活動をPRすることができた。 【今後の方針】 ・執筆作業と並行し、情報提供や協力を広く呼びかけ、地区全体の取り組みに上げていきたい。		
公民館報の発行	通年	6回	公民館委員会・各種会議等	その他	—	【内容】 ・公民館報「田川版」（年6回）を編集・発行する。 【ねらい】 ・住民自らが編集する公民館の機関紙として、公民館活動を記録するとともに、地域を学ぶ学習素材を提供する。	【準備過程】 ・各月の館報編集委員会にて紙面内容を検討 【共催団体等】 ・館報編集委員会	【評価と反省】 ・田川地区の特色ある活動を紹介するコーナー「ENJOY!たがわ」の連載開始、秋の文化祭では、初のパネル展示を行うなど、充実していた。 【今後の方針】 ・編集委員と協力し、住民の関心に応えられる紙面づくりに努めていきたい。		
五部門委員会	通年	28回	公民館委員会・各種会議等	その他	232人	【事業内容】 ・運営、館報、図書・視聴覚、体育（気楽に運動）、文化の五部門委員会により、公民館事業の企画・運営、評価等を行う。	【準備課程】 ・各部門ごとに随時開催	【評価と反省】 ・委員の改選もあつたなかで、いくつかの新規事業もあり、各部門とも活発であった。 【今後の方針】 ・従来の枠組みにこだわらず、地域課題や住民の学習要望をふまえながら、より弾力的に活動を展開していきたい。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	
<ul style="list-style-type: none"> ・庄内地区で活動している様々な団体との連携を重視し、黒子として各事業の実施に協力した。 ・公民館利用者の要望に沿った講座の開催を行った。 ・庄内地区最大のイベントである「ドリーム庄内”秋のつどい”」は、引き続き防災運動会を実施。地区への定着を目指すと共に、地域の結束、団結、顔の見える関係の構築を図っていく。 ・庄内地区公民館が、大勢の住民に気軽さを持って利用いただける場所となるよう、館内の展示や掲示物の管理、事務所においても接遇を意識する等、全体的なよい雰囲気作りに努めた。 ・公民館稼働率が高く、貸館業務も大きなウエイトを占めている。大勢の利用者が気持ちよく公民館を使えるよう、館内の設備品等の維持管理の徹底、新規貸館希望者に対するパンフレット配布を行った。 	
評価・反省等	
<ul style="list-style-type: none"> ・講座及び事業に関しては、庄内地区公民館独自のものは少なく、大半が地域団体との共催である。地域住民との連携という面を引き続き重視していきたい。 ・公民館の貸館申請者は、地域住民だけでなく他地区や他自治体の団体も大勢いる。そのため、いわゆる地元の住民が「気軽に」、「いつでも」公民館を使える状況ではなくなっている。今後は、その点が改善できるよう、公民館の独自性を探っていきたい。 	

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議員等
	平人和権	福健社康	子育て	環境	文地化域	教趣養味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数			6	2		1		1	2	1	6	4	8
延べ参加人数			465	278		53		400		52	1849	734	330

	CS	食育
事業数	3	1
延べ参加人数		380

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
信州小谷村 自然観察講座	5月29日	1回	環境	成人	24人	【内容】 緑広がる大自然の中を散策し、現地ガイドの案内で野草の講習や北アルプスの名前を覚える。 【ねらい】 山に関する学習だけでなく、起伏のある斜面を歩き、運動不足解消も兼ねる。	【準備過程】 小谷村担当者と連絡を取り、当日の打ち合わせを実施。	【評価と反省】 参加者からは、大自然の知識や見聞を深めることができ、山地を歩くことで適度な運動になったとの意見を頂く。次回も開催してほしいとの要望が出るなど好評であった。募集もすぐ定員を満了す等、事業が地域に浸透できている。 【今後の方針】 今後も公民館事業として継続していく。		
庄内地区やまびこ子どもまつり テーマ「咲かせよう笑顔ときずなの花」	7月20日	1回	地域事業(文化)	青少年	500人	【内容】 庄内地区の子ども達を対象にした夏祭り。子供たちの希望を汲んだ大人の模擬店や様々な体験コーナーを設けるもの。 【ねらい】 模擬店や各種イベントを行い、子ども達に一夏の思い出を残す。	【準備過程】 庄内地区子ども会育成会が主催。地域のリーダー的な存在である町会青年会、庄内盛々会等の協力・支援を得て準備を行った。 【共催団体等】 子ども会育成会	【評価と反省】 開催時間が半日と短い間であったが、子ども達は充実した時間を過ごしていた。思い出作りは、地域づくりの核として、携わる大勢の団体に認知されている。 【今後の方針】 少子化が問題となっている時代であるからこそ、子ども達が関わる事業を継続させ、いずれ地域に戻ってくる人材育成を継続していく。		
やまびこ子ども会お泊り合宿	8月9日～8月10日	1回	地域事業(その他)	青少年	16人	【内容】 庄内地区子ども会育成会が学校を通じて募集した地元小学校(並柳小、筑摩小)の5～6年生が、公民館に一泊する。 【ねらい】 付き添いとして大人も行動を共にするが、あくまでも小学生に決め事や運営を任せて共同生活をさせることで、主体性を養う。2校の児童をできるだけ混在させた班編成をすることで、普段と違う交友関係の構築も目指す。また、今回は防災機材の組み立て体験を行い、防災啓発の一環を兼ねた。	【準備過程】 収容人数に制限があるため、5～6年生対象を絞った。食事作りや集団行動のルール等活動のほとんどを児童に任せた。今回、育成会と他団体との連携を強化することを目的に、公民館長会の参加を要請した。 【共催団体等】 子ども会育成会 庄内地区町内公民館長会	【評価と反省】 H30年に参加者減少を理由に事業を廃止したが、多数の小中学生から復活を望む声があり、今回事業再開となった。食事作りや集団行動のルール等活動のほとんどを児童に任せた。今回、育成会と他団体との連携を強化することを目的に、公民館長会の参加を要請した。 【今後の方針】 子ども達が参加しやすい企画を検討していく。また、公民館側からも何か良い案があれば提案していく。		
「タイムカプセル開封」事業 ～「10年後20歳の私」に贈るメッセージ～ (やまびこ子どもまつり事業)	7月21日	1回	地域事業(文化)	青少年	120人	【内容】 やまびこ子どもまつりの一環として、H29年度まで地元小学校(並柳小/筑摩小/源池小)の5年生が「10歳の私から10年後20歳の私へ贈るメッセージ」を作成。 H30年度からは、開会式の中で新成人2名に当時のメッセージを朗読してもらう。 【ねらい】 子ども達の思い出づくりの一環。地域への愛着を持たせる。	【準備過程】 庄内地区子ども会育成会が主催。タイムカプセルは公民館内に保管。 【共催団体等】 子ども会育成会	【評価と反省】 子どもたちは、当時のメッセージを朗読する新成人の姿を見て、大人になることの意味を感じ取っている様子であった。思い出作りや地域への愛着といった気持ちも育まれているのではと判断する。 【今後の方針】 H30年度よりタイムカプセルを開封し、メッセージを郵送していく。(封入事業は終了)		
水難講習会 (庄内盛々会主催)	9月14日	1回	地域事業(その他)	成人	7人	【内容】 海や川で溺れた時に命を守る行動や、溺者救助における危険性と安全対策について学ぶもの。 【ねらい】 水難時における考え方や、具体的な技術を取得する。	【準備過程】 庄内盛々会主催。公民館側は、講師(日本赤十字社)の派遣要請を行った。会場は、開成中学校に依頼し、プールの使用許可を得た。 【共催団体等】 庄内盛々会、開成中学校	【評価と反省】 参加者では、講師指導のもと、着衣のままプールに飛び込み、実際に泳いでみるなど、命を守る行動について具体的に学習することができた。また、身近にある浮力のある物を流用する等、日常生活品を用いる術についても学ぶことができた。 【今後の方針】 本講座を継続していくかどうか検討していく。		
ドリーム庄内 “秋のつどい” (実行委員会・企画運営委員会、運営団体会議)	10月20日	1回	防災	その他	400人	【内容】 庄内地区最大のイベントである「ドリーム庄内 秋のつどい」は、その年ごとにテーマを決めて企画を検討し、イベントを開催するが、H28年度から「防災運動会」をテーマに数年継続して行うこととなっている。 運動会競技種目は防災にちなんだものや、一般の運動会競技も織り交ぜられている。 同時に消防車両展示や、消防団の運動会種目参加等、防災意識の啓発や、消防団員活躍の場をつくる。 屋食は地元団体の協力でカレーの配食サービスを実施。 【ねらい】 地域の結束、団結、顔の見える関係の構築を目的とする。	【準備過程】 町会連合会、町内公民館長会、公民館5部門委員会、育成会、地元の青年会及び盛々会等のメンバーで企画運営委員会を開催し、運動会の具体的な立案を行う。 実行委員会において企画運営委員会におけるプランの承認を頂き、実行に移した。実行委員会は、庄内地区内のほとんどの団体が参加しており、各代表が会議に出席した。 各小中学校の演奏依頼をかけ、当日スムーズな運営ができるよう調整会議も実施した。	【評価と反省】 これまではマンネリ化を防ぐ目的で前年と異なる企画で開催していたが、ドリーム庄内が地域に定着できていないという反省も浮き彫りになっていた。H28年度より、開催日の固定、運動会形式の事業、テーマを防災にちなむものにするとの方向性が出された。 必要最小限にして十分な会議の開催、分かりやすい資料の作成等に配慮しつつ、委員会における自由闊達な意見の場を作る事に重きを置いた。 また、地元小学生から「防災知識を」ドリーム庄内に覚えたい」といった声がある等、着実に浸透してきている。 【今後の方針】 来年度も防災運動会を継続していく方向である。運動会種目を固定化することで、運営側の負担を減らしていくことも検討していきたい。		
庄内地区「三九郎講習会」	12月1日	1回	地域事業(文化)	青少年	199人	【内容】 地域の伝統行事である三九郎を、子ども達(親含む)で実施できるよう、三九郎のやぐらの建て方の講習会を開催するもの。 【ねらい】 三九郎が子どもの行事として自らが主体的に運営できるようになることを目的とする。また、親世代にも技術の伝承を図るもの。	【準備過程】 庄内地区子ども会育成会が主催。講師の手配、公民館内に保管された三九郎資料を隣接の空き地にセッティングする等の準備に協力した。 【共催団体等】 子ども会育成会	【評価と反省】 かつては誰でも作れたという三九郎も、現在はしっかりとした講習を行わないと行事が実施できない状況である。講師の手配、公民館内に保管された三九郎資料を隣接の空き地にセッティングする等の準備に協力した。 【今後の方針】 伝統行事の継承を目的に、今後も継続していくもの。		
庄内地区公民館新春落語講座	1月16日	1回	趣味教養	成人	53人	【内容】 プロの落語家をお招きし、地区住民に新春のお楽しみとして落語に親んでもらう。 【ねらい】 日本の伝統文化を地区住民に体験してもらい、文化教養の向上を図る	【準備過程】 落語家の世話や段取り等については松本落語会に協力を要請。公民館側は告知や会場準備を行う。 【共催団体等】 松本落語会	【評価と反省】 参加者は落語の世界に取り込まれ、楽しいひと時を過ごしており、伝統文化に親しんで頂けたと判断する。昨年度は参加者数が少々伸び悩んだが、事業の浸透により大勢の来場者にお越し頂けた。 【今後の方針】 公民館の定番事業として継続していく。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
サークル活動支援 (利用者懇談会)	2月20日 2月21日	4回	公民館委員会・各種会議等	成人	92人	【内容】 主に庄内地区公民館を利用する団体を対象に懇談会を開催し、相互の意見交換や公民館側からの利用上のお願いについて説明の場を設けるもの。 【ねらい】 庄内地区公民館は稼働率が高く、非常に大勢の団体に利用頂いている。誰もが気持ちよく公民館を利用して頂くため、使用上の注意や駐車場不足の解消に協力してもらおう等の話し合いの場をつくる。	【準備過程】 利用団体に対して庄内地区公民館利用にあたってのパンフレットを作成した。 【共催団体等】 なし	【評価と反省】 各団体に対して公民館からのお願いについてご理解頂いた。日頃感じている疑問点や改善点等に関する意見が出される等、お互いが何でも話し合える懇談会となった。 【今後の方針】 庄内地区公民館を利用する団体は年々増加している。懇談会を継続していくと共に、パンフレット等の説明資料整備に力を注いでいきたい。		
中信にほんごひろば	4月～3月	48回	地域事業(その他)	その他	700人	【内容】 外国由来の子ども達や大人を対象にした日本語教育を行うもの。 【ねらい】 庄内地区近隣に住む、日本語を母語としない子どもへの日本語学習支援を通して、多文化共生社会の実現に向け、外国籍の方々との交流を図る機会とする。	【準備過程】 NPO法人「中信多文化共生ネットワーク」に所属する「中信にほんごひろば」が運営主体となり、地域(並柳地町会)とも連携して、2つの会場を設定し取り組む。 【共催団体等】 中信にほんごひろば	【評価と反省】 学習者それぞれの都合で毎回参加人数にバラツキはあるが、通年多くの参加者があった。24年度以降、並柳地町会と連携し、町内公民館を会場に出前講座的に実施しており、団地在住の外国由来の住民を対象とした身近な「にほんごひろば」として取り組みができています。 【今後の方針】 本事業は日本と外国由来の方々とのつながりを生み育てるためのものであるため、継続を図るだけでなく、NPOとの連携も強化していきたい。		
筑摩小学校コミュニティスクール事業	4月～3月		子育て	青少年		【内容】 地域住民を講師に招き、様々な学習の場を展開。 例：朗読学習、英会話学習、ダンス体験、畑作、稲作 【ねらい】 様々な分野の体験をさせることで、子供達の可能性を広げる	【準備過程】 地区公民館は、地域住民と学校のパイプ役となり、様々な講師をコーディネートする 【共催団体等】 かえでの会、EGメイプル、地域住民等	【評価と反省】 事業内容は概ね定番化しており、安定した教育の場を作ることが出来ている。 【今後の方針等】 現状を維持し、可能であればその年ごとに特色ある学習の場を検討していく		
並柳小学校コミュニティスクール事業	4月～3月		子育て	青少年		【内容・ねらい】 あいさつ運動等を通じて児童がいきいきとした学校生活を過ごせるような雰囲気を作っていく。また、様々な事情を抱えた児童らの見守りや教職員の負担を、地域ボランティアの力を借りて支えていく	【準備過程】 地区公民館は、地域住民と学校のパイプ役となり、様々な講師をコーディネートする 【共催団体等】 地域住民、民生委員等	【評価と反省】 様々な地域ボランティアとのコーディネートが上手く機能でき、学校に地域住民が関われる素地ができてきた 【今後の方針等】 引き続き、地域と学校のつながりを維持していく		
開成中学校コミュニティスクール事業	4月～3月		子育て	青少年		【内容】 生徒が地域での清掃活動を行う「開成タイム」を主に実施している。また、今年度は地元関係町会で構成された「避難所運営委員会」との協同による一泊二日の「避難所体験」を実施した。 【ねらい】 生徒が地域に出て活動することで、地域住民と関わり合いを持つ場を作っていく。また、防災についての見識を深めることも目的とする【防災】	【準備過程】 地区公民館は、地域住民と学校のパイプ役となり、様々な講師をコーディネートする。 地元関係町会による「避難所運営委員会」に対しても、学校と協同での運営について協力を求めた。 【共催団体等】 ゆめひろば庄内避難所運営委員会	【評価と反省】 これまではいわゆるできる範囲での活動が中心だったが、R1年度からは積極的に生徒が地域で活動し、自分たちで体験し、考え、それを発表していく場を作った。特に避難所体験は、子ども達にとって災害や防災について考えるよい機会になったと判断する。 【今後の方針等】 学校側と密接に関わり、生徒が地域に出て学習できる環境を整うよう協力体制を構築していく。特に避難所体験は地元住民との協力体制が不可欠である。引き続き、両者をコーディネートしていくもの。		
庄内ちびっこひろば (子育て委員会)	5月～2月 (毎月第3火曜)	10回	子育て	青少年	380人	【内容】 地域に住む就園前の子と親を対象に、集い・交流・情報交換・相談等の活動を展開する。 【前期】親子体操、野菜収穫体験 【後期】人形劇、クリスマスコンサート 【ねらい】 未就園児の親子を対象に、子育てへの関心と理解、親子の絆を深めることを目的とする。	【準備過程】 公民館5部門委員会のひとつである「子育て委員会」が中心となり、地区内在住の子育て関連の有資格者、読み聞かせサークル、子育て経験者等を講師にお招きし、質の高い育児体験が行えるよう企画内容や運営方法を検討した。	【評価と反省】 未就園児と親とのかけがえのない思い出作りができた。 最終回にアンケートを実施し、内容の検討を行い、次年度に活かしている。また、「親同士が話し合う場」としての機能も充実してきた。昨年度まで懸念されていた、参加申込数がそのまま参加者数に繋がらなかった点は、解消されつつある。 また、昨年まで行っていた「庄内ゆめひろばクリスマスコンサート」を、事業見直しの一環として、ちびっこひろばのクリスマスコンサートに統合した。 【今後の方針】 来年度より子育て委員会と図書・視聴覚委員会が統合されること、委員の入れ替えが発生している。現在の実績と効果をそのままに、新たな運営方法を模索していく。		
よみかせ おはなし「ゆめの会」	5月～3月 (毎月第2火曜)	9回	子育て	青少年	85人	【内容】 図書コーナーを利用した月1回の「おはなし」の会を開催。絵本の読み聞かせの他、手あそび、仕掛け絵本、紙芝居等も用いる。オープニングとエンディングとして、メンバーで手合わせ歌を実施し、雰囲気を盛り上げる。 ※ゆめの会は、図書委員と地元で活動する読み聞かせサークルの有志で結成し、運営しているもの。 【ねらい】 未就園児に対する絵本の読み聞かせの経験は成長の上で重要である。子どもはもちろん、親世代にも重要性を認知してもらおうもの。	【準備過程】 図書コーナーに暗幕を設置したり、大勢の親子が集えるようイスの配置に工夫を凝らしたりして、雰囲気作りにも趣向を凝らした。 公民館工作室を楽屋とし、メンバーが事前にリハーサルや打ち合わせを行った。 【共催団体等】 おはなしボランティア「ゆめの会」	【評価と反省】 広報手段は主に公民館ニュースとロコミのみであるため参加者数に幅はあるが、多いときは10組以上の親子連れが参加している等、地域への認知度は広まっていると判断する。スタッフには読み聞かせ初心者もいるため、それぞれの技術の向上も図られている。 【今後の方針】 今後も事業を継続し、地域への定着性を高めると共に、親子世代への学習の場を作っていくもの。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
弘法山古墳桜まつり	桜まつり期間 4月1日～ 4月19日 さくら音楽祭 4月14日	1回	地域事業(文化)	その他	1,000人	【内容】 地域資源(宝)である弘法山古墳を活用した地域の春祭り。 桜開花期間中は弘法山の山道のライドアップを行う。また、開花(満開)時期に合わせて、桜まつりオープニングセレモニー及びさくら音楽祭を開催。春の始まりと共に地域の音楽団体による演奏で、来場者に季節感を味わってもらおう。 【ねらい】 県内外から桜の名所として認知が進む弘法山の桜を活用し、春まつりを行うことで地域の活性化を図る。	【準備過程】 主催は弘法山古墳桜まつり実行委員会(並柳商工会主体)。 公民館側は事務作業、広報活動等を支援。 【共催団体等】 弘法山古墳桜まつり実行委員会	【評価と反省】 桜開花期間中の弘法山は大勢の見物客で賑わい、地域の活性化に繋がっていると判断する。 【今後の方針】 様々な事情により、弘法山古墳桜まつりは今年度をもって取りやめとなった。 課題として残されていた桜開花中の弘法山周辺の交通渋滞は、地元有志によるボランティア組織「弘法山古墳を愛する会」を新たに立ち上げ、期間中の看板設置等に取り組むこととなった。		
マレットゴルフ交流会	5月14日 11月27日	2回	地域事業(体育)	高齢者	52人	【内容】 誰もが気軽に取り組めるマレットゴルフを通じた運動の場を、主に65歳以上の地区住民を対象に開催。 今回はさらに人権啓発施設への見学も取り入れた。 【ねらい】 健康増進や体力づくりを通じて健康寿命の延伸を図るだけでなく、退職後の男性の社会参画及び退職後の生きがいづくりの一環とするもの。 今年度は、人権啓発活動についても併せて行う。【人権平和】	【準備過程】 複数の町会住民の有志が中心となり、会場選定や事務作業等といった企画立案を全て行う。公民館側はそのサポートに徹する。	【評価と反省】 高齢者の老後の生きがい、趣味、健康増進の場として有効に機能している。特に高齢男性は家に引きこもりがちであるため、この事業をきっかけに外へ出る機会を作ることができている。また、今回は人権啓発施設への見学を合わせて実施。単なるスポーツに終わらない活動を展開できた。 【今後の方針】 今後も継続していくもの。		
弘法山古墳桜まつり各コンクール ・さくら絵画コンクール『入選作品展』 ・さくら写真コンクール『入賞作品展』 ・さくら短歌大募集『入選作品展』	コンクール表彰式 6月2日 作品展 6月3日～ 7月1日	1回	地域事業(文化)	その他	1,000人	【内容】 地域資源(宝)である弘法山の桜を題材にした各種コンクールを開催。入選作品を公民館内に展示したり、次年度のポスターへの使用等を行うもの。 〈さくら絵画コンクール〉 地元小学生、さくら保育園児対象 〈さくら写真コンクール〉及び 〈さくら短歌大募集〉 一般公募 【ねらい】 県内外から桜の名所として認知が進む弘法山の桜を活用し、一般住民も参加できる企画を行い、地域の活性化を図る。	【準備過程】 主催は弘法山古墳桜まつり実行委員会(並柳商工会主体)。 公民館文化委員会、子ども会育成会、地元小学校の協力を得ながら館内に作品を展示した。 【共催団体等】 弘法山古墳桜まつり実行委員会	【評価と反省】 令和元年度の実績は次のとおり 絵画応募総数928点、特選33点 写真応募総数87点、特選16点 短歌応募総数188首、入選57名 弘法山古墳の桜は各メディアに取り上げられ、世間からの注目を増している。そんな中、上記のように各コンクールに多数の応募があったことは、地元住民はもちろん、地区外からも地域資源(宝)の活用がなされていると判断する。 約1か月の作品展では、大勢の来館者が作品を観覧していった。 【今後の方針】 今年度で桜まつりが取りやめとなる。当該事業については、「さくら絵画コンクール」を公民館事業として引き継ぐもの。		
庄内ほたると水辺の会 「庄内ほたる観察会」 「生き物観察会」 (庄内ふるさと『ほつと』)	7月6日 8月6日	2回	環境	その他	254人	【内容】 「ほたる」も「すめるよい自然」をテーマに、動植物の学習会や実地体験や観察会を行うもの。 【ねらい】 かつて、どこにでもいたほたるを保護する活動から、変遷する地域やそこに暮らす人々の暮らし、自然環境を学びながら、地域の状況や課題に目を向けていく機会とする。	【準備過程】 「庄内ほたると水辺の会」が主催。会長である藤山静雄元信州大学名誉教授を中心に、「庄内北公園」内にある水路の維持管理を実施し、ほたるの生息地を守った。 【共催団体等】 庄内ほたると水辺の会	【評価と反省】 この催しも地元住民を中心に定着してきた。近年は、ほたるの保護活動を通じて知り合った他市県からの参加者も増えている。観察会は年々親子参加が増え、ほたるだけでなく、自然環境全般への関心を深める機会となった。 【今後の方針】 自然環境について考える良い機会であるため、今後も継続していくもの。		
子育て委員会及び図書・視聴覚委員会共同講座 「絵本を通じて考える子どものしあわせと地域の絆」	8月30日 9月6日 9月13日	3回	子育て	その他		【内容】 両委員会が共に「育児」について共通する点があることから、共同による講座開催を企画。 赤十字乳児院所属の専門家をお招きし、絵本を通じて育児の重要性等について学ぶもの。 【ねらい】 乳幼児期における親子のふれあい、絵本を通じて親子の絆の大切さ、さらに里親制度の現状等について、子育て世代に理解を深めてもらうもの。	【準備過程】 通常の委員会活動に合わせた本企画の計画を立案。 公民館側は主に赤十字乳児院との連絡・調整を行った。	【評価と反省】 現代は何かとスマートフォンに頼った育児をしたたり、親がスマートフォン依存で育児がおろそかになりがちになる等、子供に愛情を注ぐ時間が減っていることが危惧されている。参加者がそういう点を知り、学び、育児に活かす機会を作れたこと自体が大きな成果だったと判断する。 【今後の方針】 子育て委員会の「ちびっこひろば」の企画に組み込めるかどうかについて検討する。		
子育て委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	青少年	36人	【内容】 地域に住む就園前の子と親を対象とした子育て講座「ちびっこひろば」の企画、運営を行う。 また、今年度は図書・視聴覚委員会との共同講座「絵本を通じて考える子どもにしあわせと地域の絆」を実施した。 【ねらい】 「ちびっこひろば」を通じて、子育て世代の親子の絆を深めたり、同世代の親通しの交流を育むことを目的とする。	【準備過程】 委員が年10回行われる「ちびっこひろば」の企画を検討し、消耗品の購入や出演者の依頼等を行う。	【評価と反省】 ちびっこひろばの企画や運営方法を試行錯誤した結果、参加者数の増加につながった。(詳細はちびっこひろばの項目を参照されたい) また、図書・視聴覚委員会との共同講座が実現できたことは、委員にとっても大きな達成感に繋がった。 【今後の方針】 ちびっこひろばは継続していく。今年度、図書・視聴覚委員会が、様々な事情により事業継続が困難となったため、来年度から子育て委員会と統合することとなった。子育て委員会内に「ちびっこひろば部門」と「図書部門」を作り、活動を展開していく。		
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	94人	【内容】 館報庄内版の企画・編集・発行。 【ねらい】 単なる「地域で起こったことの報告」で終始するのではなく、常に地域の課題について問題提起を図っていくことを目的とする。	【準備過程】 公民館長の委嘱者、町内公民館長会からの選出者、公民館5部門委員会の長等から選出。偏りのない話題作りができる体制を整えている。	【評価と反省】 自由闊達な意見交換をする上で必要にして十分な委員体制を構築できたため、編集委員からは「楽しかった」、「充実できた」という前向きな意見を頂くことができた。 【今後の方針】 あらゆる視点からの情報が集約・交換ができる体制を構築することが課題		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
図書・視聴覚委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	28人	【内容】 蔵書一般貸出の運営・整備（新刊図書（毎月1回）への協力をを行う。今年度は子育て委員会との共同での講座「絵本を通じて考える 子どもに合わせと地域の絆」を実施した。 【ねらい】 主に未就園児の親子や小学生を対象にした図書・視聴覚に関する学習を行う。委員自身も講演会や視察研修等に参加し、見聞の拡大を図る。	【準備過程】 地元小学校で読み聞かせ活動をする母親ほか、図書活動に興味をもつ者で構成。	【評価と反省】 公民館図書コーナーの蔵書や「ゆめの会」への支援は充実している。今年度は、図書を通じた講座の計画を立案、来年度に向けて準備を行った。 【今後の方針】 図書・視聴覚委員会は、様々な事情により事業継続が困難となったため、来年度は子育て委員会と統合することとなった。		
文化委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	74人	【内容】 公民館1Fロビーに、伝統行事・年中行事など、四季折々を感じる展示を実施。 【ねらい】 地域住民がほっとできる場づくりを目指す。	【準備過程】 公民館内に格納されたお雛様、鯉のぼりと合わせた伝統品を季節に合わせて展示する。地元から竹や松を頂き、七夕飾りや松飾りを作る等の独自の作品も展示する。	【評価と反省】 季節に応じた展示ができ、利用者の「ほっと」する場が演出できた。来館者の中から展示に関する質問や意見が出される等、確実に注目を浴びている。また、心安らぐ空間として、展示を楽しみにしているという利用者の声寄せられた。企画展示への地域住民（団体）の参加をより一層呼びかけていきたい。 【今後の方針】 今後も事業を継続していくもの。		
公民館の明日を語る会（公民館運営委員会）	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	6人	【内容】 公民館の運営や改善、事業内容の企画・立案等、公民館の明日を語る場として、肩の張らない自由な雰囲気話し合いの場を持つ。ドリーム庄内「秋のつどい」の方針も検討する。 【ねらい】 庄内地区の各団体・委員会の責任者が集い、公民館運営の充実を図る。	【準備過程】 地域のリーダーとして地区内外で活躍し、かつ公民館活動に意欲・興味を持つ者で構成。	【評価と反省】 委員会は5部門委員長や各団体の長で構成されているため、様々な視点による意見交換が行えている。ただし、近年はドリーム庄内の企画立案に偏りがちだったため、委員からも改善すべきの声が上がっている。 【今後の方針】 ドリーム庄内が今後数年間は「防災運動会」を継続することが決まっていることから、本来の自由闊達な意見交換の場としての機能を充実させていきたい。		
庄内盛々会（子ども・環境をキーワードにした活動）	通年		公民館委員会・各種会議等	成人		【内容】 盛々会とは、縦割りの息苦しさから脱却し、横のつながりを重視した自由な組織である。やまびこ子どもまつりやドリーム庄内等のイベントに積極的に参加し、地域を楽しく盛り上げている。 【ねらい】 人と地域をつなげる企画や活動だけでなく、従来の枠にとらわれない新しい視点の地域づくりを目指している。	【準備過程】 不定期で例会を開催し、会員それぞれの思いや提案を出し合い、学習会を経て企画・事業化、実践をしている。	【評価と反省】 肩ひじ張らない自由な雰囲気の中での話し合いは、会員の素直な考えを引き出す場となっている。提案された企画は、地域団体と共催することで更なるひろがり、つながりを作っている。 【今後の方針】 地元住民の地域に対する“想い”から生まれた活動を、今後も支援したい。		
図書コーナーの充実（図書貸出と整備）	通年		公民館委員会・各種会議等	青少年		【内容】 児童書・絵本、国際交流、郷土関係などの本を設置し、利用者への一般貸出を行っている。また、新聞記事の切り抜きや防災や地域情報に関するパネルを設置 【ねらい】 本やパネルにより、来館者の学習機会の向上や意識啓発に努める。	【準備過程】 図書委員及び地元小学校で活動する読み聞かせグループの協力により整備。読み聞かせ講座や図書委員による選書作業により図書の充実を図ってきた。	【評価と反省】 図書コーナーでは、大型絵本や紙芝居を使っている読み聞かせをしている親子の光景をよく見かける。父親の姿も多くみられ微笑ましい空間となっている。また、子育て親子の井戸端会議的空間としても利用されている。 【今後の方針】 今後も継続していきたい。		
公民館1Fロビーの充実	通年		その他			【内容】 庄内地区公民館は複合施設「ゆめひらば庄内」の1Fにある。大勢の人が行き来する1Fロビーに、文化委員会の展示活動とは別に、一般市民による伝統品の展示、ディスプレイを設備してDVDの上映を行う。 【ねらい】 入館される方に、展示やDVDを通じた情報発信、啓発活動を行う	【準備過程】 一般市民に対し、所有している伝統品の展示について呼び掛ける。DVDは、市広報映像や地元有志のチャリティーコンサートの収録映像等を頂く。	【評価と反省】 体育館、トレーニングジム、プールで運動を終えた方々や、子連れ親子等が、ちょっと一息つくロビーにて、映像視聴や作品を鑑賞している。ちょっとした情報発信に過ぎないが、市全体の広報手段としても有効であると判断している。 【今後の方針】 今後も情報発信を続けていくもの。		
公民館ニュース	通年	12回	その他	成人		【内容】 毎月の市広報誌の配布に合わせ、庄内地区全戸に公民館事業を周知する。 【ねらい】 公民館の情報を広く住民に周知する	【準備過程】 公民館職員にてチラシを作成。	【評価と反省】 講座、行事等の周知に有効であるため、今後も続けていきたい。 【今後の方針】 周知活動は今後も継続していくが、配布物の増加は町会の負担につながるため、資料は分かりやすくかつ必要最小限を基本に、配布物削減にも取り組みたい。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針】

地域の魅力を再認識できるような事業を展開し、帰属意識の熟成による地区の一体感の創出や地域コミュニティの推進を図る。

【重点的に取り組んだ事項】

- 1 平成29年度に取りまとめた鎌田お宝マップを活用した「鎌田お宝講座」の定期的な開催
- 2 公民館委員会の活性化
 - (1) 公民館委員の一般公募
 - (2) 平成30年度に新たに組織した「運営委員会」と「スポーツ委員会」が主催する事業の展開
- 3 公民館委員会主催で様々なジャンルの講座を開催することで委員会の主体性を高める。
- 4 伝統文化の伝承
 - (1) 松本一本ねぎを用いた食育講座
 - (2) 子どもを対象とした「松本の年中行事講座」や成人を対象とした「松本の伝統行事講座」の開催
- 5 松本版コミュニティスクール事業の支援
 - (1) 学校と地域が連携・協働し双方向から学校づくり、地域づくりを進めるために地域住民が楽しく交流できる機会の創出を図る。
 - ア 松本の七夕人形づくり（鎌田小学校）
 - イ 地域出前講座（信明中学校）
 - (2) 子ども達が地域の行事や活動に参加する機会の創出を図る。
 - ア KMDタイム(総合的な学習の時間)（鎌田中学校）
- 6 鎌田小学校と開明小学校の両校に通う地区児童の交流促進を図る。

評価・反省等

- 1 新組織委員会による新規の講座開催など、委員会の主体性を高めながら充実を図っていききたい。
- 2 コミュニティスクール事業については、鎌田中学校が取り組む「KMDタイム(総合的な学習の時間)」など地域住民が交流できる機会の創出にむけて、学校側と連携を深めながら充実を図りたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等
	平人和権	福健社康	子育て	環境	文地化域	教趣養味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数	6	5	6		10	1	4	1	1		2		3
延べ参加人数	748	555	1,223		270	123	118	22	179		292		274

	CS	食育
事業数	3	1
延べ参加人数	954	63

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針】

地域の魅力を再認識できるような事業を展開し、帰属意識の熟成による地区の一体感の創出や地域コミュニティの推進を図る。

【重点的に取り組んだ事項】

- 1 平成29年度に取りまとめた鎌田お宝マップを活用した「鎌田お宝講座」の定期的な開催
- 2 公民館委員会の活性化
 - (1) 公民館委員の一般公募
 - (2) 平成30年度に新たに組織した「運営委員会」と「スポーツ委員会」が主催する事業の展開
- 3 公民館委員会主催で様々なジャンルの講座を開催することで委員会の主体性を高める。
- 4 伝統文化の伝承
 - (1) 松本一本ねぎを用いた食育講座
 - (2) 子どもを対象とした「松本の年中行事講座」や成人を対象とした「松本の伝統行事講座」の開催
- 5 松本版コミュニティースクール事業の支援
 - (1) 学校と地域が連携・協働し双方向から学校づくり、地域づくりを進めるために地域住民が楽しく交流できる機会の創出を図る。
 - ア 松本の七夕人形づくり（鎌田小学校）
 - イ 地域出前講座（信明中学校）
 - (2) 子ども達が地域の行事や活動に参加する機会の創出を図る。
 - ア KMDタイム(総合的な学習の時間)（鎌田中学校）
- 6 鎌田小学校と開明小学校の両校に通う地区児童の交流促進を図る。

評価・反省等

- 1 新組織委員会による新規の講座開催など、委員会の主体性を高めながら充実を図っていききたい。
- 2 コミュニティースクール事業については、鎌田中学校が取り組む「KMDタイム(総合的な学習の時間)」など地域住民が交流できる機会の創出にむけて、学校側と連携を深めながら充実を図りたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等
	平人和権	福健社康	子育て	環境	文地化域	教趣養味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数	6	5	6		10	1	4	1	1		2		3
延べ参加人数	748	555	1,223		270	123	118	22	179		292		274

	CS	食育
事業数	3	1
延べ参加人数	954	63

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	
<p>【松南地区公民館重点目標】</p> <p>①松南地区らしい地域づくりの創造に向け、町内公民館を活用した多世代参加型地域共生コミュニティづくりを目指し、住民自治と地域連携の育む学習機能の充実を図る。</p> <p>②人権、平和、子育て、健康福祉、環境、食と農に至るまで、日常の暮らしの中の悩みや課題を互いに理解しあう「自由な学びの場」機能の充実を図る。</p> <p>③地区の特性を活かした松本らしいコミュニティスクール事業の進展を目指し、学校、家庭、地域の協働を図る。</p>	

評価・反省等	
<p>・重点目標の①に関して昨年度開始事業の「松南地区公民館居酒屋」を継続して実施した。これは町会役員の担い手不足という地域課題に際し、次世代を担うであろう世代の掘り起こしと単位町会の枠を超えた地区としての住民同士の交流の場という企画である。この事業は継続実施して効果が発生する事業のため今後も継続して取り組みたい。</p> <p>・重点目標の②に関して長年継続している「親子食育講座ねぎ植えから収穫料理まで」の講座について今年度も企画したところ、定員を超える参加希望者が集まった。回覧チラシ、松本市ホームページ上での募集の結果と思われるが、長年の課題であった地区住民の講座への参加も実現できた。松本市の重点事業であるKYデモクラシーの実現のため、今後も引き続き地区の親子の参加が増えるように広報活動をしていきたい。</p> <p>・重点目標の③に関して信明中学校のコミュニティスクール内の地域出前講座について、コミュニティスクール運営委員会の中であった「地域の河川環境を学ぶことを通じて環境教育に活かさないか」という意見を元に「奈良井川水辺の生き物観察会」を企画した。天候不良で奈良井川での実施はかなわなかったが、座学・中学校の中庭の池で実施した。今後も地域と学校が双方向の行き来のあるコミュニティスクール事業について企画していきたい。</p>	

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等
	平和権	福健康	子育て	環境	文地化域	教趣養味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数		3	7	1	3	3	1		1	1	4	1	5
延べ参加人数		116	559	40	80	779	450		315	20	3748	30	44

	CS	食育
事業数	1	6
延べ参加人数	540	271

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
春の諏訪湖ウォーキング	4月17日	1回	地域事業(体育)	成人	20人	【内容】 ・市民歩こう運動推進の為、諏訪湖をウォーキング。 【ねらい】 ・地元でのウォーキングがマンネリ化してきているため、心機一転市外へのウォーキング企画。ウォーキングによる健康寿命延伸。	【共催団体】 ・松南地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・福祉ひろばからの呼びかけにより企画。初めての土地でのウォーキングで参加者の歩きも軽かった。 【今後の方針】 ・来年度も市民の求めに応じ開催したい。		
福祉ひろば祭り	6月8日	1回	地域事業(文化)	成人	300人	【内容】 ・地区福祉ひろば事業推進協議会が主催し、地区内各種団体が共同で行うお祭り。地区公民館活動サークルによる発表などの催しもある。 【ねらい】 ・各団体間および地区住民同士の交流を図る。【子育て】【健康福祉】	【主催】 松南地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・社会福祉協議会の社協ふれあいまつりと同日開催であったため、多くの来場者に恵まれた。 【今後の方針】 ・福祉ひろばも公民館のどちらの文化祭も地区の方たちと協力して実施しているため、次年度以降での同日開催を今後検討していきたい。		
親子バスハイク〜奈川の魚道を見に行こう〜	6月23日	1回	子育て	家庭教育	10人	【内容】 ・松本市奈川の新原砂防堰堤(魚道)の見学と周辺の散策後、高ソメキャンプ場にてエジマスを焼いて食べることで子どもたちに自然を体験してもらう。 【ねらい】 ・子どもたちの五感豊かな食育を進める。【環境】【趣味教養】	【共催団体】 ・子どもが輝く食育ネットワーク松本	【評価と反省】 ・生涯を通じた健全な食生活の実現、食文化の継承、健康の確保等を親子で学ぶ機会となっている。 【今後の方針】 ・次年度も継続して実施していく。		○
松南地区公民館居酒屋	7月6日	1回	地域事業(その他)	成人	30人	【内容】 ・単位町会の枠を超えた松南地区としての公民館居酒屋。宮田東の町内公民館をお借りしての開催。 【ねらい】 ・町会役員の担い手不足が叫ばれている中、次期役員を担う住民の掘り起こし。次世代の地区を担う人材同士の交流。	【主催】 松南地区地域づくり協議会	【評価と反省】 ・次世代の町会役員になりうる若手世代(60代くらい)をターゲットとしたものの、現役員の参加がほとんどである。参加者は楽しんでいる様子であったが次回以降口コミなどでの広がり期待したい。 【今後の方針】 ・地域住民と内容等検討しながら企画したい。		
開明小学校児童との交流会	7月19日	1回	福祉健康	成人	50人	【内容】 ・開明小学校6年1組の児童が制作した映画上映会を福祉ひろばで開催。 【ねらい】 ・映画上映会を通じ地域と学校との交流による地域活性化。	【共催団体】 ・松南地区福祉ひろば ・松南地区町会連合会	【評価と反省】 ・普段と生活で児童と触れ合う機会のない、高齢者等も多く参加し、楽しめたという声が多く聞かれた。児童も学校外での活動を通じ 【今後の方針】 ・地域住民と児童との交流は積極的に進めていきたい。		○
親子ふれあい体験会	7月20日	1回	子育て	家庭教育	30人	【事業内容】 ・松南地区の子ども会育成会と共催し、松南地区の親子を対象とした体験会を塩尻市チロルの森でおこなう。 【ねらい】 ・学年を超えた地区の子どもたち、住民同士の交流。	【主催】 ・松南地区子ども会育成会	【評価と反省】 ・育成会の役員さんの伝手で参加がほとんどであったため、年数を重ねていくことで口コミで広がり多くの参加者呼び込みたい。 【今後の方針】 ・来年度も内容を検討しながら実施したい。		
第27回なんふ未来まつり	9月7日	1回	地域事業(文化)	成人	1,500人	【内容】 ・神社や仏閣がなく、例大祭のような祭りがない松南地区の地区住民が、他町会の方とも交流ができるようにと始まったすべてが手づくりのお祭り。 【ねらい】 ・町会を超えた地区住民の交流を図る。【子育て】【健康福祉】	【主催】 ・未来まつり実行委員会	【評価と反省】 ・全世帯の約半数の世帯にご参加いただけた。恒例の各町会からの出店や町会カラオケ大会等、また地区内小中学生のブラスバンドや合唱部の演奏も好評をいただいた。		
なんなんフェスタ2019〜第29回なんなんひろば文化祭〜	9月21日〜22日	1回	地域事業(文化)	成人	1,918人	【内容】 ・松南地区公民館利用者の会が主体となって開催する文化祭。利用団体の展示及びステージ発表を行い、普段関わることのない他の団体の活動を知る機会、出会う機会としている。また、青少年ホームはちびっこひろば、南部図書館は本のリサイクルとして協力いただいている。 【ねらい】 ・利用団体間及び地区との交流	【準備過程】 ・なんなんフェスタ実行委員会を開催し、展示内容やステージ演目等打ち合わせる。また、青少年ホームの皆さんに会場装飾やステージ設営にご協力いただいている。 【主催】 ・なんなんフェスタ実行委員会	【評価と反省】 ・例年反省として拳がってきている意見だけでなく、新たな取り組みとして「乗れるミニSL」を企画した。 【今後の方針】 ・アンケート結果を踏まえた反省会を実施し、具体的な改善案を多く出していた。この意見を取り入れながら、次年度も年度の早い時期から文化祭実施内容を検討していきたい。		
八方尾根ウォーキング	10月4日	1回	環境	成人	40人	【内容】 白馬村八方尾根高原でのウォーキング。 【ねらい】 ・ウォーキングによる健康増進と地域住民同士の交流。【健康福祉】	【共催団体】 ・松南地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・多くの参加者に来ていただいたが、あいにくの悪天候でウォーキングは短距離のみの実施となってしまった。悪天候のため、室内での住民同士の交流は図ることができた。 【今後の方針】 ・来年度も住民の希望に応じ計画したい。		
親子お楽しみ会	10月20日	1回	子育て	家庭教育	60人	【事業内容】 ・松南地区の子ども会育成会と共催し、松南地区の親子を対象としたお楽しみ会。人形劇回「くすのき燕屋」を招いての人形芝居、育成会役員による手作りの抽選会をおこなう。 【ねらい】 ・学年を超えた地区の子どもたち、住民同士の交流。	【共催団体】 ・松南地区子ども会育成会	【評価と反省】 ・多くの参加者を集め、参加者からも楽しかったという反応が聞かれた。 【今後の方針】 ・来年度も実施したい。		
町内公民館長視察研修	11月24日	1回	地域事業(文化)	成人	30人	【内容】 ・長野市松代にて松代大本営、松代城下町にて歴史学習。 【ねらい】 ・単位町会を超えた、地区住民同士の交流。長野県の文化歴史学習。	【主催】 松南地区町内公民館長会	【評価と反省】 ・松代大本営について学習でき、同じ県内の歴史について見分を深められた良い研修だったとの声があった。 【今後の方針】 ・来年度も実施したい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
ひろばウォーキング～冬のバードウォッチング～	12月8日	1回	健康福祉	成人	14人	【内容】 ・安曇野市御宝田周辺を、野鳥観察しながらのウォーキング。 【ねらい】 ・ウォーキングの習慣の無い人に体を動かしてもらおうきっかけ。また普段ウォーキングされている方も地区外へ出て歩く機会とする。【健康福祉】	【共催団体】 ・松南地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・講師による野鳥の解説は非常に好評だったため、ウォーキングと自然観察を絡めた講座として今年度も実施した。 【今後の方針】 ・点灯式等のイベントには、なるべく地区にゆかりのある団体に協力をお願いしたい。		
カリヨンイルミネーション点灯式	12月18日	1回	地域文化	成人	20人	【内容】 ・平成25年度の駐車場整備事業より中断していたカリヨンの鐘へのイルミネーション設置を、地区の事業として実施したもの。点灯式では松南地区で活動されているBellハミングさんのミニコンサートを実施。 【ねらい】 ・冬の風物詩であるイルミネーションの点灯と、地区住民が参加できる冬のイベントとして企画。	【共催団体】 ・松南地区町会連合会	【評価と反省】 ・昨年に引き続き、イルミネーションと絡めた冬のイベントとして点灯式を実施した。参加者が昨年度よりも少なく、周知方法やイベント内容など来年度に向けて検討する。 【今後の方針】 ・点灯式等のイベントには、なるべく地区にゆかりのある団体に協力をお願いしたい。		
蕎麦づくり講座	1月11日	1回	地域文化	家庭教育	36人	【内容】 ・児童センターと共催で、三九郎用の蕎麦を作った。 【ねらい】 ・子どもたちに地域文化を根付かせるため。また午前中にお母さんたちを対象として、地区民生委員の方から生地の蒸かし方などを教える時間を設けて、お母さん世代にも文化を継承していく。【子育て】	【共催団体】 ・南部児童センター ・地区民生委員	【評価と反省】 ・多くの児童に参加してもらい、かつ全員が集中して蕎麦づくりに取り組んでいた点良かった。また蕎麦をつくる過程で民生委員さんと話をする場面が多く、子どもが地域の方と接する機会となっていた。 【今後の方針】 ・子供向け、保護者向けの両方の面からも継続して実施していく。		○
やしょうまつり講座	1月18日	1回	地域文化	成人	24人	【内容】 ・郷土料理のやしょうまを作り、一年の健康を願う。 【ねらい】 ・郷土料理にふれることで地域文化の継承を促す。【地域事業（文化）】		【評価と反省】 ・以前にこの講座を受講した地区内の方に声をかけ、今回も講師補助として参加していただいた。補助のおかげで親子を対象に呼びかけることができ、幅広い年齢層が参加する講座となった。 【今後の方針】 ・次年度以降も、高齢者に限定せず広い世代の参加を呼び掛けていきたい。		○
松南地区公民館利用団体説明会	3月11日	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	中止	【内容】 ・公民館利用団体に向けての、利用上の注意等の連絡会。 【ねらい】 ・公民館の利用状況の向上。		【評価と反省】 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、説明会は中止として資料を送付して質問を電話で回答する形に変更した。 【今後の方針】 ・来年度は実施したい。		
親子の食育講座	4月～12月	5回	子育て	家庭教育	120人	【内容】 ・畑での苗植えや土寄せなど、収穫に至るまでを実際に体験し普段食べている食材について学ぶ。また地域の方に作業のお手伝いに加わってもらい、子育て世代と地域の高齢者との世代間交流の機会ともなっている。 【ねらい】 ・子どもたちの五感豊かな食育を進めるため、また家庭での食を大切にもらうため。【地域文化】	【共催団体】 ・子どもが輝く食育ネットワーク松本	【評価と反省】 ・松南地区には地区内に畑がないため、こういった農作業を体験する機会はほとんどない。また地域の高齢者と子育て世代の親子が交流するきっかけとして、地区内の町内公民館長からの提案をもとに実施したもの。参加者からは好評をいただき、お手伝いいただいた地域の方も交流が持ったことを評価していただけた。 【今後の方針】 ・継続して実施の方向だが、なるべく地区内の方が所有する畑などで実施できるように、また協力して頂ける方が増えるよう呼びかけを進めていきたい。		○
開明小学校登下校見守り	4月～5月	1回	子育て	青少年	100人	【内容】 ・地区住民の有志により開明小学校の児童の登下校を見守る。 【ねらい】 ・年度当初は教員も児童も新生活に不慣れな中で、特に新一年生は登下校にも不安があるため、地域で登下校の見守りをおこない、学校と地域の結びつきを深めるもの。		【評価と反省】 ・地域住民は無理をせず自身が都合がつくときのみ実施ということであったが、かなりの日数で参加してくれる住民がいたのでありがたい。 【今後の方針】 ・来年度以降も、学校と調整しながら実施したい。		
信明中学校「地域出前講座」	5月～7月	3回	趣味教養	青少年	540人	【事業内容】 学校サポート事業の一環として、公民館で紹介した地区の方を講師に、テーマ毎30人程度のグループに分かれ、地域住民から教わる。 【ねらい】 地域の方とのふれあい、つながり作りを深め、地域への愛着をもってもらおう。【地域文化】	【準備過程】 松南地区住民や鎌田地区の方を中心に近隣の方を講師として依頼。	【評価と反省】 地域の方との繋がり作りとして毎年行っており、継続して関わって頂ける方も増えてきている。生徒側も積極的に関わろうとする姿勢が回え毎年継続して行うことに意義が出てきていると思われる。 【今後の方針】 講師については学校と公民館にて選出しているが今後は信州型コミュニティスクールの一環として運営委員会にて話し合っていく。		○
パン作り講座	11月～2月	3回	趣味教養	家庭教育	39人	【事業内容】 ・地域住民講師の元、パン作りをおこなう。 【ねらい】 ・地域の方で以前にパン作りの講師をされていた方がおり、地域の人材の活用と身近な食品であるパンの作り方について学ぶ【子育て】		【評価と反省】 ・料理講座の中でもパン作りに限定したこともあってか公民館の講座へ初めて参加いただける方も多かった。また回を重ねることに継続して参加していただける親子も増えてきた。 【今後の方針】 ・来年度も実施したい。		○
夏の文化祭	7月～8月	1回	趣味教養	成人	200人	【内容】 ・松南地区公民館利用者の会が主体となって開催する夏の文化祭、利用団体の活動紹介（展示）とサークルの体験会を開催。 【ねらい】 ・利用団体の活動発表の場	【共催団体】 ・松南地区公民館利用者の会	【評価と反省】 ・毎年開催しているが、参加団体が減少していることもあり周知の方法や内容について検討していきたい。 【今後の方針】 ・来年度も公民館利用者の会主体で継続して実施したい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
夏休み学習室開放	7月～8月	1回	子育て	青少年	197人	【内容】 ・小中学生の夏休み期間中に、公民館の会議室を自主室として開放する。 【ねらい】 ・子どもたちの学習意欲向上のため。		【評価と反省】 ・全戸配布の公民館だよりにて周知。年々利用する子供達が増えてきている。学習態度も良好なため、次年度以降も学習意欲向上のため継続していく。		
夏のなんなん体操教室	8月～9月	3回	福祉健康	成人	36人	【内容】 ・ウォーキング以外の、普段触れることのない運動をしてもらうため、エクササイズやヨガを指導してもらった。脳トレを絡めた「シナプソロジー」を引き続き取り入れていただいた。 【ねらい】 ・健康のための運動は様々な種類とやり方があるが、自分にあったものを見つけて無理なく継続してもらうため、少し違ったジャンルの物を実施。	【共催団体】 ・松南地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・シナプソロジーとは、動作と脳トレを組み合わせたもので、ウォーキングしながらのしりとりなど、頭と体を同時に鍛えることができた。グループで挑戦することで、参加者同士楽しみながら実施できた。 【今後の方針】 ・来年度も住民の要望に応じ実施したい。		
親子料理教室	8月～1月	3回	子育て	家庭教育	42人	【内容】 ・季節の食材を使って、親子で調理実習をする。 【ねらい】 ・子どもたちの五感豊かな食育を進めるため、また家庭での食を大切にもらうため。	【共催団体】 ・子どもが輝く食育ネットワーク松本	【評価と反省】 ・生涯を通じた健全な食生活の実現、食文化の継承、健康の確保等を親子で学ぶ機会となり今後も継続して実施していく。		○
冬のなんなん体操教室	1月～2月	3回	福祉健康	成人	30人	【内容】 ・ウォーキング以外の、普段触れることのない運動をしてもらうため、エクササイズやヨガを指導してもらった。脳トレを絡めた「シナプソロジー」を引き続き取り入れていただいた。 【ねらい】 ・健康のための運動は様々な種類とやり方があるが、自分にあったものを見つけて無理なく継続してもらうため、少し違ったジャンルの物を実施。	【共催団体】 ・松南地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・シナプソロジーとは、動作と脳トレを組み合わせたもので、ウォーキングしながらのしりとりなど、頭と体を同時に鍛えることができた。グループで挑戦することで、参加者同士楽しみながら実施できた。 【今後の方針】 ・来年度も住民の要望に応じ実施したい。		
ソフトバレーなんなんリーグ	通年	12回	スポーツ	成人	450人	【内容】 ・月に一度開催の、地区内ソフトバレーチームによるリーグ戦。 【ねらい】 ・地域住民主体による、住民相互の仲間づくり。【福祉健康】	【準備過程】 ・H9年度から松南地区公民館の呼びかけによりリーグ戦が開始。	【評価と反省】 ・リーグ戦の役員が主体的に運営を行っている。 ・1部：9チーム、2部：4チーム ・今年度より、青少年ホームで活動するソフトバレーのサークルに呼びかけ、2チームが参加している。 【今後の方針】 ・参加チーム数が減少傾向にあるため、引き続き同じ南部体育館を使用している体育系サークルに参加を呼び掛けていく。今年度は実際に若者たちのサークルが参加していたのでリーグの活性化につながった。		
なんなん日本語講座	通年	43回	その他	その他	315人	【内容】 ・毎週月曜日の夜に定期的に開催。日本語に限らず日本の文化や慣習についても学習し、また生徒の希望によって日本語検定に向けての勉強も行う。 【ねらい】 ・国外から日本に来た方は、仕事であったり家庭であったりと様々な理由を持っているが、日本語の上達や文化について学習することで少しでも日本で生活しやすくなることを目的としている。	【共催団体】 ・日本語講座ボランティア	【評価と反省】 ・季節によって受講する生徒の人数にばらつきがあり、スタッフが足りない時期がある。また日本語を勉強したくても日本語講座の存在を知らない方もいらっしゃるため、引き続きチラシ等でスタッフ及び生徒の募集を周知していきたい。 【今後の方針】 ・「生活者のための初級日本語講座」が松南地区公民館で開講されたことから、外国籍のママさんたちの交流を支援するサークルが立ち上がり、継続して活動が行われている。サークルと日本語講座どちらにもスタッフとして関わっている方がおられるので、その方を通じて、二つを連携した講座等を今後企画していきたい。		
松南地区公民館運営委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	10人	【内容】 ・地区公民館の運営委員会。 【ねらい】 ・公民館の運営・事業について地区住民から意見をいただく。		【評価と反省】 ・松南地区公民館が元々は松本市の南部の基幹公民館だったこともあり、地区住民の方が松南地区公民館が自らの公民館であるという意識は薄い。公民館の運営・事業に対しては積極的な発言はないため、承認機関となっている。 【今後の方針】 ・主体的に関わって頂けるよう検討していく。		
松南地区公民館体育委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	12人	【内容】 ・地区公民館の体育委員会。 【ねらい】 ・地区の体育事業について地区住民から意見をいただく。		【評価と反省】 ・毎年開催しているイベントも参加者集めに苦労している。内容や周知方法について検討する。 【今後の方針】 ・公民館講座等にも関わっていただき、共催の事業を企画していく。		
松南地区公民館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	10人	【内容】 ・地区公民館報の編集委員会。 【ねらい】 ・地域情報の発信や、地区内の人材発掘、地域課題の投げかけなど。		【評価と反省】 ・委員の皆さんに自主的かつ積極的に取材を行っていただいている。 【今後の方針】 ・公民館講座等にも関わっていただき、共催の事業を企画していく。		
松南地区公民館利用者の会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	12人	【内容】 ・利用団体で組織する利用者の会の委員会。夏には展示企画の「夏の文化祭」、秋には「なんなんひろば文化祭」を実施。 【ねらい】 ・利用者同士の交流を深める。		【評価と反省】 ・今年度は年間を通して役員会を定期開催し、文化祭をはじめとした諸活動に対する検討を行う事ができた。 ・引き続き利用者の会として実施している文化祭だけでなく、年間通しての活動を含めた活性化を検討していく必要がある。また各団体の活動が分かる一覧を配布できるような形で作成し、新規加入者を増やすための支援も検討していく。		

基本方針

■島内公民館「5つの基本方針」

- 1 講座の充実
地域住民の声を公民館活動へつなげ、各種団体と積極的に連携し、地域課題解決へ向けた講座を実施します。住民生活に根差した事業（講座）を実施します。講座から発展したグループ活動についても、支援をします。
- 2 芸術文化活動の推進
芸術文化祭や灯籠祭りお話し劇場等既存事業の充実、公民館ギャラリーを活用した島内地区文化の発表・発信・交流を通じて、地域文化の醸成を図ります。
- 3 若者に魅力のある公民館活動の展開
児童や生徒が、積極的に参加できる公民館活動を展開します。
さらに、子育てに奮闘する母親の要望等も取り入れることで、明るく子育てができるような地域へつなげます。
- 4 スポーツの底辺拡大
島内地区の特性を活かし、誰でも参加できる楽しいスポーツ機会の充実を図り、心と体の健康づくりへつなげます（体協スポーツ事業、さわやか健康教室、健康ウォーキング等）。島内地区大運動会では、島内体育協会をはじめとする各種団体と連携するなかで、お互いの顔が見える関係づくりを図ります。
- 5 人権教育の推進
すべての人権が尊重される地域を形成するために、指導者を対象とする視察研修や講演会、人権を考える住民のつどい「ふれ愛コンサート」を通じ、改めて「人権」「平和」「愛」等について考え・意識する機会をつくり、より住みよい地域社会へとつなげます。

事業結果

上記5つの基本方針を掲げ、学習やスポーツ等の社会活動を通じて地域住民の連携を図り、お互いの顔が雅見える地域づくりを進めてきました。
 具体的には、今年度25周年を迎えた「灯籠祭り『お話し劇場』」は、物語や劇の内容を充実させたことで、より幅広い世代が楽しめる催しとなりました。また、「手作り甲冑展」を新規に開催し、合わせて着用体験会を行ったことで、多くの来場者がギャラリー「ピアッツァ」を訪れました。
 各種団体との連携では、芸術文化祭「午後の特別ステージ」における農業文庫運営委員会との連携、中学生の夏休み学習室開放や正月の伝統行事と遊び事業での愛ランド島内との連携により、内容の充実を図ってきました。
 また、今年度から島内小・松島中コミュニティスクール事業が始まり、既存の連携事業実施や運営委員会の充実を図ることで、学校における子どもたちの育成環境充実を推進しました。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等
	平人和権	福祉健康	子育て	環境	文化地域	教養趣味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数	2		2	1	4	2	6		7	5	2	5	6
延べ参加人数							200			300			613

	CS	食育
事業数		
延べ参加人数		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業の目的等	内容(共催等)	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
小谷で交流(ウオーキング・蕎麦打ち体験等)	4月25日(木)	1回	趣味教養	成人	15人	他地域や島内地区住民との交流を図り、仲間づくり等へつなげる。	地元住民とウオーキング・蕎麦打ち等で交流	健康づくりと仲間づくりをミックスし、他地域で開催することで、日頃公民館活動へ参加しない顔が見えるようになった。		
春季スポーツ大会	5月19日(日)	1回	地域事業(体育)	成人	125人	地域住民の交流と健康増進	・バドミントン ・グラウンドゴルフ	島内体協が主体となり、地域の体育事業としてスポーツを通じた健康・仲間づくりが展開された。次年度も実施予定。		
男性のための料理教室	5月23日(木)	1回	趣味教養	その他	13人	料理の楽しさや健康的な食事について学ぶ。	牛乳を使った料理をテーマに、和洋折衷焼き等数品をつくる。	講師の食改関係者と、企画段階から内容等について検討したことで、実施内容・献立等検討の上開催することができた。		
島内小学校3年生「地域探検」	5月22日(水) 5月27日(月)	2回	その他	青少年	240人	児童が地域を知り、地域への関心や愛着を高める。	小学校周辺の施設や史跡等をフィールドワークにより学ぶ	学校における座学を踏まえて、地域におけるフィールドワークを実施したことで、子どもたちの探求心を刺激し、島内地区に対する愛着を深めることへもつながった。		
健康ウォーキング大会	6月22日(土) 11月23日(祝)	2回	スポーツ	成人	154人	健康増進と世代間交流を図る。	6月は新規に平瀬城跡ピクニックウォーク、11月は4kと7.5kの2コース※福祉ひろば推進協共催	昨年度から、年2回のうち1回はウォーキングマップコース以外を歩くことに変えて好評であったため、今年度も新規コースを設定したウォーキングを実施予定。		
ソフトボール・バレーボール大会	7月7日(日)	1回	地域事業(体育)	成人	95人	地域住民の交流と健康増進	・ソフトボール(予備日も雨天のため中止) ・バレーボール	島内体協が主体となり、地域の体育事業としてスポーツを通じた健康・仲間づくりが展開された。次年度も実施予定。		
島内地区指導者研修会	7月16日(水)	1回	その他	その他	27人	町会長・町内公民館長等の地域指導者を対象に、指導者学習会を実施することで、地域づくりへつなげる。	飯田市のりんご並木を活用したまちづくり、川本喜八郎人形美術館等を視察	島内地区と飯田市とを対比して研修内容を決め、参加者からも主旨等捉えやすとの意見があった。次年度も地区を基準に、視察先を選定する方針で進めたい。		
中学生のための島内公民館開放	7月29日 ～8月8日 うち9日間	9回	その他	青少年	76人	夏休み期間中に学習の場として公民館を開放することで、中学生と公民館をつなげる。	育成会の学習支援に合わせ、新規に愛ランド島内による食事支援を実施	未来の公民館ユーザーである中学生が、公民館とつながる機会として非常に有効であった。また、今年度は育成会による学習支援以外に、愛ランド島内による食事提供もあり、中学生からも好評であった。次年度も、同様の内容で取り組みを進めたい。		
夏休み子ども講座 ※小学1～6年生対象	7月31日(水) 8月7日(水)	2回	その他	青少年	79人	普段の学校生活では体験できない様々な体験や異年齢交流を通じて、子どもたちの生きる力の醸成へつなげる。	子どもの夏休みに合わせて、長野市少年科学センター、長野市立博物館を見学	日頃学校では体験できない学年を超えた交流のなかで、子どもたちが主体的に行動する仕掛けを取り入れて実施したことで、人間力醸成へつながった。次年度も、先行を変更して実施予定。		
第33回灯笼まつり「おはなし劇場」	8月4日(日)	1回	地域事業(文化)	その他	500人	子どもから大人まで楽しめる、読み聞かせ劇場を実施し、灯笼まつりの充実へ寄与する。	灯笼まつりに合わせて実施し、20年以上続く読み聞かせ劇場	おはなし劇場の上演内容や会場レイアウトなど、数か月かけて準備しており、来場者も毎年楽しみにしている。次年度以降も、内容の充実を図りたい。		
夏季スポーツ大会	8月18日(日)	1回	地域事業(体育)	成人	155人	地域住民の交流と健康増進	・野球 ・ソフトバレーボール	島内体協が主体となり、地域の体育事業としてスポーツを通じた健康・仲間づくりが展開された。次年度も実施予定。		
河西部球技大会	8月25日(日)	1回	スポーツ	成人	200人	スポーツを通じて、河西部地区(島内・島立・和田・新村)で交流を図る。(バレー・野球は市長杯争奪大会出場地区選考兼ねる。)	種目は、家庭婦人バレーボール・野球・卓球とし、当番地区を中心に企画・運営(R1当番地区島立)	今年度は天候にも恵まれ、3種目全てが予定どおり実施される。市長杯争奪球技大会出場地区の選考を兼ねているが(野球・バレー)、年1回の交流的側面もあることから、今後4地区の公民館・体協が連携した運営が望まれる。		
島内公民館子育て講座	8月21日(月) 10月1日(火) 1月22日(水)	3回	子育て	家庭教育	251人	就園前の親子を対象に親子参加型の講座を実施し、親子の触れ合いや仲間づくりへつなげる。	・人形劇「ハッピーアナー」 ・親子体操 ・親子ヨガ ※福祉ひろば・ひよこランド共催	福祉ひろば・ひよこランドが主に内容を企画し、公民館との連携により実施したことで、実施内容の充実が図られた。次年度も、同様の手法により進める方針。		
奈良井宿ピクニックウォーク	9月8日(土)	1回	スポーツ	その他	48人	健康増進と世代間交流を図る。	中山道最長の宿場町「奈良井宿」で歴史的景観や文化史跡を巡る。	一昨年度から取り入れた事業で、奈良井宿を会場に実施する。目的は、年2回福祉ひろば主体のウオーキング事業の内容を、従来の固定コースから変えていくことで、概ねその役割は果たせたことから、次年度から廃止する。		
第62回市民体育大会	10月13日(日)	-	スポーツ	成人	中止	市内35地区が、卓球、ソフトバレーボール、マレットゴルフ、野球、ゲートボール種目で競う大会	台風19号の影響により、室内外全種目中止	-		
第66回島内地区大運動会	10月20日(日)	-	地域事業(体育)	その他	中止	地域住民の交流と健康増進	16種目で出場町会等対抗競技も設ける。昼食時に、島内小学校4年生と消防団によるアクション実施予定のところ、雨天中止	-		
第36回松本市市長杯争奪球技大会	11月3日(日)	1回	スポーツ	成人	20人	市民体育大会の上位入賞チーム等が、卓球、軟式野球、ゲートボール、ママさんバレーボール、マレットゴルフで競う大会	ゲートボール、ソフトバレーボール、マレットゴルフが会場	地区等の代表として、4種目が出場。		
第45回島内地区芸術文化祭	11月10日(日)	1回	地域事業(文化)	その他	1000人	地域住民の日頃の文化活動の成果等を一堂に集め、島内地区の文化発信の場として実施	ライブ発表(16組)や各種展示、午後の特別ステージ「まつかわ落語会」を実施 ※図書館・福祉ひろば祭同日開催	文化祭の周知が弱かったことから、初めて当日のプログラム内容を網羅したチラシを全戸へ配布する。一方、ステージや展示についても、新たな住民等による出演・出展もあり、充実した文化祭が開催できた。		
卓球・ニュースポーツ体験会	11月17日(日)	1回	地域事業(体育)	成人	56人	地域住民の交流と健康増進	・卓球 ・ニュースポーツ(フットボール・ふらふら・ドッジボール)	島内体協が主体となり、地域の体育事業としてスポーツを通じた健康・仲間づくりが展開された。ニュースポーツ体験会は、周知の際に小学校を巻き込んだことで、小学生から大人まで幅広い年齢層の参加があった。		
公民館委員視察研修	11月12日(火)	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	16人	公民館委員間の情報交換や交流等を目的に実施	・安国寺 ・飛騨古川まつり会館等周辺を散策	視察を通じて学習した成果を、各員会活動へつなげるだけでなく、委員同士の情報共有も図られたことで、公民館活動全体にとって大切な機会となった。次年度も実施予定。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業の目的等	内容(共催等)	評価と反省・今後の方針等	C	S	食育
島内歴史講座	11月13日(水) 2月25日(火)	2回	地域文化	成人	150人	島内地区の歴史について学習することで、地域への愛着や関心を高める。	・大飼一族の謎を読み解くパート1.2 百瀬光信氏(松本史談会) ※島内史談会共催	島内地区に関する歴史講座を、島内史談会が主に内容企画・講師選定を進めることで、住民主体の取組みとなった。次年度も、同様の手法で進める方針。			
人権教育推進視察研修	11月27日(水)	1回	人権平和	その他	26人	地域内指導者を対象に、人権に対する意識を高め、地域活動へつなげるために実施	・象山記念館 ・象山神社 ・清水寺	テーマを「幕末の動乱期 私たちが大切にすべきこと」とし、佐久間象山等の生き方から学ぶ学習会を組んだことで、参加した指導者からは、主旨等が捉えやすかったとの意見をいただいた。次年度も、テーマ設定から視察先を検討する方針。			
刃物研ぎ講座	12月18日(水) 午前・午後	2回	趣味教養	成人	42人	初心者向けで、刃物の研ぎ方を学ぶことで、趣味による生きがいづくりへつなげる。	愛着の刃物研ぎ講座に、多くの初心者が参加	今年度も初めての参加者が多く、愛用の刃物を研ぎながら住民間の交流が図れたことで、仲間づくりへもつながった。			
島内小学校2年生「豆腐づくり講習会」	1月28日(火) ～2月5日(水)	1回	その他	家庭教育	150人	児童が手作り豆腐体験を行うことで、料理の楽しさや食の大切さを学ぶ。	食生活改善推進協議会島内地区の協力により、手作り豆腐をつくる。	生活科の授業として、食改が講師となり、班ごと楽しみながら豆腐作りを行った。			
島内小学校1年生「昔の遊び学習会」	1月28日(火)	1回	その他	家庭教育	130人	児童と住民がつながり、子どもたちの生きる力醸成へつなげる。	地域住民と児童が、こま・お手玉・あやとり・めんこ・竹とんぼ・けん玉などの遊びを通じて交流する。	子どもたちが昔の遊びに触れるなかで、世代間交流を図る。			
人権を考える住民の集い「島内・島立ふれ愛コンサート」	2月29日(土)	-	人権平和	その他	中止	地元小学生や音楽家によるコンサートを通じて、人権について考える場にするとともに、意識向上の一助へつなげる。	【出演者】 島立小ブラスバンド部、松島・高綱中吹奏楽部、島内小合唱部、原田靖子氏(音文)、とりのほねBAND(当番地区・島内)※コロナの影響で中止	-			
こどもの居場所づくり事業愛ランド島内「おらんちdeランチ」	4月13日(土) ～2月8日(土)	14回	子育て	青少年	945人	三世代交流とこどもの居場所づくりを目的に実施	学習支援や囲碁・将棋・書き初め、食事支援等を通じて交流を図る。 ※愛ランド島内実行委員会主催	休日に子どもたちが集まり、勉強や工作、遊び、食事など、日頃学校では体験できない、学年や世代を超えた交流を図る場として、地域における子どもたちの人間力醸成へもつながった。次年度も内容の充実を図るなかで、実施する方針。 ※3月はコロナの影響で中止			
お話し会 ※うち2回は図書館共催(わくわくおはなし会、クリスマススペシャル) ※うち2回は保育園で実施	5月11日(土) ～2月8日(土)	8回	その他	家庭教育	400人	親子参加による図書視聴覚委員を中心とした読み聞かせを行い、小さい頃から本に親しむことへつなげる。	絵本・紙芝居・パペット・OH P等による読み聞かせや、終了後の工作等の内容を、企画会議で検討の上実施。	子どものころから本に触れる機会を提供し、豊かな人間力向上や家庭教育へつなげる機会となった。 ※3月はコロナの影響で中止			
農業文庫講座 第1回 視察研修「飯山を訪ねて」	5月8日(水)	1回	地域文化	成人	49人	視察を通じて、仲間づくりや生きがいづくりへつなげる。	小菅神社、菜の花公園、高橋まゆみ人形館等を視察	農業文庫講座は、講座の内容を主に農業文庫運営委員会(公民館・図書館関係者も連携)で企画したことで、住民主体の取組みが進められた。次年度も、同様の手法で進める方針。今年度は、視察研修として、飯山と伊那谷を訪れ、地元文化に触れたり住民と交流したりすることで、参加者の文化・教養醸成につながった。			
農業文庫講座 第2回 講演会「人口増加と食料生産・環境問題」	6月19日(水)	1回	環境	成人	24人	日本の食料自給率低下や消費変化、少子化や過疎化による農業・農村維持の課題等について学習する。	【講師】 信州大学農学部(国際センター) 浜野 充 副センター長(信州大学出前講座)	一方、信州大学出前講座や相澤病院出前講座等を通じて、農業や食料問題・生活福祉について学んだことで、参加者の生活へつながる点も多かった。			
農業文庫講座 第3回 講演会「健康長寿について考える」	8月22日(木)	1回	地域福祉	成人	30人	長寿県の「長野県」がどのような食生活をしているのか、どのような食事が良いのか等について学習する。	【講師】 松本大学大学院 廣田 直子 教授(松本大学講座)	また、昨年度から正月の伝統行事と遊び事業における愛ランド島内との連携、新たに松本大学講師を活用した講演会など、島内地区の生涯学習推進へ寄与した。			
農業文庫講座 第4回 視察研修「伊那谷の歴史文化を訪ねて」	10月30日(水)	1回	地域文化	成人	49人	視察を通じて、仲間づくりや生きがいづくりへつなげる。	高遠町歴史博物館・江島園み屋敷、光前寺、旧竹村家住宅等を視察				
農業文庫講座 第5回 世代間交流「正月の伝統行事と遊び」	12月7日(土)	1回	地域文化	青少年	104人	昔の遊びや伝統行事を、高齢者が子どもたちに伝えていくことで、世代間交流を図る。	餅つき、竹とんぼ・たこづくり等を体験 ※愛ランド島内共催				
農業文庫講座 第6回 講演会「こんな時どうする? 症状別対処法について」	2月21日(金)	1回	地域福祉	成人	49人	体の異常や病気等の早期発見方法、注意すべき点等について学習する。	【講師】 相澤病院救命救急センター 齋藤 雅樹 氏(相澤病院出前講座)				
公民館ギャラリー “ピアッツァ”への展示	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月	-	地域事業(その他)	その他	4500人	地域住民及び島内公民館利用サークル等の作品展示を常時実施することで、地域の文化発信を積極的に行うとともに、展示者の生きがいづくり等へもつなげる。	島内地区古地図展 島内書道研究会作品展 太田克己版画・切り絵仲間展 花フルト 作品展(ワワ・アレンジ) ケイコの花のアトリエ作品展 水墨画クラブ作品展 島内小学校(6年)作品展 ソーパークーピング展 松島中学校美術部作品展 フォトクラブ写真写真展 押絵雛・七夕人形作品展 小穴敬三 木彫展 島内書道愛好家書道展 陶芸作品展(炎の会) 舎羅の会 仏像展 第9回ひな人形展	※今年度は、古地図展・ケイコ花のアトリエ展・押絵雛展・木彫展・仏像展の5展示会を新たに企画し、来場者も昨年度を上回りました。新規展示者側からは「地域内から多くの反響があり、今後も協力したい」との申し出がありました。また、書道研究会作品展・花のアトリエ展・押絵雛展では、新たに体験会を期間中に実施したことで、ギャラリー展示を通じた広がりが見られました。			

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業の目的等	内容(共催等)	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
さわやか健康スポーツ教室	6月～3月	10回	スポーツ	女性	200人	健康維持のための教室	ニューススポーツ、ストレッチ体操など	毎月1回、女性の健康づくり推進員08を中心で開催し、コミュニティの受け皿としても機能している。関係者等から需要が続く限り、次年度以降も実施予定。		
ソフトバレーボールリーグ	1月～2月	5回	地域事業(体育)	成人	300人	地域住民の交流と健康増進	7チームによるリーグ戦	島内体協主催事業として、2か月間にわたりリーグ戦が開かれる。※3月はコロナの影響で中止		
図書視聴覚委員会	5月7日(火) ～1月28日(火)	8回	公民館委員会・各種会議等	その他	35人	・お話し会の企画 ・灯籠祭り、運動会への協力		定期的な本の読み聞かせから、灯籠祭り等の事業への参画まで、委員主体により進められた。		
文化委員会	4月8日(月) ～3月27日(金)	14回	公民館委員会・各種会議等	その他	116人	・ギャラリー「ピアッツァ」の企画、作品搬入・搬出 ・灯籠まつり、文化祭協力 ・島内歴史かるた制作		ギャラリー展示の企画・運営から、文化祭等への参画まで、委員主体により進められた。また、島内歴史かるたを制作する。		
館報編集委員会	4月16日(火) ～3月27日(火)	12回	公民館委員会・各種会議等	その他	91人	・島内公民館報の企画、編集 ・灯籠まつり、運動会への協力		館報の企画・編集及び、灯籠まつり事業への参画まで、委員主体により進められた。		
地区大運動会役員会議	7月19日(金) ～10月31日(木)	5回	公民館委員会・各種会議等	その他	191人	第66回地区大運動会の企画・運営方法等について検討	役員会(企画)、全体会議(運営方法共有)、反省会	運動会実施へ向けた各会議の目的を明確にし、関係者間で共有化したことで、活発な意見交換がなされた。		
町内公民館長会	4月9日(火) ～3月18日(水)	10回	公民館委員会・各種会議等	その他	180人	町内公民館活動の支援・協力、地区事業運営等について検討		概ね月1回集まり、町内公民館に係る事業等について検討する。また、運動会や文化祭など、町内公民館と地区館が連携して実施する地区事業についても、会議で検討の上、実施へつなげることができた。		
公民館報発行	奇数月発行	6回	地域事業(その他)	その他	全戸配布	島内地区の情報などについて、住民の視点から発信		元号が令和になったことを受け、島内地区の公民館報を中心に「平成を振り返るシリーズ」を掲載する。館報に掲載された時と現在とでどのような変遷があるのか、今の住民は過去をどのように見ているのか等、編集段階から住民が住民へ伝える記事づくりができた。		
公民館だより	毎月	-	地域事業(その他)	その他	全戸回覧	公民館事業の参加者募集・周知について情報発信		毎月公民館事業の周知に活用。市公式HPとリンクするように「QRコード」をチラシへ掲載する。		
ホームページ	随時更新	年間	地域事業(その他)	その他	年間	島内公民館の活動情報等について発信	昨年7月からHP掲載情報をリニューアル	毎月①公民館だより②ギャラリー展示の様子③公民館活動の様子について掲載する。		
利用サークルの育成・支援及び、地区関係諸団体の支援・連携	随時	-	地域事業(その他)	その他	-	・貸館及び活動支援 ・関係諸団体の活動支援や連携		窓口及び利用者会議等で利用団体と、活動状況などについて情報交換を行う。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等													
<p>【重点的に取り組んだ事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター、福祉ひろば、他関係団体との連携強化 ・8月に地区町会連合会で避難所開設訓練を実施し、その後の町会全体の防災意識の高まりを背景に、これを補足する形で翌年1月に公民館講座として「防災講座」を行った例のように、これまで以上に地域づくりセンターと連携し、地域住民の求めるものを事業に落とし込むことに注力した。また、従来の福祉ひろばとの共催事業に加え、今年度は児童センターとも共催し事業を行うなど、周辺団体と密な連携により事業展開できた。 ・地域で子どもを育てる仕組みづくり ・中山小学校の指導方針のひとつである「地域で子どもを育てる」に倣い、放課後学習塾を通年で開催した。子どもの居場所づくりに加え、指導する大人にとっても生きがいのひとつとなっている。またこの他、本年度は台風の影響で中止となってしまったが、地区の運動会や文化祭に小学生、中学生に参加してもらって取組みを継続しており、地域が一丸となって子どもを育てるという意識の醸成に繋がっている。 ・高齢者の居場所づくり、仲間づくりの拠点 ・中山地区は市内でも高齢化率が高い土地柄である。事業や講座への参加者も高齢者が中心であるが、連続講座がきっかけとなり、その後参加者が中心となりサークル活動に発展するなどの好例がこれまでにいくつも見られ、公民館活動が高齢者の居場所づくり、生きがいづくりとして一役買っている。また、毎週公民館の一角を「公民館カフェ」として開放しており、こちらの取組みも高齢者の地区内における居場所づくりのひとつとして寄与している。 													
<p>【評価・反省等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後学習塾の通年開催 ・前年度途中からスタートした放課後学習塾であるが、今年度は学校と連携し、年度当初より通年で開催した。回数を経るごとに参加者は増え、期の後半では16名の児童が公民館に通い学習するまでとなった。特に秋口より日が短くなるため、帰宅時の安全等への配慮は欠かせないが、保護者からのニーズも高く、今後も継続していきたい。 ・講座参加者の固定化 ・新たな講座や事業等を企画・実施するも、新規の参加者が少なく、もともと趣味のサークルや健康づくり等で公民館やひろば事業に頻繁に参加している方が中心となってしまっている。この点が長年の課題となっており、地域づくりセンターや福祉ひろば、学校や児童センターと一層連携し、公民館活動に馴染みのない方も気楽に参加していただけるような取組みに繋げていきたい。 ・小・中学校との連携 ・これまでCSでは中山小学校、開成中学校と共に事業を行ってきたが、令和2年度より明善中学校のCSにも参加することとなった。明善中学校に通う児童は寿台、松原、内田と幅広いエリアに跨っているため、周辺の公民館とも事業展開を行なえるよう、情報を共有し、密な連携に繋げたい。 													
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会等
	平人和権	福祉健康	子育て	環境	文地化域	教趣養味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数	1	3	3		2	2	3	1	3	4	2		4
延べ参加人数		69	165		570	199	266		655	380	1100		954
	CS	食育											
事業数	1												
延べ参加人数	420												

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
高齢者健康のつどい	6月4日	1回	福祉健康	高齢者	69人	【内容】 高齢者対象で、健康相談や軽い体操、アトラクションを楽しみ、食事をして交流する。 【ねらい】 高齢者の健康づくり、親睦を図る。	【準備過程】 地区のボランティア団体白ゆり会と福祉ひろば、公民館とで打ち合わせを実施し、開催内容を決定。 【共催団体等】 白ゆり会、福祉ひろば	【評価と反省】 白ゆり会による手作り弁当や民生委員による送迎のおかげで毎年多くの高齢者が参加している。 【今後の方針等】 今後も地域高齢者に楽しんでいただけるような内容になるよう関係団体と意見交換し充実させていきたい。		
町会対抗体育大会	7月7日	1回	地域事業(体育)	成人	80人	【内容】 ソフトバレーボール、卓球を町会対抗で行う。(軟式野球、ゲートボール、マレットゴルフの各種屋外競技は雨天のため中止) 【ねらい】 住民の健康増進、親睦を図る。	【準備過程】 公民館体育委員が中心となり、会議で開催内容を決定し、各町会ごと種目別に選手を集める。 【共催団体等】 中山地区町会連合会	【評価と反省】 例年、各町会とも選手集めに苦慮しているが、今年度は早めの声かけもあって参加率が良かった。 【今後の方針等】 開催趣旨に沿った形で多くの住民が気軽に参加できる方法について継続して検討していく必要がある。		
大人の散歩in白馬五竜(ウォーキング)	7月16日	1回	福祉健康	成人	40人	【事業内容】 参加者の健康増進を目的とし、白馬五竜の高山植物園を散策。 【ねらい】 健康づくりの推進及び地域住民同士の交流。	【準備過程】 白馬五竜担当者とコース設定等を行った。 【共催団体】 福祉ひろばと共催。同団体が行なう体力アップ教室の特別版という位置付け。	【評価と反省】 40名の住民が参加し、怪我や事故等なく体を動かすことが出来た。		
竹食器づくり&カレー会	8月21日	1回	子育て	青少年	20人	【事業内容】 児童センターと協力し、夏休み中にセンターに通う児童に対して、公民館を開放し、地域に多く自生する竹の有効活用策として竹食器づくりを実施。	【準備過程】 児童センター、福祉ひろば、地区ボランティア団体と打合せ。 【共催団体】 中山児童センター、福祉ひろば、地区ボランティア団体	【評価と反省】 刃物を使う事業であり、怪我の無い様、各工程に大人を配置し慎重に行ったことで、事故やトラブル等は無かった。 【今後の方針】 食育に繋がる事業であり、次年度も別の食器づくりも含め実施を検討したい。		
第44回東南ブロック球技大会	8月25日	1回	地域事業(体育)	成人	300人	【事業内容】 バレー、バドミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフ、軟式野球の6競技による6地区対抗。 【ねらい】 他地区住民との親睦を目的とするもの。	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	【評価と反省】 各地区の交流の場として実施できている。運営面での人員不足等課題があるため、各地区協力をしていきたい。 【今後の方針】 東南ブロックでの主催となる数少ない体育行事として他地区との交流の推進を図る。		
第62回市民体育大会秋季大会	10月13日 ※台風接近につき中止	1回	地域事業(体育)	成人	中止	【事業内容】 市民体育大会に際し中山地区団を結成し、野球、男女ゲートボール、卓球、ソフトバレーボール、マレットゴルフの種目の試合に出場する。 【ねらい】 地区内における団結力、交流の促進を図る。	【準備過程】 公民館体育委員が中心となり、選手団の結団式を開催した。(※台風接近に伴い大会自体が中止となったため、本番の応援、解団式は未実施) 【共催団体等】 町会連合会	【評価と反省】 毎年選手の確保に苦慮しているが、今年は比較的スムーズにいった。それだけに大会の中止が悔やまれる。 【今後の方針等】 地区内にて選手を確保して積極的に参加する体制を継続したい。		
第69回中山地区大運動会	10月20日 ※雨天中止	1回	地域事業(体育)	成人	中止	【事業内容】 中山小学校グラウンドで開催。子どもから高齢者までが一堂に会す地区最大のイベント。 【ねらい】 スポーツを通じて健康増進を図りながら、地区住民が相互の親睦を深めることにより地域づくりの基礎とする。	【準備過程】 公民館体育委員が中心となり、実行委員会を組織。企画、選手集め、運営を行う。 【共催団体等】 町会連合会を含め地区の各種団体と共催。	【今後の方針等】 会場である中山小学校グラウンドの状況を鑑み、今年度は中止としたが、地域にとってさらに価値のある事業となるように検討を重ね継続していきたい。		
第43回中山地区文化祭	11月2日～3日	1回	地域事業(文化)	成人	900人	【事業内容】 中山小学校の体育館や駐車場で展示、ステージ発表、お楽しみひろばを行う。 【ねらい】 文化の向上を図り、世代を超えた住民相互の触れ合いの場とする。	【準備過程】 公民館文化委員と町内公民館長会が実行委員会を組織し、企画、運営。	【評価と反省】 おたのみひろばへの出店に中山小学校の児童がスタッフとして協力し、地域住民の大人達との交流を図った。また、前日祭では前年度に引き続き竹灯籠まつりを開催し、普段文化祭へ足を運んだことのない人達にも多く参加いただけた。 【今後の方針等】 今後も地域文化発展を担う一事業として継続させていきたい。		
第8回泉小太郎祭り	11月3日	1回	地域事業(文化)	成人	200人	【事業内容】 弘法山古墳公園でのセレモニー、文化祭ステージでの中山小4年生による演劇。 【ねらい】 地域ゆかりの民話の内容や思いを地区全体で共有し、後世へ伝承する。	【準備過程】 町会連合会、町内公民館長会、文化委員会、地区内有識者により実行委員会を組織し、検討、準備、運営を行う。	【評価と反省】 担任と児童とで作り上げた舞台に登場した方々からは大きな拍手と感動を呼んでいた。文化祭と合同開催することにより、多くの住民に民話や活動を伝えられる機会になっている。 【今後の方針等】 今後も中山小4年生に関わってもらえるように、実行委員会と連携し、地域に根ざした催しになっていくよう支援していきたい。		
マレットゴルフ交流会	11月20日	1回	スポーツ	成人	61人	【事業内容】 東南部6地区合同でマレットゴルフ大会を開催。 【ねらい】 他地区との交流を深める。	【共催団体等】 寿、寿台、内田、松原、芳川地区公民館と共催。	【評価と反省】 他地区との交流を深めることができた。 【今後の方針等】 他地区との交流、健康増進に繋がる取組みであるため、今後も継続したい。		
第38回中山小学校手づくり教室	12月20日	1回	地域文化	青少年	150人	【事業内容】 地域で冬季に行われている縄ない、しめ縄づくりを地域住民が講師となって、中山小全年の児童に教える。 【ねらい】 伝統文化の伝承と世代間の交流を図る。	【準備過程】 子ども会育成会が中心となり講師の手配、調整、小学校との打ち合わせを行った。 【共催団体等】 中山小学校、福祉ひろば	【評価と反省】 講師の人数の確保が年々難しくなってきたが、育成会OBへの声掛けや、1年次より縄ないの経験のある中山小5、6年生対象に事前講習会を行い、講師の担い手の確保に努めた。 【今後の方針等】 引き続き人材育成を進めながら、継続させていきたい。		
防災講座	1月23日	1回	防災	成人	15名	【事業内容】 地区での避難所開設訓練を経て防災意識の高まりを背景に、各家庭で出来る「身近な防災」をテーマに講座を実施。 【ねらい】 家具等の配置方法を見直し、有事の際に避難所に避難できるよう住民各自の防災意識の向上を図る。	【準備過程】 地区住民で防災関係に詳しい建築士の方がおり、その方と数回に亘り打合せを実施した。 【共催団体等】 中山地区防災合同部会	【評価と反省】 平日日中の開催につき、参加者は然程多くはなかったものの、より身近な防災ということで、講師、受講者ともに真剣に取り組んでいた。 【今後の方針等】 災害はいつ起きるかかわからないものだからこそ、今後も継続して実施し、地区内の防災意識を一層高めていきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
中山映画会	2月15日	1回	その他	その他	70人	【事業内容】 公民館の視聴覚室で映画鑑賞会を実施。 【ねらい】 住民が気軽に集まれる場所としての認識を図る。	【準備過程】 公民館図書視聴覚委員が上映するものから周知まですべて企画、運営した。	【評価と反省】 普段なかなか来館しないような高齢者が、孫を連れて公民館を訪れたり、世代間交流また家族交流をする良い機会になっている。上映する映画作品により来場者の増減はあるものの、地域住民の集いを促進するため、今後も継続したい。		
認知症サポーター養成講座	2月25日	1回	福祉健康	高齢者	70人	【事業内容】 超少子高齢化社会の到来に向け、医師の立場から見た認知症を取り巻く現状について地区住民に周知するもの。	【準備過程】 中央南包括支援センター職員と打合せ。	【評価と反省】 市内でも高齢化率が高い土地柄であり、事前の周知により多くの方に聴講していただいた。 【今後の展開】 包括支援センターとは高齢者の相談会等で館を使用いただいでおり、関心の高い内容であり今後もこうした講座の継続実施を検討したい。		
人権視察研修	3月5日 ※コロナウイルス感染拡大防止のため中止	1回	人権平和	成人	中止	【事業内容】 人権啓発推進協議会を対象にした視察研修。今年度は第二次大戦末期の戦争遺構である松代象山大本営および周辺施設の視察見学として企画した。	【共催団体等】 中山地区人権啓発推進協議会が主催。	【評価と反省】 人権啓発推進事業として企画したが、コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 視察見学にて戦争の愚かさ、人権尊重について多くのことを学べる機会であるため今後も継続していきたい。		
親子ふれあいパーク2020 in まつばら	3月7日	1回	子育て	その他	中止	【事業内容】 ・親子での体を使った遊び、集団遊び、「投げ」や「走る」といった体の使い方を健康運動指導士から学ぶ。 【ねらい】 ・基本的な体の使い方を習得する子供期に、遊びを通していろいろな体の動きを体験し、運動することの楽しさを知り、家庭や地域での日常的・継続的な運動習慣のきっかけづくりとする。	【主催】 松原地区公民館、松本市健康づくり課 【共催】 中山、芳川、寿、寿台、内田公民館	新型コロナウイルス感染拡大を鑑み中止。 【今後の方針】 令和2年度にあらためて実施予定。		
歌声喫茶	6月13日 9月25日 12月25日	3回	趣味教養	成人	124人	【事業内容】 地区内の成人、高齢者の居場所づくりを主目的とし、福祉ひろばと共催で生演奏で歌を唄う取組み。ハーモニカクラブ、公民館カフェ等とも協力実施している。	【準備過程】 福祉ひろば、公民館カフェ、ハーモニカクラブ等と事前の打合せを実施。 【共催団体】 福祉ひろば、公民館カフェ、ハーモニカクラブ	【評価と反省】 前年度より開始した事業であるが、地区住民への認知が進み、毎回40名前後の来場者がある。公民館だけでなく、地域誌にも開催日時を掲載していることで、一部地区外からの来場者もいる。 【今後の方針】 既に令和元年度は大手公民館でも実施しており、他地区への広がりも含め、継続実施したい。		
フットサル講座	6月～3月	9回	スポーツ	成人	102人	【内容】 若い社会人を対象としたフットサル 【ねらい】 公民館事業として高齢者向けの健康教室等はあるが、20代～30代の若い社会人向けの教室等がないため、フットサル講座を実施することで、若い世代への健康寿命延伸の浸透を図る。また、これまで公民館を利用していなかった若い社会人に対し、スポーツを通じて地域間交流を深めてもらう場とすると共に、参加者の意見・感想などを参考として、今まで対象としてこなかった若い世代にも親しまれる公民館づくりを目指す。	【準備過程】 寿台地区・寿地区・芳川地区・中山地区においての募集回覧。 【共催団体】 寿公民館・芳川公民館・中山公民館	【評価と反省】 普段は仕事等で公民館に来る機会が少ない、公民館への関心も比較的薄いとされる若い世代の方々に、公民館事業を身近に感じていただくことが出来た。また、フットサルを通じて健康寿命延伸や参加者同士の地区を越えた交流の場となった。 【今後の方針】 次年度も継続して取り組みたい。		
CS事業クラブ活動支援	5月～10月 全7回	7回	地域文化	その他	420人	【事業内容】 中山小学校のクラブ活動支援として地域講師に依頼する。 【ねらい】 地域と学校、家庭と積極的に連携して、一体となって子どもを育てる。	【準備過程】 中山小よりニーズをくみ取り、公民館長がコーディネーターとして地区住民を講師として招き実施しているもの。	【評価と反省】 例年続いているクラブ活動に今年は新たに美術クラブを設け、学校との関わりの無かった地域住民と子どもたちを繋ぐことができた。今後も色々な人たちが学校へ入り、子どもたちを支えていきたいと考えている。 【今後の方針等】 講師謝礼という財政的支援のみならず、地域とのつながりを深められるような内容を引き続き検討していきたい。		○
ワイワイ子育て	5月～1月	7回	子育て	家庭教育	165人	【事業内容】 体操、読み聞かせ等の7回の講座を通じて、親同士、子ども同士が楽しみながらふれあう。 【ねらい】 親、子ども同士の交流、地域とのつながりを図る。	【準備過程】 社協中山支会、福祉ひろばとともに企画した。 【共催団体等】 各回ごとに地区内各種団体におやつ作りを依頼。	【評価と反省】 少子化の進行もあり参加者は毎年減少傾向にあるが、参加者同士、地域との交流を促すことはできている。 ママ友などのネットワークから、地区外からも参加を希望する方がおり、積極的に受け入れた。 【今後の方針等】 地域における子育て支援として今後も継続していきたい。		
フットサル講座	6月～3月	10回	スポーツ	成人	103人	【内容】 若い社会人を対象としたフットサル 【ねらい】 公民館事業として高齢者向けの健康教室等はあるが、20代～30代の若い社会人向けの教室等がないため、フットサル講座を実施することで、若い世代への健康寿命延伸の浸透を図る。また、これまで公民館を利用していなかった若い社会人に対し、スポーツを通じて地域間交流を深めてもらう場とすると共に、参加者の意見・感想などを参考として、今まで対象としてこなかった若い世代にも親しまれる公民館づくりを目指す。	【準備過程】 寿台地区・寿地区・芳川地区・中山地区においての募集回覧。 【共催団体】 寿公民館・芳川公民館・中山公民館	【評価と反省】 普段は仕事等で公民館に来る機会が少ない、公民館への関心も比較的薄いとされる若い世代の方々に、公民館事業を身近に感じていただくことが出来た。また、フットサルを通じて健康寿命延伸や参加者同士の地区を越えた交流の場となった。 【今後の方針】 次年度も継続して取り組みたい。		
父ちゃんの出番ですよ	8月19日 10月17日 12月17日 1月16日 2月20日	5回	趣味教養	成人	75人	【ねらい】 高齢者の健康づくりおよび日頃家庭で料理をすることの少ない男性を対象にして家庭生活の充実、食育の推進を図るために、料理をつくりながら交流する。	【共催団体等】 福祉ひろば、社協中山支会と共催。	【評価と反省】 より多くの男性が気軽に集まれる場に、健康増進を図れるよう、運動をプラスした講座を企画。また、普段自分たちで作り、食べていたものを、福祉ひろばへ来る地区の高齢者へ振舞う場を設け、住民同士の交流を図った。		
夏休み自習室	8月1日～8月23日	23回	その他	青少年	15人	【事業内容】 中山在住の学生へ向け夏休み期間中に公民館の一室を開放し、勉強しやすい環境を提供する。		【評価と反省】 普段公民館へ来ることのない10代の子どもたちが足を運ぶことよって、公民館を身近に感じてもらうことができた。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
放課後学習塾	通年	38回	その他	青少年	570人	【ねらい】 塾に通いたくても、家庭の事情や金銭面、移動距離の問題から通塾できない中山小学校の子どもたちに対し、公民館の一室を利用し、放課後学習塾を開催。	【準備過程】 中山地区在住で元教師の方へ協力を依頼。	【評価と反省】 通塾できない子どもたちへ始めた学習塾だが、今では逆に講師が子どもたちから新しい刺激を受けており、本人の生きがいづくりとなっている。子どもたちと、60歳以上も年が離れた講師の会話を見ていると、フレンドリーに会話する様子が見られ、世代を超えた交流の場になっている。		
公民館専門委員会	通年	37回	公民館委員会・各種会議等	成人	332人	【事業内容】 公民館事業の企画・運営のため開催。 ①運営委員会②館報編集委員会③体育委員会④文化委員会⑤図書視聴覚委員会		【今後の方針等】 引き続き委員会の主体的な活動を促し、地域の活性化を図ってきたい。		
地域づくり協議会活動支援	通年	40回	公民館委員会・各種会議等	成人	497人	【事業内容】 地域づくり協議会の活動支援、連携強化を図る。 ①運営委員会②地域活性化部会③防災環境保全対策部会④福祉対策部会		【今後の方針等】 さらに連携を強め、地域づくりを進めていきたい。		
町内公民館長会活動支援	通年	5回	公民館委員会・各種会議等	成人	60人	【事業内容】 町内公民館長会の活動支援、連携強化を図る。		【今後の方針等】 さらに連携を強め、地域づくりを進めていきたい。		
子ども会育成会支援	通年	7回	公民館委員会・各種会議等	成人	65人	【事業内容】 子ども会育成会の活動支援、連携強化を図る。		【今後の方針等】 さらに連携を強め、地域づくりを進めていきたい。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	
1	<p>芸術文化祭・福祉ひろばまつりの内容充実 例年の課題である参加者の固定化、マンネリ化等の課題を少しでも解消し、年に1度の公民館最大のイベントである芸術文化祭を盛り上げるため、開催趣旨の見直し、展示作品の増加、体験会の開催など、見直しと新たな試みを行った。</p>
2	<p>公民館委員会活動の充実 活動が停滞気味の委員会における活動の充実を図った。</p>
3	<p>講座開催などにより住民の学びの機会とつながり創出 試行的なものも含めて新規講座を7つ開催し、様々な学びの機会と住民同士のつながりの創出、また住民のニーズの把握に努めた。</p>
4	<p>市の重点事業及び中央公民館重点施策・推進施策について 市の重点事業であるKYデモクラシーや中央公民館の重点施策となっているコミュニティスクール事業については、小学校でのボランティア活動への支援や中学校での地域交流事業への支援、地域の歴史文化伝統行事と絡めた事業の展開など、地域住民と子どもの交流や子どもの行事について学ぶ機会を様々なかたちで創出することに努めた。</p>

評価・反省等	
1	<p>芸術文化祭・福祉ひろばまつりの内容充実 体験会の開催や展示作品の増加により例年とは一部異なる層の住民の来場が見られた。来年は住民とともに早期から内容を検討しさらに盛り上げていきたい。</p>
2	<p>公民館委員会活動の充実 活動回数の増加など一定の成果をあげることはできたが、委員会の中で得たものを各町会や地域へ還元していきけるよう、さらに充実した活動となるよう努めたい。</p>
3	<p>講座開催などにより住民の学びの機会とつながり創出 サークル化や芸術文化祭への出展など、一定の成果をあげることができた。単発的に行ったものもあったが、講座開催後のことも見据えた講座づくりを一層意識していきたい。</p>
4	<p>市の重点事業、中央公民館重点施策・推進施策について 既存の取り組みであるボランティア活動や交流事業をベースに、学校とさらに連携していくとともに、子どもだけでなくその親や若者世代にも目を向けた事業を展開していきたい。</p>

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館各種委員会等
	平人 和権	福健 祉康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	スポ ーツ	防 災	そ 他	体 育	文 化	そ 他	
事業数	2	1	5		3	5			1	6	1	1	6
延べ参加人数	10	50	560		63	156			13	1079	450		382

	C S	食 育
事業数	1	
延べ参加人数		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
塩の道を歩き歴史を学ぶ講座	5月7日 (月)	1回	趣味教養	成人	7人	【内容】 ・地区住民を対象に小谷村の千国街道(塩の道)を歩いた。 【ねらい】 ・地区住民の教養の向上、健康の増進、相互の親睦を図る。		【評価と反省】 ・島立地区ともかかわりのある千国街道(塩の道)の古道を現地のガイドを受けながら歩くことで、住民の教養の向上と、健康の増進をはかることができた。 【今後の方針】 ・今後も継続して開催を検討する。		
町会対抗卓球、ゲートボール、ソフトバレーボール大会	5月26日 (日)	1回	地域事業 (体育)	成人	240人	【内容】 ・地区内10町会対抗で、卓球、ゲートボール、ソフトバレーボールの大会を行った。 【ねらい】 ・住民が一体となり、体力の向上と相互の親睦を図る。	【準備過程】 ・体育協会三役会(体育委員会)、体育協会理事会で内容を検討した。 ・町内公民館長に協力を依頼した。 【共催団体等】 ・島立地区体育協会(体育委員会) ・島立地区町内公民館長会(企画委員会)	【評価と反省】 ・幅広い年齢層が参加した。 ・町会対抗で実施し、各町会はもちろん町会を超えての親睦が図られた。 ・町会対抗方式により生じる課題(世帯数、人口の差により生じる課題)や運営上の細かな反省点(体協理事の運営体制、選手と審判の兼任により人手不足等)がある。 【今後の方針】 ・毎年の恒例行事として今後も継続して開催する。 ・運営上の課題は、事前の会議の中で昨年の振り返りを行い見直ししていく。		
救急救命講習会	5月18日 (土)	1回	その他	成人	13人	【内容】 ・町会役員、町内公民館役員、体育協会役員を対象に普通救命講習を行った。 【ねらい】 ・地区のスポーツ大会や公民館事業実施中等における、緊急時人命救助の初動対応力の向上を目的に行うもの。	【準備過程】 ・体育協会三役会(体育委員会)、体育協会理事会で内容を検討した。 【共催団体等】 ・島立地区体育協会(体育委員会) ・島立地区町内公民館長会(企画委員会)	【評価と反省】 ・主に心肺蘇生とAEDの使用について手順を改めて学ぶ良い機会となった。 ・各種事業が始まる前(5月頃)の開催が実現できた。 【今後の方針】 ・いざという時のために定期的に手順を確認することが大切であるため、今後も継続して開催する。 ・各町会や団体で行っている講習会との共同開催を検討し、顔合わせや情報交換の場としての工夫をしてもいいかもしれない。		
トレッキング【中止】	6月30日 (日)	1回	健康福祉	成人	中止	【内容】 ・地区住民を対象に奈川(野麦峠)でトレッキングを行う。 【ねらい】 ・自然と親しみながら楽しく野山を散策し、日頃の疲れを癒すことで、住民の健康づくりを促進する。	【準備過程】 ・体育協会三役会(体育委員会)、体育協会理事会で内容を検討した。 【共催団体等】 ・島立地区体育協会(体育委員会)	【評価と反省】 ・天候不良のため中止とした。 【今後の方針】 ・毎年の恒例行事として今後も継続して開催する。		
町会対抗野球・マレットゴルフ大会	7月21日 (日)	1回	地域事業 (体育)	成人	152人	【内容】 ・地区内10町会対抗で、野球、マレットゴルフの大会を行った。 【ねらい】 ・住民が一体となり、体力の向上と相互の親睦を図る。	【準備過程】 ・体育協会三役会(体育委員会)、体育協会理事会で内容を検討した。 ・町内公民館長に協力を依頼した。 【共催団体等】 ・島立地区体育協会(体育委員会) ・島立地区町内公民館長会(企画委員会)	【評価と反省】 ・幅広い年齢層が参加した。 ・町会対抗で実施し、各町会はもちろん町会を超えての親睦が図られた。 ・町会対抗方式により生じる課題(世帯数、人口の差により生じる課題)や運営上の細かな反省点(体協理事の運営体制、選手と審判の兼任により人手不足等)がある。 【今後の方針】 ・毎年の恒例行事として今後も継続して開催する。 ・運営上の課題は、事前の会議の中で昨年の振り返りを行い見直ししていく。		
青山様・ぼんぼん学習会	7月22日 (月)	1回	地域文化	成人	20人	【内容】 ・主に小学校親子、子ども会育成会を対象に改めて学ぶ機会の少ないと思われるその謂れなどを事前に学んだ。 【ねらい】 ・行事への理解と次世代への伝承を図る。		【評価と反省】 ・参加者からは行事の意味、由来などを初めて知ることができた、自身の町会で早速実践してみたい、などの声がありおおむね好評だった。 ・一部親子での参加もあったが子どもには分かりづらい話だったという声があった。 ・学校を通じて周知はしていたが、参加者が少なく、直接声をかけた保護者の参加が主だった。 【今後の方針】 ・座談会があってもいいという声もあったので、講義形式だけではなく、開催方法も検討したい。 ・対象者が参加しやすい日時や周知方法を検討しながら、継続開催としていきたい。		
キャッシュレス講座	7月24日 (水)	1回	趣味教養	成人	19人	【内容】 ・国のキャッシュレス・消費者還元事業(ポイント還元事業)が始まることをきっかけに、キャッシュレス決済について学んだ。 【ねらい】 ・関心の高い事柄について学ぶ。		【評価と反省】 ・関心の高いであろう事柄について、住民皆で学ぶ機会となりよかった。 【今後の方針】 ・今後もタイムリーに関心の高い内容を講座として開催していきたい。		
風穴を体験しよう! ～涼しいぞ!風穴～	8月8日 (木)	1回	地域文化	青少年	11人	【内容】 ・主に夏休み中の親子を対象に、安曇の稲核にある風穴を訪れ、風穴にまつわるお話を聞きながら、炭焼き小屋、安曇資料館、水殿ダムなどをまわった。 【ねらい】 ・他地区の歴史文化を学ぶ。 ・夏休み中の小学生の居場所づくり。		【評価と反省】 ・安曇の歴史文化を学ぶ良い機会となったとともに、参加者は少なかったものの夏休み中の子どもの居場所づくりという講座のねらいを達成できた。 ・島立と関連付けて講座を行ったり、企画段階から住民の意見を反映するようにできればなおよかった。 【今後の方針】 ・引き続き、他地区の歴史文化に触れたり、夏休み中の子どもを対象にした事業を計画したい。		
河西部球技大会	8月25日 (日)	1回	地域事業 (体育)	成人	150人	【内容】 ・松本市長杯争奪球技大会予選を兼ねて、河西部地区対抗で軟式野球・ママさんバレー・卓球の大会を行った。 【ねらい】 ・河西部4地区住民の体力向上、健康の増進、スポーツの振興、住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 ・2回の4地区合同打ち合わせ会議にて、内容を検討した。 【共催団体等】 ・河西部4地区公民館 ・河西部4地区体育協会(体育委員会)	【評価と反省】 ・地区を超えての親睦が図られ、スポーツ振興においても役割を果たせた。 ・大会全体を通して、また、各競技毎にいくつか反省点があった。 【今後の方針】 ・4地区のスポーツを通じた親睦という点に重点を置いて、今回の反省点を活かしながら、毎年の恒例行事として今後も継続して開催する。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
町会対抗ソフトボール大会	9月1日(日)	1回	地域事業(体育)	成人	117人	【内容】 ・地区内10町会対抗で、ソフトボールの大会を行った。 【ねらい】 ・住民が一体となり、体力の向上と相互の親睦を図る。	【準備過程】 ・体育協会三役会(体育委員会)、体育協会理事会で内容を検討した。 ・町会対抗方式により生じる課題(世帯数、人口の差により生じる課題)や運営上の細かな反省点(体協理事の運営体制、選手と審判の兼任により人手不足等)がある。 【共催団体等】 ・島立地区体育協会(体育委員会) ・島立地区町内公民館長会(企画委員会)	【評価と反省】 ・幅広い年齢層が参加した。 ・町会対抗で実施し、各町会はもちろん町会を超えての親睦が図られた。 ・町会対抗方式により生じる課題(世帯数、人口の差により生じる課題)や運営上の細かな反省点(体協理事の運営体制、選手と審判の兼任により人手不足等)がある。 【今後の方針】 ・毎年の恒例行事として今後も継続して開催する。 ・運営上の課題は、事前の会議の中で昨年の振り返りを行い見直ししていく。		
自然観察会【中止】	10月7日(月)	1回	趣味教養	成人	中止	【内容】 ・四賀の自然を散策しながら、きのこの見分け方及び食べ方の講習を行う。 【ねらい】 ・毒きのこによる被害の防止としてきのこの見分け方を学ぶことで住民が安全に採取を楽しむことを目的とする。また同時に、現地で採取したきのこを食すことで地域住民の親睦を深め、地域コミュニティの強化を図る。		【評価と反省】 ・近年は例年訪れている場所のきのこの生育が悪く、講座のねらいを達成できないことから、他の場所を模索したが適当な場所がなかったため、中止とした。 【今後の方針】 ・講師と相談し違う形での開催などを検討する。		
島立スポーツフェスティバル	10月20日(日)	1回	地域事業(体育)	成人	420人	【内容】 ・地区住民を対象に町会対抗で運動会形式の各種競技、抽選会、ニュースポーツ体験会などを行った。 【ねらい】 ・スポーツを通して地区住民の親睦、健康増進と共に、地域づくりの推進を図る。		【評価と反省】 ・地区の一体感を強めるイベントとし、多くの参加、来場があった。 ・これまで課題とされてきた、参加者や競技種目の固定化などの解消のため、競技の数削減、紅白対抗から町会対抗形式への変更、ニュースポーツ体験コーナーの設置などの変更を行った。変更点については概ね好評であったが、新たな課題も見えた。 【今後の方針】 ・今回の反省を活かした見直しを行い、地区の大イベントとして誰もが参加して楽しめる内容にできるように引き続き検討していく。		
島立地区芸術文化祭・島立地区福祉ひろばまつり	11月9日(土) 11月10日(日)	1回	地域事業(文化)	その他	450人	【内容】 ・地区文化活動者の発表(ステージ発表、展示発表)、公民館活動功労者表彰、各種体験会などを行った。 【ねらい】 ・地区文化活動者や福祉ひろば利用者の発表の場、また住民が一堂に集う場を提供することで、活動者がより生きがいを持って文化活動を行なうこと、その他の参加者が身近な文化・芸能に触れ新たな文化活動の担い手となること、また住民同士の交流、親睦を深めることを目的に開催する。	【準備過程】 ・地区内団体と実行委員会を組織し、内容を検討した。 ・また、福祉ひろばまつりと共催のため、福祉ひろばと内容を検討した。 【共催団体等】 ・島立地区町内公民館長会(企画委員会) ・福祉ひろば	【評価と反省】 ・今年度から開催趣旨を従来の文化活動の成果発表のみならず、住民同士の交流の場づくりということに主眼を置き、2日目は主に小学生向けに各種の体験会を行い多くの来場があった。 ・例年の反省点である「展示場所の固定化」、「展示者の減少やマンネリ化」などの課題に対し、公民館講座の成果を文化祭の展示に繋げるなど、展示者や展示作品の充実を図った。 【今後の方針】 ・毎年の恒例行事として今後も福祉ひろばと協力しながら継続して開催する。 ・新たな試みも行う上で出てきた良かった点・悪かった点を来年度に引き継ぎ活かしていく。		
人権啓発推進協議会視察研修「戦争と平和を考えるバスハイク」	11月18日(日)	1回	人権平和	成人	10人	【内容】 ・無言館及び松代象山地下壕の見学を行った。 【ねらい】 ・戦争と平和について考える機会とする。	【共催団体等】 ・島立地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・初めて視察研修を行ったことと、突発的に行なったことにより参加者が少なかった。 ・内容について事前に十分検討して実施するべきだった。 【今後の方針】 ・来年度も実施するかは検討。		
クリスマス会	12月19日(金)	1回	子育て	青少年	100人	【内容】 ・クリスマスの時期に合わせて、主に未就園児の子どもとその親を対象にコンサートを中心としたイベントを開催した。 【ねらい】 ・参加した親子にクリスマスにちなんだコンサートなどを楽しんでもらう。	【共催団体等】 ・福祉ひろば ・つどいの広場	【評価と反省】 ・保育園児も含めて多くの参加があり、盛り上がった。 【今後の方針】 ・毎年の恒例行事として今後も継続して開催する。		
島内・島立ふれ愛コンサート【中止】	2月29日(土)	1回	人権平和	成人	中止	【内容】 ・島内・島立の2地区合同で人権をテーマとしたコンサートを行う。 【ねらい】 ・人権問題の解決に向けた取り組みが重要性を増している中、誰もが幸せな日々を過ごせるよう福祉のまちづくりに精力的な活動を展開している。それに呼応してすべての人の人権が尊重され、誰もが明るく幸せに暮らせる地域づくりを進めることを目的に開催する。	【準備過程】 ・両地区の人権啓発推進協議会で実行委員会を組織し、内容を検討した。 【共催団体等】 ・島内・島立ふれ愛コンサート実行委員会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・継続開催。		
第1回島立再発見講座「浮世絵の世界と信州の近代歴史に触れよう!」	2月24日(月)	1回	地域文化	成人	32人	【内容】 ・改めて島立の歴史・文化などについて学ぶ機会を様々なかたちで創出する。今回は地区内の小柴町会を会場に開催した。 【ねらい】 ・島立の歴史・文化をどう伝えていくか考え、それを通して住民同士がつながり地域愛を育む、そして歴史・文化に限らずこれからの地域の在り方を考えるきっかけとなることを目指す。	【共催団体等】 ・小柴公民館	【評価と反省】 ・参加した皆さんの満足度は高かったと思うが、島立という地域を見つめ直す(再発見する)という趣旨の説明が不足していたように思った。 ・今回の講座で得たものを個人の学びや地域への還元という形で次につなげることができるようさらに検討が必要。 【今後の方針】 ・継続開催する。今回の参加者に声をかけながら、企画から住民の皆さんと考えていく講座としたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
島立公民館利用者懇談会	2月25日 (火)	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	26人	【内容】 ・島立公民館利用団体の代表者を対象に懇談会を行った。 【ねらい】 ・利用者同士の意見交換（顔合わせ）やさらなる利用状況の改善を図る。		【評価と反省】 ・年に1回の有意義な意見交換の場となった。 【今後の方針】 ・継続開催する。昨年度から始めた懇談会が形骸化しないよう、こちらからの情報提供（地区のことなど）や利用者同士の交流について工夫しながら開催していきたい。		
バドミントン大会【中止】	3月1日 (日)	1回	地域事業（体育）	成人	中止	【内容】 ・地区内住民対象のバドミントン大会を行う。 【ねらい】 ・町会、世代を越えた親睦と日頃の運動不足解消を図る。初心者や未経験者が気軽に参加し、楽しんでもらえる大会とする。	【準備過程】 ・体育協会三役会（体育委員会）、体育協会理事会で内容を検討した。 【共催団体等】 ・島立地区体育協会（体育委員会）	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・継続開催。		
大きくなったね会【中止】	3月3日 (火)	1回	子育て	青少年	中止	【内容】 ・来年度から保育園に入園する子どもを含めたつどいの広場利用者を対象にコンサートを中心としたイベントを開催する。 【ねらい】 ・参加した親子にコンサートなどを楽しんでもらうとともに、皆で今年度の子どもたちの成長を祝う。	【共催団体等】 ・福祉ひろば ・つどいの広場	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・継続開催。		
楽しい感動の陶芸講座	4月～9月	9回	趣味教養	成人	70人	【内容】 ・陶芸の基礎（作品ができるまでの体験）を行った。 【ねらい】 ・陶芸の基礎を学ぶことを目的とする。またそれを通して地域住民の親睦を深め、地域コミュニティーの強化を図る。		【評価と反省】 ・かつての陶芸クラブの復活と使用されていなかった道具の活用という住民の声を講座にし、講座終了後はクラブとして自主的に活動するようになったという点で、当初のねらいを達成することができた。 【今後の方針】 ・クラブ会員の増加の協力や地区行事、コミュニティスクール事業等への活動の還元のみならず今後ともかかわっていく。		
デジタルカメラ講座	5月～9月	5回	趣味教養	成人	60人	【内容】 ・デジタルカメラの基礎知識や技術を習得するため、座学、撮影会や品評会を行った。 【ねらい】 ・自分の作品作りを楽しみながら感性を磨くとともに参加者同士の交流を図る。		【評価と反省】 ・参加者にはおおむね好評であったが、座学が無く撮影会がメインになり、かつ講師が一人でも対応できない人数の時もあり、本来のねらいである知識や技術の取得が十分にできなかった。 ・参加者それぞれカメラの種類もばらばらで、特にスマホでの撮影を考えていた参加者のフォローが不十分だった。 ・芸術文化祭・福祉ひろばまつりにて成果を発表することができた。 【今後の方針】 ・継続開催とするかは今後検討。		
親子フィットネス	5月～3月	15回	子育て	その他	402人	【内容】 ・主に地区住民を対象に親子で仲間と一緒に運動するフィットネスを行った。 【ねらい】 ・親子で仲間と一緒に運動する機会を創出し、地区住民の精神的・肉体的健康増進を図る。	【共催団体等】 ・つどいの広場	【評価と反省】 ・多くの親子が参加した。 ・年間を通しての開催のため、母親同士の親睦も深まる様子も見られた。 【今後の方針】 ・毎年の恒例行事として今後も継続して開催する。 ・子どもにケガが無いように会場の整備を注意深く行う。 ・地区内の未就園児親子の居場所やつながりづくりの事業をさらに検討する。		
終活講座	11月～12月	10回	福祉健康	成人	50人	【内容】 ・今や当たり前と言われる「終活」について学ぶ、考える機会を創出する。「賢い財産の遺し方」、「受け取り方」を学ぶ。 【ねらい】 ・関心の高い事柄について学ぶ。		【評価と反省】 ・参加者が少なかった。一方で、参加者は自身の学びを深めることができたように思う。 【今後の方針】 ・今後もタイムリーで関心の高い内容を講座として開催していきたい。		
コミュニティスクール事業	通年		子育て	青少年		【内容】 ・各学校のCS運営委員会に参画、予算執行管理、クラブ活動等講師紹介などを行った。 【ねらい】 ・地域全体で子どもを育てる。		【評価と反省】 ・例年の事業の踏襲。 ・運営委員自身もコミュニティスクールへの理解が十分でないように感じた。 【今後の方針】 ・地域と学校の双方向の交流、子どもの主体的なかわりを意識して取り組んでいく。 ・現在の活動の継続と見直しを行う。		○
地域づくりグループ「～豊かな自然に恵まれた地域へ～自然体験学習」活動支援	8月11日 (日) 11月24日 (日) 2月2日 (日)	3回	子育て	青少年	58人	【内容】 ・地区内の小学生及びその保護者を対象に行う自然体験学習を行う「自然体験学習チーム」の活動を支援した。 【ねらい】 ・児童の自然への畏敬の念を強め、思いやりの心を醸成する。	【準備過程】 ・専門講師を交えて、打合せを行い内容を検討した。 【共催団体等】 ・子ども会育成会	【評価と反省】 ・参加者たちは自然の中で普段経験できない貴重な経験ができ、また参加したいという声が多かった。 ・運営側の人数確保、完全ボランティアなど、活動の継続性について検討が必要。 ・活動のさらなる周知方法について検討が必要。 【今後の方針】 ・今後も継続して活動予定であるため、引き続き支援を行う。活動開始から5年を迎え、今後の方向性をあらためて協議して決めていく。 ・運営側の人数確保については、子ども会育成会、PTA、小中学校、大学、町会との連携などを視野に検討する。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
企画委員会（町内公民館館長会）	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	113人	【内容】 ・地区内の意見、要望を聴取しながら、公民館事業を企画、運営した。 ・その他、公民館事業推進に必要な研究、提言を行った。 ・各種研修を行った。 【ねらい】 ・地区の公民館活動の一層の充実を図る。		【評価と反省】 ・委員が主体的に活動を行った。 ・館長同士の有意義な情報交換の機会となった。 ・例年、企画委員会として公民館講座などの事業の企画などにあまり関わっていない面があったが、少しでも企画段階から関わることができるように検討した。 【今後の方針】 ・引き続き地区の公民館活動のより一層の充実を図る。 ・引き続き、各町内公民館で会議を開催する。 ・町内公民館長（副館長も含む）の中での研修の充実を図る。 ・冬季講座等、町内公民館独自の活動を一層支援する。		
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	107人	【内容・ねらい】 ・公民館報の編集ならびに編集に必要な取材等を行う。		【評価と反省】 ・委員が主体的に活動を行った。 【今後の方針】 ・内容がマンネリ化しないように努める。 ・委員のモチベーションにもつなげるため、より多くの地域住民に館報を読んでもらうためのPR方法を引き続き委員とともに検討する。		
体育委員会（体育協会三役会）	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	62人	【内容】 ・各種体育事業を企画及び運営した。 ・芸術文化祭の運営に携わった。 【ねらい】 ・地区の体育・健康の向上を図る。		【評価と反省】 ・委員が主体的に活動を行った。 【今後の方針】 ・引き続き住民が楽しめる体育事業を検討する。 ・体協三役と各町会体協理事がより一体的に事業を運営できるよう検討する。		
文化図書委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	30人	【内容】 ・芸術文化祭の企画及び運営に携わった。 ・島立公民館図書コーナーの図書の入替え作業を行った。 【ねらい】 ・地域文化の向上を図り、各種文化活動を行う。また、地域住民の知識の向上を図り、書籍ほか各視聴覚手法を活用した事業を行う。		【評価と反省】 ・主な活動となっている図書の入れ替え作業と芸術文化祭の企画運営について予定通り行うことができた。 ・一方で参加できる委員が例年固定化している。また、委員会独自の新たな活動を模索したが、実際の取り組みにはつなげることができなかった。 【今後の方針】 ・活動の継続、見直しと合わせて委員会独自の活動について引き続き模索する。 ・委員の選出方法についても検討する。		
女性委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	44人	【内容】 ・芸術文化祭の企画及び運営に携わった。 【ねらい】 ・女性の地位向上に努めその活動を通じて地区住民の啓発に努める。		【評価と反省】 ・昨年以上に委員同士や公民館との顔合わせの機会を増やすことができ、それをスポーツフェスティバルや芸術文化祭の企画及び運営につなげることができた。 【今後の方針】 ・委員会のねらいを現状に合わせて見直す。 ・委員会で学びをより地域に還元できるよう検討する。		
島立地域だよりの発行	通年	12回	地域事業（その他）	成人		【内容】 ・公民館だよりの発行、福祉ひろばだよりの発行、体協だよりを統合した島立地域だよりを毎月発行し、地区内全戸配布した。 【ねらい】 ・地域住民が公民館、福祉ひろば他、地域の催しや情報を得る。	【準備過程】 ・福祉ひろば、体育協会と内容について相談の上、決定した。	【評価と反省】 ・見やすい紙面づくりを心がけ、ホームページでも引き続き公開しているが、どのくらいの住民が、どこまで読んでいるのかが不透明。 【今後の方針】 ・紙面の見直しなどにより見やすい紙面づくりを心がけ、地区内の組織団体等と連携しながら多種多様な情報を掲載し、さらなる利便性の向上を図る。 ・アンケートの実施を検討する。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【重点的に取り組んだ事項】
 1 新の里ウォークラリー2019
 コース設定等の準備については、共催団体（ものぐさ大学理事会・新村地区子ども会育成会・新村地区福祉ひろば）と入念に打合せを行った。参加者募集については、公民館だよりによる一般募集、子ども会育成会役員による町会ごとの呼び掛け・参加取りまとめを行い、今年度は近隣にある松本大学（学生課・工房ゆめ）に参加者募集の依頼をした。ウォーキング終了後、クイズの答え合わせ以外に今年度は子ども会育成交流部によるお楽しみ品を参加した小学生に対して贈呈した。
 2 写経会の開催
 今年度初めて公民館講座として写経会（しゃきょうえ）を開催。会場は地区内にある専称寺の一室をお借りし、住職から説明受けながら多くの参加者が筆を走らせた。写経を行うにあたっての準備品（紙・筆・墨汁）についてはお寺側に依頼し、公民館としては公民館だよりで参加者募集を行った。
 3 ものぐさ大学事業の推進
 事業の企画や運営を行う住民有志の組織「ものぐさ大学」と協働し、年間を通じて事業（おでかけウォーキング・大人の社会見学・美術館巡り・自然観察会等）を実施。公民館としては、公民館だよりで参加者募集をし、福祉ひろばで行われる行事等の場でも参加を呼び掛けた。

評価・反省等

1 新の里ウォークラリー2019
 長年継続している事業であるため、地区内はほとんど歩き尽くした状況である。今年度は松本大学から大勢の学生の参加があったが、一般応募はほとんど無かった。また、参加者の小学生はその大半が子ども会育成会役員の家族であった。そのため、今後は周回方法を見直し、特に一般参加者に焦点を当て募集をしていきたい。
 2 写経会の開催
 今年度初めて開講した講座であったが、大勢の参加があった。使用した道具（特に筆）の質があまり良くなく、思う様に字が書けないと参加者から感想があったので、今後は公民館で筆を購入し講座に役立てたい。日程時期についても、農業の繁忙期等を外した日程を検討し、更なる参加者増加を図りたい。
 3 ものぐさ大学事業の推進
 ものぐさ大学事業については、例年似たような内容ではあるものの一定数の参加がある。企画を行うものぐさ大学理事会では、高齢化を理由に理事を退任する方も出始めており、人材確保が課題となっている。今後は、住民がより参加したいと思えるような事業展開を、ものぐさ大学理事会と連携を図りながら進めていきたい。

項 目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館 各種 委員会 等
	平人 和権	福健 祉康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	ス ポ ー ツ	防 災	そ 他	体 育	文 化	そ 他	
事業数	2	4	1		3	4			3	8	1	3	1
延べ参加人数	620	65	180		60	87			118	980	800	120	320

	CS	食育
事業数	2	3
延べ参加人数	88	30

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
ものぐさ大学 自然観察会	4月22日 8月28日	2回	趣味教養	成人	25人	【事業内容】 自然観察会として、県内外の自然名所を訪れた。 <4月22日> ・群馬県碓氷峠 <8月28日> ・白駒岳 【ねらい】 自然観察会を通して、地区住民の自然や生物等への関心を高め、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・ものぐさ大学理事会	自然に触れ合い、住民相互の親睦を図ることができた。		
ものぐさ大学理事会	5/28 8/20 9/26 2/5 3/30	5回	公民館委員会・各種会議等	成人	50人	【事業内容】 公民館事業を企画・運営する独自の組織として、公民館委員の活動とは別に活動を続けている。今年度は5回の全体会を開催し、各事業の担当に分かれて、各事業の企画・運営を担った。 【ねらい】 地区住民の知識や教養の向上、住民同士の親睦を図る。	【共催団体】 ・ものぐさ大学理事会	公民館や福祉ひろばと協働する住民有志の組織であり、人材の確保が課題である。また、「楽しく学ぶ」をモットーに活動しているが、公民館としては「学ぶ」の部分を大事にしていきたいと考えている。		
ものぐさ大学 美術館巡り	8月1日	1回	趣味教養	成人	25人	【事業内容】 県内の美術館を見学する。 <8月1日> ・白鳥映雪美術館 ・小諸懐古園（小山敬三美術館） 【ねらい】 美術館巡りを通して、歴史や教養等を養い、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・ものぐさ大学理事会	天候に恵まれ、日差しが強い日であったが、美術館を見学。それぞれガイドスタッフより説明を受け、知識や関心を深めた。		
ものぐさ大学 おでかけウォーキング	11月21日 12月10日	2回	趣味教養	成人	40人	【事業内容】 市内35地区をウォーキングし、神社仏閣史跡等を訪ねる。 <11月21日> ・城北地区（開智学校ほか） <12月10日> ・本郷地区（浅間温泉街ほか） 【ねらい】 ウォーキングを通して、地区住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・ものぐさ大学理事会	おでかけウォーキングは2回実施した。それぞれ天候に恵まれ、多くの参加者があった。参加メンバーは一定程度固定化はしているものの、毎回新しい参加者がいる。今後は35地区の制覇に向け、事業を継続していきたい。		
町会体協球技大会	5月19日	1回	地域事業（体育）	成人	200人	【事業内容】 町会対抗で球技大会を実施。 <種目> ソフトボール・ソフトバレーボール 【ねらい】 球技大会を通して、地区住民の健康増進、体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・体育協会	恒例行事となっており、多くの参加者がいる。町会によっては選手集めが困難で、他町会と合同でチームを結成している。今後も引き続き住民同士の交流が図れる大会となるよう、関係団体と連携を図っていきたい。		
公民館講座「写経会」	6月24日	1回	地域文化	成人	25人	【事業内容】 地区内にある専称寺で写経会を開催。 【ねらい】 写経を通して、歴史・文化に対する関心を高め、住民相互の親睦を図る。		今年度初めて講座を開催、多くの参加者が集まった。会場は専称寺の座敷をお借りし、お寺側で用意して頂いた筆や墨汁等を使用。長時間正座が出来ない方には座椅子を用意された。住職からは何故写経を行うのか、写経を行ううえでの注意点等が丁寧に説明された。今後は開催時期を見直し、より多くの住民が参加できる講座としたい。		
ホテル祭り	6月29日	1回	地域事業（その他）	青少年	50人	【事業内容】 主に小学生を対象にホテルの観察会とビンゴ大会を実施。 <会場> ・芝沢せせらぎ（芝沢小学校） ・芝沢運動広場 【ねらい】 ホテルの観察を通して、自然や生物に関心を持ち、地域への愛着形成を図る。	【共催団体】 新村ホテルを育む会	あいにくの悪天候で開催が危ぶまれたが、何とか開催することができた。ビンゴ大会は好評で多くの子ども達が歓声をあげていた。募集対象が新村地区在住の子どものみであったため、和田地区の子どものみを含めた小学校全児童を対象することも検討していきたい。「新村ホテルを育む会」の会員の高齢化が深刻となっているため、若い人材を確保しながら事業の継続を図ってきたい。		○
新村地区オープン大会	7月7日	1回	地域事業（体育）	成人	120人	【事業内容】 町会対抗ではなくオープンで参加者を募りスポーツ大会を開催。 <種目>ワンバウンドふらばーるバレー <会場>芝沢体育館 【ねらい】 大会を通して、地区住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・体育協会 ・町会連合会 ・町内公民館長会	松本大学から毎年複数チームの参加申込みがあり、地区住民と松本大学学生の交流の場となっている。今年度も新村地区地域づくりセンターでチームを結成し出場。地域行事として定着しつつあるため、今後も事業を継続していきたい。		
親子料理教室	8月2日	1回	福祉健康	その他	15人	【事業内容】 夏休み中の子ども達とその親を対象に、食育事業の一環として料理教室を開催。 ・ゆかりしらすおにぎり ・かんたんスパニッシュオムレツ ・やさしいカミカミ和え ・ヨーグルトのパフェ 【ねらい】 料理教室を通して、親子間の交流と食に対する理解を深める。	【共催団体】 ・食生活改善推進協議会	食生活改善推進協議会の会員の方々から講師となり、夏休み中の親子を対象に料理を教室を開催。各グループごと講師が調理指導を行い、食に対する理解が深まった。		○
公民館寺子屋	8月6日 8月9日	2回	その他	青少年	38人	【事業内容】 夏休み中の小学生を対象に、学習支援ボランティアが宿題等の学習活動を支援。支援以外に、有志団体により体験活動を実施。 <8月6日> ・自由学習、学習支援ボランティア講話 <8月9日> ・自由学習、スポーツ吹矢体験 【ねらい】 「地域の子どもは地域で育てる」を実践するため、公民館を会場として子ども達が地域の方々と交流する場を創出する。交流を通して、お互いが学び合い、地域に対する愛着を深める。	【共催団体】 福祉ひろば 【協力団体】 ・あたらしい郷協議会 ・学びの友部会 ・安心安全部会	今年度は1日目は学習支援ボランティアの方による講話（戦争にまつわるお話）、2日目はスポーツ吹矢協会新村支部の方々をお呼びに吹矢体験会を実施。昼食には福祉ひろば職員の手作りカレーが振舞われた。参加者数は例年並みであったが、前回から引き続き参加してくれる児童も多く、事業としては成果が出始めている。今後は若い学習支援ボランティアの確保のため、松本大学（特に教育学部）に依頼し、学生を派遣して貰えないか交渉したい。		○

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
公民館移動講座	8月10日	1回	地域文化	成人	15人	【事業内容】 松本市文書館・旧開智学校を見学。 【ねらい】 地区住民の知識や教養の向上、住民同士の親睦を図る。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 ・学びの友部会	国宝に指定された旧開智学校の見学ということもあり、お盆休み前ではあったが多くの参加者があった。今後も定期的に移動講座を開催していきたい。		
プチ送迎ボランティア運行1,000回記念感謝祭	8月11日	1回	福祉健康	成人	35人	【事業内容】 プチ送迎ボランティア運行1000回達成を記念して感謝祭および記念講演（松本大学尻無浜教授）を開催。 【ねらい】 これまでプチ送迎ボランティアに関わった人達の労をねぎらい、これから活動に向けて関係者で団結を図る。		運転手の高齢化が深刻で、人材不足が課題となっている。事務局である公民館としては、出来る限りの支援・協力を続けていきたい。		
ちびっ子夏季スポーツ大会	8月22日	1回	地域事業（体育）	青少年	120人	【事業内容】 新村地区在住の小学生を対象にスポーツ大会を開催。 <会場> ・芝沢体育館 ・芝沢小学校体育館 <種目> 1～3年男女：ドッチビー 4～6年男子：バスケットボール 4～6年女子：ソフトバレーボール 【ねらい】 大会を通して、子ども達の健全育成および自主性を図る。	【共催団体】 ・子ども会育成会	昨年は酷暑で大会が中止となったが、今年度は予定通りに開催。子ども会育成会の役員を中心に、当日は競技審判や運営スタッフを担当。競技種目以外に全体で大玉送りを実施。		
河西部球技大会	8月25日	1回	地域事業（体育）	成人	100人	【事業内容】 島内・島立・和田・新川の河西部4地区対抗で競技を実施。 競技種目：軟式野球 ママさんバレーボール 卓球（硬式・ラージボール） 【ねらい】 河西部4地区住民の体力向上、健康の増進、スポーツの振興、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・河西部4地区体育協会・委員	新村は軟式野球を担当し、会場設営等を行った。大会を通じて、健康増進や住民同士の親睦を図ることができた。		
ものぐさ大学 大人の社会見学	9月30日	1回	趣味教養	成人	22人	【事業内容】 善光寺・信濃毎日新聞製作センターを見学。 【ねらい】 地区住民の教養の向上、住民同士の親睦を深める。	【準備過程】 ものぐさ大学理事会の中で場所等を検討。	それぞれの施設で、ガイドスタッフにより説明を受け、知識や関心が深まった。		
新の里ウォークラリー2019	10月5日	1回	地域事業（その他）	その他	70人	【事業内容】 新村地区の子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に、地区内でウォークラリーを開催。コース内に地区文化財に関するチェックポイントを設け、問題を出题。参加者相互の親睦を深めるため、ウォークラリー終了後に昼食でカレーライスを振る舞い、参加者同士の交流を図った。今年度も松本大学から大勢の学生の参加があり、地区住民との親睦を深めていた。 【ねらい】 ウォークラリーを通じて地区の歴史文化に触れ、地区への愛着を深めるとともに、参加者相互の親睦を図る。	【準備過程】 9月26日 打合せ会議 10月4日 前日準備 【共催団体】 ものぐさ大学理事会 子ども会育成会 交通安全協会新村支部 福祉ひろば	ものぐさ大学理事会でコースの下見を実施。距離や出題問題等の確認を行い、参加者の中心となる小学生が飽きないよう工夫をした。10年以上続く行事であるため、地区内は歩き尽くしている現状である。毎年参加者集めに苦労しているため、より内容を充実し、地区住民に広く周知していきたい。		
女性の料理教室	10月16日	1回	福祉健康	女性	15人	【事業内容】 地区住民の女性を対象に、食育事業の一環として料理教室を開催。 ・こうや豆腐とひき肉のみそ炒め丼 ・こうや豆腐のみぞれ和え ・こうや豆腐と長芋の焼き物 ・けの汁（津軽地方の郷土料理） ・こうや餅（わらび餅風） 【ねらい】 女性の料理技術を高めるとともに、郷土の食材を生かしたメニューを学ぶ。	【共催団体】 ・食生活改善推進協議会	講師に旭松食品㈱の林潤子先生を招き、こうや豆腐を使ったヘルシー料理に挑戦。バラエティ豊かなメニューに、参加者からは好意的な感想が多く述べられた。参加者集めは食生活改善推進協議会の方々に任せて頂いた。周知方法を工夫し、より参加者が増えて欲しい。		○
新村地区市民運動会	10/20（雨天中止）	1回	地域事業（体育）	その他	0人	【事業内容】 新村地区全住民を対象に、下記のとおり市民運動会を開催。 会場：新村農村広場 競技：15競技を実施 【ねらい】 運動会を通じて、地区住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・運動会実行委員会（町会長会・町内公民館長会など）	昨年同様、今年度も天候不順により中止となってしまった。今年度は運動会全体の時間短縮のため、競技時間の縮小等を行い、閉会式を含め昼頃までに全プログラムが終了するよう内容の見直しを実施。運動会の開催については、一部住民より反対意見が出ているため、来年度開催できた段階で、関係団体では是非を協議していきたい。		
新村文化祭・福祉ひろば祭り	11月2日 11月3日	1回	地域事業（文化）	その他	800人	【事業内容】 地区住民を対象に、2日間開催。 <会場> ・新村公民館 ・新村多目的研修センター <11月2日> ・特別講演「ものぐさ太郎は誰か」 <11月3日> ・ステージ発表、作品展示 ・お楽しみ大抽選会 【ねらい】 日頃、芸術や文化活動をしている地区内の団体・個人の成果発表の場とし、地区住民が芸術や文化等に触れる機会を創出。	【共催団体】 ・文化祭実行委員会 【準備過程】 ・実行委員会 3回開催 ・調整会議 1回開催	今年度はJA新村支所との合同スタンブラリーのスタンプ押印場所を多目的研修センター内に設けることで、多くの作品が地区住民の目に触れることができた。文化祭はあくまで公民館利用団体等のサークル活動の発表の場であるが、文化祭実行委員から来場数を増やすため目玉企画や趣向を凝らしたステージ発表を行うなど、来場者数を増加を目指し公民館として内容を検討してほしい意見が多数出た。来年度は関係団体と連携を図りながら、文化祭全体が盛り上がるように工夫を凝らしたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
男性の料理教室	11月14日	1回	福祉健康	成人	8人	【事業内容】 地区内の男性を対象に、食育偉業の一環として料理教室を開催。 ・豚肉の生焼き ・小松菜の煮浸し ・きゅうりとわかめの酢の物 ・かき玉汁 ・こはん	【共催団体】 ・食生活改善推進協議会	大半の参加者は普段から料理をしておらず、講師に指示を貰いながら作業をしていた。メニューは家庭でも再現しやすい内容で、減塩など健康に配慮した内容であったため、参加者から好評を得た。参加者数が少ないのが課題であるため、講師と相談しながら、内容の工夫・改善に努めたい。		○
第5回ニュースポフェスIN新村	11月17日	1回	地域事業(体育)	成人	70人	【事業内容】 ニュースポーツの体験及び体力診断の実施。 ＜種目＞ ・囲碁ボール ・パラシュット ・バスケットピンポン ・タスポニー ・シャッフルボード ・スカットボール ・ストラックアウト ・マグダーツ ・ポッチャ 【ねらい】 子どもから高齢者まで幅広い年代が気軽にスポーツを楽しみ、健康増進や地区住民相互の親睦を深める。	【共催団体】 ・体育協会 ・子ども会育成会 ・河西部ブロック体協	参加者が少なく、大半の子どもは共催団体である育成会役員の子どもである。現状の周知方法が公民館だよりと育成会役員の声掛けのみであるため、早い段階から学校へチラシ配布を依頼するなど周知方法を工夫したい。 育成会が準備するひもくじは子ども達から好評を得ている。今後は育成会にもイベント内容を検討して貰い、参加者を増やすよう関係団体で協力していきたい。		
押し絵作り教室	12/10 12/18	2回	趣味教養	成人	6人	【事業内容】 講師を招き、干支の押し絵を作成。 【ねらい】 教養の向上、文化の継承を図る。		恒例行事となっているが、参加者が固定化している。参加者増加を目指す、講師と相談しながら、内容を工夫していきたい。		
生け花教室	12月25日	1回	趣味教養	成人	19人	【事業内容】 講師を招き、生け花教室を開催。 【ねらい】 教養の向上、文化の継承を図る。		恒例行事となっているが、毎年多くの参加者がいる。市販品に比べ費用を安く抑えられるので、それが参加者が多い要因となっている。		
第45回元旦マラソン	1月1日	1回	地域事業(体育)	その他	50人	【事業内容】 地区内の子どもから大人まで幅広い世代を対象に、新村農村広場の周回コースでマラソンを実施。 【ねらい】 マラソンを通じて、住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・体育協会	元旦の恒例行事として定着、参加者からも好評を得ている。今年度は参加者賞として、参加者全員にゴミ袋や貼るカイロなどの実用品をプレゼントした。		
第32回新村地区冬季室内競技大会	2月2日	1回	地域事業(体育)	その他	320人	【事業内容】 町会対抗で下記の種目を実施。 種目：午前 綱引き(9町会参加) 午後 卓球(9町会参加) 【ねらい】 室内競技を通じて、住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・体育協会 ・町会連合会 ・町内公民館長会	大会を通じて、住民同士の親睦を図ることができた。大会運営や進行については体育協会を中心に滞りなく行われ、怪我人も出ず、問題なく大会を終えることができた。町会長からは参加者集めに苦慮しているという意見も多く出たが、地区で長年続く事業であるため、共催団体同士で連携を図りながら事業を継続していきたい。		
人権啓発視察研修	2月14日	1回	人権平和	成人	20人	【事業内容】 人権啓発推進事業の一環として、県内視察研修を実施。 ＜視察先＞ ・満蒙開拓平和記念館 ・椋鳩十記念館 ・喬木村農村交流センター 【ねらい】 視察研修を通して、地区住民への人権啓発を行う。	【共催団体】 ・新村地区人権啓発推進協議会 ・ものぐさ大学	新村地区人権啓発推進協議会とものぐさ大学理事会の共催で開催。満蒙開拓平和記念館ではガイドスタッフの方より満蒙開拓の歴史等の説明を受ける。児童文学作家である椋鳩十記念館では、館長より椋鳩十の生い立ちから作品の紹介など説明を受ける。今後も引き続き関係団体と連携を図りながら、事業を継続していきたい。		
五部門委員会の開催	通年	22回	公民館委員会・各種会議等	成人	320人	【事業内容】 館報編集委員会(月1回、計12回) ・公民館報の取材、編集 ・文化祭への協力 図書委員会(計2回) ・図書の入替(年2回) ・文化祭への協力 視聴覚委員会(計4回) ・活動内容の協議 体育委員会(月1回、計12回) ・各種体育事業の企画、運営 文化委員会(計8回) ・文化祭の企画、運営補助		各委員会とも活発に活動しているが、委員のなり手不足は常に課題となっている。館報編集委員会には大学生が1名加わり、大学内の情報発信に繋がっている。特になり手不足が深刻な視聴覚委員会には、そのような大学生の人材が加わって貰いたい。		
プチ送迎ボランティア事業への協力	通年		その他	高齢者		【事業内容】 地域福祉の推進を目的とし、住民主体のボランティア組織である「プチ送迎ボランティア」への支援の実施。 【ねらい】 地区内高齢者の交通弱者を減らし、住民相互の助け合い精神の生成を助長するもの。		運転手の高齢化が深刻で、人材不足が課題となっている。事務局である公民館としては、出来る限りの支援・協力を続けていきたい。		
町会別人権啓発懇談会	1～3月	14回	人権平和	成人	600人	【事業内容】 人権啓発活動の一環として、新村14地区で懇談会を開催し、人権に関わるDVDの上映や、啓発パンフレットやチラシを配布。 【ねらい】 懇談会を通して、地区住民の人権に対する関心や意識を高める。	【共催団体】 ・町内公民館長会	今年度は各町会で高齢者虐待、児童虐待、特殊詐欺防止等の内容で懇談会を開催。町会ごと懇談会に割く時間が異なるため、町会によっては関連資料を配布し説明する程度で済ませる町会もいくつかあった。ある町会では、市の出前講座を利用し、市職員を講師として学習会を開催した町会もあった。今後は、全町会で人権啓発学習に充てる時間を増やして貰えるよう、人権啓発の重要性を周知していきたい。		
町内公民館活性化事業	通年	3回	その他	成人	80人	【事業内容】 町内公民館活動の支援を実施。 【ねらい】 地区住民がいまいきと明るく張り合いを持って生活できるよう、町内公民館活動の活性化支援を図る。	【共催団体】 町内公民館長会	今年度は3町会で活性化事業を実施。事前周知が不足し実施町会が少なかったため、今後は会議の場で活性化事業について十分な説明を行いたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
育児講座	通年	18回	子育て	青少年	180人	【事業内容】 子育て支援の一環として、未就園児とその母親を対象に、月2回講座を実施。 【ねらい】 親子の交流の場や、母親同士の情報交換の場を創出し、未就園児の健全育成を図る。	【共催団体】 ひよこの会	講座を通して、親子間のコミュニケーションが図られ、母親同士の情報交換が行われている。年度末の親子体操と卒会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。		
公民館特別講座 「新村遺跡とその周辺古墳（遺跡） …その関連性は？」	3/6	1回	地域文化	成人	20人	【事業内容】 講師に波田地区在住で上新ご出身の関通喜氏を招き、安塚古墳群、秋葉原古墳群新村遺跡、新村桑理的遺構の調査結果から、古代・中世の新村周辺の様子を探るという内容で講座を実施。 【ねらい】 地区の文化財等に関心を持ち、知識の向上を図る。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 学びの友部会	世の中で新型コロナウイルス感染症拡大が叫ばれる中、マスクや消毒等の感染症予防対策を実施したうえで講座を開催。当初予定していた参加者数は集まらなかったが、「貴重なお話が聞けて良かった。」など、参加者からは良い意見が多く出た。		
第13回上高地線 ふるさと鉄道まつり	3月21日 (延期)	1回	地域事業 (その他)	その他	延期	【事業内容】 地区有志で作る上高地線応援隊と協力し、ふるさと鉄道まつりに参画するなど、上高地線の活性化に向けて取り組む。 【ねらい】 鉄道まつりを通して、地域活性化を促し、地区住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・上高地線応援隊	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、時期未定で延期となった。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針・地域課題】

- ・継続開催事業の内容の充実
事業のマナー化や参加者の減少・固定を軽減するため、継続事業の内容を講師等と相談し充実するよう検討した。
- ・世代間交流の促進
役員等、地域づくりに関心のある住民へ積極的に声掛けを行い、小学校や児童センターの児童との交流の機会を創出した。（夏休み学習支援、地域探検ふれあいウォーキング等）
- ・地域学習テキストの発行
文化財調査委員会の活動の一環として、地域学習テキストの編集、発行に取り組んだ。

評価・反省等

- ・継続開催事業の内容の充実
一部事業で、内容の変更等により参加者の増加や、好評の声を得られた。一方で、内容や効果の検討が必要な事業もあり、引き続き、継続する事業については内容・周知法帆等を十分検討したい。
- ・世代間交流の促進
小学校や児童センターの呼びかけにより、児童の参加は多かったが、小学校や児童センターとの連携により、子どもの参加者は多く得られるが、大人の参加者は限られる。より多くの大人が参加できるように周知方法等見直し、呼びかけたい。
- ・地域学習テキストの発行
地域学習テキスト編集委員会で、地域学習テキストの内容等について協議、原稿の作成修正を行い、作成・発行につなげられた。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館各種委員会等
	平人和権	福健康	子育て	環境	文化地域	教養趣味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数	1	1		1	8	5	3		1	5	1	1	10
延べ参加人数	110			60	186	161	148		32	365	400	115	557

	C S	食 育
事業数	2	2
延べ参加人数	38	48

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
地域探検ふれあいウォーキング	6月3日	1回	地域文化	成人	76人	【事業内容】 小学生のグループに数人ずつ大人が入り、交流しながら地域内を探検。地域文化や文化財に触れる。 【ねらい】 世代交流、地域学習、運動の促進	【準備過程】 共催の児童センターと参加者の調整を行い、同行する大人は一般から募集。 【共催団体等】 児童センター 子ども会育成会	【評価と反省】 児童センターの事業としても定着し、多くの子どもが参加している。地域の大人の協力も一層得られるようにしたい。 【今後の方針等】 子どもと地域の大人が交流する貴重な機会と考え、引き続き計画したい。		
ファミリーコンサート	6月14日	1回	趣味教養	成人	34人	【事業内容】 世代を超えて楽しめるコンサートの開催。 【ねらい】 音楽を通じた交流及び情操教育	【準備過程】 共催団体との打ち合わせにより出演者等を決める 【共催団体等】 福祉ひろば 子ども会育成会	【評価と反省】 子どもが演奏に参加できるコンサートで、参加者も一体となりすべての世代で楽しめた。 【今後の方針等】 地区内の演奏者も掘り起こす等内容を検討し継続したい。		
第15回和田ウォークラリー (第39回ふれあいスポーツ大会)	6月23日	1回	地域事業 (その他)	成人	115人	【事業内容】 地区内の文化財等にまつわるクイズを解きながら約6kmのコースをグループごとに行く。終了後には、健康づくり推進員・保健師による体組成測定や健康クイズを行った。 【ねらい】 ウォーキングを通じた健康増進と共に、毎年コースを変えながら、地区内の文化財等を学ぶ機会とする。	【準備過程】 協力団体と実行委員会を組織し実施。 【共催団体等】 福祉ひろば 子ども会育成会 地域づくり協議会 健康づくり推進委員会	【評価と反省】 役員・住民同士の親睦を深めつつ、ゲームも交え、楽しみながら地区内の歴史や文化財を学ぶことができた。 【今後の方針等】 地区住民も、より充実したイベントへと成長させる意欲があるため、継続の方針。		
第38回夏季スポーツ大会	7月14日	1回	地域事業 (体育)	成人	300人	【事業内容】 男子ソフトボール(雨天時はワンバウンドふらばーるバレー)、女子トリムバレーボールの町会対抗球技大会 【ねらい】 町会内や、町会を越えた親睦の機会、スポーツの振興、健康の増進等	【準備過程】 町内公民館長と体育委員を中心に企画運営。 【共催団体等】 町内公民館長会	【評価と反省】 恒例の球技大会で、盛り上がりもあり、親睦のための交流を図れている。また、大会終了後には町会ごとの慰労会も開催され、町会内の親睦を深める機会となっている。 【今後の方針等】 地区住民と協議しながら、意義ある大会として継続したい。		
映画と語りの会	7月26日	1回	趣味教養	青少年	60人	【事業内容】 劇団を招き、人形劇の上演を行う。 【ねらい】 地区の子どもに人形劇や映画を見せる情操教育を図書視聴覚委員会の主催で行う	【準備過程】 内容等は図書視聴覚委員会と協議し決定する。 【共催団体等】 和田保育園 和田児童センター	【評価と反省】 保育園や児童センターでも、公民館との交流事業と位置付けていただき、多くの子どもたちが参加してくれる。2部構成とし、未就園児も参加できる人形劇を開催できた。 【今後の方針等】 図書委員会主催の事業として、委員の関わりを大切にし複数回開催も考えたい。		
夏休み勉強会・工作づくり教室(小学生学習支援)	7月31日、 8月1日	1回	その他	青少年	32人	【事業内容】 夏休みの宿題と工作を中心に小学生の学習支援。 【ねらい】 子どもと公民館・地域住民をつなぐ行事	【準備過程】 公民館が準備。申し込み人数が多くなったため、町会町会へも協力依頼。昼食はJ.A松本ハイランドへ依頼。 【共催団体等】 小学校・児童センターに呼びかけ	【評価と反省】 地域住民と小学生の交流も兼ねた昼食会も実施。集中して勉強する時間と和やかな昼食がメリハリよくつくれた。 【今後の方針等】 小学校とも調整しながら検討。		○
文化財鑑学学習会	8月8日	1回	地域文化	成人	15人	【事業内容】 長年続く視察学習会。県内外各地の文化財等を巡り、学習する。今年度の行先は上田方面。 【ねらい】 各地の歴史や文化財を学び、地元文化財について考える機会ともする	【準備過程】 公民館で行先等検討	【評価と反省】 北向観音、上田城、真田の郷等でガイドの充実した説明を受けることができた。 【今後の方針等】 行先やプラン等を練り、参加者のニーズを満たせるよう考えたい。		
河西部球技大会	8月25日	1回	地域事業 (体育)	成人	65人	【事業内容】 和田・島内・島立・新村地区による対抗球技大会。軟式野球・卓球・ママさんバレーボール。 【ねらい】 市民体育大会の予選、選手や応援の住民の交流とスポーツの振興	【準備過程】 担当地区が主体となり準備 【共催団体等】 島内・島立・新村・和田の4地区公民館及び体育協会	【評価と反省】 3種目合同の大会として定着し、体育委員と町内公民館長の協力によりスムーズに運営できた。 【今後の方針等】 継続開催予定。次年度担当は島内地区となる。		
刃物の研ぎ方教室	8月25日	1回	地域文化	成人	14人	【事業内容】 和田商工親和会 【ねらい】 地域人材の活用、刃物について知識と研ぎ方技術の学習	【準備過程】 和田商工親和会と相談し実施 【共催団体等】 和田商工親和会	【評価と反省】 和田商工親和会主催、公民館は事務的な補助を行った。 【今後の方針等】 和田商工親和会と相談し、検討したい。		
和田地区マレットゴルフ大会	8月28日	1回	スポーツ	成人	11人	【事業内容】 市民体育大会の地区内予選を兼ねた男女別マレットゴルフ大会。 【ねらい】 地区内の交流、マレットゴルフの振興	【準備過程】 マレットゴルフクラブと相談し実施 【共催団体等】 和地区マレットゴルフクラブ	【評価と反省】 マレットゴルフクラブの主導で開催できているが参加者が減少傾向にある。 【今後の方針等】 マレットゴルフクラブが主管する地域行事として継続していきたい。		
不用食器リサイクル事業	9月1日	1回	環境	成人	60人	【事業内容】 家庭で不用になった食器を回収し、リサイクルへと繋げる。 【ねらい】 住民主体の環境学習、家庭で不用になった食器類の有効利用	【準備過程】 有志による実行委員会と相談し準備 【共催団体等】 不用食器リサイクル実行委員会	【評価と反省】 2年ぶりに開催。今年度は地区内への周知とした。 【今後の方針等】 和地区での実施は今年度まで。来年度からは全市民的に波田地区で実施。		
手芸講座	10月2日	1回	趣味教養	成人	8人	【事業内容】 文化祭へ展示するハーバリウム制作 【ねらい】 地区内の人材活用、文化祭の充実、手芸を通じた交流	【準備過程】 講師(地区住民)と調整 【共催団体等】	【評価と反省】 地域住民を講師として文化祭に向けた講座とし交流を深めることができた。 【今後の方針等】 地域住民が活躍できる場の創出は引き続き検討していきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C	S	食育
第62回松本市市民体育大会	10月13日	1回	地域事業(体育)	成人	中止	【事業内容】 全市的な地区対抗体育大会 【ねらい】 スポーツの振興	【準備過程】 出場チームの補助を体育委員が行うため委員会で確認する。 【共催団体等】 地区内の各種運動部	【評価と反省】 台風19号接近のため中止。			
茶道体験教室	10月16日～	3回	地域文化	成人	31人	【事業内容】 地域住民を講師に、裏千家の基礎マナーについて学び、文化祭での野点開催へつなげる。 【ねらい】 地域人材の活用、文化祭での野点の住民主体の運営へと繋げる	【準備過程】 講師と文化祭協力団体の女性役員と相談 【共催団体等】 女性役員会	【評価と反省】 初級の取り組みやすい内容を充実。参加者の年代の幅も広がり、文化祭での野点開催に繋がられた。 【今後の方針等】 自主的な参加者を増やし、自立した運営を目指したい。			
和田地区市民大運動会	10月20日	1回	地域事業(体育)	成人		【事業内容】 町会対抗の運動会。子どもから大人までが20種目程度の競技を行う。 【ねらい】 地区住民の世代を越えた交流及び町会の結束の強化	【準備過程】 体育委員会・町内公民館長会を中心に実行委員を組織し準備 【共催団体等】 地区内の各種団体の協力を得ている	【評価と反省】 雨天のため周知。 【今後の方針等】 開催予定。			
市長杯争奪球技大会	11月3日	1回	スポーツ	成人	40人	【事業内容】 全市的な地区対抗球技大会 【ねらい】 スポーツの振興	【準備過程】 公民館は出場する運動部の事務的な補助を行う。 【共催団体等】 地区内の各種運動部	【評価と反省】 公民館は事務的な補助を行っている。ゲートボールはチームが編成できず出場していない。			
第47回芸術文化祭	11月3日	1回	地域事業(文化)	成人	400人	【事業内容】 地区住民全体の文化祭。ステージ発表(15組)、展示発表(320点)、野点を行った。 【ねらい】 文化的活動の発信の場とし、地区内の文化的交流を図る。	【準備過程】 文化委員を中心に実行委員会を組織し実施 【共催団体等】 女性役員会 窪田空穂記念館	【評価と反省】 ステージ発表は一昨年と同数だったが、展示発表の作品数が減少した。 【今後の方針等】 ステージ発表、展示発表ともにしずほみにならないよう積極的な取り組みをしたい。			
健康スポーツ教室	11月11日～	5回	スポーツ	成人	97人	【事業内容】 ラージボール卓球とバドミントンを通じた交流及び体の重心バランス測定等も合わせて実施。 【ねらい】 冬場の運動不足を解消しつつ、世代を問わず交流を深める。	【準備過程】 保健師や健康運動指導士と相談し準備 【共催団体等】 有志の体育委員	【評価と反省】 子どもから大人まで幅広い世代が集まりスポーツを楽しむことができた。会場を変えたため参加者が少なくなってしまう。 【今後の方針等】 新たな参加者の呼び込みや、継続参加者の積極的な参加を呼び込む工夫を考えたい。			
蕎麦打ち体験会	11月27日～	4回	地域文化	成人	34人	【事業内容】 地区住民を講師に、蕎麦打ちの体験会を実施 【ねらい】 蕎麦打ち文化の学習と世代間交流、子どもに食への関心を持ってもらう	【準備過程】 講師と相談し準備 【共催団体等】	【評価と反省】 世代を超えた参加を得られ、交流が図られたが、回によっては少人数の参加となっている。 【今後の方針等】 地域の人材活用と世代間交流の機会としたい。			○
連風づくり教室	12月1日	1回	地域文化	青少年	10人	【事業内容】 小学校高学年から一人で作成可能な連風を作り、実際に飛ばしてみる。 【ねらい】 子どもの外遊び促進、工作学習、子どもと公民館をつなぐ	【準備過程】 講師と相談し、準備 【共催団体等】 子ども会育成会	【評価と反省】 子どもが楽しめる内容となっているが、参加者が少なくなってしまう。 【今後の方針等】 講師と相談し実施を検討			
しめなわ作り教室	12月14日	1回	地域文化	成人	6人	【事業内容】 しめ縄の文化的背景を学びながら、しめ縄の基本や応用のわら細工を学んだ。 【ねらい】 伝統文化の学習と継承	【準備過程】 講師(地区住民)と相談し準備	【評価と反省】 講師が工夫を凝らしたわら細工が好評となっている。参加者の希望を取り入れながら開催。 【今後の方針等】 講師と相談し、内容を検討しながら実施していきたい。			
白菜キムチ漬けとチャプチェ講座	1月18日	1回	趣味教養	成人	14人	【事業内容】 近隣の韓国料理店の方を講師に招き、本格的なキムチとチャプチェを作りながら交流を深める。 【ねらい】 食文化を実際に体験し学びながら交流する。	【準備過程】 講師と相談しながら準備	【評価と反省】 人の集まりもよく、キムチの評判もよかった。テーブルごとの交流も促進できた。 【今後の方針等】 講師と相談し、内容を検討しながら実施していきたい。			○
インターネット活用講座	2月20日～	7回	趣味教養	成人	45人	【事業内容】 近年急速に普及しているインターネットの基礎を学ぶ。 【ねらい】 インターネットの基礎知識・活用方法を学ぶ。	【準備過程】 講師と相談し内容を決定	【評価と反省】 松本市のフリーWi-Fiを使用し、インターネットの基礎知識や活用方法を学ぶことができた。 【今後の方針等】 実施の内容や方法を検討したい。			
第45回冬季スポーツ大会	2月23日	1回	地域事業(体育)	成人	300人	【事業内容】 ラージボール卓球とソフトバレーボールによる町会対抗球技大会。 【ねらい】 町会内及び町会を越えた親睦、スポーツの振興、冬場の運動不足解消。	【準備過程】 町内公民館長と体育委員で企画運営。 【共催団体等】 町内公民館長会	【評価と反省】 体育委員や運動部の主体的な運営により、スムーズに実施されている。男女混合競技はハンディを設けてはどうかという声もある。 【今後の方針等】 ルール等を地区役員と協議しながら実施継続予定。			
健康講座	3月5日	1回	福祉健康	高齢者	中止	【事業内容】 地区の医師を講師に、亜鉛不足病について学ぶ。 【ねらい】 亜鉛不足への理解を深める。	【準備過程】 地区社協と講師で内容等を検討、公民館は事務的な補助 【共催団体等】 和田地区社協	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染防止のため、中止。 【今後の方針等】 開催予定			

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
文化講演会	3月20日	1回	地域文化	成人	中止	【事業内容】 西善寺にある文化財について学ぶ。 【ねらい】 和田地区域にある西善寺について、学び、和田の歴史や文化財への理解を深める。	【準備過程】 境町内公民館と相談し、講師・内容を検討 【共催団体等】	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染防止のため、中止。 【今後の方針等】 内容等を検討し、開催予定。		
人権啓発事業	4月12日 9月25日 2月1日	3回	人権平和	成人	110人	【事業内容】 ・人権視察研修 ・高齢者の人権に関する講演会 ・コンサートを通じたノーマライゼーション学習 【ねらい】 人権啓発意識の向上、人権啓発学習指導者の養成	【準備過程】 地区人権啓発推進協議会長と相談し準備 【共催団体等】 地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 3回の講座を通じて、高齢者の人権、障がい者の自立活動への理解等を学ぶことができた。 【今後の方針等】 人権課題に関する地区内の関心を探り継続していきたい。		
運営委員会	4月26日 12月11日	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	61人	【事業内容】 事業報告・事業計画・決算・予算案の審議 【ねらい】 公民館運営への住民参加の機会の担保	【準備過程】 町会長・町内公民館長のほか地区内の主要組織の役員で組織	【評価と反省】 地区内の主要な組織とのつながりをつくる一つの機会となっている。活発な意見交換はできていないのが現状である。 【今後の方針等】 地区の他団体と公民館をつなぐ貴重な機会として、有効活用したい。		
館報編集委員会	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	成人	95人	【事業内容】 公民館報和田版の取材や編集作業 【ねらい】 住民主体の情報発信の場として公民館報和田版の発行	【準備過程】 取材や記事の作成を分担し、校正や割付は全体で行う。	【評価と反省】 記事の発案や取材等、委員が前向きに取り組むことができた。 【今後の方針等】 委員が交代になるが、主体性を持った活動を推進したい。		
図書視聴覚委員会	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	成人	98人	【事業内容】 公民館図書の管理、図書だよりの発行、「映画と語りの会」の主催 【ねらい】 図書室の管理及び有効活用、読書啓発に係る委員主体の活動	【準備過程】 毎月定例の委員会を開催し、協議と図書の整理を行う	【評価と反省】 図書の整理以外の活動の充実が課題 【今後の方針】 図書の貸出方法、新規購入図書、除籍本等協議し、委員会活動を展開したい。改修により、図書室のスペースが狭くなったため、新規図書と除籍本のバランスを考える必要がある。		
館報編集委員会・図書視聴覚委員会合同研修	11月23日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	6人	【事業内容】 館報、図書視聴覚の両委員会の合同研修。 【ねらい】 公民館委員間の交流の促進、県内の文化財等の知識を深める。	【準備過程】 各委員会でどんなことがやりたいか等協議。	【評価と反省】 日程等の都合で参加者が少なかったが、満足度は高く、親睦も深まった。 【今後の方針】 内容を等早めに委員会で検討し、実施をしていきたい。		
体育委員会	通年	13回	公民館委員会・各種会議等	成人	239人	【事業内容】 地区全体の体育事業について、企画、検討する。また事業当日の運営にも中心的な役割を担う。 【ねらい】 体育事業を通じた地区内の交流促進、スポーツの振興	【準備過程】 三役会で原案を審議し、事業運営の中心となる体育委員と町内公民館長の合同会議で決定する。	【評価と反省】 伝統的な体育行事の実施のため、経験者を中心に積極的に動いてもらった。 【今後の方針等】 引き続き、住民の意見を聞く機会を増やししながら、三役を中心に改善できるところは改善していきたい。		
文化委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	10人	【事業内容】 夏休み行事や文化祭等原案ほか公民館事業全般を協議する 【ねらい】 公民館事業全般の協議	【準備過程】 委員は町内公民館長が兼ねている。	【評価と反省】 地区事業の原案協議の中心となり、事業運営でも町会内の取りまとめとして関わっている。 【今後の方針等】 より良い地区事業の実施のため、充実した協議の場としたい。		
文化財調査委員会・地域学習テキスト編集委員会	通年	8回	公民館委員会・各種会議等	成人	37人	【事業内容】 地区内の文化財の保護活用、文化財学習、地域学習テキストの編集 【ねらい】 文化財の保護・活用の方策を検討する	【準備過程】 町内公民館長と町会選出の役員で組織	【評価と反省】 関連文化財群紹介ハンドブックや地域学習テキストについて協議できた。 【今後の方針等】 文化財の学習講座等、委員の活動を広げていきたい。		
信州型コミュニティースクール事業（学校運営委員会へ参加）	通年	6回	公民館委員会・各種会議等	青少年	6人	【事業内容】 芝沢小学校・高綱中学校の学校運営委員会へ参加。必要に応じて学校と連携。 【ねらい】 学校と地域の相互連携を強め、子どもへの思いを共有しながら地域の子どもを育てる。	【準備過程】 運営委員会の中では、公民館長がコーディネーターとして関わる。	【評価と反省】 学校運営委員会への参加を通じて学校との関係づくりができた。 【今後の方針】 学校との連絡を密にしながら連携を図っていきたい。		○
地域づくり協議会（総会・理事会・部会）	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	3人	【事業内容】 公民館は文化教養部に属し、年2回の部会開催と総会へ参加した。 【ねらい】 地域づくり協議会のなかで、住民が楽しめる行事の企画運営等を担う。	【準備過程】 公民館長が部会長となり、部会を招集する。	【評価と反省】 地域学習テキストの編集・発行、公民館事業等について協議できた。 【今後の方針等】 必要に応じて地域づくりに係る行事や取り組みについて協議していく。		
地区地域ケア会議へ参加	11月9日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	2人	【事業内容】 地域ケア会議に参加。 【ねらい】 地域包括ケアシステムの構築に公民館も参画する。	【準備過程】 地域ケア会議に参加。	【評価と反省】 地域ケア会議に出席し、医療従事者等との情報交換・意見交換やグループディスカッションに参加できた。 【今後の方針等】 地域包括ケアシステムの構築に向け、公民館としても協力したい。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

《活動方針》

- 1 神林みんなの幸せ計画のもと、一人ひとりが尊重され、共に支え合い、年齢や性別、障がいのあるなしにかかわらず、誰でもが安全で安心して、生き生きと暮らせる神林を目指す。
- 2 住民の自治意識の高揚を図りながら、住民相互の協力関係の掘り起こしと、共通の要望、願い及び問題点を認識し、地域の特性を生かした学習、芸術文化、体育、広報、人権教育及び図書視聴覚活動の推進を図る。
- 3 公民館を中心として、町会、町内公民館、社会教育関係団体、サークル及び教育機関との連携を進める中で住民主体の「学習ネットワークづくり」の推進を図る。
- 4 「神林の歌」を機会を捉えて住民と歌い、地域の高揚を図る。

評価・反省等

神林スポーツフェスティバルは3回目を迎え、来場者も増え運動会に代わる事業として地区に根付いてきた。神林ふれあい文化祭は子どもたちが綿あめやポップコーンの販売を行い、参加者と交流するなど多世代交流の場になっている。今後も公民館委員の意見を積極的に取り入れ、地区事業を更に盛り上げていきたい。

神林信緑会という公民館を利用しているサークルや地区役員の有志などで構成されたボランティア団体の立ち上げに協力し、セイジ・オザワ松本フェスティバルの蕎麦パーティーに地区を代表して協力することができた。また、年末には公民館大掃除を企画し、公民館利用者が多く参加し、普段利用している公民館の清掃を通して利用者同士の交流を図ることができた。

神林子ども会育成会と連携し、子ども会夏まつりや夏休みわくわく子ども広場などを実施し、学年を越えた子どもたちの交流を行うことができた。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員等・各種会議等
	平人和権	福健康	子育て	環境	文地化域	教趣養味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数	2	4	3	2	4	8	5	1	1	3	1		6
延べ参加人数	144	101	374	55	165	477	1569	14		278	892		243

	CS	食育
事業数		3
延べ参加人数		67

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C	S	食育
春の史跡めぐり	5月9日	1回	地域文化	成人	32人	【内容】 ・身近な郷土の史跡を訪れる。 行先：安養寺、旧中込学校 【ねらい】 ・身近な郷土の史跡について学ぶとともに仲間づくりを目指して開催。	【準備過程】 ・文化委員会にて行先決定。	【評価と反省】 ・行先である安養寺は神林出身で味噌を日本に伝えたといわれる法燈国師ゆかりの地であり、参加者から好評だった。 【今後の方針】 ・毎回応募者が定員を超え、参加者を抽選で決定しているが、なるべく多くの方が公民館事業に参加できるように抽選方法などを検討したい。			
今井財産区自然観察会	5月12日	1回	環境	成人	40人	【内容】 ・鉢盛山今井財産区有林の散策と山菜を採取し、調理と試食を行う。 【ねらい】 ・今井財産区の歴史や自然について学ぶ。	【準備過程】 ・今井公民館が中心となり、企画・運営。 【共催団体】 ・今井公民館 ・笹賀公民館	【評価と反省】 ・3地区の住民が会する講座であり、財産区の歴史や自然について学びながら、他地区の住民と交流を深めることができる良い機会となっている。			
アロマ講座	5月20日	1回	趣味教養	成人	7人	【内容】 ・アロマセラピーの基本を学び、自分の好きな香りのスプレーを作る。 【ねらい】 ・住民同士交流を図りながら趣味教養を広める。	【準備過程】 ・講師と打合せし内容決定。	【評価と反省】 ・参加者が少なかった。別の講座開催周知方法も検討したい。			
信州花フェスタを見に行こう	6月6日	1回	環境	成人	15人	【内容】 ・信州花フェスタ2019を訪れる。 【ねらい】 ・信州ならではの花や緑の魅力を楽しむ。	【準備過程】 ・神林福祉ひろばとともに講師と打合せし内容決定。 【共催団体】 ・神林福祉ひろば	【評価と反省】 ・当初、5月21日の実施を予定していたが、当日悪天候のため延期を余儀なくされたが、参加者にスムーズに延期の連絡をすることができた。			
ニューススポーツ体験会	6月15日	1回	スポーツ	その他	24人	【内容】 ・体育委員を対象に、ニューススポーツ体験会を実施。 【ねらい】 ・神林スポーツフェスティバルにて開催する種目の検討。	【準備過程】 ・体育委員委員会にて内容決定。	【評価と反省】 ・神林スポーツフェスティバルでは、運営にあたる体育委員が自らニューススポーツを体験することで、当日のスムーズな運営や実施種目の決定に繋がった。			
出前講座 たばこ健康について	7月3日	1回	福祉健康	成人	6人	【内容】 ・喫煙・受動喫煙が、健康に及ぼす影響や禁煙の方法、禁煙外来等の紹介。また、塩原公民館長による禁煙エピソードの講演。 【ねらい】 ・7月1日より松本市公施設が敷地内全面禁煙となったことの周知。		【評価と反省】 ・参加者が少なかったが公民館だよりで公施設敷地内全面禁煙の周知ができた。			
第11回神林地区体育協会長杯争奪マレットゴルフ大会	7月6日	1回	地域事業(体育)	成人	38人	【内容】 ・男性の部・女性の部それぞれ個人戦にて行うマレットゴルフ大会 【ねらい】 ・地区住民の親睦と健康づくりを図る。	【準備過程】 ・神林地区体育協会役員会にて内容決定。 【共催団体】 ・神林地区体育協会 【協力団体】 ・神林マレットゴルフクラブ	【評価と反省】 ・前年度より時期の開催となり、熱中症が心配され参加者が少なくなってしまうことを踏まえ、開催時期の変更するなど工夫をし、参加者の増加に繋げることができた。 【今後の方針】 ・次年度以降も内容を見直ししながら、継続開催したい。			
神林子ども会夏祭り	7月13日	1回	子育て	青少年	100人	【内容】 ・お楽しみゲーム大会や巨大カステラづくりを実施。 【ねらい】 ・子ども達の交流と公民館事業に親しんでもらうことを目指す。	【準備過程】 ・神林地区子ども会育成会が中心となり、企画・運営。 【共催団体】 ・神林地区子ども会育成会 ・社会福祉協議会神林支会 ・JA神林支所	【評価と反省】 ・お楽しみゲームを子ども会育成会が企画・運営するなど子ども達の交流の場となっている。 【今後の方針】 ・次年度以降も内容を見直ししながら、子ども達が公民館を身近に感じてもらえるよう継続開催したい。			
西南ブロック地区球技大会	7月28日	1回	地域事業(体育)	成人	80人	【内容】 ・市長杯争奪球技大会の予選会を兼ねた球技大会。 種目：軟式野球、家庭婦人バレーボール 【ねらい】 ・西南ブロック3地区(神林・笹賀・今井)の親睦交流。	【準備過程】 ・当番地区(今年度は神林地区)を中心に準備・運営。 【共催団体】 ・神林地区体育協会 ・笹賀地区体育協会 ・今井地区体育協会 ・笹賀公民館 ・今井公民館	【評価と反省】 ・市長杯争奪球技大会の予選会も兼ねて、毎年実施しており、3地区の交流につながっている。当番地区として、スムーズに運営できた。 【今後の方針】 ・3地区密に連携しながら、時期及び内容を検討していきたい。			
夏休みわくわく子ども広場「あつみの公園わくわく体験」	8月6日	1回	子育て	青少年	24人	【内容】 ・国営アルプスあつみの公園大町・松川地区へ行き、クラフト体験と自由遊びを行う。 【ねらい】 ・子ども達の交流と公民館事業に親しんでもらう。また、夏休み中の親の負担軽減も図る。	【準備過程】 ・神林地区子ども会育成会が中心となり、企画・運営。 【共催団体】 ・神林地区子ども会育成会 ・社会福祉協議会神林支会	【評価と反省】 ・例年開催しているが、今年度は神林地区子ども会育成会を中心として開催。事業当日も育成会児童会部長がリーダーとなり低学年の児童をまとめるなど新たな取り組みにも挑戦が出来た。 【今後の方針】 ・多くの子ども達が参加できるように内容を検討し、来年度以降も継続開催していきたい。			
陶芸教室	8月17日	1回	趣味教養	成人	10人	【内容】 ・清洲窯の田中三雄氏を講師に迎え、自分の好きな陶芸作品をつくる。出来上がった作品は神林ふれあい文化祭にて展示。 【ねらい】 ・住民同士交流を図りながら趣味教養を広めるとともに文化祭作品展示に繋げる。	【準備過程】 ・講師と打合せし内容決定。	【評価と反省】 ・今年で9回目となるが、毎年内容が同じになってしまっている。 【今後の方針】 ・内容など再検討しながら、神林ふれあい文化祭をより賑やかにするために継続して開催したい。			
神林スポーツフェスティバル	9月1日	1回	スポーツ	成人	385人	【内容】 ・ニュースポーツ、パラスポーツ体験や体力測定、防災体験。 【ねらい】 ・スポーツの楽しさを広め、健康で明るく生き生きと暮らせる神林地区を目指し、住民と交流と絆を深める。	【準備過程】 ・体育委員会にて実施種目などの検討。 【主管】 ・神林スポーツフェスティバル実行委員会	【評価と反省】 ・今年度はパラスポーツを新たに取り入れ、長野県の信州パラスポーツボランティア事業に位置づけられるなど地区内にパラスポーツを広めることができた。また、松本山雅FCにウォーキングサッカーコースを運営していただき、地区住民と松本山雅FCとの交流の場もなっている。 【今後の方針】 ・地区の一大イベントとして、今後も種目内容の見直しや、PR活動を積極的に行い、地区に根付くような工夫をしながら継続して開催したい。			

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食育
低栄養予防料理教室	9月17日	1回	福祉健康	成人	15人	【内容】 ・高齢化に伴う低栄養化を予防するため、健康づくり課の管理栄養士指導のもと、低栄養予防料理の作り方を学ぶ。 【ねらい】 ・高齢化に伴う低栄養化の予防を周知し、健康増進を図る。	【準備過程】 ・神林地区食生活改善推進員と打合せし内容決定。 【共催団体】 ・神林地区食生活改善推進員	【評価と反省】 ・低栄養予防の必要性について周知することができた。 【今後の方針】 ・神林地区食生活改善推進員と協力しながら、来年度以降も開催したい。		○
ハンギングバスケット講座	10月16日	1回	趣味教養	成人	9人	【内容】 ・ハンギングバスケットの作り方を学ぶ。出来上がった作品は神林ふれあい文化祭にて展示。 【ねらい】 ・住民同士の交流を図りながら趣味教養を広めるとともに文化祭作品展示に繋げる。	【準備過程】 ・講師と打合せし内容決定。	【評価と反省】 ・参加者から非常に好評だった。		
第49回神林ふれあい文化祭	10月20日	1回	地域事業(文化)	成人	892人	【内容】 ・作品展示や地区団体やサークルなどによるステージ発表、公民館利用者による出店やイベントコーナーの実施。 【ねらい】 ・地区の芸術、文化及び交流の1年間の集大成の場とし、個人・サークル・活動団体の成果を発表する場を提供することにより、地区の芸術・文化の向上を図る。	【準備過程】 ・文化委員会にて内容決定。 【主管】 ・神林ふれあい文化祭実行委員会	【評価と反省】 ・展示スペースの再検討や松本山雅FCの協力など新たな取り組みに挑戦できた。当日は天気も良く非常に大勢の方に参加をしていただいた。 【今後の方針】 ・来年度は50回目の節目の年になるので、住民の記憶に残る事業となるよう内容を協議していきたい。		
秋の史跡めぐり	10月25日	1回	地域文化	成人	29人	【内容】 ・身近な郷土の史跡を訪れる。行先：高山陣屋、高山祭屋台会館 【ねらい】 ・身近な郷土の史跡について学ぶとともに仲間づくりを目指して開催。	【準備過程】 ・文化委員会にて行先決定。	【評価と反省】 ・大雨であったが、昔ながらの町並み散策など地域文化にふれることができた。 【今後の方針】 ・毎回応募者が定員を超え、参加者を抽選で決定しているが、なるべく多くの方が公民館事業に参加できるように抽選方法などを検討したい。		
人権啓発推進研修	11月18日	1回	人権平和	成人	15人	【内容】 ・富岡製糸場の施設見学。 【ねらい】 ・見学を通じ、当時の工女の労働環境について学ぶ。	【共催団体】 ・神林地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・研修目的を事前に伝えなかったため、ガイドをお願いしたが、当時の工女の労働環境についてあまりふれてもらえなかった。 【今後の方針】 ・施設見学以外の人権啓発推進事業も計画・実施していきたい。		
地域ケア会議「第22回神林地区の福祉を考える集い」	11月26日	1回	福祉健康	成人	75人	【内容】 ・福祉計画課職員を講師にお招きし、つながりと健康について学ぶ。 ・100歳体操の実施状況の共有。 【ねらい】 ・神林みんなの幸せ計画に基づき、一人一人が尊重され、共に支え合い、年齢や性別、障害のあるなしにかかわらず、だれでもが安全で安心して、生き生きと暮らせる神林を目指す。	【準備過程】 ・神林地区地域ケア会議にて内容決定。	【評価と反省】 ・福祉計画課職員の講演が大変好評で町内公民館単位で同じ講演会を実施するなど地区内に広がった。 【今後の方針】 ・神林みんなの幸せ計画のもと、今後も地域の課題を正確に捉え、だれもが安全で安心して、生き生きと暮らせる神林を目指す。		
正月飾りづくり講習会	12月16日	1回	地域文化	その他	25人	【内容】 ・正月飾りづくり(しめ縄など)の講習会。 【ねらい】 ・正月飾りづくりを体験する機会を設け、地域文化の大切さを学ぶ。	【準備過程】 ・神林地区子ども会育成会が中心となり、企画・運営。 【共催団体】 ・神林地区子ども会育成会	【評価と反省】 ・子どもから大人まで幅広い年齢層の参加があり、多世代交流事業になっている。 【今後の方針】 ・地域文化継承のために継続して開催したい。		
バッククッキングを体験してみよう!	2月18日	1回	防災	成人	14人	【内容】 ・健康づくり課の管理栄養士指導のもと、災害時でも日常でも役立つバッククッキングの作り方を学ぶ。 【ねらい】 ・地区の防災意識を高める。	【準備過程】 ・神林地区食生活改善推進員と打合せし内容決定。 【共催団体】 ・神林地区食生活改善推進員	【評価と反省】 ・令和元年東日本台風が長野県内に大きな被害を及ぼした影響から住民の防災意識が高まっていることを感じた。 【今後の方針】 ・今後も防災・減災をテーマにした講座を開催していきたい。		○
神林地区球技大会	2月23日	1回	地域事業(体育)	成人	160人	【内容】 ・町会対抗の球技大会。競技種目：ラージボール卓球、ソフトバレーボール 【ねらい】 ・住民同士の親睦、スポーツ振興、冬季の運動不足解消	【主管】 ・神林スポーツフェスティバル実行委員会 【協力団体】 ・神林卓球クラブ ・神林ソフトバレーボール協会	【評価と反省】 ・スポーツに親しみながら、親睦交流を図ることができた。 【今後の方針】 ・今後も継続開催したい。		
流星講演会「流星ってなんだろう」	2月26日	1回	その他	成人	延期	【内容】 ・流星、火球、隕石の世界の話から流星(流れ星)の不思議について考える。 【ねらい】 ・教養の向上	【準備過程】 ・講師と打合せし内容決定。	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、やむを得ず延期とした。 【今後の方針】 ・開催時期、内容等再調整し開催予定。		
婦人ソフトバレーボールリーグ戦	5月3日 5月10日 5月17日 5月23日	1回	スポーツ	女性	160人	【内容】 ・神林在住の婦人で構成する町会別チームによる総当たりリーグ戦。 【ねらい】 ・住民同士の親睦、健康づくり。	【主管】 ・神林婦人ソフトバレーボール大会運営委員会	【評価と反省】 ・普段運動する機会が少ない女性達が運動をするいい機会となっている。 【今後の方針】 ・今後も継続開催したい。		
第21回神林ソフトバレーボールリーグ戦	2月~7月		スポーツ	成人	500人	【内容】 ・神林地区内を主としたソフトバレーボールチームのリーグ戦 【ねらい】 ・住民同士の親睦、健康づくり	【共催団体】 ・神林ソフトバレーボール協会	【評価と反省】 ・幅広い年齢層の参加があり、相互の親睦と交流が図れている。 【今後の方針】 ・引き続き開催予定。		
パソコン教室	5月~9月	16回	趣味教養	成人	137人	【内容】 ・レベル別にワード、エクセルの使い方を学ぶ 【ねらい】 ・パソコン技能の向上	【準備過程】 ・講師と打合せし内容決定。	【評価と反省】 ・ワード初級、中級、エクセル初級、中級とレベル別に行ったことで、参加者に自分のレベルにあった受講をしていただけた。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C	S	食育
神林の歴史を学ぶ	6月20日 8月26日 3月5日	3回	趣味教養	成人	46人	【内容】 ・神林の歴史について学ぶ講座。 【ねらい】 ・歴史を知ることによって神林への地域愛を育む。	【準備過程】 ・講師と打合せし内容決定。	【評価と反省】 ・多くの参加者があり大変好評であり、自分たちの住む地域の歴史に関心があることは伺える。3月5日にも開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、やむを得ず延期とした。 【今後の方針】 ・今後も継続開催したい。			
ポスターコンクール	7月～9月		地域文化	成人	79人	【内容】 ・画題を神林ふれあい文化祭とし、神林の素晴らしいところ、素敵なお店などを表現した作品を募集。応募作品は審査会で審査し、入賞者を神林ふれあい文化祭にて表彰する。 【ねらい】 ・地域の魅力再発見と併せて神林ふれあい文化祭の周知を図る。	【準備過程】 ・文化委員会にて内容決定。	【評価と反省】 ・神林の素晴らしいところ、素敵なお店などを表現した作品を募集することで、地域の魅力の再発見と入賞作品を地区内各所に掲示することで神林ふれあい文化祭の周知を図ることができた。 【今後の方針】 ・自分たちの住む地域への関心を高めるため、また、神林ふれあい文化祭の周知のためにも継続して開催したい。			
神林版具だくさんみそ汁コンテスト	7月～10月		福祉健康	成人	5人	【内容】 ・信州味噌を使用した「第1回具だくさんみそ汁コンテスト」が学都松本フォーラムにて行われることにあわせ、レシピを応募。審査会にて審査し、最優秀レシピに選ばれたみそ汁を神林ふれあい文化祭にて提供及び入賞者を表彰する。 【ねらい】 ・味噌を日本に伝えたといわれる法燈国師の出身地として、「第1回具だくさんみそ汁コンテスト」を応援。	【共催団体】 ・神林地区町会連合会 ・神林地区食生活改善推進協議会 ・神林地区健康づくり推進員	【評価と反省】 ・周知が足りず、応募レシピが少なかったが、味噌を日本に伝えたと言われる法燈国師の出身地として第1回具だくさんみそ汁コンテストを盛り上げることができた。			
年越しそばを自分で打とう！初心者のためのそば打ち講座	11月～12月	5回	趣味教養	成人	38人	【内容】 ・年越しそばを自分で打てるようになることを目標に、そば打ち名人を講師にお招きし、そば打ちについて学ぶ。 【ねらい】 ・年越しそばを自分で打てるようになること、そば打ち文化の継承と仲間づくり。	【準備過程】 ・講師と打合せし内容決定。	【評価と反省】 ・そば打ち名人に指導していただき、大変好評であった。			○
第22回神林ソフトバレーボールリーグ戦	11月～7月		スポーツ	成人	500人	【内容】 ・神林地区区内を主としたソフトバレーボールチームのリーグ戦 【ねらい】 ・住民同士の親睦、健康づくり	【共催団体】 ・神林ソフトバレーボール協会	【評価と反省】 ・幅広い年齢層の参加があり、相互の親睦と交流が図れている。 【今後の方針】 ・引き続き開催予定。			
パソコン喫茶	通年	####	趣味教養	成人	91人	【内容】 ・ワード、エクセルの使い方を学ぶ。講座終了後は参加者とコーヒーを飲みながら交流をする。 【ねらい】 ・初心者から中級者まで、気軽にパソコンに触れられる機会を作りながら、住民同士の交流を図る。	【準備過程】 ・神林地区福祉ひろばと共に講師と打合せし内容決定。 【共催団体】 ・神林地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・学習をしながら住民同士の交流を深めることができた。 【今後の方針】 ・継続して開催したい。			
手話講座	通年	####	人権平和	成人	129人	【内容】 ・簡単な挨拶や自己紹介などの基礎的な手話や手話歌について学ぶ。 【ねらい】 ・聴覚障がい者への理解を深め、障がい者にやさしい神林を目指す。	【準備過程】 ・神林地区福祉ひろばと共に講師と打合せし内容決定。 【共催団体】 ・神林地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・神林ふれあい文化祭のステージ発表にて、手話歌を披露し講座参加者だけでなく、地域で手話について考える機会を作れた。また、来年度からサークル化し「神林手話の会」となり自主的な活動団体となった。			
ボールペン字講座	通年	10回	趣味教養	成人	139人	【内容】 ・綺麗な文字の特徴を学び、模写した文字を講師が添削する。 【ねらい】 ・ボールペンを使用して綺麗な文字の習得を目指す。	【準備過程】 ・講師と打合せし内容決定。	【評価と反省】 ・参加者の学習意欲が高く真剣に受講している。 【今後の方針】 ・模写した作品を神林ふれあい文化祭で展示するなど新たな取り組みにも挑戦していきたい。			
子育て支援講座	通年	####	子育て	家庭教育	250人	【内容】 ・パネルシアター、親子体操、リトミック、バッククッキングなど 【ねらい】 ・未就園児の親子のふれあいと親同士の親睦交流。		【評価と反省】 ・幼少期における仲間とのふれあいや親同士の親睦交流を図れた。 【今後の方針】 ・要望に応じた内容で今後も継続して開催したい。			
運営委員会	随時	3回	公民館委員会・各種会議等	成人	44人	【内容】 ・事業計画・予算の審議、事業報告・決算の審議。		【評価と反省】 ・より一層の公民館活動の充実を図りたい。			
館報編集委員会	随時	####	公民館委員会・各種会議等	成人	77人	【内容】 ・松本市公民館報神林版の企画編集。		【評価と反省】 ・積極的な取材活動、紙面づくりができた。 【今後の方針】 ・例年の記事内容に捉われず、新たな視点での公民館報づくりを進めていきたい。			
図書視聴覚委員会	随時	3回	公民館委員会・各種会議等	成人	16人	【内容】 ・自然観察会などの図書視聴覚活動の実施、図書コーナーの整頓。		【評価と反省】 ・自然観察会は多くの方に参加いただき大変好評だった。デジタルカメラ入門講座を企画したが参加者がなく中止となってしまった。 【今後の方針】 ・恒例となっている活動以外にも新たな活動などを実施していきたい。			
体育委員会	随時	5回	公民館委員会・各種会議等	成人	68人	【内容】 ・神林スポーツフェスティバル、神林地区球技大会の企画実施及びスポーツ振興。		【評価と反省】 ・スポーツ振興、住民の健康づくりと交流親睦につながる活動ができた。 【今後の方針】 ・引き続きスポーツ振興、住民の健康づくりと交流親睦につながる活動を実施していきたい。			

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
文化委員会	随時	6回	公民館委員会・各種会議等	成人	38人	【内容】 ・神林ふれあい文化祭、史跡めぐり、ポスターコンクールの企画実施及び文化、芸術の向上を図る。		【評価と反省】 ・地区の文化、芸術の向上を図る活動ができた。 【今後の方針】 ・引き続き地区の文化、芸術の向上につながる活動を実施していきたい。		
地区内関係諸団体との事業共催及び活動支援	随時		公民館委員会・各種会議等	その他		【内容】 ・神林地区体育協会、神林地区こども会育成会、神林地区人権啓発推進協議会などの事業共催及び活動支援。		【評価と反省】 ・各団体の自主性を尊重しつつ、連携を深めた活動ができた。 【今後の方針】 ・引き続き各団体の自主性を尊重しつつ、連携を深めていきたい。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【運営方針】

- ・地域住民の幅広い要望・課題を反映した地域づくりに活かされる学習活動を展開し、地域力（住民自治）の向上を図る。
- ・町内公民館及び地区内関係団体・学校との連携及び事業協力を図る。
- ・地域づくりや地域の人材育成の機会となるような事業の運営を図る。
- ・地域住民の要望に合わせて、地域の歴史・文化の伝承の機会となるような事業の運営を図る。

【重点的に取り組んだ事項】

- ・地域づくり協議会、地域づくりセンター、福祉ひろばと連携し、地区が進める地域づくりに公民館が持つ「学ぶ」、「集う」「結ぶ」機能を活かした関わりができるように事業を実施した。
- ・地域の歴史や文化を若年層に継承するとともに、子どもたちが大人になって地域に帰ってきたいと思えるように、地域の伝統文化に触れることができるような事業を企画実施した。
- ・参加者の減少や、平成29年度の公民館大規模改修工事の影響等により、継続が難しくなっている事業について、内容の見直しや廃止の検討を行った。

評価・反省等

- ・町内公民館対抗球技大会等の例年行っている主催事業については、体育委員会等と連携しながら概ね円滑に開催することができた。ただし、今年度の一部の事業については、5月の最高気温35℃予報や雨天、新型コロナウイルス感染症等のやむを得ない事情により中止の判断となったものもあった。主催者として、参加者の安全面を考慮することが第一になるが、事業を楽しみにしてくれている参加者もいるなかで、開催可否の判断の難しさを特に感じた一年となった。
- ・参加町会の減少により開催が途切れてしまった「町会対抗ママさんバレー」に代わる事業として、昨年度から企画、調整をしていた「町会親睦ソフトバレー」を今年度から開催することができた。前期後期に分けての開催としたが、時期により参加者に大きく偏りがあった。来年度以降は、参加町会の増加を目指し、町会を越えた親睦の場となるように運営委員と協力しながら改善を加えていきたい。
- ・地域づくり協議会や関係機関と連携し、地域課題解決に向けた事業の実施を心がけた。しかしながら、自身の健康づくりや介護予防には多くの方が興味を持つが、地域での支え合いを広げるのは大変であると感じる。直ぐに成果が表れるようなものではないので、長い目を持ちながら、地域の状況にあわせた事業を実施していきたい。また、協議会が取りあげている課題以外にも地域には様々な課題があるので、公民館として地域の声を聞きながら事業を検討していきたい。
- ・新型コロナウイルス感染症対策により、事業の主催や講座の企画、運営委員会等の会議の開催についても難しい判断を今後もしていく必要があると思われる。何を優先すべきかを良く考えて検討を重ね、今後の公民館事業を行っていきたい。

項 目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館 各種 委員会 等
	平 人 和 権	福 健 祉 康	子 育 て	環 境	文 地 化 域	教 養 味	ス ポ ー ツ	防 災	そ の 他	体 育	文 化	そ の 他	
事業数	1	1	5	1	4	1	1			8	1		5
延べ参加人数	20	230	493	40	232	19	346			851	989		251

	CS	食育
事業数		2
延べ参加人数		40

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
里山観察会と山菜の調理実習	5月12日 (日)	1回	環境	成人	40人	【事業内容】 今井、神林、笹賀の3地区の共催事業として例年実施している鉢盛山の今井財産区有林の散策と山菜の調理実習。 【ねらい】 今井、神林、笹賀地区の住民同士の交流と財産区の歴史や自然について学ぶ。 【地域文化】	【準備過程】 今井公民館が中心となり、企画運営。 【共催団体等】 今井公民館 神林公民館	【評価と反省】 恒例の事業として、3地区の交流にもつながっている。例年山菜の採取、調理の色が濃くなっているが、その中で、財産区の歴史等についても触れることができた。 【今後の方針等】 継続実施するとともに笹賀、神林の特色を活かした共催事業についても検討していきたい。		
笹賀地区ウォーキング大会	5月26日 (日)	1回	地域事業 (体育)	成人	68人	【事業内容】 地区事業として例年実施しているウォーキング大会。地区内のウォーキングに合わせて史跡巡りを実施している。今年度は、近隣で開催中の信州花フェスタ2019会場につながるコース設定とした。 【ねらい】 地区住民の交流と健康維持を図るとともに、地区の文化財について学ぶ機会とする。 【地域文化】 【健康福祉】	【準備過程】 公民館体育委員を中心に企画実施。 【共催団体等】 笹賀地区福祉ひろば 笹賀地区町内公民館 笹賀地区体育協会 笹賀地区交通安全協会	【評価と反省】 例年多くの参加申し込みがあり、地区住民の健康づくりにつながるとともに、地区内の文化財等を知っていただく良い機会となっている。今年度は、近隣で開催中の信州花フェスタ2019会場につながるコース設定としていた。しかし、最高気温35℃予報が出たため、参加者の健康を考慮し、事前に中止とした。中止連絡についても関係者を通し参加者にはっきりと行い、当日の混乱は特になかった。 【今後の方針等】 地区内でコースを検討し、継続実施していきたい。		
笹賀地区町内公民館対抗球技大会	7月7日 (日)	1回	地域事業 (体育)	成人	200人	【事業内容】 地区行事として例年実施している町内公民館対抗の球技大会。 ソフトバレーボール12町会 ソフトボール 12町会 (雨天中止) 【ねらい】 地区住民の交流、親睦と健康維持を図る。 【健康福祉】 【スポーツ】	【準備過程】 公民館体育委員を中心に企画実施。 【共催団体等】 笹賀地区町内公民館 笹賀地区体育協会	【評価と反省】 平成28年度から種目変更したソフトバレーボールを継続して実施した。多くの町会から若年層から高齢者までの幅広い年齢層の参加があり、地区住民の親睦を深め、世代間交流にもつながった。ソフトボールは3会場を借用し、当日は天候が崩れかけているなか体育委員を中心に直前まで準備を進めていたが、雨天中止となった。 【今後の方針等】 今回実施しての課題を踏まえ、開催時期の変更も含め体育委員とともに良い形での開催を検討していきたい。		
笹賀地区マレットゴルフ選手選考会	7月12日 (金)	1回	地域事業 (体育)	成人	11人	【事業内容】 市民体育大会の選手選考会を兼ねたマレットゴルフ大会 【ねらい】 地区住民の健康維持を図る。 【健康福祉】 【スポーツ】	【準備過程】 地区体育協会を中心に企画実施 【共催団体等】 笹賀地区体育協会	【評価と反省】 市民体育大会の選手選考を兼ねたことにより、一般の参加はほとんどなかった。地区周辺にマレットゴルフコースがあるので、一般の方も参加しやすい内容での企画としても考えていきたい。 【今後の方針等】 周辺施設を活用し、多くの方が参加できるように内容の企画を検討したい。		
親子で楽しもう！ 人形劇公演会	7月27日 (土)	1回	子育て	青少年	21人	【事業内容】 人形劇団やまんばを招いての人形劇公演会 【ねらい】 人形劇を通して子ども達の豊かな心を育てることを図る。	【準備過程】 子ども会育成会を中心に企画実施。 【共催団体等】 笹賀地区子ども会育成会	【評価と反省】 親子で本格的な人形劇に触れる良い機会になった。子ども対象行事はなかなか人が集まらないことも多いが、ここ数年は継続して人形劇を開催していることで参加対象者への認知も少しずつ広がってきた。引き続きPTAへの事業の周知協力等を行ってきたい。 【今後の方針等】 小中学生、PTA、育成会の声を聞きながら、子どもたちにとって良い経験となる行事を行ってきたい。		
西南ブロック球技大会	7月28日 (日)	1回	地域事業 (体育)	成人	80人	【事業内容】 市長杯争奪球技大会のブロック予選を兼ねた今井、神林、笹賀の3地区による球技大会軟式野球と家庭婦人バレーボールの2種目を実施 【ねらい】 3地区の交流事業として実施 【スポーツ】	【準備過程】 当番地区を中心に準備、運営を行う。今年度は神林地区が当番地区 【共催団体等】 笹賀地区体育協会 神林地区体育協会 今井地区体育協会 神林公民館 今井公民館	【評価と反省】 市長杯争奪球技大会の予選も兼ねて毎年実施しており、3地区の交流にもつながっている。バレー競技では笹賀地区が市長杯への参加権を獲得できたが、野球競技では他の行事と重なってしまったこともあり、選手が集まらず棄権となってしまった。 【今後の方針等】 3地区の交流事業として今後も継続実施したい。できるだけ多くの選手が参加できるよう開催時期を調整していきたい。		
親子で体験！ ジャグリング教室	8月18日 (日)	1回	子育て	青少年	32人	【事業内容】 地区内小中学生親子を対象としたジャグリングの体験教室。 市内で活動するまつもとジャグリングクラブから講師を派遣。 【ねらい】 ジャグリングの体験を通しての情操教育や、けん玉など昔ながらおもちゃの楽しさを伝えるとともに、親子のふれあいの機会とした。	【準備過程】 子ども会育成会を中心に企画実施。 【共催団体等】 笹賀地区子ども会育成会	【評価と反省】 参加者からは笑顔が溢れ、親子で楽しみながらふれあう良い機会となった。夏休み開催事業は他行事と日程が重なってしまうことも多いが、昨年より多く親子の参加者が集まった。笹賀公民館の玄関ホールを会場としたが、大型扇風機の設置など暑さ対策にも配慮した。 【今後の方針等】 小中学生、PTA、育成会の声を聞きながら、子どもたちにとって良い経験となる行事を行ってきたい。		
子ども会お楽しみ会 障害物競走、〇×クイズ、ビンゴ大会	8月31日 (土)	1回	地域事業 (体育)	青少年	86人	【事業内容】 子どもたちの企画運営によるお楽しみ会。小学生から中学生までみんなが楽しめるような競技を検討し、障害物競走、〇×クイズ、ビンゴ大会を同日実施した。 【ねらい】 地区内小中学生の交流の場として実施。企画段階から子どもたちが運営に参加することで、キャリア教育の場とした。 【子育て】	【準備過程】 各町会子ども会の会長を中心に企画内容を決定。当日は、中学生を中心に運営した。 【共催団体等】 笹賀地区子ども会育成会	【評価と反省】 子どもたち自身の企画、運営によるお楽しみ会として、毎年実施している。企画、運営共に子どもたちが中心となっており、子どもたちにとって良い経験になっている。特に中学生が企画段階で積極的に意見を出し、当日も率先して全体を上手くまとめている姿が印象的だった。 【今後の方針】 毎年、子どもたちの企画で実施している。子どもたちの自主的な企画・運営を尊重する中で、適切にフォロー、アドバイスしていきたい。安全面はもちろん、低学年の子どもも飽きないような企画を意識していきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
笹賀地区親睦グラウンドゴルフ大会	9月8日 (日)	1回	地域事業 (体育)	成人	156人	【事業内容】 運動会に代わる地区事業として例年実施している親睦グラウンドゴルフ大会。 【ねらい】 年齢を問わず誰でも参加できるグラウンドゴルフ大会を行い、地区住民の親睦と交流を図る。 【スポーツ】	【準備過程】 公民館体育委員を中心に企画実施。 【共催団体等】 笹賀地区町会連合会 笹賀地区町内公民館 笹賀地区体育協会	【評価と反省】 幅広い年齢から多くの参加があり、町会を越えて、地区住民の交流につながった。順位付けを行い閉会式での表彰があるため、成績集計の時間短縮や効率化がさらに必要と感じる。 【今後の方針等】 地区住民の親睦、交流の場として今後も実施していきたい。暑さ対策には特に注意したい。		
笹賀地区文化祭	10月27日 (日)	1回	地域事業 (文化)	成人	989人	【事業内容】 地区住民の文化活動の発表の場として、作品展示会、ステージ発表会を実施。その他にも、各種団体による催し物や抽選会などを実施。 【ねらい】 日頃の文化活動の発表の場を設けることにより、地域の活性化、地区住民の交流を図る。	【準備過程】 町内公民館長、町内公民館主事にて文化祭実行委員を組織し、実行委員を中心に企画運営。 【共催団体等】 笹賀地区福祉ひろば 笹賀地区各種団体 笹賀地区内企業	【評価と反省】 日頃の文化活動の発表の場としてステージ発表、作品展示会ともに多くの参加があった。また、健康づくり推進員や安協等の様々な団体による催しも人気で、地区の一大イベントとなっている。地元企業提供の賞品が当たる抽選会の参加者も昨年度より大きく増加した。 小、中学校の合唱や合奏の発表については、保護者だけでなく地域住民からも貴重な機会として楽しみにしているとの声が多い。 今年度からステージ発表の運営スタッフとして、音響関係に詳しい人材を新たに1名確保することができ、来年度以降も協力いただけることになった。 ステージ発表のタイムスケジュールには、もう少し調整が必要と感じた。 【今後の方針等】 地区の一大事業として継続実施していくが、新たな出品者や出演者の掘り起しや新しい企画等について、実行委員や関係団体と協議しながら検討していきたい。		
もちつき大会	12月8日 (日)	1回	地域文化	青少年	180人	【事業内容】 小中学生、幼児親子を対象とした杵と臼を使ったもちつき大会。 【ねらい】 各家庭では少なくなった「もちつき」を体験し、日本の伝統文化・食文化への理解を深める。 【子育て】	【準備過程】 子ども会育成会を中心に企画・実施 【共催団体等】 笹賀地区子ども会育成会	【評価と反省】 例年多くの参加があり、家族で伝統文化に触れる機会となっている。役員・PTAももちつきを経験したことがない方がほとんどであり、地域の高齢者による指導が必要となっている。役員・PTAが体験した事を継承していけるように事業を展開していきたい。 【今後の方針等】 親子共に伝統文化に触れる良い機会であるので、継続実施していきたい。		
ふるさとの伝統行事と郷土食	1月7日 (火)	1回	地域文化	青少年	21人	【事業内容】 小中学生親子を対象に郷土食の調理実習と郷土食に関わる伝統行事についての学習を実施。「三九郎のまゆ玉」 【ねらい】 郷土食の調理実習を通して、郷土の食文化、伝統文化の次世代への継承を図る。	【準備過程】 地区食生活改善推進員と相談し企画実施。 【共催団体等】 笹賀地区食生活改善推進員	【評価と反省】 親子で郷土食や伝統行事に触れる良い機会となっている。学んだこと、感じたことが友人等の繋がりの中に広がり、伝統文化の継承につながればと思う。昨年度から継続の参加者もあった。 【今後の方針等】 地区には様々な伝統行事や郷土食があるので、内容を検討し、継続実施していきたい。		○
笹賀地区町内公民館対抗卓球大会	1月26日 (日)	1回	地域事業 (体育)	成人	200人	【事業内容】 地区行事として例年実施している町内公民館対抗の卓球大会。 13町会が参加 【ねらい】 地区住民の交流、親睦と健康維持を図る。 【健康福祉】 【スポーツ】	【準備過程】 公民館体育委員を中心に企画実施。 【共催団体等】 笹賀地区町内公民館 笹賀地区体育協会	【評価と反省】 未経験者でもラリーが続き、皆が楽しめるように平成28年度からラージボール卓球に変更している。高齢者から中学生までの幅広い世代からの参加があり、町内の世代間交流や親睦につながっている。 【今後の方針等】 今回実施しての課題を踏まえ、体育委員とともにより良い形での開催を検討していきたい。		
男の料理教室	2月19日 (火)	1回	趣味教養	成人	19人	【事業内容】 男性を対象とした料理教室。テーマは「脂肪のとりすぎ、ちょっと気になってませんか？ 軽びにくい体作りに役立つお料理など作ってみませんか」。調理実習の前には管理栄養士から食事バランスについての講義も行った。 【ねらい】 調理実習を通して、食生活の改善を図るとともに退職後の男性の地域での交流をねらって実施。	【準備過程】 地区食生活改善推進員を中心に企画実施。 【共催団体等】 笹賀地区食生活改善推進員	【評価と反省】 参加者の交流の場になるとともに、管理栄養士からの講義の時間もあり、普段の食生活を見直す良い機会となった。参加者からは次回も参加したいとの声を多くいただいた。 【今後の方針等】 今後も定期的に実施していきたいが、地元産食材を取り入れる等の工夫もしていきたい。また、参加者同士の交流も進んできており、今後その繋がりを活かした地域での活動を模索していきたい。		○
人権視察研修	2月27日 (木)	1回	人権平和	成人	20人	【事業内容】 笹賀地区ボランティア部会と共同で、上田市戦没没面学生慰霊美術館無言館への視察研修 【ねらい】 人権課題について理解するとともに、人権啓発推進協議会委員の資質の向上を図る。	【準備過程】 人権啓発推進協議会を中心に企画実施。 【共催団体等】 笹賀地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 笹賀地区ボランティア部会との共同視察は初の試みだったが、新型コロナウイルス感染症対策により中止の判断となった。 【今後の方針等】 様々な人権課題の中から、地域・時代に合った内容を事業を企画実施していきたい。		
西南ブロックゲートボール大会	3月10日 (火)	1回	地域事業 (体育)	成人	50人	【事業内容】 今井・神林・笹賀の3地区によるゲートボール大会 【ねらい】 今井、神林、笹賀3地区の親睦と交流を図る。 【健康福祉】 【スポーツ】	【準備過程】 当番地区体育協会が中心となり企画実施。今年度は神林地区が当番地区。 【共催団体等】 笹賀地区体育協会 今井地区体育協会 神林地区体育協会 今井公民館 神林公民館	【評価と反省】 毎年恒例の行事として実施しているが、競技人口の減少もあり、参加チームの減少傾向となっている。今年度も何とか昨年度と同数のチームを確保できたが、多人数が集まる屋内競技場での開催のため、新型コロナウイルス感染症対策により中止の判断となった。 【今後の方針等】 競技団体、各地区の意向を聞きながら、継続して参加したい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
笹賀公民館利用団体説明会	3月17日 (火)	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	中止	【事業内容】 笹賀公民館利用団体向けの貸館利用方法等についての説明会。今年度は公共施設予約システムの更新による変更点についての説明会も兼ねる。 【ねらい】 公民館利用団体への貸館利用方法の説明と利用マナーの向上、意見交換	【準備過程】 公共施設予約システム更新に伴う変更点等を整理、資料作成	【評価と反省】 公民館利用団体の貸館利用ルールの再確認や、公共施設予約システムの更新に伴うパスワード再設定や利用方法について説明を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染症対策により中止とし、資料送付および電話での問い合わせ対応とした。 【今後の方針等】 笹賀公民館利用団体に対して、貸館利用方法等について定期的に説明の機会および意見交換の場をつくっていきたい。		
笹賀地区子ども会育成会だよりの発行	3月31日 (土)	1回	子育て	青少年		【事業内容】 子ども会育成会で開催した事業内容の記事を中心に育成会だよりの発行、町会全戸配布。 【ねらい】 子ども会育成会で実施した事業の報告および来年度以降の参加を促す。また、事業の感想について子どもに原稿依頼することで、参加したことへの思いを深めてもらうとともに、地区住民へ行事の楽しさを伝える。	【準備過程】 育成会教養部を中心に事業に参加した子どもへの原稿依頼、編集会議の開催。	【評価と反省】 例年発行しているものだが、育成会役員との連携不足で発行できなかった年度もある。今年度は育成会役員との連携を深め、無事発行することができた。それぞれの子ども個性がよく出ている原稿が多く集まり、行事の楽しさが伝わる内容になった。 【今後の方針等】 育成会役員は1年任期の方が多いため、来年度以降も継続して発行できるように、事前説明などの準備をしていきたい。また、原稿依頼について特定の町会に偏らないようにしていきたい。		
町会親睦ソフトバレー運営委員会	4月25日 (木) 9月18日 (水) 3月12日 (木)	3回	公民館委員会・各種会議等	成人	23人	【事業内容】 平成29年度から継続開催が途切れてしまった町会対抗ママさんバレーボールリーグに代わり、今年度から町会親睦ソフトバレーとして前期後期に分けて開催。運営委員会により反省点の洗い出しと開催内容の検討を行った。 【ねらい】 地区住民の健康増進、町会を越えた交流の場として町会親睦ソフトバレーを開催し、継続実施を目指す。 【地域事業（体育）】	【準備過程】 町会親睦ソフトバレー運営委員会を中心に企画実施	【評価と反省】 参加町会の減少等により開催が途切れてしまった町会対抗ママさんバレーボールリーグを町会親睦ソフトバレーという形に変更することにより、継続実施することを決定。前期後期に分けて開催した。運営委員会を開催することにより、各町会参加者の意見を集約、継続開催に向けての意見交換を行うことができた。 【今後の方針等】 来年度は前期後期に分けず、通しの開催とする方針に決まった。定期的に運営委員会を開催し、反省点の洗い出しや運営方法の調整を行いたい。		
町会親睦ソフトバレー	5月11日 (土) 3月7日 (土)	####	スポーツ	成人	346人	【事業内容】 今年度から町会親睦ソフトバレーとして初の試みとして開催。前期後期に分けて開催した。 【ねらい】 地区住民の健康増進、町会を越えた交流の場として町会親睦ソフトバレーを開催し、継続実施を目指す。 【地域事業（体育）】	【準備過程】 町会親睦ソフトバレー運営委員会を中心に企画実施	【評価と反省】 昨年度から企画した事業を実施につなげることができた。参加者からは楽しく参加できたとの声を聞くことができた。 前期については地区球技大会の練習としての面もあり参加者が多かったが、後期は目標が見えないことや寒さのため、参加者が減少した。今後は参加町会を増やしていくための工夫も必要。 【今後の方針等】 来年度は前期後期に分けず、寒い時期を避けた通しの開催とする方針に決まった。参加町会を増やすための周知等も行っていきたい。		
笹賀歴史文化財講座	11月6日 (水) 11月20日 (水)	2回	地域文化	成人	31人	【事業内容】 市文化振興課、「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会、二土会（地区内の勉強会）と共催で松本城の歴史や世界遺産を目指す取り組みについて学ぶ連続講座。 11/6笹賀公民館大会議室を会場に、松本城管理事務所の研究専門員を講師とした座学講座 11/20座学で学んだ内容について、松本城管理事務所の研究専門員をガイドとした現地見学（貸切バスで移動） 【ねらい】 自身が住んでいる笹賀地区や松本市の歴史文化財を学ぶことで地域への愛着を育てるとともに、若い世代への歴史文化の継承や文化財の保護と活用について学ぶ。	【準備過程】 公民館を中心に企画実施 【共催団体等】 市文化財課、「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会、二土会（地区内の勉強会）	【評価と反省】 松本城管理事務所の研究専門員を講師に招いたことにより、参加者は松本城について分かりやすく学ぶことができた。現地見学についても少人数ずつの2班で見学したことで、参加者同士が交流しながら学習することができた。 【今後の方針等】 地域の歴史・文化を学ぶ機会として、様々な内容で今後も企画実施していきたい。現地視察や座学などの講座形式を工夫し、若年層も参加しやすいようなものも考えていきたい。		
笹賀地区健康づくり講座	通年	####	福祉健康	高齢者	230人	【事業内容】 地区住民を対象とした健康づくり講座。ウォーキング指導、ストレッチ、筋トレ、ニュースポーツ等を実施。 【ねらい】 高齢者の健康維持と仲間づくりを目的に実施。	【準備過程】 地区スポーツ推進員を中心に毎回の内容を検討。 【共催団体等】 笹賀地区福祉ひろば	【評価と反省】 地域の高齢者の健康づくりの場の一つとなっているが、内容のマンネリ化のため参加者は減少傾向。 後半は新型コロナウイルスの影響もあり、3月開催は中止の判断とした。 【今後の方針等】 地区住民の健康維持につながっているが、継続実施については事業のサークル化等も含め検討していきたい。		
子どもと本の集い	通年	####	子育て	家庭教育	240人	【事業内容】 地区内未就園児親子を対象にした絵本を介した子育て支援事業。えほんの読み聞かせのほか、季節の行事に合わせた工作等を実施。 【ねらい】 地区内未就園児親子の居場所づくり、仲間作りの場として実施	【準備過程】 おはなしの会「すがのつくる」が中心となり企画・運営。 【共催団体等】 おはなしの会「すがのつくる」 笹賀地区福祉ひろば	【評価と反省】 多くの未就園児親子が参加しており、交流、仲間作り、相談の場の一つになっている。 また、季節の伝統行事に合わせて工作等を実施するなかで、親が伝統文化について学ぶ機会にもなっている。 3月開催については、新型コロナウイルス感染症対策により中止の判断となった。 【今後の方針等】 「すがのつくる」の自立した活動ではあるが、子育て、親育ちの場として、継続して支援していきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
笹賀おやこ教室	通年	8回	子育て	家庭教育	200人	<p>【事業内容】 地区内未就園児親子を対象とした奇数月実施の親子講座。 お話し、夏まつりの開催、おもちゃ工作、調理実習、施設見学等を実施。</p> <p>【ねらい】 様々な体験を通して、親子とともに成長する場として実施。また、地区内未就園児親子の居場所づくり、仲間づくりの場としても期待。</p>	<p>【準備過程】 地区内親子サークル「笹賀おやこクラブ」を中心に企画運営</p> <p>【共催団体等】 笹賀おやこクラブ 笹賀地区福祉ひろば</p>	<p>【評価と反省】 多くの未就園児親子が参加しており、交流、仲間作り、相談の場の一つになっている。 参加者自身が企画運営に携わるということで親の成長の場にもなっている。毎月開催を奇数月開催に変更し、役員の負担を減らしながら継続している。役員の担い手不足等の課題があるが、今年度から2名の役員に新規参加いただけた。 夏まつりについては、福祉の地域づくり協議会や民児協等の協力により、多くの催し物を作ることができた。参加者も多数集まり、運営役員も含めた親子皆で楽しむ姿を見ることができた。</p> <p>【今後の方針等】 自身で企画運営に携わり、親子がともに成長していく場として、継続して実施していきたい。 こども食堂とのコラボ企画も計画中であり、引き続き支援したい。</p>		
公民館ニュースの発行	通年	####	地域文化	成人		<p>【事業内容】 毎月公民館ニュースを発行している。市のホームページに同内容の更新を行っている。</p> <p>【ねらい】 公民館事業等の地区内への周知を図る</p>	<p>【準備過程】 公民館で紙面を考え、発行</p>	<p>【評価と反省】 毎月全戸配布で発行しており、公民館事業の周知方法の一つとなっている。沢山ある配布物の中で埋もれてしまったり、町会未加入者等の配布物が届かない方の増加などの課題もある。市ホームページへの掲載も行っているが、周知方法の更なる充実を検討していきたい。</p> <p>【今後の方針等】 一つの周知方法として継続発行していきたい。 情報をどんな方に伝えたいのかを考え、事業により対象にあった周知方法を検討していく必要があると感じる。</p>		
館報編集委員会	通年	####	公民館委員会・各種会議等	成人	65人	<p>【事業内容】 館報編集委員会を開催し、笹賀公民館報紙面の企画、校正を行う。</p> <p>【ねらい】 地域の話題を掘り出し地区住民に知ってもらうことで、地域に興味や親近感を持ってもらう。あわせて公民館事業の報告等も行う。</p>	<p>【準備過程】 館報編集委員を中心に、紙面の企画および校正を行う。</p>	<p>【評価と反省】 館報編集委員の自主性により、紙面の企画校正を行った。編集委員は一本釣りをお願いしており、幅広い情報収集のためにも各町会から新規委員の勧誘が必要。来年度から2名の新規委員を迎えることができた。</p> <p>【今後の方針等】 地域の情報を積極的に入手し、紙面のマンネリ化が起きないように心掛けていきたい。また新編集委員の掘り出しも継続して行っていきたい。</p>		
体育委員会	通年	5回	公民館委員会・各種会議等	成人	74人	<p>【事業内容】 体育委員会を開催し、地区体育行事の企画、運営を行う。ウォーキング大会、球技大会、グラウンドゴルフ大会、卓球大会等。</p> <p>【ねらい】 体育委員で地区スポーツ大会の要項や参加申し込み方法等について確認および協議し、当日運営がスムーズに進むよう準備する。</p> <p>【地域事業（体育）】</p>	<p>【準備過程】 公民館体育委員を中心に企画実施。</p>	<p>【評価と反省】 任期1年の役員も多いが、事業を行う前に体育委員を集め大会運営等の説明を行い協議することで、当日の運営について大きな混乱もなく行うことができた。 また、参加申込方法について体育委員から希望を聞き、町会毎に公民館ニュースの内容を変更することで各町会の事情にも細やかに対応できた。</p> <p>【今後の方針等】 引き続き体育委員会を開催し、各事業の運営を円滑に行えるようにしたい。また公民館ニュースの内容変更にも余裕をもって対応できるよう、委員会の開催日に注意したい。</p>		
文化祭実行委員会	通年	5回	公民館委員会・各種会議等	成人	89人	<p>【事業内容】 文化祭実行委員会を開催し、笹賀地区文化祭の企画、運営を行う。</p> <p>【ねらい】 文化祭実行委員で協力しあいながら、ステージ発表、作品展示、抽選会などの係分担により、地区住民の力でより良い文化祭を開催する。</p>	<p>【準備過程】 公民館文化委員、図書視聴覚委員を中心に企画実施。</p>	<p>【評価と反省】 町会役員任期は1～2年が多く、実行委員の経験者は多くないが、経験者を中心に実行委員同士で協力しあい、大きなトラブルもなく無事に文化祭を開催することができた。</p> <p>【今後の方針等】 多くの地区住民が楽しみにしている文化祭を絶やさずとなく継続していけるように、地区住民が協力しあい運営できるよう助力していきたい。</p>		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等
<p>・事業や講座について、昨年度の実績・課題等を踏まえ、ブラッシュアップをし、事業展開をする。</p> <p>・土地区画整理事業等による人口増を始め、松本国際高等学校開校や村井駅再整備など地域が様変わりしてきている現状と合わせ、子どもが多いという特色がある。</p> <p>・地域住民が多くなるため、地区の活動の周知等情報の発信に力を入れる。</p> <p>・地域で子どもを育てていくことに力を入れ、芳川小学校・地域と連携し、長期休暇の居場所づくりとして公民館を開放する。</p> <p>・芳川小学校・地域と連携し、夏休み中の居場所として公民館を開放する。</p> <p>・小学校での活動を地域に知ってもらうため、文化祭での展示を充実する。</p> <p>・既存の住民と新しい住民が一体となれるような事業の展開や、芳川地区をより深く知る講座の開催をし、自分の住む地域に愛着を持ってもらうことを目指す。</p>

評価・反省等
<p>・事業や講座など、経常的なものについては、昨年度からの修正も加え、展開ができた。一方で、昨年度と変更がないために、人が集まりづらいものが散見された。そのため、今後は大幅な変更等で新たな事業を展開していきたい。</p> <p>・夏休み中の公民館開放については、地域の方を見守りボランティアとして依頼をし、3日間絶えず協力をしていただいた。小学生も毎日参加があったため次年度以降も地域・学校の力を借り、継続していきたい。</p> <p>・公民館講座をきっかけに、住民が更なる学びを深めるため、主体的に新しいサークルを立ち上げたため、支援を行った。今後も主体性を大事にし、地域から何かに取り組みみたいという声を逃さず、黒子となり、地域の力を活かしたい。</p>

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等
	平人和権	福祉健康	子育て	環境	文地化域	教趣養味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数	3	3	6		4	1	10		2	4	1	2	8
延べ参加人数	91	419	848		201	1022	3458		270	1259	1500	260	1537

	CS	食育
事業数	5	1
延べ参加人数	2152	400

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・わらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C	S	食育
第16回芳川公民館長杯ソフトバレーボール大会	4月29日	1回	スポーツ	成人	450人	【事業内容】生涯スポーツであるソフトバレーボールを楽しめる機会を提供することにより親睦や体力向上を図る。 【わらい】地区内外の参加者との交流の場として考える。	【準備過程】体育協会ソフトバレーボール役員と芳川ソフトバレーリーグ戦参加チームの協力により資料や景品等準備 【共催団体】芳川体育協会	【評価と反省】県内外を含め、70チームのソフトバレー愛好家が参加。試合会場として松本平広域公園体育館を使用したため、参加部門ごとに会場を分けることなく、運営ができた。 【今後の方針】松本平広域公園内の駐車場に限りがあるため、関係団体と調整をして万全の体制を整えたい。			
第23回ソフトバレーボール祭	5月12日	1回	スポーツ	成人	150人	【事業内容】芳川地区ソフトバレー愛好家14チームによる親睦大会	【準備過程】 【共催団体】芳川体育協会	【評価と反省】ソフトバレー愛好家の交流の場として定着してきている。 【今後の方針】次年度も実施予定。また体協役員に当日の運営を全てお願いしていく予定。			
芳川公民館運営委員会	5月13日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	24人	【事業内容】地区役員へ芳川公民館の30年度の事業報告と元年度の事業計画案を説明 【わらい】公民館事業の推進及び委員会活動の活性化を図る。	・芳川町会連合会 ・町内公民館長 ・芳川小学校校長 ・芳川小学校PTA ・筑摩野中学校校長 ・筑摩野中学校PTA ・芳川地区子ども会育成会長 ・民生児童委員協議会長 ・健康づくり推進員会長 ・交通安全協会支部長 ・農村女性委員会 ・体育協会理事長 ・館報編集委員長	【評価と反省】懇談の時間を設け、各種団体の長から芳川公民館への要望、また各種団体から他団体への要望等の時間を持つことができた公民館と各種団体または団体間の交流も持つことができた。 【今後の方針】次年度以降も今回の反省を踏まえ、講座や公民館運営を円滑に行うため必要に応じ開催する。			
ニュースポーツ体験教室	6月1日 3月1日	2回	スポーツ	その他	51人	【事業内容】ニュースポーツの体験会 【わらい】気軽にできるニュースポーツを地区の方々に知ってもらう。地区の体育大会で正式種目として導入をしたため、各町会の研鑽の場としても活用してもらう。	【準備過程】 【共催団体】芳川体育協会	【評価と反省】参加人数が少なく、固定化してしまっている。公民館や福祉ひろば、体育館利用をする親子や高齢者に声がけをして参加者を増やしたい。 ※2回目(3/1)については、新型コロナウイルス感染拡大を鑑み中止。 【今後の方針】ニュースポーツを地区内で認知されてきており、町内公民館の事業などでも活用され始めている。新しい種目の運営を考える。			
芳川地区人権啓発推進協議会視察研修	6月18日	1回	人権平和	成人	19人	【事業内容】「生きる仕組みづくり～国際協力の観点から～」と題し、JACA駒ヶ根を視察 【わらい】人権問題を考えていただく機会とした視察研修	【準備過程】視察先について協議会と事前打合せを行い視察先を決定 【共催団体】芳川地区男女共生を進める会と共催	【評価と反省】町会長、町内公民館長、地区各種団体の方が中心の構成で非常に好評だった。 【今後の方針】人権学習は視察が恒例となっているが、視察にこだわらず、時代に即した内容を行っていきたい。			
第45回芳川地区体育大会	7月7日	1回	地域事業(体育)	その他	850人	【事業内容】芳川地区内の各町会対抗の体育大会 【わらい】地区住民体力向上及び交流の場として考える。	【準備過程】芳川地区体育大会実行委員会と内容を協議 【共催団体】芳川町会連合会 芳川体育協会	【評価と反省】雨の影響もあり、当日開会式を屋外で行った後に屋外種目の中止を決定した。屋内種目(一部中止)のみの開催となり、総合順位を付けられずに終了となった。また、競技中体調不良者が出たため、中止となる競技があったが、選手や役員との協力で大事には至らなかった。 【今後の方針】競技に関する調整、危機管理の調整等を芳川体育協会と協力して進めていきたい。			
振り込め詐欺等防止勉強会	7月25日	1回	健康福祉	成人	20人	【事業内容】特殊詐欺の被害額は年々増加している。注意喚起を呼び掛ける勉強会を実施。 【わらい】特殊詐欺等は他人事ではなく自分事であること、事例を交えて学ぶ。	【準備過程】企画等講師と打ち合わせ、周知	【評価と反省】最近の事例を交えながら勉強することで身近に起こり得ることだと実感していただいた。 【今後の方針】次年度も実施したい。			
第27回芳川地区マレットゴルフ大会	7月28日	1回	地域事業(体育)	成人	27人	【事業内容】芳川地区住民によるマレットゴルフの親睦大会 【わらい】地区住民同士の交流、親睦を目的とするもの	【準備過程】 【共催団体】芳川体育協会	【評価と反省】回覧での周知、愛好会への声掛けにより出場者の増となった。また、大会の位置づけを市民体育大会出場者の予選会ではなく、交流会としたため出場者の増に繋がった。 【今後の方針】交流、親睦の場として、次年度も実施したい。			
夏休み公民館開放事業	8月5日 ～7日	3回	地域文化	青少年	23人	【事業内容】長期休暇中の児童の居場所作り事業。地域ボランティアが見守る中、勉強会。 【わらい】児童たちに公民館を知ってもらう。地域の居場所としての公民館に来てもらう。	【準備過程】公民館にて企画、運営。芳川小学校へ周知。またボランティアとして地区住民に参加していただいた。 【共催団体】	【評価と反省】芳川小学校・地域との連携による新規事業。地域の人が見守る中で勉強会をするため、集中できるという声があった。小学校の先生も見守りに参加しており、地域と学校の連携が図れた。 【今後の方針】居場所づくりの一環として、連携事業として、次年度も実施したい。			
おたのしみ会「ケイスケのバントマイムサーカス」	8月10日	1回	子育て	青少年	103人	【事業内容】園児や小学校低学年向けのお楽しみ会 【わらい】園児や小学校低学年を対象に、親子で一緒に楽しんでもらうバントマイムショー	【準備過程】 【共催団体】芳川地域づくり協議会 芳川各保育園 芳川各幼稚園	【評価と反省】夏休みの期間中に実施したため、親子が一緒にバントマイムを体験できる機会となった。今年度は猛暑のため熱中症も心配されたが、特に問題なく進行できた。熱中症対策として、飲み物の配布を行った。 【今後の方針】人気もあり、次年度も実施したい。			
第44回東南ブロック球技大会	8月25日	1回	地域事業(体育)	成人	300人	【事業内容】バレー、バドミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフ、軟式野球の6競技による6地区対抗。 【わらい】他地区住民との親睦を目的とするもの。	【主管】東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】実行委員会にて企画、準備、実施	【評価と反省】各地区の交流の場として実施できている。運営面での人員不足等課題があるため、各地区協力をしていきたい。 【今後の方針】東南ブロックでの主催となる数少ない体育行事として他地区との交流の推進を図る。			

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
第1回芳川公民館長杯野溝緑地オープン・マレットゴルフ大会	9月25日	1回	スポーツ	成人	44人	【事業内容】 生涯スポーツであるマレットゴルフを楽しむ機会を提供することにより親睦や体力向上を図る。 【ねらい】 地区内の参加者との交流の場として考える。	【準備過程】 体育協会マレットゴルフ役員と野溝緑地マレットゴルフ愛好会の協力により景品等準備 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 新規事業。地区内から多くの参加者が集まった。 【今後の方針】 駐車場に限りがあるため、関係団体と調整をして万全の体制を整えたい。		
子育て支援講座「心を伝えるコミュニケーション」	10月4日 11月15日	2回	子育て	成人	14人	【事業内容】 子育て支援講座 【ねらい】 心の伝え方実施し、子育てから少し離れてからだをリラックスさせる時間を設ける。	【準備過程】 【共催団体】 いちごくらぶ	【評価と反省】 自己表現や対話による力を身に付ける講座であり、言葉の持つ大切さを学ぶとともにリラックスの時間となった。 【今後の方針】 好評だったので、次年度も考えたい。		
芳川ふれあいウォーキング	10月5日	1回	健康福祉	その他	75人	【事業内容】 3つのウォーキングコースから自分の体力にあったコースを選び、地区内を歩きながら散歩する。 雨天時は芳川体育館でウォーキング講座を実施 【ねらい】 歩きながら地域の歴史等を学ぶ。また体力増進を図る。	【準備過程】 【共催団体】 芳川福祉ひろば ひまわりの会 体力作りサポーター	【評価と反省】 芳川歴史研究会の会員にポイントで説明をしてもらうことで、より深く芳川を知るきっかけになった。小学生の参加も多く、多世代交流ができた。 【今後の方針】 好評だったため次年度も行う。		
V.S芳川マッチ	10月20日	1回	地域事業(その他)	青少年	222人	【事業内容】 芳川地区の芳川っ子が一堂に集まり、中学生のお兄さんお姉さんの指導のもと、レクリエーション遊びを行う。 【ねらい】 地区内で3つの小学校に通う子どもの交流の場として考える。	【準備過程】 筑摩野中学校生徒と町別児童会の子ども達が自分たちで遊ぶ内容等を決める。 【共催団体】 芳川地域づくり協議会 芳川地区子ども会育成会 芳川小学校PTA 開明小学校PTA CSふたむら	【評価と反省】 小学生にわかりやすく楽しめる種目を用意し、スムーズな進行ができた。またCSふたむらの中学生たちがボランティアとしてリーダーシップを発揮してくれた。 【今後の方針】 好評だったため、次年度も行う。子どもたちが楽しめる工夫をより多く取り入れたい。		○
令和元年度芳川地区文化祭	11月2日 11月3日	1回	地域事業(文化)	成人	1,500人	【事業内容】 芳川地区文化祭 【ねらい】 各サークルの発表・展示、ドリームコンサートなど日頃の活動の成果発表の場とする。文化活動を通して地区住民の輪を広げ絆を深めることを目的とする。	【準備過程】 文化委員と協力して計画 【共催団体】 芳川地区文化祭実行委員会 芳川地区福祉ひろば 芳川公民館利用団体 CSふたむら	【評価と反省】 打合せ段階から芳川地区の各サークルからさまざまな意見をいただき、地域の住民とつながりが強化できたと考えている。 市民祭等のイベントと重なったため、少し盛り上がりに欠けた部分もあった。 【今後の方針】 今年以上に楽しく面白い文化祭にしていきたい。		○
楽笑レクゲーム	11月17日	1回	地域事業(体育)	その他	82人	【事業内容】 地区の皆さんが気軽に参加できる軽運動の集い 【ねらい】 楽しく笑いながら気軽に参加できるレクリエーションで健康・体力作りを目指す。	【準備過程】 芳川地域づくり協議会の健康と福祉部会が内容等を検討 【共催団体】 芳川地域づくり協議会 芳川体育協会	【評価と反省】 頭を使いながら楽しむスタイルが参加者からは好評であった。説明の時間を長くすることで 【今後の方針】 一般参加者を増やせるような声がけや取組を行ってきたい。		
マレットゴルフ交流会	11月20日	1回	スポーツ	成人	61人	【事業内容】 東南部6地区合同でマレットゴルフ大会を開催。 【ねらい】 他地区との交流を深める。	【共催団体等】 寿、舞台、内田、松原、芳川地区公民館と共催。	【評価と反省】 他地区との交流を深めることができた。 【今後の方針等】 他地区との交流、健康増進に繋がる取組みであるため、今後も継続したい。		
しめ縄づくり講座	11月21日	1回	地域文化	成人	18人	【事業内容】 地域の伝統であるしめ縄作りを体験してもらう 【ねらい】 正月飾りであるしめ縄づくりを通して地域の伝統文化の継承を目的とする。また、参加者には芳川小学校のしめ縄作り講習会のボランティアを担ってもらう。	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区福祉ひろば	【評価と反省】 講師に加え、参加者同士が教えあう光景が見られ、とてもいい雰囲気を作ることができた。小学校での周知もあり小学校5年生の親の参加が見られた。 【今後の方針】 今年度は芳川小学校のボランティアとして新たに4名の方を確保することができた。参加者からも好評だったため、次年度も実施したい。		
子育て講演会「子どもの居場所」を考える	12月8日	1回	地域事業(その他)	成人	38人	【事業内容】 子どもや親御さんの不安を解消する地域の居場所についての講演会 【ねらい】 家族・職場・地域の変化により人が育つ機能が喪失されている現代において、今地域の中での居場所が求められていることを学ぶ。	【準備過程】 会議の中で小学校PTAにご意見を伺い、講師を決定 【共催団体】 芳川地域づくり協議会 芳川地区小中学校 芳川子ども会育成会	【評価と反省】 芳川地区在住の講師ということもあり、参加者の中には、地域のことであり、他人事ではないという認識を持ってもらった。 【今後の方針】 次年度も保護者に講師の希望を聞き、講師を決定していきたい。また周知方法について考え、参加者を増やしたい。		
しめ縄づくり講習会	12月10日	1回	地域文化	青少年	160人	【事業内容】 毎年芳川小学校5年生を対象に行っているしめ縄作り教室 【ねらい】 正月飾りであるしめ縄づくりを通して地域の伝統文化の継承を目的とする。	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区福祉ひろば	【評価と反省】 子ども達がとてもしめ縄作りを喜んでくれた。講師の地元ボランティアの確保のために、しめ縄作り講座を実施した際に小学校でも周知があり、子どもの親のボランティアが増えた。 【今後の方針】 今後も小学生が育てた稲を最後まで大切に使うことを学べる機会としていきたい。		○
もちつき大会	1月28日	1回	子育て	家庭教育	61人	【事業内容】 毎年恒例のもちつき大会 【ねらい】 地区住民を対象に公民館工作室で餅つき。伝統文化の継承・また住民間の交流を目的として行った。	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区福祉ひろば	【評価と反省】 降雪のため昨年に引き続き公民館工作室で実施をした。室内で実施したため寒さ等で参加者が苦痛を感じるようになってきたのはよかった。一方で昨年と比べると参加者は減少した。また、集合場所やタイムスケジュールを見直し、スムーズな進行ができた。 【今後の方針】 毎年好評をいただいているため、次年度も実施したい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C	S	食育
芳川地区人権啓発ふれあいコンサート	2月11日	1回	人権平和	その他	52人	【事業内容】 人権啓発ふれあいコンサートと題し、楽団ケ・セラの皆さんを招いてコンサートを実施 【ねらい】 障がいを持つ方々が音楽を通じて自立を目指すケ・セラの活動を通じて、障がいを持つ人への理解と人権問題を身近に感じてもらうため。	【準備過程】 楽団ケ・セラと協力して計画 【共催団体】 芳川地区男女共生を進める会 芳川地区福祉ひろば NPO法人ケ・セラ	【評価と反省】 昨年から一カ月日程を早めて、開催した。結果として昨年度参加できなかった人も参加できた。 【今後の方針】 次年度もやってほしいという意見が多かったため、人権啓発事業として考えたい。			
人権料理講習会	2月12日	1回	人権平和	成人	20人	【事業内容】 海外の料理を学び、理解を深める。 【ねらい】 異なる文化を持つ外国を料理から学ぶ料理教室	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区男女共生を進める会 芳川地区福祉ひろば	【評価と反省】 中華料理について中継多文化ネットワークから講師を招いた。芳川地区福祉ひろばとの共催のため、参加しやすい仕組みづくりをした。 【今後の方針】 次年度は違う外国の料理を学ぶように計画したい。			
親子ふれあいパーク2020 in まつばら	3月7日	1回	子育て	その他	中止	【事業内容】 ・親子での体を使った遊び、集団遊び、「投げける」や「走る」といった体の使い方を健康運動指導士から学ぶ。 【ねらい】 ・基本的な体の使い方を習得する子供期に、遊びを通していろいろな体の動きを体験し、運動することの楽しさを知り、家庭や地域での日常的・継続的な運動習慣のきっかけづくりとする。	【主催】 松原地区公民館、松本市健康づくり課 【共催】 中山、芳川、寿、寿台、内田公民館	新型コロナウイルス感染拡大を鑑み中止。 【今後の方針】 令和2年度にあらためて実施予定。			
春休みファミスポDAY	3月29日	1回	スポーツ	成人	中止	【事業内容】 春休みの期間に家族や仲間とスポーツを楽しんでもらう。 【ねらい】 親子のふれあいや友人の交流を通じて地域の絆作りと健康増進を図る。	【準備過程】 公民館にて企画、運営。 【共催団体】 芳川体育協会	新型コロナウイルス感染拡大を鑑み中止。 【今後の方針】 令和2年度にあらためて実施予定。			
春休み寺子屋塾	3月	1回	地域文化	青少年	中止	【事業内容】 長期休暇中の児童の居場所作り事業。様々な課題に挑戦。 【ねらい】 児童たちが、主体的に行動できる場の提供。	【準備過程】 公民館にて企画、運営。またボランティアとして地区住民に参加していただいた。 【共催団体】	新型コロナウイルス感染拡大を鑑み中止。 【今後の方針】 長期休暇中の居場所づくりを今後も継続して行いたい。			
芳川地区セーフティマップ作成	3月	1回	その他	青少年	20人	【事業内容】 芳川小学校の通学路や安心の家の情報を載せたマップの作成 【ねらい】 子どもを守る安心の家の通学路マップを作成し、小学校1年生や転入生に配布する。	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区防災防犯協会 芳川小学校 芳川諸学校PTA	【評価と反省】 今年も各種協力団体と連携してスムーズにマップが作成できた。 【今後の方針】 1年生の保護者からも好評なので、次年度も作成していきたい。			○
第40回バレーボールリーグ戦	4月～10月	7回	スポーツ	女性	700人	【事業内容】 バレーボールのリーグ戦 【ねらい】 芳川地区内外のバレーボール愛好家7チームによる交流戦	【準備過程】 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 けが人等なく、スムーズな運営ができた。 【今後の方針】 歴史もあるリーグ戦なので継続していきたい。			
第21回ソフトバレーボールリーグ戦	4月～11月	15回	スポーツ	成人	1,200人	【事業内容】 ソフトバレーボールのリーグ戦 【ねらい】 芳川地区内外のソフトバレーボール愛好家15チームによる交流戦	【準備過程】 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 けが人等なく、スムーズな運営ができた。参加チームが昨年より増えたため、日程の調整が難航した。 【今後の方針】 歴史もあるリーグ戦なので継続していきたい。			
食育学級	4月～3月	11回	子育て	家庭教育	400人	【事業内容】 食についての思いを深め、家庭での手作りの大切さに気付いてもらう 【ねらい】 じゃがいもや野沢菜等を植える、育てる、収穫、調理を通して、食文化への関心を高め、自分で収穫した野菜を使い地元の伝統食の継承を目的とする。	【準備過程】 【共催団体】 芳川保育ゆりかご会	【評価と反省】 毎年好評の事業であり、地区外からも申し込みがあったが、本年度は芳川地区の親子に限定をし、18組が参加した。畑を耕したり等の作業を組込むことにより一層食のありがたみを体験できた。 今年度から近くで畑作を営む寺田会の皆さんの指導の下野菜作りを行った。 ※最終回については、新型コロナウイルス感染拡大を鑑み中止。 【今後の方針】 次年度も内容の更なる充実を図り、実施していく。また、共催団体の構成員の高齢化等により同規模の活動が年々厳しくなっているため、畑の管理を地域住民に協力してもらうなどして、講座を維持できるように取り組みたい。			○
第42回ソフトボールリーグ戦	5月～9月	10回	スポーツ	成人	700人	【事業内容】 ソフトボールのリーグ戦 【ねらい】 芳川地区6町会のソフトボールチームによる交流戦。	【準備過程】 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 けが人等なかったが、雨天中止等で全日程を消化できなかった。 【今後の方針】 歴史もあるリーグ戦なので継続していきたい。			
プレイスクールほか	5月～3月	11回	子育て	家庭教育	270人	【事業内容】 未就園児を対象とした親子の講座 【ねらい】 体を動かしたり、読み聞かせを聞いたり、あらゆる経験を通し、感性豊かな成長を目的とすると同時に、親同士の交流・情報交換の場を提供している。	【準備過程】 【共催団体】 芳川民生児童委員協議会 芳川保育ゆりかご会	【評価と反省】 昨年度より参加する親子の数が減少したが、一人ひとりの距離が近く、講座を通して繋がりが生まれた。芳川地区の親子の居場所となるような講座を展開したい。 ※3月については、新型コロナウイルス感染拡大を鑑み中止。 【今後の方針】 次年度も継続実施したい。工夫をして、参加者が増える取り組みをしたい。			

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C	S	食育
芳川シニア短期大学	5月～3月	22回	趣味教養	高齢者	1,022人	【事業内容】 高齢者の生きがいがづくり・仲間づくりを求めた学習講座 5月～3月 毎月2回 (木曜日の午後に実施)	【準備過程】 参加者のアンケート結果を元に講師を決定 【共催団体】	【評価と反省】 新しい参加者が増え高齢者の生きがいがづくりとして定着。また男性の参加者も多く、人気の講座となっている。 ※3月については、新型コロナウイルス感染拡大を鑑み中止。 【今後の方針】 内容を考えて、次年度も実施していきたい。			
健康体操教室	5月～3月	22回	健康福祉	高齢者	324人	【事業内容】 芳川地区住民の健康増進を目的とした講座を開催 5月～3月 毎月2回 (金曜日の午前に実施)	【準備過程】 参加者のアンケート結果を元に講師を決定 【共催団体】	【評価と反省】 高齢者が運動できる機会となっているが、昨年度同様開始時から参加者が大幅に減ってしまった。 ※3月については、新型コロナウイルス感染拡大を鑑み中止。 【今後の方針】 内容を考えて、次年度も実施していきたい。また参加者数が維持できるような方策も考えたい。			
フットサル講座	6月～3月	9回	スポーツ	成人	102人	【内容】 若い社会人を対象としたフットサル 【ねらい】 公民館事業として高齢者向けの健康教室等はあるが、20代～30代の若い社会人向けの教室等がないため、フットサル講座を実施することで、若い世代への健康寿命延伸の浸透を図る。また、これまでで公民館を利用していなかった若い社会人に対し、スポーツを通じて地域間交流を深めてもらう場とすると共に、参加者の意見・感想などを参考として、今まで対象としてこなかった若い世代にも親しまれる公民館づくりを目指す。	【準備過程】 寿台地区・寿地区・芳川地区・中山地区においての募集回覧。 【共催団体】 寿公民館・芳川公民館・中山公民館	【評価と反省】 普段は仕事等で公民館に来る機会が少ない、公民館への関心も比較的薄いとされる若い世代の方々に、公民館事業を身近に感じていただくことが出来た。また、フットサルを通じての健康寿命延伸や参加者同士の地区を越えた交流の場となった。 【今後の方針】 次年度も継続して取り組みたい。			
文化・図書視聴覚委員	7月～11月	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	200人	【事業内容】 文化祭準備 【ねらい】 文化祭実行委員会と協力して、芳川地区文化祭の準備を行う。	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区文化祭実行委員会	【評価と反省】 新任の委員も多くいたが、準備、片付けを段取り良く行えた。 【今後の方針】 楽しく、面白い文化祭になるように準備していきたい。			
日本語講座	毎週木曜日	38回	その他	その他	250人	【事業内容】 外国人向けの日本語教室 【ねらい】 毎週1回、芳川地区在住の外国籍の方を対象に日本語教室を開催。地域内での外国籍の方の人材発掘と交流を目的としている。	【準備過程】 芳川地区のボランティアの方に講師をお願いしている 【共催団体】	【評価と反省】 松本市内での日本語教室の数が少なく、最近では地区外の方も来ている。ボランティアの数が増えたが、受講者の方が減っている。 ※3月については、新型コロナウイルス感染拡大を鑑み中止。 【今後の方針】 今後も地区内外を問わず、外国籍の方の学習補助の教室として行っていきたい。また受講者・ボランティア募集にも力をいれていきたい。			○
あいさつ3・3運動	随時	1回	公民館委員会・各種会議等	青少年		【事業内容】 あいさつ運動 【ねらい】 毎月3のつく日に、水色のサポーターベストを着て小学生の通学時にあいさつをすることによって、世代間を超えた交流を図る。	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区子ども会育成会	【評価と反省】 サポーターの高齢化により、発足当時よりサポーター数が減少してしまった。 【今後の方針】 今後は地区内の回覧など積極的にサポーターを募集し、活動を推進したいと考えている。			
町内公民館長会	随時	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	12人	【事業内容】 町内公民館の活動報告等 【ねらい】 芳川地区の町内公民館活動への助言等	【準備過程】 【共催団体】	【評価と反省】 町内公民館との連携については、情報交換・交流等積極的に連携を心掛けているが、連携が不足している部分が多い。 【今後の方針】 次年度は連携を強化できるよう、町内公民館長会の回数を増やすなど交流の場を増やしたい。			
館報編集委員会	毎月1回	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	101人	【事業内容】 館報芳川版の発行。毎月1回開催	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区館報編集委員会	【評価と反省】 編集委員がなかなか都合が合わず、取材に行けないケースが目立ち、1人の負担が大きくなってしまった。 【今後の方針】 全ての編集委員に楽しみながら活動を行ってもらえるような体制を築いていきたい。			
体育委員会	随時	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	800人	【事業内容】 各種体育事業の企画・運営 【ねらい】 体育委員会活動の活性化を図る。	【準備過程】 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 新任の委員が多かったため、委員会参加者が多くなった。 【今後の方針】 委員会活動を円滑に行うため、参加を呼びかける。			
サークル活動支援	随時	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	200人	【事業内容】 公民館利用サークルの活動支援 【ねらい】 公民館利用サークルへの運営補助・助言等	【準備過程】 【共催団体】	【評価と反省】 本年度は活動するにあたって、公民館の不足品や故障しているものを整備し、利用しやすいように準備した。 【今後の方針】 利用者が利用しやすいように館内の整備につとめ、利用サークル間の交流も深められるよう配慮したい。			
芳川地区関係団体活動の支援	随時	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	200人	【事業内容】 芳川地区関係団体活動支援 【ねらい】 芳川地区関係団体の活動が、円滑に行えるように支援する。	芳川地区人権啓発推進協議会 芳川地区男女共生を進める会 芳川地区福祉ひろば推進協議会 芳川地区子ども会育成会	【評価と反省】 関係団体の活動支援をスムーズに行えた。 【今後の方針】 これからも関係団体が円滑に活動できるよう支援する。			

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	
1	寿地区地域づくり協議会の6つの専門部会（安心・安全、高齢者、障がい者、子育て、ボランティア促進）での議論を基に共催講座を企画、実施し「学び」への結び付けを行った。
2	学校応援団活動を軸とした公民館事業への取り組みを図り、多くの地域住民の関わりを創出することで、子どもを中心とした地域づくりの推進を図った。
3	C Sふたむらの活動により、中学校と連携し中学生の地域への参加を通して社会教育を推進する事業を実施した。
4	年間を通しての連続講座形式にせず、単発形式で学習機会、住民同士の親睦の場を提供した。
5	公民館トイレ改修工事を機会に、一部公民館事業の作業効率化・役員の負担軽減を図った。

評価・反省等	
1	各専門部会から抽出した地域課題に対して、課題解決のための「学習機会の提供」という公民館の役割が遂行出来た。次年度の事業についても既に計画が進んでいるため、学びの面で関わっていききたい。
2	地区内での活動の知名度も上がり、組織規模や活動の規模も拡大してきているため、改めて組織構成や活動などについて整理をしていく必要がある。学校や福祉ひろば、その他関係団体との連携を密に行い、より多くの地域住民に関わってもらいながら住民主体での活動につなげていきたい。
3	地区内においてC Sふたむらの活動の定着が実感出来た。希望した人数より大幅に参加が多い事業もあり、中学生の地域へ積極的に参加しようとする姿勢が素晴らしかった。次年度については中学生に地区行事に参加してもらうだけでなく、行事の企画、立案から関わってもらえるような仕組み作りを考えていきたい。
4	視聴覚員委員会や体育委員会の主催する視察研修について、企画から立案、現地への下見、当日の運営まで住民が主体的に実施をすることが出来たが、経験豊富でベテランの人材がそろっていたことが大きな要因だと感じる。担い手不足や役員の高齢化が進んでいくと予想される中で、人材の掘り起こしに関して力を入れていきたい。
5	作業効率の検討により負担が軽減したため、来年も同様のやり方で運営したいと役員から多く声をいただいた。事業の大小に関わらず、引き続き円滑な運営に努めていきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等
	平人和権	福祉健康	子育て	環境	文化地域	教養趣味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数	3	2	4	-	3	4	7	-	9	4	4	2	8
延べ参加人数	166	54	522	-	221	39	2095	-	1998	2196	2512	3721	572

	C S	食育
事業数	4	
延べ参加人数	5535	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食育
春の撮影講座	4月18日	1回	趣味教養	成人	19人	【事業内容】 堀金や池田町にて撮影講座を実施し、大町山岳博物館では施設見学をした。撮影後は参加者の撮影写真を公民館に展示した。 【ねらい】 写真撮影の技術力向上と住民の作品展示を促す。	【主催】 視聴覚委員会、寿公民館 【準備過程】 視聴覚委員会が企画	【評価と課題】 行先やスケジュールなど視聴覚委員が主体的に検討を行っているため、住民主体の事業となった。参加者の撮影写真を館内に展示しており来館者からも好評である。 【今後の方針】 引き続き実施していきたい。		
公民館運営委員会	4月24日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	37人	【事業内容】 寿公民館事業における前年度事業報告及び新年度事業計画の検討を実施。 【ねらい】 寿公民館活動の推進をはかる。	【組織構成】 地区役員に委嘱	【評価と反省】 現在は報告が中心となっている。 【今後の方針】 地区内の多くの役員が集まる機会であるため有効活用できるような内容を検討する。		
ウォーキング講座「春の上高地ウォーキング」	5月24日	1回	福祉健康	成人	28人	【事業内容】 体育委員長を講師として上高地を巡るウォーキングを開催。 【ねらい】 ウォーキングを通じて健康増進と住民相互の親睦を図る。	【主催】 体育委員会、寿公民館 【準備過程】 体育委員会が企画	【評価と課題】 体育委員会が主体的に企画を行った。天候にも恵まれ、参加者から好評であった 【今後の方針】 多くの参加者が集う人気講座であるため、健康づくりの一環として年1,2回程度企画していきたい。		
第52回寿地区駅伝大会	5月26日	1回	地域事業(体育)	その他	210人	【事業内容】 12町会対抗の駅伝大会を実施。 【ねらい】 地区住民相互の親睦と融和を図る。	【主管】 寿地区駅伝大会実行委員会 【主催】 寿体育協会、寿公民館 【協力】 CSふたむら 【準備過程】 寿体育協会が主となり、準備、実施	【評価と反省】 スタートランナーが体調不良で棄権した際、本部車と消防車が競技中の第2ランナーを追い越して走行してしまっただけでなく、本部車と消防車がランナーの最後尾を走行することを徹底したい。		○
託児ボランティア養成講座	5月29日	1回	その他	成人	19人	【事業内容】 子どもの事故防止、救命救急を内容としたボランティア養成講座を実施。 【ねらい】 地区内で託児ボランティアとして活動してくれる人材を養成するとともに、子どもに対する幅広い知識を多くの人に身に付けてもらう。	【主催】 寿地区地域づくり協議会子育て部会、寿地区福祉ひろば、寿公民館 【準備過程】 子育て部会で企画、公民館で実施	【評価と課題】 寿地区地域づくり協議会子育て部会で企画検討し事業化へとつなげることが出来た。 【今後の方針】 次年度以降も新規ボランティアの養成及び既存会員の研修として実施したい。		
第72地区球技大会	6月30日	1回	地域事業(体育)	成人	819人	【事業内容】 野球、排球、ソフトバレーボール(39歳以下、40歳以上)、ソフトボール、卓球の5種目による12町会対抗の球技大会を実施。 【ねらい】 地区住民相互の親睦及び健康増進を図る。	【主管】 寿地区球技大会実行委員会 【主催】 寿体育協会、寿公民館 【協力】 CSふたむら 【準備過程】 寿体育協会が主となり、準備、実施	【評価と反省】 雨天のため屋外競技が中止となってしまったが、怪我人がほとんどおらず、安全に競技を行うことが出来た。 【今後の方針】 次年度以降も怪我防止のための準備運動の徹底及び声かけを図る。		○
第14回寿きずなの森フェスティバル	7月15日	1回	地域事業(文化)	成人	中止	【事業内容】 地区の里山にて、ミニコンサートや林業体験、トレーニングを含むフェスティバルを実施。 【ねらい】 寿地区住民に「地区の山」を知ってもらい、あわせて森林に対する関心を深める機会とする。	【主催】 寿きずなの森フェスティバル実行委員会 【協力】 CSふたむら 【準備過程】 実行委員で企画、準備、実施	【評価と反省】 雨天のため中止となった。 【今後の方針】 バスと人員の確保が年々難しくなり、雨天になった場合、山上での参加者の健康面も懸念される。次年度は規模を縮小して開催したい。		○
寿地区マレットゴルフ出場選手選考大会	8月2日	1回	スポーツ	高齢者	12人	【事業内容】 松本市民体育大会、松本市長杯等球技大会のマレットゴルフ種目に寿地区代表として出場する選手選考会を実施。 【ねらい】 スポーツを通じた生きがいづくり・健康増進を図る。	【主催】 寿公民館 【協力】 寿マレットゴルフ協会 【準備過程】 マレットゴルフ協会と公民館で企画、実施	【評価と反省】 マレットゴルフ協会と合意形成を図りながら企画・実施することが出来た。 【今後の方針】 次年度もマレットゴルフ協会会長に相談しながら実施していきたい。		
ウォーキング講座「夏の白馬北尾根高原ウォーキング」	8月5日	1回	福祉健康	成人	26人	【事業内容】 体育委員長を講師として白馬北尾根高原を巡るウォーキングを開催。 【ねらい】 ウォーキングを通じて健康増進と住民相互の親睦を図る。	【主催】 体育委員会、寿公民館 【準備過程】 体育委員会が企画	【評価と課題】 体育委員会が主体的に企画を行った。天候にも恵まれ、参加者から好評であった 【今後の方針】 庁用バスが事前に予約できず、酷暑の中の開催となったため次回はウォーキングしやすい秋の時期に開催したい。		
夏の撮影講座	8月7日	1回	趣味教養	成人	20人	【事業内容】 白馬・大町方面にて撮影講座を実施し、撮影後は参加者の撮影写真を公民館に展示した。 【ねらい】 技術力向上と住民の作品展示を促す。	【主催】 視聴覚委員会、寿公民館 【準備過程】 視聴覚委員会が企画	【評価と課題】 行先やスケジュールなど視聴覚委員が主体的に検討を行っているため、住民主体の事業となった。参加者の撮影写真を館内に展示しており来館者からも好評となっている。 【今後の方針】 引き続き実施していきたい。		
地域づくり協議会高齢者部会 視察研修	8月22日	1回	その他	成人	17人	【事業内容】 高齢者部会で介護老人保健施設「寿の里」を訪見し、様子を見学したり説明を受けた。 【ねらい】 実際の介護施設を見学することにより、介護福祉に関する理解を深める。	【主催】 寿地区地域づくり協議会 【共催】 寿公民館 【準備過程】 公民館及び地域づくり協議会高齢者部会で企画、実施	【評価と反省】 介護・リハビリ・レクリエーションの現場を見学して意見を交換し合い、参加者からは好評であった。 【今後の方針】 引き続き、高齢者部会の活動目標に沿った視察研修を企画していきたい。		
第44回東南ブロック球技大会	8月25日	1回	地域事業(体育)	成人	300人	【事業内容】 バレー、バドミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフの5競技による6地区対抗。 【ねらい】 他地区住民との親睦を目的とするもの。	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	【評価と反省】 各地区の交流として行っている一方、運営面での人員不足等課題があるため、各地区協力をしていきたい。 ソフトボールの試合中、AEDが必要となる場面があったため、来年は各会場のAED場所を確認したい。 【今後の方針】 東南ブロックでの主催となる数少ない行事であるため、他地区との交流の推進を図る。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食育
図書委員会視察研修「まちとよテラソに行ってみよう！」	8月26日	1回	その他	その他	19人	【事業内容】 図書館運営コンセプトや外観の特徴から全国的にも有名な小布施町立図書館の視察研修を実施。 【ねらい】 他自治体の図書館運営を学び、図書に関する関心を深めるもの。	【主催】 図書委員会、寿公民館 【準備過程】 図書委員会と公民館で企画、実施	【評価と反省】 図書館長から図書館に関する歴史、建築物、運営方針、利用方法等に関する説明をしてもらい理解が深まった。 【今後の方針】 図書館運営に関して見分を広められるような視察先を検討したい。		
第12回寿地区子連れコンサート	8月31日	1回	地域事業(文化)	家庭教育	154人	【事業内容】 子育て中の親子を対象に寿体育館にてコンサートを実施。 【ねらい】 子育て中の親子に本物の音楽に触れてもらう機会の提供。	【主催】 子連れコンサート実行委員会 【共催】 CSふたむら 【準備過程】 実行委員会で企画、実施	【評価と反省】 松本マザーズアンサンブルあつるに2回目の演奏依頼をした。 【今後の方針】 さらに親子が参加しやすい内容に精査して、運営をしていきたい。		○
第8回寿地区福祉の文化祭	9月18日	1回	地域事業(文化)	その他	223人	【事業内容】 障がい者と地域住民、児童が発表やふれあいを通じて学ぶ文化祭を実施し、地区内施設マップ、紹介文を作成し参加者に配布した。 【ねらい】 障がい者との交流を通じて、誰もが住みやすいまちづくりを目指す。	【主管】 寿地区福祉の文化祭実行委員会 【共催】 寿地区地域づくり協議会 寿地区社会福祉協議会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	【評価と反省】 今年度は9月に前倒して行ったが、感染症の少ない時期ということで安心して施設利用者に参加していただけた。一般参加者と利用者が交流できる貴重な時間を作ることができた。 【今後の方針】 次年度も体育館にて平日開催したい。福祉の文化祭の意義や目的を住民によりわかりやすく発信していきたい。		○
地域づくり協議会子育て部会 視察研修	10月7日	1回	その他	成人	11人	【事業内容】 市内のNPO法人未来の風療育センター「ライフ」で視察研修を実施した。 【ねらい】 子育て部会の活動目標である「発達障害」について学び、子どもたちの関わり合い方に理解を深める。	【主催】 寿地区地域づくり協議会 【共催】 寿公民館 【準備過程】 公民館及び地域づくり協議会子育て部会で企画、実施	【評価と反省】 子どもとの向き合い方、遊び、運動、学び、社会とのつながり方について、施設長から説明を受ける貴重な機会となった。 【今後の方針】 引き続き、活動目標に沿った学びの場を設けたい。		
令和元年度寿地区住民運動会	10月20日	1回	地域事業(体育)	その他	867人	【事業内容】 世代を超えた多くの住民が参加できる社会体育事業として住民運動会を実施。 【ねらい】 住民相互の親睦及び団結、健康の増進を図る。	【主管】 寿地区運動会実行委員会 【主催】 寿体育協会、寿公民館 【協力】 CSふたむら 【準備過程】 実行委員会で企画、寿体育協会が主に準備、実施	【評価と反省】 住民が一体となって盛り上がる運動会となった。町会によって各種目での人数集めが年々難しくなっている。 【今後の方針】 引き続き、12町会が揃って参加できるような仕組みを考えていきたい。		○
文化祭協賛事業「第31回寿地区史跡巡り」	10月26日	1回	地域文化	その他	69人	【事業内容】 寿地区文化祭協賛事業として、寿史談会による解説つきで、寿地区の史跡(竹淵コース)を巡った。 【ねらい】 地区の歴史や史跡を知ってもらい、地域に愛着をもってもらう。	【主催】 子ども会育成会、寿史談会、寿福祉ひろば、寿公民館 【準備過程】 史談会、育成会と連携して企画、実施	【評価と反省】 史跡スタンプラリー及び認定証の授与を実施し、子どもに楽しんでもらいながら地区の歴史について学んでもらえた。 【今後の方針】 子ども会育成会の呼びかけによる参加者が多かったため、次年度も学校や、育成会、PTAを通じた参加者呼びかけを行いたい。		
文化祭協賛事業「第3回ニューススポーツ体験会」	10月27日	1回	スポーツ	その他	20人	【事業内容】 寿地区文化祭協賛事業として、ニューススポーツを楽しむ会協力による体験会を実施した。 【ねらい】 ニューススポーツを広く知ってもらうとともに、健康増進を図る。	【主催】 体育委員会、ニューススポーツを楽しむ会、寿公民館 【準備過程】 体育委員会と連携して企画、実施	【評価と反省】 寿小学校クラブ活動でニューススポーツクラブに参加している児童にも声掛けを行ったが、児童の参加が少なかった。 【今後の方針】 地域住民にニューススポーツを知ってもらう良い機会であるため、次年度は広報を充実させ、参加人数を増やしたい。		
第42回寿地区文化祭	11月10日	1回	地域事業(文化)	その他	2,135人	【事業内容】 地区住民の文化活動の発表の場として、作品展示及びステージ発表会を実施。 【ねらい】 寿地区における文化向上と、世代を超えた住民相互のふれあいの場とする。	【主管】 寿地区文化祭実行委員会 【主催】 寿地区町内公民館長会 寿公民館 【協力】 CSふたむら 【準備過程】 実行委員会で企画、公民館、町内公民館長会、九官鳥の会で準備、実施	【評価と反省】 今年度は公民館トイレ改修工事があり、体育館のみで開催する形となったが、各団体やサークルが活動の成果を発表し、地域の住民交えて盛り上がる文化祭にできた。 【今後の方針】 準備の簡略化等を考慮し、引き続き体育館のみの開催を検討したい。		○
マレットゴルフ交流会	11月20日	1回	スポーツ	成人	61人	【事業内容】 東南部6地区合同でマレットゴルフ大会を開催。 【ねらい】 他地区との交流を深める。	【共催団体等】 寿、寿台、内田、中山、松原、芳川地区公民館と共催。	【評価と反省】 他地区との交流を深めることができた。 【今後の方針等】 他地区との交流、健康増進に繋がる取組みであるため、今後も継続したい。		
食改さんの教える料理講座「生涯骨太を目指すクッキング」	12月13日	1回	趣味教養	成人	12人	【事業内容】 食生活改善推進協議会の皆さんと保健師の方を講師として、骨太を目指した健康的なレシピを教わる。 【ねらい】 食生活改善推進協議会の活躍の場をつくるとともに、住民の食生活改善を図る。	【主催】 食生活改善推進協議会寿支会 【共催】 寿公民館 【準備過程】 主に食改で企画、準備、実施	【評価と反省】 保健師の方から栄養に関する話を聞き、実際に食改さんと調理して健康食を学ぶことができた。 【今後の方針】 次年度も引き続き、栄養食や健康について学習する場として実施を検討したい。		
多肉植物ミニ寄せ植え講座	12月19日	1回	趣味教養	成人	中止	【事業内容】 日本ハンギングバスケット協会の方を講師として話題の多肉植物を使って寄せ植え講座を実施した。 【ねらい】 趣味を通じた仲間づくりを図る。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 前年度20名程度の参加があったのに対し、募集が集まらず中止となった。 【今後の方針】 開催希望の声が集まれば計画したい。全戸配布物以外にもTwitter、インスタグラム、口コミを利用するなど広報を工夫したい。		
寿地区人権講座 戦没画学生慰霊美術館無言館見学	2月14日	1回	人権平和	成人	32人	【事業内容】 人権学習として戦没画学生慰霊美術館無言館での現地学習を行った。 【ねらい】 戦時中の歴史や当時の様子について学ぶことで、反戦平和について今一度考える機会とする。	【主催】 寿公民館 【共催】 人権啓発推進協議会 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 戦没画を描いた人々や当時の暮らしについて意見交換を行い、理解を深めることができた。 【今後の方針】 キャンセル待ちが出るほど大変好評だったため、次年度の再実施も検討したい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	G S	食育
令和元年度公民館利用者懇談会	3月7日	1回	その他	成人	34人	【事業内容】 公民館利用サークルの顔合わせ、公民館への要望の聞き取り、次年度から更新される予約システムの説明を実施。 【ねらい】 利用サークル同士の交流や情報交換を促し、要望の集計を通じた公民館管理運営の向上を図る。	【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 令和2年度から更新される施設予約システムについて周知することができた。 【今後の方針】 公民館を気持ちよく利用してもらえるよう、積極的にサークル利用者からの要望や意見を聞いていきたい。		
親子ふれあいパーク	3月7日	1回	子育て	その他	延期	【事業内容】 親子での体を使った遊び、集団遊び、「投げろ」や「走る」といった体の使い方を健康運動指導士から学ぶ。 【ねらい】 基本的な体の使い方を習得する子供期に、遊びを通していろいろな体の動きを体験し、運動することの楽しさを知り、家庭や地域での日常的・継続的な運動習慣のきっかけづくりとする。	【主催】 松原地区公民館、松本市健康づくり課 【共催】 中山、芳川、寿、寿台、内田公民館	新型コロナウイルス感染拡大を鑑み中止。 【今後の方針】 令和2年度にあらためて実施予定。		
寿地区人権学習講座「星に語りて～Starry Sky～」上映会	3月10日	1回	人権平和	成人	中止	【事業内容】 障がい者や周囲を取り巻く人々、その人権について描いた映画の上映を午前の部と午後の部に分けて実施。 【ねらい】 映画の鑑賞をとおして障がい者や人権について考え、意見交換して理解を深める。	【主催】 寿地区人権啓発推進協議会（寿公民館）、寿地区福祉ひろば、社会福祉法人アルプス福祉会、特定非営利活動法人ハートラインまつもと 【共催】 寿地区地域づくり協議会障がい者部会 【準備過程】 福祉ひろば、寿公民館で企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 開催状況が整えば、計画して実施を検討したい。		
寿地区町内公民館長視察研修	3月11日	1回	公民館委員会、各種会議等	成人	中止	【事業内容】 公民館運営に関して学ぶ場として、妻籠の南木音町博物館の視察研修を実施する。 【ねらい】 町内公民館長と主事が他自治体での公民館事業に関して理解を深め、親睦を図るもの。	【主催】 寿地区町内公民館長会 寿公民館	【評価と反省】 町内公民館長会で希望を募り視察先を決定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 公民館に関する知識を深め、町内公民館長同士で情報共有する場として隔年で行いたい。		
シニアヨガ教室	3月23日	1回	スポーツ	高齢者	中止	【事業内容】 平成29年度連続シニアヨガ教室の講師をお呼びし、シニアを対象とした気軽にヨガができる講座を実施した。 【ねらい】 無理のない運動をとおし、健康促進と参加者同士の仲間づくりを図る。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 住民から開催を要望する声が少なくなかったため、開催状況が整えば計画して開催したい。		
寿小学校にこにこルーム応援隊	通年	19回	その他	その他	1,814人	【事業内容】 寿小学校の教室をにこにこルームと名付け、2時間目の休み時間に児童と地域住民の昔遊びを通じた交流を実施。 【ねらい】 寿小学校内に当たり前のようには地域住民が入り出しているような、地域に開かれた学校づくりを目指す。	【主催】 寿小学校にこにこルーム応援隊 【共催】 寿地区地域づくり協議会 【準備過程】 にこにこルーム応援隊と企画、調整、実施	【評価と課題】 多数の住民と低学年から高学年までの児童が交流することができた。 【今後の方針】 次年度は地域づくりインターン生が不在となるため、公民館主事が支援していく。		○
寿ナイターソフトボールリーグ	4月～10月	28回	スポーツ	成人	1,050人	【事業内容】 今年で38年目となる、寿地区内の町会対抗ナイターソフトボールリーグ戦を実施。 【ねらい】 ソフトボールを通じた健康増進と、参加者同士の親睦を図る。	【運営】 寿地区ナイターソフトボールリーグ理事会 【準備段階】 上記理事会で準備、実施	【評価と反省】 理事会の主体的に運営しており、スポーツを通じた仲間づくりが図られている。 【今後の方針】 歴史ある地区の事業であるため、今後も引き続き継続していきたい。		
寿ご近所大学	5月～2月	8回	健康福祉	高齢者	351人	【事業内容】 前期4回後期4回で、健康、認知症をテーマに実施した。 【ねらい】 地区住民にいつまでも地区で暮らしてもらうことを目的とし、会の中でお茶会を設け、住民同士の親睦を図るとともに身近な悩みなどを拾い出す機会とする。	【主催】 寿地区地域づくり協議会高齢者部会、寿地区福祉ひろば、寿公民館 【準備過程】 高齢者部会で企画、公民館で実施	【評価と課題】 無理なく気軽に運動する方法や認知症予防について具体的に学べて、参加者には大変好評であった。住民同士の親睦をはかる場になった。 【今後の方針】 次年度も引き続き、認知症予防及び健康増進をテーマに計画し、実施したい。		
寿地区地域づくり協議会専門部会	5月22日 1月29日	2回	公民館委員会、各種会議等	成人	160人	【事業内容】 寿地区地域づくり協議会において安心・安全、高齢者、障がい者、子育て、ボランティア促進の専門部会をつくり、実践的な取り組みを行う。 【ねらい】 各部会ごとに意見交換や学習会を通じて、地区内の課題解決を推進する。	【主体組織】 寿地区地域づくり協議会 【準備過程】 地域づくり推進会議、部会長、小委員会を企画	【評価と反省】 今年度は改修工事に伴い部会毎に必要に応じて単独で開催した。高齢者部会では、高齢者が元気に楽しく生活ができる地域づくりを目指す活動方針を確認した。 【今後の方針】 次年度も引き続き、各部会毎に実践的な取り組みができるよう情報共有・課題解決に向けての意見交換を図る。		
子育て支援192サロン	5月～3月	11回	子育て	家庭教育	393人	【事業内容】 子育て中の親同士の交流の場の提供、子育てのヒントとなる講座、行政情報の提供などを行った。 【ねらい】 地域の中で、子育て家庭同士がつながり必要な情報を得ることが出来る支援を行う。	【組織構成】 民生児童委員協議会・食生活改善推進協議会・健康づくり推進委員会・福祉ひろば 【協力】 つどいの広場 【準備過程】 192サロン運営委員会で企画、実施	【評価と反省】 寿児童センターと協力し、情報を共有しながら集客、内容の充実を図れた。催しによって参加人数のバラツキがあった。 【今後の方針】 今年度集計したアンケートを参考に、参加者に必要な知識や情報を提供できる内容を検討したい。		
フットサル講座	6月～3月	9回	スポーツ	成人	102人	【内容】 若い社会人を対象としたフットサル 【ねらい】 公民館事業として高齢者向けの健康教室等はあるが、20代～30代の若い社会人向けの教室等がないため、フットサル講座を実施することで、若い世代への健康寿命延伸の浸透を図る。また、これまで公民館を利用していなかった若い社会人に対し、スポーツを通じて地域間交流を深めてもらう場とすると共に、参加者の意見・感想などを参考として、今まで対象としてこなかった若い世代にも親しまれる公民館づくりを目指す。	【準備過程】 寿台地区・寿地区・芳川地区・中山地区においての募集回覧。 【共催団体】 寿公民館・芳川公民館・中山公民館	【評価と反省】 普段は仕事等で公民館に来る機会が少ない、公民館への関心も比較的薄いとされる若い世代の方々に、公民館事業を身近に感じていただくことが出来た。また、フットサルを通じた健康寿命延伸や参加者同士の地区を越えた交流の場となった。 【今後の方針】 次年度も継続して取り組みたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	G	S	食育
出前192サロン「タッチケアでコミュニケーション」 「大型絵本の読み聞かせとカレー会」	6月24日 8月26日 9月26日	3回	子育て	家庭教育	74人	【事業内容】 子育て支援講座192サロンについて、百瀬町会公民館、寿田町会公民館、竹淵町会公民館を会場にした出前講座として実施。 【ねらい】 地区公民館ではなく町内公民館で実施することで、より小さな地域コミュニティの形成を促す。	【主催】 192サロン運営委員会 【共催】 寿地区地域づくり協議会 子育て部会 【準備過程】 192サロン運営委員会、子育て部会と連携して企画、実施	【評価と反省】 地区公民館だけでなく町内公民館を会場とすることで、新しい参加者を確保することができ、町内公民館について知ってもらえる機会となった。 【今後の方針】 今後も町内公民館を使った子育て支援を行っていききたい。広報を充実させ、参加人数の増加を図りたい。			
寿古文書基礎講座	6月～3月	10回	地域文化	成人	111人	【事業内容】 歴史講座のひとつとして、古文書の読み方を学ぶ。今年度のテーマは江戸後期寿地区の出来事を読み解く。 【ねらい】 古文書の読解を通じて、歴史文化、教養の向上を図る。	【主催】 寿史談会、寿公民館 【準備過程】 公民館で実施	【評価と反省】 最終回で修業式を実施し、修業証書の授与や記念品を用意することでモチベーションの向上を図った。 【今後の方針】 根強いリーダーがいるため次年度も継続したい。			
町会別人権懇談会	7月6日 9月1日 9月21日 10月20日 10月26日	5回	人権平和	成人	134人	【事業内容】 町会単位で町内公民館を会場とした人権懇談会を実施（赤木・白川・白姫・上瀬黒・豊町） 【ねらい】 人権をテーマに語り合う場をつくる。	【共催】 人権啓発推進協議会 町内公民館長会 【準備過程】 町会で企画し公民館で実施	【評価と反省】 人権に関するDVD観賞会と意見交換を主に行った。地域住民の人が集まり、身近な人権について語る機会となっている。 【今後の方針】 引き続き、対象町会に対して人権懇談会の場を設けてもらいたい。			
公民館報の発行	隔月	6回	その他	その他	72人	【事業内容】 地区内の情報や、公民館の活動報告などの発信。 【ねらい】 館報による情報発信を通じて、地区内の情報を多くの人に周知する。	【主体組織】 館報編集委員会 【準備過程】 館報編集委員会で企画会議及び編集会議を実施	【評価と反省】 会議では内容について委員から意見が集まり、計画通り円滑に運営することができた。 【今後の方針】 企画会議及び編集会議を隔月ではなく同時に開催し、年間の会議数を減らすことで負担の軽減を図る。			
学校応援団事業	通年	45回	地域事業（その他）	青少年	3,507人	【事業内容】 地域と学校が一体となって、子どもたちの健全育成に取り組む事業。 クラブ活動支援、里山体験学習、しめ縄体験学習、田植え体験、農業体験など。 【ねらい】 地域の伝統、歴史、くらしを子どもたちに伝える。またそこに関わる人たちの生きがいづくり、生涯学習の成果を発揮する場としての側面も持つ。	【組織】 寿地区学校応援団 【準備過程】 公民館長がコーディネーターとして学校の要望を集約し地域住民との調整を実施	【評価と反省】 小学生たちとさまざまな年代の地域ボランティアが交流でき、地域の伝統や学びを教える場となった。 【今後の方針】 引き続き関係団体から意見及び要望を聞き連携をとって、多くの地域住民と子どもが触れ合える場づくりをしていきたい。			○
CSふたむら	通年	15回	地域事業（その他）	青少年	214人	【事業内容】 中学生に地区・町会・福祉施設行事（駅伝大会、運動会、文化祭など）へスタッフとして参加をしてもらう。 【ねらい】 地域行事への参加や地区住民との交流を通じて、学校の中だけでは学ぶことのない社会教育を地域、学校が連携のもと推進する。	【組織】 CSふたむら運営委員会 【準備過程】 公民館長がコーディネーターとして計画の集約及び実施	【評価と反省】 運動会、文化祭等事業に多くの中学生が参加して大変盛況であった。中学生と地域住民が交流する貴重な機会となった。 【今後の方針】 中学生に地区行事に参加してもらうだけでなく、行事の企画に関わってもらえるような仕組み作りを考えていければよい。			○
寿地区ソフトバレーボールリーグ	通年	43回	スポーツ	成人	850人	【事業内容】 寿地区内の8チーム対抗のソフトバレーボールリーグ戦を実施。 【ねらい】 ソフトバレーボールを通じた健康増進と、参加者同士の親睦を図る。	【主催】 寿公民館 【運営】 寿地区ソフトバレーボールリーグ理事会 【準備過程】 上記理事会が企画、実施	【評価と反省】 新規参加者を増やすために、公民館便りの募集や体験会を実施した。 【今後の方針】 次年度も新規参加者を取り込んでいけるよう広報していききたい。			
公民館図書コーナーの運営	通年	12回	その他	その他	12人	【事業内容】 図書委員会主体による寿公民館図書コーナーを運営し、図書委員会によるコーナーの定期清掃、図書入れ替え作業を実施。 【ねらい】 地域住民に図書を身近に感じてもらう。	【主体組織】 図書委員会 【準備過程】 図書委員で月1回掃除 図書委員で年2回図書入れ替え	【評価と反省】 運営する図書委員にも図書に対する関心を深めてもらった。 【今後の方針】 未返却本があるため対策を検討したい。			
地区行事写真展示	通年	4回	その他	その他	集計不可	【事業内容】 地区行事（体育行事や文化祭など）写真の公民館ロビー展示及び販売を実施。 【ねらい】 地区住民が多く出入りするロビーに写真を掲示することで、地区事業を知ってもらう機会とする。	【主体組織】 視聴覚委員会 【準備過程】 視聴覚委員会が展示及び写真の入れ替えを実施	【評価と反省】 ロビー写真展示販売も多くの申し込みがあり好評。 【今後の方針】 公民館利用者が多く見る機会があり、これからも継続したい。			
五部門委員会	通年	39回	公民館委員会・各種会議等	その他	375人	【事業内容】 文化企画、館報編集、図書、視聴覚、体育委員会の五部門委員会により、公民館事業の企画・運営を行う。 【ねらい】 公民館事業への主体的参加及び意識付けをはかる。	【準備過程】 各部門ごとに随時開催	【評価と反省】 各部門とも意欲的に取り組み、事業運営も円滑であった。 【今後の方針】 仕事の負担軽減の要望が少なくないため、事業の縮小や内容検討にあわせ、柔軟に運営を行いたい。			
寿史談会及び視察研修	通年	4回	地域文化	その他	41人	【事業内容】 地区内有志により地区の歴史・文化の保存・活用をはかる団体として活動し年に3回の定例会と2回の視察研修を実施。 【ねらい】 寿地区における歴史文化の活用や保存について考える機会とする。	【主催】 寿史談会 【準備過程】 公民館事務局となり会議の実施及び視察研修の企画	【評価と反省】 視察研修先・内容について、史談会員からさまざまな要望とアイデアが挙がり、意識の高さがうかがえた。 【今後の方針】 2回目の視察研修はコロナウイルス感染拡大防止でやむを得ず中止となったため、同内容を次回の視察先として検討したい。			
寿ペンギンの会	通年	16回	子育て	その他	55人	【事業内容】 託児ボランティア組織寿ペンギンの会による192サロン、PTA作業、保育園事業、小学校事業における託児活動を実施。 【ねらい】 託児を通じた子育て支援及びボランティアの生きがいづくりを図る。	【実施組織】 寿ペンギンの会 【準備過程】 公民館が事務局として託児調整及び連絡を行い寿ペンギンの会が実施	【評価と反省】 事業をとおし、託児活動の必要性を感じた。ボランティアの方々や地域住民の親子が触れ合う貴重な機会にもなっている。 【今後の方針】 引き続き、依頼に応じて託児活動を行いたい。			

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

寿台公民館取り組み方針

- ・親しみやすく、気軽に来館できる公民館にする。
- ・利用者同士がルールを守り、気持ちよく利用できる公民館にする。
- ・サークル活動はもとより、文化祭などの全体行事に利用者らが率先して協力できる体制づくりをする。
- ・生活課題や地域課題に目を向けて、積極的に学習活動などを行い、地域づくりの拠点となることを目指す。
- ・町会連合会をはじめとする地域関係団体や地域づくりセンター・福祉ひろば等、地区内行政関係機関との関係を密にとり、地域づくりにおいて公民館事業の面から積極的に支援・参画する。

地域課題・重点的に取り組んだ事項

- ・令和元年度事業の実施にあたり、前年度事業の反省点等を修正しながら公民館事業を推進した。
- ・コミュニティスクール事業等において児童生徒・明善小中学校・地域住民とのパイプ役を担い、それぞれが活躍できる場を設定し、お互いが有益感を感じてもらえるよう事業展開した。
- ・高齢化が進み地区行事の運営が困難になりつつある中で、中学生の主体的な参加・協力を頂き、スムーズな運営を行うことが出来た。また、町会ごと子ども行事が困難であることから園児・未就園児向けのおはなし会、子どもテニス教室、親子向け科学実験教室を行い、子どもたちの思い出づくり（地域への愛着）に取り組んだ。
- ・食育事業では松本の民俗行事である三九郎にちなんだ「まゆだま」づくり、七夕の伝統菓子である「ほうとう」づくり、お釈迦様の命日に作る「やしょうま」づくり等、食文化の伝承にも注力した。

評価・反省等

- ・昨年度に引き続き、中学生が地区行事（夏まつり・体育祭・文化祭等）に積極的に参加・協力してくれた。中学生の活気が地区の活性化を担ってくれており、欠かせない力となっている。
- ・地区行事へ参加してくれる中学生と地区住民との交流会も恒例になってきている。中学生に一年間の行事参加への感謝を伝え、中学生の力が頼もしい旨を伝えることで、中学生自身が自己肯定感や地区への愛着を育めるよう継続実施していきたい。
- ・地区行事に参加してくれる中学生との打ち合わせや要望を聴く場を増やし、町会連合会、子ども会育成会と協力しながら要望を実現できた。しかしながら、子どもたちは毎年、入学・卒業で入れ替わるので、継続的に実施していきたい。
- ・子どもたちの地域愛を育むために実施した各事業（お話し会・子どもテニス教室・親子科学実験教室等）では、子供たちも楽しそうにしていた。次年度以降も継続的に実施していきたい。
- ・引き続き町会連合会をはじめとする地域関係団体と連携を密に取り、積極的に事業を実施していきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議員等
	平人和権	福祉健康	子育て	環境	文化地域	教養趣味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数	4	2	11		4	3	5			4	1		7
延べ参加人数	93	68	586		363	545	662			400	520		498

	CS	食育
事業数	8	4
延べ参加人数	827	188

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
臥竜公園と蔵の町並みウォーキング	4月11日	1回	地域文化	高齢者	29人	高齢で普段遠出の出来ない方を対象に、明治から昭和にかけて建築された蔵が残る須坂市街地を巡り、歴史学習を行うと共に臥竜公園散策(ウォーキング)で健康寿命延伸を図る。		須坂市街地の蔵の町並みを巡り、明治～昭和に建築された蔵の歴史を学ぶことができた。また、高齢で普段遠出の出来ない方々に、非常に喜ばれ、楽しく親睦が図られた。臥竜公園も散策を行い、普段からのウォーキングの重要性を共有化することが出来た。		
第46回寿台町会連合球技大会	5月26日	1回	地域事業(体育)	成人	150人	球技・軽スポーツを通して、スポーツ振興・健康寿命延伸につなげると共に、住民相互の親睦と結束をはかる。	寿台町会連合会・寿台体育協会	今年度も梅雨時期の6月を避け5月開催とし、種目も見直しながら実施した。高齢化が進み年々厳しい状況であるが、今後も種目等の見直しを行いながら継続実施していきたい。		
寿台地区人権啓発推進協議会総会・学習会	5月30日	1回	人権平和	成人	24人	人権啓発推進協議会総会において学習会を開催。 内容：児童虐待防止について 講師：子ども福祉課 相談支援担当 山本係長	寿台地区人権啓発推進協議会	人権は多岐にわたる問題なので、毎年テーマを変え、継続して取り組みたい。		
学校サポート事業 明善小学校美ヶ原キャンプ支援	6月20日	1回	子育て	青少年	65人	明善小学校課外授業支援として、美ヶ原キャンプに地域住民による引率支援	明善小学校	先生以外の大人(地域の方)との関わりを通じて学校以外での社会形成を学び、社会性を培う。また、地域の方との関わりの中で、自分の育った地域の歴史・文化などを学び、故郷(地域)への愛着を養う。	○	
学校サポート事業 明善小学校川遊び支援	6月21日	1回	子育て	青少年	120人	明善小学校課外授業支援として、1・2年生の川遊び引率支援と授業中の児童みまもり支援	明善小学校	先生以外の大人(地域の方)との関わりを通じて学校以外での社会形成を学び、社会性を培う。また、地域の方との関わりの中で、自分の育った地域の歴史・文化などを学び、故郷(地域)への愛着を養う。	○	
夏休みスペシャルおはなし会	7月26日	1回	子育て	青少年	80人	子どもたちに本に親しんでもらう機会として、パネルシアターや大型絵本等によるおはなし会を開催。また、寿台地区食生活改善推進協議会による、家庭で親子が一緒に作れるおやつ作りとして、七夕の郷土料理である「ほうとう」作りを学び、親子で楽しみながら食文化の伝承を図る機会とする。	寿台図書館・寿台地区食生活改善推進協議会	小さい子どもたちが多く参加して楽しんでいる様子であった。今後も参加者が親子で楽しめる内容を検討して行きたい。		○
夏休み親子向け科学実験教室「つまめるお茶を作ってみよう！」	8月10日	1回	子育て	青少年	18人	少子化により、小学校の夏休みに町会ごとの子どもの行事が少なくなっているため、親子で楽しめる機会とする。	寿台図書館・中山文庫	市内高校教諭(理科)に講師を依頼し、ペットボトル削減を目的に作られた「オウホウ」の原理を応用した科学実験教室を開催し、参加者も興味を示しながら実験に熱中していた。今後も子どもたちが親子で楽しめる内容を検討して継続したい。		
第44回東南ブロック球技大会	8月25日	1回	地域事業(体育)	成人	300人	【事業内容】 バレー、バドミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフ、軟式野球の6競技による6地区対抗。 【ねらい】 他地区住民との親睦を目的とするもの。	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	【評価と反省】 各地区の交流の場として実施できている。運営面での人員不足等課題があるため、各地区協力をしていきたい。 【今後の方針】 東南ブロックでの主催となる数少ない体育行事として他地区との交流の推進を図る。		
第1回寿台秋の体育祭(第46回寿台住民大運動会)	9月29日	1回	地域事業(体育)	成人	250人	体育祭を通して、楽しく地区住民同士の親睦をはかる。	寿台町会連合会・寿台体育協会	町会ごとの参加が困難な状況もあり、今年度から競技種目を大幅に見直し、大会名称も寿台秋の体育祭へと改称した。今年度も中学生が係員として22名協力してくれた。来年度以降も種目等の見直しを行いながら、継続実施していきたい。		
第62回松本市市民体育大会秋季大会	10月13日	1回	地域事業(体育)	成人	中止	スポーツ大会への参加を通し、スポーツ振興・健康寿命の延伸につなげると共に、住民同士の親睦と結束をはかる。	寿台町会連合会・寿台体育協会	大型台風の接近に伴い、中止となってしまったが、選手たちは大会に備え練習に励んでいた。		
第43回寿台文化祭	10月20日	1回	地域事業(文化)	成人	520人	地域で文化活動を行っている団体・個人の発表の場、住民相互の親睦をはかる場とする。	寿台町会連合会・寿台文化祭実行委員会	寿台地区の大きな行事として根付いており、参加者も多く住民は大変楽しみにしている。今年度も中学生22人がステージ発表・模擬店に積極的に協力してくれた。高齢化によるサークル解散等で出演団体が減少傾向にはあるが、新しく出演された団体もあり、文化祭を盛り上げるために創意工夫が必要となる。今後も、内容を精査しながら継続実施していきたい。		
マレットゴルフ交流会	11月20日	1回	スポーツ	成人	61人	【事業内容】 東南部6地区合同でマレットゴルフ大会を開催。 【ねらい】 他地区との交流を深める。	【共催団体等】 寿、寿台、内田、松原、芳川地区公民館と共催。	【評価と反省】 他地区との交流を深めることができた。 【今後の方針等】 他地区との交流、健康増進に繋がる取組みであるため、今後も継続したい。		
人権啓発 視察研修 重監房資料館 国立療養所栗生楽泉園	11月26日	1回	人権平和	成人	19人	重監房資料館・国立療養所栗生楽泉園を視察し、ハンセン病問題への理解を深めた。人権感覚を磨く機会となった。	寿台地区人権啓発推進協議会	人権は多岐にわたる問題なのでテーマを変え、継続して取り組みたい。		
学校サポート事業 音の花東コンサート	11月29日	1回	地域文化	青少年	300人	地区の様々な行事に協力してくれた明善中学校の生徒の皆さんに、音楽を通じて感謝の気持ちを伝えると共に、普段学校ではあまりふれる機会がないプロの演奏や話しにふれもらえる機会とする。また、地域住民の方々も生徒の皆さんと一緒に時間を共有する機会とする。 演奏者：ヴァイオリン 牛山孝介氏 ピアノ 塚本敦子氏	内田公民館・松原地区公民館	明善学区3地区公民館共催事業として、今後も継続実施していきたい。	○	
クリスマススペシャルおはなし会	12月14日	1回	子育て	青少年	66人	子どもたちに本に親しんでもらう機会として、大型紙芝居等によるおはなし会を開催。	寿台図書館	図書視聴覚委員が積極的に出演してくれた。今後も参加者が親子で楽しめる内容を検討していきたい。		
そば打ち体験交流会	12月21日	1回	地域文化	その他	14人	そば打ち体験を含め、明善中学校生徒と、地域の方々との親睦をはかる。	寿台町会連合会・寿台地区子ども会育成会	地区の様々な行事に積極的に協力してくれた明善中学校の生徒と、地域の方々の親睦が深められた。生徒は卒業し、毎年替わるので、継続して実施したい。		
まゆだまを作ろう!	2月7日	1回	子育て	青少年	20人	松本の民俗行事である三九郎で自分の作ったまゆだまを焼いて食べられる機会を設ける。親子で一緒に作り、未経験の保護者にも作り方を学んでもらい、食文化の伝承を図る。	寿台地区食生活改善推進協議会	郷土料理の伝承や、食育について伝える機会となった。		○

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
人権啓発研修会 「新春人権落語会」	1月19日	1回	人権平和	成人	50人	寿台町会連合会役員研修を兼ねて開催。 「新春人権落語会」 出演：松川落語会「風まんだら」 テーマ：「落語で人権学習？」	寿台地区人権啓発推進協議会・寿台町会連合会	人権は多岐にわたる問題なので、毎年テーマを変え、継続して取り組みたい。		
学校サポート事業 特別支援学級支援 そり・スキー教室補助			子育て	青少年	未実施	明善小学校特別支援学級課外授業支援として、そり・スキー教室補助支援と授業中の児童みまもり支援 →今年度未実施	明善小学校	先生以外の大人（地域の方）との関わりを通じて学校以外での社会形成を学び、社会性を培う。また、地域の方との関わりの中で、自分の育った地域の歴史・文化などを学び、故郷（地域）への愛着を養う。→今年度未実施	○	
やしょうまを作ろう！	2月7日	1回	地域文化	女性	20人	郷土料理の「やしょうま」を講師である食改さんが、若いお母さん方に食の伝統を伝える機会とする。	寿台地区食生活改善推進協議会	郷土料理の伝承や、食育について伝える機会となった。		○
親子向け工作教室 「ストームグラスを作ろう！」	2月	1回	趣味教養	成人	延期	インテリアとしてもおしゃれなストームグラスを自分で作り、公民館事業に親しみを持ってもらおう。	寿台図書館・中山文庫	新型コロナ対策により延期とした。楽しみにされていた申込者も多かったため、次年度へ持ち越したい。		
親子ふれあいパーク2020 in まつばら	3月7日	1回	子育て	その他	中止	【事業内容】 ・親子での体を使った遊び、集団遊び、「投げる」や「走る」といった体の使い方を健康運動指導士から学ぶ。 【ねらい】 ・基本的な体の使い方を習得する子供期に、遊びを通していろいろな体の動きを体験し、運動することの楽しさを知り、家庭や地域での日常的・継続的な運動習慣のきっかけづくりとする。	【主催】 松原地区公民館、松本市健康づくり課 【共催】 中山、芳川、寿、寿台、内田公民館	新型コロナウイルス感染拡大を鑑み中止。 【今後の方針】 令和2年度にあらためて実施予定。		
学校サポート事業 寿台みまもり隊2019	通年		子育て	成人	43人	学校サポート事業として、子ども見守り隊（寿台みまもり隊）による見守り活動を継続。	寿台地区子どもを守る連絡協議会	「地域の子どもは地域で守る」を合言葉に、来年度も継続実施する。少子高齢化による子どもの減少と、子どもをみまもる隊員の高齢化が進んでいるが、隊員募集を積極的に行い、昨年登録者9人を上回る43人に登録いただいた。毎年の登録制となるため、来年度も積極的に隊員募集を行いたい。	○	
シニアパソコン教室	4月～3月	81回	趣味教養	高齢者	420人	高齢化に伴い、町会役員の担い手にも苦慮している現状。高齢者でも、様々な場面で役立つパソコンの技術を学ぶ。	松本地域シルバー人材センター	町会役員などで、必要となるパソコンの技術が学べ、実践で役立っている。今後も継続していきたい。		
子どもテニス教室	4月～10月	16回	スポーツ	青少年	397人	寿台テニスクラブ会員の指導による教室。	寿台体育協会	テニスを通じ、寿台テニスクラブ会員と子どもたちの交流にも繋がった。今後も継続実施していきたい。		
学校サポート事業 明善小学校テニスクラブ支援	5月～8月	5回	スポーツ	青少年	125人	学校サポート事業として、小学校から依頼のあった、テニスクラブの指導を、地区の寿台テニスクラブが行い、生徒と地域の交流につながった。	寿台テニスクラブ	来年度も学校より依頼があれば対応したい。（クラブ活動は毎年、種目などの見直しは学校側であるため）	○	
フットサル講座	6月～3月	9回	スポーツ	成人	102人	【内容】 若い社会人を対象としたフットサル【ねらい】 公民館事業として高齢者向けの健康教室等はあるが、20代～30代の若い社会人向けの教室等がないため、フットサル講座を実施することで、若い世代への健康寿命延伸の浸透を図る。また、これまで公民館を利用していなかった若い社会人に対し、スポーツを通じて地域間交流を深めてもらう場とすると共に、参加者の意見・感想などを参考として、今まで対象としてこなかった若い世代にも親しまれる公民館づくりを目指す。	【準備過程】 寿台地区・寿地区・芳川地区・中山地区においての募集回覧。 【共催団体】 寿公民館・芳川公民館・中山公民館	【評価と反省】 普段は仕事等で公民館に来る機会が少ない、公民館への関心も比較的薄いとされる若い世代の方々に、公民館事業を身近に感じていただくことが出来た。また、フットサルを通じての健康寿命延伸や参加者同士の地区を越えた交流の場となった。 3月実施予定回は新型コロナ対策により中止。 【今後の方針】 次年度も継続して取り組みたい。		
双葉会軽スポーツ大会	6月18日 11月5日	2回	スポーツ	高齢者	140人	高齢者の健康増進のためニュースポーツなどを楽しむ集い、春と秋に開催。	寿台高齢者クラブ連合会 双葉会・寿台地区福祉ひろば・スポーツ推進員	高齢者クラブの大きな事業となっており、今後も継続実施していきたい。		
デジタル講座・中級編	4月～3月	11回	趣味教養	成人	125人	デジカメで撮った写真をそのまま保存しておくのではなく、パソコンを使って補正に挑戦する。また動画撮影機能を用いて動画の撮影・編集を行う。		過去にデジカメ講座を実施した中で、参加者からの要望により開催に至った。撮影会も開催し、ウォーキングも兼ねて外出した。なお、講座で作成した作品は、寿台文化祭において発表していただくことが出来た。 3月実施予定回は新型コロナ対策により中止。		
男子の厨房・楽しく！	6月～11月	4回	健康福祉	高齢者	68人	高齢化に伴い、老々世帯や独居老人が多い寿台地区において、男性も食の自立をと、楽しく料理を学ぶ。	寿台地区食生活改善推進協議会・寿台地区福祉協議会	高齢化が進み、老々世帯や独居老人が多いため、今後も継続していきたい。		○
福祉講座 地域包括ケア会議	2月28日	1回	健康福祉	高齢者	中止	第2回目の地域包括ケア会議を予定。	寿台地区福祉協議会・寿台地区健康づくり推進員会	寿台の高齢化率は市内でも4番目に高い地区であり、老々世帯や独居老人も多いことから、高齢者が必要な知識・情報を総合的に学ぶ機会としたかったが、新型コロナウイルス対策により中止とした。		
学校サポート事業 明善中学校学習支援	5月～1月	48回	子育て	青少年	104人	明善中学校からの依頼により、水曜日の放課後に、地域住民のボランティアにより学習支援を行ったもの。	明善中学校	明善コミュニティスクールにおいて、学校、保護者、地域住民が一体となって、子どもの健全育成に取り組むことを目的としており、今後も継続していきたい。	○	
学校サポート事業 中学生への学習スペース開放	7月～8月	18回	子育て	青少年	70人	寿台図書館には学習スペースが無いため、夏休み期間中、中学生に集中して勉強できる場を提供。		利用者は少なかったが、保護者からの要望で実施した経過があるため、今後も継続実施していきたい。今年度利用者からもぜひ来年度も継続実施していただきたいとの要望有り。	○	
寿台公民館だよりの「人権啓発コーナー」の掲載	4月～3月	12回	人権平和	成人		寿台公民館だよりに人権啓発推進のための記事を掲載。	寿台地区人権啓発推進協議会	今後も継続実施していきたい。また、寿台公民館内にも人権啓発コーナーを作り、様々なテーマをもとに人権感覚を磨く機会としたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
地域づくり担当職員会議	4月～3月	7回	公民館委員会・各種会議等	その他	61人	地域づくり推進にむけて、関係行政機関職員による課題共有、課題把握を目的に毎月1回開催。(行事等により、不開催月あり)	地域づくりセンター・公民館・福祉ひろば・健康づくり課・包括支援センター・社会福祉協議会・児童館	「地域づくりセンター」を中心に、地域づくりの一環として引き続き関係職員との会議を継続していきたい。		
松本版信州型コミュニティスクール運営委員会		4回	公民館委員会・各種会議等	その他	68人	地域に開かれた信頼される学校づくりの推進のため、学校と地域が連携をし、子どもを支える。	明善小・明善中・学区内3地区(町会連合会・子ども会育成会・地域づくりセンター・公民館)・関係団体	明善コミュニティスクールにおいて、学校、保護者、地域住民が一体となって、子どもの健全育成に取り組むことを目的としており、今後も継続していきたい。		
運営委員会		2回	公民館委員会・各種会議等	その他	22人	公民館の事業計画案の検討・活動への提言など。		ご提言・助言をいただきながら、公民館事業に活かしていきたい。		
館報編集委員会		10回	公民館委員会・各種会議等	その他	64人	松本市公民館報(寿台版)の編集・発行。		委員は町内公民館長を兼務しているため、毎月町内公民館長会を兼ねて開催している。		
図書視聴覚委員会		4回	公民館委員会・各種会議等	その他	24人	公民館の図書視聴覚事業への提言、図書リサイクル作業、おはなし会スペシャルの企画運営。館報への写真素材提供。		委員の皆さんに、おはなし会スペシャルに積極的に出演いただいた。		
文化委員会 (文化祭実行委員会)		11回	公民館委員会・各種会議等	その他	124人	寿台文化祭の企画・運営。		高齢化により昨年度より組織を効率化し、少人数での文化祭企画検討委員会を開催することで、各文化部長の負担を軽減することが出来た。また、文化祭の運営以外の文化活動について、今後検討していきたい。		
体育委員会 (寿台体育協会)		11回	公民館委員会・各種会議等	その他	135人	町会連合球技大会、住民大運動会等の企画・運営。		高齢化が進んでいるので、各大会での種目等の見直しを検討していきたい。		
町会連合会支援						・地域づくり推進にむけての支援 ・町会連合会理事会への出席		「地域づくりセンター」と連携し取り組んでいきたい。		
町内公民館支援						各町会の公民館活動の活発化をはかる。		毎月館報編集委員会を兼ねて開催している会議の中で、お互いの町会の様子を情報交換し、いい刺激となっている様子である。		
寿台地区人権啓発推進協議会支援						事務局担当				
寿台地区食生活改善推進協議会支援						活動の活性化を図る。				
その他、諸団体との連携による活動支援						双葉会、子ども会育成会、児童館など。				
サークル活動支援						サークル活動活性化に向けた支援。公民館利用サークルに館の適正利用の周知徹底をはかる。利用者懇談会の実施、要望に対する速やかな対応。		サークル活動内容および、会員募集を、公民館だよりに掲載。また、サークル会員募集冊子を作成。		
広報活動						「寿台公民館だより」の発行(毎月1回地区内回覧と窓口配布) 「今月の寿台公民館」コーナー設置 地区福祉ひろば・寿台ふれあいセンターへの事業周知ポスター掲示				

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等													
<p>【方針】 松原地区の住民要求や地域課題をテーマとし、満足度の高い学習活動を行う。さらにサークルおよび町会活動が地域づくりに直接的または間接的に寄与できるように支援する。 スローガン／ 繋ぎ、続ける</p>													
<p>【重点的に取り組んだ事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 共に学ぶことから、思いやりの輪を広げる ② 生きる力となる学びや、遊びを提供する ③ 学習成果の発表機会提供と地域人材の発掘 ④ 町内公民館活動の支援 ⑤ 子育ておよびコミュニティスクール事業の充実 ⑥ 地区公民館開館10周年事業の企画と推進 													
評価・反省等													
<p>①ニーズ把握に注力した健康講座 平成30年度に引き続き、地区担当の包括支援センター職員と保健師、公民館職員で今の松原に必要な健康管理情報を洗い出し、5回の連続講座として実施した。興味のあるもの、気になるものに自由に参加していただくことが出来、毎回多くの参加があった。</p> <p>②新しいアイデアを取り入れた子ども育成事業 若い職員や子育て世代の職員他、そのネットワークを活用して新規事業や支援活動に挑戦した。食育と調理を組み合わせた「作るシリーズ」や放課後の学習室と卓球台の開放、図書コーナーの改革、餅つきなどの世代間交流など子ども達の要望を吸い上げながら多様な事業を実施できた。</p> <p>③体育委員、文化委員、公民館報編集委員の自走援助 各委員会とも公民館職員への過度な依存がなく、可能な限り委員会メンバーで作業を行い、委員会内で作業が完結しないものは、合理化してしまうか公民館職員に依頼するかを判断しながら作業を進めるようになっていく。</p> <p>④新型コロナウイルス感染症への対策 3月以降、新型コロナウイルス感染症への対策として、ほとんどの事業やサークル活動が中止や延期に追い込まれている。それにより様々な活動自粛が長期化し、運動不足や精神的なストレスが問題となっている。それらの対策を地域づくりセンターや福祉ひろば、スポーツ推進委員と検討し協働での事業を実施できた（朝のラジオ体操やWeb会議システムによるストレッチ教室など）。</p> <p>⑤開館10周年事業 31年度中にアイデアをまとめることが出来ず、令和2年度の作業として持ち越した。</p>													
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会等
	平人和権	福祉健康	子育て	環境	文地化域	教趣養味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数	2	6	7	7		5	2		3	4	3	1	2
延べ参加人数	78	166	296	183		70	326		550	790	133	3000	361
	G	食育											
事業数		5											
延べ参加人数		129											

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
デジタル写真講座 (春・秋)	春5回 秋5回	10回	趣味教養	成人	101人	デジタルカメラ操作の基本、写真の撮り方等を学ぶとともに、現地撮影を行う。撮った写真で文化祭に向けた作品を制作。現地撮影を通じ季節ごとの自然を体感しながら、創作・自己表現活動の向上を養う。	住民の要望により引き続き実施。地区住民が講師。 【講師】 三澤政明	撮影したものを記録として残すことだけではなく、それらを文化祭等の場で成果発表することで、受講生それぞれが意欲的に取り組めたと感じる。また館内にも作品展示スペースを設け、講師は四季に合わせて、受講者は毎月作品を入れ替えながら展示しており、今後も継続したい。		
雑草の特徴を知ろう～適切な草取り講座	4月13日	1回	環境	成人	13人	環境や雑草に詳しい専門家を講師に、座学と公民館・中央公園・松原モールのフィールドワークを行い、実際の駆除方法を検討しながら学ぶ。雑草が伸び始める時期を前に、適切な雑草駆除の方法を学び、自宅や地域の環境整美に役立てる。	【講師】 (株)総合環境研究所 環境部部长・首席研究員 竹田正博	座学とフィールドワークを組み合わせ実施したことで、より理解度が高くなった。参加者の反応も良く、満足度の高い結果となった。後日開催された公民館周辺の美化活動の際にも職員・講座参加者の意識の変化が見られ、効果的な除草ができた。		
松原モールぶろじえくと支援	5月11日 6月15日 8月31日 9月28日 12月21日	5回	その他	その他	550人	月1回程度の屋外コンサートを実施し、モールに足を運ぶ人を増やすきっかけとした。 12月は時計台をイルミネーションで装飾し、コンサートを実施した。	地域活性化の手段として、松原モールの活性化とからくり時計の修復復活を目標として、H30に松原モールぶろじえくとが発足した。職員を含めた有志で会議を重ね、ビジョンを共有することに時間をかけた。物品の手配などは公民館も支援した。 【主催】 松原モールぶろじえくと 【共催】 松原地区公民館	昨年度実施したイルミネーションイベントを発展させ、月1回のコンサートを実施した。屋外イベントなので天候に左右されることもあったが、一定の固定客を獲得することもでき、チラシを隣接地区に配布することで地区外からの参加を増やすこともできた。不定期にミーティングを行い、メンバーのやりたいことを都度反映させることができた。今後も公民館の関わるべき部分を精査しながら、活動を支援していきたい。また団体の主体性を尊重しながら、育成を進めていきたい。		
卓球教室	5月15日 5月22日 5月29日 6月5日 6月12日 6月19日	6回	スポーツ	その他	104人	町会交流スポーツ大会へ向けてのトレーニング及び参加者増への支援。	【講師】 松原卓球クラブ クラブ員	大会参加にもつながり、地区行事への参加者減少への歯止めの一助となれるよう、継続して実施していきたい。また、こどもを中心に普段公民館活動への参加が少ない方の参加が見られ良かった。		
ガーデニング講座 (春編)	5月17日 5月29日	2回	趣味教養	成人	38人	快適に住みやすい地区の住環境の整備に向け、ガーデニングを学び、交流と仲間づくりを図る。夏に向けての花々を用いての講習会。	住民の要望により実施。 【講師】 アルプス市場	快適な住環境づくりも公民館の役割と認識している。今後もこのような事業を継続したい。また、日頃からガーデニングをしている方の参加割合が高いため、今後はガーデニングを始めるきっかけとなる講座としていきたい。		
省エネ・エコの会	5月23日	1回	環境	成人	3人	省エネ・エコの視点から、身近な生活・暮らしを見つめ直し、生活の質の向上を図る目的で実施。情報交換からアイデアを出し合い新たな事業を企画する。	中心的事業だった不要食器回収を一旦中止し、新たな方向性を模索した。	サークルとして不要食器回収以外の活動を見出すことができなかった。会員の自主的な活動や意欲も見られないことから支援を中断する。		
スポーツ体験会	6月9日 6月16日	2回	地域事業 (体育)	その他	240人	町会交流スポーツ大会へ向けての講習と、生涯スポーツの実践。 ソフトバレーボール、バドミントン、新卓球の3種目。	町会対抗の球技大会に向けて住民の参加を促すために、練習、講習の場を設けることを目的に始めた。 【共催】 松原体育協会 【講師】 松原ソフトバレークラブ 松原バドミントンクラブ 松原卓球クラブ	大会参加者の増加にもつながっている。スポーツ振興と同時に、つながり作りや地区のスポーツ団体周知の機会にもなっている。準備体操の徹底など、安全対策を進めたい。また地区スポーツ団体の新規加入にもつながるよう支援したい。		
デジタル地球儀 「触れる地球」が やってくる！ ～環境防災講座 宇宙から見た地球～	6月15日 6月16日	2回	環境	その他	98人	「触れる地球」という様々な映像を映すことのできるデジタル地球儀を使って、普段見ることのできない視点から地球を観察し、広い視野で地球環境と防災を学ぶ。	【共催】 松本市地球温暖化 防止市民ネットワーク	小中学校にチラシを配布したことにより、多くの児童が参加してくれた。普段体験することのできないツールを使って学習することで、環境問題や防災について関心を持つきっかけとなった。今後も学校と連携し、学校の学習の手が届きにくい分野をカバーできるような講座を開催したい。		
こどもダンス教室	6月22日 6月29日 7月6日 7月13日 7月20日 10月26日	6回	スポーツ	青少年	222人	いじら祭と文化祭で子どもが主役になる催しを設け、多世代が主役となる祭りを目指す一環として、子どもによるダンス発表の時間と練習機会を企画した。	【講師】 小林美穂、社会貢献隊	H29から引き続き開催。参加者数・回数ともに増え、子どもの公民館への関わりを拡げる講座となり、当講座をきっかけに公民館を身近に感じる親子が増えた。いじら祭や文化祭当日は保護者の参加も多く、新しい衣装を取り込むきっかけとなった。		
町会交流スポーツ大会	6月23日	1回	地域事業 (体育)	その他	150人	H23年度から実施。ソフトバレーボール、マレットゴルフ、新卓球、バドミントンの4種目を、町会対抗で行うスポーツ大会。	防災や高齢化に向けての支え合いは顔の見える関係の構築が重要であり、その一つとして地区でニュースポーツ等の行事をやれないかと投げかけたことがきっかけ。 【共催】 町会連合会、体育協会	若い年齢の参加者も見られるようになり、地区スポーツ活動の機運が高まっている。より町会間の交流が増やせるよう、町会合同でチームを組んで参加できるような協議の新設も検討したい。昨年度よりバドミントンが種目として追加されたため、明善中体育館を会場に加えた。3カ所になった会場で、より効率的に安全に運営できるよう来年度取り込みたい。		
路線バスで行く 環境を考える水めぐり	6月27日	1回	環境	成人	11人	松本市街地に点在する井戸について、実際に歩いて現地を確認し湧水を試飲して巡ることで、地質の違いからくる味の違いを感じ松本市の環境を学ぶ。	【共催】 省エネ・エコの会 【講師】 宮澤信	H23に歴史的な観点から学ぶ水めぐりを行ったが、今回は地質・水質的な観点に着目した。松本市街地の北側を中心に歩き、専門家の説明を受けながら井戸水の味比べを行った。別コースでの開催を望む声があったので来年度も実施したい。		
ホテル学習観察会	6月28日	1回	環境	その他	28人	研究者からホテルや生息環境について講義を受け、隣接する内田地区の塩沢川でホテル観察を行う。	【共催】 内田公民館 【講師】 藤山静雄	住宅地である地区内には自然環境について学習する機会となっている。また夜間に観察するため、学校教育の中での実現は難しいことから、今後も公民館事業として開催していきたい。		
人権講座 戦国大名の価値観を 探る	7月1日 7月12日 11月25日	3回	人権平和	成人	78人	人権学習および歴史学習として武田氏と武田信玄にまつわる史跡を訪れ、より深い史実や人物像などに触れることで、彼らが何を求めて何を大切にしていたのかを探り、戦争と平和、人権などを改めて考えるきっかけとする。	【共催】 地区人権啓発推進協議会	人権に特化した講座だと参加のハードルが高くなりがちであるが、歴史学習と組み合わせることで多くの方の参加を実現できた。人権学習は他者からの学びより本人による気づきの要素が重要と考えており、今後も多面的な学びの場の提供を心掛けたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
松原いづら祭	7月27日	1回	地域事業(その他)	その他	3,000人	地区をあげての夏祭り。住民相互のコミュニケーション創出を目的とする。各町会・専門部・有志の出店、お楽しみ抽選、アトラクション等。	各町会、専門部ごとに出店の準備を行う。全体では町会連合会を母体とした実行委員会を組織し実施する。 【主催】町会連合会(主管:実行委員会。公民館は実行委員として参画)	地区をあげてのイベントであり、新興住宅松原の最大のイベントとなっている。引き続き実行委員会に参画する。 昨年に引き続き、明善中学生がスイカ割りコーナーや各専門部のブースの運営に協力した。今後はより主体性を持たせ、企画から関わることができるようになりたい。 また、公民館のこどもダンス教室受講者がパフォーマンスを行う時間も設け、発表の場、交流の場となった。		
夏休みこども学習室	7月30日 ～ 8月23日	14回	子育て	青少年	48人	夏休み期間のこどもの居場所づくりとするため。また、普段公民館を利用しないこどもに公民館を身近に感じてもらい、今後の公民館講座等に参加しやすくなるきっかけとするため。	R1年度より新規事業。	勉強スペース、休憩スペースを別室で設け、勉強に集中してもらおう環境を作った。 夏休み2週目以降は宿題が終わってしまっている児童も多く、学習スペースとしての利用は少なかつたが、猛暑であった今夏のこどもの居場所づくりとしては効果があった。 今年度は初年度ということで公民館職員のみでの見守りとしたが、来年度は見守りのサポーターなどを依頼することも検討したい。		
夏休みこどもクッキング教室	8月7日	1回	福祉健康	青少年	22人	小学生を対象とし、調理実習を通して食べ物の成り立ちや料理を作る人の楽しさ・苦勞を学ぶ。	【講師】 地区食生活改善推進員	夏休みの小学生を対象として調理実習を行ったが、多くの参加者が集まり、満足度も高かった。 こどもの体調管理のための調理実習室の温度管理や水分補給など、対象年齢が低いことによる配慮の必要性を感じた。 講座終了後に実施したアンケートによると、1/3の参加児童は夏休み中の屋食をお店で買って済ませていることがわかった。長期休みには給食がなくなり食生活が乱れる可能性が高いため、今後も同様の料理講座を実施していきたい。		○
夏休み小学生自然体験会	8月10日	1回	環境	青少年	12人	夏休みの小学生を対象に、高原での自然体験学習を行った。松原地区内では体験学習ができない山岳地帯の自然保護について、乗鞍高原を散策した後、自然保護センターで学んだ。	【共催】 松原地区町会連合会	職員4名体制で引率し、保護者の参加なしで実施できた。 参加児童の満足度は非常に高く、自然体験のニーズが高かったことが分かった。 来年度も継続して実施したい。		
大流しそうめん大会	8月19日	1回	地域事業(文化)	その他	26人	いづら祭で実施されなくなって以降復活の要望が多かった流しそうめんを実施し、こども達の夏休みの思い出づくりとする。地区住民の世代間交流をはかるため。	R1年度より新規事業。	一定層から要望があったため公民館事業として新規で実施した。初年度ということもあって材料の購入や当日の段取りなど不得手な部分もあったが、参加したこどもたちは楽しんでくれていた。 そうめんをゆでたり流したりする部分で地元男性有志の力を借りることができ、世代間交流の場にもなった。 高学年は自発的にそうめんを流す作業の手伝いをしてくれた。来年度はある程度役割を分担し、もてなされるだけでなく自分たちで行事を運営していけるような仕組みを作りたい。		○
東南ブロック球技大会	8月25日	1回	地域事業(体育)	その他	300人	【事業内容】 バレー、バドミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフ、軟式野球の6競技による6地区対抗。 【ねらい】 他地区住民との親睦を目的とするもの。	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	【評価と反省】 各地区の交流の場として実施できている。運営面での人員不足等課題があるため、各地区協力をしていきたい。 担当競技である軟式野球について、他競技よりも拘束時間が長く屋外での活動となるため負担が大きいという声が上がっている。 R2年度から市長林の代表選考を兼ねることが決定したため、今後参加チームが増える可能性がある。より一層運営面での人員不足等課題があるため、各地区協力をしていきたい。 【今後の方針】 東南ブロックでの主催となる数少ない体育行事として他地区との交流の推進を図る。		
利用者懇談会	9月12日 2月17日	2回	公民館委員会・各種会議等	その他	47人	公民館を利用するサークル等の代表者と貸館について、貸す側、借りる側双方が懇談し、留意点の確認と使用方法に関して検討する。	登録団体全てに開催通知を送付し案内する。午前と夜間の2部開催とし、いずれかに出席することとしている。	年2回開催し、夏期は文化祭出展の案内、冬期は次年度の使用法の検討が主であった。 今年度は、自由に話す時間を設け、公民館運営についての意見や利用者が日頃感じていることをざっくばらんに話すことができた。出た意見を反映し、利用方法や管理方法の改善につなげた。 また、新年度から更新される予約システムの説明を行った。		
まつばら健康講座	9月12日 9月20日 10月27日 11月11日 12月2日	5回	福祉健康	成人	91人	松原地区担当の保健師や包括支援センター職員、公民館職員で、地域で話題にあがっている身体に関する困りごとを拾い、次の項目について学びの場を持つ。それにより疾病に関する知識の習得と予防法の実践へと繋げ、地区の健康寿命延伸を図る。 さらに、⑤は各人の生きがいについて見つめ直す機会となることも期待する。 ① 口腔ケア(食べる) ② 膝の健康(中高年者のひざ痛予防) ③ 上手な睡眠(寝る) ④ 心の健康(心) ⑤ リビングウィル/エンディングノート(死)	【共催】 松原地区福祉ひろば 包括センター	評判の良い健康講座について、本年度は全5回の講座で実施した。食や睡眠など身近なテーマに絞り、医師や理学療法士などの専門家の講義を受けた。 今年度も参加者が多く、地区住民の健康意識の高さがうかがえた。来年度も別のテーマで実施したい。		
碓氷峠廃線跡ウォーキング	9月25日	1回	福祉健康	成人	15人	「健康と暮らしの調査」の結果、趣味やスポーツの活動に関わる者の割合が高い一方、「1日に30分以上歩く者」の割合が比較的低いことから、日常生活の中で歩く習慣を身につけることが松原地区住民の健康増進に効果的であると考えられる。よって、当講座では普段歩かない方には歩く楽しさと歩く習慣を、普段歩いている方には正しい歩き方を身につける機会とする。	【共催】 松原地区福祉ひろば 松原地区スポーツ推進員	松原地区は地区面積が狭く、近隣地区も坂が多いため遠方へ出かけてウォーキングを行った。今回は歩いた距離があまり長くなかったため、より強度の高いウォーキングやトレッキングを望む声も聞かれた。 来年度は歩く距離の長さを数パターン用意し、より参加者のニーズに合った講座としたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
町会対抗ウルトラゲーム大会	10月20日	1回	地域事業(体育)	その他	400人	ゲーム感覚で健康づくり・体力づくりを行うとともに、地区住民相互の親睦を図る目的で実施。 例年、中学生にも運営に参加してもらい、継続的な世代間交流の機会としている。 ＜内容＞ つなげよう松原、松原〇×クイズ、さかなでビンゴ 他	数年前に運動会が住民アンケートで廃止されたが、運動会的な要素も盛り込みながら、子どもから高齢者まで負担なく参加できるようイベントを継続しようとして、体育協会が中心となって取り組みを進めた。 【主催】 町会連合会、体育協会、公民館	多世代の大人数が参加する当事業を、地域づくりを意識づける機会として一層活用していきたい。 本年度より体育協会の事務負担軽減の仕組みを検討しており、実行委員会の会議日数を大幅に減らすことができた。 H28年度に新規に実施した防災意識を高めるための簡易担架を用いた種目「カンタンカリー」は当初の目的を達成したことと安全面を考慮して廃止とした。 前日の大雨により小学校グラウンドが使用できなかったため、内田体育館を使用した。2種目短縮して実施したが、物足りなさを感じている参加者もいた。雨天時でも種目を減らさない手法を検討したい。		
環境を考える 上高地散策	10月22日	1回	環境	成人	18人	観光地として有名な上高地について、環境問題も絡めながらガイドしてもらうことで、観光地や山岳地帯の環境問題に対する関心を持ってもらう。	【共催】 省エネ・エコの会 【講師】 宮澤信 加藤銀次郎(上高地を美しくする会) 若林浩之(上高地を美しくする会)	単に上高地を散策するだけでなく、上高地が抱えるマイカー規制、ゴミ問題、河床上昇、サルの人馴れ問題などの環境問題について考える講座とした。 当日のバスの車内で事前学習を行ったことにより、現地ガイドの開設がより分かりやすくなった。 また、祝日に実施したことにより普段参加できなかった人を取り込むことができた。松原地区の事業は平日日中に実施することが多かったため、今後の講座作りの参考としたい。		
多文化共生講座 座禅体験	10月28日	1回	趣味教養	成人	9人	国内・海外の宗教や文化について広い視野での学びの場を設けることで各人が自分とは異なる考えや環境にある人々を認め、共生心が醸成されることを期待し連続講座を計画する。 今回は、仏教の修行の一つで、鎌倉時代以降、広く庶民にも普及している「座禅」について学び、普段ふれることの少ない宗教活動をとoshた気づきの機会を提供する。	【講師】 桃昌寺住職 古田道康	内田地区のお寺を訪れ、座禅体験を行った。比較的近身の仏教について触れる機会となった。		
時計の仕組みと歴史講座	11月10日	1回	趣味教養	成人	16人	松原地区では地域活性化活動の一環として「松原モールぶろじえくと」(地区有志の任意団体)を中心に、時計台のからくり人形の修復活動を行っている。 活動の参加者から、時計やからくり人形の仕組みや歴史についても学びたいとの声が上がっており、当公民館で学習会を企画し学びの機会を提供する。 また、本講座を機に「松原モールぶろじえくと」への理解者や協力者が増え、地域づくり活動が活性化することを期待する。	【講師】 松本市時計博物館 原澤学芸員 セイコータイムシステム 武井所長	松原モールに設置されている時計の仕組みだけでなく、広く機械式時計の仕組みや原理を学ぶことができた。		
食生活改善健康料理教室	12月4日	1回	福祉健康	成人	15人	食を学び、食生活の見直しや生活習慣病予防に役立て、地域に伝わる郷土食づくりを通じ、食文化の継承と交流・仲間づくりを図る。	【講師】 地区食生活改善推進員	初めて公民館講座に参加する人も見受けられた。松原地区ならではの他市町村出身者による食文化を通じての交流により、顔の見える関係づくりの一助となるため、継続して実施する予定。県内食品メーカー等の活用など、企業による慈善事業の活用も継続したい。		○
しめ縄づくり講習会	12月15日	1回	地域事業(文化)	家庭教育	50人	伝統文化である「しめ縄づくり」を通じて、文化の継承、環境や暮らしという視点の育成とともに、高齢者・親世代・子どもたちの顔の見える関係づくりを図る。	【経過】 町会連合会総会の席で、子ども世代との交流をしたいという要望が出されたことを受け、こども会育成会長と公民館で、世代間交流に大に向けた打ち合わせを実施。その中で、新しい行事を行うよりも、毎年実施するしめ縄づくりを世代間交流事業として位置づけ実施することとした。 【準備過程】 子ども会育成会で稲わらの手配。前日、講師、育成会、公民館でわらの下準備 【共催】 子ども会育成会 【講師】 地区住民	他地区と違い、高齢者から親世代に、親世代から子どもに、という文化伝承的な流れがないこと、また農家出身者も少ない地区であることから、親子での参加も含め、より多くの世代の参加を促した。しめ縄づくりだけでなく、他の事業にも世代間交流の要素を強めていくことが大切だと考えている。 今年度も複数人の地区住民に講師を依頼した。参加者のこどもの中でも高い技術を持った人がいたため、高学年の子供講師を育成していく可能性も探っていく。 しめ縄やお飾りを作っても飾り方がわからないといった声も聞かれたため、来年度は飾り方の講習も実施したい。		
少年少女新春大もちつき大会	1月7日	1回	地域事業(文化)	青少年	57人	正月の風物詩である餅つきを実施し、こども達の冬休みの思い出づくりとするため。 大会に併せてお正月遊びを体験できる時間を設け、昔の遊びに親しむ場とする。 地区住民の世代間交流をはかるため。	R1年度から実施。 【共催】 寿さと山クラブ	新規事業として実施した。初年度ということもあって材料の購入や当日の段取りなど不得手な部分もあったが、参加したこどもたちは楽しんでくれた。 流しそうめん大会に引き続き地元男性有志の力を借りることができ、世代間交流の場にもなった。 また、誤飲やけがなどの事故に備えて地区内の看護師にも参加してもらった。 高学年に味付けなどの補助をしてもらったが、運営側の段取りが悪かったため時間配分が難しかった。タイムスケジュールを見直し来年に活かしたい。		○
ハーバリウムづくり	1月16日	1回	趣味教養	成人	7人	普段なかなか体験する機会のないハーバリウム作成を通して、参加者の趣味の幅を広げる一助とする。	【講師】 酒井紀子	住民の趣味の幅を広げるために実施した。参加者は少なかったが、初めて公民館講座に参加する方を取り込むことができ、実施した意義があった。		
レッツ手づくりパレンタインズ イーツをつくらう	2月11日	1回	子育て	青少年	9人	普段買って食べるものを実際に手作りすることで、どんな材料で作られているかやどんな工程で作られたかを考えるきっかけとする。 手作りを通して料理の楽しさを知るきっかけとする。	R1年度から実施。	休日を利用してこどもの手づくり体験を促す講座として実施した。 参加者の満足度は高く、今後も普段家でできないような手づくり体験ができる講座として継続していきたい。		○

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
男性ストレッチ教室	2月14日 3月26日	2回	福祉健康	成人	23人	「健康と暮らしの調査」の結果、松原地区では女性に比べて男性のスポーツの参加者が割合が低い傾向にある。運動系のサークルや公民館講座の参加者は女性に偏っており、男性の運動習慣をつけることが松原地区全体の健康増進に効果的であると考えられる。当講座ではあまり運動習慣のない男性を対象としてストレッチなどの軽運動を行う。	【講師】 西山知花	当初は申込み人数が少なかったが、友人同士で誘い合わせて多くの人数が集まった。講座終了時には参加者から自発的に次回の講座開催の声が上がったことから、参加者の満足度の高さがうかがえた。3月26日は新型コロナウイルスの感染が懸念される時期だったが、地区住民の運動不足を解消のための講座は意義があると考え、予定通りの日程で実施した。参加者を2部屋に分けて密集しないように配慮し、テレビ通話機能を活用して講師の動画を中継しながらストレッチを行った。今後は普段公民館を利用しない層を取り込めるような男性向け講座を企画したい。		
暮らしに生かすハーブとアロマテラピー	3月1日	1回	趣味教養	その他	中止	講師の指導でハーブやアロマテラピーの効能や歴史、精製方法などを学び、マッサージュオイルを作成する。アロマテラピーの学習を通してアロマテラピーやハーブの効能を知り、参加者の健康増進やゆとりある生活への一助とする。	【講師】 中山千代子	新型コロナウイルス感染拡大を鑑み中止。 【今後の方針】 令和2年度に延期予定。		
親子ふれあいパーク2020 in まつばら	3月7日	1回	子育て	その他	中止	【事業内容】 ・親子での体を使った遊び、集団遊び、「投げる」や「走る」といった体の使い方を健康運動指導士から学ぶ。 【ねらい】 ・基本的な体の使い方を習得する大切な子供期に、遊びを通していろいろな体の動きを体験し、運動することの楽しさを知り、家庭や地域での日常的・継続的な運動習慣のきっかけづくりとする。 ・本事業に参加することによって保護者が子供と遊ぶ楽しさをより深め、運動を楽しむ生活を送るためのヒントを獲得できる。	【主催】 松原地区公民館、松本市健康づくり課 【講師】 高山裕子（健康運動指導士） 甘利祐紀（健康づくり課健康運動指導士）	新型コロナウイルス感染拡大を鑑み中止。 【今後の方針】 令和2年度に延期予定。		
中学生が教える！春の小学生卓球教室	3月8日	1回	子育て	その他	中止	明善中学校の卓球部員が講師を務め、地区スポーツクラブの卓球部員が指導サポートし、さらに地域住民が作ったカレーをみんなで楽しくいただく。小学生と中学生が卓球を通じた楽しみや学びを共有するとともに、地区住民の三者間交流の機会とも提供する。	【主催】 松原地区公民館 【共催】 明善中学校卓球部、松原卓球クラブ	新型コロナウイルス感染拡大を鑑み中止。		
運動習慣啓発：ラジオ体操	3月19日 ～ 3月30日	4回	福祉健康	その他		新型コロナウイルス流行に伴う外出自粛による運動不足解消として、感染リスクの少ない屋外でのラジオ体操と簡単なストレッチを企画した。	高齢者は新型コロナウイルス感染による影響が大きいとの情報から、集会などの行事の参加を控えており、さらに人的交流の機会が著しく減少しており、身体的にも精神的にも不健康な状態を強いられている。 【共催】 松原地区福祉ひろば、地域づくりセンター、スポーツ推進員	地区福祉ひろばと協力して参加カードを作成し、決められた参加数を満たすとプレゼントを提供することとした。この内容も含めコミや新聞報道などで伝わり、多くの参加者を集めることができた。参加者の希望により4月以降も継続予定。		
春休み子ども自然科学体験会	3月23日	1回	子育て	青少年	中止	午前中は少年科学センターを訪問し、先端科学後術の展示見学その他、工作教室に参加する。午後は茶臼山動物園を見学する。春休みの子ども達（小学生）を対象に、少年科学センターを訪問し、スーパーコンピューターやロボットなどの触れる展示や科学工作を体験し、学校の中では出来ない学習を行う。また、動物園を訪問し様々な動物の生態を知るとともに、触れ合いの機会を設ける。		新型コロナウイルス感染拡大を鑑み中止。		
こどもそば打ち&化石発掘ツアー	3月27日	1回	子育て	その他	中止	午前中はこねこねハウスでそば打ち体験をして美食する。午後は四賀化石館を見学し、化石掘りの体験を行う。春休みの子ども達（小学生）を対象に、郷土の名産であるそば打ちを体験する。また、四賀化石館を訪問して施設見学と化石掘りを体験することで、松本地域の歴史や自然を感じ子供たちの知識を深める。		新型コロナウイルス感染拡大を鑑み中止。		
歴史人権視察講座／そうだ、諏訪に行こう！	3月31日	1回	人権平和	成人	中止	人権および歴史学習として諏訪地域における信仰の変遷を現地を訪問し学ぶ。信州人なら誰もが知っている、多くの人が訪れたことのある諏訪大社。しかし、その起源や記紀以前のことに知っている人はあまり多くない。伝承によると諏訪地方ではミシャクジ（精霊）を神として祀る自然崇拜の信仰があり、それを守る一族がいた。往時の人々が何を信じ、何を恐れ、何を大切に守ろうとしたのかを探り、改めて人が群れの中で生きていくことを考えるきっかけとする。	【共催】 松原地区人権啓発推進協議会	新型コロナウイルス感染拡大を鑑み中止。		
公民館委員会	通年	24回	公民館委員会・各種会議等	成人	314人	松本市公民館条例施行規則第8条に基づく委員会。地区の実情に合わせ以下の委員会を実施。 ○公民館・福祉ひろば事業推進協議会 ○館報編集委員会 ○体育委員会 ○文化委員会	地区公民館開館に向け、地区関係団体等の実情に合わせ、H21年度に地区町会連合会に提案を提示。H22年度よりスタートを切った。（ただし、館報編集委員会はH17年度より実施）	体育委員会、文化委員会とも委員が主体的に運営し、活発な議論が生まれている。館報編集委員会は、公民館と協力しながら、地域の話題を取り上げるなど社会面記事を扱うことができている。委員が主体的に記事の執筆を行い、会議の運営もスムーズに行うことができた。体育委員会の課題であった会長の事務負担軽減については、各イベントの担当者を決めることや会議時間を短縮することで、ある程度実現できた。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
公民館だよりの発行	通年	12回	その他	その他		公民館事業等の周知と参加募集、利用団体の情報提供として毎月1回（1日付）発行	H18年度より不定期に発行していたが、H22年度より月1回発行。	公民館側からのお知らせなので、今後も継続。講座だけでなく、学校サポート事業のボランティア募集なども公民館だよりを媒体に行っている。		
公民館報の発行	通年	6回	その他	その他		地区の情報誌、記録誌であり、地域の課題等を紙面を通じて投げかける場としての公民館報の発行	館報編集委員会で、地域の話題の掘り起こしなどを中心に話し合い、制作。全市版については7名の編集委員（各町会1名選出）以外の地区住民に委嘱している。	R元年度は委員の主体的な活動を進め、特に館報編集委員においては、取材等主体的な活動が見られた。取材が公民館事業や地区行事に参加するきっかけにもなっており、委員自身の地域との関わりの機会にもなっている。		
カンガルーの会	通年12回	12回	子育て	家庭教育	239人	乳幼児とその親を対象にした子育て支援事業。親子体操、食育、救急法、コミュニケーション等多彩な内容。十種時には住民有志が託児保育を担う。	【主催】 民生児童委員協議会 【協力】 福祉ひろば、公民館	主任児童委員をはじめ、民児協が主体的に進めており、引き続き側面からサポートしたい。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

- ・経常的な公民館事業については、前年実績や課題等を踏まえ内容を精査しながら事業展開を図りつつ、地域の活力を生み出す重要な事業（岡田夏まつり、新春サークル発表会等）は、地域と行政のつながりを意識しながら予算面等でも充実を図りました。
- ・福祉ひろばの「出張ふれ健」とタイアップした健康づくり講座や地元食材（りんご）の活用及び一人暮らしの住民でも簡単に調理できる食育講座を継続して実施し、地域住民の生きがいや健康、住民福祉、生活、子育ての視点からの事業展開を図りました。
- ・岡田地区のビッグイベントである「おかだ夏まつり」について、昨年度は台風接近のため、やむを得ず中止としましたが、今年度は2年ぶりの開催となり、地域関係団体（町会連合会、町内公民館長会、子ども育成会、地区体育協会等）による出店や運営協力等、主体的な活動により、地域住民のつながりや連帯感を生み出すことができる貴重な機会となりました。
- ・地域の宝である子どもたちの主体性及び社会性を高めることや、地域の自然に触れる体験学習の推進を目的に、子ども育成会との連携事業として「植林&きのこの駒打ち体験」、「体験キャンプ」、「川で遊ぼう」を実施しました。岡田地区の地域性を生かした取り組みであり、保育園児から小学生まで多くの子どもたちが参加しました。
- ・コミュニティスクール事業について、岡田小学校では、夏休み中に子どもたちの学習支援を行う「夏休みチャレンジタイム」を地域住民ボランティアの協力を得て実施しました。女鳥羽中学校に関しては、地域貢献の一環として夏まつり、新春サークル発表会（作品出品）へ参加、協力をいただいたほか、岡田公民館、岡田保育園、岡田体育館の敷地内清掃も実施していただきました。また、初めての試みとして、女鳥羽中学校の伝統行事である「強歩大会」のチェックポイントでの見守りボランティアについて、地域住民6名の協力を得ることができ、今後も要請に応じた支援の充実を図っていきます。
- ・また、学校教育における情報化の進展（プログラミング学習）を見据え、子どもたちが学習状況の変化に円滑に対応できるよう、公民館としての新たな取り組みとして、地域人材を活用した「こどもプログラミング講座」を実施しました。

評価・反省等

- ・地域課題としては、地域の各種団体に地域づくりの根幹としての主体性を持ってもらい、具体的な活動につなげていくことができるかが大きな課題となっています。特に地区の主要事業である「おかだ夏まつり」、「町内公民館対抗球技大会」、「新春サークル発表会」については、公民館委員を中心とした運営を試みていますが、町会持ち回り選出の委員が多いことから意識が低く、公民館任せになっている点が否めないため、地域の自主性を引き出すことができるような仕掛けづくり（体制づくり、動機付け）を引き続き検討していく必要があります。特に、イベントへの参加者拡大やアイデア提案への仕組みづくりなど、固いと思われがちな「公民館」のイメージチェンジを図りつつ、地区住民の興味や関心を引き出し、それをどのように具現化していくかが課題です。
- ・新春サークル発表会では、住民と行政の連携不足といった課題があったことから、地域づくりセンターとして2年ぶりにステージ発表（寸劇）に出演し、地域住民との融和を図りました。また、子どもでも気軽に参加できるよう、展示内容に関するクイズラリーの実施や、地元小中学校の展示内容（手芸クラブの作品、美術クラブの絵画）の充実を図るとともに、「北部地域包括支援センター」の介護に関する「何でも相談室」や健康づくり推進員による「健康チェックコーナー」を実施し、健康福祉といった視点からもアプローチを行いました。しかしながら、参加者の固定化や高齢化等による出展団体の減少といった課題が顕在化してきたことから、子どもが参加できる体験型イベント等、地域住民が集まりやすい企画内容や周知方法について検討していく必要があります。引き続き「公民館＝教育」といった型にとらわれない、地域関係団体と連携した生活・文化の交流を目指します。
- ・未来を担う子どもたちをターゲットに地域と学校が連携した取り組みとして、既存のコミュニティスクール事業（小学校での読み聞かせ、夏休みチャレンジタイム、クラブ活動支援）のほか、公民館独自事業として地域人材を活用した「こどもプログラミング講座」を実施しました。「こどもプログラミング講座」は、急速な情報化の進展に伴う情報格差等の課題に対して、生涯学習の視点から対応するために実施したものであり一定の効果があったことから、今後も予測が困難な社会情勢の中にあっても地域住民の学習ニーズを的確に捕捉し、地域住民の満足度を高めることができるような企画を実施していくこととします。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員等
	平人 和権	福健 祉康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	ス ポ ー ツ	防 災	そ の 他	体 育	文 化	そ の 他	
事業数	1	5	2		4	1		1	2	1	1	1	1
延べ参加人数	109	437	93		119	11			1034	250	300	1500	300

	CS	食育
事業数	1	1
延べ参加人数	1000	71

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・わらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食育
植林&駒打ち体験	4月27日	1回	地域文化	青少年	30人	地域の子どもたちが、植林体験を通じて森林と触れ合い、地域への理解を深める機会を創出することを目的に、岡田財産区有林で地元の小中学生等を対象とした植林及びキノコの駒打ち体験を実施したものの。	子ども会育成会 岡田財産区	地区の財産である森林を活用した取り組みであり、子どもたちを中心に地域の歴史や風土、伝統文化を学習する機会を提供することができた。地区の自然を生かした体験型事業であり、伝統文化（三九郎）の継承にもつながるため、継続実施していく予定。		
自然と歴史に親しむ講座	5月17日 6月24日 9月24日 11月19日	4回	福祉健康	成人	80人	岡田地区及び近隣の自然、歴史について学習する講座。地域への郷土愛を育むとともに住民の生きがいを創出することを目的に実施したものの。 ①上高地 ②中山峠 ③頸城大野～糸魚川 ④地獄谷野猿公苑～小布施		昨年度からの継続事業として岡田地区に緑のある千国峠に関する歴史学習（②、③）及び、新たな地域人材の掘り起こしと地域住民の健康増進を図ることを目的にウォーキングを実施しました。地域づくりの基盤である人と人とのつながりを構築するとともに地域学習による教養の向上を図ることもできた。地域住民の地域学習及び健康づくりの推進が期待できることから次年度以降も継続予定。		
おかだ七夕会	7月13日	1回	地域文化	青少年	30人	地域子ども文庫活動として、読み聞かせや演劇鑑賞を行い、子どもたちの豊かな心の育成を図ることを目的に実施したものの。	図書委員 児童センター	児童センター利用者だけでなく、園児も参加している。参加児童が司会を務めるなど企画運営に携わっており、子どもたちの主体性の向上を図ることができているため、次年度も継続予定。		
おかだ夏まつり	7月27日	1回	地域事業（その他）	その他	1,500人	岡田地区で活動している地区関係団体が連携し、地区住民のつながりや連帯感の醸成を図ることを目的に、夏まつりを開催したものの。	夏まつり実行委員会	岡田地区を代表するメインイベントであり、町会による出店、花火の打ち上げ等、地域の子どもから大人まで大勢が参加し盛大に行われた結果、地域の連帯感を深めることができた。また、運営に係る地元役員への負担が大きい中で、地元中学校生徒会が司会進行やアトラクション企画へ協力いただき、盛り上がったほか、負担軽減を図ることができた。 運営費の大部分を占める協力券の売り上げについては、年々減少傾向であることから、運営面での工夫や新たなスポンサーの掘り起こし等、財源確保策について、引き続き検討していく必要がある。		
自然体験キャンプ	8月6日～7日	1回	子育て	青少年	40人	芥子坊主農村公園でキャンプ地の設置から薪集め、自炊等、野外活動を体験することをとおして、仲間づくりや集団生活での社会性を身に付けることを目的に、1泊2日のキャンプを実施したものの。	子ども会育成会	今年度は、突然の大雨に見舞われ対応に苦慮しましたが、関係者で情報交換を密にしながら、実施した結果、ほぼ予定どおり実施することができた。また、信州大学V O L N E Tの学生も運営に協力いただき、子どもたちの安全管理等、事業の円滑な運営に貢献していただいた。 高学年児童をチームリーダーとして、キャンプ設置、夕飯（カレー）及び朝食（豚汁）作り、花火大会を行いました。学校生活の中では体験することができない異年齢による集団生活を行い、社会性を身に付けることが出来る貴重な取り組みであることから、次年度も継続予定。		
川で遊ぼう	8月17日	1回	子育て	青少年	53人	地元の自然を活用した自然体験活動として、女鳥羽川で魚のつかみ取りを行い、実際に焼いて食べる事業を実施したものの。	子ども会育成会	普段の生活の中では、体験することが出来ない魚のつかみ取りは参加者に好評であること、また、地域の自然風土について親子で学習する機会を提供することができる事業のため、次年度も継続実施予定。		
こどもプログラミング講座	8月20日～21日	1回	趣味教養	青少年	11人	2020年の学習指導要領では、小学校でのプログラミング教育が必修化されることが明示されるなど、将来的に子どもたちの学習環境が大きく変化するに期待されることから、プログラミングに興味をもってもらうきっかけづくりとして、初心者向けの講座を実施したものの。		これからの情報化社会の中で必要なスキルであるプログラミングの考え方に子どもたちに学習していただくため、夏休み期間を利用して2日間の連続講座を実施しました（講師は地域在住者）。1日目は基礎編、2日目は応用編を行い、参加者からは「楽しかった」「次も参加したい」といった感想が聞かれたことに加え、自分の意志で参加した子どもがほぼ全員であった。当初は親の関心が高いことを想定していたが、子どもたちのニーズがあることも把握できたため、次年度以降も継続実施していく予定。		
町内公民館対抗球技大会	8月25日	1回	地域事業（体育）	成人	250人	スポーツによる地域住民の生きがいを創出し、健康増進を図ることを目的に、軟式野球・ソフトバレー・卓球・ゲートボール・マレットゴルフの5種目による町会対抗球技大会を開催したものの。	地区町内公民館長会 地区体育協会 地区町会連合会	多くの地域住民が参加し、スポーツによる住民間の交流や健康増進を図ることができている。しかしながら、娯楽性よりも競技性を重視する傾向があることから、参加者の固定化や減少の要因となっており、参加者を増加させるための工夫が必要である。 また、事業運営についても公民館委員及び地区体育協会が主体となって実施するよう、促していく必要がある。		
食育講座	9月10日 9月29日 10月17日 11月17日	4回	福祉健康	成人	71人	①岡田のりんごでお菓子を作ろう！ 地元産の食材（りんご等）を用いた親子での菓子作りを通して、調理の基礎を学び、郷土への愛着心と親子の絆を深めるもの。（9/29、11/17） ②おひとり・おふたり様の簡単栄養料理教室（9/10、10/17） 高齢単身者や老老夫婦が、地元の食材や便利な食材を活用した食生活の工夫とコツを体得するもの。	食生活改善推進協議会 地域講師	・りんご菓子づくりは、プロの指導者にアップルパイづくりを依頼することができた。お店で売っているもの以上に豪華な作品ができ、参加者には大好評であった。2回の総参加者数は35名（うち児童は12名）。 ・簡単栄養料理教室では食生活改善推進協議会に指導を依頼した。参加者総数は指導者も含めて計36名で（66歳～91歳）、80歳代の元気高齢者の参加者も多かった。しかし、徒歩圏内の参加者に限定されやすく、講座の実施には、移動手段の提供も合わせて検討することが必要と思われる。いずれの講座も、参加者には好評であり継続予定。		○
親子なぞときウォーキング 【台風接近のため中止】	10月12日	1回	地域文化	その他	中止	岡田地区やその周辺の名所旧跡にチェックポイントを配置し、親子または子ども同士でウォーキングを行いながら、楽しく地域について学習するもの。	子ども会育成会	地区内在住者でも知らない歴史や名所旧跡を親子でウォーキングしながら学習することができる、人気の事業であったが、今回は台風が接近した影響により中止とした。参加者からも好評の声があり、地域について学習できる貴重な機会であることから、次年度も継続実施予定である。		
ふれ愛健康福祉講座～ライフサイクルにそって～	10月23日 11月7日 11月27日	3回	福祉健康	成人	100人	ライフスタイルの多様化により、健康づくりへのニーズも住民により異なることから、高齢者介護や認知症の問題だけでなく、子どもやその両親の心と体の健康にターゲットを絞り、多角的な観点から、暮らしと健康づくりに関する講座を開催するもの。 第1回：向老期に注意したい眼の異変 西山眼科 西山敬三先生 第2回：意外に多い耳の病気 横田耳鼻咽喉科 横田 耕二先生 第3回：こどもの健康づくりとつけ～メディア依存とは～ 県立こども病院総合小児科 樋口司先生	岡田地区まちづくり委員会（健康・福祉部会） 福祉ひろば・岡田保育園	健康問題は範囲が広いので、テーマと地域人材の確保可能性との関連で計画してきた。第1回目と第2回目は、目と耳のテーマで、それぞれ岡田地区の開業医の協力を得て実施した。普段あまり関心のないテーマであったが、講師と馴染みのある参加者もいて、質問もかなり活発であった（参加者各30名と25名）。第3回は、隣接する岡田保育園で開催し、園の希望から今年度は年中組の保護者参観日に合わせて設定した。テーマは、子どもの健康づくりとつけ～メディア依存とは～、を昨年同様、地区在住の県立こども病院総合小児科樋口司先生に依頼した。（参加者は約45名） 昨年、高齢者からは「夜なで参加しにくい」との声もあり、昼間に設定したことで参加者数の若干の増はみられたが、大幅な増にはつながらなかった。また「もっと身近（町内会公民館）でやってもらえないか」などの声もあり、今後の検討課題としたい。昨年の「脳の異変」のアンケートを希望する声もあったが、講師の都合で先送りとした。次年度も地区関係団体と協力しながら、講座内容やニーズに合わせて、柔軟な事業展開を図っていくこととする。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・わらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
公民館健康福祉出前講座	7月10日 7月19日 8月21日 8月22日 9月4日 9月25日 10月3日	7回	福祉健康	成人	145人	福祉ひろばで実施している「出張ふれ健」とタイアップし、専門家による自身の健康チェック方法について講座を実施したもの（岡田地区7町会の町内公民館でそれぞれ実施）。3年目の講座ではあるが、メインテーマは継続し「介護予防は心とからだの両面から一自立生活をいつまでの快適に一」とした。	福祉ひろば おかだまちづくり委員会健康・福祉部会 町内公民館	岡田7地区で各1回の専門家（作業療法士）による健康づくり及び介護予防講座を実施したものであり、今年度は『転倒予防』と『まさかの尿漏れ』を取り上げた。Q&A方式による参加型ワークショップ方式で、転倒のリスクとして「住まいの内と外」、移動時の環境（道路・横断歩道・段差）への注意喚起を強調した。また、心身の運動機能（バランス）だけでなく、加齢に伴う感覚・認知機能への変化に気づくヒント等々を学習した。尿漏れ対策は、メカニズムの理解だけでなく、骨盤底筋群の体操を実習として組み入れた。町会公民館での「ふれ健」は貴重な社会参加の機会であり、今後は虚弱老人を含めた参加継続支援（特に送迎）が課題である。参加者数：伊深21/松岡28/塩倉13/山浦16/岡田町25/東区24/神沢18		
連携型健康福祉講座	5月26日 11月22日	2回	福祉健康	成人	41人	地域貢献をめざす各種団体・事業者からの提案を公民館との共催事業として具体化した。地域の人材づくりの裾野の拡大を目的とするもの。健康関連事業者・団体との連携で以下の2講座を実施 1 転ばぬ先のロコモ予防 その2 2 特養ってどんなところ？	1 中信健康友の会岡田支部（講師：協立病院リハビリテーション科 副主任 藤原 大理想療法士） 2 特別養護老人ホーム岡田の里	1 腰痛やひざ痛の予防体操の実技指導には、複数のリハビリテーションの専門家（PT・OT・ST）が指導にあたり、比較的若い指導者層の「華やいた雰囲気」が功を奏して、比較的年配者が多い参加者も楽しむことができた（33名参加）。ここでの実技指導が、実生活でどのように継続されるかのフォローを含めた実習講座の継続が必要と感じた。 2 特別養護老人ホーム「岡田の里」とデイサービス「ジョイフル岡田」の視察研修を実施した。昨年は施設の職員が多数参加した小グループのワークショップ形式の講座を公民館で実施したが、現地を見学することで、高齢者の介護について臨場感をもった理解が促進された。特に、参加者の中には介護体験をもつ、あるいは近い将来の施設利用を考慮している家族もいたり、少人数による密度の濃い質疑応答がもたられた（参加者8名）		
人権学習会	10月15日 11月2日 11月28日 12月3日 1月7日 2月4日	6回	人権平和	成人	109人	【事前学習講座】として「松本平における製糸産業と人権思想」の講義（10/15） 講師：松本市文書館 小松芳郎 氏 【視察研修】として富岡製糸場（11/2）と岡谷蚕糸博物館（11/28）の2カ所を視察した。 パート2：【知って安心：万一の備え贈与と相続をめぐるトラブル予防】のテーマで連続講座を3回実施した。 1回目：特殊な用語に慣れましょう！遺留分？ 2回目：親心の活かし方／贈与と相続の違いは？ 3回目：成年後見制度は信用できるの？（4回：[エンディングノート・遺言証書を試しに書こう！]を予定していたが、コロナの感染予防対策上、中止とした。講師は長野県相続成年後見協会	地区人権啓発推進協議会委員	【パート1】岡田地区には養蚕農家も多く、製糸業とのかかわりは深い歴史がある。女性の社会進出の契機となった製糸業の発展が、地域の社会経済に及ぼした影響やその後の変遷を学び、現在の女性労働者の人権問題を考える機会になった。3回の参加者数は61名 【パート2】人権を現在の自分の生活との関係で考えるために、相続問題を取りあげ「知って安心万一の備え」をテーマに3回の講座を実施した。昨年に引き続き、講師派遣は長野県相続成年後見協会に依頼し、事例を中心とした参加型ワークショップ形式で行った。難しいテーマを気楽に考える場面設定に留意したが、今回参加者も多く、質問も多かった。3回の参加者は48名で、中止した最終回のテーマは次年度に検討することとした。		
おかだクリスマス会	12月21日	1回	地域文化	青少年	59人	地域子ども文庫活動として、読み聞かせや演劇鑑賞を行い、子どもたちの豊かな心の育成を図ることを目的に実施した。	図書委員 児童センター	児童センター利用者だけでなく、園児も参加している。参加児童が司会を務めるなど企画運営に携わっており、子どもたちの主体性の向上を図ることができているため、次年度も継続予定である。		
地区新成人記念撮影	1月12日	1回	その他	成人	34人	同級生と交流できる機会を通じて、地域への愛着心や帰郷意識を醸成することを目的に、岡田地区出身の新成人を対象とする記念撮影を実施した。	町会連合会 子ども会育成会	総合体育館で行う全体会前に岡田地区出身者で記念撮影出来ることが特徴であり、新成人同士の旧交を温める場となっている。また、今回から実費負担であった写真代を無料としたところ、参加者数が大幅に増加し、華やかな雰囲気で開催することができた。公民館報にも写真と記事を掲載するなど、地域としてこれからの時代を担う新成人の新たな門出を祝う貴重な機会となっているため、今後も継続実施していく予定である。		
新春サークル発表会	2月2日 ～ 3日	1回	地域事業（文化）	成人	300人	地域の生涯学習活動の推進を図ることを目的として、主に岡田公民館、町内公民館、農林漁業体験実習館を拠点に活動しているサークルに関する活動成果の発表会と作品展示会を開催した。	文化委員 町内公民館長会 福祉ひろば 公民館利用団体 農林漁業体験実習館利用団体	地域住民の生涯学習に関する発表の場として、定着している事業ではありませんが、地域づくりセンターも地域を担う一員として職員による寸劇を企画上演したところ、大変好評で住民と行政の距離を縮めることができた。また、子どもを対象とした展示物に関するクイズラリー、地域包括支援センターによる「認知症相談会」、健康づくり推進員による「健康チェックコーナー」など、地域住民や関係団体とのつながりを重視した取り組みも実施した。来年度も多くの住民が参加できるよう、工夫・発展させた内容としていきたい。		
防災訓練 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	3月1日	1回	防災	成人	中止	地域住民の自主防災意識の向上を図ることを目的に、避難所開設訓練、応急救護訓練等を住民主体で実施する計画でしたが、新型コロナウイルス感染拡大を考慮し中止とした。	岡田地区自主防災連合会	災害対応については継続的かつ住民の主体的な訓練が重要なことから、より多くの住民が参加できるような手法を検討し、実施していく必要がある。		
コミュニティスクール事業	通年	#####	その他	青少年	1,000人	学校、家庭、地域が連携しながら、地域の宝である子どもたちを育てていくことを主目的に以下の事業を実施した。 ①小学校読み聞かせ（4月～翌年2月まで計11回開催）参加者延べ100名 ②夏休みチャレンジタイム（7/29～31日まで計3回開催）参加者延べ400名 ③クラブ活動支援（4～6年生を対象にして、6/13、7/4、10/24の計3回開催）参加者は約200名 ④女鳥羽中学校強歩大会の見守り：女鳥羽中学校の伝統的行事である強歩大会（10月4日）の見守りとして、6名のボランティアが要所のチェックポイントに待機して協力をした。生徒の参加者数は300名。	岡田小学校	小学校での読み聞かせについては、地域の子どもの豊かな心を育むため、継続して実施する予定。その他、夏休み中に子どもたちの学習支援を行うチャレンジタイムについては、年々参加する子どもたちも増えておりニーズが高ことから、地域住民ボランティアの充実を図りながら、次年度も継続実施予定である。クラブ活動支援は、従来より割り当て時間数の減により、種目を増やして、少人数による密度の濃い指導を可能にする地域指導者の人材発掘を要請されているものであり、公民館はコーディネーターとして次年度も協力していくこととする。中学校行事に付随する見守り的なボランティア人材は、教職員の負担軽減につながることから、要請に応じて、その都度、地域の有志を募っていく方針としていきたい。		
5部門委員会運営	通年	7回	公民館委員会・各種会議等	成人	300人	公民館事業への協力を依頼し、事業への主体的な参加を促すため開催したものです。		各委員とも、町会推薦による選任がほとんどであるが、参加意識の低い委員もおり対応に苦慮している。2年任期で改選される委員が多いことから、年度当初に開催する運営委員会等で、改めて地域づくりの重要性を説明するとともに、個別の会議等でも継続的に意識啓発を実施していくこととする。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	
<ul style="list-style-type: none"> ・住民が講師となって地域のつながりが生まれる事業や講座を展開することができた。 ・「地域の子どもは地域で育てる」を目的に地域循環型の取り組みを推進した。 ・前年度事業の反省点や改善点を念頭に置きながら公民館事業を推進することができた。 ・公民館は決して敷居が高く難しい事をやる（やらされる）場所ではなく、誰もが遠慮せず気軽に足を運んでもらえる場所であることを認識してもらえよう努めた。 	
評価・反省等	
<ul style="list-style-type: none"> ・「地域の子どもは地域で育てる」を目的に、通学合宿や世代間交流講座を実施することができた。今後も若い世代と積極的に関わることで、公民館活動や地域の取組み等に関心を持ってもらいたい。（地域循環型の取り組みを継続実施していきたい。） ・計画段階で開催のねらいや意義を明確に設定し、やりっぱなしで終わることのないよう検証・評価を十分に行いたい。 ・事業や講座を企画する際には関係団体と協議・検討していくことで、より地域に根ざした取組みにしていきたい。 ・地域住民が積極的に地域課題に関心を寄せ、地域住民による主体的な地域づくりを推進するための土壌を、公民館講座や各種事業をとおして醸成していきたい。 	

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等
	平人 和権	福健 祉康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	スポ ーツ	防 災	そ の 他	体 育	文 化	そ の 他	
事業数	2		2		5	9	3	1	1	4	3	1	8
延べ参加人数	59		95		61	179	30	90	16	345	1394	58	64

	CS	食育
事業数	4	3
延べ参加人数	153	30

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	G S	食育
第16回山辺の郷健康ウォークラリー大会	4月13日	1回	地域文化	その他	61人	【内容】 ・自然と文化財の宝庫である山辺の郷をウォークラリーで満喫してもらう。 【ねらい】 ・子どもから大人まで幅広い世代を対象に、健康づくり、世代間交流、地域の魅力再発見を促す。	実行委員会 (入山辺・里山辺子ども会育成会、入山辺・里山辺健康づくり推進委員会、入山辺・里山辺福祉ひろば、山辺スポーツ少年団、里山辺公民館)	【評価と反省】 ・好天に恵まれ、参加者が楽しんでいる様子が多く見られた。 【今後の方針】 ・継続開催		
町会対抗球技大会	5月26日	1回	地域事業(体育)	成人	200人	【内容】 ・男性はソフトボール、女性はソフトバレーボールを実施した。 【ねらい】 ・地区住民の親睦と健康増進を図る。	体育協会	【評価と反省】 ・少子高齢化により参加者を募るのに苦労している町会もある。また、実施時期について農繁期を避けてほしいとの意見があった。開催日は気温が高温だったため、試合時間を短くするなどの対策を来年度以降は取り入れていきたい。 【今後の方針】 ・継続を視野に入れつつ、開催のあり方を検討する必要がある。		
防災講座	6月13日	1回	防災	成人	90人	【内容】 ・避難所で起こる様々な出来事を想定した「避難所運営ゲーム(HUG)」を通じて災害時にどのような対応が必要されるかを考える。 【ねらい】 ・いつ起きるか分からない大災害に備えて地域の防災・減災意識を向上させる	入山辺地区防犯・防災協議会、長野県危機管理部危機管理防災課	【評価と反省】 ・各町会の役員を中心に防災について学ぶことのできる機会となった。 【今後の方針】 ・継続開催		
文化委員会(町内公民館長会)視察研修	6月22日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	14人	【内容】 ・旧山辺学校校舎、松本民芸館、旧開智学校、馬場家住宅の見学 【ねらい】 ・文化委員の資質向上、相互交流を図る。	文化委員会(町内公民館長会)	【評価と反省】 委員同士の交流を深めることができた。その後の各種事業でも円滑に取り組むことができた。 【今後の方針】 ・継続開催		
子ども会育成会スポーツ大会	6月23日	1回	地域事業(体育)	青少年	100人	【内容】 ・ドッジボールやドッジビー 【ねらい】 ・地域の子どもたちや保護者同士のつながり強化を図る。	子ども会育成会	【評価と反省】 ・子ども会育成会が中心となり事業展開されている。 【今後の方針】 ・継続開催		
人権啓発推進協議会総会	6月28日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	32人	【内容】 ・事業計画、予算の審議、映像鑑賞 【ねらい】 ・地域の指導者として多様化している人権問題を正しく理解し、すべての人々の人権が公平に尊重される地域づくりの推進に向けて地域住民に対して適切な助言ができる体制を確立する。	人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・人権に関する映像を総会で放映し、啓発活動を行った。来年度以降も映像の放映を継続実施していきたい。 【今後の方針】 ・内容を愛えながら継続開催していきたい。		
ひろば演芸会	7月13日	1回	地域事業(文化)	成人	94人	【内容】 ・沖繩三線や落語 【ねらい】 ・住民同士の交流促進を図る。	福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 ・ 【今後の方針】 ・継続開催		
体育協会東山部ブロック親睦球技大会	7月14日	1回	スポーツ	成人	中止	【内容】 ・体育協会東山部ブロック(入山辺・里山辺・本郷・岡田・四賀)5地区の親睦を目的に開催。林城址ウォーキングを体験し、各地区間の交流促進を図る。(当番地区:里山辺) 【ねらい】 ・東山部ブロック同士の交流促進を図る。	東山部各体育協会	【評価と反省】 ・2年連続で雨天のため中止となった。 【今後の方針】 ・継続開催		
第32回親子ひろば	7月27日	1回	地域事業(文化)	成人	600人	【内容】 ・地区の夏祭り。スライムづくり、流しそうめん、魚のつかみ取り、綿あめ配布、ポップコーン配布、映画鑑賞会 【ねらい】 ・地域の連帯感、親子のふれあい、世代間交流を促進する。	実行委員会(JA山辺支所、子ども会育成会、体育協会、社会福祉協議会、入山辺記念林協議会、町内公民館長会、健康づくり推進委員会、交通安全協会、民生児童委員協議会、民謡サークル)	【評価と反省】 ・今年度から新たにポップコーンの配布と映画鑑賞会を行い好評だった。 ・参議院選挙の関係で例年より1週間遅い開催となったが小学校の夏休み期間になったため来場者が増加した。来年度以降の実施時期について検討していきたい。 【今後の方針】 ・継続開催		
薄川で魚つかみ体験	7月31日	1回	趣味教養	青少年	30人	【内容】 ・薄川で魚つかみ体験と水生生物の観察をする。 【ねらい】 ・薄川の生態や自然を観察するとともに、生きた魚に触れ人と自然の共生を学ぶ。	里山辺公民館	【評価と反省】 ・子どもが自然と触れ合えるいい機会となった。		
乗鞍高原ウォーキング	8月17日	1回	趣味教養	その他	23人	【内容】 ・乗鞍高原約5.5kmを散策。 【ねらい】 ・地域の子どもから大人まで幅広い世代の交流の機会と健康増進を図るもの。		【評価と反省】 ・散策するには歩きやすい気候・気温であり、参加者からも好評だった。来年度は場所を変えて散策を行いたい。 【今後の方針】 ・散策場所を変更して開催		
刃物研ぎ講座	8月22日	1回	趣味教養	成人	13人	【内容】 ・刃物研ぎ 【ねらい】 ・刃物の研ぎ方を学び、家庭で使いやすい刃物にする。	シルバー人材センター	【評価と反省】 ・研ぎ方を学び、切れ味のいい刃物になったと参加者から好評だった。 【今後の方針】 ・継続開催		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	G S	食育
山辺小学校章刈り	8月31日	1回	地域事業 (その他)	成人	58人	【内容】 ・山辺小学校校庭及びその周辺環境の整備を行った。 【ねらい】 ・山辺小学校運動会に向けてグラウンドの整備をし、運動会で子どもたちが活発に競技できるようサポートする。	町内公民館長会（里山辺、入山辺） 里山辺公民館	【評価と反省】 ・里・入山辺の町内公民館町会で協力してスムーズに作業が行えた。 【今後の方針】 ・継続開催		○
第36回松本市長杯争奪球技大会東山部ブロック予選大会	9月8日	1回	スポーツ	成人	30人	【内容】 ・体育協会東山部ブロックから軟式野球とバレーボールの松本市長杯争奪球技大会への代表チームを選出する。 【ねらい】 ・東山部ブロック同士の交流を図りながら、ブロック代表チームを決める。	東山部各体育協会	【評価と反省】 ・軟式野球とバレーボールに参加し、地区の間意識を醸成するきっかけとなった。 【今後の方針】 ・継続開催		
第5回入山辺地区通学合宿	8月25日 9月18日 ～21日	1回	子育て	青少年	26人	【内容】 ・小学校高学年を対象に、異年齢の子ども達が泊4日の共同生活を営むことで、主体性や自立心を育むとともに、「社会力」や「生きる力の向上」を図るもの。今年8月25日の保護者説明会とともに合宿で使用する「マイ箸」を作成した。 【ねらい】 ・共同生活を通して「社会力」や「生きる力」等を育むとともに、「地域の子どもは地域で育てる」という地域循環型の取組みを構築していく。	実行委員会（子ども会育成会、山辺小学校、松本大学、農村女性委員会、JA女性部入山辺支部等）	【評価と反省】 ・学生ボランティアが活発に活動をしてくれた。来年度以降も大学と連携を密にしながら実施していきたい。 ・事業内容がマンネリ化の傾向にあるので、内容について変化を加えていながら今後実施していきたい。 【今後の方針】 ・今年度で第5回目の開催となり地区内にも活動が定着してきており、段取りや当日の活動等が円滑に進んでいる。今後も継続実施していきたい。		○
第62回松本市市民体育大会秋季大会	10月13日	1回	スポーツ	成人	中止	【内容】 ・地区より5競技（軟式野球、ソフトバレーボール、卓球、ゲートボール、ソフトボール）に出場するとともに住民が応援に参加 【ねらい】 ・交流促進及び健康増進を図る。	体育協会	【評価と反省】 ・台風の影響で中止となった。来年度以降も参加をしていきたい。 【今後の方針】 ・継続開催		
農村女性委員会視察研修	10月14日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	18人	【内容】 ・拾ヶ堰の視察や大王わさび農場でワサビ漬けの体験講座など。 【ねらい】 ・会員の資質向上、相互交流を図る。	農村女性委員会	【評価と反省】 ・会員の資質向上の一翼を担っている。 【今後の方針】 ・継続開催		
第91回入山辺地区大運動会	10月20日	1回	地域事業 (体育)	その他	雨天中止	【内容】 ・各種競技で町会ごと得点を競う。（半日開催） 【ねらい】 ・健康増進や地域の団結力の向上を図る。	実行委員会（体育協会、町会連合会、町内公民館長会等地区内各種団体）	【評価と反省】 ・前日準備まで行ったが降雨によるグラウンドコンディション不良により中止となった。 ・反省会の中で来年度以降運動会への参加はできないという町会があった。運営方法や種目の変更を行い、高齢化が進む中でも継続実施していける運動会にしていきたい。 【今後の方針】 ・今後も継続実施できる運動会にするための方法を模索していきたい。		
第43回入山辺地区文化祭	11月3日	1回	地域事業 (文化)	その他	700人	【内容】 ・ステージ発表、展示作品発表 【ねらい】 ・地区住民の文化活動発表の場を設け、文化力向上や地域活性化を図る。JA山辺支所の収穫祭と同時開催し、多くの集客を呼び込む。	実行委員会（町内公民館長会、健康づくり推進委員会、農村女性委員会、体育協会、子ども会育成会、ゲートボール愛好会、交通安全協会、JA山辺支所、入山辺福祉ひるば、こんな山辺にするじゃん会）	【評価と反省】 ・ステージ発表では新たな団体による発表があり好評だった。 ・年々展示物が減少してきているので出品者の掘り起こしに努めたい。 【今後の方針】 ・継続開催		
町会対抗ゲートボール大会	11月3日	1回	地域事業 (体育)	成人	45人	【内容】 ・町会対抗のゲートボール大会 【ねらい】 ・健康づくりや仲間づくりを図る。	ゲートボール愛好会 体育協会	【評価と反省】 ・天候に恵まれ盛況に開催できた。 【今後の方針】 ・文化祭と同日開催することにより、集客効果もあるため継続開催したい。		
バッククッキング講座	12月13日	1回	趣味教養	成人	11人	【内容】 ・バッククッキングを学ぶ。また、栄養士から災害時の食事や気を付けることについて話しをして頂く。 【ねらい】 ・健康づくりや仲間づくりを図る。	食生活改善推進員	【評価と反省】 ・災害時の調理方法の一つとしてバッククッキングについて学ぶ機会となった。また、栄養士から災害時の食事について学び参加者から好評だった。 【今後の方針】 ・共催団体と相談しながら内容等検討		
いきいき百歳体操体験会	12月23日	1回	その他	成人	16人	【内容】 ・負荷を調節できる「おもり」を使用した体操を行う 【ねらい】 ・いきいき百歳体操を知ってもらい、今後の活動に繋げるきっかけとしてもらう	北部保健センター	【評価と反省】 ・いきいき百歳体操を知ってもらう機会となった。 【今後の方針】 ・今回の体験会でいきいき百歳体操を知った方がその後継続的に体操を行う等の活動に繋がったか調査していきたい。		
そば打ち講座	1月25日	1回	趣味教養	その他	14人	【内容】 ・地区の蕎麦打ちサークルの方を講師に迎え、そば打ちのノウハウを学ぶ。 【ねらい】 ・子どもと大人と一緒にそば打ちを学ぶ世代間の交流として実施。	こんな山辺にするじゃん会 地域住民	【評価と反省】 ・種まきから脱穀まで行った入山辺産のそば粉を使用し、参加者から好評だった。 ・今年はこんな山辺にするじゃん会の餅つき大会と同時に開催したため、そば打ち講座の参加者以外にも地域の交流があり好評だった。 【今後の方針】 ・継続開催		○
山辺地区立志式	2月1日	1回	子育て	青少年	69人	【内容】 ・山辺地区に住む中学2年生を対象とした「立志」の式典。 【ねらい】 ・中学生に町会の組織や機能を知ってもらう機会とし、地域の一員であるという意識を持ってもらう。	山辺地区立志式実行委員会	【評価と反省】 ・生徒たちの進路決定の後押しや、社会性の向上に繋がった。 【今後の方針】 ・継続開催		○

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	G S	食育
男の健康料理教室	2月13日	1回	趣味教養	成人	16人	【内容】 ・黒豆寿司、肉巻きフライ、お吸い物、合わせ出汁の料理教室。 【ねらい】 ・健康づくり、仲間づくりを図る。	農村女性委員会	【評価と反省】 ・男性の参加人数を増やしていきたい。 【今後の方針】 ・地区の関係団体と共催していきながら参加者の裾野を広げたい。		○
人権講座視察研修	2月15日	1回	人権平和	成人	16人	【内容】 ・千曲市の「長野県人権啓発センター」で講演及び見学と小布施町周辺の散策 【ねらい】 ・人権について学び、差別の地域を目指す。	人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・外国人の人権問題やヘイトスピーチについて学習する良い機会となった。 【今後の方針】 ・継続開催 ・暖かい季節に開催できるか検討したい。		
人権講演会	2月21日	1回	人権平和	成人	43人	【内容】 ・人権と個人情報との関わりについての講演会。 【ねらい】 ・個人情報が重要視される中で人権と個人情報の関係について考える機会とする。	老政会 人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・もう少しテーマに沿った講演をして頂ければ良かったと感じた。 【今後の方針】 ・継続開催		
味噌づくりとピザ講座	3月21日	1回	趣味教養	その他	中止	【内容】 ・親子でできる味噌づくりと手作りピザづくり。 【ねらい】 ・大人と子どもが交流できる世代間交流として実施。	子ども会育成会 地区団体	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・継続開催		○
中学生と語る会	3月25日	1回	地域文化	青少年	中止	【内容】 ・山辺中学校卒業生（入山辺地区在住者）が一堂に会し、そばクッキー作りや昼食会を交えながら地域住民との意見交換会を行う。 【ねらい】 ・小学生の頃は育成会行事等で地域とのつながりは比較的深い、中学生になると一転希薄化する。地域の良さに気付き愛着を深める。	町会連合会 民生児童委員協議会 子ども会育成会 福祉ひろば	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・継続開催		○
生け花と自然素材のクラフト講座	6月27日 10月31日 11月28日 12月12日	4回	趣味教養	成人	47人	【内容】 ・自然素材を利用して、籠や花台等のインテリアを作成 【ねらい】 ・地域の自然環境を見つめ直すきっかけ、仲間づくりや生きがいづくりの場とする。また、松風園と連携しながら、入所者と地域住民の交流促進の場とする。	松風園	【評価と反省】 ・材料の調達に多大な労力を要しており、マンネリ化の傾向もある。また講師の方も高齢となっており内容について再考する必要がある。 【今後の方針】 ・講座内容に変化をもたせ参加者の裾野を広げたい。		
みんなのそばで楽しむ味隊 SOBA講座	7月27日 10月12日 10月26日 1月25日	4回	趣味教養	成人	25人	【内容】 ・そばの種まきから、刈取り・脱穀まで関わり、収穫した新そばで蕎麦打ちをし、自分で作ったそば猪口でそばを味わう。 【ねらい】 ・そば栽培を通じ農業と自然に親しむことで、入山辺の魅力を再発見し、世代・地域を越えた交流を図る。	こんな山辺にするじゃん会	【評価と反省】 ・参加者が少なかったので来年は周知の方法等を工夫していきたい。 【今後の方針】 ・関係団体と検討しながら継続実施していきたい。		
ウォーキング講座	通年	12回	福祉健康	成人	205人	【内容】 ・入山辺地区ウォーキングコースを中心に歩く。 【ねらい】 ・健康意識の高揚、仲間づくり	福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 ・四季折々の季節感を満喫できた。 ・冬季は介護予防講座を行った。 【今後の方針】 ・継続開催		
入山辺地区カレンダー発行	毎月1回 全12回		地域文化	成人		【内容】 ・地区内の行事や各種団体の会議予定などを幅広く掲載するように努めている。 【ねらい】 ・全戸配布して幅広く住民に周知する		【評価と反省】 ・可能な範囲で情報を盛り込むことができた。 【今後の方針】 ・各種団体等に情報提供を呼びかけ、引き続き掲載内容の充実化を図りたい。		
福祉ひろば事業推進協議会支援	通年		公民館委員会・各種会議等	成人		【内容】 ・地区公民館長、センター長、公民館主事が推進委員として参画している。 【ねらい】 ・公民館活動との連携強化、地域づくり政策の一翼を担うため継続的な支援を行う。	福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 ・地域づくりセンター、公民館からの情報伝達の機会ともなっている。 【今後の方針】 ・引き続き連携を密にして、支援を継続していきたい。		
入山辺地区の将来ビジョンを考える会（こんな山辺にするじゃん会）	通年		公民館委員会・各種会議等	成人		【内容】 ・地域の課題解決に向けて会を4グループ（観光と魅力発信・食農振興・住みやすい地域づくり・DIY）に分けて、それぞれの課題に沿った解決に向けて活動を展開している。 【ねらい】 ・将来の入山辺地区のあり方を地域住民皆で考え、地域課題の解決に向けて具体的に行動していくため。	町会連合会 各種団体会長	【評価と反省】 ・新たな実施活動も増え、活動に広がりが見えた。今後の方向性や、地域の課題について将来を見据えた活動を今後も行っていきたい。 【今後の方針】 ・地域住民が主体的に会を進めていけるよう、職員の間取り方、支援のあり方を模索していきたい。		
5部門委員会支援	通年		公民館委員会・各種会議等	成人		【内容】 ・各委員会の自主性を大切にしながら、各種事業の立案や開催のための側面支援を行う。 【ねらい】 ・住民主体の地域活動の促進を図る。	運営委員会 館報編集委員会 図書委員会 体育委員会 文化委員会	【評価と反省】 ・各委員会の自主性、自立性をさらに促したい。 ・委員の人数が減ってきているので新たな人材発掘を行いたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
公民館使用団体等支援	通年		公民館委員会・各種会議等	成人		<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館を使用する団体やサークルを後方支援する。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体等の活動内容を地区内に還元できる機会を設けながら、地区の活性化や文化力の向上を図る。 		<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体やサークルの自主性を損なわないよう十分配慮しながら、必要に応じて支援していきたい。 		
公民館だより発行	通年		地域文化	成人		<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館講座の開催周知を図るため、月1回の広報まつもとの配布に合わせて発行する。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館活動や事業の周知。 		<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座の開催周知に終始している。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読みやすい、読みたくなるような紙面づくりに腐心していきたい。 		
図書貸し出し	通年		公民館委員会・各種会議等	成人		<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書室に中央図書館から貸出を受けた本を中心に約700冊を配架している。図書委員が年2回入替作業を実施している。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まで幅広い年代層が興味を持てる様々なジャンルの本を備えており、読書活動の推進を図っている。 	図書委員会	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知方法を工夫して、さらなる利用促進を図りたい。 		
公民館報「いりやま」発行	年6回		地域文化	成人		<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回編集委員会を開催し、松本市公民館報の入山辺版として発行する。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の様々な情報提供 	館報編集委員会	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の行事を中心にあつかうとともに、入山辺線の利用状況や松くい虫についてなど地区内で関心のあることを取り上げることができた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館報編集委員会が主体的に取り組めるようサポートしていきたい。 		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針・地域課題】
 ・公民館事業の実施に際し、公民館運営委員会等において地域の公民館として求められていることについて意見をうかがい、前年度の公民館事業についての反省点と改善点を洗い出し、時代や住民の生活実態で変化する需要や課題に即した事業の見直しを行う。

・地域で取組む重点課題について町会連合会を中心とした緩やかな協議体で議論を深め、それに関係する学習会を継続して開催するなど幅広い世代や地域の各種団体との関わりをもつ公民館がコーディネートしていく。

・公民館の重点目標である「地域の子どもは、地域で育てる」取組みを学校と連携して進め、地域住民と小・中学生が多様な機会に関わり合い、子どもたちが地域の一員としての誇りを持ち、積極的に地域で活動できる環境をつくる。

・町内公民館長会等と連携を図り、公民館活動及び地域づくりを推進する車の両輪という意識を醸成する。

・多世代参画型地域共生コミュニティの構築を目指し、モデル町会の新井町会において多様な世代の住民が集まり、「町会の魅力」や「町会が自らの生活にどのように結びついているのか」について自由に話し合う場をつくり、そこで得た意見や思いの共通点や将来志向する町会について、連携する東京大学の牧野研究室から客観的な視点を提示してもらっている。多様な住民の思いを共有するプロセスから、町内公民館での多世代交流事業の推進を図る。

評価・反省等

・伝統文化や豊かな自然環境、地域のルーツや歴史等を活かした講座や地域行事を次世代を担う子どもたちへ受け継ぐとともに、そこで生まれる多世代間の交流を促進することが住民による地域づくりに最重要と考える。これまで継続してきた事業の効果を中長期的な視点で検証し、必要な事業の見直しを行っていく。

・町会連合会や町内公民館、各種団体と足並みを合わせ、緩やかな協議体において地域の課題とまちづくりの目標を話し合うことを継続している。この営みを継続していくとともに、多くの住民が参加してそれぞれに取り組む基盤をつくっていきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員等
	平人和権	福祉健康	子育て	環境	文化地域	教養趣味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数		2	5		5	2	2		3	9	2		6
延べ参加人数		406	302		291	38	168		14	1072	1050		596

	G S	食育
事業数	2	4
延べ参加人数	127	354

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
第16回山辺の郷健康ウォークラリー大会	4/13(土)	1回	地域文化	家庭教育	61人	レクリエーション、健康づくり、地域の魅力再発見などを目的に実施。 山辺地域の名所・旧跡を結んだコースをめぐり、地元の歴史や文化、地名の謂れなどに因んだ問題を出題する。時間得点(ゴール時間と標準時間の差)と課題得点(問題の正答数)で順位を競う。 【福祉健康】、【子育て】	実行委員会において企画・運営を行う。 実行委員会の構成団体は、入山辺公民館、入・里山辺健康づくり推進員会、入・里山辺子ども会育成会、入・里山辺福祉ひろば、山辺スポーツ少年団。	子どもからお年寄りまで幅広い年代層の皆様にご参加いただき、春の訪れを肌で感じながらウォークラリーを満喫してもらった。 今年度は地元の名産品を賞品とした。 来年度も桜が満開で農作業(田植え等)が本格的に始まる前の4月中旬に開催する予定。		
第4回里山辺地区親睦ゴルフ大会	5/23(木)	1回	地域事業(体育)	成人	80人	個人競技の地区大会として、町会のゴルフ同好会や一般募集で参加者を募っている。今年度は豊科カントリークラブで開催。	里山辺親睦ゴルフ大会実行委員会(町会のゴルフクラブ等を中心に各町会から1名ずつ選出)と共催。	個人スポーツの需要が高く、できるだけ多く地区住民が参加でき、競技を通じて身近なつながりづくりや競技仲間として関係が継続することを目的に、競技に精通する団体に大会運営を行っていただいている。		
第49回ソフトボール・ソフトバレーボール大会	6/2(日)	1回	地域事業(体育)	成人	300人	地区住民相互の親睦や町会内の親睦、健康の増進を図る目的で開催する町会対抗の地区体育大会。	本部体育委員会で企画・実施。町会のチーム編成は町内体育委員がとりまとめる。	町会対抗競技を通じて地区住民相互の親睦や、町会内の親睦・連帯に寄与している。 ソフトバレーボールの審判について、町会から出すことができないことも多々あり、本部から委嘱する審判員に対応するなど、今後検討課題である。		
体育協会東山部ブロック親睦球技大会	7/14(日)	1回	地域事業(体育)	成人	中止	松本市体育協会第一ブロックの5地区(本郷・岡田・入山辺・里山辺・四賀)の親睦球技大会。林城跡へのウォーキングを行う予定であったが、雨天のため中止。	松本市体育協会第一ブロックの5地区の体育協会(本郷・岡田・入山辺・里山辺・四賀)で共催。 本年度里山辺地区が当番で企画を行った。	例年、ニュースポーツや球技を内容とした企画が続いていたが、今年度から地域の文化財や名所旧跡を親睦のついでにウォーキングで健康増進を図る提案を行った。来年度も同様の企画が実施できるように考えている。		
薄川で魚つかみ体験	7/31(水)	1回	子育て	青少年	30人	薄川の生態や自然を観察するとともに、生きたニジマスを手で捕まえて自分の獲った魚を家で食べることで自然の中で生きていることを感じる講座。 今年度は小松橋上流100m位の浅瀬で実施した。 犀川漁協(河川使用の許可)、(有)カワグチ(ニジマスの購入)に協力してもらい実施。 【環境】	入山辺公民館と共催。 両地区で参加を呼び掛け、当日の準備や運営も連携して行っている。 エクセルン高校環境科学コースの生徒に水生生物の観察について協力をお願いしている。	川幅の広いポイントで活発に魚つかみに挑戦できた一方、魚の隠れ場が多く例年よりも魚の捕獲数が少なかった。一方で夏休みに近くの川で自然と触れ合える体験は貴重であり、来年度も企画していきたい。		
フォレストキャンピング山辺	8/17(土)~18(日)	1回	子育て	青少年	21人	夏休みの期間に親子で自然と触れ合い自然の中で生活する楽しさを学ぶとともに、キャンプを通じて共同生活の体験をする。松本市の教育施設である「美ヶ原少年自然の家」を拠点に実施。 (1日目) ・周辺散策(美ヶ原台上コース 山本小屋~王ヶ頭) ・屋内学習(美ヶ原高原から見える星について) ・キャンプ体験(飯盒炊飯) ・レクリエーション(花火、望遠鏡づくり) (2日目) ・防災食づくり ・沢遊び、水生昆虫観察 【環境】		自然に触れ、自然を愛する心を育み、「地域の子どもは地域で育てる」ための良い機会となっている。 近隣の施設を活用する野外体験学習として来年度も継続したい。		
第15回マレットゴルフ大会	8/20(火)	1回	地域事業(体育)	成人	42人	個人競技の地区大会。 中山霊園マレットゴルフ場で開催し、今年は芝・林間・桜の全コースで競技を実施。	里山辺マレットゴルフ同好会と共催。	個人スポーツの需要が高く、できるだけ多く地区住民が参加でき、競技を通じて身近なつながりづくりや競技仲間として関係が継続することを目的に、競技に精通する団体に大会運営を行っていただいている。 全コースをめぐることが参加者に好評であり、いかに参加者がプレーを満足できるか考えていきたい。		
第66回野球大会	8/25(日)	1回	地域事業(体育)	成人	300人	地区住民相互の親睦や町会内の親睦、健康の増進を図る目的で開催する町会対抗の地区体育大会。	本部体育委員会で企画・実施。町会のチーム編成は町内体育委員がとりまとめる。	町会対抗競技を通じて地区住民相互の親睦や、町会内の親睦・連帯に寄与している。 例年、野球会場の一つであった松本県ヶ丘高校第二グラウンドが学校事業で使用できず、山辺小学校グラウンドを整備し(前日に陸上用コースロープを取り外し、大会終了後復旧)、使用した。今後同会場で開催を検討したい。		
山辺小学校校庭の草刈り作業	8/31(土)	1回	子育て	成人	58人	小学校の運動会の2週間前に、校庭および校舎周辺の草刈りを「地域の子どもは地域で育てる」ための活動として実施している。	里山辺地区町内公民館長および入山辺地区町内公民館長の協力で、各地区の町会関係者等に声を掛けてもらい、実施している。 ピーパー等では時間がかかる芝生部分は乗用モアでの作業とし、若手の農業者の方々に協力してもらっている。	地域住民が地域の子どもたちのためにボランティアとして活動する「やまべっ子応援団」が平成30年度から組織されており、山辺小学校での学習支援を行っている。そのため、地域で一斉に行う草刈り作業のみ、公民館事業として企画および実施をしている。 学校からは南側のフェンス沿いの桜の木の枝打ちを実施できないかという声もあるが、現状は高所作業車による作業となるため業者へ依頼することを検討している。		
町内公民館町会・里山辺公民館合同研修会	9/14(土)	1回	その他	成人	14人	テーマ:「公民館の草創当時の思いを学ぶー日本初の公民館「妻籠公民館」の歴史からー」 里山辺地区町内公民館長と里山辺公民館とが連携し「両輪の輪」として公民館活動を推進する上で地域に密着した公民館のあり方を模索する機会とする。 今回は公民館活動の原点に立ち戻り、日本初の公民館である妻籠公民館の設立の歴史から現在までの活動の歩みについて学び、今後の公民館活動に活かす企画とした。	里山辺地区町内公民館長と合同で実施。 南木曾公民館の職員に現地の案内や学習会の企画をお願いした。	内容については町内公民館長の関心のあるテーマや視察先を選定し、相互に連携を図るためどのようなことが必要か考える場としたい。		
市民体育大会	10/13(日)	1回	地域事業(体育)	成人	中止	軟式野球、卓球、ゲートボール男女、ソフトバレーボール、マレットゴルフの5種目で、地区代表チームを選出し、他地区との対抗競技を行う。 台風のため中止。	各種目本部体育委員が担当して張り付き、チームの支援や応援、ユニホーム等の回収をお願いしている。	昨年度総合優勝をしたため、今年度は開会式において選手宣誓を行う予定であった。しかし、大会全体が台風による大雨のため中止となり、選手宣誓は来年度に持ち越すこととなった。 地区の総力で臨む大会であり、種目を超えて地域住民のつながりをつくる場としたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
第64回大運動会	10/20(日)	1回	地域事業(体育)	成人	中止	地区住民相互の親睦や町会内の親睦、健康の増進を図る目的で開催する町会対抗の地区体育大会。 雨天によるグラウンド不良で中止。	本部体育委員会で企画・実施。町会のチーム編成は町内体育委員がとりまとめて行う。	町会対抗競技を通じて地区住民相互の親睦や、町会内の親睦・連帯に寄与している。 松本市の体育行事が10月～11月初旬に集中するため、現在の時期となっている。入山辺地区運動会と同日開催であり、両地区に関係する方々には時間をずらして参加いただいている。しかし、別の時期の検討は現状難しい。		
秋の山城ウォーク	10/22(火・祝日)	1回	地域文化	成人	中止	講師：澤柳 秀利さん(松本市学芸員) 平成29年2月に国史跡に指定された林城跡と関連の深い小笠原氏の築城した山城群を順々にめぐる講座。今回は埴原城跡(中山地区)を予定していた。講師の研究資料や当時の文献と紐づけて城の歴史等を紹介してもらい、今話題の登山と歴史探訪を掛け合わせた内容となっている。 雨天のため中止。	講師とともにコースを確認し(下見)、行程を組むようにしている。 説明資料は講師に作成をお願いしている。	市内の山間部に点在する山城群はその地域の生活様式や文化とも影響しており、歴史と共に深く学ぶことで、地域の魅力を発見できる講座と考えている。 来年度は今行けなかった埴原城跡をめぐる予定である。		
第45回文化祭	11/2(土) 11/3(日)	1回	地域事業(文化)	成人	1,000人	日頃から取り組む地区住民の芸術文化活動を地区の一般の方へ発表・展示するステージ発表会および作品展示会を開催している。1日目は作品展示会のみ開催、2日目はそれに加えてステージ発表や販売・体験のコーナーを開催している。(2日目は入山辺地区でも文化祭を開催している) また、大勢の方に来場してもらうため、地区福祉ひろば事業推進協議会で主催する「福祉ふれあいフェスティバル」と合同で開催し、家族で参加できるアトラクションを設けるなど多世代交流となるように工夫している。 作品展示では、保育園児や小学生、中学生、高校生(エクセラン高等学校)から町会で推薦を受けた住民まで、多彩な作品を展示している。 ステージ発表では、山辺小学校合唱団およびフリーズウィングス(金管バンド)、山辺ドリーム大学の2学科(スクエアダンス、横笛)、公民館・福祉ひろばの各サークルなど、多世代・多ジャンルの発表となっている。	本部文化委員会で企画し、町会ごとでの作品の取りまとめは町内文化委員が行う。 開催要項について、実行委員会(福祉ひろば事業推進協議会、福祉ひろばコーディネーター、本部文化委員会)で検討の上決定し、本部・町内合同文化委員会で文化祭の準備と当日の運営について確認し、協力して運営している。 ステージ発表の出演団体や販売・喫茶コーナーの出店団体は公民館で呼び掛けて、当日の分担について打ち合わせを行う。	作品展示では、作品数が減ってきており、町会ごとに推薦してもらう作品数を増やす必要がある。 文化祭の開催時期については、松本市市民祭や市長杯争奪球技大会など規模の大きいイベントと重なったためか(特に1日目の)来場者が少ない傾向にある。1日のみの開催とすることも検討すべきかもしれない。		
本の読み聞かせと工作	11/3(日)	1回	地域事業(文化)	青少年	50人	地区文化祭に合わせて実施した講座。	図書視聴覚委員会で企画、道具の準備、当日の運営を行っている。	図書視聴覚委員の手作り講座で子どもたちを中心に好評のコーナーになっている。今後も実施していきたい。		
親子そば打ち講習会	11/9(土)	1回	地域文化	家庭教育	40人	親子で伝統文化を学び、文化の継承と食育につなげている。 【子育て】	里山辺子ども会育成会・山辺児童センターと共催。	親子でなかなか体験できない地域の文化を体験して学び、楽しみながら文化の継承と食育につなげている。今後も継続して実施していきたい。		○
第63回卓球・第40回ゲートボール大会	11/18(日)	1回	地域事業(体育)	成人	200人	地区住民相互の親睦や町会内の親睦、健康の増進を図る目的で開催する町会対抗の地区体育大会。 平成30年度から卓球大会では個人戦をオープン競技としている。 平成29年度からゲートボール大会では、山辺中学校ドリーム大学ゲートボール学科のチームがエントリーしている。	本部体育委員会で企画・実施。町会のチーム編成は町内体育委員がとりまとめて行う。	町会対抗競技を通じて地区住民相互の親睦や、町会内の親睦・連帯に寄与している。 卓球競技がオープン参加となり、参加できる人の範囲が制度上拡大した。 また、中学生の参加でゲートボールを通じての世代間交流が図られている。		
しめ縄教室・わいわいもちつき大会	12/14(土)	1回	地域文化	家庭教育	160人	地域の伝統文化を学び、文化の継承につなげている。 【子育て】	里山辺子ども会育成会・山辺児童センターと共催。	親子でなかなか体験できない地域の文化を体験して学び、楽しみながら文化の継承と食育につなげている。今後も継続して実施していきたい。		○
山辺地区立志式	2/1(土)	1回	子育て	青少年	69人	参加者が地域の先輩の話を聞き今後の進路決定の一助とするとともに、地域の一人として地域活動に参加する契機をつくる目的で、山辺に住む中学2年生を対象とした「立志」を祝う式典。3/4成人式。 「町会・地域での生活」 田村 里山辺地区町会連合会長 「チェロ演奏会」 嘉納雅彦さん、嘉納尚代さん 「地域の防災を担う活動」 松本市消防団 第18分団 加納分団長 「決意のことば」 「漢字一字の発表」 参加者代表	実行委員会において企画・運営を行う。 実行委員会の構成員は、山辺中学校長、里山辺地区町内公民館長、里山辺公民館図書視聴覚委員長、里山辺地区子ども会育成会長、山辺中学校PTA、清水中学校PTA、入山辺公民館	数え年で15歳の節目を地域でお祝いする場として定着してきている。学校や町内公民館長会において事業の趣旨が理解されてきており、対象者へ参加の呼び掛けの協力を積極的にしてくれている。ただ、清水中学校への事業の周知と協力依頼を早めに行わなかったため、清水学区の参加者が少なくなった。年度当初から事業内容の周知と協力依頼をした。 参加者へのアンケートには「地域の活動で支えられていることが分かった」、「地域の行事に参加していきたい」、「これからの人生を歩む決意につながった」など、前向きに自分をみつめる回答が多く見られた。 来年度も入・里山辺の行事として関係者と連携の上、継続して実施していきたい。		○
やしよま作り教室	2/8(土)	1回	地域文化	家庭教育	30人	地域の伝統文化を学び、文化の継承につなげている。 【子育て】	里山辺子ども会育成会・山辺児童センターと共催。	親子でなかなか体験できない地域の文化を体験して学び、楽しみながら文化の継承と食育につなげている。今後も継続して実施していきたい。		○
親子スキー教室	3/7(土)	1回	スポーツ	家庭教育	中止	場所：Mt乗鞍スノーリゾート 地域在住のスキーインストラクターに講師を依頼し、子どもたちの覚えに応じたコース設定やカリキュラムで指導してもらった講座。 【子育て】 コロナウィルスの感染防止のため中止。	地域のスキーインストラクターと調整しながら、会場や指導内容を検討している。	小さい頃からスキーに親しむ機会をつくり、冬の雪山を楽しむことを習慣にするとともに、延いては郷土への愛を育んでもらいたい。 中止としたが、参加希望者は多く、住民の関心の高い講座として継続していきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C	S	食育
わいわいカレー事業	4/20 (土) 5/19 (日) 6/22 (土) 7/28 (日) 9/15 (日) 9/29 (日)	6 回	子育て	家庭教育	124人	小学生が農作業を体験し、自分たちが育てた野菜・米でカレーライスを作って味わう講座。 地域づくり推進交付金の交付金を財源とし、地域での多世代交流を促進する。【地域文化】	まちづくり協議会と共催。 (有)ファームワーク山辺、地域ボランティア(農作業支援、調理支援)、JA松本ハイランド山辺支所に協力をいただいている。	子どもたちが、食について学習するとともに、多くの住民が関わることで、幅広い世代の交流の場として、住民同士のつながりが深まった。 来年度は山辺特産のぶどうの収穫に立ち会うなど、学習体験の幅を広げたい。			○
男の料理教室	5/16 (木) 8/8 (木) 11/7 (木) 2/20 (木)	4 回	趣味教養	成人	38人	料理の楽しさ、自分で作った料理を味わいながら、地域における人と人との関係づくりになることを期待し続けて開催している。対象者は男性。 講師：久保田一さん(兎川寺町会)	福祉ひろばと共催。 メニューは講師に考えてもらい、季節の食材を使うように知恵を出してもらっている。	新しいメニューにも挑戦し、地区内外から新しい参加者も受講しているが、決まった参加者のみが参加することも多い。参加者に周囲の仲間を気軽に誘ってもらうように工夫している。 講師と料理内容を工夫するとともに、開催日を休日も含め検討して新しい参加者が参加しやすい講座にしたい。			
ガーデニング講習会	5/24 (金) 11/15 (金)	2 回	趣味教養	成人		春と冬の年2回開催。 季節に合った花を自分なりにプランターに敷き詰め、寄せ植えを行う講座。春は庭先で楽しめるものを、冬は花が少なくなる時期に向けて玄関先で楽しめるものをテーマとした。 講師：塩原園芸 塩原 文夫さん、塩原 幸子さん	里山辺花いっぱいボランティアと共催。	自分なりの作品をつくる毎年好評の講座。 花のない冬の時期にも開催し、長く映き続けるための保存方法を学ぶなどプロが教えるコツも講座の目玉となっている。 例年春の講習の参加者が少ない傾向にあるため、開催時期や内容について講師と相談して検討したい。			
美ヶ原ウォーク	6/23 (日) 10/14 (日)	2 回				美ヶ原ロングトレイルのコースを活用し、市の庁用バスを使って日帰りして巡る講座。①地域在住者も意外と行ったことがない美ヶ原の魅力を知ってもらおうこと、②参加者同士で楽しくふれあひながら歩いて山の散策に興味をもってもらうことを目的とする。6/23は美ヶ原自然保護センターから王ヶ頭・王ヶ鼻をめざすコース、10/14は三峰山をめざすコース(前日の雨でコースを変更し、最短ルートで三峰山へ登り、帰り道に美ヶ原高原美術館の施設見学を実施)で実施した。		松本の代表的な観光地である美ヶ原高原に整備されたコースを歩く貴重な講座である。子どもから高齢の方まで参加しており、幅広い世代の方が参加できる講座にする工夫をさらに検討したい。 5年間継続してきた講座であり、美ヶ原高原ロングトレイルのコースをほぼ網羅してきたが住民の意向等を聞きながら、これまで挑戦したコースももう一度採用しても良いと考える。			
市長杯争奪球技大会 第一ブロック予選・本戦	9/8 (日)・ 10/21 (日)	2 回	地域事業(体育)	成人	150人	ブロック予選ではママさんバレーボールと軟式野球とともに優勝し、本戦出場となった。 本戦では軟式野球、ママさんバレーボール、ソフトバレーボールの競技で準優勝。その他、卓球、ゲートボール、ソフトバレーボール、マレットゴルフに地区として出場した。	地区体育協会での事業の準備や当日のチームの支援を行った。 ブロック予選については5地区(本郷・岡田・入山辺・里山辺・四賀)の体育協会と実施日程と競技内容を検討し、決定した。	各競技ともに地区選抜としてチームを組み、地区の総力をもって戦いました。多くの競技で好成績を収めました。 地区文化祭と同日開催であったが、本部体育委員に各種目に張り付いて対応してもらいチームの支援や応援、ユニホーム等の回収等、滞りなく行うことができた。			
まちづくり協議会	月1回の定例開催	12 回	その他	その他	20人程度/回	各回テーマは話し合いの中で共通して挙げられたもの、課題を扱い、地区として取り組む必要があることを検討している。 自由に話し合うことを大切にしているため、ワークショップ形式で様々な意見を出し合う工夫をしている。	事務局は地域づくりセンターで、公民館も開催内容の準備、当日の運営等で連携している。	地域での助け合いやお互い様の関係づくりは里山辺に住む人の誰もがいつかは関わることであり、継続して学習し「自分たちに何ができるか」を考えることが大切である。 継続して住民の皆さんが学習を深めていく必要があり、来年度も継続して開催していく。 公民館独自の学習会や講座にも生かせる内容や意見を参考にしていきたい。			
さと健 (里山辺健康教室)	4/12 (金) 5/10 (金) 6/14 (金) 7/12 (金) 8/9 (金) 9/13 (金) 10/11 (金) 11/8 (金) 12/13 (金) 1/10 (金) 2/14 (金)	11 回	福祉健康	成人	329人	毎月第2金曜日に開催。地区体力づくりサポーターに指導してもらい、無理なくできるストレッチや筋トレ、脳トレなど、気軽に体を動かす講座。	福祉ひろばと共催。	里山辺体育館を主な会場とするが、夏の暑い時期にはバスハイクを実施し、冬の厳寒期には福祉ひろば教養娯楽室で開催するなど、工夫をしている。			
楽しく歩こう講座	5/30 (木) 6/27 (木) 9/26 (木) 10/24 (木)	4 回	福祉健康	成人	77人	春や秋の歩きやすい時期に、里山辺地区内の名所めぐり、そこに關わるエピソードを講師(花岡 前里山辺公民館長)から聞き、地域の魅力を発見する講座。	福祉ひろばと共催。	講師ならではの情報や人脈を生かし、コースを決めている。そのため、普段何気なく通う道に新たな発見や気づきがあり、より一層地域に親しめる講座となっている。			
里山辺公民館健康講座	11/19 (火) 11/20 (水) 11/25 (月) 12/6 (金) 12/10 (火) 12/16 (月) 12/18 (水) 1/14 (火) 1/15 (水) 1/17 (金) 1/20 (月) 2/12 (水) 2/17 (月) 3/27 (金)	14 回	スポーツ	成人	168人	歌で健康力アップ講座 全4回 91名 リンパマッサージ講座 全4回 49名 太極拳講座 全3回 12名 正しく歩こう講座 全3回 16名 コロナウイルスのため、「歌で健康力アップ講座」および「リンパマッサージ講座」は3月は実施しなかった。		冬の時期は運動不足になりがちのため、室内で簡単にできる講座として継続して開催している。 講座で学んだことを個人で実践することから参加者へ伝えながらも、可能な限りでサークル組織や町会での仲間づくりにつなげるように参加者の傾向も見ながら内容等を検討していきたい。コロナウイルスのため、「歌で健康力アップ講座」および「リンパマッサージ講座」は3月度は実施しなかった。			
公民館だよりの発行	通年	12 回	その他	成人		広報まつもの配布にあわせて公民館事業の広報として配布。 地区公民館の主催・共催行事、講座案内等を掲載。毎月発行。		紙面のデザインや内容について見やすく、参加しやすくなるような工夫をしていきたい。			
図書コーナー管理	通年	200 回	公民館委員会・各種会議等	成人	200人	・返却本の整理作業 ・図書の入替え(中央図書館所管本、年2回) ・新刊本のディスプレイの工夫		図書の返却・整理に負担がかかるため、間隔をあけて委員の都合の良い日にまとめて整理する方法をとっている。 未返却本ゼロを目指し、利用者に掲示やお知らせ、催促ハガキ等の対応をとっているため、返却率はほぼ百パーセントで維持している。			

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
図書の購入	8月、12月、2月	3回	公民館委員会・各種会議等	成人	18人	・新刊図書の購入（年3回程度） ・立志式でのおすすめ本の購入と紹介 ・中央図書館廃棄本の譲り受け		今話題の新刊本や立志式「15歳のきみへ」おすすめ本を購入。本の紹介文の作成、掲載。		
体育委員会	4/19（金） 4/24（水） 6/29（土） 7/16（火） 8/24（土） 9/3（火） 10/17（木）	7回	公民館委員会・各種会議等	成人	231人	地区体育事業の企画・準備等について、協議する公民館委員会。 本部体育委員が事業の企画を行い、町内体育委員が町会への事業内容の周知と町会対抗競技等のチーム編成を行う。	本部体育委員の選出 各町会より委員を選出→公民館長から委嘱→体育委員会を本部体育委員長が招集し、委員の合議で事業内容を決定する。	本部体育委員と町内体育委員とが一つの目標に向かって連携・協力し合い、地区の体育事業が開催できているため、一人ひとりが地域の活動と委員の役割について理解し関わってもらおうことが大切である。今後も委員の交代があった場合でも、事業を継続して住民相互の親睦を深めるきっかけづくりとしたい。		
文化委員会	4/27（土） 10/3（木） 10/24（木）	3回	公民館委員会・各種会議等	成人	56人	地区文化事業の企画・準備等について、協議する公民館委員会。 本部文化委員が事業の企画を行い、町内文化委員が町会への事業内容の周知と町会の住民の作品の取りまとめ等を行う。	本部文化委員の選出 各町会より委員を選出→公民館長から委嘱→文化委員会を本部文化委員長が招集し、委員の合議で事業内容を決定する。	本部文化委員と町内文化委員とが一つの目標に向かって連携・協力し合い、地区の文化事業が開催できているため、一人ひとりが地域の活動と委員の役割について理解し関わってもらおうことが大切である。今後も委員の交代があった場合でも、事業を継続して住民相互の親睦を深めるきっかけづくりとしたい。		
館報編集委員会	4/2（火） 5/9（木） 6/4（火） 7/1（月） 8/2（金） 9/4（水） 10/7（月） 11/5（火） 12/2（月） 1/7（火） 2/4（火） 3/3（火）	12回	公民館委員会・各種会議等	成人	84人	隔月の奇数月の30日付けで発行している「館報さとやまべ」の編集を行う公民館委員会。	館報編集委員の選出 各町会より委員を選出→公民館長から委嘱→館報編集委員会を館報編集委員長が招集し、委員の合議で館報の掲載内容を決定し、紙面の編集を行う。	地区や町会の公民館活動の内容はもとより、携わった関係者や参加者が活動を通じてどんな学びや気づきを得たのかを地区全体に向け発信している。また、時代や環境で変化する地域の民俗や文化、生活環境などを取り上げ、地域の記録を残すための館報づくりを行っている。 館報への掲載内容は委員の意見やアイデアをもとに委員会で決定しており、委員自身の学びにつながるという効果も大切にしたい。		
図書視聴覚委員会	4/14（土）	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	7人	公民館の図書コーナーの整理、返却本の管理、未返却本の督促状の送付、図書の入れ替え作業（中央図書館蔵書）、図書の購入（新刊本等）、地区行事への協力を行う。	保育園や小学校での保護者同士のつながり、読み聞かせサークルでのつながりを活かし、公民館の図書視聴覚活動に興味のある方を委員として選出し、公民館館長より委嘱している。 会の運営は委員による自主運営を基本とする。	子どもから高齢者まで幅広い世代の方が自由に利用できる図書コーナーは住民の知識の形成や学びに大いに寄与している。 現状、職員が常駐していないため、委員のみで本の整理するには人手が必要である。地域の作家や製作者の図書視聴覚資料を地域に積極的に発信するなど公民館の図書の利活用を促すとともに、地区行事で図書視聴覚委員会の活動に関心を持ってもらう機会を充実させたい。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等													
<p>【方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区住民の親睦を深め、交流の輪を広げる ・地区住民が、自分達の暮らす地域や生活を見つめ直す事業を推進する ・事業の企画運営に住民が参画する <p>【地域課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公害対策委員会、空港対策委員会が設置されている農村地区であるため、環境や公害問題に関心が高い ・地区役員が一年で交代するため、継続して地域づくりを担う人材の発掘・育成が求められている ・小学校が全学年一クラスしかなく、少子高齢化が著しい <p>【重点的に取り組んだ事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の伝統文化、歴史を次代に引き継ぐ取り組み ・子育て支援、子育て世代を対象にした取り組み 													
評価・反省等													
<p>・今井地区体育協会と共催で企画、運営した「いまいスポーツ健康フェスティバル」は昨年度に続いて2回目の開催であった。昨年度の反省から検討を重ね、子ども向けのコーナーを設けたり、地区内で活躍している団体に体験コーナーを運営していただいたりした。約250人に参加していただいたが、参加者が少ないコーナーもあったため、来年度も引き続き検討を重ねながら多世代が楽しく参加できるイベントとなるよう継続していきたい。</p> <p>・「支部対抗球技大会」は、あいにくの天候でソフトバレーボールとゲートボールのみの開催となった。ソフトバレーボールは参加人数の減少により出場を諦めるといふ支部もあったため、来年度へ向けて9人制から6人制への変更を検討していく。「今井ドンパン夏祭り」、「今井地区文化祭」は天候に恵まれ無事に開催できた。「今井ドンパン夏祭り」は例年かそれ以上の来場者があったが、「今井地区文化祭」はステージ発表、展示発表ともに減少傾向にあり、より多くの人を集める企画を検討しながら継続していきたい。引き続き、怪我及び熱中症等への注意は徹底していく。</p> <p>・地区有志の希望により「公民館居酒屋」を2回開催した。公民館は公民館ニュースによる広報のみで、会場のレイアウトや飲料、軽食の準備等を有志で行っていただいた。初回は参加人数が少なかったものの、2回目はほとんど声かけせずに初回と違う顔ぶれが集まり、盛大に開催できた。今後も気軽に集まり交流のできる場として、また公民館に足を運ぶきっかけとなるよう折をみて開催していきたい。</p> <p>・3月中旬以降のそば打ち講座は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止とした。若妻そば打ち講座では受講生で有志団体を発足し自主的に発表会食会を企画してくれていたが、中止となり非常に残念であった。来年度に期待したい。そば打ちをきっかけに集まったメンバーではあるが、若い母親世代の貴重なコミュニティであるため、そば打ちだけでなく様々な機会が協力していただけるよう関係を築いていきたい。</p>													
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等
	平人 和権	福健 社康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	ス ポ ー ツ	防 災	そ 他	体 育	文 化	そ 他	
事業数	2	2	4	2	5	1	3		2	6	2		1
延べ参加人数	47	178	152	70	315	18	329		46	490	1200		

	C S	食 育
事業数	1	1
延べ参加人数	320	30

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C	S	食育
マレットゴルフ教室	4月～11月 全15回 (雨天中止1回)	14回	健康福祉	高齢者	132人	【内容】 ・第2・4水曜日の午前中に鎖川親水公園マレットゴルフ場でマレットゴルフ教室を行う ・ルール、技術は参加者同士で教える 【ねらい】 ・高齢者同士の親睦交流、仲間づくり ・健康増進、閉じこもり予防	【準備過程】 ・公民館ニュースで通年の事業概要を周知し、以後、毎月の公民館ニュースで当月の開催日を周知 【共催団体等】 ・今井地区体育協会	【評価と反省】 ・例年の参加者の声かけにより新しい方の参加もあり、少しずつ拡がりを見せている ・運営の協力をしていただけのような声かけをした ・市民体育大会の参加には消極的であった 【今後の方針】 ・役員の成り手がいないという理由で長く続いた今井マレットゴルフクラブも存続危機に陥ったため、現在の参加者で教室を自主運営していく形は望めない。新規参加促進を図り、役員の成り手候補を増やしていきたい			
今井地区文化財委員会	4月～3月 全12回 (1回休会)	11回	地域文化	成人	88人	【事業内容】 ・地区内の文化財の現地調査や標柱清掃、設置作業 ・地区内の歴史に関する学習会 ・まつもと文化遺産の認定に向けた取り組み ・文化財ニュース(会報誌)の発行 【ねらい】 ・今井地区の歴史文化の伝承者が少なくなったため、人材を育成する ・地区内の文化財の保存、活用	【準備過程】 今井ふるさと歌留多の会の会長や、上條蛸司先生顕徳会などの協力を経て、各町会の興味のある又は役員との協力で組織化 【共催団体】 今井ふるさと歌留多の会 上條蛸司先生顕徳会 松本市文化財課	【評価と反省】 ・地区内の文化財の現地調査や、標柱・看板の清掃、標柱の設置を行うことができた ・まつもと文化遺産の認定を受けたため、来年度はさらに活用していきたい ・委員同士の親睦と交流ができた 【今後の方針】 ・地区内の文化財の保護、活用を目的とし、事業を推進していきたい			
未就園児応急救護講座	5月28日(木)	1回	子育て	家庭教育	20人	【内容】 ・未就園児の保護者向けに乳幼児期の子どもに起こりがちなケースに対する応急救護講座 ・講師は芳川消防署神林出張所職員 【ねらい】 ・適切な応急対応を学ぶ	【準備過程】 ・未就園児サークルのりんごサークル代表者と内容及び日時を検討 ・公民館ニュースで周知 【共催団体】 ・りんごサークル(育児サークル)	【評価と反省】 ・実践的な動作を確認する応急救護講習ができた 【今後の方針】 ・実践的な内容の講習を依頼しながら、継続していく			
親子すくすく教室	5月～3月 全11回 (1回中止)	10回	子育て	家庭教育	92人	【内容】 ・小布施育子氏に講師を依頼し、親子体操等のレクリエーションを行う 【ねらい】 ・子どもの健やかな成長を促すため、親子で楽しく体を動かせる親子体操を学ぶ ・未就園児同士、保護者同士の交流、親睦のきっかけづくり	【準備過程】 ・公民館ニュースで通年の事業概要を周知した。以後、毎月の公民館ニュースで当月の開催日を周知 【共催団体等】 ・りんごサークル(子育てサークル)	【評価と反省】 ・参加者が自発的・意欲的に取り組んでいる様子が伺える ・この教室への参加がきっかけで、りんごサークルへ加入した方もいた 【今後の方針】 ・地区の子どもの数が減っている中で、未就園児及びその保護者の貴重な交流の場であるため、引き続き同様の場づくりを進めたい ・関係団体と連携し、参加者を増やしたい			
小学校クラブ活動支援	5月～11月 全6回	6回	C S	青少年	320人	【内容】 ・今井小学校のクラブ活動に、住民が講師として参加、協力する ・今井小学校、鉢盛中学校の整備活動に住民が参加する 【ねらい】 ・住民がクラブ活動講師や整備活動に参加することで、互いに顔の見えの関係を築く	【準備過程】 ・クラブ活動の講師や、整備活動の参加者を公民館ニュース等で募集 【共催団体】 ・今井小学校 ・鉢盛中学校	【評価と反省】 ・児童が希望した「囲碁・将棋」クラブについて、何人かに講師を依頼したが引き受けていただけなかった ・その他のクラブについては講師を依頼することができた 【今後の方針】 ・新たな人材の発掘に努めたい ・小学校と密に連携しながら、学校が希望する取組みを進めていく			○
鉢盛山自然観察会	5月12日(日)	1回	環境	その他	40人	【内容】 ・鉢盛山今井財産区有林の散策及び山菜採取、公民館にて調理と会食を行う ・神林地区、笹賀地区の住民にも各地区公民館を通して参加者を募集した ・案内は笹賀公民館藤波館長に依頼 【ねらい】 ・今井財産区の歴史や自然を学ぶ機会とする	【準備過程】 ・公民館ニュースで周知、参加者を募集 【共催団体等】 ・神林地区公民館 ・笹賀公民館	【評価と反省】 ・地域の有志の協力もあり、山菜採取と会食を盛大に行うことができた。他地区の参加者も非常に満足した様子だった ・会食により地区を超えた交流の機会となっている。より多くの方に参加してもらえよう声をかけながら、内容を深めていきたい 【今後の方針】 ・引き続き他地区公民館や地域の有志の協力を得ながら継続していきたい			
卓球教室	6月～10月 計22回	22回	スポーツ	その他	283人	【内容】 ・今井体育館を会場に、毎週月曜日の午後7時～9時まで卓球教室を開催 ・講師は上條聡志氏 【ねらい】 ・地区住民の親睦交流を図る ・市民体育大会への参加者を育成する	【準備過程】 ・公民館ニュースで周知 【共催団体】 ・今井地区体育協会	【評価と反省】 ・昨年より参加者が増加した ・参加者は、自主的に集中して取り組んでいた ・新しい参加者との交流がしにくいという意見があったため、新しく参加した方には自己紹介をしてもらうなど、メンバー同士の交流もできるようにしていきたい 【今後の方針】 ・さらに幅広い年代に周知し、より多くの参加者を募りたい			
自然観察ウォーキング(上高地)	6月20日(木)	1回	環境	成人	30人	【内容】 ・グループごとにガイドの説明を受けながら、上高地を散策する 【ねらい】 ・自然観察を行いながら上高地の自然を守るための取組みや工夫を学ぶとともに、夏に向けての体づくりを促進する	【準備過程】 ・公民館ニュースで周知、参加者の募集 ・ガイドとの連絡調整 【共催団体】 ・今井福祉ひろば	【評価と反省】 ・梅雨の時期であったが、天候に恵まれた ・ガイドからの説明を受けながらしっかりとウォーキングできた 【今後の方針】 ・施設の見学だけでなく、ウォーキングを取り入れた視察は今後も継続したい			
支部対抗球技大会	7月7日(日) (一部雨天中止)	1回	地域事業(体育)	成人	100人	【内容】 ・支部(町会)対抗の球技大会を行う 【種目】 バレーボール、ソフトボール(雨天中止)、マレットゴルフ(雨天中止)、ゲートボール 【ねらい】 ・地区住民の親睦交流	【準備過程】 ・体育協会の役員会及び全体会を開催し、内容を検討 ・公民館ニュースで周知 【共催団体】 ・今井地区体育協会	【評価と反省】 ・会議を通して各支部の意向を把握しながら内容を検討することができた ・当日開催直前に雨が降り始め、ソフトボールとマレットゴルフはその場で中止となった 【今後の方針】 ・参加支部が減少傾向にあるため、各競技のルール等を含め内容を十分に検討し継続していきたい ・猛暑となる可能性があるため、怪我に加え熱中症の注意喚起を徹底していく			

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C	S	食育
西南ブロック地区球技大会 (野球・バレーボール)	7月28日(日)	1回	地域事業(体育)	成人	70人	【内容】 ・西南ブロック3地区(今井・笹賀・神林)の親睦交流及び市長杯の予選を兼ねて、軟式野球とバレーボールの大会を行う(当番地区:神林) 【ねらい】 ・上記のとおり	【準備過程】 ・3地区の体協役員、公民館職員の合同会議により内容を検討 【共催団体等】 ・笹賀公民館・体育協会 ・神林公民館・体育協会	【評価と反省】 ・野球のチーム編成に苦慮した ・軟式野球:笹賀地区棄権による2チームでの試合。結果は1位 ・バレー:3チーム総当たり。結果は2位 【今後の方針】 ・地区体育協会とともにチーム編成に取り組んでいく ・各地区で密に連携しながら、時期及び内容を検討していく			
第25回今井ドンパン夏祭り	8月14日(水)	1回	地域事業(文化)	その他	900人	【内容】 ・花火の打ち上げとバンドのコラボによる地区の夏祭り 【ねらい】 ・子どもたちの思い出作り ・地域の活性化	【準備過程】 ・実行委員会を3回開催し内容を検討 ・公民館ニュースで周知 【共催団体等】 ・今井ドンパン夏祭り実行委員会 ・飲食業者(出店)	【評価と反省】 ・役員の負担軽減のため、実行委員会を4回から3回に減らしたが、無事に開催することができた ・音楽と花火のコラボをメインとし、今年度も多くの方に来場していただけた 【今後の方針】 ・マンネリ化しないよう新しい企画を検討しながら今後も継続していきたい ・出店は継続して業者にも声をかけつつ、地域の方の協力ですらに盛り上げられないか検討したい			
りんごサークルバスバイク	9月17日(火)	1回	子育て	家庭教育	20人	【内容】 ・安曇野ちひろ公園でのおにぎり作り体験 【ねらい】 ・未就園児の子どもとその親を対象とし、親同士、子ども同士の交流を深めるとともに、子どもの情操教育に役立てる	【準備過程】 ・育児サークル及び見学年先の調整 【共催団体】 ・りんごサークル(育児サークル)	【評価と反省】 ・10種類以上の具を味見しながらおにぎりを作ることができたため、親子交流だけでなく子どもたちの食育にもなった 【今後の方針】 ・母親同士、子ども同士で出かける機会を作り、リフレッシュと学習を組み合わせたい			
歴史ウォーキング (波田若澤寺跡)	10月2日(水)	1回	地域文化	成人	31人	【内容】 ・若澤寺史跡保存会の方に説明をいただきながら若澤寺跡をはじめとする波田地区の関連の文化財を訪ねる 【ねらい】 ・若澤寺跡を実際に見学しながら説明を受けることで、現在今井で保存している若澤寺ゆかりの文化財についての知識を深める	【準備過程】 ・公民館ニュースで周知、参加者の募集 ・視察先との連絡調整 【共催団体】 ・今井福祉ひろば	【評価と反省】 ・今井地区文化財委員会や今井を学ぶ会の会員など地区の歴史について興味を持っている方が多く、大変人気だった 【今後の方針】 ・地区内の団体と協力しながら、住民の学習の機会となるような視察を今後も継続したい			
松本市市民体育大会 ※台風接近により全競技中止	10月13日(日)		地域事業(体育)	成人	中止	【内容】 ・秋季大会地区対抗競技会として参加 【ねらい】 ・競技を通じた住民同士の親睦と交流	【準備過程】 ・前年出場者と連携した選手選考 【共催団体等】 ・今井地区体育協会	【評価と反省】 ・台風19号の接近により、全競技中止となった 【今後の方針】 ・昨年度選手が集まらず棄権となってしまった軟式野球は事前に支部長や体協役員から情報を募り、人数が確保できていたため、中止は非常に残念であった。引き続き人材発掘の補助に取り組んでいく ・支部長への応援依頼や広報等で地区全体として盛り上げていきたい			
いまいスポーツ健康フェスティバル	10月20日(日)	1回	地域事業(体育)	その他	300人	【内容】 ・ニュースポーツ、健康測定を中心とした自由参加のイベント 【ねらい】 ・地域の親睦及び交流 ・子どもたちの思い出づくり	【準備過程】 ・体協役員会を4回、全体会を3回、体験会を開催し、内容を検討 ・公民館ニュースで周知 【共催団体等】 ・今井地区体育協会 ・町会婦人部 ・今井小学校 ・今井福祉協議会	【評価と反省】 ・運動会に代わるイベントとして昨年度に引き続き2回目の開催であったが、保育園児や小学生を中心に参加していただけた ・体験コーナーとして地区の団体に講座を行ってもらったが、体験する参加者が少なかった 【今後の方針】 ・内容を十分に検討し、継続していきたい。 ・地区住民に運動会に代わるイベントとして広く周知していきたい			
市長杯争奪球技大会	11月3日(日)	1回	地域事業(体育)	成人	20人	【内容】 ・松本市体育協会主催行事 【ねらい】 ・競技を通じた住民同士の親睦と交流	【準備過程】 ・前年出場者と連携した選手選考 【共催団体等】 ・今井地区体育協会	【評価と反省】 ・軟式野球及びバレーボールが参加。軟式野球は1回戦敗退、バレーボールは10年ぶりのブロック優勝 【今後の方針】 ・引き続き大会に参加できるようチーム編成に取り組んでいく			
今井地区文化祭	11月3日(日) 4日(月・祝)	1回	地域事業(文化)	その他	300人	【内容】 ・地区全体の文化芸術に関する展示発表会を行う ・社協のふれあい配食会も同時に開催する 【ねらい】 ・地域の文化芸術に携わる人、団体の活動を通して、人材発掘や諸団体等の活動について相互理解を促す	【準備過程】 ・実行委員会を2回開催し内容を検討 ・臨時の公民館ニュース(文化祭パンフレット)を全戸に配布して周知 【共催団体等】 ・今井地区文化祭実行委員会 ・今井地区町会連合会 ・今井小学校 ・今井保育園 ・鉢盛中学校 ・地区内福祉施設 ・公民館利用団体	【評価と反省】 ・展示、出店、発表団体ともに参加団体が減少傾向にある ・中学生にも地域の文化祭を意識してもらえよう、今回新たにパンフレットの表紙を鉢盛中学校の美術部の生徒に依頼した ・大きなパンケーキ作りなど子どもを対象とした企画で盛り上がった 【今後の方針】 ・参加団体を増やすため、声かけや広報を積極的に行っていきたい ・より多くの方の来場を目指し、人が集まりやすく楽しめる企画を検討しながら継続していきたい			○
人権講演(今井福祉協議会高齢者部会主催)「小学校交流事業:戦争の話」	11月11日(月)	1回	人権平和	青少年	25人	【内容】 ・講師は、満州から帰国した上條安人氏(上新田)と陸軍松本飛行場と戦争遺構の話(原勝美氏(下新田)) 【ねらい】 ・子どもたちに平和の尊さを教えつつ、高齢者との交流をはかる	【準備過程】 ・今井福祉協議会高齢者部会事業に、今井地区人権啓発推進協議会と公民館が共催し、平和学習の一環とする 【共催団体等】 ・今井地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・戦争を知らない子供たちが、地元の講師から体験談を聞くことができるとても良い機会であった ・昨年度の反省から、短時間となるよう工夫できた 【今後の方針】 ・小学校と調整のうえ継続して実施したい			
文化系委員会合同視察(大町市の施設見学)	11月24日(日)	1回	地域文化	成人	16人	【内容】 ・今井地区内の文化系委員会で大町市の「塩の道ちようじや」「山岳博物館」を訪ね、学習する 【ねらい】 ・他地区の文化施設に学び今井地区の文化振興に寄与する。 ・視察により視野を広め、教養を高め館報編集に資する	【準備過程】 ・視察先との連絡調整 【共催団体】 ・館報編集委員会 ・図書視聴覚委員会 ・文化委員会 ・今井地区文化財委員会	【評価と反省】 ・委員に率先して視察行程を作成していただけた ・視察先に行けるだけ説明や案内を依頼したため、より深く学習できた ・任意団体ではあるが今井地区文化財委員会にも声をかけ、ご参加いただけた 【今後の方針】 ・今後も継続したい			

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C	S	食育
図書視聴覚委員会主催 クリスマス会	12月8日(日)	1回	子育て	家庭教育	20人	【内容】 ・子どもと保護者を対象に、人形劇とケーキづくり(デコレーションのみ)を行う交流会 ・人形劇団「やまんば」の公演 【ねらい】 ・乳幼児～小学生の情操教育及び保護者を含めた交流の場をつくる	【準備過程】 ・図書視聴覚委員会で内容を検討し「みんなの図書館」という広報誌を作成し、全戸配布して周知 【共催団体等】 ・今井公民館図書視聴覚委員会	【評価と反省】 ・長年続いている行事ではあるが、参加者が少なく残念だった 【今後の方針】 ・広報の方法を工夫し、多くの方にご参加いただきたい ・例年の内容にとらわれず、より子どもたちが楽しめるよう内容を検討し継続したい			
公民館居酒屋	12月20日(金) 2月21日(金)	2回	その他	成人	46人	【内容】 ・お酒やおつまみを地区内有志の方にご用意いただき、申込み不要で開催 【ねらい】 ・気軽に公民館に足を運んでもらうことで、誰もが集まりやすい公民館をめざす ・地区住民の顔見知り輪を広げる	【準備過程】 ・公民館ニュースで周知 【共催団体等】 なし	【評価と反省】 ・1回目は参加者が少なく人集めに苦慮したが、2回目は参加者の声のかけあいで約30名の参加となった 【今後の方針】 ・有志が主導となってきているが、一部に負担がかかりすぎないよう地区内の団体や人に声をかけながら継続したい			
今井体協会長杯新春ボウリング大会	1月13日(月・祝)	1回	スポーツ	成人	30人	【内容】 ・老若男女誰でも楽しめる企画として実施 【ねらい】 ・誰でも楽しめる企画で、冬場の運動不足解消と、地域の交流と親睦を図る	【準備過程】 ・施設予約 ・体協ニュースにて全戸配布し、周知 【共催団体等】 ・今井地区体育協会	【評価と反省】 ・5回目の開催であり、地域に定着しつつあると感じた ・メンバーは固定化しておらず、よい地域交流の場となった 【今後の方針】 ・世代、性別を超えて楽しめるスポーツであり、関係づくりに適しているため、継続したい			
硬式テニス体験会	1月18日(土)	1回	スポーツ	成人	16人	【内容】 ・午前を小学生以下対象、午後を中学生以上対象とし、それぞれのレベルに合った教室を開催 【ねらい】 ・冬場の運動不足解消とするとともに、生涯スポーツを気軽に学ぶ機会とする	【準備過程】 ・施設予約 ・体協ニュースにて全戸配布し、周知 【共催団体等】 ・今井地区体育協会	【評価と反省】 ・5名の講師にご参加いただき、内容は大変充実していた ・成人の参加者が特に少なく、開催時期や広報に関して工夫が必要であると感じた 【今後の方針】 ・内容等を検討し、農閑期のスポーツ教室については引き続き継続したい			
親子料理教室(今井福祉協議会子ども部会主催)	1月27日(月)	1回	食育	家庭教育	30人	【内容】 ・今井地区食生活改善推進員及び市管理栄養士に講師を依頼し、未就園児の親を対象に、郷土料理のおやきを学んだ ・調理中の託児は部会員が行った 【ねらい】 ・子どもの健康に配慮した料理を学ぶことで子どもの健やかな成長を促し、部会員が託児を行うことで世代間交流を図る	【準備過程】 ・今井地区食生活改善推進員及び市管理栄養士との調整 【共催団体等】 ・今井福祉協議会子ども部会 ・今井地区食生活改善推進員	【評価と反省】 ・地区の未就園児サークルから多くの参加者があった ・子どもから離れ料理を集中して学ぶことができ、よいフレッシュになったとの感想があった ・部会員も楽しみながら託児ができていた 【今後の方針】 ・未就園児サークル、食生活改善推進員、市管理栄養士と密に連携をとりながら継続したい			○
こだわりのそば打ち講座	1～3月 計5回 (1回中止)	4回	地域文化	その他	80人	【内容】 ・初心者を対象とし、そば打ちの技術を身につける ・地区のそば打ち名人に講師を依頼 【ねらい】 ・今井地区の特色でもあるそば打ちをきっかけとしたつながりを広げていく	【準備過程】 ・講師と日程及び内容を検討 ・公民館ニュースで周知 【共催団体】 なし	【評価と反省】 ・連続講座とすることで、受講生の技術がより向上した ・講師が道具を貸与してくれ、多くの参加者を受け入れることができた ・地区のそば農家のそば粉を使用できた ・新型コロナウイルスの感染拡大を懸念し、講師とも相談のうえ最後の講座を中止した 【今後の方針】 ・昨年度から継続して参加してくれた方に加え、初心者も受講していただけたため、継続していきたい			○
若妻そば打ち講座	1～3月 全6回 (2回中止)	4回	地域文化	女性	100人	【内容】 ・休日開催の「こだわりのそば打ち講座」へ参加できない主婦を対象に、平日講座を実施 【ねらい】 ・若い女性のそば打ち技術の伝承と交流を深め、いずれは地域貢献へとつなげていきたい	【準備過程】 ・講師と日程及び内容を検討 ・公民館ニュースで周知 【共催団体】 なし	【評価と反省】 ・参加者の声かけにより初心者の参加も多かった ・これまでの受講生の中から文化祭やそば配食事業への参加がみられ、成果が出ている ・地区の有志と参加者で協力して託児を行った ・新型コロナウイルスの感染拡大を懸念し、講師とも相談のうえ3月の講座を中止した 【今後の方針】 ・受講生同士で深いつながりができており、積極的に様々な企画を行いたいという意思があるため、公民館講座から離れ自主的な団体となるよう働きかけたい ・地区の有志が託児に協力してくれているが、一部の方への負担も大きいため、方法を検討していきたい			○
今井地区健康講座	1月28日(火) 30日(木) 2月25日(火) 計3回	3回	健康福祉	成人	46人	【事業内容】 ・相澤病院と市立病院の専門職に講師を依頼し、実践的な健康講座を実施 ・各回とも市保健師指導による体組成測定や血圧測定も行った 【ねらい】 ・実践的に学び、受講者が自宅でも行えるようにすることで、介護予防のきっかけとする	【準備過程】 ・講師との連絡調整 ・今井公民館ニュース及び全戸配布のチラシにより周知した 【共催団体】 今井福祉協議会 健康部会 今井地区健康づくり推進員会 今井地区体力づくりサポーター 松本市健康づくり課 松本市南西部地域包括支援センター	【評価と反省】 ・相澤病院と市立病院の出前講座を利用することで、経費をかけず講座を開催できた ・その場で実践しながら学ぶことができたため、覚えやすかった ・受講者が少なく残念だった 【今後の方針】 ・内容及び周知方法を工夫し、より多くの方にご参加いただきたい			
図書視聴覚委員会主催 「本にまつわるお菓子作り講座」	2月15日(土)	1回	趣味教養	家庭教育	18人	【内容】 ・子どもと保護者を対象に、本にまつわるお菓子を講師から習い、親子で作る ・本を紹介する 【ねらい】 ・子どもが本に興味をもつきっかけとしてもらうとともに、親子交流を深める	【準備過程】 ・図書視聴覚委員会の中で内容を検討 ・今井公民館ニュース及びみんなの図書館(全戸配布)にて周知 【共催団体等】 ・今井公民館図書視聴覚委員会	【評価と反省】 ・昨年度に続いて2回目の開催となったが、図書視聴覚委員が積極的に企画、運営できていた ・参加者が少なく大変残念であった 【今後の方針】 ・周知方法を工夫し、より多くの方にご参加いただきたい ・他事業と組み合わせる等も検討しながら来年度も継続したい			○

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C	S	食育
今井地区人権啓発推進協議会主催「無言館」を訪ねる	2月22日(土)	1回	人権平和	成人	22人	【内容】 ・地域住民の希望者を対象に、上田市の無言館、前山寺、上田市立博物館ほかを訪ねた 【ねらい】 ・戦没画学生慰霊美術館「無言館」にて作品を鑑賞することで、平和について改めて考えるきっかけとする	【準備過程】 ・視察先との連絡調整 ・公民館ニュースで周知 【共催団体等】 ・今井地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・人権学習を主とした視察であったが、思いのほか参加希望者が多く、有意義な学習の機会となった ・各視察先でゆっくりと時間がとれた ・資料等を工夫し作成できた 【今後の方針】 ・今後も人権学習ができる視察先を選定し、継続したい			
西南ブロック地区ゲートボール大会 ※中止	3月10日(火)		地域事業(体育)	成人	中止	【内容】 ・西南ブロック地区(今井・笹賀・神林)合同で開催(当番地区:神林) 【ねらい】 ・地区を超えた親睦、交流を目的とする	【準備過程】 ・各地区の公民館・体育協会及び競技代表者で会議を行い内容を検討 【共催団体等】 ・笹賀公民館・体育協会 ・神林公民館・体育協会	【評価と反省】 ・7チームが参加予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止 【今後の方針】 ・継続したい			
公民館ニュース発行	通年 月1回発行	12回	その他	その他	全戸	【内容】 ・毎月の市広報誌の配布に合わせ、全戸に公民館事業等を周知 【ねらい】 ・公民館事業の周知、募集	【準備過程】 ・公民館主事が作成 【共催団体等】 なし	【評価と反省】 ・地区内のサークル活動等を掲載できるコーナー「今井地区掲示板」が活用できた 【今後の方針】 ・見やすい構成を意識し、工夫しながら継続したい ・公民館ニュースの発行だけでは人が集まらない事例が増えているため、公民館ニュースは継続して発行しつつ、他の方法についても検討していきたい			
みんなの図書館発行	不定期発行	3回	公民館委員会・各種会議等	その他	全戸	【内容】 ・図書視聴覚委員会による図書室の本の入れ替えや行事の周知、案内するためのチラシ作成 【ねらい】 ・図書室の利用促進や行事の周知案内を図る	【準備過程】 ・図書視聴覚委員会の会議時で内容を検討 【共催団体】 ・今井公民館図書視聴覚委員会	【評価と反省】 ・委員が図書室の本を紹介するなど、意欲的な取り組みができた ・全戸配布以外にも小学校や児童センターなど、子どもとその保護者に見ていただけるような工夫が必要 【今後の方針】 ・継続したい			

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等													
<p>・誰もが楽しく参加でき、住民同士の交流・つながりが広がるような事業を心掛けた。住民から「一緒にヨガをする仲間を増やしたい」という相談があり、ヨガの仲間づくりを見据えて新たに「ヨガ体操講座」を実施した。また、既存事業への参加が少ない男性の参加につながるよう「親睦ゴルフコンペ」を実施した。</p> <p>・災害が発生した時の対応を知ることは、子どもにとっても大切であることから、小中学校の夏休みに「子ども防災合宿」を実施し、災害救助用炊飯袋を使ったカレーライス作り、救急救命講習、避難所の宿泊体験を行った。</p> <p>・子どもからお年寄りまで多くの方が参加できる事業として、ササラまつり（盆祭り）、運動会、文化祭を実施している。地区の中学生にも事業の担い手（露店等の補助、放送・用具係、ステージ発表の裏方・配膳など）として活動してもらった。</p> <p>・コミュニティスクール事業として、明善小学校3学年を対象に地域学習を行っている。今年は農事組合法人内田営農の協力を得て麦の収穫の見学や地区の農業を学んだ。また、市の重要無形民俗文化財である「内田のササラ踊り」の学習・体験も予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。</p> <p>・地区内にある国の重要文化財「牛伏川階段工」の維持管理や現地ガイドを担ってきた地域の団体が、高齢化のため、これまでのような活動ができなくなっている。見学ガイドの発掘・育成につながるよう、「牛伏川階段工」の歴史、概要を学ぶ講座を今年度新たに実施した。</p>													

評価・反省等													
<p>・「ヨガ体操講座」は、受講者をメンバーとするサークルの発足につなげることができた。「親睦ゴルフコンペ」は、地区資源（ゴルフ場）の活用や、普段、公民館へ足を運ぶことが少ない男性の参加につながった。</p> <p>・「子ども防災合宿」は、避難所の宿泊体験を通して子どもたちに自信が生まれ、意識の変化が見受けられた。</p> <p>・ササラまつり、運動会、文化祭は、子どもからお年寄りまで幅広い世代の住民が集まった。また、様々な世代が参画して事業運営が行われ、世代間の交流を深めることができた。</p> <p>・明善小学校3学年を対象とした地域学習は、地域の中でしか体験できないことを学ぶ貴重な機会となった。</p> <p>・「牛伏川階段工」の学習講座は、のべ91人の受講者が集まった。受講者のうち6人に、一般見学者ガイドとして登録いただけた。</p>													

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等
	平人和権	福健祉康	子育て	環境	文化地域	教趣養味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数	2	2	1	3	5	3	4	1	1	4	1	1	2
延べ参加人数	30	94		101	175	87	113	13	300	889	453	400	383

	C S	食育
事業数	3	2
延べ参加人数	360	33

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食育
内田スポーツDay	5月12日	1回	スポーツ	成人	30人	【事業内容】 ウォークラリー、なわとび大会及びニュースポーツの体験。 【ねらい】 スポーツを通じて地域住民の交流を図る。	【準備過程】 体協役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 内田地区体育協会	【評価と反省】 スポーツを通じて交流を深めることができた。ウォークラリーは地域を知ってもらえる良い機会となっている。 【今後の方針】 内容と手法を検討し、参加者を増やしたい。		
自然観察会	5月19日	1回	環境	成人	21人	【事業内容】 小谷村の千国街道でウォーキングをしながら、現地ガイドの案内により自然観察を行う。 【ねらい】 自然環境への理解を深めるとともに健康増進も図る。	【準備過程】 公民館役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。	【評価と反省】 ガイドから説明を受けることで自然環境への理解をより深めることができた。 【今後の方針】 単なるサービスに終わらないよう、毎年手法を検討していきたい。		
内田親睦ゴルフコンペ	6月21日	1回	スポーツ	成人	22人	【事業内容】 個人対抗による親睦ゴルフ大会。会場は、地区内にある松本カントリークラブ。 【ねらい】 スポーツを通じて地域住民の交流を図る。新規の参加者の発掘。	【準備過程】 町会連合会役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 内田地区町会連合会	【評価と反省】 ゴルフを通じて交流を深めることができた。また、普段あまり公民館事業に参加しない方の参加もあった。 【今後の方針】 住民の交流を深める機会となっているため、継続して実施したい。		
内田史跡めぐり	6月22日	1回	地域文化	成人	4人	【事業内容】 地区北側の史跡・文化財（浅田城跡、クネノ内正八幡宮、馬場家住宅等）を歩いて巡る。 【ねらい】 地区内にある史跡・文化財への理解を深める。	【準備過程】 公民館役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。	【評価と反省】 地区内の史跡・文化財を知る良い機会となっている。 【今後の方針】 参加者が少ないので、手法の検討が必要。		
街めぐりウォーキング	6月25日	1回	趣味教養	成人	22人	【事業内容】 路線バスで市街地まで出かけ、時計博物館、旧開智学校等を歩いて巡る。 【ねらい】 1日1往復の内田線を利用することで、地域の交通についても考えるきっかけとする。	【準備過程】 公民館役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。	【評価と反省】 公民館役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【今後の方針】 参加者が少ないので、手法の検討が必要。		
明善小学校3学年内田地区地域学習	6月27日	1回	地域文化	青少年	60人	【事業内容】 地区内の農業と文化財（常楽寺）の見学。 【ねらい】 地域の農業、文化を知り、地域に愛着を持ってもらう。	【準備過程】 学校側から打診があり、授業の時間に実施。 【共催団体等】 農事組合法人内田営農のご協力	【評価と反省】 終了後に児童から質問が寄せられるなど、地域の歴史・文化に興味を持ってもらった。 【今後の方針】 小学生が地域を知る機会となっているため、継続して実施したい。		○
ホテル学習と観察会	6月28日	1回	環境	青少年	28人	【事業内容】 信州大学教授を講師にホテルと環境について学習した後、地区内を流れる塩沢川でホテルを観察。 【ねらい】 ホテルを切り口に自然環境を考える機会とする。	【準備過程】 講師と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 松原地区公民館、松本ホテル学会、内田児童館	【評価と反省】 ホテルを通して自然環境を考える良いきっかけとなった。 【今後の方針】 子どもの参加が多く、参加者からも評判が良いので継続したい。		
内田地区球技大会	7月8日	1回	地域事業(体育)	成人	70人	【事業内容】 町会対抗による軟式野球、ゲートボール、ソフトバレーの大会。 【ねらい】 スポーツを通じて地域住民の交流を図る。	【準備過程】 実行委員会（町内公民館長、主事、町会長、体協役員等）で内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 内田地区体育協会	【評価と反省】 雨天のため軟式野球とゲートボールが中止になったが、ソフトバレーは大変盛り上がり住民の交流が深まった。 【今後の方針】 お年寄りもスポーツに参加する貴重な機会となっているため継続したい。		
子ども防災合宿	7月26日～27日	1回	防災	青少年	13人	【事業内容】 災害救助用炊飯袋（ハイゼックス）を使ったカレーライス作り、救急救命講習、避難所の宿泊体験。 【ねらい】 災害時を想定した食事作りや避難所となる公民館での宿泊体験により子どもたちが防災について考えるきっかけとする。	【準備過程】 実行委員会（町内公民館長、町会長、子ども会育成会役員、民生・児童委員等）で内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 芳川消防署、南部保健センター	【評価と反省】 災害救助用炊飯袋によるカレーライス作りは昨年の経験をいかして上手に作る事ができた。参加した子どもたちからも好評であった。 【今後の方針】 子どもが防災について考える機会となっているため継続したい。		○
内田ササラまつり	8月14日	1回	地域事業(その他)	成人	400人	【事業内容】 育成会による子ども向けのイベント、かき氷、わたあめ、やきそば等の屋台、参加者によるササラ踊り、ビンゴ大会など。 【ねらい】 地域の伝統文化であるササラ踊りの継承と子どもからお年寄りまで楽しめる行事として実施。	【準備過程】 実行委員会（公民館役員、町会長、子ども会育成会役員等）で内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 屋台やビンゴ大会は公民館委員が中心となって運営。	【評価と反省】 公民館委員が主体的に運営することができている。今年はササラ踊りに参加する子どもが多くて良かった。 【今後の方針】 ササラ踊りの継承と地域の交流の場として定着していることから継続して実施したい。		
水生昆虫観察会	8月22日	1回	環境	青少年	52人	【事業内容】 信州大学教授を講師に環境について学習した後、地区内を流れる塩沢川で水生昆虫を採取し公民館で観察。 【ねらい】 水生昆虫の採取を通して自然環境を考える機会とする。	【準備過程】 講師と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 NPO法人 川の自然と文化研究所、内田児童館	【評価と反省】 水生昆虫の採取を通して自然環境を考えるきっかけとなった。児童館と連携を深めるとともに小学校の夏休み期間に開催したこともあり、昨年より参加者が42人増えた。 【今後の方針】 今年度同様、児童館と連携して実施したい。		
第44回東南ブロック球技大会	8月25日	1回	地域事業(体育)	成人	300人	【事業内容】 バレー、バトミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフ、軟式野球の6競技による6地区対抗。 【ねらい】 他地区住民との親睦を目的とするもの。	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会にて企画、準備、実施	【評価と反省】 各地区の交流の場として実施できている。運営面での人員不足等課題があるため、各地区協力をしていきたい。 【今後の方針】 東南ブロックでの主催となる数少ない体育行事として他地区との交流の推進を図る。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食育
第56回内田地区大運動会	9月8日	1回	地域事業(体育)	成人	500人	【事業内容】 町会対抗による大玉おくりやリレー、自由参加のマラソンなど。 【ねらい】 地区住民が一堂に会し、伝統にもなっている競技を通じて、子どもからお年寄りまで参加できる行事として開催。	【準備過程】 実行委員会(公民館役員、町会長、子ども会育成会役員、健康づくり推進員等)で内容を検討。 地域の事業所等から広告料を得てプログラムを作成し、周知。	【評価と反省】 好天に恵まれ、全ての競技を事故なく終えることができた。子どもからお年寄りまで幅広い世代の参加があった。 【今後の方針】 子どもからお年寄りまで参加できる貴重な機会となっているため継続したい。暑い時期の開催のため、熱中症対策に気を配りたい。		
第42回内田地区文化祭・第21回内田地区福祉ひろばまつり	11月2日 11月3日	1回	地域事業(文化)	成人	453人	【事業内容】 子ども会育成会による子ども向けイベント、サークルによるステージ発表や個人作品などの展示、くじびき等。 【ねらい】 子どもからお年寄りまで楽しむことができる行事として開催。	【準備過程】 実行委員会(公民館役員、町会長、子ども会育成会役員、農村女性協議会役員等)で内容を検討。プログラムを作成して周知。 【共催団体等】 内田地区福祉ひろば	【評価と反省】 昨年比べて個人作品の展示が少なかった。作品が増えるような手法を検討したい。 【今後の方針】 文化・芸術・スポーツ活動の発表の機会となっており、また、子どもからお年寄りまで参加する貴重な機会となっているため継続したい。		
マレットゴルフ交流会	11月20日	1回	スポーツ	成人	61人	【事業内容】 東南部6地区合同でマレットゴルフ大会を開催。 【ねらい】 他地区との交流を深める。	【共催団体等】 寿、寿台、内田、松原、芳川地区公民館と共催。	【評価と反省】 他地区との交流を深めることができた。 【今後の方針等】 他地区との交流、健康増進に繋がる取組みであるため、今後も継続したい。		
音の花東コンサート	11月29日	1回	その他	青少年	300人	【事業内容】 明善中学校の体育館にプロの演奏者を招いての音楽コンサート。今年はバイオリンとピアノの協演。 【ねらい】 生徒の地区行事等への参加のお礼として開催。公民館活動について、生徒の理解を深める。	【準備過程】 3館、中学校で打合せを行って準備を進めた。 【共催団体等】 寿台公民館、松原地区公民館	【評価と反省】 普段触れる機会の少ないプロの演奏を聴ける貴重な機会となった。中学生の公民館に対する認識を広げることができた。 【今後の方針】 CS運営委員会に中山公民館も出席していることから、同館を加えての開催を検討したい。		○
文化芸術視察研修	11月30日	1回	趣味教養	成人	33人	【事業内容】 北斎館、高井鴻山記念館の鑑賞と小布施の街並み散策。 【ねらい】 文化財・美術品の鑑賞を通して芸術意識の向上を図るとともに、住民同士の交流を深める。	【準備過程】 公民館役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。	【評価と反省】 優れた文化財・美術品鑑賞で得る感動を共有することで、住民同士の交流を深めることができた。 【今後の方針】 文化財・芸術作品に触れることができる貴重な機会であることから今後も継続したい。		
ニューススポーツ体験会	12月1日	1回	地域事業(体育)	成人	19人	【事業内容】 キャッチング・ザ・スティック、バスケツボンボン、ポッチャ等の体験。 【ねらい】 ニューススポーツを通して冬場の運動不足解消と世代間交流を図る。	【準備過程】 公民館役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 内田地区体育協会	【評価と反省】 子どもからお年寄りまで一緒に楽しみ、世代間交流が深まった。 【今後の方針】 参加者が少ないので内容と手法の検討が必要。		
しめ縄・ふかし饅頭づくり	12月8日	1回	地域文化	成人	20人	【事業内容】 しめ縄づくりとふかし饅頭の調理。 【ねらい】 地区在住の講師から作り方を教わりながら世代間交流を図るとともに、伝統文化を学ぶ。	【準備過程】 講師と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 子ども会育成会、明善小・中学校PTA	【評価】 地区在住の講師ということもあり、世代間交流をより深めるとともに伝統文化に対する理解を深めることができた。子ども会育成会のクリスマス会と同日で開催したこともあり、参加者が昨年度より10人増えた。 【今後の反省】 今年度同様、子ども会育成会と連携して実施したい。		○
人権啓発視察研修	2月1日	1回	人権平和	成人	30人	【事業内容】 満蒙開拓平和祈念館等の見学。 【ねらい】 満蒙開拓団の悲惨な歴史を知り、平和と人権擁護の尊さを学ぶ。	【準備過程】 人権啓発推進連絡協議会役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 内田地区人権啓発推進連絡協議会	【評価と反省】 平和と人権擁護の尊さを考えるきっかけとすることができた。公民館報に研修参加者の感想を掲載し、地区住民に啓発を行った。 【今後の方針】 人権について考える貴重な機会であることから継続して実施したい。		
明善小学校3学年ササラ踊り学習	中止 (2月27日)	1回	地域文化	青少年		【事業内容】 市の重要無形民俗文化財である「内田のササラ踊り」の学習及び体験。 【ねらい】 子どもの頃からササラ踊りに親しむことで伝統文化の継承を図る。	【準備過程】 学校から要請があり、授業の中で実施。 【共催団体等】 ササラ踊り保存会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染防止のため中止。 【今後の方針】 ササラ踊りに親しむ貴重な機会となっているため、学校と連携して実施したい。		○
異文化料理教室(人権学習講座)	中止 (3月1日)	1回	人権平和	成人	中止	【事業内容】 外国人講師による異文化料理(インドカレー)の実習及び試食会。 【ねらい】 料理を通して異文化に対する理解を深めるとともに外国人の人権を考えるきっかけとする。	【準備過程】 人権啓発推進連絡協議会役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 内田地区人権啓発推進連絡協議会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染防止のため中止。 【今後の方針】 地区住民の関心も高かったことから来年度は実施したい。		
内田地区ウォーキング	中止 (3月7日)	1回	スポーツ	成人	中止	【事業内容】 内田地区ウォーキングマップ見晴らしコース約7kmのウォーキングと豚汁、おにぎりの会食。 【ねらい】 健康づくりを通して住民同士の親睦を深める。	【準備過程】 福祉ひろば職員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 内田地区福祉ひろば	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染防止のため中止。 【ねらい】 毎年、参加者が多く集まる事業であり、来年度は実施したい。		
親子ふれあいパーク2020 in まつばら	中止 (3月7日)	1回	子育て	その他		【事業内容】 ・親子での体を使った遊び、集団遊び、「投げる」や「走る」といった体の使い方健康運動指導士から学ぶ。 【ねらい】 ・基本的な体の使い方を習得する子供に、遊びを通していろいろな体の動きを体験し、運動することの楽しさを知り、家庭や地域での日常的・継続的な運動習慣のきっかけづくりとする。	【主催】 松原地区公民館、松本市健康づくり課 【共催】 中山、芳川、寿、寿台、内田公民館	新型コロナウイルス感染拡大を鑑み中止。 【今後の方針】 令和2年度にあらためて実施予定。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
牛伏川階段工学習講座	7月31日 8月28日 9月25日	3回	地域文化	成人	91人	【事業内容】 地区内にある国の重要文化財「牛伏川階段工」の歴史、概要を学ぶ。 【ねらい】 地区内の文化財に対する理解を深める。一般見学者のガイド育成。	【準備過程】 講師と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 牛伏鉢伏友の会	【評価と反省】 「牛伏川階段工」の歴史、概要について理解を深めることができた。受講者のうち6人に、一般見学者ガイドとして登録いただけた。 【今後の方針】 継続して実施し、一般見学者ガイドの登録につなげたい。		
ヨガ体操講座	8月27日 9月24日 10月29日	3回	福祉健康	成人	45人	【事業内容】 初心者を対象とするヨガ体操講座。 【ねらい】 地区住民の健康増進とつながりづくり。	【準備過程】 地区住民から「一緒にヨガをする仲間を増やしたい」との要望があり、講座として実施。講師と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。	【評価と反省】 受講者をメンバーとするサークルを発足することができた。 【今後の方針】 引き続き、住民の要望の把握に努めたい。		
おつまみ料理講座	8月29日 2月21日	2回	趣味教養	成人	32人	【事業内容】 男性でも簡単に作ることができるおつまみの料理実習と試食会。 【ねらい】 各種事業への参加が少ない男性の参加を促し、つながりを構築する。	【準備過程】 講師と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 内田地区福祉ひろば	【評価と反省】 普段、公民館へ足を運ぶことが少ない男性の参加につながった。 【今後の方針】 新たな参加者が増えるよう周知方法を工夫したい。		
健康づくり講座「PPKスクール」	通年	7回	福祉健康	成人	49人	【事業内容】 理学療法士による健康に関するミニ講座と筋トレと有酸素運動を組み合わせ運動の実施。 【ねらい】 介護予防の啓発と運動習慣のきっかけづくり。	【準備過程】 講師、共催団体と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 南部保健センター、南東部地域包括支援センター、介護事業所	【評価と反省】 今年度は新たな講師を招いたことで、健康に関するミニ講座の内容も一新され、参加者から好評であった。また、運動習慣のきっかけとすることができた。 【今後の方針】 引き続き、専門職の講師を招いて実施したい。		
公民館委員会・各種地区事業実行委員会	通年	25回	公民館委員会・各種会議等	成人	284人	【事業内容】 公民館事業、地区事業の企画運営。 【ねらい】 公民館事業、地区事業を効果的に行う。	【準備過程】 年度の始め、事業の前後等に随時開催。	【評価と反省】 各委員会、実行委員会で事業の企画運営が行われ、効果的な活動を行うことができた。 【今後の方針】 住民主体で事業が行われるよう、継続して支援したい。		
公民館報「はちぶせ」	通年	6回	公民館委員会・各種会議等	成人	99人	【事業内容】 公民館事業や地区・町会行事等の記録、地区の出来事や課題等の記録。 【ねらい】 公民館事業や地区の出来事、課題等の周知。	【準備過程】 館報編集委員会において、記事の検討、推敲。	【評価と反省】 公民館事業や地区・町会事業等を記録することができた。 【今後の方針】 事業の記録だけでなく、多くの方に興味を持ってもらえる記事を掲載したい。		
「内田かわら版」	通年	12回		成人		【事業内容】 毎月の市広報誌の配布に合わせて発行。公民館事業や地区の情報を掲載。 【ねらい】 公民館事業の周知、参加者の募集。	【準備過程】 公民館主事が作成。	【評価と反省】 公民館事業や地区の情報を周知することができた。 【今後の方針】 多くの方に興味を持ってもらえるよう工夫したい。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

方針 地区住民による、より自主的な活動ができるよう意識し、主に次の事業に取り組んだ

1 公民館委員会
地区公民館主導の活動から脱却し、より自主的な活動となるよう心掛けた。館報編集委員会については、昨年度より掲載内容の決定から委員が自主的に判断するよう、委員に働きかけ、より自主的な活動ができるよう取り組んできており、本年度もこの方針に沿って委員会の運営に当たった。また、今年度は体育委員についても、各委員が責任を持って委員会活動に当たるよう、当番制を導入し、一年間取り組んできた。

2 地区文化祭
会員の高齢化等を理由に活動を閉じる団体もあるなか、新しい団体による文化祭への参加もあり、また公民館のサークル以外の団体の文化祭への参加もあり、変化への対応、新しい文化祭のスタイルを考えながらの運営となった。

3 講座
毎年行っている講座に加え、年4回のシリーズ開催で「本郷歴史講座」を開催した。地区住民に、自分達の住む地域により興味を持ってもらうことを目的とし、松本城との関係、遺跡、温泉文化などバリエーション豊富なシリーズ講座を開催した。

4 貸館
昨年より、それまで数年行われなかった本郷公民館利用者説明会を開催し、利用者との意見交換、公民館を利用するうえでの基本事項の確認を行っている。公民館設備の老朽化への対応を求める意見も多く聞かれる。

5 コミュニティスクール
本郷小学校に対し、クラブ活動の講師紹介、延べ38人による読み聞かせボランティア、緑化作業ボランティアなどを実施。また、定期的に各種ボランティアの募集を行った。従来行ってきたこれらの活動に加え、本年度は地区住民による学校登山へのサポート随行も実施した。

評価・反省等

従来の活動に加え、なにか一つでも付け加えることができるよう意識し、各事業に取り組んだ。力の及ばなかった点はあるが、ある程度の成果を上げられたと感じている。

1 公民館委員会
昨年度より続けている館報編集委員会への働きかけは一定の成果を上げられたと感じている。今年度は体育委員にも、より責任を持った行事運営を行なってもらうよう働きかけてきた。成果を上げられた部分もあるが、悪天候によりいくつかの行事が中止となり、成果の確認ができなかった部分があり、残念に感じる。

2 地区文化祭
実行委員の半数あまりが交代となったため、スムーズに運営できるか心配であったが、経験ある委員の適格な指示により昨年以上にスムーズな運営ができた。参加者からの評価も高いものが多かった。

3 講座
関心の高いテーマでのシリーズ開催であったため、参加人数、参加した方の満足度ともに一定の成果は上げられたと感じている。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館各種委員会等
	平人和権	福健 福祉	子育て	環境	文地 化域	教趣 養味	スポ ーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数	3		1	2	2		1		6	2	4		7
延べ参加人数	117		46	37	193		11		115	130	1873		406

	C S	食育
事業数	1	
延べ参加人数	46	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
御殿山ウォーキング	6月3日(日)	1回	その他	その他	15人	・親子で地区公民館から地元の里山を歩き、地元の自然に親しむとともに、ルート上にある文化財等にも関心を持ってもらう。	【共催団体等】 ・本郷地区子ども会育成会	・昨年までは参加者数が少なかったため、周知方法を変更したところ効果が見られた。 ・次年度以降も継続して開催したい。		
本郷歴史講座	5月13日(月)	4回	地域文化	成人	142人	・松本城、遺跡、温泉文化などを切り口に地域の歴史・文化を学ぶ講座をシリーズで開催し、地区住民の地域への関心向上を図る。	・本郷歴史研究会 ・本郷公民館図書委員会	・昨年度、住民から開催の要望があった歴史講座。参加人数、参加者の満足度ともに一定の成果がみられた。		
親子でホテルを見よう	6/28(金)	1回	環境	その他	28人	・ホテルの観覧会を通じ、自然環境について考える	【共催団体等】 ・浅間温泉ホテルの里づくりの会	・申し込みがあった坂者の他に、温泉の宿泊客などの参加もあり、賑やかな会となった。 ・今後も開催していく予定だが、ホテルの発生時期のピークを予想するのが困難。 ・今年は数多くのホテルが見られ、参加者の満足度は高かった。		
人権啓発推進講演会	7月2日(火)	1回	人権平和	成人	37人	・地区人権啓発推進協議会の総会に併せ、「日本人と外国人」をテーマに講師を招き、講演会を行った。	【共催団体等】 ・本郷地区人権啓発推進協議会	・海外からの観光客が増加していることもあり、興味を持って参加してもらえた。 ・今後もテーマを考えながら開催していく		
美ヶ原を歩こう	7月14日(日)	1回	スポーツ	その他	11人	親子、仲間に参加するウォーキングイベント。楽しみながらの健康増進を目的とする。		・親子や仲間同士など、様々な参加者。年齢層も幅広く、多世代交流が見込める。		
親子料理教室	8/5(月)	1回	その他	その他	27人	・地元の食材を使い、親子で料理をしてみ、親子のコミュニケーションを図り、また地産地消について考える機会とする。	【共催団体等】 ・本郷地区女性3団体（JA本郷女性部、本郷地区消費者の会、本郷地区王孫助成協議会）	・夏休み中であり、多数の参加があった。 ・今後も継続して開催していく。		
水辺の生き物観察会	8/9(金)	1回	環境	青少年	9人	・女鳥羽川やその岸で見つけた昆虫、魚などを採取し、自分で辞典等で調べてみる。自然環境、生物に対する興味向上を図る。		・参加者は非常に楽しそうであった。 ・辞典で調べる際は数人でグループとなって行うため、参加者同士の交流も図れた。 ・今後も開催する予定。		
親子で化石を掘ろう	8月24日(土)	1回	その他	その他	18人	・四賀化石館を見学した後、自分でも実際に化石を採取してみる体験学習の講座。	四賀化石館	・参加者からは、非常に楽しかったという声が聞かれた。 ・夏休み中の開催が好評であった。		
文化施設視察	9月23日(月)	1回	地域事業(文化)	その他	30人	・伝統的建造物保存地域である東御市の海野宿、国内で2例しかない五稜郭である佐久市龍岡城の見学等、文化委員会主催の文化施設視察研修。	文化委員会主催	・参加者からは概ね好評であった。 ・募集開始後、すぐに定員になってしまう。抽選方式にすべきか検討が必要。		
親子ニュースポーツ大会	9月21日(土)	1回	地域事業(体育)	その他	102人	・5種類ほどのニュースポーツ体験講習会。	【共催団体等】 ・本郷地区体育協会 ・本郷地区子ども会育成会 ・本郷公民館体育委員会	・多数の参加があったが、スタッフがやや人数不足。 ・親子参加できる種目もあり、これについては好評であった。		
町会対抗マレットゴルフ大会	9月7日(土)	1回	地域事業(体育)	成人	28人	・町会対抗方式のマレットゴルフ大会。健康づくり、体力増進とともに、町会の結束と住民の親睦の向上を図る。	体育委員会主催	・参加者からは好評を頂いている。 ・不参加の町会もあり、参加町会の増加が課題。		
文化施設視察	11月2日(土)	1回	地域事業(文化)	成人	21人	・千曲市での箱腫体験により、日本の伝統と和の文化、地産地消と健康について学び、長野県立歴史館の見学。文化、歴史について造詣を深める機会となった。	文化委員会主催	・箱腫体験は珍しさもあり好評だった。 ・毎回、行き先の選定に悩む行事。		
本郷地区文化祭	11月9日(金) 11月10日(土) 11月11日(日)	1回	地域事業(文化)	その他	1,800人	【内容】 ・地区文化活動者の発表(ステージ発表、展示発表)、地区に関係する学校(本郷小学校、女鳥羽中学校、第一高校、信州大学)の吹奏楽部等による音楽祭の開催など。 【ねらい】 ・地区文化活動者の発表の場を提供することで、活動者がより生きがいを持って文化活動を行なうことを期待し、またその他の参加者が身近な文化・芸能に触れることで、新たな文化活動の担い手となることを目的とする。	【準備過程】 ・地区内団体と実行委員会を組織し、内容を検討した。 ・福祉ひろばまつり、児童センターまつりも同時開催のため、福祉ひろばコーディネーター、児童センター長も実行委員として参加。	・発表会の聴衆が少なく、音楽会の視聴者も、発表者の関係者がほとんどを占める。 ・新しい団体の参加も促しながら対策を考えたい。		
三九郎作り講習会	11月30日(土)	1回	地域文化	青少年	51人	・地域の伝統行事である三九郎の作り方を子ども達に教え、行事の持つ意味や、手法を次の世代に伝えていく。	【共催団体等】 ・本郷地区子ども会育成会	・子ども向けの講習会だったが、父兄も多数参加。 ・好評であり、伝統行事を次世代へ受け継ぐためにも今後も開催する予定。 ・本郷小学校以外の学校へ通う子どもたちの参加が難しい。日程も含め課題が残る。		
人権ふれあいコンサート	12月14日(土)	1回	人権平和	その他	80人	・音楽活動を行っている障害者支援団体のコンサートをを行い、人権について考える機会とする。	【共催団体等】 ・本郷地区人権啓発推進協議会 出演 楽団ケ・セラ 松本旭太鼓	・長年同じ出演者で開催しているが、視聴者からは「またやって欲しい」との声が聞かれる。 ・出演団体からの要望もあるため、今後も開催していく予定。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
親子そば打ち教室	12月21日(土)	1回	その他	その他	15人	・地元のでそば粉を使い、親子でそば打ちの体験学習。 ・食べ物への関心向上と共に、親子のコミュニケーション向上を図る。	【共催団体等】 ・本郷地区子ども会育成会	・毎年、ほぼ定員一杯の申し込みがある。 ・人気講座であり、今後も継続して開催する予定。		
書き初め講座	1月6日(月)	1回	その他	青少年	20人	・地区内の小中学生を対象に開催。 ・伝統文化の継承、技術の向上を図り、子どもの学習支援に繋げる。		・申し込みのあった参加者の他に、当日参加もあり、ほぼ定員に達した。 ・今後も開催予定。		
図書委員会主催講演会	2月5日(水)	1回	地域事業(文化)	成人	22人	・浅間温泉の歴史・文化について、地元在住の講師を招き講演会を開催する。 ・自分の住む地域に関する造詣を深め、地域に対する愛着と感心の向上を図る。	図書委員会主催	・申し込みのあった参加者の他に、当日参加もあり、定員を上回る参加者となった。 ・毎年行っているが常に定員以上の参加があり、今後も開催する予定。		
人権啓発視察「満蒙開拓平和記念館見学」	3月4日	1回	人権平和	成人	中止	全国で最も多くの人々が長野県から満蒙の地へ送られており、満蒙開拓平和記念館を見学することにより、戦争と人権について考える機会とする。	本郷地区人権啓発推進協議会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		
里山トレッキング	3月14日(土)	1回	その他	成人	20人	・地元の里山を歩き、健康増進、体力向上の機会とすると共に、地元の里山に親しんでもらう機会とする。		・参加者からは好評をいただいているが、参加者が固定化する傾向にある。 ・講師の高齢化が進みつつあり、今後の開催に不安な面もある。		
本郷公民館利用者説明会	3月2日(月)	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	23人	・本郷公民館利用団体の代表者を対象に懇談会を行った。 ・利用者との意見交換を行い、使用するうえでの基本事項の共有を図った。		・利用者からの要望については、すぐに対応できないものもあるが、今後も定期的に開催していく必要を感じた。		
コミュニティスクール事業	通年	3回	子育て	青少年	46人	・地域全体で子どもを育てることを目的に、地元住民によるクラブ活動指導、読み聞かせボランティア、緑化事業ボランティア、学校登山のサポートなどの活動を行った。		・事業は今後も継続していくが、ボランティアやクラブ活動指導者が固定化しており、新しい人の加入が少ない。		○
町内公民館長会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	98人	・全員が文化祭実行委員となっているため、文化祭内容の企画をはじめ、文化祭の運営を行った。 ・また公民館長同志の交流を深め、地区内の親睦と結束の向上に努めた。		・昨年から役員交代により、半数近くが未経験者だが、自主的な活動を行えた。 ・活動予算が少なく、新しい事業を行うことは困難。		
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	82人	・公民館報の編集ならびに作成、編集に必要な取材等を行う。		・地区公民館主導での編集が多かったが、次第に自主的な活動が行えるようになってきた。		
体育委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	50人	・各種体育行事を企画・実施し、地区住民の健康増進と交流・親睦の向上を図る。		・当番制の導入により、行事への出席率は改善がみられる。 ・今年度は悪天候による行事の中止が多く残念。		
文化委員	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	70人	・文化施設視察、文化祭の企画・運営などを行い、地区の文化向上と地区住民の交流・親睦を図る。		・経験者も多く、自主的な活動が行えた。		
図書委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	63人	・年4回の図書だより発行により、読書についての啓蒙を図り、また本郷図書館の活動に協力する。		・自主的な活動が最も盛んな委員会。 ・前年通りにいかない場合となっても、自分達で解決方法を考えて活動できる。 ・委員が固定されているので、新しい委員の加入が問題か。		
運営委員会	通年	2回	公民館委員会・各種会議等	公民館委員会・各種会議等	20人	・本郷公民館の事業計画、予算案、徐行報告、決算報告などについて協議を行い、本郷公民館の活動方針について決定を行う。				

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等													
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内に福祉ひろば、社会福祉協議会などそれぞれが事業を行っている。同じことをそれぞれが行っていてもいることが多いのでの住み分けをして事業の見直しを図っていく。 ・図書室を充実させ、気軽に利用できるようにしていく。 ・生涯学習推進団体の福寿草倶楽部を中心に文化芸術部門の充実をしていく。 ・運転免許の返納など高齢者が支所までくることが厳しい時代になっている。出張講座なども開催したい。 ・防災についての講座を開催したい。 													
評価・反省等													
<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少が進む中でも公民館事業に参加してくれる人が多くいる。ただし、毎回顔ぶれが同じである。 ・子育て世代を含む家庭学級の事業が少ない。 													
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等
	平人 和権	福健 祉康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	ス ポ ー ツ	防 災	そ の 他	体 育	文 化	そ の 他	
事業数	1	1	1		1	6	4		2	4	3	2	5
延べ参加人数	20	138				75	260		45	1180	1280	12500	50
	CS	食育											
事業数	2												
延べ参加人数	45												

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
第15回四賀地区球技大会	5月26日	1回	地域事業(体育)	成人	800人	【内容】 ・町会対抗でソフトバレーボール、ソフトボール、ゲートボール、ラージボール卓球、マレットゴルフの5競技を行う。 【ねらい】 ・地区住民がスポーツを通じて、親睦・体力向上・スポーツ人口の底辺拡大、活気ある地域づくりを図る。	【準備過程】 ・競技団体に役員を依頼して、要項を検討し、地区体育部長に参加依頼する。 【共催団体等】 ・四賀体育協会 ・町内公民館長会	【評価と反省】 ・地区の人口が減少中、町会の協力を得て、大会を開催できている。 ・地区内の住民、勤務者が基本であるが、申し合わせで地区出身の人が参加できた久しぶりに会う人もいて交流も多くなる。 【今後の方針等】 ・より多くの人が参加して勝負より楽しめる大会にしていきたい。		
四賀夏まつり2019	7月21日	1回	地域事業(その他)	成人	3,000人	【内容】 ・ふるさと公園を主会場に小学生の金管バンド、地元で活躍するバンド演奏、踊りなどのステージイベントや夜店が並ぶ。最後は、花火の打ち上げも行われる。 【ねらい】 ・「ふるさと四賀」の伝統・文化を伝え地域住民相互の交流・都市と農村、海と山の交流を深めることにより、住民のパワーアップを図り、活力あるふるさとを創生する。	【準備過程】 ・共催団体による実行委員会を立ち上げ企画、運営をする。 【共催団体等】 四賀観光協会、町会連合会、商工会、四賀元氣プロジェクト、J.A、町内公民館長会等	【評価と反省】 ・地元出身の花村佑子さんコンサートや小学校の金管バンドなど地域で活躍する人や夜店も中学生が出店するなど地域交流をメインに企画した。 【今後の方針等】 ・これからも地域のための地域住民主体で開催していきたい。		
会田中学校学校応援団	7月22日	1回	その他	成人	45人	【内容】 ・会田中学校生徒の登山にボランティアとして登山経験者がガイドを兼ねて参加する。 【ねらい】 ・互いに顔見知りになり地域安全にも活用してもらおう。	【準備過程】 ・チラシ等で参加者を募集した。 【共催団体等】 ・会田中学校 ・福祉ひろば	【評価と反省】 ・学校応援団の方が参加してくれた。 【今後の方針等】 ・中学校から要望があれば参加者を募り協力していく。		○
第34回四賀コンサート	9月7日	1回	地域事業(文化)	その他	630人	【内容】 ・四賀小学校体育館を会場に開催 ・松本交響楽団、会田中学校生徒、四賀小学校6年生、四賀鼓龍会虚空蔵太鼓、四賀合唱団等が出演 【ねらい】 ・四賀の明日をひらく生涯学習推進の基盤として、地区住民総参加のもとに、心の豊かさ、潤い、やすらぎのある生活、情操豊かな文化を創造する。	【準備過程】 ・実行委員会を結成し、企画、運営を行う。 【共催団体等】 ・主催 松本市、松本市教育委員会 ・主管 四賀コンサート実行委員会	【評価と反省】 ・地区内唯一の本格的な交響楽団によるコンサートであり小中学生も出演するため家族の来場が多い。 【今後の方針等】 ・次年度は、第九の演奏となるため県民コンサートとの合同開催を予定している。		
第10回四賀バレーボール大会	10月20日	1回	地域事業(体育)	女性	80人	【内容】 女性9人制バレーボール大会 【ねらい】 バレーボール人口の増大と女性同士の交流	【準備過程】 【共催団体等】 四賀体育協会 ママさんバレーボールクラブ 婦人バレーボール連盟	【評価と反省】 バレーボール人口が減少し、参加チーム数も減り、複数町会混合でチーム結成しているため町会間の調整が厳しくなっている。 【今後の方針等】 女性同士の交流の場として今後も継続していく。		
マレットゴルフオープン大会	10月20日	1回	スポーツ	成人	150人	【内容】 ・マレットゴルフ大会 【ねらい】 ・連盟会員以外も参加でき、会員の新規加入促進	【準備過程】 ・会員以外も参加できるので参加募集等を行った。 【共催団体等】 ・マレットゴルフ連盟	【評価と反省】 ・連盟に運営を任せられるようになった。 【今後の方針等】 ・これからは協力という形で支援をしていきたい。		
文化祭	11月2～4日	1回	地域事業(文化)	その他	500人	【内容】 ・保育園児、小中学生、各クラブ、団体、サークルの作品展示 ・四賀新そば祭り実行委員会主催の「そばまつり」 ・社会福祉協議会によるバザー 【ねらい】 ・地区で活動する団体が一堂に会し、文化活動の発展と交流 ・地区住民の文化活動への増進	【準備過程】 ・文化関係団体・個人に通知し、出展者を募る ・出展者により運営、準備、片付けを行う 【共催団体等】 ・福祉ひろば・社会福祉協議会・福寿草倶楽部 ・新そば祭り実行委員会 ・四賀小学校・会田中学校・双葉保育園・錦部保育園	【評価と反省】 ・今年は、生涯学習フェスティバルと同日開催とした。 ・文化祭の展示会場の部屋の変更など課題が残った。 【今後の方針等】 ・展示の仕方を再考しながら生涯学習フェスティバルとの同時開催ができるようにしていきたい。		
第13回生涯学習フェスティバル	11月2日	1回	地域事業(文化)	成人	150人	【内容】 ・福寿草倶楽部の芸能部を中心とした発表会 ・実践活動として四賀小学校6年生によるステージ発表 【ねらい】 ・同じ趣味を持つ仲間が集い、学習し、得たことに対し喜びをより確かな歩みを推進するために開催。	【準備過程】 ・福寿草倶楽部による運営 【共催団体等】 ・福寿草倶楽部 ・四賀小学校	【評価と反省】 ・今年は、文化祭と同日開催とした。 ・別日に開催するより来場者は増加した。 ・芸能祭的になってしまっている。 【今後の方針等】 ・文化祭と同日開催として内容を再考しながら継続していく。		
第60回記念四賀一周駅伝競技大会	11月3日	1回	地域事業(体育)	成人	300人	【内容】 ・地区内を12区間で周る駅伝大会 ・60回の記念大会として、優勝旗、入賞盾を新調 ・記念式典を開催 ・11チームが参加 【ねらい】 ・地区住民のスポーツ人口の拡大と明日への活力を養い、健康で充実した生活を送り、活気ある地域づくりを図る。	【準備過程】 ・実行委員会をつくり、要項の検討、準備、大会運営を行う。 【共催団体等】 ・四賀体育協会 ・町内公民館町会	【評価と反省】 ・記念大会として地区内外のチームが参加してくれた。 ・国道など車道を走行するため安全面の強化が必要である。 【今後の方針等】 ・地区外からの参加を促進していきたい。		
四賀地区人権啓発推進協議会視察研修	11月27日	1回	人権平和	成人	20人	【内容】 ・福井県のイタイイタイ資料館 【ねらい】 ・視察研修し、人権について考える	【準備過程】 【共催団体等】 ・人権啓発推進協議会			
そば打ち教室	12月14日	1回	趣味教養	成人	15人	【内容】 ・手打ちそば打ちづくり 【ねらい】 ・同じ趣味や興味のある人が集い新しい仲間づくりをしてもらう。	【共催団体等】 ・福祉ひろば	【評価と反省】 ・会場の都合により定員が少なく受講できない人が多かった。 【今後の方針等】 ・会場の変更は不可能なため少数での開催としていく。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
伝筆(つたふで)教室	12月20日	1回	趣味教養	成人	10人	【内容】 ・筆ペンを使ってユニークなデザイン文字を描き年賀状を作る。 【ねらい】 ・同じ趣味や興味のある人が集い新しい仲間づくりをしてもらう。		【評価と反省】 ・パソコンを使って年賀状より手作りに人気があり参加者に好評であった。 ・募集が12月からと遅くなったためあまり広報が出来なかった。 【今後の方針等】 ・募集をもう少し早めに行い参加者を募ってきたい。		
書き初め教室	1月6日	1回	趣味教養	青少年	20人	【内容】 ・小中学生を対象に冬休みの宿題となっている書き初めと市民タイムスに応募する作品に取り組んだ。 【ねらい】 ・異年齢の人と同じ部屋で学ぶことによって学年を超えた友達をつくるきっかけにしてもらう。		【評価と反省】 ・講師の先生の指導であまり形にこだわらずのびのびと書く事ができ、楽しみながら作品を仕上げる事ができた。 【今後の方針等】 ・継続		
親子スキー教室(変更)	1月25日	1回	スポーツ	青少年	15人	【内容】 ・小学生の親子を対象にしたスキー教室 【ねらい】 ・親子で楽しみながらスキーを通して冬場の体力づくり、技術の向上を図る。	【準備過程】 ・松本市スキークラブに講師を依頼 【共催団体等】 ・四賀体育協会	【評価と反省】 ・スキー場に雪がなく中止とした。 ・代わりに国営アルプスあづみの公園に行き、体験学習館で学習を行った 【今後の方針等】 ・来年以降も雪不足の考えられるため会場の変更も検討する必要がある。		
第15回ソフトバレーボール大会(中止)	3月1日	1回	地域事業(体育)	成人	中止	【内容】 ・町会を中心とした一般の部、40歳以上の部に分けたソフトバレーボール大会 【ねらい】 ・幅広い年齢層の住民が参加し、親睦と友情を深め、活気ある地域づくりと運動不足解消を図る。	【準備過程】 ソフトバレーボール競技の2団体に役員を依頼し、企画・運営を行った。 【共催団体等】 四賀体育協会 四賀ソフトバレーボールクラブ 刈谷原町ソフトバレーボールクラブ	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 町会で大会までの練習や講習会を希望があれば役員を派遣することにした。 【今後の方針等】 ・継続をしていく。		
第17回大樂い(中止)	3月8日	1回	趣味教養	成人	中止	【内容】 ・ステージ発表・活動報告 ・昼食会 【ねらい】 ・福寿草倶楽部員の活動成果を発表し、交流を深める	【準備過程】 ・福寿草倶楽部が中心となり企画・運営 ・公民館は協力 【共催団体等】 ・福寿草倶楽部	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 【今後の方針等】		
天満敦子さんヴァイオリンコンサート(延期)	3月15日	1回	趣味教養	成人	延期	【内容】 ・音楽村村長天満さんによるヴァイオリンコンサート 【ねらい】 ・特別な会場でしか聞くことができない音楽を身近で聞き楽しんでもらう	【準備過程】 ・音楽村が中心になり運営 【共催団体等】 ・四賀音楽村	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期(開催時期 未定) 【今後の方針等】 ・継続		
福寿草倶楽部交流会	4月20日 8月24日	2回	趣味教養	成人	30人	【内容】 ・4月 ゲートボールと昼食会 ・8月 マレットゴルフと昼食会 【ねらい】 ・福寿草倶楽部会員の交流と会員の増進	【準備過程】 ・チラシを倶楽部員へ送付 ・一般参加者へは広報と一緒に配布 【共催団体等】 ・福寿草倶楽部	【評価と反省】 ・チラシを倶楽部員へ送付 ・福寿草倶楽部員も高齢化により参加が少なくなっている。 【今後の方針等】 ・参加者の減少により他の種目などの新しい交流会を検討している。		
ウォーキング	4月23日 5月22日 6月21日 9月11日 10月18日 11月20日	6回	福祉健康	成人	138人	【内容】 ・4月 山城のあった地区の虚空蔵山登山 ・5月 地域バスに乗り化石館を見学した後、国道143号線をこみを拾いながらウォーキング ・6月 小谷村戸土地区 ・9月 塩尻市の小野神社とすだれ栗の里周辺 ・10月 木曾の赤澤美林 ・11月 岐阜県の苗木城 【ねらい】 ・特色ある地域を訪ねウォーキングをして自然、歴史、文化を学習する。 【環境】 【地域文化】	【準備過程】 ・チラシを各戸に配布 【共催団体等】 ・福祉ひろば	【評価と反省】 ・それぞれの特色を見て歩くことにより新しい見識を学ぶ事ができた。 【今後の方針等】 ・特色ある地域を探し、今後も継続していきたい。		
走り方講座	9月21日 9月28日 10月19日	3回	スポーツ	成人	50人	【内容】 ・駅伝大会のために怪我のない効果的な走り方やその練習方法を学ぶ。 【ねらい】 ・各チームごとの練習の補助と走る楽しさを学ぶ	【準備過程】 ・チラシの配布や掲示を行う 【共催団体等】 ・駅伝競技大会実行委員会	【評価と反省】 ・4回の予定であったが10月12日は、台風19号の接近により中止とした。いままでも専門家の指導による講座がなかったため参加者からは好評であった。 【今後の方針等】 ・駅伝のためだけでなく定期講座としていきたい。		
ベタンク教室	1月24日 2月17日 3月16日(中止)	2回	スポーツ	成人	45人	【内容】 ・ベタンク競技の講習会と実践 【ねらい】 ・競技人口の増加	【準備過程】 ・チラシの配布や掲示を行う 【共催団体等】 ・ベタンククラブ	【評価と反省】 ・高齢者を中心に参加者があった。 ・3月は、新型コロナウイルスによる肺炎拡大防止のため中止とした。 【今後の方針等】 ・競技者が増えれば大会を開催する予定		
四賀小学校学校応援団	年間	16回	その他	成人	360人	【内容】 ・四賀小学校遠足に地域住民と一緒に遠足を行った。 ・小学校と支所の花壇を四賀小学校3年生と一般参加者と一緒に花壇整備 ・クラブ活動で地区の人が講師となり指導 【ねらい】 ・互いに顔見知りになり地域安全にも繋げてもらう。	【準備過程】 ・チラシ等で参加者を募集した。 【共催団体等】 ・四賀小学校 ・福祉ひろば ・子ども会育成会 ・社会福祉協議会	【評価と反省】 ・地域のボランティア活動や学校応援団の方が参加してくれた。 【今後の方針等】 ・地域の繋がりと子どもの様子がわかる機会として今後も継続していく。		○

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
公民館図書室	年間		地域事業 (その他)	成人	9,500人	【内容】 ・ 図書の貸出 【ねらい】 ・ 市内の図書館まで距離もあり利用するのに厳しいため		【評価と反省】 ・ 図書館が遠いため利用者には近くにあり便利である。 ・ 未就学子どもと絵本が特に人気がある。 【今後の方針等】 ・ 蔵書の充実を図り利用の拡大をしていく。		
おはなしの会	毎月第3 土曜日	11回	子育て	家庭教育	120人	【内容】 ・ 毎月第3土曜日に未就学の親子、小学生を対象に読み聞かせや紙芝居を行う 【ねらい】 ・ 本の楽しさを知ってもらい読書や図書室の利用増加を図る	【準備過程】 ・ テランの配布や掲示を行う 【共催団体等】 ・ 図書室 ・ 読み聞かせの会	【評価と反省】 ・ 1回の参加者は少ないがリピーターが多く、楽しんでいる子どももいる。 ・ 放課後児童センター利用の子どもも参加している。 ・ 3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 【今後の方針等】 ・ 今後も継続		
図書室談義	11月16日 3月11日 (中止)	2回	地域文化	成人	25人	【内容】 ・ 11月 挿花植物について ・ 3月 鉄砲伝来 【ねらい】 ・ 図書室の利用促進のため地域話題を題材に気軽に話をして、その参考となる図書の紹介を行う。 【環境】 【趣味教養】	【準備過程】 ・ テランの配布や掲示を行う	【評価と反省】 ・ 話題提供者と題材を決めるのに苦労した。 ・ 2回目は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 【今後の方針等】 ・ 亘人好みの講座として継続していく。		
運営委員会	随時	1回	公民館委員会・各種会議等		5人	全体計画を検討する。		町会連合会長、町内公民館町会長、公民館委員会の委員長等によって構成され、全体的な調整の場となっている。		
館報編集委員会	随時	1回	公民館委員会・各種会議等		5人	「公民館報しが」の取材、編集する。		公民館事業の報告記事が多い。		
体育委員会	随時	1回	公民館委員会・各種会議等		35人	公民館体育事業の企画、運営する。		4地区町会体育部長代表、スポーツ推進委員、競技団体の代表等が委員となっている。四賀一周駅伝競技大会はスポーツ推進委員、他の球技大会については競技団体が主管し実施している。		
図書視聴覚委員会	随時	1回	公民館委員会・各種会議等		5人	【ねらい】 他の図書施設を視察研修して、公民館図書室の充実を図る。 【内容】 上田市情報ライブラリーを視察研修	【準備過程】 公民館図書視聴覚委員と研修施設選定 【共催団体等】 公民館図書視聴覚委員会	【評価と反省】 図書室について視察研修し、今後の図書室運営に役立てていきたい。		
文化委員会	随時	1回	公民館委員会・各種会議等		15人	文化事業の企画、運営する。		四賀コンサート、文化祭の企画・運営を主にしている。単独学級の企画についても委員会で検討したい。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	
【方針】	学都松本をめざして、市民が生涯にわたって学び続けるまち、地域や行政が協働して共に学ぶまち、市民一人ひとりが学んだ知識、技術を社会に活かし、次代に引き継ぐまちをめざし、安曇地区の課題、特性を踏まえた公民館事業を展開する。
【地域課題】	1 広大な面積に小集落が点在しているため、地区全体が一体感を持った地域活動を進めることが困難 2 少子高齢化が進み、児童・生徒の減少が顕著 3 地区の大部分が急峻な地形で、災害発生時の被害を懸念 4 特定健診受診率が低い（市内35地区中35位）※JAGESより 5 虚弱者が多い（市内35地区中30位）※JAGESより 6 閉じこもり者割合が多い（市内35地区中30位）※JAGESより
【重点的に取り組んだ事項等】	1 伝統行事の継承（ウェストン祭記念山行、安曇地区文化祭等） 2 日本を代表する山岳観光地である安曇地区の魅力を発見・認識し、この財産を守り、後世に伝えて行く意識を醸成 3 企業等と連携しながら事業を実施
評価・反省等	
【評価】	1 ウェストン祭記念山行や安曇地区文化祭等、村時代から続く行事について、住民と協議を重ね、伝統を継承しつつ、活性化を狙い、新たな企画の実施等により、参加者増を達成した。 2 上高地及び乗鞍（中部山岳国立公園）について学習するとともに、散策することで健康増進を図った。 3 地区に関係が深い企業の協力の元、奈川渡ダムの紅葉を見ながら、ダムの役割や流れ着く流木について学んだ。
【反省】	今年で19回目を迎えた奥穂高岳登山（学校行事）について、安曇・大野川中学校から隔年実施（令和2年度は実施しない）の方針が示された。これを地域課題として捉え、公民館が行事を継承していく方法を両校と協議したが、結論に至らなかった。

項 目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館 各種 委員会 等
	平人 和権	福健 祉康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	ス ポ ー ツ	防 災	そ の 他	体 育	文 化	そ の 他	
事業数		1		1		1	4	1		1	2	4	4
延べ参加人数		36		36		7	169	9		27	76	360	114

	CS	食育
事業数		
延べ参加人数		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
ウェストン記念山行及びウェストン祭参加児童引率	6月1日～6月2日	1回	地域事業(文化)	青少年	100人	【内容】 ・安曇村時代から行われている伝統行事である徳本峠越えの登山を行う。また、一部児童及び教師は翌日のウェストン祭に参加し、献花と合唱を行うもの 【ねらい】 ・日本アルプスを世界に発信したウォルター・ウェストンの足跡を辿り、地域への理解を深める。	【準備過程】 ・地区内回覧で周知 ・開催前に、山岳ガイド、安曇山岳会及び公民館職員で山行ルートを下見 ・下見の結果を踏まえ、安曇地区子ども会育成連合会総会(5月末開催)で、記念山行の実施可否を協議 【共催団体等】 ・安曇地区子ども会育成連合会 ・安曇小中学校 ・大野川小中学校	【評価・反省】 ・危険を伴う山歩きであるが、怪我や事故もなく、無事に開催することができた。 ・参加者が前年より増加(前年比+8人) ・2日目のウェストン祭では、献花及び合唱を行い、伝統をつなぐことができた。 【今後の方針】 ・伝統行事として継続		
さわやか健康講座	6月11日	1回	地域事業(体育)	成人	28人	【内容】 ・昨年度のアロマテラピー研修の関連企画として、健康づくりに特化したもの 【ねらい】 ・研修で学習したことを体験することで学びを深めると同時に、散策することで健康増進を図る。	【準備過程】 ・地区内回覧で周知 【共催団体等】 ・安曇地区健康づくり推進員会	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・今年度で事業終了		
自然エネルギー×暮らしの豊かさ	7月15日	1回	地域文化	成人	7人	【内容】 ・自然エネルギーの学習、施設見学及び関連映画の鑑賞 【ねらい】 ・居住地区において伝統的に受け継がれているもの、全国的に新たに取組みが始まっている自然エネルギーについて学ぶ。 ・自然エネルギーを活用し、暮らしの豊かさを見つめ直す地域について学ぶ。	【準備過程】 ・地区内全戸配布で周知 【共催団体等】 ・奈川公民館 ・地域おこし協力隊	【評価・反省】 ・ねらいどおり、事業が実施できた。 ※参加人数=安曇公民館に申込があった人数 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、事業を継続したい。		
奥穂高岳登山	7月22日～24日	1回	地域事業(体育)	成人	39人	【内容】 ・日本第3位の高峰「奥穂高岳」への登山 【ねらい】 ・同日開催の安曇・大野川両中学校主催の奥穂高岳登山をサポートし、学校と地域が一体となり伝統行事を継承 ・健康寿命延伸都市を目指し、登山を通して精神力や体力の増進を図る。	【準備過程】 ・地区内回覧で周知 【共催団体等】 ・安曇山岳会	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 ・今年度19回目を迎えた奥穂高岳登山(学校行事)について、安曇・大野川中学校から隔年実施(令和2年度は実施しない)の方針が示された。これを地域課題として捉え、公民館が行事を継承していく方法を両校と協議したが、結論に至らなかった。 【今後の方針】 ・公民館としてできることを引き続き模索していきたい。		
アイスコーヒーの淹れ方講座	8月8日	1回	趣味教養	成人	9人	【内容】 ・2018年に信毎メディアガーデン内に新店した丸丸山珈琲を講師に招き、県内企業の活躍及びアイスコーヒーの淹れ方を学ぶ 【ねらい】 ・家族や友人との交流を深めるきっかけ作りにつなげる。	【準備過程】 ・地区内回覧で周知	【評価・反省】 ・ねらいどおり、事業が実施できた。 【今後の方針】 ・事業を継続したい。		
乗鞍サマーセミナー	8月31日	1回	地域事業(その他)	成人	61人	【内容】 ・東京大学OB・OG会協力のもと、乗鞍にまつわる講演会を開催 ・今年度テーマ=「山歩きで健康づくり、山歩きのための筋肉づくり」 【ねらい】 ・乗鞍に有用なテーマについて、学び、新たな魅力等の発見を行う。	【準備過程】 ・地区内回覧で周知 ・プレスリリースで周知 【共催団体等】 ・東京大学乗鞍寮VSAの会 ・大野川小中学校同窓会 ・ふれあいパーク乗鞍管理委員会 ・松本市教育委員会 ・大野川区町会 ・のりくら地区町会連絡会 ・のりくら観光協会	【評価・反省】 ・ねらいどおり、事業が実施できた。 ・東京大学の石井直方先生を講師にお迎えし、「山歩き」「筋肉」「健康」をテーマに、健康寿命延伸に向けた、筋生理学からみた山歩きの健康効果に加え、幅広い世代の方が長く山歩きを楽しむためのコンディショニングとしての「スロートレーニング」のコツを講演していただいた。 【今後の方針】 ・地域と東京大学OB・OG会と連携を取り、今後も継続して地域学習を進めたい。 ・取り上げてほしいテーマを相手方に提案していく。		
松本市安曇ゴルフ大会	9月20日	1回	スポーツ	成人	27人	【内容】 ・旧姉妹都市松崎町との交流ゴルフ大会。富士見高原ゴルフコースで開催 【ねらい】 ・松崎町住民と地区住民の親睦を深める。	【準備過程】 ・地区内回覧で周知 【共催団体等】 ・松本市安曇ゴルフクラブ	【評価・反省】 ・ねらいどおり、事業が実施できた。 【今後の方針】 ・双方で行き来のできるプレーヤーがいる限りは継続していく。		
地域を守る砂防防災講座	10月23日	1回	防災	成人	9人	【内容】 ・神通川砂防施設等の学習及び見学 【ねらい】 ・梓川流域に暮らす安曇・奈川地区住民を対象に、砂防防災や災害に対する防災知識を高める。	【共催団体等】 ・奈川公民館 ・NPO法人梓川流域を守る会 ・国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所 ・(一社)北陸地域づくり協会	【評価・反省】 ・ねらいどおり、事業が実施できた。 ※参加人数=安曇公民館に申込があった人数 【今後の方針】 ・これまで同様、内容は住民等と協働で検討し、継続性のあるものを作っていく。		
安曇地区文化祭	10月27日	1回	地域事業(その他)	成人	202人	【内容】 地域の文化活動発表と、地区全体の住民交流のための文化祭を開催 【ねらい】 ・普段会う機会が少ない住民同士が交流し、地区内の名産品や文化活動を知る機会として開催	【準備過程】 ・地区内全戸配布 ・文化祭企画・検討委員会及び実行委員会等で内容を検討 ・地区内企業等に協賛依頼 【共催団体等】 ・安曇地区文化祭実行委員会 ・地区内企業等	【評価・反省】 ・ねらいどおり、事業が実施できた。 ・昨年の内容から大幅な変更は行わず、昨年の課題解消を目指した。 ・参加者が前年より増加(前年比+23人) 【今後の方針】 ・これまで同様、内容は住民等と協働で検討し、継続性のあるものを作っていく。		
奈川渡ダムの紅葉を見ながら、ダムの流木でオリジナルグッズをつくらう	11月9日	1回	地域事業(その他)	青少年	7人	【内容】 ・奈川渡ダムの紅葉を見ながら、ダムの流木でオリジナルグッズをつくる。 【ねらい】 ・ダムの役割やダムに流れつく流木の処理について学ぶ。 ・紅葉を眺め、地域の魅力を発見・認識する。 ・土曜日に開催することで親子参加を促す。	【準備過程】 ・地区内回覧で周知 【共催団体等】 ・奈川公民館 ・東京電力ホールディングス・リニューアブルパワー・カンパニー	【評価・反省】 ・参加者が成人のみであったものの、事業は好評であった。 【今後の方針】 ・引き続きさまざまな企業等と連携し、事業を展開したい。 ・対象を青少年とした場合は、学校を通じて周知を行いたい。		
まつもと演劇工場・アウトリーチ公演	12月7日	1回	地域事業(文化)	成人	16人	【内容】 ・まつもと演劇工場による舞台芸術の鑑賞 【ねらい】 ・芸術文化に触れる。 ・自宅にこもりがちな冬期に外出機会を創出	【準備過程】 ・地区内回覧で周知 【共催団体等】 ・まつもと市民芸術館	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・安曇地区文化祭と関係性を持たせる等、芸術文化に関する機運を高めていきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	G S	食育
マレットゴルフ大会	4月23日 5月21日 7月9日 9月27日	4回	スポーツ	成人	50人	【内容】 ・安曇地区マレットゴルフ協会を中心にマレットゴルフ大会を開催【ねらい】 ・スポーツを通して地域住民同士の交流を図る。	【共催団体等】 ・安曇地区マレットゴルフ協会	【評価・反省】 ・マレットゴルフは、安曇地区内でも最も活発に行われているスポーツであり、大会運営も地域住民と協力し、円滑に行っている。 【今後の方針】 ・協会員は減少傾向にあるが、大会への参加人数は一定数いるため継続して開催したい。		
ウォーキング事業	5月7日 6月25日 10月29日	3回	スポーツ	成人	64人	【内容】 ・季節に合わせた場所でウォーキングを行う。 【ねらい】 ・ウォーキングを通じた健康増進と住民同士の交流を図る。	【準備過程】 ・地区内回覧で周知 【共催団体等】 ・安曇地区福祉ひろば ・健康づくり課西部保健センター	【評価・反省】 ・ねらいどおり、事業が実施できた。 【今後の方針】 ・冬季を除き、季節ごとに継続して開催したい。		
そうだ！乗鞍へ行こう！	5月17日 10月11日	2回	地域事業(体育)	成人	27人	【内容】 ・乗鞍地域の歴史及び自然を学習するもの【ねらい】 ・すももの花及び紅葉が見頃を迎える時期に、学習及び体験をしてもらうことで、乗鞍の魅力を発見・認識してもらう。 ・自然の中で身体を動かすことの楽しさを感じてもらい、健康づくりを目指す。	【準備過程】 ・地区内回覧で周知	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・事業を継続したい。		
あつみ 見る・知る in 上高地 第1回「歩いて学ぶ上高地の地形・地質」 第2回「わたしたちの上高地ー1億年のものがたり」	5月24日 8月2日	2回	環境	成人	36人	【内容】 ・国の文化財(特別名称及び特別天然記念物)に指定されている上高地について学習するもの。 【ねらい】 ・安曇地区の魅力を発見・認識し、郷土愛を育てていただくとともに、散策することで健康増進を図る。 ・幅広い年代にアプローチするため、一般向けと子ども向けを分けて開催した。	【準備過程】 ・地区内回覧で周知 ・学校経由保護者向けに周知 【共催団体等】 ・松本市教育委員会 ・文化財課	【評価・反省】 ・ねらいどおり、事業が実施できた。 ・専修大学の苅谷 愛彦先生を講師にお迎えし、上高地の地質的な成り立ちについて、座学・現地学習をしていた。 【今後の方針】 ・テーマを変えるなどしながら、事業を継続したい。		
松崎町交流事業	7月9日～11日 8月21日～23日	2回	地域事業(その他)	青少年	90人	【内容】 ・旧姉妹都市松崎町と中学生同士の交流を行う。(7月に松崎町訪問、8月に受入) 【ねらい】 ・双方の中学生が普段行くことのない山や海的环境に触れ、知見と交流の輪を広げる。	【準備過程】 ・松崎町教育委員会との調整 ・安曇中及び大野川中との調整 【共催団体等】 ・松崎町教育委員会 ・安曇地区子ども会育成連合会 ・安曇中学校 ・大野川中学校	【評価・反省】 ・30年以上続く伝統行事で毎年中学2年生同士が交流。事業後もつながりは続いている様子 【今後の方針】 ・松崎町側は今も姉妹都市としているため、関係継続の限りは事業も継続していく。		
のりくら陶芸教室 ～ふれあいパーク乗鞍の窯を使って作陶体験～	9月3日 9月17日 10月1日 10月15日	4回	地域事業(文化)	成人	60人	【内容】 ・ふれあいパーク乗鞍の窯を使用した陶芸教室【ねらい】 ・安曇地区文化祭での作品展示を目指し作陶することで、文化祭のPRにつなげる。 ・新たな生きがいづくり	【準備過程】 ・地区内回覧で周知 【共催団体等】 ・のりくら陶芸クラブ	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・事業を継続したい。		
山のめぐみ工芸教室	1月9日 1月10日	2回	趣味教養	成人	7人	【内容】 ・山に囲まれた地区の特性を生かし、木の実等を素材として、今年の干支を作るもの。 【ねらい】 ・身近な山の樹木を学習するとともに、指先を使うことで脳が活性化し、認知症予防効果が期待できるもの。	【準備過程】 ・地区内回覧で周知	【評価・反省】 ・ねらいどおり、事業が実施できた。 ・初回は応募者が0であったため中止 【今後の方針】 ・作品の工夫やPRに注力しながら、事業を継続したい。		
スノーシュー(乗鞍・上高地)	1月31日 2月28日	2回	スポーツ	成人	28人	【内容】 ・冬の乗鞍と上高地をスノーシューで歩く。 【ねらい】 ・スノーシューの基本技術を習得 ・日本を代表する山岳観光地である安曇地区の魅力を発見・認識し、この財産を守り、後世に伝えて行く意識の醸成を図る。	【準備過程】 ・地区内回覧で周知 ・体協第9ブロック所属地区(梓川、安曇、奈川、波田)へ回覧で周知 【共催団体等】 ・(一財)松本体育協会 ・第9ブロック体育協会	【評価・反省】 ・ねらいどおり、事業が実施できた。 【今後の方針】 ・地区を越えたスポーツ交流を図ることができたため、継続して開催したい。		
落語で笑おう	3月6日 3月13日	2回	福祉健康	成人	36人	【内容】 ・人権をテーマとした落語の鑑賞【ねらい】 ・人権を切り口とした落語を展開することで、人権を学び、考える機会にする。 ・「笑い」は、心や体に良いということが医学的に実証されつつあり、笑うことで免疫力アップ等、健康づくりにつなげる。	【準備過程】 ・地区内回覧で周知 【共催団体等】 ・安曇地区人権啓発推進協議会	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、事業を継続したい。		
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	54人	【内容】 ・地域住民協力のもと、公民館活動の円滑な運営と企画検討等を行う。 【ねらい】 ・館報の刊行を通じた地域づくりの推進や意識の高揚を図る。		【評価・反省】 ・安曇地区の中学生の執筆が定着してきた。 【今後の方針】 ・地区の様々な出来事を的確に伝えるように心がけた。		
図書委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	20人	【内容】 ・地域住民協力のもと、公民館活動の円滑な運営と企画検討等を行う。 【ねらい】 ・図書に接する機会を増やし、地域づくりの推進や意識の高揚を図る。	【共催団体等】 ・ふれあいパーク乗鞍	【評価・反省】 ・例年どおりふれあいパーク乗鞍の図書を年2回、入れ替えることができた。 【今後の方針】 ・大野川の身近な図書館としてより多くの本に接する場を提供		
文化委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	31人	【内容】 ・地域住民協力のもと、公民館活動の円滑な運営と企画検討等を行う。 【ねらい】 ・文化祭開催を通じた地域づくりの推進や意識の高揚を図る。	【共催団体等】 ・安曇地区文化祭実行委員会	【評価・反省】 ・来訪者低減を脱するため、平成27年度以降大きく変えた実施内容が定着してきた。 【今後の方針】 ・今後も安曇の各地区の特徴を活かした文化祭を目指し、地域の一体感を醸成していきたい。		
体育委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	9人	【内容】 ・地域住民協力のもと、公民館活動の円滑な運営と企画検討等を行う。 【ねらい】 ・スポーツ活動を通じた地域づくりの推進や意識の高揚を図る。	【共催団体等】 ・安曇地区マレットゴルフ協会	【評価・反省】 ・地元住民による整備作業で、コースの環境が維持されている。 【今後の方針】 ・主に高齢者を対象としたスポーツを通じ、健康寿命の延伸をはかっていきたい。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針・地域課題】
 ○参加者同士の交流を図る講座を企画・開催した。
 該当講座：手作りソーセージ教室、切り絵講習会、蕎麦打ち講習会
 ○「健康寿命推進都市・松本市の創造」の一環として、各事業を開催し、参加者の運動不足解消、健康増進を図った。
 該当講座：切り絵講習会、手作りソーセージ教室、そばうち講習会
 ○各事業において、地区内外の関係機関、団体と連携を図り、事業を開催した。関係機関・団体：奈川支所、奈川地区福祉ひろば、奈川小中学校、奈川地区社会福祉協議会、奈川地区長会連合会、ふるさと奈川をおこす会、奈川地区体育協会、奈川地区子ども育成会連合会、奈川地区人権啓発推進協議会、町内公民館、奈川振興公社 等

評価・反省等

○地区内外の関係機関、団体との連携を図ることで、宣伝効果や経費面で非常に効果的であった。今後も各団体との連携を深め、事業を展開したい。
 ○参加者に公表だった講座は今後も継続していきたい。
 ○コロナウイルス感染症予防対策のため3月以降の講座は自粛することとした。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等
	平人 和権	福健 祉康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	ス ポ ー ツ	防 災	そ の 他	体 育	文 化	そ の 他	
事業数		2	3	1	5	3			1	2	1		2
延べ参加人数		57	1797	65	426	30			1149	350	300		332

	CS	食育
事業数	2	2
延べ参加人数	28	29

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C	S	食育
ふるさと学習 (小学生)	5月17日	1回	地域文化	青少年	18人	【内容】 ・地区内探訪 【ねらい】 ・奈川の森林事業・小水力発電について学ぶ	【準備過程】 ・関係者との緻密な打合せのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川小学校	【評価と反省】 ・奈川の森林事業、小水力発電について理解を深めた。 【今後の方針】 ・共催団体と連携を図りながら、継続して開催したい。			
ふるさと学習 (中学生)	5月22日	1回	地域文化	青少年	10人	【内容】 ・椅子作り 【ねらい】 ・奈川の産業である木工を体験し地域の優れた地域に触れる	【準備過程】 ・関係者との緻密な打合せのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川中学校	【評価と反省】 ・奈川の木工について理解を深めることができた。 【今後の方針】 ・共催団体と連携を図りながら、継続して開催したい。			
春のすこやかウォーキング	5月20日	1回	福祉健康	成人	25人	【内容】 信州花フェスタ2019のサブ会場であるあづみの公園の花に囲まれながらウォーキングを実施 【ねらい】 市民歩こう運動の一環として実施	【準備過程】 ・関係者との緻密な打合せのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば ・奈川地区健康づくり推進委員会	【評価と反省】 ・幅広い年齢層の参加があり、楽しく実践できた。 【今後の方針】 ・参加者に大変好評であるため、開催場所等を検討しながら、継続して開催していきたい。			
地域探訪	6月17日	1回	地域文化	成人	18人	【内容】 ・地区内探訪 【ねらい】 ・訪れる期間の少ない地区や施設を探訪し歴史や自然を感じながらウォーキングを実施	【準備過程】 ・関係者との緻密な打合せのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば ・奈川地区健康づくり推進委員会	【評価と反省】 ・地区の歴史や自然についてそれぞれが再発見する機会となった。 【今後の方針】 ・共催団体と連携を図りながら、継続して開催したい。			
手作りソーセージ教室	7月7日	1回	趣味教養	成人	9人	【内容】 ・無添加ソーセージの調理 【ねらい】 ・無添加で安心・安全な手作り料理を学び、実践するとともに参加者同士の交流を図る。	【準備過程】 ・講師との緻密な打合せのうえ実施	【評価と反省】 ・参加者に大変好評であった。 【今後の方針】 ・手作り講座は毎回好評であるため、今後も継続して実施していきたい。			
自然エネルギー×暮らしの豊かさ	7月15日	1回	環境	成人	65人	【内容】 ・安曇、奈川で自然エネルギー事業に取り組んでいる施設等の見学や紹介 【ねらい】 ・地区で取り組んでいる自然エネルギー事業を知り、暮らしにつながるエネルギーを見つめ直す機会にする。	【準備過程】 ・関係者との緻密な打合せのうえ実施 【共催団体等】 ・安曇公民館 ・地域おこし協力隊	【評価と反省】 ・幅広い年齢層の参加があり大変好評だった。 【今後の方針】 ・自然エネルギーに関する新しい企画の検討を行っていきたい。			
夏休み子どもひろば	7月24日～8月21日	12回	子育て	青少年	134人	【内容】 ・スポーツ、勉強、体験活動等 【ねらい】 ・長期休暇中の子どもたちへの居場所の提供。	【準備過程】 ・関係団体と緻密な打合せ【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば ・子ども会育成連合会	【評価と反省】 ・参加者に大変好評だった。 【今後の方針】 ・関係団体と連携を図り、継続して開催したい。			
こだまの森・味噌川ダム見学	7月31日	1回	福祉健康	青少年	31人	【内容】 ・夏休みの時期にあわせて、こだまの森でウォーキング 【ねらい】 ・夏休みの思い出を作るとともに、子どもの健康推進を図る。	【準備過程】 ・関係者との緻密な打合せのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば ・奈川地区健康づくり推進委員会	【評価と反省】 ・自然に触れることができ子ども達に大変好評であった。 【今後の方針】 ・自然エネルギーに関する新しい企画の検討を行っていきたい。			
奈川地区ふれあいまつり	8月25日	1回	地域事業(その他)	その他	100人	【内容】 ・各団体の活動発表、バザーや屋台販売、社協・ひろばの作品展示等 【ねらい】 ・地域住民間の交流を図る。	【準備過程】 ・関係者との緻密な打合せのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば ・奈川地区社会福祉協議会 ・奈川地区健康づくり推進委員会	【評価と反省】 ・幅広い世代からの参加があり、地域住民の交流が図られた。 【今後の方針】 ・共催団体と連携を図り、継続して開催していきたい。			
切り絵講習会	8月4日 9月1日 10月6日	3回	趣味教養	成人	21人	【内容】 ・切り絵の技術の取得、作品の制作 【ねらい】 ・教養講座の一環として開催	【準備過程】 ・講師との緻密な打合せの上実施	【評価と反省】 ・参加者に大変好評であった。 【今後の方針】 ・来年度も継続して開催していきたい。			
第61回奈川地区ソフトボール大会	8月25日	1回	地域事業(体育)	成人	150人	【内容】 ・町内公民館対抗のソフトボール大会 【ねらい】 ・日頃の運動不足の解消と、地域住民の親睦を深めることを目的とする。	【準備過程】 ・町内公民館と連携を図りながら実施。	【評価と反省】 ・例年よりも多くの参加者があり好評だった。 【今後の方針】 ・来年度も継続して開催していきたい。			
第16回 秋の大運動会	9月14日	1回	地域事業(体育)	その他	200人	【内容】 ・学校、公民館共催で運動会を実施 【ねらい】 ・地域住民の体力向上を図るとともに、日頃の運動不足解消と地域住民の親睦を深める	【準備過程】 ・関係団体と打合せ【共催団体】 ・奈川小中学校	【評価と反省】 ・子どもから高齢者まで、幅広い年齢層の住民交流が図られた。 【今後の方針】 ・来年度も継続して開催していきたい。共催団体と連携を図りながら、種目の検討等を行いたい。			
白馬五竜高山植物園ウォーク	10月16日	1回	福祉健康	成人	26人	【内容】 ・高山植物園の紅葉を鑑賞しながらのウォーキング 【ねらい】 ・市民歩こう運動の一環として実施	【準備過程】 ・関係者との緻密な打合せのうえ実施 【共催団体】 ・奈川地区福祉ひろば ・奈川地区健康づくり推進委員会	【評価と反省】 ・幅広い年齢層からの参加があり、楽しく実施できた。 【今後の方針】 ・参加者に大変好評であるため、継続して開催したい。			
第60回奈川地区文化祭	10月26日 10月27日	1回	地域文化	青少年	300人	【内容】 ・農産物展、文化展、出店、芸能祭 【ねらい】 ・住民の交流と文化振興をはかる	【準備過程】 ・文化委員とのうちあわせ ・展示品、農産物を地区内から募った。 ・芸能祭出演者の募集	【評価と反省】 ・参加者が多く好評だった。 【今後の方針】 ・新企画の検討や他団体との共催で来場者を増やしていきたい。			
奈川地区世代間交流事業	12月7日	1回	地域事業(文化)	青少年	80人	【内容】 ・関係団体と緻密な打合せのうえ開催【ねらい】 ・高齢者・小学生の世代間交流を図る	【準備過程】 ・高齢者と小学生の交流が図られた。	【評価と反省】 ・参加者が多く好評だった。 【今後の方針】 ・新企画の検討や他団体との共催で来場者を増やしていきたい。			

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C	S	食育
そば打ち講習会	12月20日 1月24日	1回	地域文化	成人	20人	【内容】 ・そば打ち講習会及び試食会 【ねらい】 ・奈川伝統の丸打ちをおぼえる。また、参加者間の交流を図る。	【準備過程】 ・講師と緻密な打合せのうえ実施	【評価と反省】 ・参加者に大変好評だった。 【今後の方針】 ・継続して開催したい。			
春休みこどもひろば	3月15日～ 4月3日	10回	子育て	青少年	83人	【内容】 ・スポーツ、勉強、体験活動等 【ねらい】 ・長期休暇中の子どもたちへの居場所の提供	【準備過程】 ・関係団体と緻密な打合せのうえ実施 【共催団体】 ・奈川地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・参加者に大変好評であった。 【今後の方針】 ・関係団体と連携を図りながら、継続して開催したい。 ・コロナ感染拡大防止の観点から企画を大幅に変更せざるをえなかった。			
竹細工入門 とうじかご作り	3月13日 3月17日 (中止)	2回	趣味教養	成人	中止	【内容】 ・とうじかごの作り方を学びながらものづくりを体験 【ねらい】 ・教養講座の一環として計画	【準備過程】 ・講師と緻密な打合せのうえ実施予定だったが、コロナ感染拡大防止のため中止とした。	【評価と反省】 ・コロナ感染拡大防止のため中止			
5部門委員会の運営	年間	16回	公民館委員会・各種会議等	成人	83人	・住民全体の公民館活動を再開するため、運営・館報編集・図書・体育・文化・の各専門分野について委員会を組織し活動する。	【準備過程】 ・5部門専門委員会及び各委員会を開催し、連携を図りながら様々な活動を行った。	【評価と反省】 ・委員会で委員同士の連携が図られた。 【今後の方針】 ・住民の要望に応える活動を展開していきたい。			
町内公民館等地区内関係団体との連携	年間	18回	公民館委員会・各種会議等	成人	260人	・関係団体等と連携を図りながら活動を再開	【準備過程】 ・関係団体と会議等を開催し、連携を図りながら活動を展開	【評価と反省】 ・各団体との連携が図られた。 【今後の方針】 ・引き続き継続していきたい。			
放課後子ども教室の支援	年間	#####	子育て	青少年	1,580人	・小学生が、放課後安心安全に過ごせるように支援	【準備過程】 ・放課後子ども教室コーディネーターと緻密な打合せを行い実施	【評価と反省】 ・放課後子ども教室コーディネーターと連携を図りながら実施できた。 【今後の方針】 ・利用者の意見を取り入れながら実施していきたい。			
夢の森図書室	年間	296回	その他	その他	1,149人	・図書館の管理運営	【準備過程】 ・図書室職員と連携を図りながら実施	【評価と反省】 ・コロナ感染拡大防止のため閉館日数を減らしたため利用者が減少			

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針・地域課題】
 ・講座や教室の企画・実施にあたっては、前年度の反省点や改善点をもとに内容を見直し、地域住民から寄せられた声をもとに、様々な教室を企画・実施した。また、福祉ひろばやまちづくり協議会等の多様な関係団体と連携しながら、講座や教室のより一層の充実を図った。

・地域で取り組む重点課題については、町会連合会や、まちづくり協議会を中心に議論を展開し、幅広い世代や町会を越えた地域との関わりをもつ公民館は、コーディネーター役を担いながら、進めていくよう努めた。

・地区スポーツ祭や運動会、文化祭などの地区事業の開催にあたっては、地区内関係団体により実行委員会を組織し、公民館委員と連携を図りながら、地域住民主体により、実施内容の見直しや運営方法の改善を図った。

・地区内の学校（梓川小学校、梓川中学校）と地域住民とが連携・協働し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていくための仕組みの、松本版コミュニティスクール「あずさっ子応援隊」の活動支援と地域への浸透を図った。

・多様化・複雑化する人権問題の現状を、視察研修や講習会、障がい者によるコンサートを通じ、地域で互いに尊重し支え合うために自分たちができることを考え、行動する意欲を醸成した。

評価・反省等

・運動会は、これまでの反省から3種目を廃止し、新たにレクリエーション要素が高く、選手や観客も楽しめる3種目を考案し改善を図ることができた。雨天により中止となったが、選手集めの際には各町会から中学生の参加がほとんどないという反省があった。今後は松本版コミュニティ事業と絡め、中学生により競技の企画、運営まで発展させ、幅広い世代が参加する運動会にしていきたい。

・文化祭については、多くの地域住民が来場され、公民館利用団体等が日頃の活動の成果を発表する良い機会となり、当日までの準備や当日の会場の設営、期間中の運営を出演団体を中心になり行い、自立した活動になっている。また、本年度は来場者にアンケートを実施し、広く文化祭に対する住民の意見を聞くことができ、今後の文化祭につなげていきたい。美術展は年々出展数が減ってきており、今後は個人の出展、中学生の作品等を展示し、さらに盛り上げていきたい。

・公民館講座「歌ごえ公民館」は、参加者が新たな参加者を連れて来るなど、年々参加者が増加傾向にある。講座を通じて参加者の健康増進と、住民同士の交流が育まれている。

・地域住民から寄せられた声をもとに、「和太鼓体験教室」を開催した。参加者は、教室終了後も、団体に所属したりするなど、参加者同士の繋がりが育まれた。

・「あずさっ子応援隊」と「あずさっ子みまもり隊」は、まだまだ地域全体には浸透していないものの、活動を通して子どもと住民との間で良い関係が築かれており、やりがいを感じている隊員も多い。人材確保を呼び掛けると同時に地域全体に浸透させる取り組みを検討していきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員等・各種会議等
	平和権	福祉健康	子育て	環境	文化地域	教養趣味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数	2	4	10		2	2	2			2	2	1	10
延べ参加人数	30	69	569		92	42	32			1000	1000	120	696

	CS	食育
事業数	4	3
延べ参加人数	162	114

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
歌ごえ公民館	5月9日～3月5日	10回	健康福祉	高齢者	366人	【事業内容】 講師の伴奏に合わせて、童謡唱歌等の16曲を、1時間30分程度合唱する。 【ねらい】 歌の経験や技量に関係なく、とにかく楽しく歌い、健康増進、ストレス解消や参加者同士の交流を深める機会とする。	【準備過程】 講師と連絡をとりあい、歌詞カードの作成等を行った。 【共催団体】 ・地区社会福祉協議会	【評価と反省】 皆楽しく歌い、健康増進、ストレス解消や参加者同士の交流を深めることができた。 なお、当初全11回の開催を予定していたが、3月の教室は新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。 【今後の方針】 高齢者を中心に参加者が増加傾向にある。月の一度の楽しみにしている方も多いため、次年度も継続的に開催したい。また、やりがいづくりとして文化祭等での発表の機会をつくれないうかが検討していきたい。		
つどい子育て講座「タッチケアと子育て」	5月24日	1回	子育て		24人	【事業内容】 未就園児の子をもつ親を対象に、「タッチケアと子育て」をテーマに、体験型の講座を開催した。 【ねらい】 子育て中の親が気軽に集い、語り合って子育ての不安の解消や仲間づくりを行う場を提供する。	【準備過程】 公民館・児童センター・社会福祉協議会の三者により、企画運営した。 【共催団体】 ・梓川児童センター ・地区社会福祉協議会	【評価と反省】 子育て中の親が気軽に参加できる講座として、楽しみながら育児に対する不安などを相談し、仲間づくりを行う場を提供することができた。 【今後の方針等】 今後も子育て中の親が親しみやすい講座を企画し、継続的に開催していきたい。		
梓川地区リーダー研修会	6月15日 6月29日	2回	子育て	青少年	64人	【事業内容】 1回目は火おこし体験とちくわの燻製づくりを行い、2回目には、交流会の開催地である三重県御浜町についての学習会と梓川地区特産のりんごを使った料理実習を実施した。 【ねらい】 子ども会活動のリーダーとして、各町会の5・6年生が参加し、団体生活で活動を共にすることで、町会や学年をこえた交流を深め、仲間づくりを行いながら、自分たちの力で活動をを進める研修会とする。	【準備過程】 町会子ども会と梓川小学校を通じて参加者を募った。 【共催団体】 ・地区子ども会育成会 ・地区まちづくり協議会 ・食生活改善推進協議会	【評価と反省】 2回の研修を通じて、町会や学年を越えて児童同士の交流を深めることができた。また、児童たち自らが考え、行動することで、子ども会活動のリーダーとして力を養うことができた。 【今後の方針等】 今後も御浜町との交流会の事前学習に位置づけ、リーダー研修会を実施し、御浜町の児童との仲間づくりや自分たちの力で活動をを進める能力を身につけていきたい。	○	○
梓川地区スポーツ祭2019	7月7日	1回	地域事業(体育)	成人	1,000人	【事業内容】 町内公民館対抗により、囲碁ボード、シャッフルボード、ミニバレーの3種目を実施した。 【ねらい】 年齢性別を問わず誰もが楽しく気軽に参加し、スポーツを通じて住民同士の親睦や団結を図るとともに、地域住民の健康増進を目指す。	【準備過程】 まちづくり協議会教育委員会を中心とした実行委員会を組織し、競技種目や運営方法等を協議した。 【構成団体】 ・まちづくり協議会 ・町内公民館長会 ・地区体育協会 ・スポーツ推進委員協議会 梓川地区担当	【評価と反省】 町内公民館内の親睦や交流を図られていると同時に、地域の結束力が高まる良い機会となっている。また、構成団体に地区内の多くの団体が加わることで、団体間の連携が図られている。ただし、町会内の選手は固定化しているところが多く、一部の住民の事業となっている。 【今後の方針等】 地域づくりを推進するうえで、必要不可欠な事業であることから、見直しを図りながら継続的に実施していきたい。 また、今後は小学生や中学生も参加しやすい種目を取り入れ、幅広い世代が参加できる実施したい。		
ママのリフレッシュ講座「リンパマッサージ」	7月17日	1回	子育て	女性	36人	【事業内容】 未就園児の子をもつ親を対象に、「リンパマッサージ」講座を開催した。 【ねらい】 子育て中の親が気軽に集い、語り合って子育ての不安の解消や仲間づくりを行う場を提供する。	【準備過程】 公民館・児童センター・社会福祉協議会の三者により、企画運営した。 【共催団体】 ・梓川児童センター ・地区社会福祉協議会	【評価と反省】 子育て中の親が気軽に参加できる講座として、楽しみながら育児に対する不安などを相談し、仲間づくりを行う場を提供することができた。 【今後の方針等】 今後も子育て中の親が親しみやすい講座を企画し、継続的に開催していきたい。		
梓川地区・御浜町ふれあい交流会	8月7日～8月9日	1回	子育て	青少年	45人	【事業内容】 毎年交互にお互いの地を歩き来している。本年度は松本市で開催し、梓水苑を拠点に松本城見学、上高地散策、果物のもぎとり体験を行った。 【ねらい】 友好親善提携都市の三重県御浜町との交流により、海と山、みかんとりんご等、互いの地域の自然、伝統及び文化の違いを学びあい、友情を育む。また、集団生活を通して相互理解を深め、子ども会リーダーとしての自覚と資質を養う。	【準備過程】 梓川地区子ども会育成会を中心に、事前にリーダー研修会を実施した。リーダーとしての自覚を養わせること、また自主決定させることに趣をいって企画した。 【共催団体】 ・地区子ども会育成会 ・まちづくり協議会 ・御浜町教育委員会	【評価と反省】 2回の研修を通じてリーダーとしての資質が高められた。2泊3日の御浜町との交流では、積極的に活動し梓川地区と御浜町児童が仲良くなり、次年度以降の交流につながる活動ができた。 【今後の方針】 職員数が少ない中で今後の事業継続のあり方など、地区関係団体や大学等との連携がより必要となる。梓川村当時に友好親善提供が結ばれ、毎年交流会を開催してきている経過からも、今後も継続していく必要がある。	○	
梓川児童センターお話し会	8月9日	1回	子育て	青少年	250人	【事業内容】 小中学校の夏季休暇にあわせて、児童や未就園児の親子を対象に「人形劇団やまんぼ」による人形劇を開催した。 【ねらい】 児童や未就園児の親子の居場所をつくり、提供することを目的とする。	【準備過程】 公民館・児童センター・社会福祉協議会の三者により、企画運営を行った。 【共催団体】 ・梓川児童センター ・地区社会福祉協議会	【評価と反省】 多くの児童センター利用者(児童、未就園児の親子など)に参加してもらうことができた。 【今後の方針等】 今後も児童・生徒の長期休暇にあわせて、継続的に開催していきたい。		
上高地健康ウォーキング	9月6日	1回	健康福祉	成人	27人	【事業内容】 地域住民を対象に、中部山岳国立公園の上高地を訪れて、大正池から上高地B Tを歩くほか、河童橋周辺の散策を行なった。 【ねらい】 「岳部松本」の自然に親しむとともに、共に歩くことを通じて、住民相互の仲間づくりと健康増進を図る。	【準備過程】 行程どおりに参加者が安全に参加できるよう、講師や管理者等と事前に念入りな連絡調整を行なった。 【共催団体】 ・スポーツ推進委員協議会 梓川地区担当 ・まちづくり協議会	【評価と反省】 地域住民が健康・体力づくりを行う良い機会となり、普段面識のない参加者が、共に歩くことで、住民相互の仲間づくりが図られた。また、年齢等に応じて3グループに分けて実施したことで、それぞれの歩くペースで安全に実施することができた。 【今後の方針等】 今後も「岳部松本」の自然に親しむ機会を、地域住民に提供できるよう、継続的に開催していきたい。		
梓川ウォークラリー2019	9月29日	1回	スポーツ	成人	63人	【事業内容】 家族や友人などの申込みグループごとに、コマ図を使い途中で問題を解きながら梓川公民館周辺を歩く。 【ねらい】 家族や友人などの参加者が、地域の再発見や健康づくり・体力づくりを行う機会とする。	【準備過程】 コースや時間設定などスポーツ推進委員と事前に調整した。 【共催団体】 ・スポーツ推進委員協議会 梓川地区担当 ・まちづくり協議会	【評価と反省】 梓水苑を拠点に、周辺約6kmを歩くコースを設定した。家族や友人などの参加者が、地域の再発見や健康づくり・体力づくりを行う良い機会になった。 【今後の方針等】 地域の再発見や健康づくり・体力づくりを行う機会として、出発点やコースを変えながら、継続的に開催していきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
梓川地区運動会2019	10月14日	1回	地域事業(体育)	成人	雨天中止	【事業内容】 町会対抗による競技種目や自由参加型の種目など、全12種目行う。 【ねらい】 運動会を通じて、梓川地区住民の交流と親睦を図り、体力づくりに寄与する。また、参加している人も見ている人も楽しい運動会を目指す。	【準備過程】 まちづくり協議会教育委員会を中心とした実行委員会を組織し、競技種目や運営方法を協議した。 【構成団体】 ・まちづくり協議会 ・町内公民館長会 ・地区体育協会 ・スポーツ推進委員協議会梓川地区担当	【評価と反省】 昨年度の反省事項を踏まえて、実施種目を3種目見直ししたが、雨天により中止となった。 【今後の方針等】 地域づくりを推進するうえで、必要不可欠な事業であることから、種目に見直しを図りながら、今後も開催していくことが必要である。また、今後は中学生の参加を集め、ゆくゆくは運営、新種目の企画等に携わってもらうよう中学校と調整していきたい。		
梓の木について学ぶ市民講演会	10月19日	1回	地域文化	成人	60人	【事業内容】 民族・日本思想家の田中欣一氏を招き、講演会を開催した。 【ねらい】 梓川地区とゆかりの梓の木について、地域住民が歴史等を学習する機会とする。	【準備過程】 ・梓弓研究会と企画実施した。 【共催団体】 ・梓弓研究会	【評価と反省】 梓の木についてのみならず、民族・日本思想に至るまで多くのことを学ぶことができ、新たな発見を得る良い機会になった。 【今後の方針等】 共催団体である梓弓研究会は組織として成熟してきたため、今後は後援という立場で勉強会や講演会など支援していきたい。		
秋のお楽しみ会	10月26日	1回	子育て	青少年	61人	【事業内容】 子ども向けの本の読み聞かせ、紙芝居、大型絵本や、人形劇団「ホーポーズ・パペットシアター」による人形劇を開催した。 【ねらい】 園児や児童が本に触れ親しむ機会や、郷土の歴史と文化を取り入れた民話を中心とする人形劇により、子どもの健全育成を図る。	【準備過程】 内容や時間配分など、子供たちが退屈せずに楽しめるよう、公民館図書委員と事前に調整を図った。 【共催団体】 梓川図書館	【評価と反省】 園児や児童が本に触れ親しむ良い機会になった。また、対象が園児・児童ということもあり、途中で飽きてしまうことがないように、梓川図書館と公民館図書委員とで展開を工夫した。 また、児童センターにも声をかけたことで、例年になく多くの参加者に参加してもらうことができた。 【今後の方針等】 今後も共催団体と連携し、子どもたちが本や人形劇を通じて、楽しむ機会を提供していきたい。		
第35回梓川地区文化祭(美術展)	11月7日～10日	1回	地域事業(文化)	成人	300人	【事業内容】 芸術文化活動団体の発表の機会として、梓川アカデミア館において、5日間の作品展示を行った。13団体が出展し、約250点の作品があった。 【ねらい】 梓川地区の芸術文化活動を行う住民が、日常活動の成果を発表する機会を作り、地域住民相互が親睦と交流を深めることにより、芸術文化の振興・発展を図る。	【準備過程】 出展者が参画した実行委員会を組織し、企画・運営について協議した。 【共催団体】 ・まちづくり協議会 ・梓川アカデミア館	【評価と反省】 当日までの準備や当日の会場の設営、期間中の運営を出演団体が中心になり行い、自立した活動になっている。多くの地域住民等が来場され、公民館利用団体等が日頃の活動の成果を発表する良い機会になっている。また、本年度から来場者に対しアンケートを実施し、広く美術展に対する意見を聞くことができた。 【今後の方針等】 来年度も美術展・芸能祭・音楽祭を今年度と同様の時期・会場で開催したい。また、来場者から出展数が減り淋しいという意見が多くあり、今後は個人でも出展しやすいようにフリースペースを設けるなど検討していきたい。		
第35回梓川地区文化祭(芸能祭・音楽祭)	11月10日	1回	地域事業(文化)	成人	700人	【事業内容】 芸術文化活動団体の発表の機会として、音楽祭、芸能祭の2部制で開催。芸能祭には7団体、音楽祭には4団体の出演があった。その他、緊急車両の乗車体験、塗り絵コーナー、バルーンアート体験教室、出店等を実施した。 【ねらい】 梓川地区の芸術文化活動を行う住民が、日常活動の成果を発表する機会を作り、地域住民相互が親睦と交流を深めることにより、芸術文化の振興・発展を図る。	【準備過程】 出展者が参画した実行委員会を組織し、企画・運営について協議した。 【共催団体】 ・まちづくり協議会 ・梓川児童センター ・加工組合さくら ・商工会議所梓川青年部 ・松本市消防団第37分団 ・梓川駐在所	【評価と反省】 多くの地域住民が来場され、公民館利用団体等が日頃の活動の成果を発表する良い機会になっている。音楽祭は、当日までの準備や当日の会場の設営、運営等出演団体が中心になり行い、自立した活動になっている。また、本年度から来場者に対しアンケートを実施し、広く美術展に対する意見を聞くことができた。 【今後の方針等】 来年度も美術展・芸能祭・音楽祭を今年度と同様の時期・会場で開催したい。またイベントがマンネリ化してきているため、新たな企画を検討していきたい。		
ママのリフレッシュ講座「アロマクリーム作り」	11月14日	1回	子育て	女性	36人	【事業内容】 未就園児の子をもつ親を対象に、子どもにも安全な天然素材を使った「アロマクリーム作り」を開催した。 【ねらい】 子育て中の親が気軽に集い、語り合って子育ての不安の解消や仲間づくりを行う場を提供する。	【準備過程】 公民館・児童センター・社会福祉協議会の三者により、企画運営した。 【共催団体】 ・梓川児童センター ・地区社会福祉協議会	【評価と反省】 子育て中の親が気軽に参加できる講座として、楽しみながら育児に対する不安などを相談し、仲間づくりを行う場を提供することができた。 【今後の方針等】 今後も子育て中の親が親しみやすい講座を企画し、継続的に開催していきたい。		
人権視察研修	11月20日	1回	人権平和	成人	15人	【事業内容】 地域住民を対象に、長野県人権啓発センター、長野地方裁判所の視察研修を行った。 【ねらい】 多様化・複雑化する人権問題の現状を学習し、地域で互いに尊重し支え合うために自分たちができることを考え、行動する意欲を醸成する。	【準備過程】 梓川地区人権啓発推進協議会が中心となり、企画・実施した。 【共催団体】 ・人権啓発推進協議会 ・まちづくり協議会	【評価と反省】 視察研修を通じて、様々な人権問題を学習する良い機会となった。 【今後の方針等】 今後は県生涯学習センター等の講座に参加し、地域住民が学習する機会を設けていきたい。		
地域ケア会議	11月21日	1回	健康福祉	成人	60人	【事業内容】 地区内の福祉関係団体が集まり「ずっと住み続けたい梓川に向け、私たちができる生活支援」をテーマにグループワークを行った。 【ねらい】 住民が地区の課題を把握し、今ある資源を活用し、住民が担い手となり具体的な活動に結び付ける。また、専門職として、地域にできることや住民との顔の見える関係を築く。	【準備過程】 梓川地区担当職員連絡会において、内容等を検討協議 【共催団体】 ・地区社会福祉協議会 ・まちづくり協議会 ・健康づくり推進委員会 ・福祉ひろば ・地区担当職員連絡会 ・地区民生児童委員会	【評価と反省】 地域包括ケアシステムの構築に向け、地区内の多様な主体が連携を図るきっかけを得る、良いきっかけになった。 【今後の方針】 これまでの地域づくりを基に地域包括ケアシステムの構築(顔の見える化、ネットワーク)に向けて、今後も継続的に開催していく必要がある。		
家庭教育学級支援「スポーツ吹き矢」教室	11月24日	1回	趣味教養	家庭教育	30人	【事業内容】 単独の町会住民を対象に、町内公民館を会場に、スポーツ吹き矢の教室を開催した。 【ねらい】 身近な場での公民館活動の推進を図り、地域の活性化を目指す。	【準備過程】 地区公民館と町内公民館と連携を図り、企画・実施した。 【共催団体】 上大妻町内公民館	【評価と反省】 身近な場所での講座開設を通じて、公民館活動の推進が図られた。 【今後の方針】 今後も町内公民館と連携を図り、町会単位で行われる学習を支援していきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
家庭教育学級支援「AACRが地域にもたらすもの」講演会	11月24日	1回	健康福祉	家庭教育	50人	【事業内容】 単独の町会住民を対象に、町内公民館を会場に、シドニー五輪代表の鈴木雷太氏を招き、講演会を開催した。 【ねらい】 身近な場での公民館活動の推進を図り、地域の活性化を目指す。	【準備過程】 地区公民館と町内公民館と連携を図り、企画・実施した。 【共催団体】 南大妻町内公民館	【評価と反省】 身近な場所での講座開設を通じて、公民館活動の推進が図られた。 【今後の方針】 今後も町内公民館と連携を図り、町会単位で行われる学習を支援していきたい。		
人権研修会「高齢者や障がい者の気持ちを考えてみよう」	12月27日	1回	人権平和	成人	15人	【事業内容】 信州介護福祉専門学校の先生を講師に招き、高齢者や障がい者についてアイマスクや重りを付け疑似体験するなどの講座を開催。 【ねらい】 レクレーションや疑似体験によって高齢者や障がい者の気持ちを理解し、相手の気持ちに添った支援の方法、できることを考える。	【準備過程】 梓川地区人権啓発推進協議会が中心となり、企画・実施した。 【共催団体】 ・人権啓発推進協議会	【評価と反省】 難しいテーマであったが、楽しく学習することができ、実際に疑似体験することでより相手の気持ちを考えることができた。ただし、参加者があまり集まらず周知方法等工夫が必要があった。 【今後の方針等】 今後も継続して講習会等を企画し、多くの住民が人権問題を身近な問題として認識し、より関心を持ってもらうよう工夫して講座を企画したい。		
ファミリースキー教室	1月19日	1回	スポーツ	青少年	中止	【事業内容】 野妻峠スキー場において、初心者、初級者の親子を対象にスキー教室。 【ねらい】 スキーに親しむ機会の提供、参加者の技術習得や参加者同士の親睦を目的とする。	【準備過程】 開催内容や方法等についてスポーツ推進委員と事前に調整を図った。 【共催団体】 ・スポーツ推進委員協議会梓川地区担当	【評価と反省】 昨年度の2倍近くの参加申し込みがあったが、スキー場の雪不足により、安全性が確保できないことを理由に中止とした。 【今後の方針】 今後も継続的に開催し、地域住民がスキーに親しむ機会を提供し、参加者の技術習得や参加者同士の親睦を図っていききたい。また、会場についても野妻峠スキー場より積雪量の多い乗鞍高原の会場を変更するなど検討する必要がある。		
和太鼓体験教室	1月26日 2月2日	2回	地域文化	青少年	32人	【事業内容・ねらい】 梓川地区住民を対象に、和太鼓の体験教室を開催し、「和太鼓」による地域活性化と伝統文化の継承を図るとともに、参加者の運動不足の解消や、新たな趣味の発見、仲間づくりを目指す。	【準備過程】 公民館だよりを通じて参加者を募った。 【共催団体】 ・梓川太鼓十八会	【評価と反省】 団体の高齢化や、担い手不足により、伝統文化を継承する団体が弱体化してきていることを背景に企画・実施。参加者の中から担い手となる人材が発掘された。 【今後の方針等】 昨年度に比べ申込者を多く募ることができた。今後の継続実施していきたい。		
ママのリフレッシュ講座「アイシングクッキー作り」	2月7日	1回	子育て	女性	38人	【事業内容】 未就園児の子をもつ親を対象に、「アイシングクッキー作り」を開催した。 【ねらい】 子育て中の親が気軽に集い、語り合って子育ての不安の解消や仲間づくりを行う場を提供する。	【準備過程】 公民館・児童センター・社会福祉協議会の三者により、企画運営した。 【共催団体】 ・梓川児童センター ・地区社会福祉協議会	【評価と反省】 子育て中の親が気軽に参加できる講座として、楽しみながら育児に対する不安などを相談し、仲間づくりを行う場を提供することができた。 【今後の方針等】 今後も子育て中の親が親しみやすい講座を企画し、継続的に開催していきたい。		○
梓川地区福祉のつどい	2月8日	1回	地域事業（その他）	成人	120人	【事業内容】 人権啓発推進協議会が中心となり、「楽団ケ・セラ」のコンサートや、各共催団体の福祉に関連した展示を行う。 【ねらい】 梓川地区の活動の周知を図るとともに、福祉について考えることで、地域力の向上を目指す。また、障害を乗り越えて音楽を通して自立を目指す若者たち「楽団ケ・セラ」のコンサートを通じて、人権について知る・学ぶ機会とする。	【準備過程】 梓川地区担当職員連絡会において、企画・運営について協議した。 【共催団体】 ・地区社会福祉協議会 ・人権啓発推進協議会 ・まちづくり協議会 ・健康づくり推進員会 ・福祉ひろば ・梓川児童センター ・日赤奉仕団 ・地区担当職員連絡会	【評価と反省】 アンケートを実施し、参加者に好評であった。また、参加者が個人や地域全体の健康について、学ぶ良い機会になった。 【今後の方針等】 本年度は「楽団ケ・セラ」のコンサートがコンサートが好評であったが、今後再度お願いするか、別の催しを企画するか共催団体と検討していきたい。		
箱膳体験講座	2月25日	1回	趣味教養	成人	12人	【事業内容・ねらい】 かつて一般的だった「お膳」を使用した、まつもと農村女性協議会に基本的な和食の調理法を学び、季節の和食を正しい作法を学びながら食事をする。	【準備過程】 公民館だよりを通じて参加者を募った。	【評価と反省】 和食文化のすばらしさを再発見でき、食事をしながら参加者同士の交流を深めることができた。 【今後の方針等】 地域住民が楽しみながら参加し、交流を深めることができる講座を企画・実施していきたい。		○
梓川児童センタースプリングコンサート	3月24日	1回	子育て	青少年	中止	【事業内容】 小中学校の長期休暇にあわせて、児童や未就園児の親子を対象に梓川児童センターで開催されるコンサート。 【ねらい】 児童や未就園児の親子の居場所をつくり、提供することを目的とする。	【準備過程】 公民館・児童センター・社会福祉協議会の三者により、企画運営を行った。 【共催団体】 ・梓川児童センター ・地区社会福祉協議会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、それぞれの共催団体と連携し計画することができた。 【今後の方針等】 今後も児童・生徒の長期休暇にあわせて、継続的に開催していきたい。		
町内公民館長会の運営	4月12日 2月13日	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	41人	【事業内容】 公民館事業の運営協力依頼や町内公民館事業の支援を行った。	【構成団体】 ・梓川地区の21町内公民館長	【今後の方針等】 今後も町内公民館長会と連携し、スポーツ祭や運動会等を始め、各町内公民館で実施されている事業を相互協力しあいながら、展開していきたい。		
運営委員会	4月16日 3月5日	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	23人	【事業内容】 公民館事業の企画・実施について検討し、助言を受けた。	【準備過程】 年度当初と年度末に委員会を招集した。	【評価と反省】 公民館事業の企画・実施について承認を得た。 【今後の方針等】 公民館運営の本質的な事柄に対して、議論を深めることができるよう内容や進め方等を工夫して開催していきたい。		
広報委員会	4月17日 ～3月3日	14回	公民館委員会・各種会議等	成人	78人	【事業内容】 梓川公民館報の企画・編集等を行った。	【準備過程】 公民館報の発行に合わせ、委員会を招集した。	【評価と反省】 取材、原稿の作成、編集までの一連の作業を、委員自らが行的な活動になっている。 【今後の方針等】 地域新聞として親しまれるように、紙面を工夫していきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
文化委員会	4月25日 ～1月29日	4回	公民館委員会・各種会議等	成人	95人	【事業内容】 梓川文化祭（梓秋祭）の企画、運営等を行った。	【準備過程】 公民館事業の開催に合わせて、委員会を招集した。	【評価と反省】 委員それぞれが活発に意見を出し合い、企画・運営することができた。 【今後の方針等】 実行委員会等と連携を図りながら、公民館事業の開催に合わせて、委員会を開催する。		
体育委員会	4月19日 ～1月30日	4回	公民館委員会・各種会議等	成人	69人	【事業内容】 スポーツ祭と運動会の企画、運営等を行った。	【準備過程】 公民館事業の開催に合わせて、委員会を招集した。	【評価と反省】 委員それぞれが活発に意見を出し合い、企画・運営することができた。 【今後の方針等】 実行委員会等と連携を図りながら、公民館事業の開催に合わせて、委員会を開催する。		
図書委員会	8月28日 ～2月21日	3回	公民館委員会・各種会議等	成人	14人	【事業内容】 図書入替え、読み聞かせ会の企画、運営等を行った。	【準備過程】 公民館事業の開催に合わせて、委員会を招集した。	【評価と反省】 委員それぞれが活発に意見を出し合い、企画・運営することができた。 【今後の方針等】 公民館事業の開催に合わせて、委員会を開催する。		
スポーツ祭・運動会実行委員会	5月14日 ～11月19日	6回	公民館委員会・各種会議等	成人	197人	【事業内容】 梓川地区スポーツ祭及び運動会の企画、運営等を行った。	【準備過程】 スポーツ祭・運動会の開催にあたり、実行委員会を組織し招集した。 【構成団体】 ・まちづくり協議会 ・町内公民館長会 ・梓川地区体育協会 ・スポーツ推進委員協議会 梓川地区担当 ・体育委員会	【評価と反省】 スポーツ祭及び運動会の企画・運営を実行委員会が主となり行った。実行委員それぞれが活発に意見を出し、議論を深めることができた。 【今後の方針等】 開催要項等を決める重要な組織であるため、今後も活発に意見が言い合える場となるよう、工夫していきたい。		
文化祭実行委員会	6月11日 ～12月3日	4回	公民館委員会・各種会議等	成人	61人	【事業内容】 梓川文化祭（梓秋祭）の企画、運営等を行った。	【準備過程】 運動会の開催にあたり、実行委員会を組織し招集した。 【構成団体】 ・まちづくり協議会 ・町内公民館長会 ・出展団体 ・文化委員会	【評価と反省】 文化祭の企画・運営を実行委員会が主となり行った。実行委員それぞれが活発に意見を出し、議論を深めることができた。 【今後の方針等】 開催要項等を決める重要な組織であるため、今後も活発に意見が言い合える場となるよう、工夫していきたい。		
あずさっ子応援隊運営委員会	5月22日 2月5日	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	38人	【事業内容】 あずさっ子応援隊運営委員会を開催し、梓川小中学校の安全支援、学習行事支援・地域交流振興、スポーツ・文化支援、緑化・環境支援等について議論した。 【ねらい】 CSを推進するために、地域の多様な団体、個人の協力によって、梓川小中学校と連携し、一体となって児童・生徒の育成に取り組む。	【構成団体】 ・梓川小中学校 ・梓川小中学校PTA ・梓川地域づくりセンター ・梓川公民館 ・まちづくり協議会 ・梓川少年スポーツ教室 ・JAあづみ	【評価と反省】 会議自体は2回のみであったが、会議の中で学校の困りごとを共有し、解決に結びついている。公民館としても、地域と学校とのパイプ役として、地域住民と学校を繋げることができた。 【今後の方針等】 地域住民とのパイプ役として、それぞれが一体となって子ども育成に取り組める環境整備など、より一層力を入れて取り組みたい。		○
あずさっ子みまもり隊	通年		子育て	成人	15人	【事業内容・ねらい】 子どもたちの登下校を中心に通学路や交差点などで見守り隊活動を実施し、「子どもは地域の宝」として、小中学生の安全な登下校に努める。	【準備過程】 4月に小学校で隊員と児童との対面式を実施。年度末には隊員から意見要望等を聞き取り、小学校、中学校に提出した。	【評価と反省】 「あずさっ子みまもり隊」は現在15人の隊員で見守り隊活動を行っているが、まだまだ地域全体には浸透していない部分もある。日々の見守り活動を通して子どもと隊員の良い関係ができつつあり、やりがいを感じている隊員も多い。 【今後の方針等】 梓川小中学校は、他地区に比べて圧倒的に児童・生徒数が多いが、隊員数は15人と少ない。町会などを通じ人材確保を呼び掛け、地域全体に浸透させていく必要がある。また、まちづくり協議会に協力を要請し、隊員のボランティア活動保険に加入する。		○
地域関係団体の運営・支援	通年	8回	公民館委員会・各種会議等	成人	80人	【事業内容】 子ども会育成会：会議の開催（3回）、子ども会安全共済会事務、各種子ども会育成事業の取りまとめ等 スポーツ推進委員会の運営、支援：会議の開催（2回）、地区内体育事業の企画・運営等 地区体育協会の支援：常任理事会への出席、市体育協会との連絡調整、相談等	【準備過程】 適切な時期に会議を開催し、協力依頼や事業について協議した。	【評価と反省】 ・各団体と連携、協力を図りながら、事業の実施や取りまとめを行うことができた。また、各団体と活発な意見交換を行うことができた。 【今後の方針等】 公民館にも関わりの深い団体であるため、継続的に育成、支援を行う必要がある。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等													
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育事業や文化事業などの地区事業の企画・運営等にあたっては、公民館委員（運営・文化・館報編集・体育）と連携しながら、より多くの住民が公民館活動に関わり、関心を持って参加していただけるよう地区住民主体により、実施内容の見直しや運営方法の改善等を図った。 ・地区内の関係機関、各種団体等と連携を図った事業を開催した。 ・講座等の企画、実施にあたっては、前年度の反省や地域住民からの声等を踏まえ、講座の充実を図るとともに、公民館の利用者団体等との共催や利用者団体等を講師にした講座等を開催し、学習の成果等を還元できる場を設けた。 ・夏休み中の小中学生を対象にした楽しみながら学べる講座の企画、学習室開放に合わせて元教員による個別指導を計画する等、青少年教育の推進を図った。 													
評価・反省等													
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館専門委員の皆さんには事業の企画・運営に関して、より多くの住民に参加いただけるよう内容等も検討していたが、町内公民館対抗スポーツ大会やふれあい事業等多くの住民に参加していただくことができた。今後も住民主体の積極的な事業が行えるよう、委員の皆さんと協議、検討していきたい。 ・地域の様々な団体等と共催、連携等しながら講座等の事業を開催できた。参加者の固定化や減少が進む中、今年度も夜間講座（健康講座、食育講座）を開催したところ、若年層や男性に多く参加いただくことができた。今後も夜間での講座開催も視野に団体等と共催、連携等もしながら気軽に集い、学ぶことのできる講座を企画していきたい。 ・子どもを対象とした講座は夏休みに開催することが定着してきており、今年度も開催した。講座によっては申込者が少ないものもあり、参加者を増やす工夫の必要性が感じられた。今年度は新たに春休み中の子ども達に参加していただけるよう、春休み特別企画としてスプリングコンサートを企画した。次年度は、新たなものを取り入れながら子どもたちが意欲的に活動できるものを実施していけるように検討するとともに、多くの子ども達に公民館を利用していただけるよう周知方法等についても検討していきたい。 													
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員等・各種会議等
	平和権	福祉健康	子育て	環境	文地化域	教趣養味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数	4	12	3	4	4	20	3		3	1	1		8
延べ参加人数	361	849	375	96	134	619	123		191	950	2500		1027

	CS	食育
事業数	1	8
延べ参加人数	250	141

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
廃寺後の若澤寺 文化財はどこへ?	4月6日	1回	地域文化	成人	71人	松本藩の廃仏毀釈によって廃寺となった若澤寺から散逸した建物や重宝などの行方について学ぶ。地域の歴史文化について学び、教養を深める。	若澤寺歴史保存会共催	毎年、若澤寺歴史保存会の総会に併せて歴史講座を行っている。保存会会員以外の参加もあり、人気の歴史講座となっているため、今後も継続して行いたい。		
波田水車道でオオルリを探そう	4月24日	1回	福祉健康	成人	31人	波田水車道から波多神社まで、野鳥を探しながらウォーキングを行い、健康増進と地域住民同士の交流を図る。	波田福祉ひろば共催	小雨交じりの天気ではあったが、鳥の鳴き声に耳を傾けながら鳥を探したり、満開の桜や山吹、ニリンソウなどの植物も眺めながら無理なくウォーキングすることができた。福祉ひろばとの共催のウォーキングは今後も継続して行きたい。		
まちなかウォーキング(中町と縄手通り)	5月15日	1回	福祉健康	成人	14人	松本駅から中町、縄手通りをウォーキングし、健康増進を図る。はかり資料館や時計博物館も見学する。	波田福祉ひろば共催	松本駅を集合としたが、参加者全員が上高地線を利用したの参加となった。普段ゆっくり歩くことのない中町や縄手などウォーキングすることで新たな魅力を発見することができた。福祉ひろばとの共催のウォーキングは今後も継続して行きたい。		
健康バスウォーク「新緑の上高地を歩く」①	5月23日	1回	福祉健康	成人	28人	上高地の自然に親しみながら、ウォーキングを行う。河童橋から岳沢温泉を通り、明神池をまわり、健康増進と地域住民同士の交流を図る。		毎年人気の講座のため、より多くの方に参加していただけるよう、2回同じ内容で行った。昨年までは窓口のみ先着順で申し込みを行っていたが、今年度は電話申し込みも可能とした。そのため、受付開始時間までに窓口に来られない方には好評であった。両日とも天候に恵まれ、講師案内のもと新緑の上高地を満喫することが出来た。自然にも触れながら楽しくウォーキングすることができた。人気のある講座のため、今後もコース等を変えながら継続して行きたい。		
健康バスウォーク「新緑の上高地を歩く」②	5月29日	1回	福祉健康	成人	34人					
かわいい観葉植物の寄せ植え	6月5日	1回	環境	成人	15人	暑くなる夏に向けて涼しさを演出してくれる、観葉植物の寄せ植えを作る。種類や特徴、管理方法も併せて教えていただく。教養の向上と参加住民同士の交流を図る。		1人3種類を選び寄せ植えした。水やりや植え替え方法、冬場の管理なども教えていただき、参加者からは好評であった。関心のある講座については、今後も実施していきたい。		
「ラベンダークラフト」講座	6月26日	1回	環境	成人	19人	波田支所敷地内にあるラベンダーを使って、バンドルズ(スティック)等を作る。ラベンダーの摘み取り体験や栽培方法等も学ぶ。教養の向上と参加住民同士の交流を図る。	バンドルズに使用するラベンダーは前日に講師と摘み取り、必要本数を束にして用意した。	支所敷地内にあるラベンダーを使用する予定だったが、6月の気温が上がらず花が咲かなかったため、波田体育館前のラベンダーを使用した。クラフトに適したラベンダーがあり、人気のある講座でもあるので今後も継続して実施したい。		
「ストレッチとゆっくり舞踊体操」	6月28日 7月5日 7月12日 7月19日 7月26日	5回	福祉健康	成人	100人	柔軟性を高めるストレッチと、太極拳や氣功、中国舞踊などをベースにした、裸足で行うエクササイズを行い、健康増進と地域住民同士の交流を図る。		5回の連続講座として行った。簡単にできて面白く、運動効果やリフレッシュ効果もあり、シニア世代にお勧めの内容であった。初めての動きが多く最初はごちなく動いていたが、回を重ねるごとに動きが揃い、流れるように動けるようになり、皆さん楽しんで体を動かしていた。年間を通し健康講座は参加者が多いため、今後も開催を検討していきたい。		
「バラスポーツを知ろう」	7月18日	1回	福祉健康	その他	38人	東京パラリンピック正式種目となった「ボッチャ」について学び、体験する。健康増進と地域住民同士の交流を図る。	遊YOU大学共催	「遊YOU大学」参加者だけでなく、多くの方に体験していただけるよう、共催講座として一般募集した。あかり教室の児童、生徒の皆さんにも参加していただいた。遊YOU大学と共催にすることで、参加者がなかなか集まらない講座も一定人数は参加していただけるので、今後も検討していきたい。		
「凍り餅でスイーツ作り」	7月24日	1回	趣味教養	その他	19人	伝統郷土食で古くから保存食としても重宝している凍り餅を使って、簡単にできるスイーツの作り方を教わる。郷土の食文化を学ぶとともに参加住民同士の交流を図る。		凍り餅を知らない方にも知ってもらい、食べ方のアレンジも教わることで、凍り餅に関心をもった。農繁期の実施であり、一般参加者が定員に達せず、あかり教室の児童、生徒の皆さんにも参加していただいた。食育講座については、時期等も考慮しながら実施していきたい。		○
「ソーパークーピング講座」	7月30日	1回	趣味教養	成人	12人	石鹸に彫刻する「ソーパークーピング」を体験し、教養の向上と参加住民同士の交流を図る。		初心者の方も多く、はじめのうちは苦戦していたが、徐々にコツを掴み、上手に仕上がった。楽しかった、またやってみたい等の声も聞かれたので、今後も開催を検討していきたい。		
初心者大歓迎!「将棋教室」で頭の体操	8月1日	3回	趣味教養	青少年	15人	夏休み「はたっこ塾」として開催。将棋に挑戦して頭脳を鍛え、夏休みの集中学習にも繋げる。		昨年も参加した子が多く、楽しい時間を過ごせたという子が多かった。今後も夏休み「はたっこ塾」の講座の一つとして開催していきたい。		
自由研究応援企画「プラスチックと水を使って実験してみよう!」	8月8日	1回	環境	青少年	16人	夏休み「はたっこ塾」として開催。簡単な実験を通して、私たちの生活に身近にあるプラスチックや水について考える。夏休みの自由研究の参考としていただく。	エクセラン高校の生徒が協力	プラスチックの浮力実験や色々な種類の水を飲み比べて水の硬度等を調べるなど、実際に実験を行うことでわかりやすく学べた。自由研究としてまとめてみたいという声も聞かれたので企画としては良かった。夏休み中の子ども向け講座については、内容を検討し続けていきたい。		
「とび出すカードを作ってみよう!」	8月9日	1回	趣味教養	青少年	9人	夏休み「はたっこ塾」として開催。立体的な「とび出すカード」を作る。		カードに絵を描いたり、貼ったりしながら個性豊かなカードが出来上がった。夏休み中の子ども向け講座については、内容等検討し続けていきたい。		
千葉潔先生と行くスケッチの旅 in 乗鞍	8月22日 9月5日 9月19日	3回	趣味教養	成人	35人	風景画のスケッチ方法等について学ぶ。 1回目 基礎(線の書き方、構図の取り方など、画材について) 2回目 乗鞍高原にてスケッチ 3回目 仕上げと講評 教養の向上と参加住民同士の交流を図る。		3回の連続講座として開催。風景画は初めての方がほとんどで、お互いの絵を見せ合ったりしながら楽しく描いたり、展覧会やコンテスト等の情報交換も行うことができた。		
夏休み学習室開放・英語、数学特別指導	7月26日 ~ 8月23日	1回	子育て	青少年	125人	夏休み中の小・中学生を対象に、公民館の会議室を自習(学習)室として開放し、あわせて元教員による特別指導(中学生向け3日間、小学生向け2日間)も行い、学習援助を行う。		周知方法等見直したことで、昨年度より多くの小中学生に利用していただくことができた。今後もさらに周知方法、日程、内容等検討していきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
ふれあい事業 三遊亭わん丈 落語会	8月24日	1回	趣味教養	その他	69人	地区内の多くの方に楽しんでもらえる事業として、文化委員会イベント担当が企画。今年度は、松本落語会に協力いただき落語会を開催。	文化委員会イベント担当が企画、運営	幼児から高齢者まで幅広い年代の方にご参加いただき、皆さん落語の世界に引き込まれていた。参加者からのアンケートを参考に、次年度以降も文化委員と協力しながら計画していきたい。		
若澤寺を知ろう	8月25日	1回	地域文化	成人	26人	信濃日光とも呼ばれ、大変にぎわった若澤寺。現地を訪れ、波田の宝について学ぶ。	文化委員会歴史担当が企画、運営 まちづくり協議会地域連携部会共催	地区内外の方に参加していただいた。波田の宝である若澤寺を多くの方に知っていただくため、今後も文化委員会歴史担当を中心に開催を検討したい。		
「姿勢矯正ピラティス」	8月29日 9月5日 9月12日 9月19日 10月3日 10月10日 10月17日	7回	福祉健康	成人	196人	インナーマッスルを鍛えることにより、正しい姿勢を保ちしなやかに動く体を目指す。		昨年に引き続き夜間に開催したため、幅広い年代の方に参加していただけた。好評であったため、今後も開催したい。		
健康トレッキング～ 紅葉先取り乗鞍岳～	9月5日	1回	福祉健康	成人	15人	初秋の乗鞍岳を位ヶ原から肩の小屋までゆっくり歩き、健康増進、体力向上の機会とする。		高山植物や山について、各所で登山ガイドによる説明もあり、ゆっくり山登りを満喫できた。参加者の体力により差があったが、好評であったため、今後も開催を検討していきたい。		
笑って学んで身近な環境を考える	9月8日	1回	環境	その他	46人	身近なゴミのことを、環境漫才やクイズを通して皆で楽しく学び、考える機会とする。	松本市消費者の会波田地区共催	参加者が少なく残念ではあったが、松本市のごみ処理の現状等の話や環境漫才から環境について少しでも知る機会となった。環境に関する講座については、各団体との連携も含め今後も継続できればと思う。		
まちなかウォーキング (イオンモールウォーキング)	9月18日	1回	福祉健康	成人	14人	ヘルスラボが毎週水曜日に行っている、イオンモールウォーキングに参加し、健康増進、体力向上の機会とする。	波田福祉ひろば共催	天候に左右されずに行えるということで、参加者には好評であった。今後も福祉ひろばとのウォーキングは継続していきたい。		
ワイン講座第1弾「ワインを楽しむためのワイン講座」	9月26日	1回	趣味教養	成人	23人	ワインを楽しむために、知っておくともっと楽しめる事柄や、いろいろな特徴、世界のワイン事情など学び、教養の向上と参加者同士の交流を図る。		夜間講座として開催したため、公民館講座に初めて参加される方や男性にも多く参加していただけた。好評であった。夜間開催については、今後も検討していきたい。		○
屋下がりのオータムコンサート	10月1日	1回	趣味教養	成人	34人	オリジナルオペレッタを鑑賞し、歌を中心に、発声や歌唱指導をしていただき一緒に歌い、参加者同士の交流を深める。		参加者は少なかったが、歌が好きな方に参加していただき、皆さん楽しんでいただけた。四季折々、参加者が交流できるようなミニコンサート等、今後も開催を計画していきたい。		
「家庭で出来る米粉パン」	10月2日	1回	趣味教養	成人	16人	県内産の米粉を使って家庭でも出来るパンを作る。教養の向上と参加者同士の交流を図る。		参加希望者が多くお断りした方もいるほどの人気のある講座であった。今後も継続して開催したい。		○
中山道妻籠宿と山村代官屋敷 歴史バス研修	10月2日	1回	地域文化	成人	28人	他市町村の歴史文化等について知識や教養を深めるため、日本で初めて重要伝統的建造物群保存地区に指定され、歴史の面影を残す「妻籠宿」と福島宿の山村代官屋敷を巡る。文化委員会歴史担当が企画。	文化委員会歴史担当が企画、運営	ガイドに詳しく説明していただき、妻籠宿と福島宿それぞれの歴史等について知ることができた。他市町村の歴史文化を知る機会として、今後も文化委員歴史担当を中心に計画していきたい。		
あゝ野妻峠(女工哀史)からみた人権問題	10月17日 10月24日	2回	人権平和	成人	27人	あゝ野妻峠(女工哀史)の歴史的背景を考察しながら、その足取りをたどりつつ、人権問題について見つめる。 1回目 講義 2回目 バス研修(松本市歴史の里(宝来屋)、岡谷蚕糸博物館他)【地域文化】	波田地区人権啓発推進協議会	2回の連続講座として開催。参加者の皆さんとても関心が高く、熱心に説明に耳を傾けており、人権について考える良い機会となった。人権に関する講座は今後も開催したい。		
まほろばウォーク	10月20日	1回	スポーツ	その他	57人	波田地区住民の健康維持増進と参加者相互の親睦を図る ①水車の道コース(3キロ) ②歴史の道コース(6キロ)	体育委員会、福祉ひろば、波田体育協会共催	住民の親睦とスポーツ振興を図ることができたが、各町会への動員での参加が多く、一般参加者が少なくなってきた。また、同時期に地区内各種団体におけるウォーキングイベント等もあることから、体育委員会や波田体協で検討の結果、次年度の開催については、一旦見合わせ様子を見ることとなった。今後は各種団体等との連携を含めた検討が必要である。		
ワイン講座第2弾「失敗しない!ワインの選び方講座」	10月24日	1回	趣味教養	成人	24人	ワインもお料理もおいしくなる、組み合わせ方や基本のマナーやテイasting方法も学び、教養の向上と参加者同士の交流を図る。		ワイン講座の第2弾として夜間に開催。参加者には好評で、夜間開催については、今後も検討していきたい。		○
川南城下町の面影を探る	11月8日	1回	地域文化	成人	9人	女鳥羽川より南方面を巡りながらの武家地や町人地について学ぶ。文化委員会歴史担当が企画。	文化委員会歴史担当が企画、運営	普段ほとんど歩くことのない場所を巡り昔の武家地や町人地の面影を知り、市内の様子や市の文化財に触れることができた。今後も文化委員と内容を検討しながら実施したい。		
6団体マレットゴルフ大会	11月12日	1回	スポーツ	その他	39人	波田地区の6団体(町内公民館長会・町会連合会・民生児童委員協議会・J.A・商工会・まちづくり協議会)で親睦を図るため、マレットゴルフを行い、また懇親会を通して情報交換・意見交換も行う。		幹事は持ち回りで行っている。今年度は公民館長会が幹事として開催した。6団体による波田地区の地域づくりが重要となっていくため、今後も情報交換、交流を深める場として参加していく。		
そばおはぎとお漬物講座	11月20日	1回	趣味教養	成人	11人	そば粉を使った、のどごしの良い「そばおはぎ」3種類と季節の野菜を使った簡単なお漬物を作る。教養の向上と参加者同士の交流を図る。		とても簡単に作ることで、試食の時間がゆつくりとれたことで、参加者同士が感想を述べあうなど交流ができた。参加者から地域の伝統料理等の開催希望もあり、今後の事業計画の参考としていきたい。		○
ストレス解消!格闘技エクササイズ	11月20日 11月27日 12月4日	3回	福祉健康	成人	25人	ボクシングや空手など数種の格闘技を組み合わせたエクササイズを行う。有酸素運動でストレス解消と脂肪燃焼を目指す。		3回の講座として開催したが、3回目は講師急病のため開催を見合わせた。夜間講座のため男性の参加も多く、次回開催の要望もあったため、今後も開催を検討していきたい。		
ワイン講座第3弾「信州産ワインを知る!講座」	11月28日	1回	趣味教養	成人	20人	信州産ワインについて学び、教養の向上と参加者同士の交流を図る。		ワイン講座の第3弾として夜間に開催。ほとんどが、1弾、2弾の参加者ではあったが、親交を深めながらワインについて学んでいた。夜間開催については、今後も検討していきたい。		○

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
ふれあいランチパーティー	12月8日	1回	人権平和	その他	88人	市内や近隣町村に在住する外国の方々や地区住民とが各国の料理作りを通して、国際交流と相互理解を深めることを目的として開催。作った料理はパーティーでふるまわれ、各国の味を楽しむ。	日本語教室、波田地区人権啓発推進協議会共催 国際交流クラブ協力	毎年恒例の事業として定着している。多文化共生の観点からも今後も継続していきたい事業であるが、スタッフの減少等課題がある。地域の人が事業の趣旨を理解し、多くの人が参加してもらえよう、内容等も見直しながら検討し、周知していく必要がある。		
古布で作る干支飾り講座	12月9日	1回	趣味教養	成人	15人	お正月を前に、古布で来年の干支「子（ねずみ）」の干支飾りを作り、教養の向上と参加者同士の交流を図る。		公民館利用サークルの「ちりめんうさぎ」の皆さんに講師をお願いした。参加費もできるだけ抑え、時間内に完成するように工夫していただき、会の皆さんの協力あつての講座であった。会の皆さんの協力を得ながら今後も継続して行いたい。		
アーティシャルフラワーで作るお正月飾り	12月18日	1回	趣味教養	成人	30人	わらで土台を組み、水引と、お花や松、南天などのアーティシャルフラワーでアレンジしたお正月飾りを作り、教養の向上と参加者同士の交流を図る。		洋風の正月飾りということで人気もあり、当初予定の定員を増やして開催した。次回開催の要望もあつたため、今後も開催を検討していきたい。		
そば打ち講座	12月19日	1回	趣味教養	成人	12人	年越しに向けてそば打ちを学ぶ、そばを打ち、味わうことを通して、食文化の学習と参加者同士の交流を深める。		1人1枚を打ち、全員が一通りの作業を体験することができた。男性も多く参加していただけた講座であり、毎年参加を楽しみにしている方もいるため、今後も開催を検討していきたい。		○
みゆき先生の関節痛改善健康教室	1月21日 1月28日 2月4日 2月18日 2月25日 3月3日 3月10日	7回	福祉健康	成人	150人	冬場の運動不足解消と関節痛の改善を目的にストレッチや体幹の筋肉を鍛えて腰を守るトレーニング等を行う。		好評の講座であり、一部参加者より自主サークルとして活動したいとの申し出もあつたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6回目、7回目を中止としたことで立ち消えになってしまった。自主サークル結成を視野に、今後も開催を検討していきたい。		
はるな先生の親子体操教室	1月24日 1月31日 2月7日 2月14日 2月21日 2月28日	6回	福祉健康	その他	204人	竹の子教室終了後、冬場の運動不足解消と子ども達の遊び場として開催。お母さんの体調不良やストレス解消を主な目的とし、合わせてお子様の体力アップとスキンシップを行いながらの遊びを行う。		6回目は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。竹の子教室参加者以外の親子にも参加していただき、情報交換等交流も図ることができた。今後も冬場の親子向け教室として開催していきたい。		
冬のスポーツを楽しむ！	2月2日	1回	スポーツ	その他	27人	体を動かす機会が少なくなる冬場の健康維持増進と参加者相互の親睦を図る。 ・スキー・スノーボード教室 ・テレマークスキー教室 ・スノーシュー教室	波田体育協会共催	初心者でも無理なくスキーやスノーシューを楽しむことができた。テレマークスキーは申し込みがなく行わなかった。冬場の健康維持増進のため今後も開催していきたい。		
甘酒でおやつ作り講座	2月19日	1回	趣味教養	成人	14人	甘酒を使った蒸しパン、パンナコッタの作り方を教わりながら、郷土の食文化を学ぶとともに参加住民同士の交流を図る。		とても簡単にでき、甘酒のアレンジを教わるのができ好評であった。地域で親しまれている食材等を使った食育講座を今後も実施していきたい。		
障害のある子のきょうだい支援	2月22日	1回	その他	成人	91人	障害のある子のきょうだい支援についての講演会	信濃学園主催	信濃学園が毎年行っている「こまき教室」の公開講座を波田公民館が共催として行った。地域にある施設ということで、今後も信濃学園と協力しながら講座等を行う機会ができないうか検討していきたい。		
飾り巻き寿司講座	3月4日	1回	趣味教養	成人	16人	卒業、入学などのお祝いに、食卓も華やかになる飾り巻き寿司の作り方を学び、教養の向上と参加者同士の交流を図る。		募集に関しては、キャンセル待ちが出るほどの人気であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。今後、講師とも調整しながら改めて実施の方向で計画したい。		○
波田の村落成立と地名をさぐる	3月12日 3月19日 3月26日	3回	趣味教養	成人	中止	それぞれの村落の歴史と成立、現在のありさまを写真等もまじえながら興味深く解説していただく。地域の歴史文化を学び、教養を深める機会とする。 1回目 旧上波多村 2回目 旧中・下波多村 3回目 旧三溝村		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。地域の歴史に関する講座は今後も開催したい。		
スプリングコンサート	3月23日	1回	趣味教養	その他	中止	子ども達の春休みに合わせて企画。小さいお子さんから、おじいちゃん、おばあちゃんまで世代を超えて、親しみやすい、おなじみの名曲を若き演奏家が奏でる素晴らしい演奏で楽しんでいただく。		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。世代を超えて楽しめるコンサートは今後も開催していきたい。		
コミュニティースクール事業	4月～3月	1回	子育て	青少年	250人	下記の事業を開催 ・小・中学生 登下校の見守り(通年) ・小学校1年生下校見守り(4/6～13 延べ90名参加) ・小学校環境整備(6月) ・小、中学生学習指導(7～8月) ・小学校3年生 社会科見学講師(1月) ・小学校5年生 農業体験講師(5～11月) ・こもとり体験・焼いも大会(子ども会育成会主催 2/11) ・学校応援団会議(2回)	波田地区学校応援団	これまで行ってきた活動の充実を図り、コミュニティースクール事業に取り組んだ。来年度についても継続的に事業を行っていきたい。		○
人権啓発推進協議会総会	5月14日	1回	人権平和	成人	30人	事務局として支援。地域に根ざした人権教育・啓発を積極的に推進し、差別のない地域社会の実現を図ることを目的に、事業内容等を協議検討する。	波田地区人権啓発推進協議会	総会のみだと短時間で終了となり、協議会委員が会の目的をとらえられる機会となっていない。総会に併せて人権に関する学習会等の開催も検討したい。		
日本語教室	4月～3月 毎週土曜日	42回	人権平和	その他	216人	地区内や周辺地区在住の外国人が、日常生活に必要な日本語会話・読み方・書き方を勉強する。	日本語教室主催	在住の外国人が減少傾向の中で、教室の生徒も減少しているが、指導者のもと熱心に学習している生徒が多い。今後も随時生徒の募集を行っていく。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
遊YOU大学	5月～12月	8回	趣味教養	高齢者	245人	家に閉じこもりがちな世代の交流の場として、様々な運動を通して参加者相互の交流と体力づくりを行う。 1回目 開校式、読み聞かせ 2回目 体力測定 3回目 バラスポーツを知ろう 4回目 ボイスフィットネス 5回目 木曾赤沢自然園とマイ著作 6回目 グランドゴルフ 7回目 バス研修・山梨県立美術館 8回目 懐かしソングカフェで閉講式	参加者からの希望を基に2～8回目の内容は計画	波田生き生き健康大学から名称を変更して開催した。野外事業の開催を毎年楽しみにしている参加者が多い。高齢者の体力増進、交流の場として継続的な内容だけでなく、新規内容も取り入れながら今後も継続していく。		
竹の子教室	5月～12月	50回	子育て	家庭教育	37組 2400人	2歳から3歳児とその保護者を対象に、運動や遊びを通して親と子のふれあいと体力づくりを行い、心身の健全教育と親子の絆を育む。波田地区で長く続く子供育成教室として定着している。	指導員と日程、内容等を調整。	今年度は波田体育館の大規模改修により、公民館での活動が多かったが、ふれあいと体力づくりをすると共に、季節毎に四季折々の行事を取り入れるなどして、様々な体験ができた。毎年早い段階から新年度の申し込みの問い合わせもあり、開催を心待ちにしている参加者も多い。地区内だけでなく、近隣地区からの参加も増えており、待機児童の問題もある中で貴重な事業となっている。		
町内公民館対抗スポーツ事業	6月9日 6月30日 10月27日	3回	地域事業(体育)	その他	950人	波田地区町内公民館対抗行事として、健康維持増進と参加者相互の親睦を図る。 ・オール野球大会 ・男女混合、女子ソフトバレーボール大会 ・マレットゴルフ大会	体育委員主催 波田体育協会共催	勝敗にこだわらない、親睦目的の参加も可能にしたため、参加町会が増えた。種目によっては、近隣の町内公民館との合同で開催している町会もあるが、今後はより多くの町会に参加していただけるよう、種目等の見直しを含め検討していきたい。		
波田文化祭	11月2日 11月3日	2回	地域事業(文化)	その他	2,500人	生涯学習やクラブ活動の成果を発表し、地域住民が芸術文化を鑑賞する。波田公民館、文化センター・アクトホールを会場に44団体が参加し、展示発表、舞台発表を行う。	文化祭実行委員会主催 町会連合会、町内公民館 長会協力	今年度は波田体育館の大規模改修により、体育館での展示を行わなかったため、参加団体は例年より少なかった。町会長や町内公民館長に準備や片付けなどを手伝っていただくことで、高齢化が進む参加団体の展示等にかかる負担が軽減されてきている。舞台発表も参加団体と実行委員の協力のもと実施できた。今後は地区をあげての文化の祭典という意識を高め、より一層生涯学習に関心を持ってもらえるようにしていきたい。		
地区担当職員連絡会議	4月～3月	12回	公民館委員会・各種会議等	その他	140人	社会福祉協議会、公民館、波田地域づくりセンター、健康づくり課、西部包括支援センター、福祉ひろば、市立病院、福祉計画課の職員が参加し、各部署からの事業や地域課題について話し合いを行う。		各部署での取り組みや事業内容、また、地区の課題などについて広い視野での話し合いができる場となっている。		
公民館運営委員会	4月～2月	2回	公民館委員会・各種会議等	その他	19人	公民館の事業計画等についての検討や提言を行う。		積極的に公民館活動へ関わっていただき、事業計画について検討や提言を頂けるようにしていきたい。		
体育委員会	4月～2月	7回	公民館委員会・各種会議等	その他	164人	町内公民館対抗スポーツ事業の企画、運営に携わる。	各地区から選出された委員と波田体協代表の27名で活動を行った。	事業の企画・運営に積極的に取り組んでいただくことができた。町内公民館対抗スポーツ事業の見直しも含め、今後の体育事業について検討していきたい。		
文化委員会	4月～1月	14回	公民館委員会・各種会議等	その他	140人	文化祭、イベント、歴史の担当にふかれ、それぞれの活動の企画、運営に携わる。	27地区から選出された委員を3つの担当に分けて活動を行った。	事業の企画・運営に関して積極的に取り組んでいただくことができた。来年度以降も、多くの意見を取り入れながら事業展開をしていきたい。		
館報編集委員会	4月～1月	7回	公民館委員会・各種会議等	その他	67人	松本市公民館報(波田地区版)への原稿執筆、編集等	27地区から選出された委員で館報の原稿執筆、編集等を行った。5月号を事務局と正副委員長で担当。7、9、11、1、3月の各号は残りの委員に割り振り、全委員に1回ずつ担当していただいた。	記事内容はテーマ等を設けず、号毎の担当会議で内容を決定。担当会議までに、記事内容等を考えてきていただくようにした。記事を書くことに難しさを感じている委員も多いが、積極的に取り組んでいただけた。今後もできるだけ多くの地区の人に携わっていただき、地区の様々な情報を記事にしていけるようにしていきたい。		
町内公民館長会	4月～2月	9回	公民館委員会・各種会議等	その他	225人	地区公民館からの連絡事項や地区事業のお知らせ、地域づくり等について研修する。		地区事業へ積極的に参加・協力をいただいた。会議終了後に理事会も開催し、町内公民館長会が参加する事業等について協議した。来年度以降も活動を充実させていきたい。		
文化祭実行委員会及び文化祭会場	6月～12月	5回	公民館委員会・各種会議等	その他	172人	文化祭実行委員会波田文化祭全体の企画、運営等を行う。各会場では会場ごとの展示、発表等について調整を行う。	文化委員9名、町会長1名、公民館長1名、各会場の正副代表で実行委員会を組織。会場は参加団体の代表者で組織した。	実行委員会が主となり、各会場からの意見等も反映しながら文化祭全体の企画、運営を積極的に進めていただくことができた。今後も実行委員会を組織し、多くの意見を取り入れた文化祭の企画運営ができるよう工夫していきたい。		
利用者団体会議	5月28日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	100人	公民館利用団体の代表者と公民館利用方法等の確認や留意点等について話し合う。		公民館の予約方法や使用方法について改めて周知を行うとともに、利用者の皆さんから意見、要望を出していただいた。併せて、文化祭への参加申請も行った。利用者の意見を聞く機会でもあるため、今後も継続して開催したい。		
公民館一斉清掃	11月21日	1回	その他	成人	100人	年1回公民館利用団体の皆さんに公民館の清掃を行っていただく。		各団体が活動で利用している部屋を中心に多くの皆様に協力をいただいた。今後も利用している施設を大切に使用していただくことも目的に実施していきたい。		
公民館案内の発行	毎月	12回	その他	その他		毎月、全戸配布で公民館の講座案内等について周知する。		公民館講座、事業の周知に有効であると考え、今後は発行していく。		

令和元年度松本市公民館長会 定例会等事業報告

期 日	会 場	会 議 及 び 研 修 内 容
4月17日(水)	中央公民館	【総会】 ○平成30年度公民館長会事業報告及び会計報告 ○平成30年度館長会役員報告 ○平成31年度公民館長会事業計画及び予算審議（承認） □終了後、歓送迎会（アルピコプラザホテル）
5月15日(水) ※元号変更	中央公民館	【研修】 ○グループ討議（3月定例会のふり返りと本年度期待する定例館長会研修、県外視察研修、その他）
6月19日(水)	安原地区公民館	【研修】 ○町内公民館と地区公民館の連携 町内公民館長会会長神保孝彦氏・副会長中嶋弘壽氏・会計山田さつき氏 多世代参加型地域づくり事業について 生涯学習課 栗田 正和 課長
7月17日(水)	王滝会館	【研修】 ○松本市の教育現場はいま！松本市のいじめの現状把握と対応は？ 講師 学校指導課 下平 将輝 指導主事 □研修会後、暑気払い
8月22日(木)	中山公民館	【研修】 ○ネット社会に生きる子供たちと大人の役割 講師 みやばやしこどもクリニック 院長 宮林 麻里 医師 松本市教頭会と松本市公民館長会との合同研修
9月18日(水)	安曇公民館	【研修】 ○BRIDGE の地域づくり実践活動 BRIDGE 奥原 賢 氏 谷口 秀幸 氏 ○公民館と地域づくりセンターの役割と連携 地域づくり課高橋伸光課長
10月16日(水)	本郷公民館	【研修】 ○グループ討議（新任公民館長が持つ課題検討～事前アンケートから～） ○選択研修：世界健康首都会議
11月14日(木) ～15日(金)	新潟県柏崎市 新潟県寺泊市	【県外研修】 ○柏崎市「災害時における公民館及び公民館長の役割」について 「復興に向けた地域コミュニティの形成」について ○寺泊市「絶滅危惧種トキの生態」について
12月18日 (水)	中央公民館	【研修】 ○指定管理制度導入の公税と社会教育の変貌 講師 全国公民館連合会事務局次長 村上 英己 氏 公民館芸人バーゲンセール わさび 氏 正子 氏
1月15日(水)	中央公民館	【研修】 ○発災時の公民館の役割について 松原地区公民館 下村 純 館長 ○松本版コミュニティスクールについて □終了後、新年会（ホテルモンターニュ）
2月19日(水)	庄内地区公民館	【研修】 ○HUG（主事会と合同研修） 講師 地域赤十字奉仕団研修推進委員 福島 朝雄 氏 岡田 敏子 氏 ○グループ討議（公民館研究集会のふり返り）
3月18日(水)	中央公民館	【総括】 ○令和元年度活動のふりかえりと次年度へ向けた課題の集約 ○役員選挙

令和元年度松本市公民館長会 関係事業報告

実施時期	事業内容	備考
4月17日(水)	<input type="checkbox"/> 公民館長会総会 <input type="checkbox"/> 歓送迎会	中央公民館 アルピコプラザホテル
通 年	<input type="checkbox"/> 定例公民館長会（研修会） ・毎月第3水曜日（原則：午後1時30分から） ・理事会による検討項目及び研修内容に基づき開催	中央公民館 ほか
	<input type="checkbox"/> 理事会 ・毎月第2火曜日（原則：午後1時30分から） ・定例館長会の協議事項及び研修内容を検討	中央公民館
通 年	<長野県生涯学習推進センター> <input type="checkbox"/> 公民館基礎講座・生涯学習推進者実践講座 ほか	長野県生涯学習推進センター
4月22日(月)	<input type="checkbox"/> 新任公民館職員研修会 ・公民館の概要と近年の動向、関係法令、共通事業について ・向井 健 松本大学専任講師、中央公民館職員 他	中央公民館
5月 8日(水)	<長野県公民館運営協議会> <input type="checkbox"/> 長野県公民館長総会・研修会（31名参加）	東御市中央公民館
5月23日(木)	<長野県公民館運営協議会> <input type="checkbox"/> 長野県公民館運営協議会「定例総会」（代表参加）	松南地区公民館
6月29日(土)	<長野県公民館運営協議会> <input type="checkbox"/> 長野県公民館報関係者研修会（代表参加）	長野市 柳原交流センター及 び東部文化ホール
8月26日(月) ～8月28日(水)	<input type="checkbox"/> 名古屋大学「社会教育調査実習」 ・松本市公民館の理念と特色 ・町会、地区の地或づくりを学ぶ	中央公民館 城北公民館
9月26日(木) ～9月27日(金)	<長野県公民館運営協議会> <input type="checkbox"/> 第67回長野県公民館大会（40名参加）	佐久穂町生涯学習館
2月16日(日)	<input type="checkbox"/> 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い ー第35回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会ー ・全体会（基調講演：牧野 篤教授）、分科会（松本の歴史・文化を次世代に伝えていくために 他11分科会） 他	中央公民館（Mウイング）
4月25日(木) ～2月 7日(金)	<input type="checkbox"/> 中信地区公民館運営協議会「評議員会」（年3回） ・大会、研修会等の企画・運営、中信地区情報の収集	松南地区公民館 ほか
4月19日(金) ～3月 6日(金)	<input type="checkbox"/> 長野県公民館運営協議会「役員会」（年6回） ・大会、研修会等の企画・運営、県内情報の収集、調整	長野県庁 ほか

令和元年度 松本市公民館主事会 事業報告

1 公民館主事研修会

公民館主事研修会として全 21 回を開催し、延べ 589 人が出席した。各回の内容は次のとおり。

回	日時・会場	出席者	研修内容
1	4/11(木) 13:30～17:00 中央公民館	43	<p>テーマ：平成 31 年度 公民館主事会の運営等及び研修計画について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教育長あいさつ（赤羽教育長） 2 自己紹介 3 平成 31 年度行財政運営と平成 31 年度中央公民館重点目標について（栗田中央公民館長） 4 協議事項・役員選出 <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成 31 年度役員の選出及び事務局の任命 (2) 平成 30 年度主事会事業報告及び会計報告 (3) 平成 31 年度公民館主事会の運営等について 5 事務連絡 <ol style="list-style-type: none"> (1) 中央公民館事務分担表について (2) 平成 31 年度予算について（公民館管理運営費・単独学級等） (3) 平成 31 年度事業について（コミュニティスクール事業・食育事業等） (4) 町内公民館振興業務委託事務について (5) 市長会損害保障制度について (6) 公民館総合補償制度対応手順について (7) 防火管理講習について (8) 県公運協事業計画について (9) 長野県公民館主事研修会・総会について (10) その他 6 研修 <ol style="list-style-type: none"> (1) テーマ 平成 31 年度公民館主事研修会で学びたいこと (2) 方法 ブロック毎、テーマに沿って話し合いを行った。 (3) 結果 今年度は 9 名の新任の主事が加わったことから、貸館判断の根拠となる法令・条例の学習や住民の声を吸い上げた公民館講座の作り方など、公民館主事の基礎をしっかりと固めるような研修を行っていくこと。また、コミュニティスクール事業への主事の関わり方を考えることや、地域の住民団体の活動を訪問し他地域の状況を共有することなど。このように話し合いで出された意見については、幹事会において検討し主事研修会計画に組み込む。
2	ブロック研修会	35	<p>テーマ：各担当回の企画内容及びブロックテーマ研究の内容について</p> <p>5 月から 10 月にかけて実施する主事研修会に係って、各ブロックでそれぞれの担当する回の企画内容を検討し、また、上半期に実施する各ブロックでのテーマ研究の内容について話し合う。</p>
3	5/16(木)～17(金) 下條村コスモホール あしたむらんど下条	延 28	<p>長野県公民館主事研修会・総会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 総会 平成 30 年度事業報告／令和元年度県公運協主事会規則の改正／令和元年度県公運協主事会役員の選出（新旧役員あいさつ）／令和元年度県公運協主事会活動方針／令和元年度県公運協事業計画 2 研修 <ol style="list-style-type: none"> (1) 分科会 <ol style="list-style-type: none"> ア 第 1 分科会 「公民館に再び「賑わい」を」 各種公民館活動への参加者が減少している中、特に 60 代よりも若い世代も参加する「世代を超えて参加者が自ら集う公民館事業」を実施す

回	日時・会場	出席者	研修内容
			<p>るためにはどうしたらよいかを考える。</p> <p>イ 第2分科会 「コミュニティづくりとしての公民館」 地域連携はコミュニティの醸成につながる。コミュニティづくりの中心としての公民館の役割と地域連携の重要性について考える。</p> <p>ウ 第3分科会 「「つながる！」学びを通じて、どのように繋がり、何を繋ぎますか」 子ども育成を核とした「つながり」と「学びのあり方」を4つの公民館の実践事例をもとに考える。</p> <p>エ 第4分科会 「地域の特性を生かした取り組み」 それぞれの地域が持つ特性を生かして行っている講座やイベントについて話し合い、それを実現可能とするために、公民館主事ができることや役割を考える。</p> <p>オ 第5分科会 「公民館入門」 公民館初任者を対象に基礎的な知識を学び、今の公民館に何が求められているのかを考える。</p> <p>(2) 全体会</p> <p>ア テーマ 「公民館で培われる自治体職員としての力」</p> <p>イ 聞き手 鈴木勇氣（飯田氏千代公民館） 話し手 浅井翼（上松町役場企画財政課企画政策係） 新井直彦（松川町役場まちづくり政策課まちづくり推進係） 大石真紀子（阿智村協働活動推進課）</p> <p>ウ 内容 公民館の経験を生かして行政の現場で頑張っているOBの皆さんを迎えて話を伺う。</p>
4	5/23(木) 13:30～17:00 城北公民館	25	<p>テーマ：貸館についての基礎学習</p> <p>1 趣 旨 公民館事業の中で貸館は住民の学びや結びつき、健康増進といったものの根幹となる場である。社会教育法で規定されているとおり、社会教育施設であり、レンタルスペースやコワーキングスペースとは異なる目的で設置されている。しかしながら、利用者の中には、社会教育施設という理解が薄く、社会教育の理念とかい離する活動も報告されている。そのような中、地域の特性も鑑みながら各館に貸館の判断を委ねられている現状もある。 年度当初の主事研修会ということもあり、根本となる社会教育法、松本市公民館条例、松本市公民館条例施行規則を確認し、判断に迷うケースであっても、法令・条例に則た業務ができるようスキルを身に付ける。</p> <p>2 事務連絡・協議事項</p> <p>(1) 市民労力提供に対する原材料支給事業について（地域づくり課 柳本主査）</p> <p>(2) 「地域活動情報一覧」ホームページへの掲載について（地域づくり課 柳本主査）</p> <p>(3) 県事業について（長野県生涯学習センター 木下所長）</p> <p>3 研 修</p> <p>(1) 貸館についての基礎（白板地区公民館 岩垂主任）</p> <p>(2) 過去事例の研究（城北公民館 保科主事）</p> <p>(3) 他市のトラブル、判例の研究（安原地区公民館 森田主事）</p> <p>(4) 貸館業務の現状について（情報共有、悩み、不安、わからないこと）</p>
5	6/13(木) 13:30～17:00 神林公民館・信州スカイパーク	26	<p>テーマ：令和元年の公民館研究集会について &「信州花フェスタ2019」視察</p> <p>1 趣 旨 公民館研究集会の概要と目的（趣旨）について、新任からベテランの公民館主事まで全体で討議し、昨年度のアンケートの意見に対する対応を協議し、公民館主事会としての令和元年度集会の方向性を見出す。 長野県で初開催されている「信州花フェスタ2019」を視察し、信州の自然や風土を体感し、信州の暮らしの素晴らしさを実感する機会とする。</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
			<p>2 事務連絡 (1) 参議院選挙の個人演説会について (選挙管理委員会 藤牧課長補佐)</p> <p>3 研修 (1) 公民館研究集会 (未来へつなぐ 私たちのまちづくりの集い) について (地域づくり課 小川係長・中央公民館 平林主任) ア 公民館研究集会の目的 (趣旨) と経過について イ 平成30年度集会の反省をふまえた令和元年度の方向性について ウ 今後の予定 (2) 信州花フェスタ2019視察 (会場案内: 公園緑地課 篠原慎介主任)</p>
6	6/27(木) 13:30~17:00 城東公民館	28	<p>テーマ: 「公民館講座の作り方」</p> <p>1 趣旨 公民館で実施している講座が長期にわたり継続され、新しい講座が開設されることが少なくなっている。それに伴い、公民館主事が新規講座開設に携わることも減ってきた。また、現在1年目、2年目公民館主事が半数以上となっていて、どのように進めていけばよいのか模索している状況である。 新規講座を開設するにあたり、「地域住民の声」による開設、「各種団体との協働」による開設の2点を中心に話題提供を受け、どのように地域住民の声を吸い上げ、どのように各種団体と協力して進めていくのかを議論し、主事として今後どのように生かしていくかをまとめ、スキルアップを目指す。</p> <p>2 事務連絡 (1) 「具だくさんみそ汁コンテスト」について (中央公民館 土井主事) (2) 多世代参画型地域共生コミュニティづくりモデル事業の今年度の進め方について (中央公民館 平林主任)</p> <p>3 研修 (1) 話題提供① 「いきいき100歳体操の事例発表」 (第三地区公民館主事 中條主任) (2) 話題提供② 「松原モールに対する地域の取り組み」～日常会話から生まれた地域住民の思い～ (松原地区公民館 館長 下村 純 氏 松原地区住民 曾根原 豊 氏 〃 熊木 綾 氏 前松原地区公民館主事 平林 祐介主任) (3) グループ討議「公民館講座の作り方」</p>
7	ブロック研修	35	<p>テーマ: 「各ブロックでのテーマ研究」</p> <p>ブロックごと各自で設定したテーマに沿って研修会を実施する。</p>
8	7/25(木) 13:30~17:00 入山辺公民館	29	<p>テーマ: 「外に出て実践に触れて学ぶ 地域の特性を活かした取り組み」</p> <p>1 趣旨 入山辺地区では地元住民が「地域をこんな風にしたい」という思いを持ち、「ここに住んで良かったと思える入山辺にしよう」と話し合いを重ね、入山辺地区の将来ビジョンを考える会 (愛称: こんな山辺にするじゃん会) を結成した。 この研修では実際に外に出て住民の思いや活動に生に触れながら、地域住民自らが地域の特性を活かして思い描くビジョンを形にした事例に学び、地域の特性を活かした地域づくりをどのように展開していくのか考える。</p> <p>2 事務連絡 (1) 火の用心旗等の一時保管について (危機管理課 百瀬課長補佐)</p> <p>3 研修 (1) 話題提供「入山辺地区の将来ビジョンを考える会の活動とそれに至る経緯等」 (こんな山辺にするじゃん会の皆様) (2) 実際の活動例の紹介 (こんな山辺にするじゃん会の皆様) (3) ピザ釜を使ってのピザづくり体験 (4) 全体トーク「今後の地域活動を共に考える」</p>
9	8/7(木) 13:30~17:15 庄内地区公民館	23	<p>テーマ: 「自治体職員の原点としての、公民館主事の仕事を考える」</p> <p>1 趣旨 飯田市で公民館主事や公民館副館長などを歴任された木下氏から「学びに</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
			<p>基づく住民自治の伸長と住民に寄り添いながら自治を支える職員の意識づくり」など、飯田市公民館が実践してきた事例を県の教育施策なども交えながら話題提供いただき、地域自治に対する公民館や公民館主事としてのあり方を学び、考えを共有する場としたい。</p> <p>2 事務連絡</p> <p>(1) 無形文化財等データベース化事業について（文化財課 田多井課長補佐）</p> <p>(2) 庁用バスの予約に対する今後の方向性（中條幹事長）</p> <p>(3) 多世代参画型地域共生コミュニティづくりモデル事業に対する公民館主事の参画（中央公民館 平林主任）</p> <p>(4) 公民館使用許可・不許可の判断等経過報告について（岡田公民館 小林主任）</p> <p>2 研修</p> <p>(1) 話題提供「自治体職員の原点としての、公民館主事の仕事を考える」（講師：長野県生涯学習推進センター 所長 木下 巨一氏）</p> <p>(2) グループ討議</p>
10	9/5(木) 13:30～17:00 庄内地区公民館	23	<p>テーマ：公民館でもできる食品ロス削減とは何だろうか？</p> <p>1 趣旨</p> <p>現在、本市は第3期食育推進計画に基づき、市民をはじめ関係機関が主体的かつ連携して食育を推進している。公民館講座は本計画の重点事業の一つとして位置づけられ、各地区公民館でも食育事業を展開しており、その多くは「健康・伝統文化・親子」をテーマにしたものである。また、「食品ロスの削減の推進に関する法律」が5月24日の参議院本会議で全会一致で可決、成立し、本市発祥の「30・10運動」に由来する10月30日を「食品ロス削減の日」とすることが定められた。</p> <p>本主事研修会では食品ロスにフォーカスし、食品ロス削減につなげる活動をしている学生団体との交流を交え、公民館主事が食品ロスについて理解を深め、実践を通じて公民館食育事業への展開の可能性を探るものとする。</p> <p>2 事務連絡</p> <p>(1) こどもの生活習慣改善事業(まつもとっ子元気アップ事業)における親子体力向上事業について(依頼) (健康づくり課 柳澤課長補佐・甘利主事)</p> <p>(2) 地域に残る映像を活かす提案(地域づくり課 廣田課長補佐)</p> <p>(3) 事故発生時の報告書の持回りについて(中條幹事長)</p> <p>(4) 公民館使用料等の改定料金について(中央公民館 横山係長)</p> <p>(5) 第72回優良公民館表彰について(中央公民館 天野事務員)</p> <p>(6) 社会教育実習生について(中央公民館 天野事務員)</p> <p>3 新任主事の10分間相談</p> <p>4 研修</p> <p>(1) 問題提起「本市の食育推進計画と公民館事業の実態(寿台公民館 浅井主任)</p> <p>(2) 話題提供①「食品ロス削減に対する市の取り組みについて」(環境政策課 阿部主任)</p> <p>(3) 話題提供②「◎いただきます!!の活動について」 (松本大学地域づくり考房『ゆめ』◎いただきます!! リーダー：服部優花さん 副リーダー：都筑優乃さん)</p> <p>(4) 調理実習「もったいないクッキングの実践」(実践レシピ：りんごの肉巻き・りんごのタルトタタン)</p> <p>(5) 試食並びにメンバーとフリートーク</p> <p>(6) まとめと発表</p>
11	9/12(木) 13:30～17:00 中央公民館	29	<p>テーマ：「大災害 備えあれば 憂いなし?～検証!あなたの公民館」</p> <p>1 趣旨</p> <p>近年、東日本大震災、西日本豪雨など全国各地で災害が相次いでいる。松</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
			<p>本でも平成23年に中部地震、平成26年には豪雪被害などが発生しており、今後も東日本大震災に匹敵する大規模地震や、地域によっては土砂災害等が懸念されている。しかもそれはいつどこで起こるか分からない。そうした避けられない災害が起きた時に私たちはどう行動すればいいのか。今回の研修では、そうした災害の現状を現場の実体験も踏まえて学び、松本市の体制の中で、地域として、そして公民館としてどのように災害を考え、どのように備えることができるのか、すべきなのかを考える。</p> <p>2 事務連絡</p> <p>(1) 令和元年度明るい選挙啓発ポスターの掲示について(依頼)(選挙管理委員会事務局 藤牧課長補佐)</p> <p>(2) 公民館使用許可に係る経過報告書(岡田公民館 小林主任、中央公民館 横山係長)</p> <p>3 研修</p> <p>(1) 講演「大災害 備えあれば 憂いなし?～検証!あなたの公民館」(NPO さくらネット代表理事・コラボねっと取締役 石井 布紀子氏)</p> <p>(2) グループワーク「地域と地域づくりセンター(公民館)でできること～ソフト面とハード面それぞれの切り口で考えよう～」</p>
12	9/26(木)～27(金) 佐久穂町生涯学習館「花の郷・茂来館」	18	<p>第67回長野県公民館大会</p> <p>1 大会テーマ 「各地域の活動の実践に学び合い、公民館の今日的な役割を考えよう」</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 研修会「野辺山開拓と高原野菜の歴史」 JA長野八ヶ岳 南相木支店長 中島 常勝氏</p> <p>(2) 講演会「自治と健康の育み～公民館のあり方を考える～」 佐久総合病院健康管理部 医師 西垣 良夫氏</p> <p>(3) 分科会(全9分科会) [地域見学会]秩父事件跡地と奥村土牛記念館及び黒澤酒造資料館見学／カラマツ学習会と箸づくり／公民館による住民との協働・連携を考える～住民の力をどう引き出し、どう関わっていけばよいか～／こどもプログラミング講座／「郷土の偉人 五無齋記念事業に取り組んで」／備えあれば憂いなし!いきいきとシニアの時を過ごすための3つの実践／地域で子どもを育てる～子どもたちと公民館～／公民館の枠を飛び越えた!? 子ども・若者とのつながり～公民館的な活動から地元愛を引き出す～／「人生100年時代!健康で生きがいのある生活をもとめて」～古間史館おらが学級～</p>
13	10/24(木) 13:30～17:00 中央公民館	20	<p>テーマ:「人権学習「やさしい日本語」外国人住民への情報発信」</p> <p>1 趣旨 松本市には、総人口の約1.6%にあたる3,961人の外国人住民が暮らしている(平成30年12月時点)。また、平成31年4月には入管法の改正により、新たな在留資格が創設され、今後さらに外国人住民の増加が見込まれる。 昨年度主事会では「地域に住む外国人のために、公民館として何ができるか」をテーマに多文化共生社会における公民館の役割について考える研修を実施した。今年度はより実践的な内容になるよう、「外国人住民への情報発信・伝達」をテーマに「やさしい日本語」について研修を行う。</p> <p>2 研修</p> <p>(1) 講演「人権学習「やさしい日本語」外国人住民への情報発信」 丸の内ビジネス専門学校日本語教師 佐藤 佳子氏</p> <p>(2) グループワーク「防災への取り組み「災害多言語表示シートについて」 人権・男女共生課 梶山主事</p> <p>3 事務連絡</p> <p>(1) 上高地小梨平キャンプ場の利用について(中條幹事長)</p> <p>(2) 公共施設予約システム新システム運用までの流れについて(中央公民館 平林主任)</p> <p>(3) 市功労者表彰について(中央公民館 天野事務員)</p> <p>(4) 令和2年松本市成人式の係員動員について(中央公民館 天野事務員)</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
14	11/7(木) 13:30～17:00 笹賀公民館	22	<p>テーマ：「主事のあり方 ～先輩主事から学ぶ～」</p> <p>1 趣 旨 公民館主事の業務（役割）や地域課題は時代の中で変化している。また、松本市公民館は1年目、2年目の公民館主事が半数以上となっており、日々の業務や地域課題を解決していくことについて不安を感じている主事も多いと思う。その不安を払拭するため、公民館や社会教育業務に携わった経験豊富な先輩達から成功例や失敗例など体験談を伺い、情報交換することで不安を払拭し各地区の主事業務を充実させていくための機会とする。</p> <p>2 事務連絡 (1) 松本市公民館運営審議会提言集について（中央公民館 横山係長）</p> <p>3 研 修 (1) 話題提供「主事のあり方～先輩主事から学ぶ～」 教育政策課 金井 稔 課長補佐 地域づくり課 廣田 圭男 課長補佐 中央公民館 横山 史樹 係長 (2) グループ討議「公民館主事の業務について」</p>
15	11/28(木) 13:30～17:00 あがたの森	22	<p>テーマ：県外視察研修事前学習</p> <p>1 趣 旨 12月12日・13日に実施される県外視察研修（国分寺市）の実施目的を明確にすると共に、国分寺市の現状等を把握し、今後の公民館活動や地域づくりに、公民館主事としてどのように生かしていくのか確認する。 今回の県外視察研修の主な学習ポイント ①「第2期 国分寺市公民館運営審議会答申」の内容と編集の経緯について ②国分寺市の公民館について 国分寺市公民館運営審議会の委員が、どのような思いを持って答申を作成したのか研究し、県外視察研修当日のポイントを確認する。また、国分寺市の答申から松本市として共有できる部分や参考となる部分をまとめ、公民館が地域の学びの拠点となれることを目指す。</p> <p>2 事務連絡 (1) 出前講座「姉妹都市の国際交流」の活用について（広報国際交流課） (2) 令和元年度松本市公民館報研修会開催要項について（中央公民館 平林主任） (3) 令和元年度9月以降風災被害・水災被害と公民館総合補償制度について（中央公民館 天野事務員）</p> <p>3 研 修 (1) 県外視察研修のねらいについて（田川公民館 床尾主査） (2) 国分寺市の概要・取組について（松南公民館 藤井主事） (3) 国分寺市公民館審議会委員の思い（中央公民館 横山係長） (4) グループ討議</p>
16	12/6(木)～7(金) 千葉県木更津市	25	<p>公民館主事会県外視察研修</p> <p>1 目 的 公民館の理念やあり方、公民館活動についての理解を深めるため、他市町村の住民や職員との活発な意見・情報交換を行い、公民館職員としての専門性を養う。</p> <p>2 テーマ 「これからの持続可能な地域づくりと公民館の役割」</p> <p>3 ねらい 近年社会経済環境の急激な変化に伴い、地域は多くの困難に直面し、コミュニティの活力は急速に失われつつある。人びとがつながり、支え合い、誰もが安心・安全に暮らせる持続可能な地域社会の構築に向けて、住民の学びと自治を支える公民館の役割が問われている。今回、都市部にありながら各中学校区に公民館を設置し、地域に根ざした公民館活動を展開している東京都国分寺市を視察し、次の2つの切り口からテーマについて考える。 (1) 国分寺市の公民館活動について (2) 「第2期国分寺市公民館運営審議会答申」の内容及び経緯について</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
			<p>4 研修内容</p> <p>(1) 1日目(会場:国分寺市本多公民館)</p> <p>ア 国分寺市・国分寺市公民館の概要</p> <p>イ 第2期国分寺市公民館運営審議会答申「国分寺のまちを学び共に創りだす公民館活動の今後について」作成の経緯・内容について</p> <p>ウ グループワーク 「サードエイジ世代の人生再設計と地域参加デビュー」 「子どもを主役とした異世代交流と地域活動の展開」</p> <p>(2) 2日目(会場:国分寺市本多公民館)</p> <p>グループワーク「国分寺市の公民館と地域づくり」</p> <p>ワールドカフェ方式で国分寺市5地区の事例及び参加職員の各公民館・地域における取組をふまえ意見交換</p>
17	12/26(木) 13:30~17:00 中央公民館	38	<p>テーマ:「新たな協働について 市民活動の実践者の思いからスタートして」</p> <p>1 趣 旨 松本の公民館は地域住民が抱える課題をもとに、多様な住民がつながり合い、学習を通じて活動実践につなげることを、住民との協働の一つの形としている。一方で、住民が地域と関わりの中で取り組むべき課題をみつけて、ボランティア団体やNPOなど市民活動団体をつくり、様々に協働する動きも見られる。 多様な協働の形がある中で、市民活動団体の具体的な思いや現在取り組む活動実践を聞き、市民活動団体がどんな活動フィールドでどんな思いを実現したいのか、それを実現する上でどのような課題があるのか、公民館と市民活動団体とで話し合うとともに、新たな連携の在り方について模索する。</p> <p>2 事務連絡 (1) 新予約システムの今後の周知方法と運用について(中央公民館 横山係長) (2) 貸館について(中央公民館 横山係長)</p> <p>3 県外視察研修の報告(白板地区公民館 岩垂主任、梓川公民館 黒田主事)</p> <p>4 研 修 (1) 地域と市民活動団体の協働について(地域づくり課 協働推進担当) (2) 実践発表 ア 松本市における市民活動の先駆的な取組について まつもと震災支援ネット、子どもが輝く食育ネットワーク松本 代表 伊藤 麻理氏 イ 地域での活動を通じNPOを立ち上げ活動している取り組みについて NPO法人 まちづくり信州 事務局 浜 由佳子氏</p>
18	1/9(木) 13:30~17:00 中央公民館	33	<p>テーマ:「塩尻市公民館職員との合同研修」</p> <p>1 趣 旨 松本市公民館主事会全体として塩尻市の公民館と交流の機会を持ち、今後のそれぞれの事業に生かすことを目的とする。また、両市公民館の関係づくりのきっかけとしたい。</p> <p>2 事務連絡・協議事項 (1) 公民館委員報償費の支払いについて(中央公民館 土井主事) (2) 「公民館使用許可・不許可の判断等経過報告書」の内容について(中央公民館 横山係長)</p> <p>3 両市代表あいさつ (塩尻市広丘公民館 折井幹事長、第三地区公民館 中條幹事長)</p> <p>4 研 修 (1) 松本市の公民館について ～公民館の体制、重点的な取組み等と事例発表～ ア 松本市公民館について(中央公民館 平林主任) イ 城北公民館における取組み(城北公民館 保科主事) (2) 塩尻市の公民館について ～公民館の体制、重点的な取組み等と事例発表～ ア 塩尻市公民館について(塩尻市中央公民館 安藤主任)</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
			<p>イ 新たな講座作りと片丘公民館の取組み (片丘公民館 瀧澤主任)</p> <p>ウ 専門委員会とともに講座作りを行う塩尻東公民館の取組み (塩尻東公民館 百瀬所長補佐)</p> <p>(3) グループ討議「各地区の取組みから自身の公民館活動を見つめる」</p>
19	1/23(木) 13:30～17:00 松南地区公民館	28	<p>テーマ：「町内公民館活動のてびきの改訂について」</p> <p>1 趣 旨 少子高齢化による地域コミュニティの変化等を踏まえ、第6次改訂版として「町内公民館活動の手びき」が14年ぶりに改訂された。そこで、てびきの編集作業を担当した編集委員を招聘し、改訂に至った経過や編集委員会で交わされた議論の内容、活動事例の選定理由など中心に手びきが目指した町内公民館のこれからのあり方について学ぶ。また、東京大学との共同研究として進めているモデル事業についても合わせて学び、町内公民館を中心とした地域コミュニティの構築について、地区公民館がどう関わっていくかを考える機会とするもの。</p> <p>2 事務連絡・協議事項</p> <p>(1) コミュニティスクール事業に関わる会計処理について (中央公民館 田口係長)</p> <p>(2) まちづくりの集いのねらいと位置づけについて (中央公民館公民館 平林主任)</p> <p>(3) 新予約システムについて (中央公民館 横山係長)</p> <p>(4) 公民館使用許可に係る経過報告書について (中央公民館 横山係長)</p> <p>3 松本市町内公民館長会 神保会長あいさつ</p> <p>4 中央3ブロック主事研修会報告 (庄内地区公民館 奥原主任)</p> <p>5 研 修</p> <p>(1) 話題提供</p> <p>ア てびきの改訂について (姥貝 勇氏・白木 好雄氏)</p> <p>イ 庄内地区公民館での活動 (庄内地区公民館委員 西口恵利子氏)</p> <p>(2) 東京大学との共同研究「町会単位での多世代参画型コミュニティ構築のモデル事業について」 (中央公民館 平林主任)</p> <p>(3) グループ討議「町会単位での多世代参画型コミュニティの構築に対し、地区公民館がどう関わっていくか」</p>
20	2/6(木) 13:30～17:00 寿台公民館	31	<p>テーマ：「松本版コミュニティスクールについて」</p> <p>1 趣 旨 松本版CSにおいて、(小・中) 学校区によっては関わる公民館に違いがあり、運営状況や事業内容も様々であるが、それらを共有する機会があまり無い。主事としての関わり方を再確認しつつ、他地区の状況等も共有する中で、次年度へ向けた新たな気づきを得たい。</p> <p>2 事務連絡</p> <p>(1) 信大オール写真部とのコラボ活動について (ご案内) (信州大学写真部、市民課、地域づくり課)</p> <p>(2) 町内公民館活動のてびき《第6次改訂版》について (中央公民館 田口係長)</p> <p>3 研 修</p> <p>(1) 松本版CS概要と主事の関わり方について (芳川公民館 北原主事)</p> <p>(2) 事例発表</p> <p>ア 明善学区 (寿台) のCSの状況について (寿台公民館 浅井主任)</p> <p>イ 鎌田地区のCSの取組みについて (鎌田地区公民館長 田中館長)</p> <p>(3) 話題提供「松本版CSの今後の展開について」 (中央公民館 塚原主事)</p> <p>(4) グループワーク「自館のCSの紹介、他館の状況を聞いて感じた事、現在の課題や悩み」</p>
21	3/19(木) 13:30～17:00 中央公民館	28	<p>テーマ：「主事にとっての公民館研究集会とは！？～集会を振り返る～」</p> <p>1 趣 旨 公民館研究集会の意義を踏まえたうえで、今年度の集会がこれまでの経過を踏まえてどのようにつくられたのかを改めて学び、今年度の集会がどうだったかを振り返る。また、主事にとって集会がどういう場であるべきか、</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
			<p>そのために来年度より良くブラッシュアップする必要があるのか、あるとすればどうしていけばいいかを考える機会とする。</p> <p>2 事務連絡・協議事項</p> <p>(1) 公共施設案内・予約システム再構築のサポートについて（中央公民館 平林主任）</p> <p>(2) 庁用バスの予約における契約管財課との話し合いの結果について（第三地区公民館 中條主任）</p> <p>3 全国優良公民館表彰、公民館活動推進アワード受賞報告（第三地区公民館 中條主任）</p> <p>4 第9次地方分権一括法の成立に伴う社会教育関係法の一部改正について（生涯学習課 栗田課長）</p> <p>5 研修</p> <p>(1) 今年度集会の趣旨と成果（主事への思いを含めて）（中央公民館 平林主任）</p> <p>(2) 地域づくり市民活動研究集会としての意義と成果（地域づくり課 廣田課長補佐）</p> <p>(3) グループワーク</p> <p>ア 主事にとって集会がどういう場であるべきか？</p> <p>イ 今回の集会に携わっての感想</p> <p>ウ 来年度の集会をより良いものにするために、主事として何ができるか？</p>

※ コロナウイルス感染症拡大防止のため、3/5(木)実施予定であった主事会を中止し、予定していた研修内容は3/19(木)に実施した。

2 幹事会

全12回の定例幹事会と2回の臨時幹事会を開催し、主事研修会の企画等を協議・検討した。

<主な協議事項>

4/2	平成31年度の主事会・幹事会の運営等、主事研修会企画	10/7	県外視察検討、主事研修会企画
		11/5	県外視察検討、主事研修会企画
4/15	主事研修会(前期)企画	12/2	県外視察最終打合せ、主事研修会企画
5/7	県公民館主事研修会・総会、主事会企画	1/6	主事研修会企画
6/3	主事研修会企画	2/3	主事研修会企画
7/1	主事研修会企画	3/2	主事研修会企画
8/5	主事研修会企画、主事研修会(後期)企画	3/25	令和2年度主事研修会日程等の検討
9/2	県外視察検討、主事研修会企画		

3 県・中信公運協関係、合同研修会など

- (1) 5/16～17 長野県公民館主事研修会・総会（下條村／第3回主事研修会）
- (2) 9/26～27 第67回長野県公民館大会（佐久穂町／第11回主事研修会）
- (3) 2/16 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い ～第35回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会～

4 その他（親睦事業など）

4/11 歓送迎会、7/25 暑気払い、1/9 新年会（塩尻市と合同）

令和元年度公民館職員名簿

H31.4.10

No.	館名	館長	公民館主事等	館長補佐	電話番号	内線	FAX番号	郵便番号	所在地	担当地区
1	中央 施設整備担当課長	栗田 正和	小池 栄一 横山 史樹 田口 真紀 平林 祐介 塚原 貴裕 土井 梨菜 天野 由貴		32-1132	56200	37-1153	390-0811	(南棟)	
		丸山 丈晴 (社会教育推進担当)							中央 1-18-1	
									(北棟)	
									中央 1-23-2	
2	第一地区	阿部 康之助	北平 知子	降旗 英明	32-1550		32-1550	390-0811	中央 1-18-1 Mウイング4F	第一
3	第二地区	早坂 義導	西村 聡充	山田 正	39-3601		39-3602	390-0814	本庄 2-3-23	第二
4	第三地区	伊藤 輝正	中條 陽	村山 卓	36-7040		35-6344	390-0811	中央 4-7-28	第三
5	東部	宮下 隆夫	長橋 佑弥	藤野 一男	36-8565		36-8551	390-0806	女鳥羽 2-1-25	東部
6	城北	田中 正	保科 黄	黒田 明浩	38-0120		38-0121	390-0876	開智 2-3-39	城北
7	大手	高野 隆治	中條 克明	勝家 隆	39-5711		39-5712	390-0874	大手 3-8-1	中央
8	安原地区	滝澤 澄夫	森田 耀子	保科 哲朗	39-0701		39-0702	390-0802	旭 2-11-13	安原
9	城東	佐藤 昭明	柴田 千穂	布山 智子	34-0191		34-0192	390-0803	元町 3-7-1	城東
10	白板地区	内藤 哲夫	岩垂 宏直	百瀬 靖恵	35-7740		36-5497	390-0875	城西 1-6-17-3	白板
11	田川	森下 隆弘	床尾 拓哉	平林 正隆	27-3840		27-3841	390-0841	渚 3-2-7	田川
12	庄内地区	筒井 文男	奥原 直弥	百瀬 久芳	24-1811		24-1812	390-0827	出川 1-5-9	庄内
13	鎌田地区	田中 健太郎	野口 裕司	伊藤 和宏	26-0206		27-2957	390-0848	両島 5-50	鎌田
14	松南地区	浦澤 和利	藤井 勇太	中村 真由美	26-1083		25-5337	399-0002	芳野 4-1	松南
15	島内	赤廣 三郎	上嶋 秀俊	米田 秀俊	47-0264		40-1264	390-0851	島内 4970-1	島内
16	中山	鈴木 幹夫	丸山 雅之	佐藤 憲明	58-5822		85-1016	390-0823	中山 3746-1	中山
17	島立	伊藤 悦夫	嶋口 健太	高山 佳朗	47-2049		40-1258	390-0852	島立 3298-2	島立
18	新村	関 成任	太田 正太郎	百瀬 秀樹	48-0375		40-1625	390-1241	新村 2179-7	新村
19	和田	渡邊 正明	中田 真実	中野 文子	48-5445		40-1259	390-1242	和田 2240-31	和田
20	神林	塩原 秀俊	三村 和紀	中川 修	58-2039		85-1159	390-1243	神林 1557-1	神林
21	笹賀	小林 茂夫	加藤 正洋	矢田 長智	58-2046		85-1146	399-0033	笹賀 2929	笹賀
22	芳川	柏澤 由紀一	北原 将年	塩原 正秀	58-2034		85-1057	399-0034	野溝東 2-10-1	芳川
23	寿	百瀬 康雄	永春 美香子	吉澤 拓	58-2038		85-1099	399-0021	寿豊丘 424	寿
24	寿台	坂井 久吉	浅井 勇太	齋 国人	58-6561		86-7964	399-0021	寿豊丘 649-1	寿台
25	松原地区	下村 純	横林 朋実	三澤 孝吉	57-2322		85-3103	399-0022	松原 39-1	松原
26	岡田	富岡 詔子	小林 泰	関 政雄	46-2313		45-1001	390-0315	岡田町 517-1	岡田
27	入山辺	小笠原 鉄夫	飯田 一至	藤井 勇	32-1389		37-0258	390-0222	入山辺 1509-1	入山辺
28	里山辺	多田 健	石川 和也	加藤 政彦	32-1077		37-0640	390-0221	里山辺 2930-1	里山辺
29	今井	櫻井 貞文	矢島 玲	村山 育朗	59-2001		59-1004	390-1131	今井 2231-1	今井
30	内田	丸山 明良	中村 和弘	西村 宏美	58-2494		85-1071	399-0023	内田 2203-1	内田
31	本郷	橋本 眞一	小山 高志	宇留賀 智	46-1500		45-1014	390-0303	浅間温泉 2-9-1	本郷
32	四賀	藤松 正之	深澤 勝彦	増田 香	64-3112	34105	64-2933	399-7402	会田 1001-1	四賀
33	安曇	百瀬 一美	羽田 大樹	高松 丑郎	94-2301	35233	94-2918	390-1592	安曇 1061-1	安曇
34	奈川	忠地 愛男	真関 健	古畑 節子	79-2121	3621	79-2903	390-1611	奈川 3301	奈川
35	梓川	川村 吉郎	黒田 晋	上條 英輔	78-3000	33116	78-3942	390-1792	梓川梓 2288-3	梓川
36	波田	輪湖 明	大月 美知	齋藤 真一	92-2268	37171	92-7111	390-1401	波田 4417-1	波田
	あがたの森	朝倉 一樹	須山 雄史		32-1812	2470	33-9986	390-0812	県 3-1-1	

松本市公民館長理事役員名簿

(敬称略)

年度 役名		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
会 長		御子柴 (寿)	御子柴 (寿)	青木 (和田)	青木 (和田)	筒井 (大手)	深澤 (城北)	村山 (島立)	村山 (島立)	滝澤 (安原)	滝澤 (安原)
副 会 長		小岩井 (里山辺)	青木 (和田)	二木 (梓川)	筒井 (大手)	深澤 (城北)	村山 (島立)	胡桃 (島内)	原田 (城東)	百瀬 (四賀)	柏澤 (芳川)
副 会 長 (中央公民館長)		加藤	内城	内城	永田	永田	高橋	高橋	高橋	栗田	栗田
理 事	中央1	祖父江 (第二地区)	中畑 (第一地区)	北沢 (東部)	中田 (第三地区)	原田 (城東)	関口 (第二地区)	北沢 (東部)	阿部 (第一地区)	宮下 (東部)	早坂 (第二地区)
	中央2	筒井 (大手)	深澤 (城北)	古市 (北部)	筒井 (大手)	深澤 (城北)	滝澤 (安原地区)	内藤 (白板地区)	高野 (大手)	田中 (城北)	内藤 (白板地区)
	中央3	田中 (田川)	上條 (南部)	吉江 (庄内地区)	仲 (西部)	池上 (田川)	上條 (松南地区)	草間 (庄内地区)	田中 (鎌田地区)	池上 (田川)	浦澤 (松南地区)
	河 西	原田 (新村)	青木 (和田)	二木 (梓川)	百瀬 (波田)	村山 (島立)	胡桃 (島内)	関 (新村)	渡辺 (和田)	青木 (梓川)	輪湖 (波田)
	西 南	長谷川 (今井)	齋藤 (安曇)	古幡 (奈川)	奥原 (笹賀)	赤羽 (神林)	藤澤 (今井)	上條 (安曇)	勝山 (奈川)	藤波 (笹賀)	塩原 (神林)
	東 南	市川 (芳川)	小林 (中山)	水谷 (松原地区)	吉村 (寿台)	青木 (寿)	中嶋 (内田)	藤森 (中山)	柏澤 (芳川)	下村 (松原)	百瀬 (寿)
	東 山	小岩井 (里山辺)	百瀬 (入山辺)	降旗 (四賀)	瀧澤 (本郷)	宇佐美 (岡田)	花岡 (里山辺)	遠山 (入山辺)	百瀬 (四賀)	橋本 (本郷)	富岡 (岡田)
監 事		宮下 (島内)	小岩井 (里山辺)	中畑 (第一地区)	古市 (北部)	百瀬 (波田)	宇佐美 (岡田)	中嶋 (内田)	内藤 (白板)	阿部 (第一地区)	田中 (城北)
事務局 (中央公民館)		永田	永田	永田	栗田	栗田	金井	金井	金井	横山	田口
中信公運協		小岩井 (里山辺)	青木 (和田)	二木 (梓川)	筒井 (大手)	深澤 (城北)	村山 (島立)	胡桃 (島内)	原田 (城東)	百瀬 (四賀)	柏澤 (芳川)
県公運協		御子柴 (寿)	御子柴 (寿)	青木 (和田)	青木 (和田)	筒井 (大手)	深澤 (城北)	村山 (島立)	村山 (島立)	滝澤 (安原)	滝澤 (安原)

令和元年度 松本市公民館長会理事 役職分担表

年 度 役職名	26年度		27年度		28年度		29年度		30年度		令和元年度		
	館 名	氏 名	館 名	氏 名	館 名	氏 名	館 名	氏 名	館 名	氏 名	館 名	氏 名	
県公運協（H31は会長職）	(大手)	筒井	(城北)	深澤	(島立)	村山	(島立)	村山	(安原)	滝澤	(安原)	滝澤	
長野県将来世代応援県民会議 (県公運協副会長が就任)													
中信公運協（参与職）											(安原)	滝澤	
中信公運協（評議員職）	(城北)	深澤	(島立)	村山	(島内)	胡桃	(城東)	原田	(四賀)	百瀬	(芳川)	柏澤	
松本市差別撤廃人権擁護 審議会（会長職） 同和	(大手)	筒井	(城北)	深澤	(島立)	村山	(城東)	原田	(安原)	滝澤	(安原)	滝澤	
部落解放・人権政策確立要求 松本市実行委員会委員長 (公民館長会 会長)	(大手)	筒井	(城北)	深澤	(島立)	村山	(島立)	村山	(安原)	滝澤	(芳川)	柏澤	
“社会を明るくする運動”松本推進委 員会（会員）											(松南)	浦澤	
花いっぱい運動担当 第36回全国都市 緑化信州フェア (実行委員職)					(島立)	村山	(島立)	村山	(安原)	滝澤	(芳川)	柏澤	
スポーツ振興審議会委員会	(寿)	青木	(松南)	上條	(新村)	関	(芳川)	柏澤	(城北)	田中	(第二)	早坂	
平和祈念式典実行委員会	(城北)	深澤	(松南)	上條	(中山)	藤森	(中山)	柏澤	(東部)	宮下	(波田)	輪湖	
健康福祉21市民会議 事務局・母子専門員	(寿)	青木	(第2)	関口	(安曇)	上條	(大手)	高野	(笹賀)	藤波	(岡田)	富岡	
明るい選挙推進協議会 代議員3名 (うち役員候補者1名)	会長職	(大手)	筒井	(城北)	深澤	(島立)	村山	(島立)	村山	(安原)	滝澤	(芳川)	柏澤
		(神林)	赤羽	(安原)	滝澤	(中山)	藤森	(中山)	柏澤	(神林)	宮下	(波田)	輪湖
		(岡田)	宇佐美	(今井)	藤澤	(白板)	内藤	(四賀)	百瀬	(城北)	田中		
豊かな環境づくり 松本地域会議 (松本地方事務所環境課)	(島立)	村山	(内田)	中島	(東部)	北沢	(奈川)	勝山	(笹賀)	藤波	(松南)	浦澤	
教育文化センター 運営委員会	(田川)	池上	(里山辺)	花岡	(入山辺)	遠山	(和田)	渡辺	(田川)	池上	(神林)	塩原	
三献運動推進協議会	(城東)	原田	(島内)	胡桃	(東部)	北沢	(第一)	阿部	(笹賀)	藤波	(寿)	百瀬	
松本市青少年健全育成 市民大会実行委員会	(岡田)	宇佐美	(松南)	上條	(新村)	関	(四賀)	百瀬	(梓川)	青木	(寿)	百瀬	
松本市生活簡素化 実行委員会	(岡田)	宇佐美	(第二)	関口	(庄内)	草間	(鎌田)	田中	(田川)	池上	(寿)	百瀬	
学都松本子ども読書活動推進委員会 (R1~)											(寿)	百瀬	
館長会 研修担当	①通常研修担当	(島立)	村山	(島内)	胡桃	(新村)	関	(和田)	渡辺	(松原)	下村	(白板)	内藤
	②県外研修担当	(神林)	赤羽	(里山辺)	花岡	(入山辺)	遠山	(奈川)	勝山	(笹賀)	藤波	(岡田)	富岡
		(城東)	原田	(今井)	藤澤	(東部)	北沢	(第一)	阿部	(城北)	田中	(神林)	塩原
		(田川)	池上	(安原)	滝澤	(中山)	藤森	(大手)	高野	(梓川)	青木	(第二)	早坂
学都松本推進協議会 事務局会議委員					(安曇)	上條	(鎌田)	田中	(松原)	下村	(松南)	浦澤	
館長会・主事会 連絡調整委員		(大手)	筒井	(城北)	深澤	(島立)	村山	(島立)	村山	(安原)	滝澤	(安原)	滝澤
		(城北)	深澤	(島立)	村山	(島内)	胡桃	(城東)	原田	(四賀)	百瀬	(芳川)	柏澤
監事											(城北)	田中	

平成31年度(令和元年度) 松本市公民館主事会名簿

ブ ロ ッ ク	公 民 館 名	氏 名	年 通 算 経 験 数	幹 事 長	副 幹 事 長	理 県 公 運 事 協	行 県 資 料 員 刊	協 中 評 議 公 員 運	幹 ブ ロ ッ ク 事 務 局	事 務 局
中 公	中 央	小 池 栄 一	0.5							
		横 山 史 樹	9							
		田 口 真 紀	1							
		平 林 祐 介	3							
		土 井 梨 菜	2							
		塚 原 貴 裕	2							
		天 野 由 貴	0							○
		輪 湖 稔	0							
		草 間 厚 伸	3							
福 沢 佳 典	2									
中 央 1	第 一 地 区	北 平 知 子	6							
	第 二 地 区	西 村 聡 充	1						○	
	第 三 地 区	中 條 陽	3	○						
	東 部	長 橋 佑 弥	0							
	城 東	柴 田 千 穂	1							
中 央 2	白 板 地 区	岩 垂 宏 直	1						○	
	城 北	保 科 黄	1							
	安 原 地 区	森 田 耀 子	2							
	大 手	中 條 克 明	1							
中 央 3	鎌 田 地 区	野 口 裕 司	1						○	
	松 南 地 区	藤 井 勇 太	2		○					
	庄 内 地 区	奥 原 直 弥	3							
	田 川	床 尾 拓 哉	9			○				
河 西 部	島 内	上 嶋 秀 俊	11							
	島 立	嶋 口 健 太	2		○				○	
	新 村	太 田 正 太 郎	0							
	和 田	中 田 真 実	0							
	梓 川	黒 田 晋	0							
波 田	大 月 美 知	1								
西 南 部	笹 賀	加 藤 正 洋	2							
	神 林	三 村 和 紀	1					○		
	今 井	矢 島 玲	1							
	安 曇	羽 田 大 樹	1							
	奈 川	真 関 健	1						○	
東 南 部	芳 川	北 原 将 年	0							
	寿	永 春 美 香 子	0							
	寿 台	浅 井 勇 太	2						○	
	内 田	中 村 和 弘	1							
	中 山	丸 山 雅 之	0							
	松 原 地 区	横 林 朋 実	3				○			
東 山 部	岡 田	小 林 泰	3							
	里 山 辺	石 川 和 也	4		○					
	入 山 辺	飯 田 一 至	2							
	本 郷	小 山 高 志								
四 賀	深 澤 勝 彦	12.5						○		

松本市公民館運営審議会委員・Mウイング文化センター運営委員名簿

委員長◎ 副委員長○

区分	氏 名	所 属 団 体 等
学校教育	矢 崎 基	松本市立清水小学校長
	戸 辺 修	松本市立島立小学校長
社会教育	◎ 御子柴 宏	元 寿公民館長、寿地区学校応援団 顧問
	山 岸 勝子	四賀地区社会福祉協議会会長
	立 石 恵子	NPO法人フリマネット信州代表
	○ 井上 真由巳	松本市公民館報全市版編集委員
	土 崎 紘子	宮田中町会長
	高 橋 昌子	更生保護女性会会長
	神 保 孝彦	松本市町内公民館長会会長
	降 旗 都子	第三地区まちづくり協議会副会長
	染 井 伴子	松本市女性団体連絡協議会
	中 田 安子	前 第三地区公民館長
家庭教育	矢 蔭 大 輔	松本市PTA連合会副会長
	久 保 田 由美	松本みんなのほご教室代表
有識者	向 井 健	松本大学総合経営学部専任講師
	山 内 竜 太	信州大学 先進領域融合研究群 社会基盤研究所助教
公募者	小 穴 芳 一	公募
	高 山 未 央	公募（ママフェスまつもと実行委員会委員長）
	柴 田 文	公募（松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科）

（任期 2年：令和3年7月31日まで）